FOR.A®
INNOVATIONS IN VIDEO
and AUDIO TECHNOLOGY

取扱説明書

FA-9500
フレームシンクロナイザ
Frame Synchronizer

FA-95PS
FA-95-3G
FA-95SCNV
FA-95AVO
FA-95DACBL
FA-95RU*
FA-95CO
FA-95D-D/DE-E
FA-95AIO
FA-95LG*
FA-95ALA
FA-10DCCRU*

10th Edition – Rev. 4
SOFT Ver. 8.03 – higher

株式会社　朋栄

最新の FA-9500 取扱説明書は下記 URL からダウンロード可能です。
http://www.for-a.co.jp/products/fa9500/fa9500_m.pdf

改訂履歴

Edit.	Rev.	年月日	改訂内容	改訂箇所
Preliminary	-	2010/08/03	暫定版（V0010）	
Preliminary		2010/09/07	暫定版 (V0020)	
1		2010/09/08	初版 (V0100)	全面改訂
1	1	2011/01/20	FA-95DACBL オプション、カラーコレクション説明追加、他誤記等修正	概要、仕様、他
2		2011/03/23	FA-95PS、FA-95-3G、FA-95SCNV、FA-95AVO オプション追加、他誤記等修正	全面改訂
3		2011/06/14	FA-95RU オプション追加 （別紙 FA-95RU の取扱説明書を作成）	7-1
4		2011/08/19	FA-95CO オプション追加 Login 画面と Logout を追加	5-7, 9-1
4	1	2011/10/18	FA-95AVO カット検出時のフレーム遅延量変更 Forced Field 設定時の Frame Delay 設定変更	5-5-2, 5-10-1 9-2-2-1, 9-2-3 9-4-1
5		2011/11/28	クローズドキャプション CEA608, S334-1, CEA708 対応	5-10-13, 5-11, 5-12, 5-16-13～ 5-22, 9-4-1, 9-4-3, 9-7-4, 18
6		2011/12/16	FA-95D-D、FA-95-DE-E オプション追加 Audio 機能追加 PAL-M 対応	5-15, 5-16-13, 6-9, 9-3, 9-4, 10, 13, 19, etc.
7		2012/02/16	FA-95AIO オプション追加	5-7-1, 5-8-5, 5-10-3, 5-15, 5-17-2&3, 5-17-5, 7-3, 16
7	1	2012/03/06	NTSC SETUP 補足条件削除、誤記等修正	5-15, 全般
8		2012/03/26	FA-95LG オプション追加	5-9
9		2012/07/06	FA-95DE-E オプション機能拡張 S2016/VI/WSS　AFD 対応 FA-95SCNV Up/Down/Cross 対応	5-3, 5-4, 20, 21, 全般
9	1	2012/08/06	VITS 機能説明追加	5-10-4～5-10-7, 9-4-1
9	2	2013/04/12	オプションビデオフォーマット変更	25-1
10		2013/05/25	FA-95ALA 対応 FA-95RU の FA-9500/FA-9520 両対応	6-9-9, 9-3-17, 他
10	1	2013/06/13	CD に収録	
10	2	2014/06/02	REFERENCE ステータス変更	5-13-2, 9-7-1, 18
10	3	2014/07/08	FA-10DCCRU オプション追加	7-1, 9-8-2, 25-1 他
10	4	2015/05/29	「フレームレートコンバータ」を削除	1-1

対応ソフトウエアバージョン一覧

バージョン *1	対応オプション	備考
FPGA1:1.36 以上 FPGA2:1.27 以上 FPGA3:1.01 以上 SOFT:1.13 以上	FA-95PS FA-953G FA-95SCNV FA-95AVO FA-95DACBL	初版
FPGA1:1.40 以上 FPGA2:1.28 以上 FPGA3:1.01 以上 SOFT :2.00 以上	FA-95RU	FA-95RU オプションに対応
FPGA1:1.51 以上 FPGA2: 1.29 以上 FPGA3:1.01 以上 SOFT: 2.10 以上	FA-95CO	FA-95CO オプションに対応 FA-95RU は 1.10 以上で対応
FPGA1:1.55 以上 FPGA2: 1.30 以上 FPGA3:1.01 以上 SOFT: 2.22 以上	FA-95AVO カット検出対応	Forced Field 設定時の Frame Delay 設定変更 AUTO LOAD バグ修正 対応 FA-95RU のバージョン 1.20 以上
FPGA1:1.58 以上 FPGA2: 2.00 以上 FPGA3:1.01 以上		クローズドキャプション CEA608, S334-1, CEA708 対応

バージョン *1	対応オプション	備考
SOFT: 2.30 以上		VIDEO/AUDIO メニュー切替時の表示修正
FPGA1:2.08 以上 FPGA2: 3.00 以上 FPGA3: 1.01 以上 SOFT: 3.00 以上	FA-95D-D FA-95DE-E	FA-95D-D、FA-95DE-E オプションに対応 FA-95RU は 2.00 以上で対応 PAL-M 対応
FPGA1:2.28 以上 FPGA2: 4.10 以上 FPGA3: 1.01 以上 SOFT: 4.00 以上	FA-95AIO	FA-95AIO オプションに対応 FA-95RU は 3.00 以上で対応
FPGA1:2.30 以上 FPGA2: 4.10 以上 FPGA3: 1.02 以上 SOFT: 5.00 以上	FA-95LG	FA-95LG オプションに対応 FA-95RU は 4.00 以上で対応
FPGA1:3.14 以上 FPGA2: 5.02 以上 FPGA3: 1.02 以上 SOFT: 6.00 以上	機能拡張	S2016/VI/WSS AFD 対応 FA-95SCNV Up/Down/Cross 対応 FA-95DE-E オプションエンコード機能拡張 FA-95RU は 5.00 以上で対応
FPGA1:3.15 以上 FPGA2: 5.10 以上 FPGA3: 1.02 以上 SOFT: 6.01 以上	機能拡張	SD-SDI の VITS 出力対応
FPGA1:3.20 以上 FPGA2: 5.20 以上 FPGA3: 1.02 以上 SOFT: 8.00 以上	FA-95ALA	FA-95ALA 対応および、FA-95RU の FA-9500/FA-9520 の両対応に伴う変更を追加 FA-95RU は、Ver6.00 以上で対応 FA-95D-D/FA-95DE-E は、FA-95ALA 追加に伴い、FA-95D-D /FA-95DE-E と本体間のデータ通信を変更。 FPGA1: 1.00 FPGA2: 2.10（1.10 以下では動作しません。）
FPGA1: 3.20 以上 FPGA2: 5.20 以上 FPGA3: 1.02 以上 SOFT: 8.03 以上	FA-10DCCRU	FA-10DCCRU の FA-9500/9520 の両対応に伴う変更を追加 FA-10DCCRU は SOFT Ver 1.00, FPGA1/2 Ver 1.00 以上で対応

*1 バージョンの確認は、「7-6 UNIT Ver.」で確認できます。

使用上の注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。

[電源電圧・電源コード]

禁止	指定電圧以外の電源電圧は使用しないでください。
プラグを抜く	電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つく恐れがあります。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
注意	電源コードに重いものをのせたり落としたりしてコードを傷つけないでください。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
注意	電源コードの被ふくが溶けたり、コードに傷がついたりしていないか、定期的にチェックしてください。

[接地]

必ず行う	感電を避けるためアースをとってください。
禁止	アースは絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因になることがあります。
注意	電源コードのプラグおよびコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。

[内部の設定変更が必要なとき]

必ず行う	電源を切ってから、設定変更の操作を行ってください。電源を入れた状態で設定が必要な場合は、サービス技術者が行ってください。
触らない	過熱部分には触らないでください。やけどをする恐れがあります。
注意	パネルやカバーを取り外したままで保管や使用をしないでください。内部設定終了後は必ずパネルやカバーを元に戻してご使用ください。

[使用環境・使用方法]

禁止	高温多湿の場所、塵埃の多い場所や振動のある場所に設置しないでください。使用条件以外の環境でのご使用は、動作の異常、火災や感電の原因になることがあります。
禁止	内部に水や異物を入れないでください。水や異物が入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、異物が入った場合は、すぐ電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて内部から取り出すか、販売代理店、サービスセンターへご相談ください。
禁止	筐体の中には高圧部分があり、感電の恐れがあります。通常はカバーを外したり分解したりしないでください。
禁止	通風孔を塞がないでください。この機器を正常に動作させるために、適量の空冷が必要です。機器の前面と背面は、他の物から 5cm 以上離してください。

[運搬・移動]

注意	運搬時などに外部から強い衝撃を与えないように注意してください。機器が故障することがあります。機器を他の場所へ移動するときは、専用の梱包材をご使用ください。

[異常時の処置]

必ず行う	電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、内部に異常が発生している恐れがあります。すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。

[ラック取付金具、アース端子、ゴム足の取り付け]

必ず行う	ラック取付金具、アース端子、ゴム足を取り付ける場合は、必ず付属の専用部品および付属のネジを使用し、それ以外のものは使用しないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。また、ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。

[消耗部品]

	消耗部品が使用されている機器では、定期的に消耗部品を交換してください。消耗部品・交換期間の詳しい内容については、取扱説明書の最後にある仕様でご確認ください。なお、消耗部品は使用環境で寿命が大きく変わりますので、早めの交換をお願いいたします。消耗部品の交換については、販売代理店へお問い合わせください。

開梱および確認

このたびは、FA-9500 フレームシンクロナイザをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

◆ 構成表

品 名	数 量	備 考
FA-9500	1	
電源ケーブル	1 セット	（AC ケーブル抜け止め具を含む）
ラック取付金具	1 セット	（取付ネジ 4 個含む）
CD-ROM	1	FA-9500/FA-9520 取扱説明書（PDF）
セットアップガイド	1	

◆ オプション

品 名	数 量	備 考
FA-95PS	1 セット	リダンダント電源ユニット 電源ケーブル 1 本 （AC ケーブル抜け止め具を含む）
FA-95DACBL	1	デジタルオーディオ拡張ケーブル（実装時、デジタルオーディオ 8 入力/8 出力） 標準出荷設定は、SLOT B に実装されます。
FA-95RU	1	リモートコントロールユニット
FA-95D-D *	1	Dolby E/Digital デコーダ
FA-95DE-E	1	Dolby E エンコーダ FA-95D-D の拡張オプションです。実装するためには、FA-95D-D オプションが必要です。
FA-95AIO *	1	アナログコンポーネント入出力拡張基板 専用接続ケーブル 1 本（PC-3307）
FA-95ALA *	1	オートマチックラウドネスアジャストメント基板
FA-10DCCRU	1	カラーコレクタ専用のリモートコントロールユニット

* FA-95DACBL、FA-95D-D、FA-95DE-E、FA-95AIO、FA-95ALA オプションはオプションスロット A/B どちらでも実装することができますが､同じオプションを 2 枚実装することはできません。

◆ ソフトウエアオプション

品 名	数 量	備 考
FA-95-3G	1	3G-SDI オプション
FA-95SCNV	1	セカンドコンバータ
FA-95AVO	1	オートビデオオプティマイザ
FA-95CO	1	チェンジオーバ
FA-95LG	1	ロゴジェネレータオプション（FA-95LG GUI ソフトウエアを PC にインストールして使用してください。） インストール CD、FA-95LG GUI 取扱説明書

※ソフトウエアオプションのインストール状態は、「7-10 SOFT OPTION1」「7-11 SOFT OPTION2」で確認できます。

確認

もし、品物に損傷があった場合は、直ちに運送業者にご連絡ください。品物に不足があった場合や、品物が間違っている場合は、販売代理店までご連絡ください。

登録商標

Microsoft、**Windows**、および **Internet Explorer** は米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
Intel Core、および **Pentium** は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
Firefox は Mozilla Foundation の登録商標です。
Dolby および**ドルビー**は、ドルビーラボラトリーズの登録商標です。
※　その他全ての商標および製品名は個々の所有者の商標または登録商標です。

ラック取付

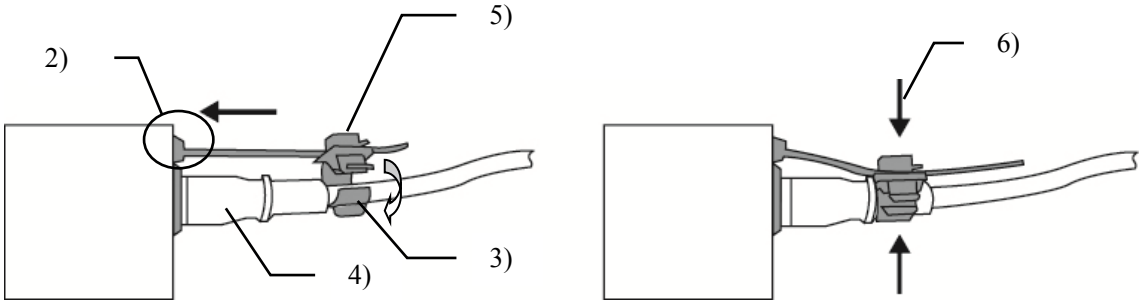
本製品は EIA 標準規格です。ラックに取り付ける場合は、専用取付金具を使って取り付けてください。

AC コードクランプ取付方法

電源ケーブルと同梱されている AC コードクランプで電源ケーブルが筐体から抜けるのを防ぎます。

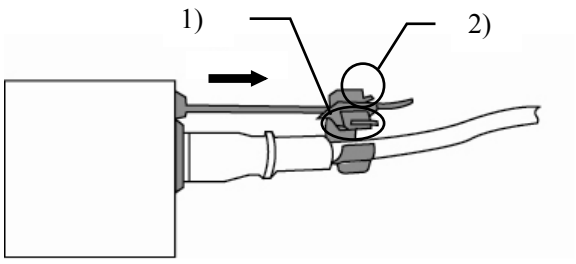
◆ **AC コードクランプの取付**

1) AC コードクランプのアンカー部分を筐体に向けた状態で、電源ケーブルを AC コードクランプの輪に通します。
2) AC コードクランプのアンカー部分を AC IN 横の穴に差し込みます。
3) AC コードクランプの輪を軽く締め付けます。
4) 電源ケーブルを AC IN に差し込みます。
5) ベルトを押さえながら、AC コードクランプの輪を電源ケーブルの根元までスライドさせます。
6) 再度 AC コードクランプの輪を強く締め付け緩みが無いことを確認します。
7) 電源ケーブルを軽く引っ張り電源ケーブルが抜けないことを確認します。



◆ **AC コードの取り外し**

1) AC コードクランプの輪のレバーを押し、輪を開放します。
2) AC コードクランプの輪の根元にある、レバーを持ち上げながら輪をスライドさせます。
3) AC コードクランプが緩んだ状態から AC ケーブルを筐体から引き抜きます。



目次

1. 概要および特長 17
1-1. 概要 17
1-2. 特長 17
1-3. この取扱説明書について 17

2. 各部の名称と機能 18
2-1. 前面パネル 18
2-2. 背面パネル 19
2-3. 内部の設定 22
2-3-1. ディップスイッチ設定 22

3. 接続 23
3-1. HD /SD-SDI Frame Synchronizer として使用する場合 23
3-2. HD/SD-SDI サイマル出力（入力信号が HD-SDI の場合） 24
3-3. HD/SD-SDI サイマル出力（入力信号が SD-SDI の場合） 25
3-4. HD/SD-SDI サイマル出力（FA-95SCNV を使用する場合） 26
3-5. AES 入力信号を SDI にエンベッドする場合 27
3-6. ANALOG AUDIO 入力信号を SDI にエンベッドする場合 28
3-7. パソコンとの接続 29
3-8. REMOTE（GPI）端子接続 30

4. 前面パネルの操作 31
4-1. 電源を入れる 31
4-2. 基本操作 31
4-2-1. メニューを選択する 32
4-2-2. メニュー一覧 33
4-2-3. 矢印ボタン操作について 35
4-2-4. 設定値の連続確認 35
4-2-5. 関連ページ移動機能 36
4-2-6. 設定値の変更 37
4-2-7. 初期値に戻す 38

5. VIDEO 関連設定 39
5-1. VIDEO PROC AMP (PROCESS) 39
5-2. COLOR CORRECTOR (C.C.) 39
5-2-1. WHITE LEVEL 39
5-2-2. BLACK LEVEL 40
5-2-3. GAMMA LEVEL 40
5-2-4. COLOR CORRECT（C.C.） 41
5-2-5. AVO 動作時のカラーコレクタの制約 42
5-3. CONV1 (UP/DOWN/CROSS CONVERTER) 43
5-3-1. CONV1（FA-95SCNV が無い場合） 43
5-3-2. CONV1 U/D MODE（FA-95SCNV なし） 43
5-3-3. CONV1 変換一覧（FA-95SCNV なし） 44
5-3-4. CONV1（FA-95SCNV が有る場合） 44
5-3-5. CONV1 U/D MODE（FA-95SCNV あり） 45
5-3-6. CONV1 変換一覧（FA-95SCNV あり） 47
5-3-7. CONV1 SIZE/POS 47
5-3-8. CONV1 CROPPING 48

5-3-9. CONV1 IMPROVE....49
5-3-10. CONV1 SIDE RGB....50
5-4. CONV2 (UP / DOWN / CROSS CONVERTER)....51
5-4-1. CONV2 U/D MODE....52
5-4-2. CONV2 変換一覧....53
5-4-3. CONV2 SIZE/POS....53
5-4-4. CONV2 CROPPING....54
5-4-5. CONV2 IMPROVE....55
5-4-6. CONV2 SIDE RGB....56
5-5. Auto Video Optimizer (AVO)....57
5-5-1. AVO SETTING....57
5-5-2. AVO SETUP....58
5-5-2-1. シーンカット検出時の FRAME DELAY 設定について....59
5-5-3. USER1～5 LEVEL SET....60
5-5-4. USER1, 2 AREA SET....63
5-5-4-1. 手動レベル補正....64
5-6. CLIP（VIDEO CLIP）....65
5-6-1. YPbPr/RGB CLIP....65
5-6-2. COMPOSITE CLIP....66
5-6-3. VIDEO CLIP 設定範囲について....66
5-7. VIDEO INPUT SELECT (IN SEL)....68
5-7-1. VIDEO INPUT SET....68
5-7-2. SD INPUT ASPECT....69
5-7-3. チェンジオーバ動作について....70
5-7-3-1. チェンジオーバ動作と LOSS 動作について....70
5-7-3-2. ルータを使用した入力切替時のチェンジオーバ動作について....70
5-7-3-3. SDI1 入力信号（本線）に復帰させる場合....70
5-7-4. CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET....71
5-7-5. SDI ERROR TRG....72
5-7-6. FORMAT ERROR TRG....72
5-7-7. CRC ERROR TRG....73
5-7-8. BLACK VIDEO TRG....73
5-7-9. AUDIO LOSS TRG....74
5-7-10. AUDIO ERR TRG....74
5-7-11. SILENCE TRG....75
5-7-12. CHGOV STATUS....75
5-7-13. CHGOV VID STATUS....76
5-7-14. CHGOV AUD STATUS....76
5-7-15. AUD LOSS STATUS....77
5-7-16. AUD ERROR STATUS....77
5-7-17. SILENCE STATUS....77
5-8. VIDEO OUT SELECT (OUT SEL)....78
5-8-1. VIDEO OUT MODE....78
5-8-2. SDI1/2 OUT SET（FA-95SCNV なし）....80
5-8-3. SDI1/2 OUT SET（FA-95SCNV あり）....80
5-8-4. SDI3/4 OUT SET（FA-95SCNV なし）....81
5-8-5. SDI3/4 OUT SET（FA-95SCNV あり）....81
5-8-6. COMPOSITE SET（FA-95SCNV なし）....82

5-8-7. COMPOSITE SET（FA-95SCNV あり）.....83
5-8-8. COMPONENT SET（FA-95SCNV なし）.....84
5-8-9. COMPONENT SET（FA-95SCNV あり）.....86
5-9. VIDEO OPTION (VIDEO OP).....87
5-9-1. FA-95LG（ロゴジェネレータオプション）.....87
5-9-1-1. CONV1 LOGO SEL.....87
5-9-1-2. CONV1 KEYER SET.....88
5-9-1-3. CONV2 LOGO SEL.....89
5-9-1-4. CONV2 KEYER SET.....90
5-9-1-5. ロゴ ポジション設定範囲.....90
5-10. VIDEO SYSTEM (VIDEO SYS).....91
5-10-1. FS MODE SET.....91
5-10-2. FREEZE SET.....92
5-10-3. COMPOSITE SET.....93
5-10-4. VIDEO SUB.....94
5-10-5. TEST SIGNAL.....94
5-10-6. HD PHASE SET.....95
5-10-7. SD PHASE SET.....96
5-10-8. VIDEO POSITION.....97
5-10-9. CONV1 ANC SET.....98
5-10-10. CONV2 ANC SET.....99
5-10-11. CONV1 AUDIO GROUP.....100
5-10-12. CONV2 AUDIO GROUP.....100
5-10-13. SD LINE MASK.....101
5-10-14. ANC DETECT LINE.....101
5-10-15. ANC DETECT SEL.....102
5-10-16. ANC DATA EMBED.....102
5-10-17. ANC EMBED LINE.....103
5-10-18. ANC LOSS SET.....105
5-10-19. WSS AFD ERROR.....106
5-11. NTSC SETUP.....107
5-12. PAL-M MODE SET.....107
5-13. 各種信号 STATUS 表示（STATUS）.....108
5-13-1. UNIT ALARM.....108
5-13-2. VIDEO IN STATUS.....109
5-13-3. COMPONENT INPUT.....110
5-13-4. VIDEO OUT STATUS.....110
5-13-5. COMPONENT OUTPUT.....111
5-13-6. SOURCE AUDIO.....112
5-13-7. SDI 1 IN AUDIO.....113
5-13-8. SDI 2 IN AUDIO.....114
5-13-9. AES IN AUDIO.....115
5-13-10. ANALOG IN AUDIO.....115
5-13-11. SDI 1/2 OUT AUDIO.....116
5-13-12. SDI 3/4 OUT AUDIO.....116
5-13-13. AES OUT AUDIO.....117
5-13-14. ANALOG OUT AUDIO.....117
5-13-15. Dolby AUX STATUS.....118

5-13-16. AFD IN STATUS....119
5-14. ANC IN STATUS....119
5-15. ANC IN STATUS1-2....120
5-16. CONV1 ANC OUT....120
5-16-1. CONV1 S2016 OUT....120
5-16-2. CONV1 VI OUT....121
5-16-3. CONV1 WSS OUT....121
5-17. CONV1 ANC OUT1....122
5-18. CONV2 ANC OUT....122
5-18-1. CONV2 S2016 OUT....122
5-18-2. CONV2 VI OUT....123
5-18-3. CONV2 WSS OUT....123
5-19. CONV2 ANC OUT1....124
6. AUDIO 関連設定....125
6-1. SDI AUDIO の設定（SDI AUDIO）....125
6-1-1. SDI AUDIO GAIN....125
6-1-2. SDI REMAPPING....126
6-1-3. SDI MONO SUM....128
6-1-4. SDI AUDIO CLOCK....128
6-1-5. SDI IN AUDIO....129
6-2. AES AUDIO 設定（AES AUDIO）....130
6-2-1. AES IN GAIN....130
6-2-2. AES HYSTERESIS....130
6-2-3. AES REMAPPING....131
6-2-4. AES MONO SUM....133
6-2-5. AES I/O SETUP....133
6-3. ANALOG AUDIO の設定(ANALOG)....134
6-3-1. ANALOG IN LEVEL....134
6-3-2. ANALOG IN GAIN....134
6-3-3. ANALOG OUT LEVEL....134
6-3-4. ANALOG OUT GAIN....135
6-3-5. ANALOG REMAPPING....135
6-3-6. ANALOG MONO SUM....136
6-3-7. ANALOG SYSTEM....136
6-4. MASTER OUT GAIN 設定(MASTER)....137
6-5. AUDIO MAPPING（MAPPING）....138
6-5-1. SOURCE/SRC SEL....138
6-6. AUDIO DELAY の設定....139
6-6-1. AUDIO DELAY....139
6-7. DOWN MIX SET....140
6-7-1. DOWN MIX ASSIGN....142
6-8. AUDIO MODE SET（MODE）....142
6-9. AUDIO OPTION (AUDIO OP)....143
6-9-1. Dolby Decoder Option (FA-95D-D)....143
6-9-1-1. Dolby AUX OUTPUT....143
6-9-1-2. Dolby DECODER INPUT....144
6-9-1-3. Dolby DECODER REFERENCE....145
6-9-1-4. Dolby DOWNMIX....145

6-9-1-5. Dolby DECODER GAIN....145
6-9-2. Dolby Encoder Option (FA-95DE-E)....146
6-9-2-1. Dolby ENCODER INPUT....146
6-9-2-2. Dolby ENCODER SETTING....147
6-9-2-3. METADATA INPUT....147
6-9-3. Automatic Loudness Adjustment (FA-95ALA)....148
6-9-3-1. LOUDNESS MEASUREMENT....148
6-9-3-2. LOUDNESS CONTROL ENABLE....149
6-9-3-3. LOUDNESS CONTROL SETTINGS....150
6-9-3-4. LOUDNESS CHANNEL ASSIGNMENT....151
6-9-3-5. LOUDNESS STANDARD....152
6-10. AUDIO SYSTEM の設定（AUDIO SYS）....153
6-10-1. FADE IN / OUT....153
6-10-2. DIGITAL AUDIO....154
6-10-3. AUDIO ERR SENSE....154
6-10-4. DIGITAL SILENCE....156
7. OTHER Settings & Information (OTHER)....157
7-1. CONTROL SETTING....157
7-2. FRONT OPERATION....157
7-3. FRONT PANEL SET....158
7-4. GPI SETTING....159
7-5. NETWORK INFO....162
7-6. UNIT Ver.....162
7-7. OPTION A Ver.....163
7-8. OPTION B Ver.....163
7-9. OTHER OPTION....164
7-10. SOFT OPTION1....164
7-11. SOFT OPTION2....164
8. イベントメモリ....165
8-1. EVENT LOAD....165
8-2. EVENT SAVE....166
8-3. EVENT SETUP....166
8-4. イベントメモリに登録されない項目....167
8-5. イベントメモリ操作上の注意事項....167
9. WEB ブラウザ制御....168
9-1. WEB ブラウザからの接続....168
9-2. VIDEO 関連項目の制御....169
9-2-1. Input Select....170
9-2-1-1. チェンジオーバ動作について(WEB)....175
9-2-1-2. チェンジオーバ動作と LOSS 動作について(WEB)....176
9-2-1-3. ルータを使用した入力切替時のチェンジオーバ動作について(WEB)....176
9-2-1-4. SDI1 入力信号（本線）に復帰させる場合(WEB)....176
9-2-2. Auto Video Optimizer(AVO)....177
9-2-2-1. シーンカット検出時の FRAME DELAY 設定について....179
9-2-2-2. User 1～5 LEVEL SET....180
9-2-2-3. User Area 1, 2....182
9-2-3. Frame Delay....183

9-2-4. Proc Amp 184
9-2-5. BY-PASS / Operate 184
9-2-6. Converter1（FA-95SCNV なし） 185
9-2-7. Converter1（FA-95SCNV あり） 188
9-2-8. Converter2（Up/Down/Cross） 192
9-2-9. Color Corrector 196
9-2-10. Video Test Signal 198
9-2-11. YPbPr/RGB Clip 199
9-2-12. Output Select（FA-95SCNV なし） 200
9-2-13. Output Select（FA-95SCNV あり） 203
9-2-14. Composite Clip 204
9-3. AUDIO 関連項目の制御 205
9-3-1. SDI Input Gain 206
9-3-2. AES Audio Input Settings 207
9-3-3. Analog Input Gain/Level 209
9-3-4. Source Select 210
9-3-5. Audio Output Delay 211
9-3-6. SRC Mode 212
9-3-7. Audio Master Setting 213
9-3-8. Audio Test Signal 214
9-3-9. 5.1Ch Down Mix 215
9-3-10. Audio Output Polarity 217
9-3-11. SDI Audio Output Setting 218
9-3-12. AES Audio Output Setting 221
9-3-13. Analog Audio Output Setting 223
9-3-14. Dolby E/Digital Decoder 225
9-3-15. Dolby AUX Output Select 227
9-3-16. Dolby E Encoder 228
9-3-17. Automatic Loudness Adjustment (FA-95ALA) 230
9-4. SYSTEM 関連項目の制御 233
9-4-1. Video System 233
9-4-2. Audio System 240
9-4-3. ANC Settings（FA-95SCNV なし） 244
9-4-4. ANC Settings（FA-95SCNV あり） 246
9-5. GPI 250
9-6. Utility 関連項目の制御 252
9-6-1. Event Control 253
9-6-2. Backup Parameter 254
9-6-3. MIB ファイルのダウンロード 256
9-6-4. Backup Event Data 257
9-7. Status の表示 259
9-7-1. Unit/Video Status 259
9-7-2. Audio Status 262
9-7-3. Unit Information 265
9-7-4. ANC Status（FA-95SCNV なし） 266
9-7-5. ANC Status（FA-95SCNV あり） 267
9-7-6. Changeover Status 270
9-8. Network 設定 273

9-8-1. Network Information 273
9-8-2. NETWORK SETTING 273
9-8-3. SNMP SETTING 274
9-8-4. TRAP SETTING 276
9-8-5. USER SETTING 277
9-8-6. リスタート 277

10. システムブロック図（AUDIO） 278

11. ANALOG/DIGITAL 入出力音声レベル 279
11-1. デジタル入力音声レベルに対するアナログ出力レベル 279
11-2. アナログ入力音声レベルに対するデジタル出力レベル 280

12. アナログオーディオの接続 281

13. Dolby E エンコード／デコード信号アサイン表 282

14. REMOTE 283
14-1. 端子配列 283
14-2. GPI 入力回路 283
14-3. GPI 入力の制御について 284
14-4. GPI 出力回路 285

15. FA-95DACBL 装着方法 286
15-1. 装着手順 286
15-2. 実装確認 287

16. FA-95AIO オプション 288
16-1. FA-95AIO 端子配列 288
16-2. FA-95AIO 内部設定 289

17. PC 動作環境 290

18. SNMP 機能について 291

19. FA-9500 アンシラリデータパケット表示名一覧 299

20. AFD (Active Format Description) について 301
20-1. AFD コード一覧 302
20-2. AFD によるアスペクト変換一覧 304
20-3. AFD 対応信号規格一覧 308
20-4. AFD による自動アスペクト変換の設定 308
20-5. AFD 付き映像信号出力設定について 309
20-6. AFD 略称表記一覧 310
20-7. 変換方法の互換表 311

21. クローズドキャプションについて 312
21-1. クローズドキャプションの設定手順 312

22. 旧バージョンからのデータ読込について 313

23. 拡張スロットオプション取り外しについて 314
23-1. 警告表示 314
23-2. Dolby Option 変更後の設定確認項目 314
23-3. FA-95AIO 変更後の設定確認項目 314
23-4. FA-95ALA 変更後の設定確認項目 315

24. 拡張スロットオプション A/B 障害発生警告表示 315
25. 仕様および外観図 316
25-1. 仕様 316
25-2. 外観図 319
索引 320

1. 概要および特長

1-1. 概要

FA-9500 は映像制作に必要な各種機能を搭載したマルチパーパスシグナルプロセッサです。HD/SD-SDI およびアナログコンポジット入出力に対応し、フレームシンクロナイザとしての機能はもちろん、アップ/ダウン/クロス/アスペクトコンバータやカラーコレクタを標準搭載、各種ビデオ/オーディオ信号の変換が可能です。また、オプションで 3G-SDI 入出力、アナログコンポーネント入出力、セカンドコンバータ (アップ/ダウン/クロス/アスペクト変換)、オートビデオオプティマイザ、ロゴジェネレータ、Dolby E エンコーダ/デコーダなど数多くの追加機能を用意。多彩なオプションを組み合わせることで、回線、中継、報道、制作、編集、送出など、映像制作現場の全てに対し最適な機能を 1 台で提供します。

1-2. 特長

＜標準機能＞

- HD-SDI・SD-SDI・アナログコンポジット入出力
- デジタル・アナログオーディオ入出力
- アップ・ダウン・クロス・アスペクトコンバータ
- カラーコレクタ
- 強力なフレームシンクロナイザ機能
- その他の標準機能
  - ビデオディレイ
  - 2D/3D Y/C 分離コムフィルタ (アナログコンポジット)
  - WEB ブラウザからの監視/制御
  - SNMP 監視／制御 (一部)

＜オプション機能＞

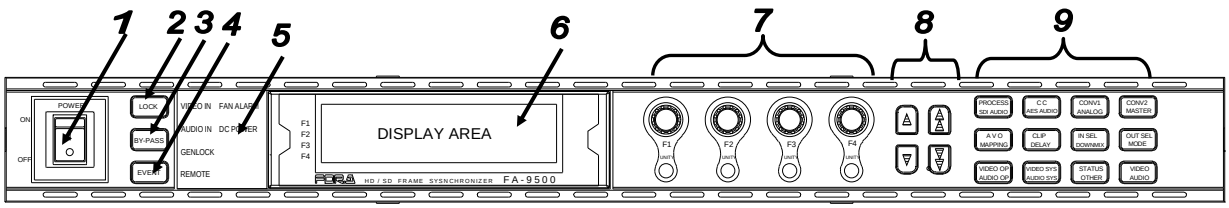
- 3G-SDI 信号対応
- オートビデオオプティマイザ機能 (AVO)
- セカンドコンバータ(アップ・ダウン・クロス・アスペクトコンバータ)
- チェンジオーバ機能
- リダンダント電源
- イーサネット・リモートユニット
- Dolby E/Digital デコーダ、Dolby E エンコーダ
- アナログコンポーネント入出力
- ロゴジェネレータ
- オートマチックラウドネスアジャストメント機能（ALA）

1-3. この取扱説明書について

本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

2. 各部の名称と機能

2-1. 前面パネル

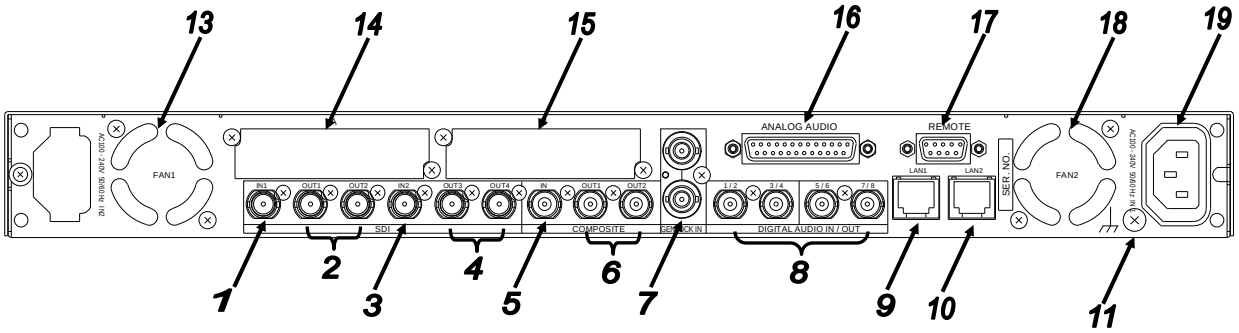


番号	名称	説明			参照
1	電源スイッチ	電源スイッチです。「｜」側に倒すと電源が入ります。			4-1
2	LOCK ボタン	フロントパネル操作をロックします。 ボタンを押すと点灯し、LOCK ボタン以外のフロントパネルの操作ができなくなります。ロックを解除するには、LOCK ボタンを長押しします。			
3	BY-PASS ボタン	ビデオ入力信号をバイパスして出力端子と接続します。 スイッチを押し点灯状態の場合、ビデオ入力信号は直接出力端子に送られます。詳細は、2-2 背面パネル の項目 2,4,6 を参照してください。			
4	EVENT ボタン	イベントメモリ操作に使用します。			8
5	ステータス ランプ	VIDEO IN	緑点灯	メニューで設定した入力に信号が入力されています。	5-7 5-13-2
			消灯	メニューで設定した入力に信号が入力されていません。	5-7 5-13-2
		AUDIO IN	緑点灯	AUDIO 信号が入力されています。	6-5
			消灯	AUDIO 信号が入力されていません。	6-5
		GENLOCK	緑点灯	外部同期信号が入力されています。 （SYNCHRO が INPUT 設定の場合、外部同期信号が入力されていても点灯しません。SYNCHRO の設定については、「5-10-1 FS MODE SET」を参照してください。）	5-10-1 5-13-2
			消灯	外部同期信号が入力されていません。	5-13-2
		REMOTE	緑点灯	CONTROL SETTING が REMOTE に設定されています。	7-1
			消灯	CONTROL SETTING が LOCAL に設定されています。	
		DC POWER *1	赤点灯	電源の DC 供給が異常です。電源を切り、販売代理店へ連絡してください。	5-13-1
			消灯	電源の DC 供給は、正常です。	5-13-1
		FAN ALARM	赤点灯	冷却ファンのひとつにあるいはそれ以上に異常があります。電源を切り、必要な場合はファンを交換してください。	5-13-1
			消灯	冷却ファンは全て正常に動作しています。	5-13-1
6	表示パネル	メニューの表示／設定に使用します。			4-2
7	コントロール (F1～F4) UNITY ボタン	メニュー設定に使用します。コントロールを回して設定値を変更します。初期値に設定したい場合は、UNITY ボタンを押します。			4-2
8	矢印ボタン	シングル	メニュー選択内の移動に使用します。 （移動できる方向の矢印が点灯します。）		4-2
		ダブル	メニュー選択ボタン単位の移動に使用します。 （移動できる方向の矢印が点灯します。）		4-2
9	メニュー ボタン	設定項目のメニュー選択ボタンです。			4-2

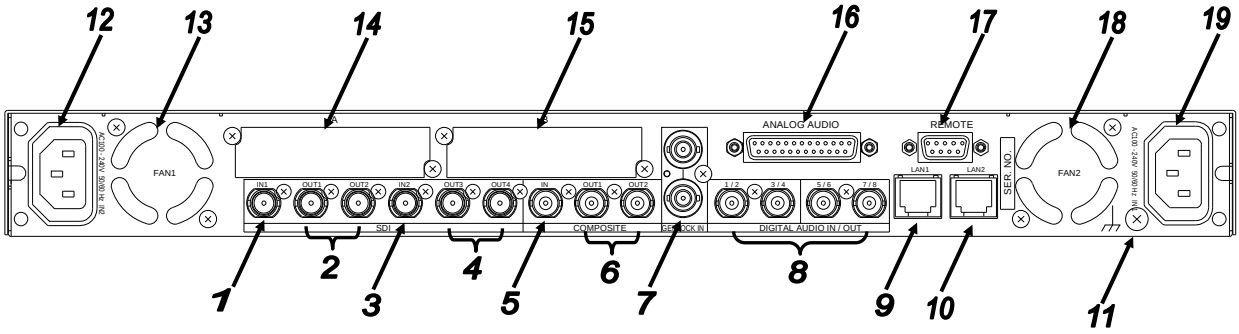
*1　DC POWER は、オプションの FA-95PS 購入時に機能します。

2-2. 背面パネル

◆ **標準仕様　FA-9500　背面図**



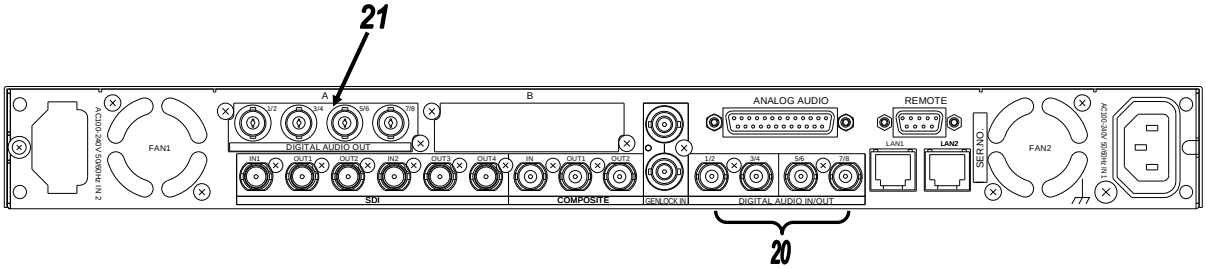
◆ **オプション FA-95PS 実装時　背面図**



番号	名称	説明	参照
1	SDI IN 1	HD/SD-SDI ビデオ信号 1 の入力コネクタです。	5-7
2	SDI OUT 1-2	HD/SD-SDI ビデオ信号で 1 系統目の出力コネクタです。 バイパス/電源 OFF の場合は、SDI IN 1 の入力が SDI OUT1 に出力されます。	
3	SDI IN 2	HD/SD-SDI ビデオ信号 2 の入力コネクタです。	5-7
4	SDI OUT 3-4	HD/SD-SDI ビデオ信号で 2 系統目の出力コネクタです。 バイパス/電源 OFF の場合は、SDI IN 2 の入力が SDI OUT3 に出力されます。	
5	COMPOSITE IN	アナログコンポジット信号の入力コネクタです。	5-7
6	COMPOSITE OUT 1-2	アナログコンポジット信号の出力コネクタです。 バイパス/電源 OFF の場合は、COMPOSITE IN の入力が COMPOSITE OUT1 に出力されます。	
7	GENLOCK IN	ゲンロック信号の入力コネクタです。基準となる同期信号（ブラックバースト信号または 3 値シンク信号）を入力します。下のコネクタはループスルーコネクタです。ループスルーで接続しない場合は、必ず 75Ω で終端してください。	
8	DIGITAL AUDIO IO 1/2～7/8	デジタルオーディオの入力/出力コネクタです。 6-2-5 AES I/O SETUP で、入力/出力を設定します。	6-2-5
9	LAN1	10/100/1000BASE-TX のイーサネットポートです。外部機器からのリモートコントロールまたは外部機器へのデータ伝送に使用します。RJ-45 コネクタ	
10	LAN2	10/100/1000BASE-TX のイーサネットポートです。外部機器からのリモートコントロールまたは外部機器へのデータ伝送に使用します。RJ-45 コネクタ（拡張用で機能しません。）	
11	Ground Terminal	FA-9500 を安全に使用して頂くために、アースを設置して使用してください。	
12	AC IN 2	AC 電源入力です。AC100V～240V を入力してください。 2 重化電源オプション FA-95PS を購入時に接続可能となります。 「5-13-1 UNIT ALARM」メニューの DC POWER 2 に動作状態が表示されます。(オプションの FA-95PS 搭載時に表示されます。)	

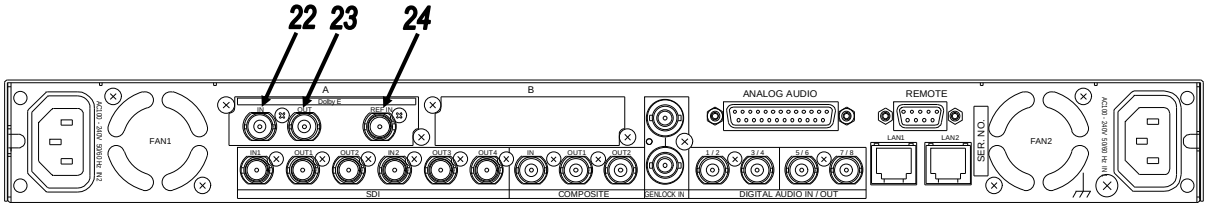
番号	名称	説明	参照
13	FAN1	本体内部の発熱による温度上昇を抑えるためのファンです。内部の空気を吹き出しますので、出口を塞がないように設置してください。「5-13-1 UNIT ALARM」メニューの FAN1 に動作状態が表示されます。	
14	SLOT A	拡張機能用 OPTION　SLOT A です。	15
15	SLOT B	拡張機能用 OPTION　SLOT B です。	15
16	ANALOG AUDIO	4 チャネルアナログオーディオの入出力コネクタです。 接続方法は、「12 アナログオーディオの接続」を参照してください。	12
17	REMOTE	外部制御用端子です。 各端子に機能割り付けをして使用します。 機能割り付けは、「7-4 GPI SETTING」を参照してください。 接続方法等は、「14 REMOTE」を参照してください。	7-4 14
18	FAN2	本体内部の発熱による温度上昇を抑えるためのファンです。内部の空気を吹き出しますので、出口を塞がないように設置してください。「5-13-1 UNIT ALARM」メニューの FAN2 に動作状態が表示されます。	
19	AC IN1	AC 電源を入力してください（AC100V-240V 50/60Hz）。 「5-13-1 UNIT ALARM」メニューの DC POWER 1 に動作状態が表示されます。(オプションの FA-95PS 搭載時に表示されます。)	

◆ **オプション FA-95DACBL 実装時　背面図**



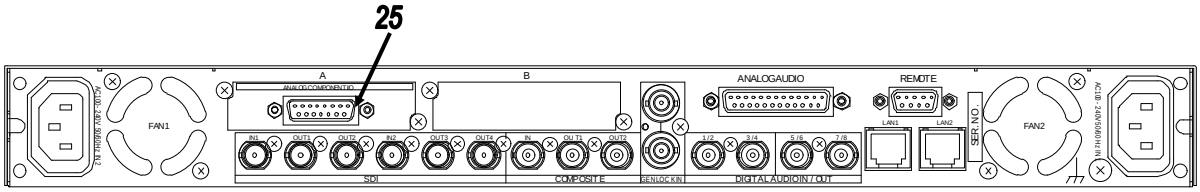
番号	名称	説明	参照
20	DIGITAL AUDIO IO 1/2～7/8	デジタルオーディオの入力/出力コネクタです。 FA-95DACBL オプション実装時は入力専用コネクタとなります。	
21	DIGITAL AUDIO OUT 1/2～7/8	デジタルオーディオの出力コネクタです。 （上図は FA-95DACBL オプションを SLOT A に装着した状態です。SLOT B に実装することもできます。）	15

◆ **オプション FA-95D-D/DE-E 実装時　背面図**



番号	名称	説明	参照
22	Dolby E IN (AUX IN)	FA-95D-D/DE-E オプションのデジタルオーディオ入力端子です。 Dolby デコーダに入力する Dolby E や Dolby Digital 信号をこの端子から入力することができます。	6-9-1-2
23	Dolby E OUT (AUX OUT)	FA-95D-D/DE-E オプションのデジタルオーディオ出力端子です。 Dolby デコーダや Dolby エンコーダの出力をこの端子から出力することができます。	6-9-1-1
24	REF IN	FA-95D-D/DE-E オプションのリファレンス信号入力端子です。 Dolby デコーダの基準となる同期信号（ブラックバースト信号または 3 値シンク信号）を入力します。この端子は内部で 75Ω 終端されます。	6-9-1-3

◆ オプション **FA-95AIO** 実装時　背面図



番号	名称	説明	参照
25	ANALOG COMPONENT I/O	FA-95AIO オプションのアナログコンポーネント信号の入出力端子です。 付属の専用入出力ケーブルと接続します。	16

2-3. 内部の設定

注意	内部の設定は変更しないでください。誤って変更してしまった場合は、この章の工場出荷時設定を参照して、正しい設定に戻してください。 なお、本体ケースを開けて設定や調整を行う場合は、必ず専門の知識をもった方が行うか、または代理店にご連絡ください。

 注意	本体内部基板などにふれるときは、感電防止のため、必ず本体の電源スイッチを OFF にしてください。静電気による部品の損傷を防ぐため、基板上の部品にはふれないようにしてください。

2-3-1. ディップスイッチ設定

以下の設定は製品内部の MAIN CARD 上のディップスイッチで行います。

◆ **ディップスイッチ S1 設定**

ピン番号	初期設定	設定
1	ON	設定変更不可
2	OFF	設定変更不可
3	OFF	設定変更不可
4	OFF	設定変更不可
5	OFF	設定変更不可
6	OFF	設定変更不可
7	OFF	設定変更不可
8	OFF	設定変更不可

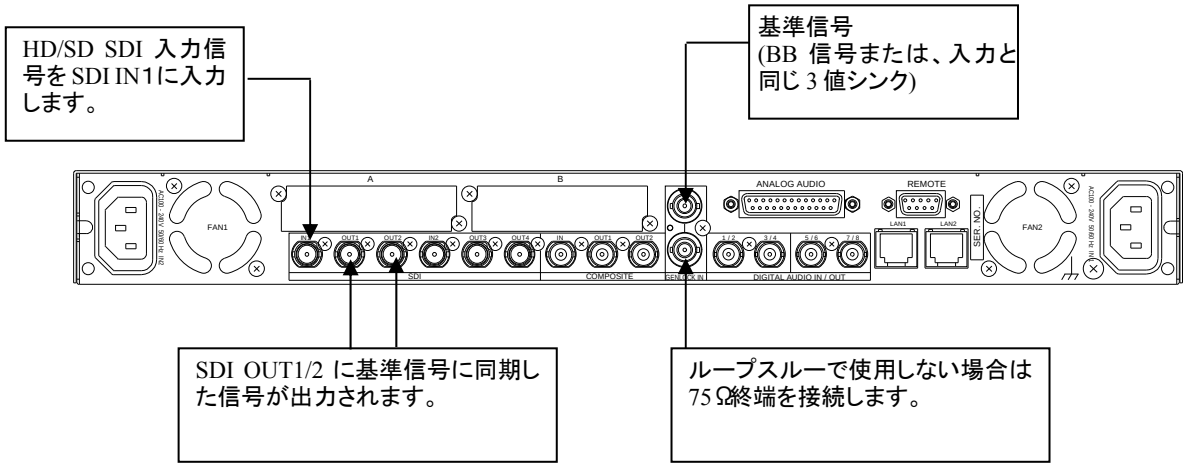
◆ **ディップスイッチ S 2 設定**

ピン番号	初期設定	設定
1	ON	設定変更不可
2	OFF	設定変更不可
3	OFF	設定変更不可
4	OFF	設定変更不可
5	OFF	FA-95DACBL を SLOT A に実装時：OFF FA-95DACBL を SLOT B に実装時：ON FA-95DACBL 未実装時：OFF
6	OFF	設定変更不可
7	OFF	FA-95PS 未実装時：OFF FA-95PS 実装時：ON
8	OFF	設定変更不可

3. 接続

各用途別に接続方法と設定項目について説明します。各設定は、購入時の初期設定を基準に記載してあります。設定状態が不明な場合は、「8-1 EVENT LOAD」を参照し DEFAULT のイベント LOAD を実施してください。

3-1. HD /SD-SDI Frame Synchronizer として使用する場合



設定の確認項目

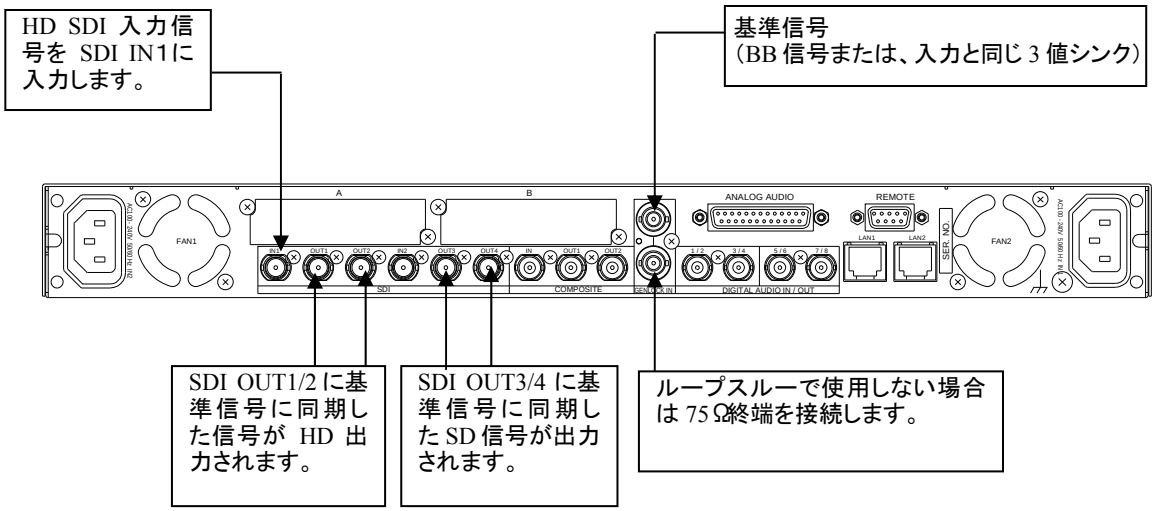
- 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」メニューで、IN SEL を SDI 1 に設定
- 「5-3-2 CONV1 U/D MODE」メニューで、CONV1 を BY-PASS に設定
- 「5-8 VIDEO OUT SELECT(OUT SEL) 」メニューで、SDI1/2 OUT SET を CONV1 に設定（SDI 出力数を増やしたい場合は、SDI3/4 OUT SET を CONV1 に設定すると、SDI3/4 からも同期した信号が出力されます。）
- 「5-10-1 FS MODE SET」メニューの SYNCHRO で同期モードを選択します。
- 「5-10-1 FS MODE SET」メニューで、SYS FRMT の設定が、入力信号に対し適切に設定されていることを確認してください。
- 「5-10-6 HD PHASE」メニューで、必要に応じて基準信号に対する位相と位置を調整します。

- SDI IN1 が SD-SDI 入力信号の場合、COMPOSITE 出力にも、出力が可能となります。「5-8 VIDEO OUT SELECT(OUT SEL) 」メニューで、COMPOSITE を CONV1 に設定してください。COMPOSITE 出力に映像が出力されます。COMPOSITE 出力の位相調整したい場合は、「5-10-7 SD PHASE SET」を参照し適宜調整を行ってくだい。

☞

- SDI IN1/SDI IN2/COMPOSITE IN 端子に信号入力させておいて、信号を選択することも可能です。入力信号の切り替えは、「5-7-1 VIDEO INPUT SET」メニューの、IN SEL で行います。

3-2. HD/SD-SDI サイマル出力（入力信号が HD-SDI の場合）

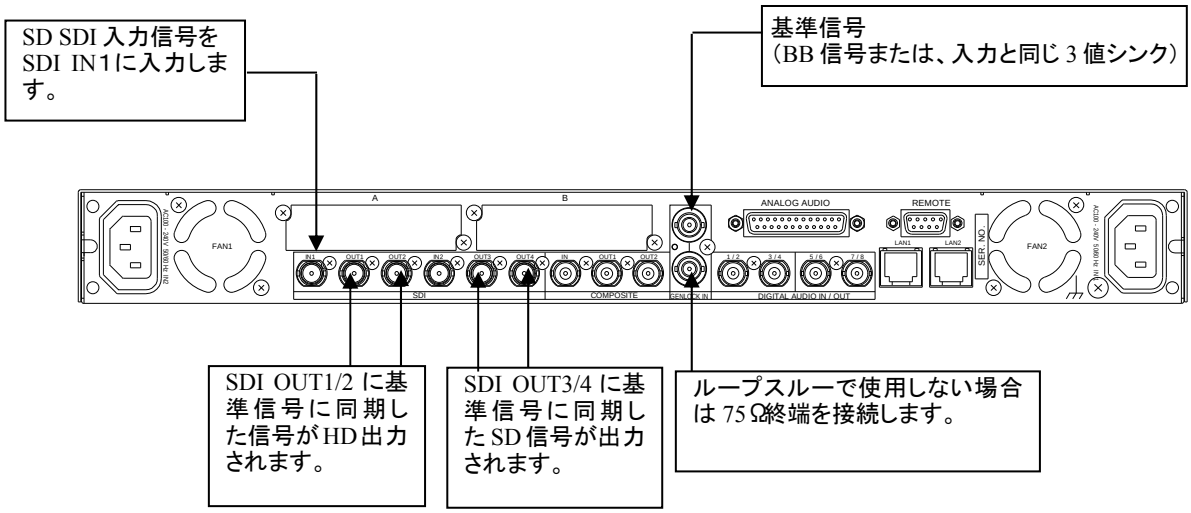


設定の確認項目

- 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」メニューで、IN SEL を SDI1 に設定
- 「5-3-2 CONV1 U/D MODE」メニューで、CONV1 を SD に設定
- 「5-8-2, 5-8-3 SDI1/2 OUT SET 」ニューで、SDI1/2 OUT SET を CONV2 に設定
- 「5-8-4, 5-8-5 SDI3/4 OUT SET 」メニューで、SDI3/4 OUT SET を CONV1 に設定
- 「5-10-1 FS MODE SET」メニューの、SYNCHRO で同期モードを選択します。
- 「5-10-1 FS MODE SET」メニューで、SYS FRMT の設定が、入力信号に対し適切に設定されていることを確認してください。
- 「5-10-6 HD PHASE」メニューで、基準信号に対する HD 出力位相を調整します。（基準信号に対し、SDI OUT1/2 の出力が変更されます。）
- 「5-10-7 SD PHASE SET」メニューで、基準信号に対する SD 出力位相を調整します。（基準信号に対し、SDI OUT3/4 の出力が変更されます。）

☞ SDI IN1/SDI IN2/COMPOSITE IN 端子に信号入力させておいて、信号を選択することも可能です。入力信号の切り替えは、「5-7-1 VIDEO INPUT SET」 メニューの、IN SEL で行います。

3-3. HD/SD-SDI サイマル出力（入力信号が SD-SDI の場合）

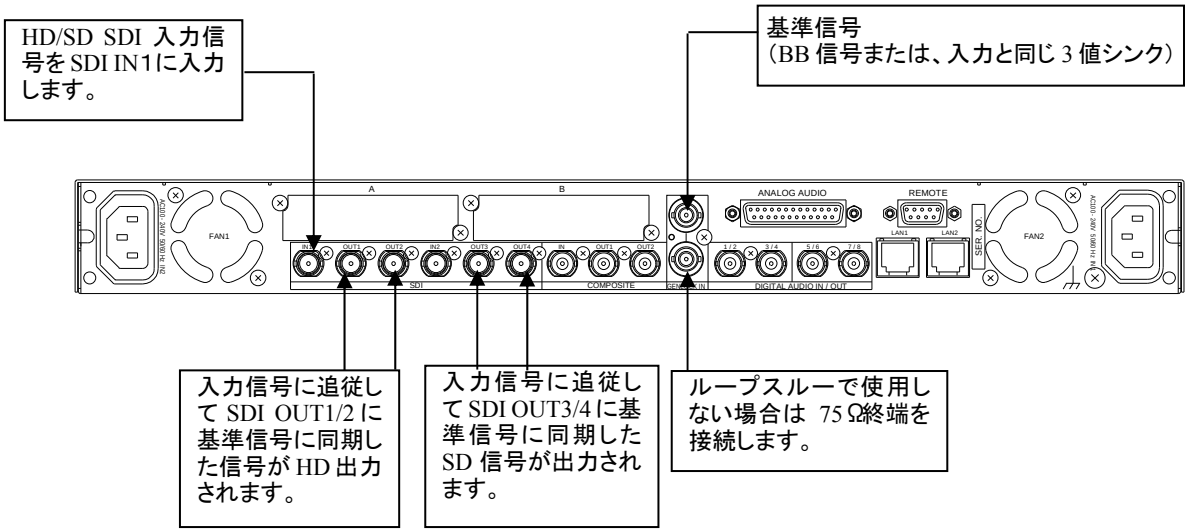


設定の確認項目

- 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」メニューで、IN SEL を SDI 1 に設定
- 「5-3-2 CONV1 U/D MODE」メニューで、CONV1 を 1080i に設定
  (720p に変換したい場合は、720p に設定します。)
- 「5-8-2, 5-8-3 SDI1/2 OUT SET 」メニューで、SDI1/2 OUT SET を CONV1 に設定
- 「5-8-4, 5-8-5 SDI3/4 OUT SET 」メニューで、SDI3/4 OUT SET を CONV2 に設定
- 「5-10-1 FS MODE SET」メニューの、SYNCHRO で同期モードを選択します。
- 「5-10-1 FS MODE SET」メニューで、SYS FRMT の設定が、入力信号に対し適切に設定されていることを確認してください。
- 「5-10-6 HD PHASE」メニューで、基準信号に対する HD 出力位相を調整します。(基準信号に対し、SDI OUT1/2 の出力が変更されます。)
- 「5-10-7 SD PHASE SET」メニューで、基準信号に対する SD 出力位相を調整します。(基準信号に対し、SDI OUT3/4 の出力が変更されます。)

3-4. HD/SD-SDIサイマル出力（FA-95SCNVを使用する場合）

オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合、入力の HD/SD 信号によらず、SDI OUT1/2 には常に HD SDI 信号を出力し、SDI OUT3/4 には、常に SD-SDI 信号を出力することが可能です。

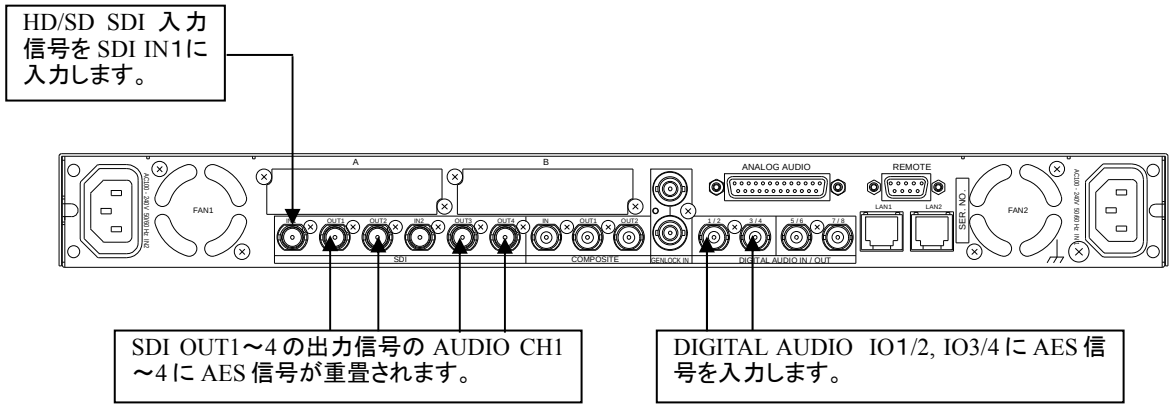


設定の確認項目

- 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」メニューで、IN SEL を SDI1 に設定
- 「5-3-2 CONV1 U/D MODE」メニューで、CONV1 を 1080i に設定
  （720p に変換したい場合は、720p に設定します。)
- 「5-4-1 CONV2 U/D MODE」メニューで、CONV2 を SD に設定
- 4:3 の映像に変換する場合は、CONV1 U/D MODE の ASPECT を 16:9 P 4:3 に、CONV2 U/D MODE の ASPECT を 4:3 F 4:3 に設定します。さらに「5-7-2 SD INPUT ASPECT」の ASPECT を 4:3 に設定してください。
  入力信号の AFD に連動してアスペクトを自動変換する場合は、変換したい自動モードを AFD(4:3), AFD-ALT(4:3), AFD(16:9) , AFD-ALT(16:9) から選択します。AFD に連動させる場合は、入力信号に AFD が重畳されている必要があります。重畳されているかどうかは「5-15 AFD IN STATUS」で確認できます。入力信号が 525/50, 625/50 の場合、S20163-3, VI（Video Index）または、WSS（Wide-Screen Signalling）の AFD に連動することも可能です。どの AFD に連動させるかは、「5-10-15 ANC DETECT SEL」の AFD の設定で S2016-3 AFD, RP186VI, BT1119 WSS を選択します。入力信号の AFD に連動してアスペクトを自動変換する場合は「5-10-9 CONV1 ANC SET」, 「5-10-10 CONV2 ANC SET」の ANC MODE を DETAIL に設定してください。
- 「5-8-2, 5-8-3 SDI1/2 OUT SET 」メニューで、SDI1/2 OUT SET を CONV1 に設定
- 「5-8-4, 5-8-5 SDI3/4 OUT SET 」メニューで、SDI3/4 OUT SET を CONV2 に設定
- 「5-10-1 FS MODE SET」メニューの SYNCHRO で同期モードを選択します。
- 「5-10-1 FS MODE SET」メニューで、SYNC FRMT の設定を AUTO DET に設定します。
- 「5-10-6 HD PHASE SET」メニューで、基準信号に対する HD 出力位相を調整します。
  （基準信号に対し、SDI OUT1/2 の出力が変更されます。）
- 「5-10-7 SD PHASE SET」メニューで、基準信号に対する SD 出力位相を調整します。
  （基準信号に対し、SDI OUT3/4 の出力が変更されます。）
- FA-9500 の出力映像信号に AFD を重畳する場合は、「5-10-9 CONV1 ANC SET」, 「5-10-10 CONV2 ANC SET」の ANC MODE を DETAIL に設定し、「5-10-16 ANC DATA EMBED」で重畳したい AFD をコンバータ毎に設定してください。

3-5. AES 入力信号を SDI にエンベッドする場合

4 チャネルの AES 信号を SDI OUT1～4 にエンベッドする方法について説明します。



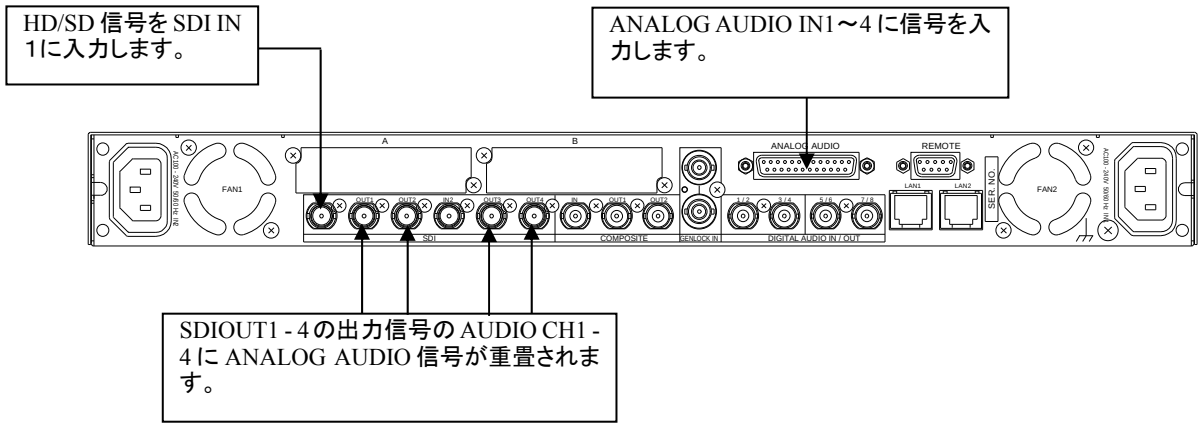
設定の確認項目

- 「6-5-1 SOURCE/SRC SEL」メニューで、SOURCE SEL 1/2 を選択、SOURCE SET を AES1/2 に設定します。同様に、SOURCE SEL 3/4 を選択、SOURCE SET に AES3/4 を設定します。

☞ 必要に応じて「6-2 AES AUDIO 設定（AES AUDIO）」項目の内容を設定してください。

3-6. ANALOG AUDIO 入力信号を SDI にエンベッドする場合

4 チャネルの ANALOG AUDIO 信号を SDI OUT1～4 にエンベッドする方法について説明します。



設定の確認項目

- 「6-5-1 SOURCE/SRC SEL」メニューで、SOURCE SEL 1/2 を選択、SOURCE SET を ANA1/2 に設定します。
  同様に、SOURCE SEL 3/4 を選択、SOURCE SET を ANA3/4 に設定します。

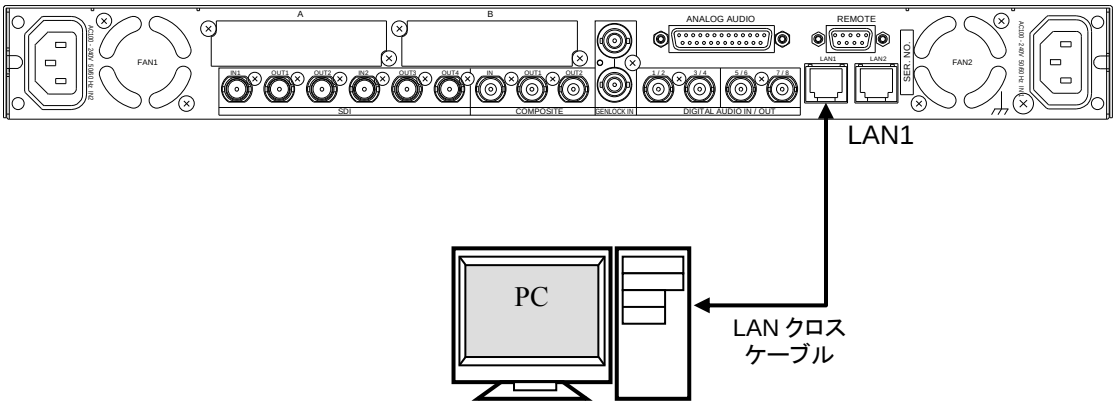
☞

- ANALOG AUDIO の端子接続は、「12 アナログオーディオの接続」を参照してください。
- 必要に応じて「6-3 ANALOG AUDIO の設定(ANALOG)」項目の内容を設定してください。

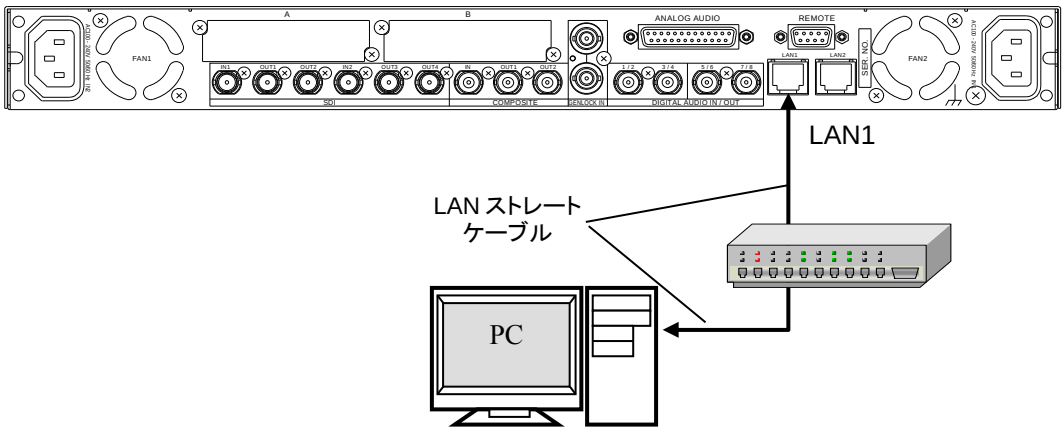
3-7. パソコンとの接続

FA-9500 は、パソコンと接続し WEB ブラウザから FA-9500 を制御する事ができます。
接続方法について説明します。

◆ クロスケーブルを使用した場合の接続



◆ ネットワーク用ハブを使用した場合の接続



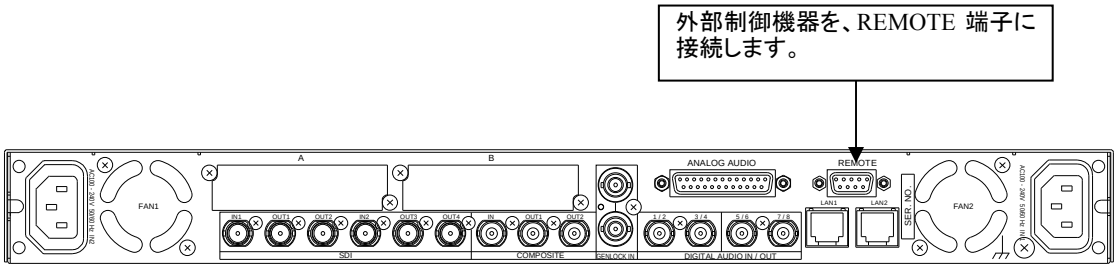
ご購入時は、ご使用のネットワーク環境に合わせて FA-9500 のネットワークを設定する必要があります。

- FA-9500 の出荷時 LAN1 の IP アドレスは、192.168.0.10 に設定されています。
- パソコン側の IP アドレス、サブネットマスクを設定します。
  パソコン側の IP アドレス：192.168.0.1～192.168.0.254 (192.168.0.10 を除く)
  サブネットマスク： 255.255.255.0
  Windows OS の場合は、通常「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を開き
  「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面で設定します。
  詳しくはご使用のコンピュータのユーザーズマニュアルを参照してください。
- パソコンの WEB ブラウザを起動し、接続先を http://192.168.0.10 と入力します。
- 出荷時設定のユーザー名：fa9500　パスワード：foranetwork を入力します。
- FA-9500 の制御画面が表示されます。
- FA-9500 の IP アドレスの変更は、「9-8 Network 設定」を参照してください。
- WEB ブラウザ制御画面の詳細は、「9. WEB ブラウザ制御」を参照してください。

☞ FA-9500 の IP アドレスを前面パネルで確認することができます。
詳しくは、「7-5 NETWORK INFO」を参照してください。

3-8. REMOTE（GPI）端子接続

REMOTE 端子を外部機器と接続し、簡単に FA-9500 を制御することが可能です。
７つの制御ポートがあります。ポート毎に機能を割り付けて使用します。



- 端子配列および、外部機器との制御タイミングについては、「14. REMOTE」を参照してください。
- 各ポートの機能割り付けは、「7-4 GPI SETTING」を参照してください。

4. 前面パネルの操作

4-1. 電源を入れる

全ての機器が正しく接続されたのを確認して電源を入れます。起動中は ALARM ランプを含めランプ類が点灯しますが、起動が完了すると消灯し、メニューディスプレイには、VIDEO STATUS メニューが表示され、入力されているビデオ信号/同期信号のフォーマットが表示されます。

```
 VIDEO IN STATUS      502
SDI1:1080/59i
SDI2:525/60
COMPOSITE:525/60
REFERENCE:525/60
```

FA-95LG がインストールされていて、ロゴデータが登録されている場合：
メニューディスプレイには、下記のようにメッセージと読み込み状況が表示されます。
ロゴデータの読み込みには最長 2 分 30 秒程度かかります。

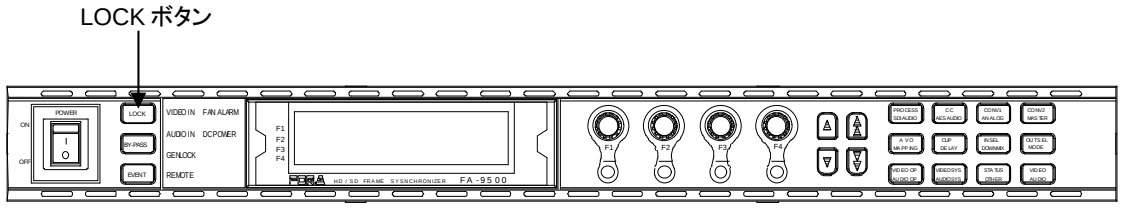
```
LOADING LOGO DATA...

      00% COMPLETE
```

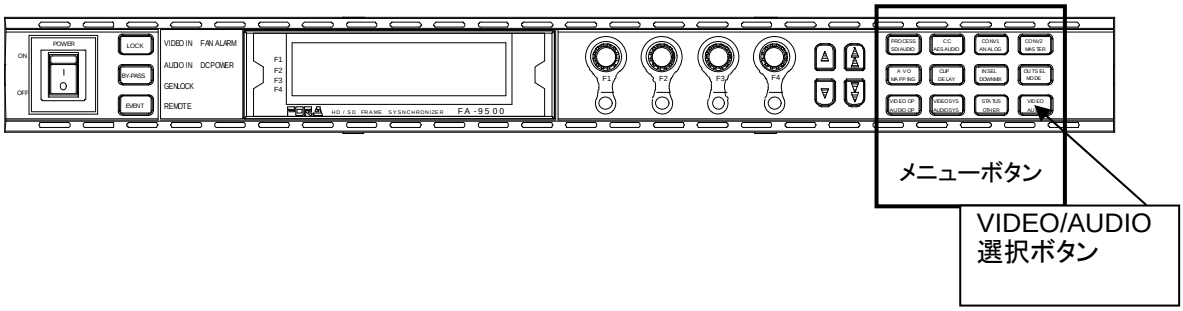
4-2. 基本操作

この章では FA-9500 の前面メニューの選択/パラメータ設定等の基本操作の方法について説明します。
ほとんどのメニューは、基本操作で設定可能ですが、一部基本操作と異なる方法で設定する場合があります。各メニューの説明を参照してください。
FA-9500 の前面操作には、設定変更が直ぐに反映される NORMAL 操作モードと、一部設定に対し設定を反映する前に設定変更の確認を行う LIVE SAFE 操作モードの 2 つのモードがサポートされています。NORMAL 操作モードと LIVE SAFE 操作モードの切替えは、「7-3 FRONT OPERATION」で行います。工場出荷時は、NORMAL 操作モードに設定されています。LIVE SAFE 操作モード時に設定変更の確認画面が表示されるメニューは、「4-2-2 メニュー一覧」に黒丸●で表示してあります。

注意	操作を始める前に、前面の LOCK ボタンが消灯していることを確認してください。 LOCK ボタンが点灯中は、前面パネルがロック状態で操作できません。前面の LOCK ボタンを長押してロックを解除してください。



4-2-1. メニューを選択する



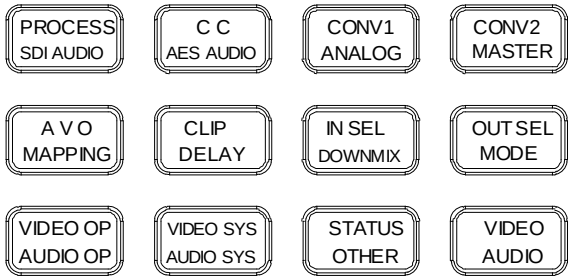
メニューボタン右下の VIDEO/AUDIO ボタンを押す毎に、VIDEO 関連メニューか、AUDIO 関連メニューかの切り替えを選択します。VIDEO 関連メニュー選択時は、メニューボタンが緑色に点灯します。AUDIO 関連のメニュー時は、オレンジ色に点灯します。

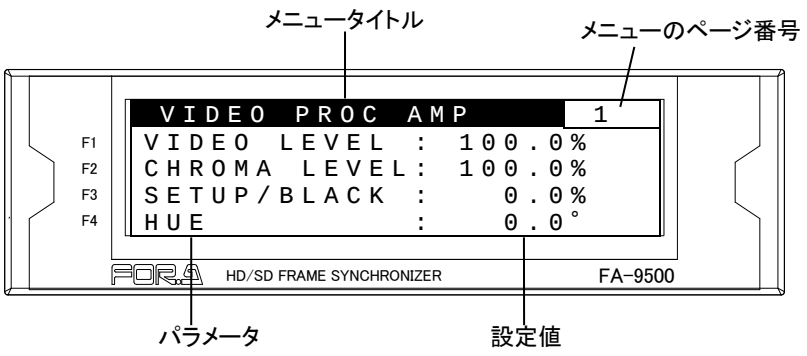
VIDEO 関連メニュー選択（緑点灯）時は、各メニューボタン シルク上側の内容が選択可能となります。AUDIO 関連メニュー選択（オレンジ点灯）時は、各メニューボタンのシルク下側の内容が選択可能となります。メニューボタンを押すと、メニューボタンに表示されているメニューがディスプレイに表示されます。メニューは、項目毎に分けられています。メニューボタン選択時に複数のページ設定がある場合は、上下シングル矢印ボタンでメニュー移動して設定を行います。

上下シングル矢印ボタンは、移動可能な場合に点灯します。消灯した場合は、移動できません。

上下ダブル矢印ボタンを押すと、VIDEO 関連メニュー/ AUDIO 関連メニューの各ボタンの先頭メニューに移動します。

◆ **メニュー選択ボタン**





この図の例では、PROCESS/SDI AUDIO ボタンが押され、VIDEO PROC AMP メニューが表示されています。

4-2-2. メニューー一覧

右下の VIDEO/AUDIO ボタンで､VIDEO 関連の設定と AUDIO 関連の切り替えをします。このボタンを押す毎に、VIDEO（緑点灯）と AUDIO（オレンジ点灯）が切り換わります。メニューボタンに記載されている、上側が VIDEO 関連（緑点灯）の設定項目になっており下側が、AUDIO 関連（オレンジ点灯）の設定項目になっています。
(表中●のメニューは、LIVE SAFE 操作モード時設定を反映する前に変更の確認をするメニューです。)

メニューボタン	VIDEO 関連（緑点灯）	AUDIO 関連（オレンジ点灯）
PROCESS SDI AUDIO	◇VIDEO PROC AMP	◇SDI AUDIO GAIN ●SDI REMAPPING SDI MONO SUM SDI AUDIO CLOCK SDI IN AUDIO
CC AES AUDIO	◇WHITE LEVEL BLACK LEVEL GAMMA LEVEL COLOR CORRECT	◇AES IN GAIN AES HYSTERESIS ●AES REMAPPING AES MONO SUM AES I/O SETUP *3
CONV1 ANALOG	◇●CONV1 U/D MODE CONV1 SIZE/POS CONV1 CROPPING CONV1 IMPROVE CONV1 SIDE RGB	◇ANALOG IN LEVEL ANALOG IN GAIN ANALOG OUT LEVEL ANALOG OUT GAIN ●ANALOG REMAPPING ANALOG MONO SUM ●ANALOG SYSTEM
CONV2 *1 MASTER	◇●CONV2 U/D MODE *1 CONV2 SIZE/POS *1 COMV2 CROPPING *1 CONV2 IMPROVE *1 CONV2 SIDE RGB *1	◇MASTER OUT GAIN
AVO *2 MAPPING	◇●AVO SETTING *2 USER1-5 LEVEL SET *2 USER1-2 AREA SET *2 AVO SETUP *2	◇SOURCE/SRC SEL
CLIP DELAY	◇YPbPr/RGB CLIP COMPOSITE CLIP	◇AUDIO DELAY
IN SEL DOWN MIX	◇●VIDEO INPUT SET ●SD INPUT ASPECT *1 CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET *4 SDI ERROR TRG *4 FORMAT ERROR TRG *4 CRC ERROR TRG *4 BLACK VIDEO TRG *4 AUDIO LOSS TRG *4 AUDIO ERR TRG *4 SILENCE TRG *4 CHGOV STATUS *4 CHGOV VID STATUS *4 CHGOV AUD STATUS *4 AUD LOSS STATUS *4 AUD ERROR STATUS *4 SILENCE STATUS *4	◇DOWN MIX SET DOWN MIX ASSIGN
OUT SEL MODE	◇●VIDEO OUT MODE ◇●SDI1/2 OUT SET ●SDI3/4 OUT SET ●COMPOSITE SET ●COMPONENT SET *7	◇AUDIO MODE SET
VIDEO OP AUDIO OP	◇CONV1 LOGO SEL *8 CONV1 KEYER SET *8 CONV2 LOGO SEL *8 CONV2 KEYER SET *8	◇●Dolby AUX OUT *5 ●Dolby DEC INPUT *5 ●Dolby DEC REF *5 ●Dolby DOWNMIX *5 Dolby DEC GAIN *5 ◇Dolby ENC INPUT *6 ●Dolby ENC SET *6 ●METADATA INPUT*6 ◇LOUD MEASURE 1, 2 *9 LOUD CTRL ENA1, 2 *9 LOUD CTRL SET1, 2 *9 LOUD CH ASGN1, 2 *9 ◇LOUD STANDARD *9

メニューボタン	VIDEO 関連（緑点灯）	AUDIO 関連（オレンジ点灯）
VIDEO SYS AUDIO SYS	◇●FS MODE SET FREEZE SET COMPOSITE SET ●VIDEO SUB ●TEST SIGNAL HD PHASE SET SD PHASE SET VIDEO POSITION ●CONV1 ANC SET ●CONV2 ANC SET CONV1 AUDIO GRP CONV2 AUDIO GRP SD LINE MASK ANC DETECT LINE *1 ANC DETECT SEL ANC DATA EMBED ANC EMBED LINE ANC LOSS SET *1 WSS AFD ERROR *1 NTSC SETUP *7 ●PAL-M MODE SET	◇●FADE IN/OUT ●DIGITAL AUDIO ●AUDIO ERR SENSE ●DIGITAL SILENCE
STATUS OTHER	◇UNIT ALARM ◇VIDEO IN STATUS COMPONENT INPUT *7 ◇VIDEO OUT STATUS COMPONENT OUTPUT *7 ◇SOURCE AUDIO CH1～16 ◇SDI1 IN AUDIO CH1～16 ◇SDI2 IN AUDIO CH1～16 ◇AES IN AUDIO CH1～8 ◇ANALOG IN AUDIO CH1～4 ◇SDI1/2 OUT AUDIO CH1～16 ◇SDI3/4 OUT AUDIO CH1～16 ◇AES OUT AUDIO CH1～8 ◇ANALOG OUT AUDIO CH1～4 ◇Dolby AUX STATUS *5 ◇AFD IN STATUS *1 *10 ANC IN STATUS *10 ANC IN STATUS1-2 ◇CONV1 ANC OUT CONV1 S2016 OUT *1 CONV1 VI OUT *1 CONV1 WSS OUT *1 CONV1 ANC OUT1 ◇CONV2 ANC OUT CONV2 S2016 OUT *1 CONV2 VI OUT *1 CONV2 WSS OUT *1 CONV2 ANC OUT1 *1	◇●CONTROL SETTING FRONT OPERATION FRONT PANEL SET GPI SETTING NETWORK INFO UNIT Ver. OPTION A Ver. OPTION B Ver. OTHER OPTION SOFT OPTION1 SOFT OPTION2
VIDEO AUDIO	VIDEO 関連の設定	AUDIO 関連の設定

*1 オプションの FA-95SCNV がインストールされないと動作しません。
*2 オプションの FA-95AVO がインストールされないと動作しません。
*3 オプションの FA-95DACBL が装着されている場合、メニュー表示されません。
*4 オプションの FA-95CO がインストールされていない場合、メニュー表示されません。
*5 オプションの FA-95D-D が装着されていない場合、メニュー表示されません。
*6 オプションの FA-95DE-E が装着されていない場合、メニュー表示されません。
*7 オプションの FA-95AIO が装着されていない場合、メニュー表示されません。
*8 オプションの FA-95LG がインストールされていない場合、メニュー表示されません。
*9 オプションの FA-95ALA が装着されていない場合、メニュー表示されません。
*10 上下ダブル矢印ボタンで移動する場合、FA-95SCNV がインストールされていないときは、AFD IN STATUS ではなく、ANC IN STATUS へ移動します。
◇上下ダブル矢印ボタンで主なメニュー（◇印のメニュー）へ移動することができます。◇はメニューディスプレイには表示されません。
●が付いているメニューは、LIVE SAFE 操作モード状態で設定を変更した場合、上下シングル矢印ボタンと設定を変更したロータリエンコーダの周辺が点滅表示され、設定変更確認状態表示になります。操作モードを LIVE SAFE 操作モードに設定するには「7-3 FRONT OPERATION」を参照して設定してください。

4-2-3. 矢印ボタン操作について

◆　上下ダブル矢印ボタンの操作

＜NORMAL 操作モード時＞

上下ダブル矢印ボタンを操作すると、VIDEO 関連メニュー/ AUDIO 関連メニューの各ボタンの先頭メニューに移動します。また、STATUS / OTHER メニューの中では、さらに VIDEO 関連の主なメニュー（メニューリストの◇印）に移動します。

＜LIVE SAFE 操作モード時＞

NORMAL モード時と同じ動作ですが、上下シングル矢印ボタンが点滅（設定変更を確認するメニューの設定が変更された場合の、設定変更確認状態表示）しているときは操作できません。

◆　上下シングル矢印ボタンの操作

＜NORMAL 操作モード時＞

上下シングル矢印ボタンを操作すると、各ボタン内のメニュー間を移動します。

移動できるメニューが無くなると、移動方向の上下シングル矢印ボタンが消灯します。

＜LIVE SAFE 操作モード時＞

設定変更を確認するメニューの設定が変更されると上下シングル矢印ボタンが点滅し、設定変更確認状態表示になります。設定変更を反映する場合は、下シングル矢印ボタンを押します。上シングル矢印ボタンを押すと設定がキャンセルされ設定変更前の設定が表示されます。

設定変更確認状態のときは、上下シングル矢印ボタンのどちらかのボタンを押すまで、上下シングル矢印ボタン以外のボタン操作はできません。

設定変更確認状態中が表示されるメニューは、「4-2-2 メニュー一覧」に黒丸（●）で表示されています。

4-2-4. 設定値の連続確認

＜NORMAL 操作モード時＞

メニューボタン選択中（メニューボタンのいずれかが点灯状態）に上下シングル矢印ボタンを 2 つ同時に押すと、設定値の連続確認モードになります。

連続確認モード中は、上下シングル矢印ボタンが点滅状態になります。

再度上下シングル矢印ボタンを 2 つ同時に押すと、連続確認モードが解除されます。連続確認モード解除になると、上下シングル矢印ボタンが通常表示になります。

連続確認モード中に、上下シングル矢印ボタンを押すとメニューボタンの項目をまたがって上から下へ、または下から上へ順次設定可能なメニューを表示します。さらに、上下シングル矢印ボタンを押し続けると、連続して設定可能なメニューを順次表示します。

＜LIVE SAFE 操作モード時＞

NORMAL モード時と同じ動作ですが、上下シングル矢印ボタンが点滅状態の、設定変更確認状態表示中は設定値の連続確認はできません。設定を確定すると、連続確認が行えるようになります。

表示順序

◆　**VIDEO 関連（緑点灯）選択時**

下シングル矢印ボタンを押し続けた場合、「4-2-2 メニュー一覧」の順序で“PROCESS”の VIDEO PROC AMP から“STATUS”の CONV2 ANC OUT1 に向かって順次表示されます。上シングル矢印ボタンを押し続けた場合は、逆の“STATUS”の CONV2 ANC OUT1 から“PROCESS”の VIDEO PROC AMP に向かって順次表示されます。

◆ **AUDIO 関連（オレンジ点灯）選択時**

下シングル矢印ボタンを押し続けた場合、「4-2-2 メニュー一覧」の順序で“SDI AUDIO”の SDI AUDIO GAIN から“OTHER”の SOFT OPTION2 に向かって順次表示されます。上シングル矢印ボタンを押し続けた場合は、逆の“OTHER”の SOFT OPTION2 から“SDI AUDIO”の SDI AUDIO GAIN に向かって順次表示されます。

※ EVENT ボタン操作で表示されるメニューは連続で確認することはできません。また、連続確認モードに入ることもできません。

※ 連続確認モード中に、EVENT ボタンを押すと連続確認モードは強制解除されます。

4-2-5. 関連ページ移動機能

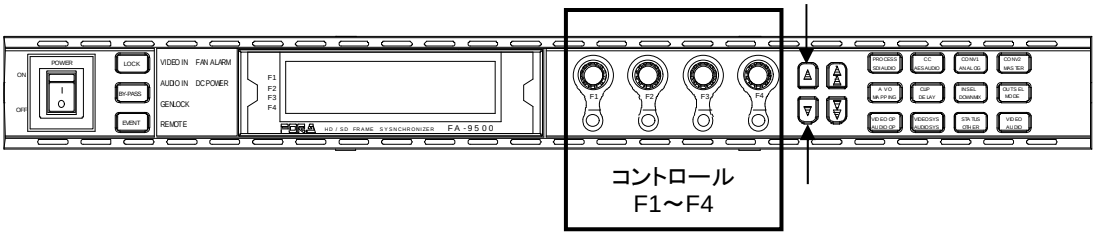
メニューボタンの一部を長押し（約 1 秒以上押す）すると、各ボタン機能に関連するページへ移動します。関連する項目の設定または、状態を見ることができます。

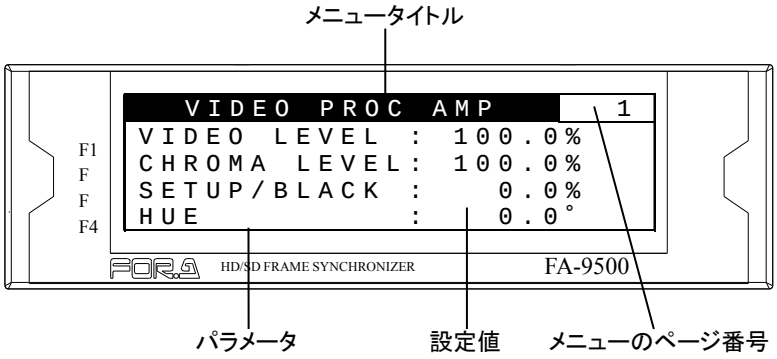
VIDEO AUDIO ボタン選択状態	ボタン名称	移動先ページタイトル	参照
VIDEO	CONV1	CONV1 ANC SET(99)	5-10-9
VIDEO	CONV2	AFD IN STATUS(641) (FA-95SCNV　あり) ANC IN STATUS(651) (FA-95SCNV　なし)	5-13-16 5-14
VIDEO	IN SEL	VIDEO IN STATUS (502)	5-13-2
VIDEO	OUT SEL	VIDEO OUT STATUS (511)	5-13-4
AUDIO	SDI AUDIO	SDI 1/2 OUT AUDIO (561)	5-13-11
AUDIO	AES AUDIO	AES OUT AUDIO(569)	5-13-13
AUDIO	ANALOG	ANALOG OUT AUDIO(571)	5-13-14
AUDIO	MAPPING	SOURCE AUDIO(531)	5-13-6
AUDIO	AUDIO OP *1	Dolby AUX STATUS(573) *1	5-13-15

*1 オプションスロット A/B に、FA-95D-D、FA-95DE-E が装着されている場合に移動可能です。LIVE SAFE 操作モードで、設定変更確認状態表示中は、関連ページ移動機能は動作しません。設定を確定すると、関連ページ移動機能が使えるようになります。詳細は「4-2-6. 設定値の変更」を参照してください。

4-2-6. 設定値の変更

変更したいメニューを選択後、コントロール（F1～F4）を使って設定を変更します。



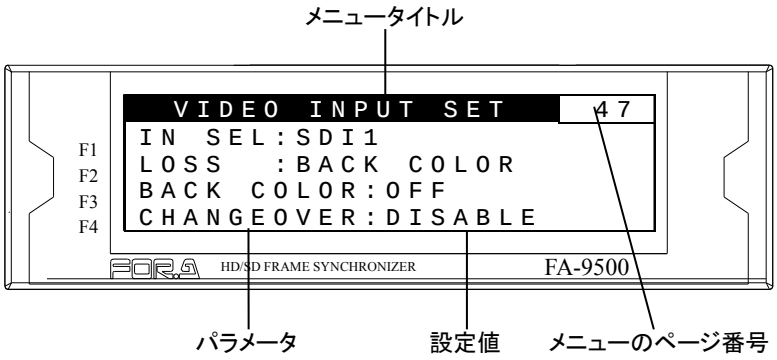


＜NORMAL 操作モード時＞

上図の例では、VIDEO/AUDIO ボタンで VIDEO 側（緑点灯中）を選択中に、PROCESS/SDI AUDIO ボタンを押すと、“VIDEO PROC AMP”の設定メニューが表示されます。

（コントロール F1～F4 周囲が点灯状態のとき、各ロータリエンコーダで設定変更が可能です。）

VIDEO LEVEL を変更したいときは F1 を左右に回します。同様に、CHROMA LEVEL を変更するときは F2 を、SETUP/BLACK を変更するときは F3 を、HUE を変更するときは F4 を回します。設定メニューが複数あるときは、下シングルの矢印ボタンを押し設定メニューを移動します。元のメニューに戻るときは、上シングルの矢印ボタンを押します。



＜LIVE SAFE 操作モード時＞

設定変更を確認しないメニュー(“VIDEO PROC AMP”等)は、NORMAL モードと同じ動作です。設定変更を確認するメニュー(“VIDEO INPUT SET”等)は、設定変更確認状態表示されます。

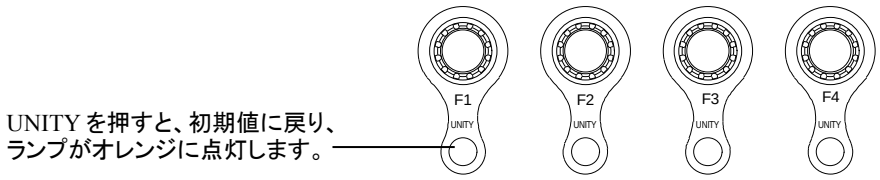
上図の例では、VIDEO/AUDIO ボタンで VIDEO 側（緑点灯中）を選択中に、IN SEL /DOWNMIX ボタンを押すと、“VIDEO INPUT SET”の設定メニューが表示されます。

IN SEL を変更したいときは F1 を左右に回します。同様に、LOSS を変更するときは F2 を、BACK COLOR を変更するときは F3 を回します。表示されているメニューを 1 つでも設定変更をすると、上下シングル矢印ボタンと設定を変更したロータリエンコーダの周辺が点滅表示され、設定変更確認状態表示になります。

この設定変更確認状態表示中に、下シングル矢印ボタンを押すと設定変更が反映され点灯状態になります。上シングル矢印ボタンを押すと設定変更がキャンセルされ変更前の設定に戻り点灯状態になります。
設定変更確認状態表示中は、上下シングル矢印ボタンおよび、F1～F4 のロータリーエンコーダとその Unity ボタン以外の操作はできません。他のメニューに移動したい場合は上下シングル矢印ボタンで設定を確定させてください。

4-2-7. 初期値に戻す

＜NORMAL 操作モード時＞
初期値から変更した場合は、コントロール（F1～F4）下の UNITY ボタンが消灯します。この状態からコントロール（F1～F4）下の UNITY ボタンを押すと、それに対応するパラメータの値が初期設定に戻り、ランプが点灯します。再度続けて UNITY ボタンを押すと初期値に戻す前の値に戻ります。



＜LIVE SAFE 操作モード時＞
初期値から変更されている場合は、コントロール（F1～F4）下の UNITY ボタンが消灯しています。この状態からコントロール（F1～F4）下の UNITY ボタンを押すと、それに対応するパラメータの値が初期設定に戻り、上下シングル矢印ボタンと設定を初期化したロータリエンコーダの周辺が点滅表示され、設定変更確認状態表示になります。下シングル矢印ボタンを押すと初期化設定が反映され点灯状態になります。上シングル矢印ボタンを押すと初期化がキャンセルされ初期化前の設定に戻り消灯状態になります。

5. VIDEO 関連設定

VIDEO AUDIO を押し緑点灯状態にします。
（オレンジ点灯のときに押すと緑点灯になります。）
各メニューボタン上側の VIDEO 関連項目の選択になります。

メニューボタン

VIDEO AUDIO

5-1. VIDEO PROC AMP (PROCESS)

メニューボタン

PROCESS SDI AUDIO

```
 VIDEO PROC AMP          1
VIDEO LEVEL  :  100.0%
CHROMA LEVEL:  100.0%
SETUP/BLACK  :    0.0%
HUE          :    0.0°
```

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
VIDEO LEVEL	100.0%	0.0 - 200.0% (0.1%)	ビデオレベルを設定します。
CHROMA LEVEL	100.0%	0.0 - 200.0% (0.1%)	クロマレベルを設定します。
SETUP/BLACK	0.0%	-20.0 - 100.0% (0.1%)	ブラックレベルを設定します。
HUE	0.0°	-179.8° - 180.0° (0.2°)	色位相を設定します。

5-2. COLOR CORRECTOR (C.C.)

カラーコレクタの設定を行います。

5-2-1. WHITE LEVEL

メニューボタン

CC AES AUDIO

```
WHITE LEVEL              2
RED   :  100.0%
GREEN:  100.0%
BLUE  :  100.0%
GROUP ADJUST
```

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
RED、GREEN、BLUE (WHITE レベル補正 RGB)	100.0%	0.0 - 200.0% (0.5%)	WHITE レベルを RGB 個別に設定できます。
GROUP ADJUST (グループ調整)	100.0%	0.0 - 200.0% (0.5%)	RED、GREEN、BLUE の個別設定後、その比率を保ったままで、グループとして WHITE LEVEL 全体を調整できます。

「5-2-4 COLOR CORRECT（C.C.）」の MODE が SEPIA 時は、以下のメニューが表示されます。

```
WHITE LEVEL              2
RED   :NOT ADJUST
GREEN:NOT ADJUST
BLUE  :NOT ADJUST
C.C MODE IS SEPIA  *1
```

*1 AVO が使用中の場合は、“AVO IS USING IT”と表示されます。

5-2-2. BLACK LEVEL

```
BLACK LEVEL                3
RED   :  100.0%
GREEN:  100.0%
BLUE  :  100.0%
GROUP ADJUST
```

メニューボタン

CC
AES AUDIO

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
RED、GREEN、BLUE (BLACK レベル補正 RGB)	100.0%	0.0 - 200.0% (0.5%)	BLACK レベルを RGB 個別に設定できます。
GROUP ADJUST (グループ調整)	100.0%	0.0 - 200.0% (0.5%)	RED、GREEN、BLUE の個別設定後、その比率を保ったままで、グループとして BLACK LEVEL 全体を調整できます。

「5-2-4 COLOR CORRECT（C.C.）」の MODE が SEPIA 時は、以下のメニューが表示されます。

```
BLACK LEVEL                3
RED   :NOT ADJUST
GREEN:NOT ADJUST
BLUE  :NOT ADJUST
C.C MODE IS SEPIA  *1
```

*1 AVO が使用中の場合は、“AVO IS USING IT”と表示されます。

5-2-3. GAMMA LEVEL

```
GAMMA LEVEL                4
RED   :  100.0%
GREEN:  100.0%
BLUE  :  100.0%
GROUP ADJUST
```

メニューボタン

CC
AES AUDIO

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
RED、GREEN、BLUE (GAMMA レベル補正 RGB)	100.0%	0 - 200% (0.5%)	GAMMA レベルを RGB 個別に設定できます。
GROUP ADJUST (グループ調整)	100.0%	0 - 200% (0.5%)	RED、GREEN、BLUE の個別設定後、その比率を保ったままで、グループとして GAMMA LEVEL 全体を調整できます。

「5-2-4 COLOR CORRECT（C.C.）」の MODE が SEPIA 時は、以下のメニューが表示されます。
GREEN のみ調整可能となります。

```
GAMMA LEVEL                4

SEPIA:100.0%
```

AVO が使用中の場合は、下記の内容が表示されます。

```
GAMMA LEVEL                4
RED   :NOT ADJUST
GREEN:NOT ADJUST
BLUE  :NOT ADJUST
AVO IS USING IT
```

5-2-4. COLOR CORRECT（C.C.）

```
COLOR CORRECT          5
MODE  :BALANCE
CURVE:CENTER
```

メニューボタン

CC
AES AUDIO

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
MODE (補正モード)	BALANCE	BALANCE DIFFERENTIAL SEPIA	コレクションモードを BALANCE (RGB)、DIFFERENTIAL (色差)、SEPIA から選択します。 **BALANCE:** RGB 信号補正モード 映像のホワイトバランスを補正する際に使用します。R・G・B の各レベルを操作することにより、映像のグレースケールを変化させることができます。 **DIFFERENTIAL:** 色差信号補正モード ホワイトバランスを一定に保ったまま「色の濃淡の違い」を補正する際に使用します。R・G・B の各レベルを操作しても映像のグレースケールには影響を与えません。映像の各色別の飽和度が異なっているときに使用すると有効です。 **SEPIA:** セピアモード モノトーンでの画像作りの際に使用します。
CURVE (ガンマカーブ)	CENTER	CENTER BLACK WHITE	ガンマカーブを 3 種類から選択します。

MODE が SEPIA 時は、下記のメニュー表示となります。

```
COLOR CORRECT          5
MODE  :SEPIA
CURVE:CENTER
SEPIA LEVEL:   25.0%
SEPIA COLOR:-160.0°
```

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
SEPIA LEVEL	25.0%	0 – 100% (0.1%)	SEPIA モード時の色のレベルを調整します。
SEPIA COLOR	-160.0°	-179.8° - 180.0° (0.2°)	SEPIA モード時の色を調整します。

AVO が使用中の場合、下記のメニュー表示となります。

```
COLOR CORRECT          5
MODE  :NOT ADJUST
CURVE:NOT ADJUST
AVO IS USING IT
```

5-2-5. AVO 動作時のカラーコレクタの制約

オプションの FA-95AVO は、カラーコレクタの回路を使用して動作するため、AVO の MODE（「5-5-1 AVO SETTING」参照）が、AUTO の場合カラーコレクタの設定ができません。

AVO のモード設定に対するカラーコレクタの動作制約

AVO MODE 設定			カラーコレクタメニュー
AUTO	HOLD	OFF	
×	○	○	WHITE LEVEL
×	○	○	BLACK LEVEL
×	○	○	GAMMA LEVEL
×	×	○	CORRECTION MODE /CURVE

○：設定可能

×：設定不可

注意

COLOR CORRECT の MODE が DIFFERENTIAL または SEPIA のときも、AVO を有効にすると強制的に BALANCE の動作モードになります。

AVO を使用中の場合、COLOR CORRECT の MODE が BALANCE、CURVE が BLACK の設定で、カラーコレクタが動作します。

AVO を HOLD にして調整する場合も、上記の設定で動作します。

5-3. CONV1 (UP/DOWN/CROSS CONVERTER)

オプションの FA-95SCNV の有／無で CONV1 の動作が異なります。

5-3-1. CONV1（FA-95SCNV が無い場合）

「5-7 VIDEO INPUT SELECT (IN SEL)」の IN SEL で選択されたビデオ信号は、UP/DOWN CONVERTER1 (CONV1) に入力されます。CONV1 で処理されたビデオ信号は、「5-8 VIDEO OUT SELECT (OUT SEL)」の出力端子設定を CONV1 に設定した場合、各映像出力端子に出力されます。

CONVERTER の映像処理には 1 FRAME 期間必要なため、処理後の出力映像は CONVERTER を通過しない BY-PASS 映像と比較して 1FRAME 遅延します。ただし、入力映像がプログレッシブの場合、または下記の 3 つの条件が重なった場合には、BY-PASS 映像と比較して 2FRAME 遅延となります。ご注意ください。

・同期モードが INPUT の場合

・FRAME DELAY が OFF の場合

・CONVERTER 出力の位相設定（遅延設定）が Minimum から 1 LINE の範囲にある場合

必要に応じて、「5-10-1 FS MODE SET」「5-10-6 HD PHASE SET」「5-10-7 SD PHASE SET」を参照して設定してください。

5-3-2. CONV1 U/D MODE（FA-95SCNV なし）

```
CONV1 U/D MODE          6
CONV1  :BY-PASS


1080/59i>>1080/59i
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CONV1 *1	BY-PASS	BY-PASS ASPECT SD 1080i 720p 1080PsF 1080p(3G) *2	CONV1 に入力された信号に対する、UP/DOWN コンバータ 1 の動作モードを設定します。 **BY-PASS**：コンバータ処理せずに出力します。 **ASPECT**: ASPECT 変換します。 **SD**： SD に変換します。 **1080i**： 1080i 系列に変換します。 **720p**： 720p 系列に変換します。 **1080PsF**： 1080PsF 系列に変換します。 **1080P(3G)**： 3G の 1080p 系列に変換します。 **AUTO MODE**:「5-8 VIDEO OUT SELECT(OUT SEL) 」の VIDEO OUT MODE が、AUTO の場合表示されます。この場合、CONV1 のモードは変更できません。変更したい場合は、VIDEO OUT MODE を FIX に設定してください。
ASPECT	4:3	4:3 13:9 14:9 16:9 SQUEEZE	CONV1 の出力アスペクトを指定します。 CONV1 の動作モードが、「5-3-3 CONV1 変換一覧」の (UP), (DOWN) の変換時に設定可能です。 (BY-PASS) (ASPECT) (CROSS)(HD UP), (HD DOWN) 変換時は、設定できません。
-	-	-	4 行目に CONV1 の入力信号フォーマットと CONV1 で変換される信号フォーマットを表示します。

*1　BY-PASS 以外に設定している場合は、1Frame 遅延します。
*2　オプションの FA-95-3G インストール時に選択可能です。

5-3-3. CONV1 変換一覧（FA-95SCNV なし）

CONV1 の入力信号と各モード設定時の信号変換の一覧（FA-95SCNV なし）

		CONVERTER1 の設定					
入力信号		ASPECT	SD	1080i	720p	1080PsF	1080p(3G) *1
NTSC 系列	525/60	525/60 (ASPECT)	525/60 (ASPECT)	1080/59i (UP)	720/59p (UP)	1080/23PsF (UP)	1080/59p (UP)
	1080/59i	1080/59i (ASPECT)	525/60 (DOWN)	1080/59i (ASPECT)	720/59p (CROSS)	1080/59i (BY-PASS)	1080/59p (HD UP)
	720/59p	720/59p (ASPECT)	525/60 (DOWN)	1080/59i (CROSS)	720/59p (ASPECT)	720/59p (BY-PASS)	1080/59p (HD UP)
	1080/59p *1	1080/59p (ASPECT)	525/60 (DOWN)	1080/59i (HD DOWN)	720/59p (HD DOWN)	1080/59p (BY-PASS)	1080/59p (ASPECT)
PAL 系列	625/50	625/50 (ASPECT)	625/50 (ASPECT)	1080/50i (UP)	720/50p (UP)	1080/24PsF (UP)	1080/50p (UP)
	1080/50i	1080/50i (ASPECT)	625/50 (DOWN)	1080/50i (ASPECT)	720/50p (CROSS)	1080/50i (BY-PASS)	1080/50p (HD UP)
	720/50p	720/50p (ASPECT)	625/50 (DOWN)	1080/50i (CROSS)	720/50p (ASPECT)	720/50p (BY-PASS)	1080/50p (HD UP)
	1080/50p *1	1080/50p (ASPECT)	625/50 (DOWN)	1080/50i (HD DOWN)	720/50p (HD DOWN)	1080/50p (BY-PASS)	1080/50p (ASPECT)
その他	1080/23PsF	1080/23PsF (ASPECT)	525/60 (DOWN)	1080/23PsF (BY-PASS)	1080/23PsF (BY-PASS)	1080/23PsF (ASPECT)	1080/23PsF (BY-PASS)
	1080/24PsF	1080/24PsF (ASPECT)	625/50 (DOWN)	1080/24PsF (BY-PASS)	1080/24PsF (BY-PASS)	1080/24PsF (ASPECT)	1080/24PsF (BY-PASS)

(BY-PASS)と表記されている変換時は、CONV1 SIZE/POS/ CONV1 CROPPING, CONV1 IMPROVE/ CONV1 SIDE RGB は機能しません。

*1 FA-95-3G オプションがインストールされないと動作しません。

5-3-4. CONV1（FA-95SCNV が有る場合）

FA-95SCNV がある場合、各映像出力端子で指定した信号フォーマットを CONV1/2 のどちらからも出力することができます。また、S2016, VI, WSS の AFD（Active Format Description）に準拠した映像アスペクト変換も可能です。

「5-7 VIDEO INPUT SELECT (IN SEL)」の IN SEL で選択されたビデオ信号は、UP/DOWN CONVERTER1 (CONV1) に入力されます。CONV1 で処理されたビデオ信号は、「5-8 VIDEO OUT SELECT (OUT SEL)」の各出力端子の設定で ASSIGN を CONV1 に設定した場合、各映像出力端子に出力されます。

CONVERTER の映像処理には 1 FRAME 期間必要なため、処理後の出力映像は CONVERTER を通過しない BY-PASS 映像と比較して 1FRAME 遅延します。ただし、入力映像がプログレッシブの場合、または下記の 3 つの条件が重なった場合には、BY-PASS 映像と比較して 2FRAME 遅延となります。ご注意ください。

・同期モードが INPUT の場合

・FRAME DELAY が OFF の場合

・CONVERTER 出力の位相設定（遅延設定）が Minimum から 1 LINE の範囲にある場合

必要に応じて、「5-10-1 FS MODE SET」「5-10-6 HD PHASE SET」「5-10-7 SD PHASE SET」を参照して設定してください。

5-3-5. CONV1 U/D MODE（FA-95SCNV あり）

AFD（Active Format Description）に準拠した変換を行います。

```
CONV1 U/D MODE          6
CONV1  :SD
ASPECT:AFD(4:3)

1080/59i>>525/60
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲 （設定単位）	説明
CONV1 *1	BY-PASS	BY-PASS SD 1080i 720p 1080PsF 1080p(3G) *1	CONV1 に入力された信号に対する、UP/DOWN コンバータ 1 の動作モードを設定します。 **BY-PASS**: コンバータ処理せずに出力します。 **SD**： SD に変換します。 **1080i**： 1080i 系列に変換します。 **720p**： 720p 系列に変換します。 **1080PsF**： 1080PsF 系列に変換します。 **1080P(3G)**： 3G の 1080p 系列に変換します。
ASPECT	AFD(4:3)	AFD(4:3) AFD-ALT(4:3) AFD(16:9) AFD-ALT(16:9) 4:3 L 16:9 T 4:3 L 14:9 T 4:3 L>16:9 4:3 F 4:3 4:3 L16:9PRTD 4:3 L 14:9 4:3 F ALT14:9 4:3 L ALT14:9 *2 4:3 L ALT 4:3 *2 16:9 L >16:9 16:9 F 16:9 *2 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD *2 16:9 P 14:9 *2 16:9P ALT 14:9 *2 16:9F ALT14:9*2 16:9F ALT4:3 *2	CONV1 が SD に設定されている場合の選択範囲です。 AFD(4:3), AFD-ALT(4:3), AFD(16:9), AFD-ALT(16:9)は、入力の AFD に連動してアスペクトを自動変換します。入力に AFD が検出されない場合は、「5-10-18 ANC LOSS SET」の設定に従い動作します。変換後のアスペクトを 4：3 で出力する場合は、（4：3）を選択してください。同様に 16：9 で変換する場合は、（16：9）を選択します。その他は、指定された固定のアスペクト比で出力されます。変換の詳細は、「20 AFD について」を参照してください。 AFD(4:3), AFD-ALT(4:3), AFD(16:9), AFD-ALT(16:9)以外（4:3 L 16:9 T ～16:9 F ALT4:3）に設定していて入力信号が SD の場合は、入力のアスペクトを指定する必要があります。「5-7-2 SD INPUT ASPECT」を参照し入力のアスペクトを設定してください。
	AFD	AFD AFD-ALT 16:9 L>16:9 16:9 F 16:9 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD 16:9 P 14:9 16:9P ALT14:9 16:9F ALT14:9 16:9F ALT4:3	CONV1 が 1080i, 720p, 1080PsF, 1080P(3G)に設定されている場合の選択範囲です。 AFD, AFD-ALT は、入力の AFD に連動してアスペクトを自動変換します。入力に AFD が検出されない場合は、「5-10-18 ANC LOSS SET」の設定に従い動作します。 その他は、指定された固定のアスペクト比で出力されます。変換の詳細は、「20 AFD について」を参照してください。
-	-	-	4 行目に CONV1 の入力信号フォーマットと CONV1 で変換される信号フォーマットを表示します。

*1　オプションの FA-95-3G インストール時に選択可能です。
*2　設定時に BT1119 WSS の重畳を設定した場合は、「5-10-19 WSS AFD ERROR」の設定に従います。

◆ CONV U/D MODE の FA-95SCNV 搭載時／未搭載時の設定互換表

FA-95SCNV がインストールされる場合と、メニューの表示方法が変わりますので、ご不明な場合は、下記の FA-95SCNV の無い場合と比較した表を参照してください。

<table>
<tr><th rowspan="3">入力
フォーマット</th><th colspan="5">メニュー設定項目</th></tr>
<tr><th colspan="2">FA-95SCNV なし</th><th colspan="3">FA-95SCNV あり</th></tr>
<tr><th>CONV1</th><th>ASPECT</th><th>SD INPUT
ASPECT *</th><th>CONV1, 2</th><th>ASPECT</th></tr>
<tr><td>SD</td><td>ASPECT
SD</td><td>Any format</td><td>4:3</td><td>SD</td><td>4:3 の Any format</td></tr>
<tr><td>1080i</td><td>ASPECT
1080i</td><td>Any format</td><td>-</td><td>1080i</td><td>Any format</td></tr>
<tr><td>720p</td><td>ASPECT
720p</td><td>Any format</td><td>-</td><td>720p</td><td>Any format</td></tr>
<tr><td>1080PsF</td><td>ASPECT
1080PsF</td><td>Any format</td><td>-</td><td>1080PsF</td><td>Any format</td></tr>
<tr><td>1080p(3G)</td><td>ASPECT
1080p(3G)</td><td>Any format</td><td>-</td><td>1080p(3G)</td><td>Any format</td></tr>
<tr><td rowspan="5">SD</td><td rowspan="5">1080i
720p
1080PsF
1080p(3G)</td><td>4:3</td><td>4:3</td><td rowspan="5">1080i
720p
1080PsF
1080p(3G)</td><td>16:9 P 4:3</td></tr>
<tr><td>13:9</td><td>4:3</td><td>-</td></tr>
<tr><td>14:9</td><td>4:3</td><td>16:9 P 14:9</td></tr>
<tr><td>16:9</td><td>4:3</td><td>16:9 F 16:9</td></tr>
<tr><td>SQUEEZE</td><td>16:9</td><td>16:9 F 16:9</td></tr>
<tr><td rowspan="5">1080i
720p
1080PsF
1080p(3G)</td><td rowspan="5">SD</td><td>4:3</td><td>-</td><td rowspan="5">SD</td><td>4:3 F 4:3</td></tr>
<tr><td>13:9</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td>14:9</td><td>-</td><td>4:3 L 14:9</td></tr>
<tr><td>16:9</td><td>-</td><td>4:3 L 16:9 PRTD</td></tr>
<tr><td>SQUEEZE</td><td>-</td><td>16:9 F 16:9</td></tr>
<tr><td rowspan="5">1080i
720p
1080PsF
1080p(3G)</td><td rowspan="5">1080i
720p
1080PsF
1080p(3G)</td><td>4:3</td><td>-</td><td rowspan="5">1080i
720p
1080PsF
1080p(3G)</td><td>Any format</td></tr>
<tr><td>13:9</td><td>-</td><td>Any format</td></tr>
<tr><td>14:9</td><td>-</td><td>Any format</td></tr>
<tr><td>16:9</td><td>-</td><td>Any format</td></tr>
<tr><td>SQUEEZE</td><td>-</td><td>Any format</td></tr>
</table>

* 「5-7-2. SD INPUT ASPECT」のメニュー設定です。

5-3-6. CONV1 変換一覧（FA-95SCNV あり）

CONV1 の入力信号と各モード設定時の信号変換の一覧（FA-95SCNV あり）

入力信号		CONVERTER1 の設定				
		SD	1080i	720p	1080PsF	1080p(3G) *1
NTSC 系列	525/60	525/60	1080/59i	720/59p	1080/23PsF	1080/59p
	1080/59i	525/60	1080/59i	720/59p	1080/59i (BY-PASS)	1080/59p
	720/59p	525/60	1080/59i	720/59p	720/59p (BY-PASS)	1080/59p
	1080/59p *1	525/60	1080/59i	720/59p	1080/59p (BY-PASS)	1080/59p
PAL 系列	625/50	625/50	1080/50i	720/50p	1080/24PsF	1080/50p
	1080/50i	625/50	1080/50i	720/50p	1080/50i (BY-PASS)	1080/50p
	720/50p	625/50	1080/50i	720/50p	720/50p (BY-PASS)	1080/50p
	1080/50p *1	625/50	1080/50i	720/50p	1080/50p (BY-PASS)	1080/50p
その他	1080/23PsF	525/60	1080/23PsF (BY-PASS)	1080/23PsF (BY-PASS)	1080/23PsF	1080/23PsF (BY-PASS)
	1080/24PsF	625/50	1080/24PsF (BY-PASS)	1080/24PsF (BY-PASS)	1080/24PsF	1080/24PsF (BY-PASS)

(BY-PASS)と表記されている変換時は、CONV1 SIZE/POS/ CONV1 CROPPING, CONV1 IMPROVE/ CONV1 SIDE RGB は機能しません。

*1 FA-95-3G オプションがインストールされないと動作しません。

5-3-7. CONV1 SIZE/POS

```
CONV1 SIZE/POS          7
H SIZE: 100.0%
V SIZE: 100.0%
H POS:    0 PIXEL
V POS:    0 LINE
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H SIZE (H 方向映像サイズ設定)	100.0%	50.0～150.0% (0.1%)	H 方向の出力映像のサイズを設定します。 *1
V SIZE (V 方向映像サイズ設定)	100.0%	50.0～150.0% (0.1%)	V 方向の出力映像のサイズを設定します。 *1
H POS (H ポジション)	0 Pixel	可変*2 (2 Pixel)	H ポジションを設定します。
V POS (V ポジション)	0 Line	可変*2 (1 Line)	V ポジションを設定します。

*1 CONV1 に入力されたサイズよりも小さく設定した場合のバックの色は、「5-3-10 CONV1 SIDE RGB」メニューで設定できます。

*2 以下の項目の設定は相互に関連して動作するため、設定範囲が自動的に変わります。
「5-10-1 FS MODE SET」の SYNC FRMT 項目
「5-3-2 または 5-3-5 CONV1 U/D MODE」の CONV 1 項目

CONV1 のモードを BY-PASS に設定した場合、CONV1 SIZE/POS の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)と表記されている変換時も設定はできません。

下記の内容が表示されます。

```
CONV1 SIZE/POS          7
H SIZE:NOT ADJUST
V SIZE:NOT ADJUST
H POS:NOT ADJUST
V POS:NOT ADJUST
```

5-3-8. CONV1 CROPPING

```
CONV1 CROPPING          8
LEFT   :    0PIXEL
RIGHT  :    0PIXEL
TOP    :    0LINE
BOTTOM:     0LINE
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
LEFT	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	映像の左側をクロップします。
RIGHT	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	映像の右側をクロップします。
TOP	0 Line	可変 *1 (1 Line)	映像の上側をクロップします。
BOTTOM	0 Line	可変 *1 (1 Line)	映像の下側をクロップします。

CONV1 CROPPING で調整できる範囲は、入力信号のフォーマットにより異なります。また、LEFT と RIGHT、TOP と BOTTOM は互いに影響しあうことがありますので、調整ができない場合は、もう一方の値を変更してみてください。

*1 以下の項目の設定は相互に関連して動作するため、設定範囲が自動的に変わります。
ビデオ信号フォーマット
「5-10-1 FS MODE SET」の SYNC FRMT 項目

CONV1 のモードを BY-PASS に設定した場合、CONV1 CROPPING の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)と表記されている変換時も設定はできません。
下記の内容が表示されます。

```
CONV1 CROPPING          8
LEFT   :NOT  ADJUST
RIGHT  :NOT  ADJUST
TOP    :NOT  ADJUST
BOTTOM:NOT  ADJUST
```

注意 入力のビデオ信号が変更されると、クロッピングの設定範囲が変更されます。この場合、変更前に設定した値が、変更後に反映されない範囲となった場合、値は自動的に初期値に変更されます。H 方向で範囲外になった場合は、LEFT と RIGHT が初期値になります。V 方向で範囲外になった場合は、TOP と BOTTOM が初期値になります。

5-3-9. CONV1 IMPROVE

```
CONV1 IMPROVE          9
MOTION:ADAPTIVE
ANTIALIAS H:NORMAL
ANTIALIAS V:NORMAL
ENHANCE  :LEVEL0
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
MOTION *1	ADAPTIVE	FIELD ADAPTIVE FRM(ODD 1st) FRM(EVEN 1st)	**FIELD**: インターレースの片方の FIELD 画像のみを使用しプログレッシブ画像を生成します。 動き適応処理がないため映像の破綻はありませんが、V 方向の解像度は良くありません。 **ADAPTIVE**: 入力映像の静止・動きを検知し、最適なプログレッシブ画像を生成します。 **FRM(ODD 1st)**: 入力インターレース映像の（ODD/EVEN)を 1 セットとしてプログレッシブ画像を生成します。 プログレッシブ撮影された映像がセグメントフレーム形式で FA-9500 に入力されている場合に設定してください。 **FRM(EVEN 1st)**: 入力インターレース映像の（EVEN/ODD)を 1 セットとしてプログレッシブ画像を生成します。
ANTIALIAS H *2	NORMAL	WEAK 8-1 NORMAL STRONG1-8	出力映像の H 方向のアンチエイリアス処理をします。 **WEAK 8 – STRONG 8**（弱～強）で設定します。 「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BYPASS) の変換時は設定できません。
ANTIALIAS V *2	NORMAL	WEAK 8-1 NORMAL STRONG1-8	出力映像の V 方向のアンチエイリアス処理をします。 **WEAK 8 – STRONG 8**（弱～強）で設定します。 「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BYPASS) の変換時は設定できません。
ENHANCE *2	LEVEL 0	LEVEL 0-8	出力映像の輪郭をシャープにします。 **LEVEL 0～8**（弱～強）で設定します。

*1 MOTION の設定は、CONV2 側と共用です。(CONV1 側でも CONV2 側でも変更できますが、共通の設定が反映されます。）

*2 CONV1 のモードを BY-PASS に設定した場合、ANTIALIAS, ENHANCE の設定はできません。「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)と表記されている変換時も設定はできません。

下記の内容が表示されます。

```
CONV1 IMPROVE          9
MOTION:FIELD
ANTIALIAS H:NOT ADJ
ANTIALIAS V:NOT ADJ
ENHANCE  :NOT ADJUST
```

注意 セグメントフレーム以外の入力信号時に、MOTION 設定を FRM (ODD 1st) または FRM (EVEN 1st) に設定した場合、動きのある部分で映像の破綻が発生します。この場合 FIELD または ADAPTIVE に設定を変更してください。

5-3-10. CONV1 SIDE RGB

```
CONV1 SIDE RGB          10
RED   :   0
GREEN:   0
BLUE  :   0
GROUP ADJUST
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲	説明
RED、GREEN、BLUE (サイドカラー)	0	0～255	「5-3-7 CONV1 SIZE/POS」にて、元の映像のサイズよりも小さく設定した場合のバックの色を設定します。 赤、緑、青成分をそれぞれ設定可能です。
GROUP ADJUST (グループ調整)	0	0～255	RED、GREEN、BLUE の個別設定後、その比率を保ったままで、グループとして RGB 同時に調整できます。

CONV1 のモードを BY-PASS に設定した場合、CONV1 SIDE RGB の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)と表記されている変換時も設定はできません。
下記の内容が表示されます。

```
CONV1 IMPROVE           10
RED   : NOT ADJUST
GREEN: NOT ADJUST
BLUE  : NOT ADJUST
```

5-4. CONV2 (UP / DOWN / CROSS CONVERTER)

FA-95SCNV オプションがインストールされていないと CONV2 の設定変更は機能しません。
FA-95SCNV がインストールされていないと CONV2 は、BY-PASS の固定で動作します。
「5-7 VIDEO INPUT SELECT (IN SEL)」の IN SEL で選択されたビデオ信号は、UP/DOWN CONVERTER2 (CONV2) に入力されます。CONV2 で処理されたビデオ信号は、「5-8 VIDEO OUT SELECT (OUT SEL)」の各出力端子の設定で ASSIGN を CONV2 に設定した場合、各映像出力端子に出力されます。
CONVERTER の映像処理には 1 FRAME 期間必要なため、処理後の出力映像は CONVERTER を通過しない BY-PASS 映像と比較して 1FRAME 遅延します。ただし、入力映像がプログレッシブの場合、または下記の 3 つの条件が重なった場合には、BY-PASS 映像と比較して 2FRAME 遅延となります。ご注意ください。

・同期モードが INPUT の場合
・FRAME DELAY が OFF の場合
・CONVERTER 出力の位相設定（遅延設定）が Minimum から 1 LINE の範囲にある場合

必要に応じて、「5-10-1 FS MODE SET」「5-10-6 HD PHASE SET」「5-10-7 SD PHASE SET」を参照して設定してください。

5-4-1. CONV2 U/D MODE

```
CONV2 U/D MODE          21
CONV2 :SD
ASPECT:AFD(4:3)

1080/59i>>525/60
```

メニューボタン

CONV2
MASTER

項目	初期値	設定範囲	説明
CONV2 *1	BY-PASS	BY-PASS SD 1080i 720p 1080PsF 1080p(3G) *1	CONV2 に入力された信号に対する UP/DOWN コンバータ 2 の動作モードを設定します。 **BY-PASS**：コンバータ処理せずに出力します。 **SD**：入力された HD 信号を SD に変換します。 **1080i**： 1080i 系列に変換します。 **720p**： 720p 系列に変換します。 **1080PsF**：1080PsF 系列に変換します。 **1080p(3G)/SD**： 1080p(3G)系列に変換します。
ASPECT	AFD(4:3)	AFD(4:3) AFD-ALT(4:3) AFD(16:9) AFD-ALT(16:9) 4:3 L 16:9 T 4:3 L 14:9 T 4:3 L>16:9 4:3 F 4:3 4:3 L16:9PRTD 4:3 L 14:9 4:3 F ALT14:9 4:3 L ALT14:9 *2 4:3 L ALT 4:3 *2 16:9 L >16:9 16:9 F 16:9 *2 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD *2 16:9 P 14:9 *2 16:9P ALT 14:9 *2 16:9F ALT14:9*2 16:9 F ALT4:3 *2	CONV2 が SD に設定されている場合の選択範囲です。AFD(4:3), AFD-ALT(4:3), AFD(16:9), AFD-ALT(16:9)は、入力の AFD に連動してアスペクトを自動変換します。入力に AFD が検出できない場合は、「5-10-18 ANC LOSS SET」の設定に従い動作します。変換後のアスペクトを 4 : 3 で出力する場合は、（4 : 3）を選択してください。同様に 16 : 9 で変換する場合は、（16 : 9）を選択します。その他は、指定された固定のアスペクト比で出力されます。変換の詳細は、「20 AFD について」を参照してください。 AFD(4:3), AFD-ALT(4:3), AFD(16:9), AFD-ALT(16:9)以外（4:3 L 16:9 T ～16:9 F ALT4:3）に設定していて入力信号が SD の場合は、入力のアスペクトを指定する必要があります。「5-7-2SD INPUT ASPECT」を参照し入力のアスペクトを設定してください。
	AFD	AFD AFD-ALT 16:9 L>16:9 16:9 F 16:9 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD 16:9 P 14:9 16:9P ALT14:9 16:9F ALT14:9 16:9F ALT4:3	CONV2 が 1080i,720p, 1080PsF, 1080P(3G)に設定されている場合の選択範囲です。 AFD, AFD-ALT は、入力の AFD に連動してアスペクトを自動変換します。入力に AFD が検出できない場合は、「5-10-18 ANC LOSS SET」の設定に従い動作します。 AFD, AFD-ALT 以外(16:9 L>16:9～16:9F ALT4:3)に設定していて入力信号が SD の場合は、入力のアスペクトを指定する必要があります。
-	-	-	4 行目に CONV2 に入力されている信号と変換される信号のフォーマットを表示します。

*1　オプションの FA-95-3G インストール時に選択可能です。
*2　設定時は、「5-10-19 WSS AFD ERROR」の設定に従い BT1119 WSS は出力に重畳されます。

5-4-2. CONV2 変換一覧

CONV2 の入力信号と各モード設定時の信号変換の一覧

入力信号		CONVERTER2 の設定				
		SD	1080i	720p	1080PsF	1080p(3G) *1
NTSC 系列	525/60	525/60	1080/59i	720/59p	1080/23PsF	1080/59p
	1080/59i	525/60	1080/59i	720/59p	1080/59i (BY-PASS)	1080/59p
	720/59p	525/60	1080/59i	720/59p	720/59p (BY-PASS)	1080/59p
	1080/59p *1	525/60	1080/59i	720/59p	1080/59p (BY-PASS)	1080/59p
PAL 系列	625/50	625/50	1080/50i	720/50p	1080/24PsF	1080/50p
	1080/50i	625/50	1080/50i	720/50p	1080/50i (BY-PASS)	1080/50p
	720/50p	625/50	1080/50i	720/50p	720/50p (BY-PASS)	1080/50p
	1080/50p *1	625/50	1080/50i	720/50p	1080/50p (BY-PASS)	1080/50p
その他	1080/23PsF	525/60	1080/23PsF (BY-PASS)	1080/23PsF (BY-PASS)	1080/23PsF	1080/23PsF (BY-PASS)
	1080/24PsF	625/50	1080/24PsF (BY-PASS)	1080/24PsF (BY-PASS)	1080/24PsF	1080/24PsF (BY-PASS)

(BY-PASS)と表記されている変換時は、CONV2 SIZE/POS/ CONV2 CROPPING, CONV2 IMPROVE/ CONV1 SIDE RGB は機能しません。

*1 FA-95-3G オプションがインストールされないと動作しません。

5-4-3. CONV2 SIZE/POS

```
CONV2 SIZE/POS          22
H SIZE:  100.0%
V SIZE:  100.0%
H POS :    0PIXEL
V POS :    0LINE
```

メニューボタン

CONV2 MASTER

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H SIZE (H 方向映像サイズ設定)	100.0%	50.0～150.0% (0.1%)	H 方向の出力映像のサイズを設定します。 *1
V SIZE (V 方向映像サイズ設定)	100.0%	50.0～150.0% (0.1%)	V 方向の出力映像のサイズを設定します。 *1
H POS (H ポジション)	0 Pixel	可変*2 (2 Pixel)	H ポジションを設定します。
V POS (V ポジション)	0 Line	可変*2 (1 Line)	V ポジションを設定します。

*1 CONV2 に入力されたサイズよりも小さく設定した場合のバックの色は、「5-4-6 CONV2 SIDE RGB」メニューにて設定できます。

*2 以下の項目の設定は相互に関連して動作するため、設定範囲が自動的に変わります。
ビデオ信号フォーマット
「5-10-1 FS MODE SET」の SYNC FRMT 項目
「5-4-1 CONV2 U/D MODE」の全項目

CONV2 のモードを BY-PASS に設定した場合、CONV2 SIZE/POS の設定はできません。
また、「5-4-2 CONV2 変換一覧」の(BY-PASS)と表記されている変換時も設定はできません。
下記の内容が表示されます。

```
CONV2 SIZE/POS          22
H SIZE:NOT ADJUST
V SIZE:NOT ADJUST
H POS :NOT ADJUST
V POS :NOT ADJUST
```

5-4-4. CONV2 CROPPING

```
CONV2 CROPPING          23
LEFT   :   0PIXEL
RIGHT  :   0PIXEL
TOP    :   0LINE
BOTTOM:    0LINE
```

メニューボタン

CONV2
MASTER

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
LEFT	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	映像の左側をクロップします。
RIGHT	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	映像の右側をクロップします。
TOP	0 Line	可変 *1 (1 Line)	映像の上側をクロップします。
BOTTOM	0 Line	可変 *1 (1 Line)	映像の下側をクロップします。

CONV2 CROPPING で調整できる範囲は、入力信号により異なります。また、LEFT と RIGHT、TOP と BOTTOM は互いに影響しあうことがありますので、調整ができない場合は、もう一方の値を変更してみてください。

*1 以下の項目の設定は相互に関連して動作するため、設定範囲が自動的に変わります。
ビデオ入力信号フォーマット
「5-10-1 FS MODE SET」の SYNC FRMT 項目

CONV2 のモードを BY-PASS に設定した場合、CONV2 CROPPING の設定はできません。
また、「5-4-2 CONV2 変換一覧」の(BY-PASS)と表記されている変換時も設定はできません。

下記の内容が表示されます。

```
CONV2 CROPPING          23
LEFT   :NOT ADJUST
RIGHT  :NOT ADJUST
TOP    :NOT ADJUST
BOTTOM:NOT ADJUST
```

注意 入力のビデオ信号が変更されると、クロッピングの設定範囲が変更されます。この場合、変更前に設定した値が、変更後に反映されない範囲となった場合、値は自動的に初期値に変更されます。H 方向で範囲外になった場合は、LEFT と RIGHT が初期値になります。V 方向で範囲外になった場合は、TOP と BOTTOM が初期値になります。

5-4-5. CONV2 IMPROVE

```
CONV2 IMPROVE          24
MOTION:ADAPTIVE
ANTIALIAS H: NORMAL
ANTIALIAS V: NORMAL
ENHANCE :LEVEL0
```

メニューボタン

CONV2
MASTER

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
MOTION *1	ADAPTIVE	FIELD ADAPTIVE FRM(ODD 1st) FRM(EVEN 1st)	**FIELD**: インターレースの片方の FIELD 画像のみを使用しプログレッシブ画像を生成します。 動き適応処理がないため映像の破綻はありませんが、V 方向の解像度は良くありません。 **ADAPTIVE**: 入力映像の静止・動きを検知し、最適なプログレッシブ画像を生成します。 **FRM(ODD 1st)**: 入力インターレース映像の（ODD/EVEN) を 1 セットとしてプログレッシブ画像を生成します。 プログレッシブ撮影された映像がセグメントフレーム形式で FA-9500 に入力されている場合に設定してください。 **FRM(EVEN 1st)**: 入力インターレース映像の（EVEN/ODD) を 1 セットとしてプログレッシブ画像を生成します。
ANTIALIAS H *2	NORMAL	WEAK 8-1 NORMAL STRONG1-8	出力映像の H 方向のアンチエイリアス処理をします。 **WEAK 8 – STRONG 8**（弱～強）で設定します。 「5-4-2 CONV2 変換一覧」の (BYPASS) の変換時は設定できません。
ANTIALIAS V *2	NORMAL	WEAK 8-1 NORMAL STRONG1-8	出力映像の V 方向のアンチエイリアス処理をします。 **WEAK 8 – STRONG 8**（弱～強）で設定します。 「5-4-2 CONV2 変換一覧」の (BYPASS) の変換時は設定できません。
ENHANCE *2	LEVEL0	LEVEL0-8	出力映像の輪郭をシャープにします。 **LEVEL 0～8**（弱～強）で設定します。

*1 MOTION の設定は、CONV1 側と共用です。(CONV1 側でも CONV2 側でも変更できますが、共通の設定が反映されます。)

*2 CONV2 のモードを BY-PASS に設定した場合、ANTIALIAS, ENHANCE の設定はできません。また、「5-4-2 CONV2 変換一覧」の(BY-PASS)と表記されている変換時も設定はできません。

下記の内容が表示されます。

```
CONV2 IMPROVE          24
MOTION:FIELD
ANTIALIAS H:NOT ADJ
ANTIALIAS V:NOT ADJ
ENHANCE :NOT ADJUST
```

注意 セグメントフレーム以外の入力信号時に、MOTION 設定を FRM (ODD 1st) または FRM (EVEN 1st) に設定した場合、動きのある部分で映像の破綻が発生します。この場合 FIELD または ADAPTIVE に設定を変更してください。

5-4-6. CONV2 SIDE RGB

```
CONV2 SIDE RGB          25
RED   :   0
GREEN:   0
BLUE  :   0
GROUP ADJUST
```

メニューボタン

CONV2
MASTER

項目	初期値	設定範囲	説明
RED、GREEN、BLUE (サイドカラー)	0	0～255	「5-4-3 CONV2 SIZE/POS」にて、元の映像のサイズよりも小さく設定した場合のバックの色を設定します。 赤、緑、青成分をそれぞれ設定可能です。
GROUP ADJUST (グループ調整)	0	0～255	RED、GREEN、BLUE の個別設定後、その比率を保ったままで、グループとして RGB 同時に調整できます。

CONV2 のモードを BY-PASS に設定した場合、CONV2 SIDE RGB の設定はできません。
また、「5-4-2 CONV2 変換一覧」の(BY-PASS)と表記されている変換時も設定はできません。

下記の内容が表示されます。

```
CONV2 SIDE RGB          25
RED   : NOT ADJUST
GREEN: NOT ADJUST
BLUE  : NOT ADJUST
```

5-5. Auto Video Optimizer (AVO)

※ オプションの FA-95AVO が実装されていないと機能しません。

5-5-1. AVO SETTING

```
AVO SETTING                    36
MODE  :OFF
LEVEL:STANDARD
AREA  :FULL SCREEN
AREA DISPLAY:OFF
```

メニューボタン

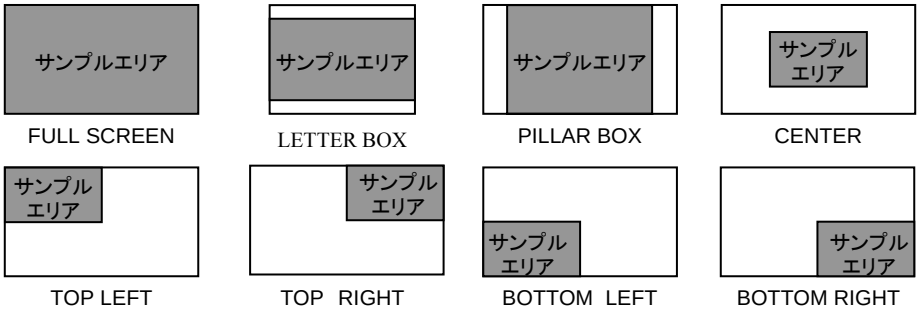
AVO MAPPING

項目	初期値	設定範囲	説明
MODE (自動レベル補正)	OFF	OFF AUTO HOLD	**AUTO:** 自動レベル補正を有効にします。 **HOLD:** 自動レベル補正を停止します。AUTO から HOLD に変更すると、信号レベルは停止した状態のまま保持されます。 **OFF:** 自動レベル補正を無効にします。AUTO から OFF に変更すると、映像信号は自動レベル補正前の状態に戻ります。OFF にすると手動でレベル補正ができます。詳しくは「5-5-4-1 手動レベル補正」を参照してください。
LEVEL (補正レベル)	STANDARD	DARKER DARK STANDARD BRIGHT BRIGHTER USER1, USER2, USER3, USER4, USER5	映像入出力時の補正レベルを設定します。 10 種類から選択できます（固定レベル 5 種類とカスタムレベル 5 種類） **Darker** < **Dark** < **Standard** < **Bright** < **Brighter** **User1 ～User5 :** 調整可能です。 User1 ～User5 を選択すると、USER1～5 LEVE SET ページが表示されます。詳細は、「5-5-3 USER1～5 LEVEL SET」を参照してください。
AREA (サンプルエリア)	FULL SCREEN	FULL SCREEN, ～ BOTTOM RIGHT, USER AREA1, USER AREA2	補正量を計算するためのサンプルデータの取得エリアを指定します。 10 種類から選択できます。（固定エリア 8 種類とカスタムエリア 2 種類） ● 固定エリア FULL SCREEN, LETTER BOX, PILLAR BOX, CENTER, TOP-LEFT, TOP-RIGHT, BOTTOM LEFT, BOTTOM RIGHT (次ページ「サンプルエリア」参照) ● カスタムエリア **USER AREA1,2** を選択すると USER AREA SET ページが表示されます。詳細は、「5-5-4 USER1, 2 AREA SET」を参照してください。
AREA DISPLAY (マーカ表示)	OFF	OFF, ON	映像へのサンプルエリア表示の **ON**/**OFF** です。**ON** にすると、サンプルエリアは、全ての出力に半透明の白い四角形で表示されます。起動時はオフになります。また、MODE を **OFF** に変更すると、AREA DISPLAY も自動的にオフになります。

注意 自動レベル補正は、映像によって補正が非常に有効な場合とそうでない場合があります。サンプルエリアが指定するのは、補正データを取得する領域です。レベル補正は映像全体に行われます。

◆ **サンプルエリア(固定エリア)**

設定可能な 8 つのサンプルエリア（固定）は下図のとおりです。データはこのエリアから連続的にサンプリングします。（USER1,2 AREA ついては「5-5-4 USER1, 2 AREA SET」を参照してください。）



5-5-2. AVO SETUP

```
AVO SETUP                    39
RESPONSE    :LEVEL3
SCENE CUT   :OFF
GAMMA MODE:ON
```

メニューボタン

AVO MAPPING

項目	初期値	設定範囲	説明
RESPONSE (移動平均フィルタの強さ)	LEVEL 3	LEVEL 1～5	サンプルエリアから生成されたヒストグラムに適用する移動平均フィルタの強さを指定します。値を 大きくすると安定性は増しますが、追従性が落ちます。小さくすると追従性は増しますが、安定性が落ちます。
SCENE CUT *1 (カット検出)	OFF	OFF, ON	**ON** にすると シーンカットが検出され、輝度変化が大きい映像の切り換わりでも適切な補正が行われます。
GAMMA MODE (ガンマ補正)	ON	OFF, ON	**ON** にすると GAMMA LEVEL の値（「5-2-3 GAMMA LEVEL」）を使用して補正を行います。

*1 シーンカットの検出には、入力ビデオ信号形式によりそれぞれ下記の検出時間が必要です。

インタレースフォーマット： 2Field（1Frame) + 数ライン
プログレッシブおよび PsF フォーマット：2Frame + 数ライン

入出力映像の遅延量が検出時間を上回る場合は、シーンカットを検出し映像を適切に補正してから出力することができますが、遅延量が検出時間を下回る場合には、シーンカットを検出しても補正（出力）のタイミングに間に合いません。
AVO のカット検出・補正機能を有効に動作させるためには、FRAME DELAY 機能を使用し、予め FA-9500 内部での映像遅延量が検出時間を上回るように設定してください。
入出力映像の遅延量は、SYNCRO MODE、入力ビデオ信号形式、FRAME DELAY 設定および、入出力ビデオ信号の H/V 位相差により変化します。FRAME DELAY の設定値については次ページを参照ください。

5-5-2-1. シーンカット検出時の FRAME DELAY 設定について

AVO のシーンカット検出・補正機能を正しく動作させるためには、下記のメニュー設定に応じて、予め「5-10-1 FS MODE SET」の FRAME DELAY の値を設定しておく必要があります。下表を参考に設定してください。

FRAME DELAY 適正設定範囲一覧

*1 SYNCHRO	*2 入力ビデオ信号形式別設定範囲	
	525/60i 625/50i 1080/59i 1080/50i	720/59p/50p 1080/59p,50p 1080/23PsF, 24PsF
FRAME	1～8FRAME	2～8FRAME
LINE/AVDL	設定不可	設定不可
INPUT	2～8FRAME	3～8FRAME

*1 FS 動作設定「5-10-1 FS MODE SET」の SYNCRO 設定
*2 入力ビデオ信号は「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の IN SEL 設定から、入力映像信号形式「5-13-2 VIDEO IN STATUS」で信号を確認してください。

注意 FRAME DELAY 設定を変更することにより入出力映像の遅延が増加します。必要に応じて「6-6-1 AUDIO DELAY」により音声遅延の調整を行ってください。

5-5-3. USER1～5 LEVEL SET

AVO SETTING の LEVEL 設定項目で、USER1～5 を選択すると USER1～5 LEVEL SET の設定メニューが表示されます。USER1～5 の 5 種類のカスタムレベルが使用できます。

メニューボタン

AVO MAPPING

USER1～5 には、それぞれ 4 つのレベル設定（IN WHITE、IN BLACK、TARGET WHITE、TARGET BLACK）が含まれています。USER1～5 の初期設定は、固定レベルの DARKER、DARK、STANDARD、BRIGHT、BRIGHTER と同じですので、近いレベルを選んで微調整を行うと便利です。

◆ **USER1～5 の初期値**

項目	SELECT LEVEL (補正レベル)				
(カスタムレベル)	USER1 初期値	USER2 初期値	USER3 初期値	USER4 初期値	USER 5 初期値
(固定レベル)	Darker	Dark	Standard	Bright	Brighter
IN WHITE	99.0%	98.0%	97.0%	95.0%	93.0%
IN BLACK	1.0%	2.0%	3.0%	5.0%	7.0%
TARGET WHITE	80.0%	88.0%	93.0%	95.0%	97.0%
TARGET BLACK	3.0%	5.0%	7.0%	12.0%	17.0%

注意

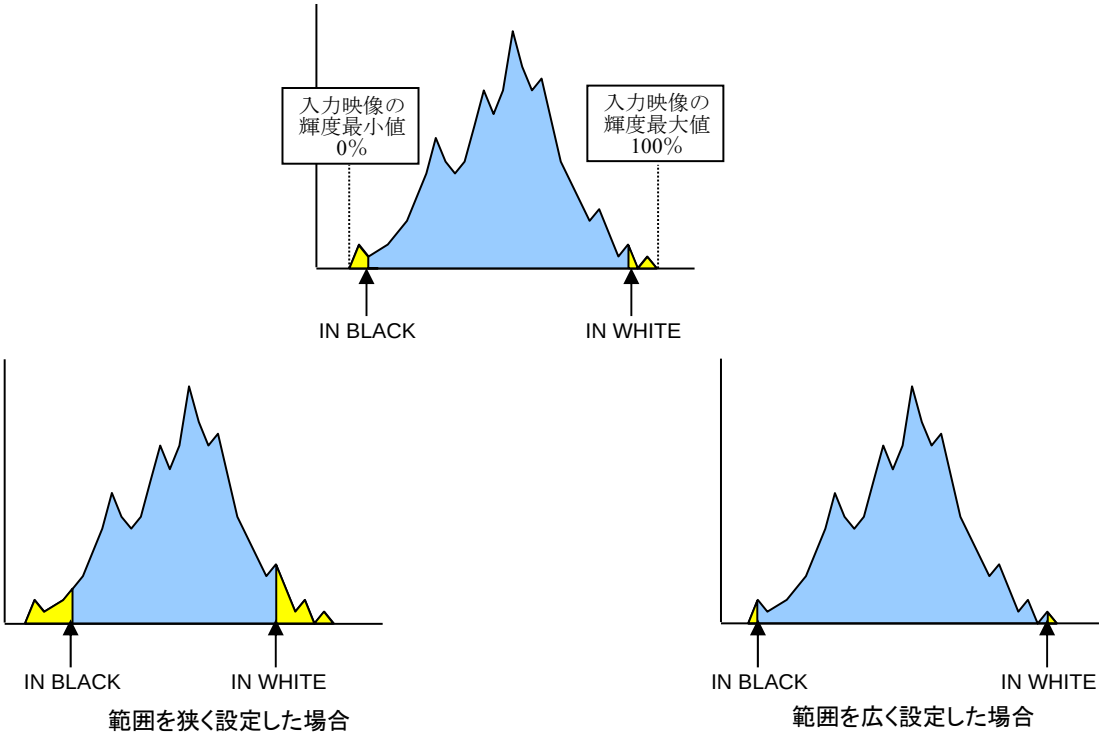
USER1～5 の設定メニューを表示中に、FA-9500 の WEB 設定または、接続されている FA-95RU から、「5-5-1 AVO SETTING」の LEVEL 設定を USER1～5 以外の設定に変更した場合、「5-5-1 AVO SETTING」メニューに自動で移動します。

◆ **IN WHITE と IN BLACK**

この 2 つのパラメータは入力映像に含まれる輝度値の中から補正に使用する輝度の最大値と最小値を決定します。

項目	設定範囲 (単位)	説明
IN WHITE	80.0%～99.0% (0.5%)	サンプルデータの輝度最大値は、輝度ヒストグラムで 100%として定義されます。これを基準に補正に使用する輝度の最大値を決定します。 値が大きすぎるとノイズを拾ってしまい補正が安定しなくなります。小さくするとコントラストが高くなりますが、小さすぎると白とびの原因となります。
IN BLACK	1.0%～20.0% (0.5%)	サンプルデータの輝度最小値は、輝度ヒストグラムで 0%として定義されます。これを基準に補正に使用する輝度の最大値を決定します。 値が小さすぎるとノイズを拾ってしまい補正が安定しなくなります。大きくするとコントラストが高くなりますが、大きくしすぎると黒つぶれの原因となります。

入力映像の輝度ヒストグラムです。（X 軸は輝度値、Y 軸は度数）

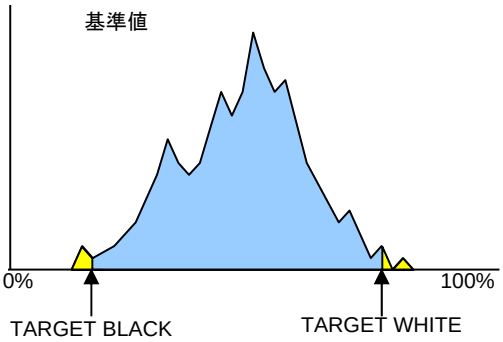


◆ **TARGET WHITE と TARGET BLACK**

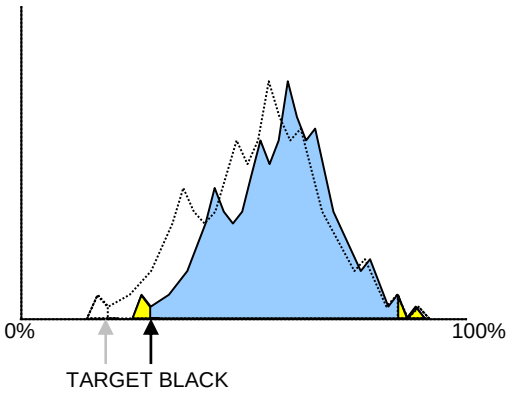
補正目標とする（出力映像の）輝度の最大値と最小値を決定します。
（下図および次ページの図参照）

項目	設定範囲 (単位)	説明
TARGET WHITE	60.0～ 100.0% (0.5%)	補正目標とする輝度の最大値を指定します。 補正後映像の輝度の最大値が、この値に近くなるように補正が行われます。 大きく設定するとより明るい補正結果が得られますが、明部の白とびの原因となります。小さく設定すると明部の階調は保たれますが映像全体が暗くなります。
TARGET BLACK	0～ 40.0% (0.5%)	補正目標とする輝度の最小値を指定します。 補正後映像の輝度の最小値が、この値に近くなるように補正が行われます。 大きく設定すると映像の暗部がより明るく補正されますが、コントラストが失われノイズが目立つようになります。 小さく設定するとコントラストの強い補正結果が得られますが、黒つぶれの原因となります。

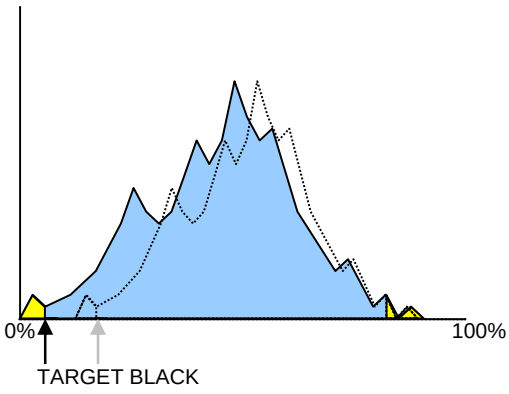
出力映像の輝度ヒストグラムです。（X 軸は輝度値、Y 軸は度数）



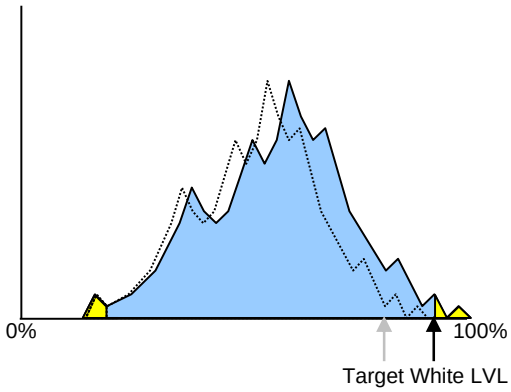
出力映像の基準値（点線）と補正後の値（実線）を比較した図です。



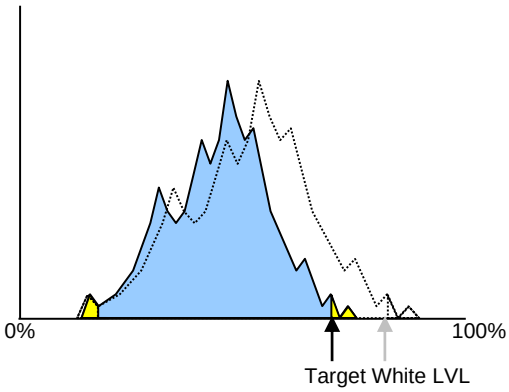
TARGET BLACK を大きく設定した場合



TARGET BLACK を小さく設定した場合

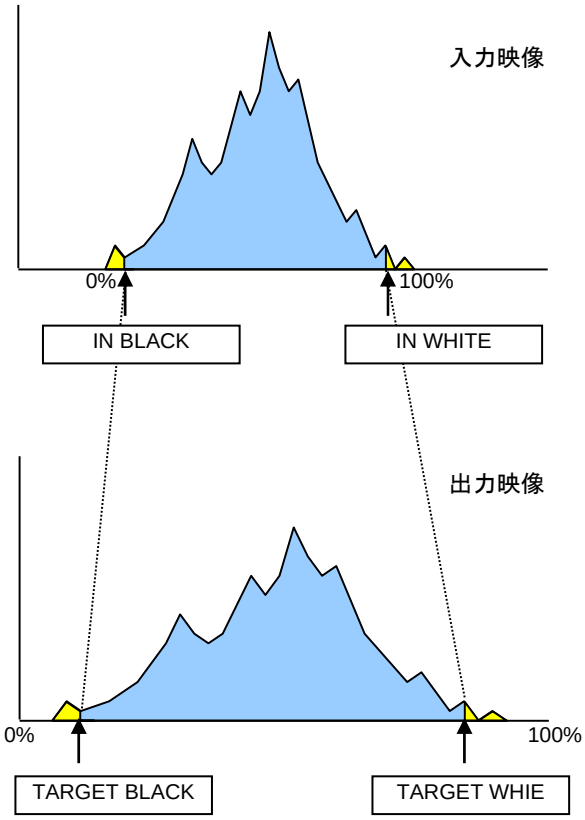


TARGET WHITE を大きく設定した場合



TARGET WHITE を小さく設定した場合

◆ **IN BLACK、IN WHITE と TARGET BLACK、TARGET WHITE レベルの関係**



5-5-4. USER1, 2 AREA SET

AVO SETTING の AREA 設定項目で、USER1, 2 AREA を選択すると USER1, 2 AREA SET の設定メニューが表示されます。

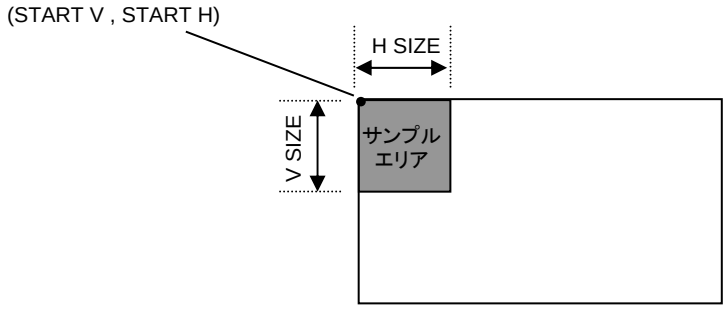
```
 USER1 AREA SET          38
START H :   0PIXEL
START V :   0LINE
H SIZE  : 360PIXEL
V SIZE  : 360LINE
```

メニューボタン

AVO MAPPING

エリアを指定する場合は、開始位置とサイズを設定します。

項目	初期値	設定範囲	説明
START H	0 Pixel	可変 (2Pixel)	開始位置（水平方向）を指定します。
START V	0 Line	可変 (2Line)	開始位置（垂直方向）を指定します。
H SIZE	360	可変 (2Pixel)	開始位置からのサイズ（水平方向の移動量）を指定します。
V SIZE	360	可変 (2Line)	開始位置からのサイズ（垂直方向の移動量）を指定します。



サンプルエリアの初期値
(1080/59.94i の場合)

注意

サンプルエリアは入力フォーマットの有効ピクセルの範囲で設定することができます。有効ピクセルの範囲外を指定した場合は、自動的に初期値に戻りますので注意してください。次のような場合は有効ピクセル範囲外となる場合があります。

- サンプルエリア設定後入力フォーマットが SDTV に切り換わった場合
- イベントの読み出しによってサンプルエリアの設定が読み込まれた場合

USER 1, 2 AREA SET の設定メニューを表示中に、FA-9500 の WEB 設定または、接続されている FA-95RU から、「5-5-1 AVO SETTING」の AREA 設定を USER AREA 1, 2 以外の設定に変更した場合、「5-5-1 AVO SETTING」メニューに自動で移動します。

5-5-4-1. 手動レベル補正

自動レベル補正（「5-5-1 AVO SETTING」メニューの MODE 項目）が AUTO に設定されているときは、カラーコレクタは映像に合わせて自動で調整されます。HOLD または OFF にすると、カラーコレクタを手動で調整することができます。

◆　自動レベル補正から微調整する場合

AVO MODE 項目を AUTO から HOLD に切り替えた場合は、自動レベル補正された値から、WHITE LEVEL、BLACK LEVEL、GAMMA LEVEL (下図参照) を微調整することができます。ただし、電源を入れ直すと値は保持されず、補正前の状態に戻ります。
また、AVO 使用中は、COLORCORRECT が自動（強制）的に MODE=BALANCE、CURVE=BLACK に設定変更していますので、HOLD 時の微調整は、BALANCE MODE のみの動作です。

◆　手動で調整する場合

AVO MODE 項目を OFF に設定すると自動レベル補正を行わず、完全に手動でカラーコレクタを調整することができます。AUTO から OFF に切り替えた場合も、カラーコレクタの値は自動レベル補正前の状態に戻ります。
操作可能なカラーコレクタのメニューは下表のとおりです。

AVO MODE 設定			カラーコレクタメニュー	参照
AUTO	HOLD	OFF		
×	○	○	WHITE LEVEL	5-2-1 WHITE LEVEL
×	○	○	BLACK LEVEL	5-2-2 BLACK LEVEL
×	○	○	GAMMA LEVEL	5-2-3 GAMMA LEVEL
×	×	○	CORRECTION MODE /CURVE	5-2-4 COLOR CORRECT

○ : 操作可能
× : 操作不可
「操作不可」の場合はメニューを開くと「NOT ADJUST」と表示されます。

5-6. CLIP（VIDEO CLIP）

5-6-1. YPbPr/RGB CLIP

```
 YPbPr/RGB CLIP      45
CLIP  MODE: OFF
```

メニューボタン

CLIP
DELAY

項目	初期値	設定範囲	説明
CLIP MODE (クリップモード)	OFF	OFF YPbPr CLIP RGB CLIP	カラースペースのクリップモードを選択します。YPbPr は YPbPr 空間で、RGB は RGB 空間でクリップ動作します。

◆ **YPbPr CLIP モード時**

```
 YPbPr/RGB CLIP      45
MODE:YPbPr CLIP
Y WHITE:109.0%
Y BLACK: -7.5%
CHROMA :111.0%
```

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Y WHITE (Y ホワイトクリップ)	109.0%	50.0～109.0% (0.5%)	Y 信号の上限のクリップを設定します。
Y BLACK (Y ブラッククリップ)	-7.5%	-7.5～50.0% (0.5%)	Y 信号の下限のクリップを設定します。
CHROMA (YPbPr クロマクリップ)	111.0%	50.0～111.0% (0.5%)	PbPr 信号を上下でクリップします。

◆ **RGB CLIP モード時**

```
 YPbPr/RGB CLIP      45
MODE:RGB CLIP
WHITE: 300.0%
BLACK:-200.0%
```

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
WHITE (RGB ホワイトクリップ)	300.0%	50～300% (0.5%)	RGB 空間の上限のクリップを設定します。
BLACK (RGB ブラッククリップ)	-200.0%	-200～50% (0.5%)	RGB 空間の下限のクリップを設定します。

5-6-2. COMPOSITE CLIP

メニューボタン

CLIP
DELAY

```
COMPOSITE CLIP  46
MODE:COMPOSITE CLIP
WHITE:  150.0%
BLACK:  -50.0%
```

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CLIP MODE (クリップモード)	OFF	OFF, COMPOSITE CLIP	**COMPOSITE CLIP** に設定するとコンポジット出力信号のクリップが可能になります。
WHITE (コンポジットホワイトクリップ)	150.0%	50～150% (0.5%)	コンポジット出力信号の上端のクリップを設定します。
BLACK (コンポジットブラッククリップ)	-50.0%	-50～50% (0.5%)	コンポジット出力信号の下限のクリップを設定します。

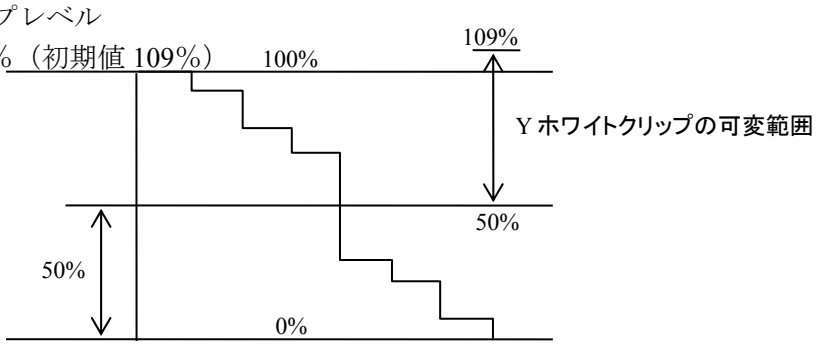
COMPOSITE CLIP の設定は、COMPOSITE 出力にのみ適用されます。
SDI1/2, SDI3/4 出力には適用されません。
COMPOSITE CLIP を使用する場合は、YPbPr/RGB CLIP を OFF で使用してください。

5-6-3. VIDEO CLIP 設定範囲について

◆ **YPbPr CLIP**

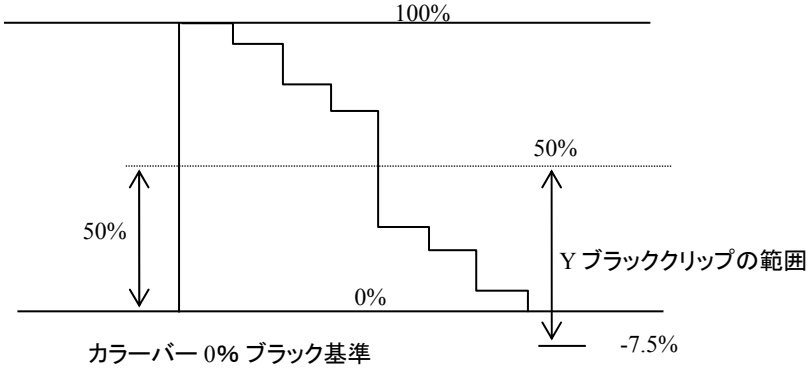
Y 信号の設定

① Y ホワイトクリップレベル
可変範囲 50～109%（初期値 109%）



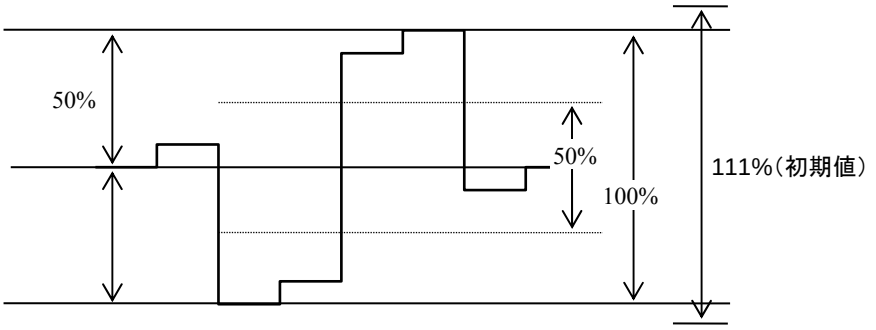
カラーバー 100% ホワイト基準

② Y ブラッククリップレベル
可変範囲 -7.5～50%（初期値 -7.5%）



カラーバー 0% ブラック基準

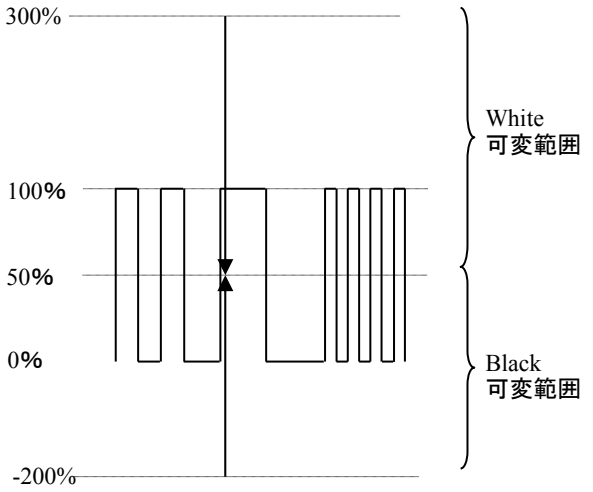
③　C ホワイトクリップレベル
　　可変範囲 50～111％（初期値 111％）



カラーバー100% カラー基準

◆　**RGB CLIP**

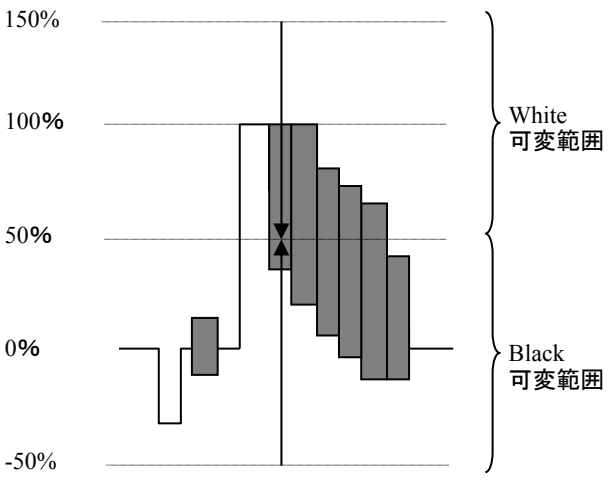
RGB クリップを調整する場合は、RGB クリップモードを選択し、メニューの RGB White Clip、RGB Black Clip で調整を行います。
RGB クリップモードを選択すると、カラーコレクタは、入力信号の YPbPr 信号を内部で RGB 信号に変換します。内部で変換された RGB 信号は、設定した RGB White Clip 値以上の信号が出力されないように内部でクリップ処理されます。同様に、設定した RGB Black Clip 以下の信号が出力されないように内部でクリップ処理されます。
クリップ処理された RGB 信号は、再度 YPbPr 信号に変換されます。このクリップ調整は、RGB ガマットエラーを処理するために使用します。



RGB クリップ補正概略図

◆　**COMPOSITE CLIP**

COMPOSITE クリップを調整する場合は、メニューの White 、Black で調整を行います。
COMPOSITE クリップモードを ON にすると、入力信号の YPbPr 信号を内部でコンポジット信号に変換します。内部で変換されたコンポジット信号は、設定した COMPOSITE White 設定値以上の信号が出力されないように内部でクリップ処理されます。同様に、設定した Black 以下の信号が出力されないように内部でクリップ処理されます。
この処理は、COMPOSITE 出力に適用されます。



コンポジット補正概略図

5-7. VIDEO INPUT SELECT (IN SEL)

入力ビデオ信号の選択および、入力されていた信号が無くなった場合の動作設定を行います。

5-7-1. VIDEO INPUT SET

```
 VIDEO INPUT SET          47
IN SEL:SDI1
LOSS   :BACK COLOR
BACK COLOR:OFF
CHANGEOVER:DISABLE
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲	説明
IN SEL	SDI1	SDI1 SDI2 COMPOSITE YPbPr SMPTE *1 YPbPr BETACAM *1 RGB *1 Y/C *1	入力信号を選択します。
LOSS	BACK COLOR	BACK COLOR AUTO FREEZE *2 COLOR BAR OUT DISABLE	IN SEL で選択した、入力信号が無入力状態になった場合の処理を指定します。
BACK COLOR	BLACK	OFF BLACK BLUE RED MAGENTA GREEN CYAN YELLOW	BACK カラーの色を指定します。
CHANGEOVER *3	DISABLE	DISABLE ENABLE	CHANGEOVER 動作を設定します。IN SEL の設定が SDI1 に設定されてないと ENABLE に設定変更できません。

*1 FA-95AIO オプション実装時に選択可能になります。

*2 「5-10-1 FS MODE SET」の SYNCHRO が LINE, AVDL, INPUT に設定されていて AUTO FREEZE を選択した場合、BACK COLOR として機能します。この場合、表示は“＊AUTO FREEZE”に変わります。

*3 FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。また、電源投入時は、必ず DISABLE で動作します。

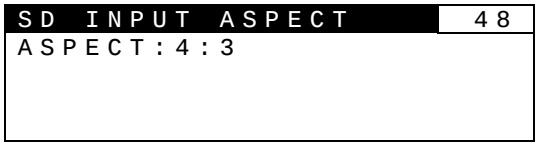
◆ **LOSS 動作について**

IN SEL で設定した信号が入力状態から無入力状態になった時、指定した LOSS モードで動作します。

- LOSS モードに BACK COLOR を設定した場合
  BACK COLOR で指定した色で出力されます。
- LOSS モードに AUTO FREEZE を設定した場合
  無入力状態になった最後の映像を FREEZE 状態にします。FREEZE のモードは、フィールドフリーズ動作します。
  720p などのプログレッシブ信号の場合はフレームフリーズとして動作します。
- LOSS モードに COLOR BAR を設定した場合
  SMPTE COLOR BAR を出力します。
- LOSS モードに OUT DISABLE を設定した場合
  SDI OUT1/2, 3/4、COMPOSITE OUT1/2 を無出力状態にします。
- LOSS モードに AUTO FREEZE を設定した場合
  「5-10-1 FS MODE SET」の SYNCHRO が、LINE, AVDL, INPUT の場合 BLACK が出力されます。

5-7-2. SD INPUT ASPECT

SD INPUT ASPECT は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。



メニューボタン

IN SEL DOWNMIX

SD 信号入力時の、入力信号のアスペクト比を選択します。
この入力信号の情報を元に CONV1,2 は固定（4:3 L 16:9 T～16:9 F ALT4:3）アスペクト変換を処理します。
この設定は、下記の条件のときに有効になります。
CONV1 の ASPECT を AFD (4:3)、AFD-ALT (4:3)、AFD (16:9)、AFD-ALT (16:9)、AFD、AFD-ALT 以外の（4:3 L 16:9～16:9 F ALT 4:3）に設定している場合。同様に、CONV2 の ASPECT を AFD (4:3)、AFD-ALT (4:3)、AFD (16:9)、AFD-ALT (16:9)、AFD、AFD-ALT 以外の（4:3 L 16:9～16:9 F ALT 4:3）に設定している場合に有効になります。

項目	初期値	設定範囲	説明
ASPECT	4:3	4:3 16:9	CONV1, 2 の SD 入力信号のアスペクト比を選択します。入力信号に合わせて選択してください。横方向が圧縮された（潰れたような）映像の場合、16:9 に設定します。

5-7-3. チェンジオーバ動作について

SDI1 入力信号を本線信号とし、SDI1 入力信号に障害が発生した場合、SDI2 入力信号（予備）に自動で切り替えます。SDI2 にも SDI1 と同一の障害がある場合は、SDI2 への切り替えは行われません。SDI1 入力信号における障害発生の判断条件は、「5-7-4 CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET」から「5-7-11 SILENCE TRG」で設定された内容に従います。チェンジオーバ動作中は (CHANGEOVER を ENABLE に設定した場合)、IN SEL での入力信号切り替えはできません。また、IN SEL を SDI1 に設定しないと、CHANGEOVER を ENABLE に設定できません。チェンジオーバの動作状況は、「5-7-12 CHGOV STATUS」から「5-7-17 SILENCE STATUS」にステータス表示されます。チェンジオーバが動作した場合、ステータスを確認することで何の障害でチェンジオーバ動作したかを確認できます。ステータスは、CHANGEOVER を DISABLE に設定するとクリアされます。

5-7-3-1. チェンジオーバ動作と LOSS 動作について

チェンジオーバ動作は、LOSS 動作より優先して動作します。SDI1, 2 両方の入力信号が LOSS 状態になった場合、「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の LOSS で設定されたロス動作に従い出力されます。SDI1, 2 両方の入力信号が無入力状態以外の障害で、SDI2 入力信号にも SDI1 入力信号と同一の障害がある場合は、SDI1 入力信号が出力されます。

5-7-3-2. ルータを使用した入力切替時のチェンジオーバ動作について

ルータで SDI1 入力信号を切り替えた場合、「5-7-7 CRC ERROR TRG」「5-7-10 AUDIO ERR TRG」は切替の瞬間をエラーと判断します。そのため、これら 2 つの TRIGGER の中 1 つでも ENABLE に設定されていて、且つ DURATION の設定が短い場合、チェンジオーバが発生します。ルータによる入力切替時にチェンジオーバを発生させたくない場合は、「5-7-7 CRC ERROR TRG」の DURATION を 2 FRAMES 以上、「5-7-10 AUDIO ERR TRG」の DURATION を 0.2 sec 以上に設定してください。

5-7-3-3. SDI1 入力信号（本線）に復帰させる場合

チェンジオーバが動作し、SDI2 入力信号が出力されてから、SDI1 本線信号に復帰させる方法について説明します。

1) 「5-7-12 CHGOV STATUS」から「5-7-17 SILENCE STATUS」までのステータスを確認し障害内容を確認します。
2) SDI1 入力信号の障害を解消します。
3) SDI1 入力信号に障害が無いことを波形モニター等で確認します。
4) 一旦、CHANGEOVER を DISABLE に設定します。（ステータスはクリアされます。）
5) IN SEL（入力信号設定）を SDI1 に設定します。
6) 再度 CHANGEOVER を ENABLE に設定します。

注意	「5-10-1 FS MODE SET」の SYNCHRO が LINE、AVDL、INPUT の場合、または、SYNCHRO が FRAME で FRAME DELAY が OFF の場合、チェンジオーバ発生時に切り替えショックが発生します。チェンジオーバ機能の使用時は、切り替えショック防止のため「5-10-1 FS MODE SET」の SYNCHRO は FRAME に、FRAME DELAY は 1 FRAME 以上に設定してください。

5-7-4. CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。

```
 CHGOV MODE SET          55
VIDEO TRG:DISABLE
AUDIO TRG:DISABLE

CHGOV DISABLED
```

メニューボタン

IN SEL DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲	説明
VIDEO TRG	DISABLE	DISABLE ENABLE	「5-7-5 SDI ERROR TRG」, 「5-7-6 FORMAT ERROR TRG」 「5-7-7 CRC ERROR TRG」 「5-7-8 BLACK VIDEO TRG」 4 つのビデオトリガ設定に対する動作条件を設定します。 **DISABLE：**動作しません。 **ENABLE：**4 つのビデオトリガ設定で 1 つでもトリガ条件を満たした場合チェンジオーバ動作します。
AUDIO TRG	DISABLE	DISABLE ENABLE	「5-7-9 AUDIO LOSS TRG」, 「5-7-10 AUDIO ERR TRG」 「5-7-11 SILENCE TRG」 3 つのオーディオトリガ設定に対する動作条件を設定します。 **DISABLE：**動作しません。 **ENABLE：**3 つのオーディオトリガ設定で 1 つでもトリガ条件を満たした場合チェンジオーバ動作します。

※ 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の CHANGEOVER が DISABLE に設定されている場合に“CHGOV DISABLED“と表示されます。このメッセージが表示されている場合、VIDEO TRG/AUDIO TRG を設定してもチェンジオーバは動作しないことを表示しています。

5-7-5. SDI ERROR TRG

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。

```
 SDI ERROR TRG          56
TRIGGER :DISABLE
DURATION:IMMEDIATE

CHGOV DISABLED
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
TRIGGER	DISABLE	DISABLE ENABLE	SDI の入力ロス、サポート外のビデオフォーマット検出、TRS エラー検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。
DURATION	IMMEDIATE	IMMEDIATE 0.5～5.0 sec (0.5 sec)	SDI の入力ロス、サポート外のビデオフォーマット検出、アクティブ区間の TRS エラーを検出してから、チェンジオーバトリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。

※「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の CHANGEOVER が DISABLE に設定されている場合または、「5-7-4 CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET」の VIDEO TRG が DISABLE に設定されている場合“CHGOV DISABLED “と表示されます。このメッセージが表示されている場合、SDI ERROR TRG を ENABLE に設定してもチェンジオーバは動作しません。

5-7-6. FORMAT ERROR TRG

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。

```
 FORMAT ERR TRG         57
TRIGGER :DISABLE
DURATION:IMMEDIATE
AUTO SYS FORMAT
CHGOV DISABLED
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
TRIGGER	DISABLE	DISABLE ENABLE	SDI の入力フォーマットとシステムフォーマットの不一致について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。
DURATION	IMMEDIATE	IMMEDIATE 0.5～5.0 sec (0.5 sec)	SDI の入力フォーマットとシステムフォーマットの不一致を検出してから、チェンジオーバ トリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。

※ 「5-10-1 FS MODE SET」の SYS FRMT が AUTO DET に設定されている場合“AUTO SYS FORMAT”と表示されます。このメッセージが表示されている場合、TRIGGER は ENABLE に設定できません。TRIGGER を ENABLE に設定する場合「5-10-1 FS MODE SET」の SYS FRMT を AUTO DET 以外の固定ビデオフォーマットに設定してください。

※ 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の CHANGEOVER が DISABLE に設定されている場合または、「5-7-4 CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET」の VIDEO TRG が DISABLE に設定されている場合“CHGOV DISABLED “と表示されます。このメッセージが表示されているときは、FORMAT ERROR TRG を ENABLE に設定してもチェンジオーバは動作しません。

※ SDI 入力がビデオロス状態の場合も、FORMAT ERROR TRG として動作しますので、SDI ERROR TRG が、DISABLE に設定されていても、FORMAT ERROR TRG で設定されたエラー継続時間後にチェンジオーバ動作します。

5-7-7. CRC ERROR TRG

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。

```
 CRC ERROR TRG          58
TRIGGER  :DISABLE
DURATION:IMMEDIATE

CHGOV  DISABLED
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲	説明
TRIGGER	DISABLE	DISABLE ENABLE	SDI のビデオ CRC エラー検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。
DURATION	IMMEDIATE	IMMEDIATE 1FRAME～ 100FRAME	SDI のビデオ CRC エラーを検出してから、チェンジオーバ　トリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。 ※ルータによる入力切替もエラーと判断します。入力切替でチェンジオーバさせないためには、2 FRAMES 以上に設定してください。

※　「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の CHANGEOVER が DISABLE に設定されている場合または、「5-7-4 CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET」の VIDEO TRG が DISABLE に設定されている場合“CHGOV DISABLED “と表示されます。このメッセージが表示されているときは、CRC ERROR TRG を ENABLE に設定してもチェンジオーバは動作しません。

※　SDI 入力がビデオロス状態の場合も、CRC ERROR TRG として動作しますので、SDI ERROR TRG が、DISABLE に設定されていても、CRC ERROR TRG で設定されたエラー継続時間後にチェンジオーバ動作します。

※　「5-7-7 CRC ERROR TRG」は、ブランキング区間の TRS エラーもトリガとして検出します。そのため「5-7-5 SDI ERROR TRG」と「5-7-7 CRC ERROR TRG」の TRIGGER が ENABLE に設定されている場合、ブランキング区間の TRS エラーに対しては、「5-7-7 CRC ERROR TRG」のみトリガとして動作します。

5-7-8. BLACK VIDEO TRG

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。

```
 BLACK VIDEO TRG        59
TRIGGER   :DISABLE
THRESHOLD:   0.0%
DURATION  :IMMEDIATE
CHGOV  DISABLED
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲	説明
TRIGGER	DISABLE	DISABLE ENABLE	SDI のブラックビデオ検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。
THRESHOLD	0.0%	-7.5～30.0%	ブラックビデオとして判定する 1 フィールド（入力がインターレース、セグメントフレームの場合）、または 1 フレーム（入力がプログレッシブの場合）あたりにおける平均輝度の閾値を設定します。
DURATION	IMMEDIATE	IMMEDIATE 1FRAME～ 100FRAME	SDI のブラックビデオを検出してから、チェンジオーバ　トリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。

※　「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の CHANGEOVER が DISABLE に設定されている場合または、「5-7-4 CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET」の VIDEO TRG が DISABLE に設定されている場合”CHGOV DISABLED”と表示されます。このメッセージが表示されているときは、BLACK VIDEO TRG を ENABLE に設定してもチェンジオーバは動作しません。

5-7-9. AUDIO LOSS TRG

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。

```
 AUDIO LOSS TRG          60
GROUP SEL:GROUP1
TRIGGER   :DISABLE
DURATION  :0.0sec
CHGOV DISABLED
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
GROUP SEL	GROUP1	GROUP1～4	トリガ設定を行うエンベデッドオーディオのグループを選択します。
TRIGGER	DISABLE	DISABLE ENABLE	SDI のエンベデッドオーディオのロス検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。
DURATION	0.0sec	0.0～1.0sec (0.1sec)	SDI のエンベデッドオーディオロスを検出してから、チェンジオーバ トリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。 本設定はグループ 1～4 共通です。

※「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の CHANGEOVER が DISABLE に設定されている場合または、「5-7-4 CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET」の AUDIO TRG が DISABLE に設定されている場合“CHGOV DISABLED“と表示されます。このメッセージが表示されているときは、AUDIO LOSS TRG を ENABLE に設定してもチェンジオーバは動作しません。

5-7-10. AUDIO ERR TRG

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。

```
AUDIO ERR TRG           61
CH SEL    :CH1
TRIGGER   :DISABLE
DURATION  :0.0sec
CHGOV DISABLED
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH SEL	CH1	CH1～16	トリガ設定を行うエンベデッドオーディオのチャネルを選択します。
TRIGGER	DISABLE	DISABLE ENABLE	SDI のエンベデッドオーディオの下記エラー検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。 ・DBN (Data Block Number) 不連続 ・チャネルステータス不連続 ・HD 音声 CLK 情報の異常・切り替え
DURATION	0.0sec	0.0～1.0sec (0.1sec)	SDI のエンベデッドオーディオのエラーを検出してから、チェンジオーバトリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。 本設定はチャネル 1～16 共通です。 ※ルータによる入力切替もエラーと判断します。入力切替でチェンジオーバさせないためには 0.2sec 以上に設定してください。

※ 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の CHANGEOVER が DISABLE に設定されている場合または、「5-7-4 CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET」の AUDIO TRG が DISABLE に設定されている場合“CHGOV DISABLED“と表示されます。このメッセージが表示されているときは、AUDIO ERR TRG を ENABLE に設定してもチェンジオーバは動作しません。

※ SDI 入力がビデオロス状態の場合も、AUDIO ERR TRG として動作しますので、AUDIO LOSS TRG が、DISABLE に設定されていても、AUDIO ERR TRG で設定されたエラー継続時間後にチェンジオーバ動作します。

5-7-11. SILENCE TRG

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。

```
SILENCE TRG                62
CH SEL     :CH1
TRIGGER    :DISABLE

CHGOV DISABLED
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH SEL	CH1	CH1～16	トリガ設定を行うエンベデッドオーディオのチャネルを選択します。
TRIGGER	DISABLE	DISABLE ENABLE	SDI のエンベデッドオーディオのサイレンス検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。

※ 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の CHANGEOVER が DISABLE に設定されている場合または、「5-7-4 CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET」の AUDIO TRG が DISABLE に設定されている場合“CHGOV DISABLED“と表示されます。このメッセージが表示されているときは、SILENCE TRG を ENABLE に設定してもチェンジオーバは動作しません。サイレンスと判断するまでの時間、およびオーディオレベルは、「6-10-4 DIGITAL SILENCE」の設定に従います。

5-7-12. CHGOV STATUS

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。
「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の“CHANGEOVER”を一度 DISABLE に設定すると、本メニューで 表示している全てのステータスはリセットされます。

```
CHGOV STATUS               63
VIDEO:NON-TRG
AUDIO:NON-TRG
VIDEO  IN:SDI1
CHGOV DISABLED
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	説明
VIDEO	チェンジオーバ発生時におけるビデオ系トリガの発生有無の状態を表示しています。 **DISABLE：**ビデオ系トリガを停止状態に設定 **NON-TRG：**ビデオ系トリガは発生していません。 **TRIGGER：**ビデオ系トリガの発生によりチェンジオーバが動作しました。
AUDIO	チェンジオーバ発生時におけるオーディオ系トリガの発生状態を表示します。 **DISABLE：**オーディオ系トリガを停止状態に設定 **NON-TRG：**オーディオ系トリガは発生していません。 **TRIGGER：**オーディオ系トリガの発生によりチェンジオーバが動作しました。
VIDEO IN	入力されているビデオ信号が表示されます。 **SDI1:** SDI1 を入力として動作していることを表示しています。 **SDI1→SDI2:**チェンジオーバが発生し、入力信号を SDI1 から SDI2 に切り替えたことを表示しています。 **SDI2:** SDI2 を入力として動作していることを表示しています。 **Composite:** コンポジット信号を入力として動作していることを表示しています。 **YPbPr SMPTE（*1）:**コンポーネント信号を入力として動作していることを表示しています。SD 信号の場合は、SMPTE レベルで動作します。 **YPbPr BETA（*1）:**コンポーネント信号を入力として動作していることを表示しています。SD 信号の場合は、BETACAM レベルで動作します。 **RGB（*1）:** RGB 信号を入力として動作していることを表示しています。 **Y/C（*1）:**Y/C 信号を入力として動作していることを表示しています。

*1 FA-95AIO が実装されている場合表示されます。

※ 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の CHANGEOVER が DISABLE に設定されている場合,“CHGOV DISABLED“と表示されます。このメッセージが表示されている場合チェンジオーバは動作しないことを表示しています。

5-7-13. CHGOV VID STATUS

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。
「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の“CHANGEOVER”を一度 DISABLE に設定すると、本メニューで 表示している全てのステータスはリセットされます。

```
CHGOV VID STATUS      64
SDI ERROR   :NON-TRG
FORMAT ERR  :NON-TRG
CRC ERROR   :NON-TRG
BLACK VIDEO:NON-TRG
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	説明
SDI ERROR	チェンジオーバ発生時の SDI エラートリガの検出状態が表示されます。 **DISABLE**：トリガを停止状態に設定 **NON-TRG**：トリガは発生していません。 **TRIGGER**：チェンジオーバ動作したトリガです。
FORMAT ERR	チェンジオーバ発生時のフォーマットエラートリガの検出状態が表示されます。 **DISABLE**：トリガを停止状態に設定 **NON-TRG**：トリガは発生していません。 **TRIGGER**：チェンジオーバ動作したトリガです。
CRC ERROR	チェンジオーバ発生時の CRC エラートリガの検出状態が表示されます。 **DISABLE**：トリガを停止状態に設定 **NON-TRG**：トリガは発生していません。 **TRIGGER**：チェンジオーバ動作したトリガです。
BLACK VIDEO	チェンジオーバ発生時のブラックビデオトリガの検出状態が表示されます。 **DISABLE**：トリガを停止状態に設定 **NON-TRG**：トリガは発生していません。 **TRIGGER**：チェンジオーバ動作したトリガです。

5-7-14. CHGOV AUD STATUS

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。
「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の“CHANGEOVER”を一度 DISABLE に設定すると、本メニューで 表示している全てのステータスはリセットされます。

```
CHGOV AUD STATUS      65
AUDIO LOSS:NON-TRG
AUDIO ERR  :NON-TRG
SILENCE    :NON-TRG
```

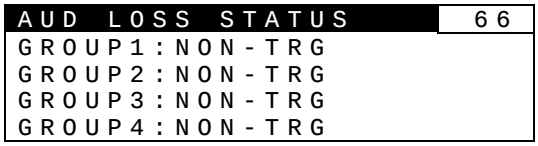
メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	説明
AUDIO LOSS	チェンジオーバ発生時のオーディオロストリガの検出状態が表示されます。 **DISABLE**：トリガを停止状態に設定 **NON-TRG**：トリガは発生していません。 **TRIGGER**：チェンジオーバ動作したトリガです。
AUDIO ERR	チェンジオーバ発生時のオーディオエラートリガの検出状態が表示されます。 **DISABLE**：トリガを停止状態に設定 **NON-TRG**：トリガは発生していません。 **TRIGGER**：チェンジオーバ動作したトリガです。
SILENCE	チェンジオーバ発生時のオーディオサイレンストリガの検出状態が表示されます。 **DISABLE**：トリガを停止状態に設定 **NON-TRG**：トリガは発生していません。 **TRIGGER**：チェンジオーバ動作したトリガです。

5-7-15. AUD LOSS STATUS

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。
「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の“CHANGEOVER”を一度 DISABLE に設定すると、本メニューで 表示している全てのステータスはリセットされます。



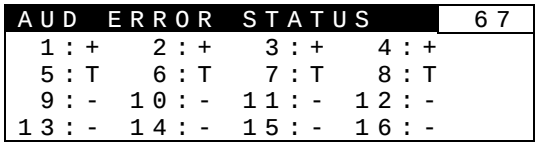
メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	説明
GROUP1-4	チェンジオーバ発生時の GROUP1 – 4 におけるオーディオロストリガの検出状態が表示されます。 **DISABLE：**トリガを停止状態に設定 **NON-TRG：**トリガは発生していません。 **TRIGGER：**チェンジオーバ動作したトリガです。

5-7-16. AUD ERROR STATUS

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。
「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の“CHANGEOVER”を一度 DISABLE に設定すると、本メニューで 表示している全てのステータスはリセットされます。
1～16 は SDI 1 入力オーディオチャネルの 1～16 を表しています。



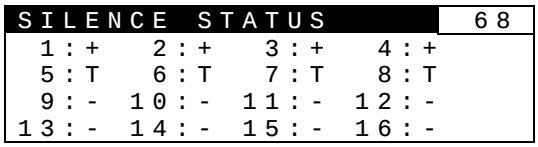
メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	説明
1～16 (Ch1～16)	SDI エンベデッドオーディオ CH1～16 のオーディオ エラーによるチェンジオーバのトリガ設定、およびトリガの発生状態を表示しています。 －：トリガとして設定されてません。 ＋：トリガとして設定されていてトリガは発生していません。 Ｔ：チェンジオーバ動作したトリガです。

5-7-17. SILENCE STATUS

FA-95CO ソフトウエアオプションがインストールされていない場合は表示されません。
「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の“CHANGEOVER”を一度 DISABLE に設定すると、本メニューで 表示している全てのステータスはリセットされます。
1～16 は SDI 入力オーディオチャネルの 1～16 を表しています。



メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

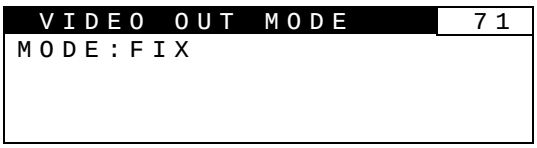
項目	説明
1～16 (CH1～16)	SDI エンベデッドオーディオ CH1～16 のオーディオ サイレンス トリガの設定およびトリガの発生状態を表示しています。 －：トリガとして設定されてません。 ＋：トリガとして設定されていてトリガは発生していません。 Ｔ：チェンジオーバ動作したトリガです。

5-8. VIDEO OUT SELECT (OUT SEL)

各ビデオ出力端子に、出力モードと CONV1 / CONV2 の割り付けをします。
オプションの FA-95SCNV の有／無で動作モードが一部異なります。

5-8-1. VIDEO OUT MODE

端子の出力モードを設定します。
FA-95SCNV がインストールされている場合は、表示されません。



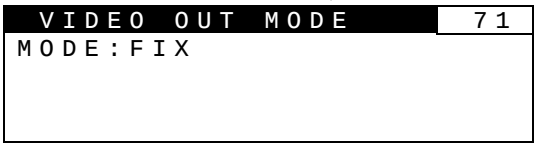
メニューボタン

OUT SEL MODE

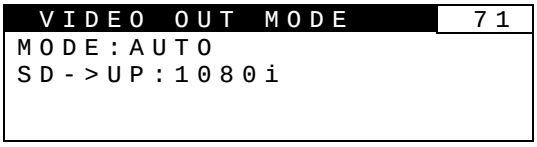
項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
MODE	FIX	FIX *1 AUTO *1	モードが **FIX** の場合、各映像出力端子に、CONV1 または CONV2 の設定を行います。 **AUTO** を選択した場合、各映像出力端子に HD または SD の設定を行います。
SD ->UP	1080i	1080i 720P 1080PsF 1080P(3G) *2	MODE が AUTO に設定されている場合の、SD 信号から UP する HD 信号を、HD の信号系列で設定します。 （MODE が FIX の場合表示されません。）

*1 詳細は、「5-8-2 SDI1/2 OUT SET」,「5-8-4 SDI3/4 OUT SET」,「5-8-6 COMPOSITE SET」,「5-8-8 COMPONENT SET (*3) 」を参照してください。
*2 オプションの FA-95-3G インストール時に選択可能です。
*3 オプションの FA-95AIO 実装時に機能します。

◆ **FIX MODE の場合は、以下の表示になります。**



◆ **AUTO MODE の場合は、以下の表示になります。**



◆ **AUTO MODE 設定時の動作**

<table>
<tr><th rowspan="2">入力信号</th><th colspan="3">メニュー設定</th><th colspan="3">出力フォーマット</th></tr>
<tr><th>SDI 1/2 OUT
SDI 3/4 OUT</th><th>COMPONENT
OUT</th><th>SD→UP 設定</th><th>SDI 1/2 OUT
SDI 3/4 OUT</th><th>COMPOSITE
Y/C</th><th>COMPONENT</th></tr>
<tr><td rowspan="5">525/60
(625/50)</td><td rowspan="4">HD (AUTO)</td><td rowspan="4">HD (AUTO)</td><td>1080i</td><td>1080/59.94i
(1080/50i)</td><td rowspan="5">525/60
(625/50)</td><td>1080/59.94i
(1080/50i)</td></tr>
<tr><td>720p</td><td>720/59.94p
(720/50p)</td><td>720/59.94p
(720/50p)</td></tr>
<tr><td>1080PsF</td><td>1080/23.98PsF
(1080/24PsF)</td><td>1080/23.98PsF
(1080/24PsF)</td></tr>
<tr><td>1080p (3G)</td><td>1080/59.94p
(1080/50p)</td><td>1080/59.94i
(1080/50i)</td></tr>
<tr><td>SD (AUTO)</td><td>SD (AUTO)</td><td>1080i
720p
1080PsF
1080p (3G)</td><td>525/60
(625/50)</td><td>525/60
(625/50)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1080/59.94i
(1080/50i)</td><td>HD (AUTO)</td><td>HD (AUTO)</td><td rowspan="2">1080i
720p
1080PsF
1080p (3G)</td><td>1080/59.94i
(1080/50i)</td><td rowspan="2">525/60
(625/50)</td><td>1080/59.94i
(1080/50i)</td></tr>
<tr><td>SD (AUTO)</td><td>SD (AUTO)</td><td>525/60
(625/50)</td><td>525/60
(625/50)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">720/59.94p
(720/50p)</td><td>HD (AUTO)</td><td>HD (AUTO)</td><td rowspan="2">1080i
720p
1080PsF
1080p (3G)</td><td>720/59.94p
(720/50p)</td><td rowspan="2">525/60
(625/50)</td><td>720/59.94p
(720/50p)</td></tr>
<tr><td>SD (AUTO)</td><td>SD (AUTO)</td><td>525/60
(625/50)</td><td>525/60
(625/50)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1080/23.98PsF
(1080/24PsF)</td><td>HD (AUTO)</td><td>HD (AUTO)</td><td rowspan="2">1080i
720p
1080PsF
1080p (3G)</td><td>1080/23.98PsF
(1080/24PsF)</td><td rowspan="2">525/60
(625/50)</td><td>1080/23.98PsF
(1080/24PsF)</td></tr>
<tr><td>SD (AUTO)</td><td>SD (AUTO)</td><td>525/60
(625/50)</td><td>525/60
(625/50)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1080/59.94p
(1080/50p)</td><td>HD (AUTO)</td><td>HD (AUTO)</td><td rowspan="2">1080i
720p
1080PsF
1080p (3G)</td><td>1080/59.94p
(1080/50p)</td><td rowspan="2">525/60
(625/50)</td><td>1080/59.94i
(1080/50i)</td></tr>
<tr><td>SD (AUTO)</td><td>SD (AUTO)</td><td>525/60
(625/50)</td><td>525/60
(625/50)</td></tr>
</table>

網掛けセル部分の出力はコンバート処理されるため、1 フレーム遅延して出力されます。

注意

「5-10-4 VIDEO SUB」の CONV DLY ADJ を ON に設定した場合、SDI 1/2、SDI 3/4、COMPOSITE、COMPONENT 出力は全てコンバート処理され同相（同一遅延）となります。CONV DLY ADJ を OFF 設定にした場合、入出力が同じビデオフォーマットの信号は、コンバータをバイパス出力します。また、セカンドコンバータオプション（FA-95SCNV)が未実装の場合は、CONV DLY ADJ を ON に設定しても全て同相（同一遅延）でビデオが出力されますが、入出力が同じビデオフォーマットの信号に対してコンバータ処理はされません。

5-8-2. SDI1/2 OUT SET（FA-95SCNV なし）

オプションの FA-95SCNV がインストールされていない場合の映像出力端子、SDI1/2 に出力する映像信号を割り付けます。

◆ **「5-8-1 VIDEO OUT MODE」が、FIX の場合**

```
 SDI1/2 OUT SET        72
ASSIGN:CONV1

525/60 >>1080/59i
```

メニューボタン

OUT SEL
MODE

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
ASSIGN	CONV1	CONV1 CONV2	SDI1/2 に出力するコンバータ **CONV1**,**CONV2** の設定を行います。
―	―	―	3 行目に、入力されている信号と SDI1/2 に出力されている信号が表示されます。

◆ **「5-8-1 VIDEO OUT MODE」が、AUTO の場合**

```
 SDI1/2 OUT SET        72
ASSIGN:HD(AUTO)
SIGNAL FROM CONV1
525/60 >>1080/59i
```

メニューボタン

OUT SEL
MODE

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
ASSIGN	HD (AUTO)	HD(AUTO) SD(AUTO)	**HD(AUTO)**を選択した場合、SDI1/2 には、HD 信号が出力されます。 **SD(AUTO)**を選択した場合、SD 信号が出力されます。
―	―	―	SDI1/2 の出力信号を CONV1,CONV2 のどちらのコンバータから出力されているかが表示されます。
―	―	―	3 行目に、入力されている信号と SDI1/2 に出力されている信号が表示されます。

5-8-3. SDI1/2 OUT SET（FA-95SCNV あり）

オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合の映像出力端子、SDI1/2 に出力する映像信号を割り付けます。

```
 SDI1/2 OUT SET        72
ASSIGN:CONV1

525/60 >>1080/59i
```

メニューボタン

OUT SEL
MODE

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
ASSIGN	CONV1	CONV1 CONV2	SDI1/2 に出力するコンバータ **CONV1**,**CONV2** の設定を行います。
―	―	―	3 行目に、入力されている信号と SDI1/2 に出力されている信号が表示されます。

5-8-4. SDI3/4 OUT SET（FA-95SCNV なし）

オプションの FA-95SCNV がインストールされていない場合の映像出力端子、SDI3/4 に出力する映像信号の割り付けを設定します。

◆ **「5-8-1 VIDEO OUT MODE」が、FIX の場合**

```
SDI3/4 OUT SET          73
ASSIGN:CONV1

525/60 >>1080/59i
```

メニューボタン

OUT SEL
MODE

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
ASSIGN	CONV1	CONV1 CONV2	SDI3/4 に出力するコンバータ **CONV1**,**CONV2** の設定を行います。
―	―	―	3 行目に、入力されている信号と SDI3/4 に出力されている信号が表示されます。

◆ **「5-8-1 VIDEO OUT MODE」が、AUTO の場合**

```
SDI3/4 OUT SET          73
ASSIGN:HD(AUTO)
SIGNAL FROM CONV1
525/60 >>1080/59i
```

メニューボタン

OUT SEL
MODE

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
ASSIGN	HD (AUTO)	HD(AUTO) SD(AUTO)	**HD(AUTO)**を選択した場合、SDI3/4 には、HD 信号が出力されます。 **SD(AUTO)**を選択した場合、SD 信号が出力されます。
―	―	―	SDI3/4 の出力信号を CONV1,CONV2 のどちらのコンバータから出力されているかが表示されます。
―	―	―	3 行目に、入力されている信号と SDI3/4 に出力されている信号が表示されます。

5-8-5. SDI3/4 OUT SET（FA-95SCNV あり）

オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合の映像出力端子、SDI3/4 に出力する映像信号の割り付けを設定します。

```
SDI3/4 OUT SET          73
ASSIGN:CONV1

525/60 >>1080/59i
```

メニューボタン

OUT SEL
MODE

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
ASSIGN	CONV1	CONV1 CONV2	SDI3/4 に出力するコンバータ **CONV1**,**CONV2** の設定を行います。
―	―	―	3 行目に、入力されている信号と SDI3/4 に出力されている信号が表示されます。

5-8-6. COMPOSITE SET（FA-95SCNV なし）

オプションの FA-95SCNV がインストールされていない場合の映像出力端子、COMPOSITE に出力する映像信号の割り付けを設定します。

◆ **「5-8-1 VIDEO OUT MODE」が、FIX の場合**

```
COMPOSITE SET          74
ASSIGN:CONV1

525/60  >>525/60
```

メニューボタン

OUT SEL MODE

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
ASSIGN	CONV1	CONV1 CONV2	COMPOSITE に出力するコンバータ **CONV1**,**CONV2** の設定を行います。
―	―	―	3 行目に、入力信号と COMPOSITE に出力されている信号のフォーマットが表示されます。

※ 割り付けした CONV1, CONV2 の信号が HD の場合、COMPOSITE 出力には黒が出力されます。詳細は、COMPOSITE 出力フォーマット表を参照してください。

◆ **「5-8-1 VIDEO OUT MODE」が、AUTO の場合**

```
COMPOSITE SET          74
ASSIGN:SD(AUTO)
SIGNAL FROM CONV1
525/60  >>525/60
```

メニューボタン

OUT SEL MODE

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
ASSIGN	―	SD(AUTO)	**SD(AUTO)**と固定表示されます。
―	―	―	2 行目に COMPOSITE の出力信号を CONV1, CONV2 のどちらのコンバータから出力されているかが表示されます。
―	―	―	3 行目に、入力信号と COMPOSITE に出力されている信号のフォーマットが表示されます。

COMPOSITE 出力フォーマット表

CONV1,2 の出力信号	COMPOSITE 出力端子の出力信号
525/60	CONV1,2 の 525/60
625/50	CONV1,2 の 625/50
1080/59i	525/60 の B.B.
1080/50i	625/50 の B.B.
1080/24PsF	625/50 の B.B.
1080/23.98PsF	525/60 の B.B.
720/59p	525/60 の B.B.
720/50p	625/50 の B.B.
1080/59p	525/60 の B.B.
1080/50p	625/50 の B.B.

5-8-7. COMPOSITE SET（FA-95SCNV あり）

オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合の映像出力端子、COMPOSITE に出力する映像信号の割り付けを設定します。

```
COMPOSITE SET          74
ASSIGN:CONV1

525/60  >>525/60
```

メニューボタン

OUT SEL MODE

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
ASSIGN	CONV1	CONV1 CONV2	COMPOSITE に出力するコンバータ **CONV1**,**CONV2** の設定を行います。
－	－	－	3 行目に、入力信号と COMPOSITE に出力されている信号のフォーマットが表示されます。

※ 割り付けした CONV1, CONV2 の信号が HD の場合、COMPOSITE 出力には黒が出力されます。詳細は、COMPOSITE 出力フォーマット表を参照してください。

COMPOSITE 出力フォーマット表

CONV1,2 の出力信号	COMPOSITE 出力端子の出力信号
525/60	CONV1,2 の 525/60
625/50	CONV1,2 の 625/50
1080/59i	525/60 の B.B.
1080/50i	625/50 の B.B.
1080/24PsF	625/50 の B.B.
1080/23.98PsF	525/60 の B.B.
720/59p	525/60 の B.B.
720/50p	625/50 の B.B.
1080/59p	525/60 の B.B.
1080/50p	625/50 の B.B.

5-8-8. COMPONENT SET（FA-95SCNV なし）

オプションの FA-95SCNV がインストールされていない場合の FA-95AIO 映像出力端子に出力する映像信号の割り付けを設定します。
オプションの FA-95AIO が実装されている場合に機能します。

◆ **「5-8-1 VIDEO OUT MODE」が、FIX の場合**

```
COMPONENT SET          75
ASSIGN:CONV1

525/60 >>1080/59i
OUTPUT:YPbPr SMPTE
```

メニューボタン

OUT SEL MODE

項目	初期値	設定範囲	説明
ASSIGN	CONV1	CONV1 CONV2	ANALOG COMPONENT OUT に出力するコンバータ **CONV1**, **CONV2** の設定を行います。
―	―	―	3 行目に、入力信号と ANALOG COMPONENT OUT に出力されている信号のフォーマットが表示されます。
OUTPUT	YPbPr SMPTE	YPbPr SMPTE YPbPr BETACAM RGB Y/C	ANALOG COMPONENT OUT(FA-95AIO)の出力モードを設定します。 SMPTE および BETACAM は、SD 出力時のフォーマットです。

※ 割り付けした CONV1, CONV2 の信号が 1080p で、且つ FA-95AIO の出力が YPbPr または、RGB に設定されている場合は、黒が出力されます。詳細は、YPbPr/RGB 出力フォーマット表を参照してください。

※ 割り付けした CONV1, CONV2 の信号が HD で、且つ FA-95AIO の出力が Y/C に設定されている場合は、黒が出力されます。詳細は Y/C 出力フォーマット表を参照してください。

YPbPr/RGB 出力フォーマット表

CONV1,2 の出力信号	FA-95AIO YPbPr/RGB 出力時の出力信号
525/60	CONV1,2 の 525/60
625/50	CONV1,2 の 625/50
1080/59i	CONV1,2 の 1080/59i
1080/50i	CONV1,2 の 1080/50i
1080/24PsF	CONV1,2 の 1080/24PsF
1080/23.98PsF	CONV1,2 の 1080/23.98PsF
720/59p	CONV1,2 の 720/59p
720/50p	CONV1,2 の 720/50p
1080/59p	1080/59i の黒出力
1080/50p	1080/50i の黒出力

Y/C 出力フォーマット表

CONV1,2 の出力信号	Y/C 出力端子の出力信号
525/60	CONV1,2 の 525/60
625/50	CONV1,2 の 625/50
1080/59i	525/60 の B.B.
1080/50i	625/50 の B.B.
1080/24PsF	625/50 の B.B.
1080/23.98PsF	525/60 の B.B.
720/59p	525/60 の B.B.
720/50p	625/50 の B.B.
1080/59p	525/60 の B.B.
1080/50p	625/50 の B.B.

◆ 「**5-8-1 VIDEO OUT MODE**」が、**AUTO** の場合

```
COMPONENT SET          75
ASSIGN:HD(AUTO)
SIGNAL FROM CONV1
525/60 >>1080/59i
OUTPUT:YPbPr SMPTE
```

メニューボタン

OUT SEL MODE

項目	初期値	設定範囲	説明
ASSIGN	HD(AUTO)	HD(AUTO) SD(AUTO)	**HD(AUTO)**を選択した場合、ANALOG COMPONENT OUT には HD 信号が出力されます。**SD(AUTO)**を選択した場合、SD 信号が出力されます。
―	―	―	2 行目に FA-95AIO の出力信号を CONV1, CONV2 のどちらのコンバータから出力されているかが表示されます。
―	―	―	3 行目に、入力信号と ANALOG COMPONENT OUT に出力されている信号のフォーマットが表示されます。
OUTPUT	YPbPr SMPTE	YPbPr SMPTE YPbPr BETACAM RGB Y/C	FA-95AIO の出力モードを設定します。

5-8-9. COMPONENT SET（FA-95SCNV あり）

オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合の FA-95AIO 映像出力端子に出力する映像信号の割り付けを設定します。
オプションの FA-95AIO が実装されている場合に機能します。

```
COMPONENT SET          75
ASSIGN:CONV1

525/60  >>1080/59i
OUTPUT:YPbPr  SMPTE
```

メニューボタン

OUT SEL MODE

項目	初期値	設定範囲	説明
ASSIGN	CONV1	CONV1 CONV2	ANALOG COMPONENT OUT に出力するコンバータ **CONV1**, **CONV2** の設定を行います。
―	―	―	3 行目に、入力信号と ANALOG COMPONENT OUT に出力されている信号のフォーマットが表示されます。
OUTPUT	YPbPr SMPTE	YPbPr SMPTE YPbPr BETACAM RGB Y/C	ANALOG COMPONENT OUT(FA-95AIO)の出力モードを設定します。 SMPTE および BETACAM は、SD 出力時のフォーマットです。

※ 割り付けした CONV1, CONV2 の信号が 1080p で、且つ FA-95AIO の出力が YPbPr または、RGB に設定されている場合は、黒が出力されます。詳細は、YPbPr/RGB 出力フォーマット表を参照してください。

※ 割り付けした CONV1, CONV2 の信号が HD で、且つ FA-95AIO の出力が Y/C に設定されている場合は、黒が出力されます。詳細は Y/C 出力フォーマット表を参照してください。

YPbPr/RGB 出力フォーマット表

CONV1,2 の出力信号	FA-95AIO YPbPr/RGB 出力時の出力信号
525/60	CONV1,2 の 525/60
625/50	CONV1,2 の 625/50
1080/59i	CONV1,2 の 1080/59i
1080/50i	CONV1,2 の 1080/50i
1080/24PsF	CONV1,2 の 1080/24PsF
1080/23.98PsF	CONV1,2 の 1080/23.98PsF
720/59p	CONV1,2 の 720/59p
720/50p	CONV1,2 の 720/50p
1080/59p	1080/59i の黒出力
1080/50p	1080/50i の黒出力

Y/C 出力フォーマット表

CONV1,2 の出力信号	Y/C 出力端子の出力信号
525/60	CONV1,2 の 525/60
625/50	CONV1,2 の 625/50
1080/59i	525/60 の B.B.
1080/50i	625/50 の B.B.
1080/24PsF	625/50 の B.B.
1080/23.98PsF	525/60 の B.B.
720/59p	525/60 の B.B.
720/50p	625/50 の B.B.
1080/59p	525/60 の B.B.
1080/50p	625/50 の B.B.

5-9. VIDEO OPTION (VIDEO OP)

5-9-1. FA-95LG（ロゴジェネレータオプション）

FA-95LG ロゴジェネレータソフトウエア オプションがインストールされている場合、FA-9500 のコンバータ出力ごとにロゴを挿入することが可能です。
ロゴの登録管理は、パソコン上の FA-95LG GUI で行い、イーサネット経由で FA-9500 に登録します。ロゴの登録管理の詳細は、FA-95LG GUI の取扱説明書を参照してください。
FA-95LG GUI からロゴデータの登録（転送）をしている間は、VIDEO OP/AUDIO OP ボタンが赤点滅します。登録が完了するとビデオメモリへの転送を開始します。ビデオメモリへの転送中は緑点滅します。点滅中は電源を切らないでください。ロゴデータが正しく保存されません。

注意	FA-95LG GUI を使用してロゴの登録中は、前面操作および WEB 操作の反応が鈍くなります。各種設定をした後に、ロゴ登録をするようにしてください。

5-9-1-1. CONV1 LOGO SEL

コンバータ 1 の LOGO 動作モードを設定します。
オプションの FA-95LG インストール時に動作します。

メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

```
CONV1 LOGO SEL        401
LOGO ID:   1
NAME:FOR A
LOGO FORMAT:HD 1080
CONV1:1080/59i
```

項目	初期値	設定範囲	説明
LOGO ID	1	1-256	コンバータ 1 出力信号に出力するロゴを選択します。
NAME *1	-	-	ID で選択されたロゴの登録名が表示されます。 登録が無い場合は“-----”と表示されます。
LOGO FORMAT *1	-	-	ID で選択されたロゴのフォーマットが表示されます。 ロゴのフォーマット表示には、SD 525/SD 625/HD 1080/HD 720 が表示されます。登録が無い場合は“-----”と表示されます。
CONV1 *2	-	-	コンバータ 1 出力信号のフォーマットが表示されます。

*1 NAME と LOGO FORMAT は、FA-95LG GUI からロゴ ID 単位で登録設定します。詳細は、FA-95LG GUI の取扱説明書を参照してください。

*2 “CONV1”に表示される信号フォーマットと LOGO FORMAT で表示されるフォーマットが違う場合は、「5-9-1-2. CONV1 KEYER SET」の KEYER を ON に設定してもロゴは表示されません。

5-9-1-2. CONV1 KEYER SET

コンバータ 1 の KEYER を設定します。
オプションの FA-95LG インストール時に動作します。

```
 CONV1 KEYER SET      402
KEYER:OFF
LEVEL:100%
H POS:      0PIXEL
V POS:      0LINE
```

メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
KEYER	OFF	OFF ON	コンバータ 1 出力信号に出力するキーヤを設定します。ON にすると「5-9-1-1 CONVERTER1 LOGO SELECT」で選択されたロゴが表示されます。
LEVEL *1	100%	0-100% (0.1%)	コンバータ 1 出力信号に出力するロゴのキーレベルを設定します。
H POS *1	0	*2 (2Pixel)	コンバータ 1 出力信号に出力するロゴの H ポジションを設定します。
V POS *1	0	*2 (1Line)	コンバータ 1 出力信号に出力するロゴの V ポジションを設定します。

*1　キーレベルとロゴの表示位置は、ロゴ ID 単位で管理されます。従って、コンバータ 2 にもコンバータ 1 と同じロゴを設定している場合はコンバータ 2 側の設定も同時に動きます。

*2　ロゴの表示位置は、ロゴ登録時の LOGO FORMAT ごとに異なります。詳細は、「5-9-1-5 ロゴ ポジション設定範囲」を参照してください。

但し、次のような場合には、LEVEL、H/V POS の設定はできなくなり、下記のような表示になります。

- 「5-9-1-1 CONVERTER1 LOGO SELECT」の LOGO ID で選択された ID にロゴが登録されていない場合
- 「5-9-1-1 CONVERTER1 LOGO SELECT」の LOGO FORMAT と CONV1 で表示されるビデオフォーマットが異なる場合

```
CONV1 KEYER SET      402
KEYER:ON
LEVEL:NOT ADJ
H POS:NOT ADJ
V POS:NOT ADJ
```

5-9-1-3. CONV2 LOGO SEL

コンバータ 2 の LOGO 動作モードを設定します。
オプションの FA-95LG インストール時に動作します。

```
 CONV2 LOGO SEL          403
LOGO ID:   1
NAME:FOR A
LOGO FORMAT:HD 1080
CONV1:1080/59i
```

メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

項目	初期値	設定範囲	説明
LOGO ID	1	1-256	コンバータ 2 出力信号に出力するロゴを選択します。
NAME *1	-	-	ID で選択されたロゴの登録名が表示されます。登録が無い場合は“-----”と表示されます。
LOGO FORMAT *1	-	-	ID で選択されたロゴのフォーマットが表示されます。 ロゴのフォーマット表示には、SD 525/SD 625/HD 1080/HD 720 が表示されます。登録が無い場合は“-----”と表示されます。
CONV2 *2	-	-	コンバータ 2 出力信号のフォーマットが表示されます。

*1 NAME と LOGO FORMAT は、FA-95LG GUI からロゴ ID 単位で登録設定します。詳細は、FA-95LG GUI の取扱説明書を参照してください。

*2 “CONV2”に表示される信号フォーマットと LOGO FORMAT で表示されるフォーマットが違う場合は、「5-9-1-4. CONV2 KEYER SET」の KEYER を ON に設定してもロゴは表示されません。

5-9-1-4. CONV2 KEYER SET

コンバータ 2 の KEYER を設定します。
オプションの FA-95LG インストール時に動作します。

```
 CONV2 KEYER SET      404
KEYER:OFF
LEVEL:100%
H POS:    0PIXEL
V POS:    0LINE
```

メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
KEYER	OFF	OFF ON	コンバータ 2 出力信号に出力するキーヤを設定します。ON にすると「5-9-1-3 CONVERTER2 LOGO SELECT」で選択されたロゴが表示されます。
LEVEL *1	100%	0-100% (0.1%)	コンバータ 2 出力信号に出力するロゴのキーレベルを設定します。
H POS *1	0	*2 (2Pixel)	コンバータ 2 出力信号に出力するロゴの H ポジションを設定します。
V POS *1	0	*2 (1Line)	コンバータ 2 出力信号に出力するロゴの V ポジションを設定します。

*1　キーレベルとロゴの表示位置は、ロゴ ID 単位で管理されます。従って、コンバータ 1 にもコンバータ 2 と同じロゴを設定している場合はコンバータ 1 側の設定も同時に動きます。

*2　ロゴの表示位置は、ロゴ登録時の LOGO FORMAT ごとに異なります。詳細は、「5-9-1-5 ロゴ ポジション設定範囲」を参照してください。

但し、次のような場合には、LEVEL、H/V POS の設定はできなくなり、下記のような表示になります。

- 「5-9-1-3 CONVERTER2 LOGO SELECT」の LOGO ID で選択された ID にロゴが登録されていない場合
- 「5-9-1-3 CONVERTER2 LOGO SELECT」の LOGO FORMAT と CONV2 で表示されるビデオフォーマットが異なる場合

```
CONV2 KEYER SET      404
KEYER:ON
LEVEL:NOT ADJ
H POS:NOT ADJ
V POS:NOT ADJ
```

5-9-1-5. ロゴ ポジション設定範囲

ロゴのフォーマットにより、表示位置を設定できる範囲が以下のように異なります。

ロゴ　フォーマット (LOGO FORMAT)	H POS 設定範囲	V POS 設定範囲
SD 525	0～718	0～486
SD 625	0～718	0～575
HD 1080	0～1918	0～1079
HD 720	0～1278	0～719

※　ロゴフォーマットは、FA-95LG GUI からロゴ ID 単位で登録設定します。詳細は、FA-95LG GUI の取扱説明書を参照してください。

5-10. VIDEO SYSTEM (VIDEO SYS)

5-10-1. FS MODE SET

FS(Frame Synchronizer)の動作モードを設定します。

```
 FS MODE SET                    91
SYNCHRO    :FRAME
SYNC FRMT:AUTO DET
FRAME DELAY：OFF
FORCED FIELD:OFF
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
SYNCHRO *1 *3 *4 *5 *6 *7	FRAME	FRAME LINE AVDL*8 INPUT *1	**FRAME**: ゲンロック信号に対して、ビデオ信号の H/V 方向の引き込みを行います。ゲンロック信号とビデオ入力信号が同期/非同期のどちらでも使用できます。 **LINE :** ゲンロック信号に対して、±1/2H の引き込みを行い、1H 遅延で出力します。ゲンロック信号とビデオ入力信号が同期の場合にのみ使用できます。 **AVDL :** 入力ビデオ信号をゲンロック信号に対して、1H 遅延で出力します。ゲンロック信号とビデオ信号が同期している場合に使用できます。 **INPUT :** ビデオ入力信号に同期して出力します。遅延量は System Phase および Frame Delay を使用し設定可能ですが、最小遅延は全フォーマット共通で 520clk となります。（HD：74MHz、SD：27MHz 単位）。ゲンロック信号は使用しません。
SYNC FRMT *9	AUTO DET	AUTO DET 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23f 1080/24f 1080/59p *2 1080/50p *2	FA-9500 の SYNC FORMAT を設定します。 AUTO DET は、入力信号に自動追従します。その他の設定時は、指定されたビデオフォーマットで動作します。
FRAME DELAY *3 *4	OFF	OFF 1FRAME～ 8 FRAME	FRAME DELAY 量を設定します
FORCED FIELD *3 *5	OFF	OFF ODD EVEN	指定したフィールドで FRAME を構成し出力します。 （コンポジット信号入力時に機能します。）

*1 SYNCHRO を INPUT モードに設定し、規格を満たしていないコンポジット信号を入力した場合、正常に動作しないことがあります。この場合、SYNCHRO を FRAME に設定して使用してください。また、SYNCHRO を INPUT モードに設定した場合、CONVERTER 出力と BY-PASS 出力の遅延差を 1 FRAME に抑えるためには、入出力遅延（位相）を 1 Line 以上に設定する必要があります。「5-3 CONV1」「5-4 CONV2」「5-10-6 HD PHASE SET」「5-10-7 SD PHASE SET」を参照して設定してください。ただし、SYNC FRMT がプログレッシブの場合、CONVERTER 出力と BY-PASS 出力の遅延差は 2 FRAME 固定です。

*2 オプションの FA-95-3G インストール時に選択可能です。

*3 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」IN SEL を COMPOSITE に、SYNCHRO を FRAME に設定した状態で FORCED FIELD で ODD/EVEN を選択したとき、FRAME DELAY が OFF の場合 1 FRAME に変更されます。FRAME DELAY は、1 ～8FRAME の範囲で設定してください。

*4 SYNCHRO 設定を LINE, AVDL に設定した場合、FRAME DELAY を設定することができません。“FRAME DELAY: NOT ADJ”と表示されます。

*5 SYNCHRO 設定を LINE, AVDL, INPUT に設定した場合 FORCED FIELD を設定することができません。“FORCED FIELD: NOT ADJ”と表示されます。

*6 SYNCHRO 設定を LINE, AVDL, INPUT に設定した場合、GPI 入力の FREEZE は動作しません。詳細は、「7-4 GPI SETTING」を参照してください。

*7 SYNCHRO を変更した場合、「5-10-6 HD PHASE SET」の V 1080, V 720 の値と「5-10-7 SD PHASE SET」V PHASE の設定値が、変更した SYNCHRO モードの初期値に設定されます。

*8 位相の異なった信号を、ルータ等で切り替えて FA-9500 へ入力する場合、各ビデオ信号の位相差 (ゲンロック信号に対するビデオ信号の位相差) が以下の範囲内であれば、切り替え時の映像／音声のショックはありません。以下の範囲を超えるとショックが発生します。

ビデオフォーマット	ゲンロック信号に対するビデオ信号の位相差
SD	-1H (ビデオフォーマットにより数ライン異なる) ～ +1/2H
HD	-5H (ビデオフォーマットにより数ライン異なる) ～ +1/2H

入力信号と同期結合可能な REF 信号表

	REF 入力信号							
入力信号	525/60	1080/59i	720/59p	625/50	1080/50i	720/50p	1080/23PsF	1080/24PsF
525/60	○	○	△	×	×	×	△	×
1080/59i	○	○	△	×	×	×	△	×
720/59p	○	○	○	×	×	×	△	×
1080/59p	○	○	○	×	×	×	△	×
625/50	×	×	×	○	○	△	×	△
1080/50i	×	×	×	○	○	△	×	△
720/50p	×	×	×	○	○	○	×	△
1080/50p	×	×	×	○	○	○	×	△
1080/23PsF	△	△	△	×	×	×	○	×
1080/24PsF	×	×	×	△	△	△	×	○

○：SYNCHRO が、FRAME /LINE/AVDL で同期可能
△：SYNCHRO が、FRAME のみ同期可能
×：同期不可

*9 オプションの FA-95CO インストール時、「5-7-6. FORMAT ERROR TRG」の TRIGGER が ENABLE に設定されている場合は、値を変更することはできません。

5-10-2. FREEZE SET

FREEZE の動作モードを設定します。

```
 FREEZE SET                92
FREEZE:OFF
MODE   :FRAME
STROBE:OFF
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
FREEZE *1	OFF	OFF, ON	フリーズの **ON/OFF** を設定します。
MODE *2	FRAME	FRAME ODD, EVEN	FREEZE 動作時のモードを選択します。
STROBE	OFF	OFF 1 - 255	フレームフリーズまたは、フィールドフリーズする際、フリーズ画面をリフレッシュする間隔をフレーム数で設定します。 OFF に設定した場合は、リフレッシュしません。

*1 FREEZE ON の設定状態から、「5-10-1 FS MODE SET」SYNCHRO を設定変更した場合、FREEZE は自動で OFF になります。SYNCHRO が、LINE, AVDL, INPUT 設定の場合

FREEZE を ON にすることはできません。下記内容が表示されます。
また、電源起動時は必ず OFF で起動します。イベントメモリには保存されません。

```
 FREEZE SET                92
FREEZE:NOT ADJUST
MODE   :NOT ADJUST
STROBE:NOT ADJUST
FS MODE IS NOT FRAME
```

FREEZE が ON の場合

VIDEO SYS
AUDIO SYS

が点滅表示します。

*2 入力信号が、プログレッシブ／セグメントフレーム信号の場合、MODE は FRAME に自動設定され設定変更できません。詳細は、FREEZE MODE 一覧を参照してください。

FREEZE MODE 設定一覧表

	入力信号									
SYS FRMT 設定	525/60	625/50	1080/59i	1080/50i	720/59p	720/50p	1080/23PsF	1080/24PsF	1080/59p	1080/50p
AUTO	OE	OE	OE	OE	F	F	F	F	F	F
525/60	OE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE
625/50	NOE	OE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE
1080/59i	NOE	NOE	OE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE
1080/50i	NOE	NOE	NOE	OE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE
720/59p	NF	NF	NF	NF	F	NF	NF	NF	NF	NF
720/50p	NF	NF	NF	NF	NF	F	NF	NF	NF	NF
1080/23PsF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	F	NF	NF	NF
1080/24PsF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	F	NF	NF
1080/59p	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	F	NF
1080/50p	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	F

OE：FRAME/ODD/EVEN 設定可能

F：FRAME 固定

NOE：FRAME/ODD/EVEN 設定可能、映像は正しく表示されません。

NF： FRAME 固定、映像は正しく表示されません。

SYS FRMT は、「5-10-1 FS MODE SET」を参照してください。

5-10-3. COMPOSITE SET

```
 COMPOSITE SET             93
COMB FILTER:3D
NR LEVEL    :OFF
CROSS COLOR:OFF
NTSC SETUP  :OFF
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
COMB FILTER	2D	3D 2D TRAP	コンポジット入力信号の Y/C 分離のモードを設定します。
NR LEVEL	OFF	OFF LEVEL1 - 4	コンポジット入力信号の NR レベルを設定します。
CROSS COLOR	OFF	OFF LEVEL1 - 3	クロスカラーの除去レベルを設定します。
NTSC SETUP*1	OFF	OFF ON	取り扱う信号が SETUP 付きの場合は **ON**、SETUP なしの場合は **OFF** に設定します。

*1 FA-95AIO が実装されている場合は表示されません。「5-11 NTSC SETUP」で設定します。

5-10-4. VIDEO SUB

白黒映像/VITS の設定を行います。

```
 VIDEO SUB                  94
BLK/WHT      : OFF
VITS         : OFF
CONV DLY ADJ : OFF
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
BLK/WHT	OFF	OFF ON	白黒信号にする場合 **ON** にします。
VITS	OFF	OFF ON	**ON** に設定した場合、コンポジット入力信号の VITS (V-ANC) 期間 10～21 (NTSC)、6～23(PAL) ラインを通過させます。また、SD-SDI 出力に対しては輝度(Y)に重畳します。
CONV DLY ADJ	OFF	OFF ON	コンバータ処理すると映像遅延が発生しますので、未処理出力と処理出力の位相を合わせる機能です。 **ON** に設定すると、両出力の位相を合わせ、自動的に音声遅延量も追加されます。遅延量については下表をを参照してください。

◆ **CONV DLY ADJ を ON に設定した場合の CONV1/2 設定に対する自動遅延量**

CONV1 設定	CONV2 設定	CONV1 出力 映像遅延量	CONV2 出力 映像遅延量	音声遅延量 (SDI/AES/Analog の 音声全チャネル)
BY-PASS	BY-PASS	0	0	0
BY-PASS 以外の設定	BY-PASS	変換遅延　*1	変換遅延を　*1 自動追加	変換遅延を　*1 自動追加
BY-PASS	BY-PASS　*2 以外の設定	変換遅延を　*1 自動追加	変換遅延　*1	変換遅延を　*1 自動追加

*1　変換遅延は入力フォーマットにより異なり、プログレッシブでは 2 Frame、それ以外では 1 Frame です。

*2　オプションの FA-95SCNV が未実装の場合、CONV2 の設定は BY-PASS に固定されます。

5-10-5. TEST SIGNAL

内部テスト信号を出力する場合に使用します。
VIDEO/AUDIO 共に、内部処理されずに、テスト信号が各出力端子から出力されます。

```
 TEST SIGNAL                95
VIDEO : OFF
AUDIO : OFF
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
VIDEO	OFF	OFF FULL CB 75% CB SMPTE CB RAMP	内蔵のビデオテスト信号を発生します。
AUDIO	OFF	OFF 1KHzTONE	内蔵のオーディオテスト信号を発生します。

TEST SIGNAL　VIDEO または AUDIO が、OFF 以外の場合 VIDEO SYS / AUDIO SYS が点滅表示します。

5-10-6. HD PHASE SET

```
 HD  PHASE  SET          96
H  1080:        0CLK
V  1080:        0LINE
H  720  :        0CLK
V  720  :        0LINE
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H 1080 *1 (H フェーズ)	0	-1375 - 1375 (CLK)	ゲンロック信号を基準にして、システムの水平／垂直位相を調整します。出力時の 1080 系列の映像信号に適用されます。
V 1080 *1 *2 (V フェーズ)	0 *3 （FRAME,INPUT） 1 *3 （LINE,AVDL）	-563 - 563 (LINE)	
H 720 *1 (H フェーズ)	0	-2063 - 2063 (CLK)	ゲンロック信号を基準にして、システムの水平／垂直位相を調整します。出力時の 720 系列の映像信号に適用されます。
V 720 *1 *2 (V フェーズ)	0 *3 （FRAME,INPUT） 1 *3 （LINE,AVDL）	-375 - 375 (LINE)	

*1　同期信号が入力されていない場合設定ができません。下記内容が表示されます。

```
 HD  PHASE  SET          96
H  1080:NOT  ADJUST
V  1080:NOT  ADJUST
H  720  :NOT  ADJUST
V  720  :NOT  ADJUST
```

*2　SYNCHRO を INPUT モードに設定した場合、SYSTEM 位相を 1 Line 以上に設定してください。

*3　「5-10-1 FS MODE SET」SYNCHRO および「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の設定で初期値が次の表のように変わります。また、SYNCHRO の設定を変更した場合は、常に該当する初期値に設定されます。

SYNCHRO	IN SEL	初期値
FRAME	―	0
LINE	SDI1, 2	1
	COMPOSITE (525/60 入力時)	3
	COMPOSITE (625/50 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 以外入力時)	1
AVDL	SDI1, 2	1
	COMPOSITE (525/60 入力時)	3
	COMPOSITE (625/50 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 以外入力時)	1
INPUT	SDI1, 2	0
	COMPOSITE (525/60 入力時)	2
	COMPOSITE (625/50 入力時)	3
	COMPONENT (Y/C 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 以外入力時)	1

5-10-7. SD PHASE SET

```
 SD  PHASE  SET          97
H   PHASE:        0CLK
V   PHASE:        0LINE
SC  PHASE:        0.0°
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H PHASE*1	0	-864 - 864 (CLK)	ゲンロック信号を基準にして、システムの水平／垂直位相を調整します。出力時の SD 映像信号に適用されます。
V PHASE *1 *2	0 *3 （FRAME, INPUT） 1 *3 （LINE, AVDL）	-313 - 313 (LINE)	
SC PHASE*1	0.0°	-179.8°- 180° (0.2°)	BB のゲンロック信号を基準にして、コンポジットおよび Y/C 出力信号の SC 位相を調整します。ゲンロック信号が 3 値シンクの場合設定できません。 “**NOT ADJUST**”と表示されます。

*1　同期信号が入力されていない場合も設定ができません。下記内容が表示されます。

```
 SD  PHASE  SET          97
H   PHASE:NOT  ADJUST
V   PHASE:NOT  ADJUST
SC  PHASE:NOT  ADJUST
```

*2　SYNCHRO が INPUT モードの場合、V PHASE を 1 Line 以上に設定してください。

*3　「5-10-1 FS MODE SET」SYNCHRO および「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の設定で初期値が下表のように変わります。また、SYNCHRO の設定を変更した場合は、常に該当する初期値に設定されます。

SYNCHRO	IN SEL	初期値
FRAME	－	0
LINE	SDI1, 2	1
	COMPOSITE (525/60 入力時)	3
	COMPOSITE (625/50 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 以外入力時)	1
AVDL	SDI1, 2	1
	COMPOSITE (525/60 入力時)	3
	COMPOSITE (625/50 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 以外入力時)	1
INPUT	SDI1, 2	0
	COMPOSITE (525/60 入力時)	2
	COMPOSITE (625/50 入力時)	3
	COMPONENT (Y/C 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 以外入力時)	1

5-10-8. VIDEO POSITION

```
 VIDEO POSITION          98
H POS:     0PIXEL
V POS:     0LINE
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲（設定単位）	説明
H POS	0	525/60 ±92 625/50 ±92 1080/59i ±240 1080/50i ±240 1080/23PsF ±240 1080/24PsF ±240 720/59p ±160 720/50p ±160 1080/59p ±240 *1 1080/50p ±240 *1 (SD: 4 PIXEL) (HD: 2 PIXEL)	出力映像の水平/垂直の位置を調整します。
V POS	0	525/60 ±30 625/50 ±36 1080/59i ±68 1080/50i ±68 1080/23PsF ±68 1080/24PsF ±68 720/59p ±90 720/50p ±90 1080/59p ±135 *1 1080/50p ±135 *1 (LINE)	

*1 FA-95-3G オプション インストール時に設定可能です。

5-10-9. CONV1 ANC SET

```
 CONV1 ANC SET          99
ANC MODE:H/V ANC
H ANC:OVERWRITE
V ANC:BLANK
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC MODE	H/V ANC	H/V ANC DETAIL	CONV1 出力のアンシラリの動作モードを設定します。H/V ANC に設定すると、H ANC, V ANC, の項目が表示され設定可能になります。 DETAIL に設定すると、H/V アンシラリ信号を全て削除し、エンベッド設定したデータ（CC、AFD 等）を新たに重畳します。 「5-10-16. ANC DATA EMBED」、「5-10-17 . ANC EMBED LINE」のアンシラリを使用する場合は、必ず DETAIL に設定してください。
H ANC *1	OVERWRITE	OVERWRITE IN DATA BLANK	CONV1 の H アンシラリに AUDIO の重畳を設定します。 **OVERWRITE :** 入力 SDI にエンベッドされたオーディオ信号を削除し、プロセスしたオーディオデータをエンベッドします。エンベデッドオーディオは、「5-10-11 CONV1 AUDIO GROUP」の設定に従います。 オーディオ信号以外の入力 SDI データは、オーディオデータの後にエンベッドされます。 **IN DATA :** 入力 SDI H ANCI 信号を全て通過させます。（プロセスしたオーディオデータをエンベッドできません。） **BLANK :** H ANCI 信号を全て削除し、プロセスしたオーディオデータをエンベッドします。
V ANC *1	PASS	PASS BLANK	CONV1 の V アンシラリのデータの重畳を設定します。 **PASS :** 入力信号の V アンシラリのデータを内部処理せずに重畳します。 **BLANK :** V ANCI 信号を全て削除します。

*1　ANC MODE が、H/V ANC に設定されている場合に有効で設定可能表示状態になります。
また、H ANC, V ANC 設定とも、入出力フォーマットが同じ場合のみ有効になります。
入出力フォーマットが異なる場合は共に BLANK 設定になります。

5-10-10. CONV2 ANC SET

```
 CONV2 ANC SET          100
ANC MODE:H/V ANC
H ANC:OVERWRITE
V ANC:BLANK
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC MODE	H/V ANC	H/V ANC DETAIL	CONV2 出力のアンシラリの動作モードを設定します。H/V ANC に設定すると、H ANC, V ANC, の項目が表示され設定可能になります。 DETAIL に設定すると、H/V アンシラリ信号を全て削除し、エンベッド設定したデータ（CC、AFD 等）を新たに重畳します。 「5-10-16. ANC DATA EMBED」～「5-10-17 . ANC EMBED LINE」のアンシラリを使用する場合は、必ず DETAIL に設定してください。
H ANC *1	OVERWRITE	OVERWRITE IN DATA BLANK	CONV2 の H アンシラリに AUDIO の重畳を設定します。 **OVERWRITE :** 入力 SDI にエンベッドされたオーディオ信号を削除し、プロセスしたオーディオデータをエンベッドします。エンベデッドオーディオは、「5-10-12 CONV2 AUDIO GROUP」の設定に従います。 オーディオ信号以外の入力 SDI データは、オーディオデータの後にエンベッドされます。 **IN DATA :** 入力 SDI H ANCI 信号を全て通過させます。（プロセスしたオーディオデータをエンベッドできません。） **BLANK :** H ANCI 信号を全て削除し、プロセスしたオーディオデータをエンベッドします。
V ANC *1	PASS	PASS BLANK	CONV2 の V アンシラリのデータの重畳を設定します。 **PASS**：入力信号の V アンシラリのデータを内部処理せずに重畳します。 **BLANK**：V ANCI 信号を全て削除します。

*1　ANC MODE が、H/V ANC に設定されている場合に有効で設定可能表示状態になります。
また、H ANC, V ANC 設定とも、入出力フォーマットが同じ場合のみ有効になります。
入出力フォーマットが異なる場合は共に BLANK 設定になります。

5-10-11. CONV1 AUDIO GROUP

エンベデットオーディオをグループ単位で重畳する・しないを設定します。

```
CONV1 AUDIO GRP      101
GROUP1:ENABLE
GROUP2:ENABLE
GROUP3:ENABLE
GROUP4:ENABLE
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
GROUP1	ENABLE	DISABLE ENABLE *2	**DISABLE** : GROUP1 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **ENABLE** : GROUP1 のエンベデットオーディオが重畳されます。
GROUP2	ENABLE	DISABLE ENABLE *2	**DISABLE** : GROUP2 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **ENABLE** : GROUP2 のエンベデットオーディオが重畳されます。
GROUP3	ENABLE	DISABLE ENABLE *2	**DISABLE** : GROUP3 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **ENABLE** : GROUP3 のエンベデットオーディオが重畳されます。
GROUP4*1	ENABLE	DISABLE ENABLE *2	**DISABLE** : GROUP4 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **ENABLE** : GROUP4 のエンベデットオーディオが重畳されます。

*1 SD-SDI を出力している場合、GROUP4 の設定にかかわらず GROUP4 は、出力されません。
*2 入出力フォーマットが同じ場合、「5-10-9 CONV1 ANC SET」で H ANC が IN DATA に設定されている場合は無効です。

5-10-12. CONV2 AUDIO GROUP

エンベデットオーディオをグループ単位で重畳する・しないを設定します。

```
CONV2 AUDIO GRP      102
GROUP1:ENABLE
GROUP2:ENABLE
GROUP3:ENABLE
GROUP4:ENABLE
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
GROUP1	ENABLE	DISABLE ENABLE *2	**DISABLE** : GROUP1 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **ENABLE** : GROUP1 のエンベデットオーディオが重畳されます。
GROUP2	ENABLE	DISABLE ENABLE *2	**DISABLE** : GROUP2 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **ENABLE** : GROUP2 のエンベデットオーディオが重畳されます。
GROUP3	ENABLE	DISABLE ENABLE *2	**DISABLE** : GROUP3 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **ENABLE** : GROUP3 のエンベデットオーディオが重畳されます。
GROUP4*1	ENABLE	DISABLE ENABLE *2	**DISABLE** : GROUP4 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **ENABLE** : GROUP4 のエンベデットオーディオが重畳されます。

*1 SD-SDI を出力している場合、GROUP4 の設定にかかわらず GROUP4 は、出力されません。
*2 入出力フォーマットが同じ場合、「5-10-9 CONV1 ANC SET」で H ANC が IN DATA に設定されている場合は無効です。

5-10-13. SD LINE MASK

```
 SD LINE MASK          103
LINE SEL:LINE6
MASK SET:PASS
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
LINE SEL	LINE6	LINE6 - 23	SD-SDI 出力およびコンポジット出力信号の LINE 番号を **LINE6** から **23** で設定します。
MASK SET	PASS	PASS BLANK	LINE SEL で選択した LINE 番号を **PASS** または、**BLANK** に設定します。 **PASS** に設定すると、コンポジット, Y/C (*1), SD-SDI 入力信号の選択した LINE 番号が処理されずに、コンポジット, Y/C (*1), SD-SDI 信号に出力されます。 **BLANK** にすると、選択した LINE 番号のコンポジット, Y/C (*1), SD-SDI 出力信号をマスクします。

*1 オプションの FA-95AIO が実装されている場合に選択可能です。

注意 アンシラリデータの重畳回路は最後段に配置されていますので、マスク設定とアンシラリの重畳ラインが同一になった場合、アンシラリの重畳が有効になります。

5-10-14. ANC DETECT LINE

入力信号のアンシラリ RP186 VI、BT1119-2 WSS を検出する際のライン番号を設定します。この設定は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。

◆ **アンシラリが RP186 VI の場合**

```
 ANC DETECT LINE       104
ANC    :RP186 VI
FORMAT :525/60
FIELD1 :  14LINE
FIELD2 :277LINE
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC	RP186 VI	RP186 VI BT1119 WSS	ANC の規格を選択します。
FORMAT	525/60	525/60 625/50	入力信号のフォーマットを選択します。
FIELD1	14LINE (525/60 時) 11LINE (625/50 時)	12–19 LINE (525/60 時) 8- 22 LINE (625/50 時)	FIELD1 の検出ライン番号を設定します。
FIELD2	277LINE（525/60 時） 324LINE（625/50 時）	275–282 LINE (525/60 時) 321-335 LINE (625/50 時)	FIELD2 の検出ライン番号を設定します。

◆ **アンシラリが BT1119 WSS の場合**

```
 ANC DETECT LINE       104
ANC    :BT1119 WSS
FORMAT :625/50
FIELD1 :  23LINE
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC	RP186 VI	RP186 VI BT1119 WSS	ANC の規格を選択します。
FORMAT	625/60	625/50	入力信号のフォーマットを選択します。
FIELD1	23LINE	8- 23 LINE	FIELD1 の検出ライン番号を設定します。

5-10-15. ANC DETECT SEL

```
 ANC DETECT SEL      105
CAPTION:CEA608 CC
AFD     :S2016-3AFD
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
CAPTION *1	CEA608 CC	CEA608 CC S334-1 CC	525/60 信号のクローズドキャプションを輝度信号 Y から検出する場合は、CEA608 CC を選択します。 SDI のアンシラリから検出する場合は、S334-1 CC に設定します。
AFD *2	S2016-3 AFD	S2016-3 AFD RP186 VI BT1119 WSS	入力信号が SDTV 時の、検出する AFD を設定します。

*1　525/60 のコンポジット入力信号のクローズドキャプション処理をする場合は、必ず CEA608 CC 側に設定してください。S334-1 CC 設定ではデータは検出されません。

*2　FA-95SCNV がインストールされている場合に設定することができます。

5-10-16. ANC DATA EMBED

SDI 信号のアンシラリ領域への、アンシラリデータの重畳を設定します。

```
 ANC DATA EMBED      108
ANC:CEA608 CC
FORMAT:525/60
EMBED:DISABLE
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC	CEA608 CC	CEA608 CC S334-1 CC SD CEA708 CC HD S2016-3 AFD *1 RP186 VI *1 BT1119 WSS *1	重畳するアンシラリデータの種類を選択します。
FORMAT	-	※	ANC で設定したアンシラリデータ形式に対応したビデオフォーマットを設定します。重畳できるビデオフォーマットのみが選択可能になります。
EMBED	DISABLE	DISABLE CONV1 CONV2 CONV1/2	**CONV1:** ANC で選択したアンシラリデータを CONV1 の出力のみに重畳します。 **CONV2:** CONV2 のみに重畳します。 **CONV1/2:** CONV1 と CONV2 両方に重畳します。 上記設定項目についてそれぞれ左記設定が可能です。

*1　オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。

◆　アンシラリデータの種類

データ形式	説明
CEA608 CC	525/60 の Analog/SDI 信号の 21 Line に Y 信号として重畳されているクローズドキャプションデータ。
S334-1 CC	525/60 の SDI 信号の ANC 期間にデータパケットとして重畳されているクローズドキャプションデータ
CEA708 CC	HD-SDI 信号の ANC 期間にデータパケットとして重畳されているクローズドキャプションデータ
S2016-3 AFD	SD/HD-SDI 信号の ANC 期間にデータパケットとして重畳されている画郭情報
RP186 VI	SD-SDI の V ANC 期間の C データの 3bit 目に重畳されている画郭情報
BT1119 WSS	625/50 の Analog 信号の 23 Line 目に Y 信号として重畳されている画郭情報

5-10-17. ANC EMBED LINE

SDI 信号のアンシラリ領域へ重畳する場合のラインを設定します。

```
ANC EMBED LINE          109
ANC:CEA608 CC
FORMAT:525/60
FIELD1:21(284)LINE
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC	CEA608 CC	CEA608 CC S334-1 CC SD CEA708 CC HD S2016-3 AFD *1 RP186 VI *1 BT1119 WSS *1	重畳するアンシラリデータの種類を選択します。
FORMAT	-	※	ANC で設定したアンシラリデータ形式に対応したビデオフォーマットを設定します。重畳できるビデオフォーマットのみが選択可能になります。
LINE FIELD1	-	※	重畳するアンシラリ領域の Line 番号を指定します。この設定は、ANC の設定項目と信号フォーマット別にそれぞれ設定可能です。 ANC の設定項目 RP186 VI の場合は、FIELD1/2 独立して設定可能です。FIELD1 側を設定します。
FIELD2	-	※	ANC の設定項目 RP186 VI の場合は、FIELD1/2 独立して設定可能で FIELD2 側を設定します。

*1　オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に設定可能です。

※設定範囲はアンシラリ規格とビデオフォーマットにより異なります。

アンシラリー規格	FORMAT	LINE	初期値
ANC: CEA 608 CC	525/60	FIELD1: 21(284)固定 *1	
ANC: S334-1 CC SD	525/60	FIELD1:12(275)～19(282) *1	FIELD1:12(275) *1
ANC: CEA708 CC HD	1080i	LINE 9～20	LINE 9
	720p	LINE 9～25	LINE 9
ANC: S2016-3 AFD	525/60	FIELD1:12(275)～19(282) *1	FIELD1:12(275) *1
	625/50	FIELD1:8(321)～22(335) *1	FIELD1:8(321) *1
	1080i/PsF	LINE 9～20	LINE 9
	720p	LINE 9～25	LINE 9
	1080p/(3G)	LINE 9～41	LINE 9
ANC: RP186 VI	525/60	FIELD1: 12～19	FIELD1: 14
		FIELD2: 275～282	FIELD2: 277
	625/50	FIELD1: 8～22	FIELD1: 11
		FIELD2: 321～335	FIELD2: 324
ANC: BT1119 WSS	625/50	FIELD1: 8～23	FIELD1: 23

*1　( )内は Field2 のライン番号が表示されます。

☞ 入力信号が 525/60 で CEA608 か S334-1 CC のクローズドキャプションが検出された場合、CONV1 または CONV2 の出力信号フォーマットが 1080/59i または 720/59p のときは、CEA708 へのクローズドキャプション変換はできません。従って、自動で CEA708 の重畳が停止されます。入力信号が 1080/59i または 720/59p の HD-SDI で CEA708 のクローズドキャプションが検出された場合、CONV1 または CONV2 の出力信号フォーマットが 525/60 のときは、S334-1 CC および CEA608 CC へのクローズドキャプション変換が自動で行われます。

注意	入力されているクローズドキャプションデータが欠落状態になった場合、出力のクローズドキャプション信号の重畳は無出力状態になります。 入力されている S2016-3 AFD, RP186 VI, BT1119 WSS が欠落状態になった場合、ANC LOSS SET の設定に従い処理されます。詳細は、「5-10-18 ANC LOSS SET」を参照してください。

◆ **同じラインに同時に重畳できないアンシラリ規格の組み合わせ**

映像規格	アンシラリ規格	S334-1 CC	S2016-3 AFD	RP186 VI	BT1119 WSS
525/60	S2016-3 CC		同一ライン 設定可能	同一ライン 設定不可	
	S2016-3 AFD	同一ライン 設定可能		同一ライン 設定不可	
	RP186 VI	同一ライン 設定不可	同一ライン 設定不可		
625/50	S2016-3 AFD			同一ライン 設定不可	同一ライン 設定不可
	RP186 VI		同一ライン 設定不可		同一ライン 設定可能
	BT1119 WSS		同一ライン 設定不可	同一ライン 設定可能	

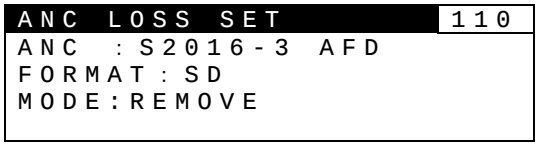
“同一ライン設定不可”で記載されているアンシラリ同一ラインに設定し、「5-10-16 ANC DATA EMBED」 で重畳を許可に設定した場合、エラーメッセージの＊が表示されます。このエラーが出た状態で使用した場合、正常にアンシラリが重畳できませんので、正しく設定してください。通常初期値に設定されているライン番号を使用して頂ければ正常に重畳されます。他の機器と接続を合わせる為に変更する場合は注意して設定してください。

エラーメッセージ表示例

```
ANC EMBED LINE          109
ANC:*RP186 VI
FORMAT:525/60
FIELD1: *12LINE
FIELD2:*275LINE
```

5-10-18. ANC LOSS SET

入力の AFD アンシラリデータが欠落した場合および、規定されていない AFD コードが入った場合の動作を設定します。
この設定は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に可能になります。



メニューボタン

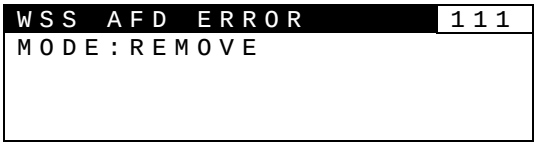
VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC	S2016-3 AFD	S2016-3 AFD RP186 VI BT1119 WSS	SDI 信号へ重畳するアンシラリデータの種類を選択します。
FORMAT	SD	SD HD *1	ANC で設定したアンシラリデータ形式に対応したビデオフォーマットを選択します。アンシラリデータ形式の規格上重畳できるビデオフォーマットのみが表示されます。
MODE	REMOVE	FORMAT が SD の場合 REMOVE *2 HOLD *2 4:3 L 16:9 T *2 4:3 L14:9 T *2 4:3 L>16:9 *2 4:3 F 4:3 *2 4:3 L16:9PRTD *2 4:3 L 14:9 *2 4:3 F ALT14:9 *2 4:3 L ALT14:9 4:3 L ALT 4:3 16:9 L>16:9 16:9 F 16:9 *2 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD 16:9 P 14:9 16:9P ALT14:9 16:9F ALT14:9 16:9 F ALT4:3 FORMAT が HD の場合 REMOVE HOLD 16:9 L>16:9 16:9 F 16:9 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD 16:9 P 14:9 16:9P ALT14:9 16:9F ALT14:9 16:9F ALT4:3	この設定は､アンシラリと信号フォーマット毎にそれぞれ設定可能です。 **REMOVE** は、CONV1, 2 の出力にアンシラリを重畳しません。 **HOLD** は、入力映像信号から最後に検出したアンシラリを保持して変換出力します。 その他の設定は、設定された AFD を入力として動作します。 ANC が、BT1119 WSS の場合は、*2 の範囲で設定可能です。

*1 HD は、ANC が S2016-3 の場合のみ設定可能です。

5-10-19. WSS AFD ERROR

CONV1/2 へ WSS の重畳を許可している場合に、アスペクト変換で WSS に規定されていない変換結果になったときの出力動作モードを設定します。



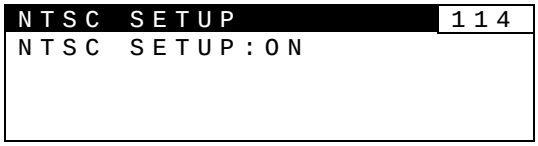
メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
MODE	REMOVE	REMOVE F 4:3	**REMOVE:** CONV1,2 への BT1119 WSS が重畳されません。 **F 4:3:** CONV1, 2 へ BT1119 WSS F 4:3（コード 8）を重畳します。

5-11. NTSC SETUP

オプションの FA-95AIO が実装されている場合に表示されます。
アナログ コンポジット、Y/Pb/Pr、Y/C NTSC 入出力信号のセットアップ処理を設定します。



メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
NTSC SETUP	OFF	OFF ON	取り扱う信号が SETUP 付きの場合は **ON**、 SETUP なしの場合は **OFF** に設定します。

5-12. PAL-M MODE SET

COMPOSITE および Y/C（*1）出力の NTSC 信号を PAL-M 信号とする設定です。

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
MODE	DISABLE	DISABLE ENABLE	**DISABLE**: NTSC を出力することができます。 **ENABLE**: PAL-M 信号を出力することができます。*2

*1　Y/C 出力は、オプションの FA-95AIO が実装されていて Y/C 出力に設定されている場合に出力されます。

*2　COMPOSITE および Y/C（*1）出力で PAL-M モード出力が可能となりますが、NTSC を出力することはできなくなります。
PAL-M 出力を同期させる場合には、GENLOCK 入力信号には PAL-M の BB 信号、または 59.94/29.97 Hz の 3 値シンク信号を入力してください。（NTSC の BB 信号では正常な同期はできません。）
なお、PAL 信号を扱う場合には本設定に関わらず PAL 出力が可能です。

5-13. 各種信号 STATUS 表示（STATUS）

5-13-1. UNIT ALARM

```
 UNIT ALARM              501
FAN1:NORMAL
FAN2:NORMAL
DC POWER1:NORMAL
DC POWER2:NORMAL
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
FAN1	NORMAL STOPPED	FAN1 の動作状態を表示します。 **NORMAL**：正常動作 **STOPPED：**FAN1 が停止状態です。 電源を OFF にし、ファンの交換が必要な場合は販売代理店までご連絡ください。
FAN2	NORMAL STOPPED	FAN2 の動作状態を表示します。 **NORMAL**：正常動作 **STOPPED：**FAN2 が停止状態です。 電源を OFF にし、ファンの交換が必要な場合は販売代理店までご連絡ください。
DC POWER1 *1	NORMAL ABNORMAL	DC POWER1 電源 1 の電源供給状態を表示します。 **NORMAL**：正常動作 **ABNORMAL**：電源 1 が異常状態です。 電源に異常があります。動作に問題はありませんが、電源交換をお勧めします。交換する場合は販売代理店にお問い合わせください。
DC POWER2 *1	NORMAL ABNORMAL	DC POWER2 電源 2 の電源供給状態を表示します。 **NORMAL**：正常動作 **ABNORMAL**：電源 2 が異常状態です。 電源に異常があります。動作に問題はありませんが、電源交換をお勧めします。交換する場合は販売代理店にお問い合わせください。

*1　FA-95PS が装着されていない場合、表示されません。

5-13-2. VIDEO IN STATUS

```
 VIDEO IN STATUS      502
SDI1：1080/59i
SDI2：525/60
COMPOSITE:525/60
REFERENCE:525/60
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
SDI1	LOSS 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF 1080/59p *1 1080/50p *1 BY-PASS UNKNOWN	SDI1 入力信号フォーマットが表示されます。信号が無い場合は、**LOSS** と表示されます。また、サポートしていない信号の場合は、UNKNOWN と表示されます。
SDI2	LOSS 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF 1080/59p *1 1080/50p *1 BY-PASS UNKNOWN -----	SDI2 入力信号フォーマットが表示されます。信号が無い場合は、**LOSS** と表示されます。また、サポートしていない信号の場合は、UNKNOWN と表示されます。 オプションの FA-95AIO が実装されていて「5-7-1 VIDEO INPUT SET 」の設定が YPbPr SMPTE, YPbPr BETACAM, RGB, または Y/C に設定されている場合は、“-----”と表示されます。
COMPOSITE	LOSS 525/60 625/50 BY-PASS	COMPOSITE 入力信号フォーマットが表示されます。信号が無い場合は、**LOSS** と表示されます。
REFERENCE	LOSS 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF PAL-M *2 UNKNOWN NOT USED *3	GENLOCK 入力信号フォーマットが表示されます。信号が無い場合は、**LOSS** と表示されます。また、サポートしていない信号の場合は、UNKNOWN と表示されます。

*1　FA-95-3G オプションがインストールされていない場合は表示されません。

*2　「5-12 PAL-M MODE SET」の Mode が ENABLE に設定されていて、GENLOCK IN に 525/60 または PAL-M 信号が入力された場合に表示されます。

*3　「5-10-1. FS MODE SET」の SYNCHRO が INPUT に設定されている場合に表示されます。

5-13-3. COMPONENT INPUT

オプションの FA-95AIO が実装されている場合に表示されます。

```
COMPONENT INPUT          503
FORMAT : 525/60
MODE   : YPbPr SMPTE
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
FORMAT	LOSS 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF BY-PASS UNKNOWN	FA-95AIO に入力されている信号フォーマットが表示されます。入力が無い場合は、**LOSS** と表示されます。また、サポートしていない信号の場合は、**UNKNOWN** と表示されます。
MODE	YPbPr SMPTE YPbPr BETACAM RGB Y/C -----	FA-95AIO の入力信号形式が表示されます。 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の IN SEL の設定で、SDI1、SDI2、または COMPOSITE に設定されている場合は、“-----”と表示されます。入力信号選択は、「5-7-1 VIDEO INPUT SET」を参照してください。

5-13-4. VIDEO OUT STATUS

出力映像信号の状態が表示されます。

```
VIDEO OUT STATUS         511
SDI1/2 : 1080/59i
SDI3/4 : 1080/59i
COMPOSITE: 525/60
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
SDI1/2	525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF 1080/59p *1 1080/50p *1 BY-PASS DISABLE	SDI1 に出力されている信号フォーマットが表示されます。 無出力の場合は、**DISABLE** と表示されます。
SDI3/4	同上	SDI2 に出力されている信号フォーマットが表示されます。 無出力の場合は、**DISABLE** と表示されます。
COMPOSITE	525/60 625/50 BY-PASS DISABLE PAL-M	COMPOSITE に出力されている信号フォーマットが表示されます。 無出力の場合は、**DISABLE** と表示されます。 **PAL-M** は「5-12. PAL-M MODE SET」が ENABLE に設定されていて、「5-8-6. COMPOSITE SET」の変換後の出力フォーマットが 525/60 の場合に表示されます。

*1　FA-95-3G オプションがインストールされていない場合は表示されません。

5-13-5. COMPONENT OUTPUT

オプションの FA-95AIO が実装されている場合に表示されます。

```
COMPONENT OUTPTUT  512
FORMAT:525/60
MODE   :YPbPr SMPTE
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
FORMAT	525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF PAL-M BY-PASS DISABLE	FA-95AIO が出力している信号フォーマットが表示されます。無出力の場合は、**DISABLE** と表示されます。
MODE	YPbPr SMPTE YPbPr BETACAM RGB Y/C *1	FA-95AIO の出力信号形式が表示されます。 出力信号形式の設定は、「5-8-8 COMPONENT SET」を参照してください。

*1 MODE が Y/C の場合、出力 FORMAT は 525/60, 625/50, PAL-M のいずれかになります。

5-13-6. SOURCE AUDIO

```
SOURCE AUDIO          531
CH  1:LOSS
CH  2:LOSS
CH  3:LOSS
CH  4:LOSS
```

```
SOURCE AUDIO          532
CH  5:LOSS
CH  6:LOSS
CH  7:LOSS
CH  8:LOSS
```

```
SOURCE AUDIO          533
CH  9:LOSS
CH10:LOSS
CH11:LOSS
CH12:LOSS
```

```
SOURCE AUDIO          534
CH13:LOSS
CH14:LOSS
CH15:LOSS
CH16:LOSS
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
CH1-CH16	LOSS PCM PCM 48KHz PCM 44.1KHz PCM 32KHz PCM Other SILENCE SILENCE 48KHz SILENCE 44.1KHz SILENCE 32KHz SILENCE Other NON-PCM PCM(Async) SILENCE (Async) NON-PCM (Async) IN (Analog) UNKNOWN	「6-5 AUDIO MAPPING（MAPPING）」 で選択された AUDIO SOURCE CH1 - CH16 の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **LOSS**：音声信号なし **PCM**：通常音声信号（SDI 入力） **PCM 48KHz**：通常音声信号（AES 入力 約 48KHz） **PCM 44.1KHz**：通常音声信号（AES 入力 約 44.1KHz） **PCM 32KHz**：通常音声信号（AES 入力 約 32KHz） **PCM Other**：通常音声信号（AES 入力 その他） **SILENCE**：無音信号（SDI 入力） **SILENCE 48KHz**：無音信号（AES 入力 約 48KHz） **SILENCE 44.1KHz**：無音信号（AES 入力 約 44.1KHz） **SILENCE 32KHz**：無音信号（AES 入力 約 32KHz） **SILENCE Other**：無音信号（AES 入力 その他） **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **PCM (Async)**：通常音声信号（SDI 入力 非同期） **SILENCE (Async)**：無音信号（SDI 入力 非同期） **NON-PCM (Async)**：AC3 などの圧縮音声信号 （SDI 入力 非同期） **IN (ANALOG)**：アナログ音声信号 **UNKNOWN**：判別不可

MAPPINGで選択されたAUDIO SOURCE CH1 - CH16のAUDIO信号の状態が表示されます。

5-13-7. SDI 1 IN AUDIO

```
 SDI1 IN AUDIO          535
CH  1:LOSS
CH  2:LOSS
CH  3:LOSS
CH  4:LOSS
```

```
 SDI1 IN AUDIO          536
CH  5:LOSS
CH  6:LOSS
CH  7:LOSS
CH  8:LOSS
```

```
 SDI1 IN AUDIO          537
CH  9:LOSS
CH10:LOSS
CH11:LOSS
CH12:LOSS
```

```
 SDI1 IN AUDIO          538
CH13:LOSS
CH14:LOSS
CH15:LOSS
CH16:LOSS
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
CH1 - CH16	LOSS PCM SILENCE NON-PCM PCM(Async) SILENCE (Async) NON-PCM (Async) UNKNOWN	SDI1 に入力された CH1～CH16 の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **LOSS**：音声信号なし **PCM**：通常音声信号 **SILENCE**：無音信号 **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **PCM (Async)**：通常音声信号（非同期） **SILENCE (Async)**：無音信号(非同期) **NON-PCM (Async)**：AC3 などの圧縮音声信号(非同期） **UNKNOWN**：判別不可

5-13-8. SDI 2 IN AUDIO

```
 SDI2 IN AUDIO        539
CH 1:LOSS
CH 2:LOSS
CH 3:LOSS
CH 4:LOSS
```

```
 SDI2 IN AUDIO        540
CH 5:LOSS
CH 6:LOSS
CH 7:LOSS
CH 8:LOSS
```

```
 SDI2 IN AUDIO        541
CH 9:LOSS
CH10:LOSS
CH11:LOSS
CH12:LOSS
```

```
 SDI2 IN AUDIO        542
CH13:LOSS
CH14:LOSS
CH15:LOSS
CH16:LOSS
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
CH1 - CH16	LOSS PCM SILENCE NON-PCM PCM(Async) SILENCE (Async) NON-PCM(Async) UNKNOWN -----	SDI2 に入力された CH1～CH16 の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **LOSS**：音声信号なし **PCM**：通常音声信号 **SILENCE**：無音信号 **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **PCM (Async)**：通常音声信号（非同期） **SILENCE (Async)**：無音信号(非同期) **NON-PCM (Async)**：AC3 などの圧縮音声信号(非同期） **UNKNOWN**：判別不可 オプションの FA-95AIO が実装されていて「5-7-1 VIDEO INPUT SET 」の設定が YPbPr SMPTE, YPbPr BETACAM, RGB,または Y/C に設定されている場合は、“-----”と表示されます。

5-13-9. AES IN AUDIO

```
AES IN AUDIO          543
CH 1:LOSS
CH 2:LOSS
CH 3:LOSS
CH 4:LOSS
```

```
AES IN AUDIO          544
CH 5:LOSS
CH 6:LOSS
CH 7:LOSS
CH 8:LOSS
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
CH1 - CH8	LOSS PCM 48KHz PCM 44.1KHz PCM 32KHz PCM Other SILENCE 48KHz SILENCE 44.1KHz SILENCE 32KHz SILENCE Other NON-PCM OUTPUT SETTING	AES 入出力端子の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **LOSS：**音声信号なし **PCM 48KHz：**通常音声信号（約 48KHz） **PCM 44.1KHz：**通常音声信号（約 44.1KHz） **PCM 32KHz：**通常音声信号（約 32KHz） **PCM Other：**通常音声信号（その他） **SILENCE 48KHz：**無音信号（約 48KHz） **SILENCE 44.1KHz：**無音信号（約 44.1KHz） **SILENCE 32KHz：**無音信号（約 32KHz） **SILENCE Other：**無音信号（その他） **NON-PCM：**AC3 などの圧縮音声信号 **OUTPUT SETTING：**AES 端子出力モード

5-13-10. ANALOG IN AUDIO

```
ANALOG IN AUDIO       545
CH 1:LOSS
CH 2:LOSS
CH 3:LOSS
CH 4:LOSS
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
CH1 - CH4	LOSS IN	ANALOG AUDIO IN 信号の状態が表示されます。 **LOSS：**音声信号なし **IN：**入力あり

5-13-11. SDI 1/2 OUT AUDIO

```
SDI1/2 OUT AUDIO   561
CH 1:PCM
CH 2:PCM
CH 3:PCM
CH 4:PCM
```

```
SDI1/2 OUT AUDIO   562
CH 5:PCM
CH 6:PCM
CH 7:PCM
CH 8:PCM
```

```
SDI1/2 OUT AUDIO   563
CH 9:PCM
CH10:PCM
CH11:PCM
CH12:PCM
```

```
SDI1/2 OUT AUDIO   564
CH13:PCM
CH14:PCM
CH15:PCM
CH16:PCM
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
CH1 - CH16	PCM SILENCE NON-PCM UNKNOWN BLANK BY-PASS	SDI1/2 に出力された CH1 - CH16 の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **PCM**：通常音声信号 **SILENCE**：無音信号 **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **UNKNOWN**：判別不可 **BLANK**：重畳なし **BY-PASS**：バイパス設定状態

5-13-12. SDI 3/4 OUT AUDIO

```
SDI3/4 OUT AUDIO   565
CH 1:PCM
CH 2:PCM
CH 3:PCM
CH 4:PCM
```

```
SDI3/4 OUT AUDIO   566
CH 5:PCM
CH 6:PCM
CH 7:PCM
CH 8:PCM
```

```
SDI3/4 OUT AUDIO   567
CH 9:PCM
CH10:PCM
CH11:PCM
CH12:PCM
```

```
SDI3/4 OUT AUDIO   568
CH13:PCM
CH14:PCM
CH15:PCM
CH16:PCM
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
CH1 - CH16	PCM SILENCE NON-PCM UNKNOWN BLANK BY-PASS	SDI3/4 に出力された CH1 - CH16 の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **PCM：**通常音声信号 **SILENCE：**無音信号 **NON-PCM：**AC3 などの圧縮音声信号 **UNKNOWN：**判別不可 **BLANK：**重畳なし **BY-PASS：**バイパス設定状態

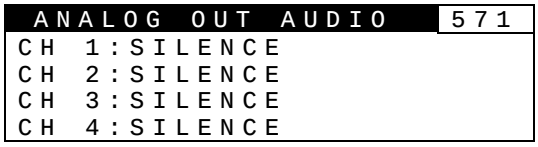
5-13-13. AES OUT AUDIO

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
CH1 - CH8	PCM SILENCE NON-PCM UNKNOWN INPUT SETTING	AES 入出力端子の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **PCM：**通常音声信号 **SILENCE：**無音信号 **NON-PCM：**AC3 などの圧縮音声信号 **UNKNOWN：**判別不可 **INPUT SETTING：**AES 端子入力モード

5-13-14. ANALOG OUT AUDIO



メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
CH1 - CH4	SILENCE OUT	ANALOG 出力端子の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **SILENCE：**無音信号 **OUT：**出力あり

5-13-15. Dolby AUX STATUS

※FA-95D-D オプションが装着されていない場合は、以下のメニューは表示されません。

```
 Dolby AUX STATUS   573
INPUT  :LOSS
OUTPUT:NONE
REFERENCE:LOSS
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	表示内容	説明
INPUT	LOSS PCM NON-PCM UNKNOWN	Dolby オプションの入力端子（Dolby IN）に入力されている信号の種類が表示されます。 LOSS：音声信号なし PCM：通常音声信号 NON-PCM：Dolby E などの圧縮音声信号 UNKNOWN：判別不可
OUTPUT	PCM NON-PCM NONE	Dolby オプションの出力端子（Dolby OUT）に出力されている信号の種類が表示されます。 PCM：通常音声信号 NON-PCM：Dolby E などの圧縮音声信号 NONE：信号出力なし
REFERENCE	LOSS 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF UNKNOWN	Dolby オプションの REF IN 端子に入力されているリファレンス信号フォーマットが表示されます。 LOSS：信号入力なし UNKNOWN：判別不可

5-13-16. AFD IN STATUS

オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。

◆　入力信号の AFD を S2016-3 で検出している場合

```
 AFD IN STATUS          641
DETECT:S2016-3
AFD:02  AR:0
4:3  L  16:9  T
D:10000000  00000000
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

AFD: Active Format Description が 16 進数で表示されます。
AR: Aspect Ratio が 0, 1 で表示されます。（0 4:3, 1 16:9）
3 行目に、検出されている AFD の名称が表示されます。
D: 検出されている Data1～8 が、16 進数で表示されます。

◆　入力信号の AFD を RP186 VI で検出している場合

```
 AFD IN STATUS          641
DETECT : RP186 VI
AFD : 02   SS : 00
4:3  L  16:9  T
D1 : 10  D2 : 00  D3 : 00
```

RP186 VI (Video Index) Class1 の検出状態が表示されます。
AFD: Active Format Description が 16 進数で表示されます。
SS: Scanning System の値が 16 進数で表示されます。
3 行目に、検出されている AFD の名称が表示されます。
D1～D3: 検出されているデータが 16 進数で表示されます。

◆　入力信号の AFD を BT1119-2 WSS で検出している場合

```
 AFD IN STATUS          641
DETECT : BT1119 WSS
AFD:01
BOX  14:9  CENTER
BIT13-0:0000
```

BT1119-2 WSS の検出状態が表示されます。
AFD: Active Format Description が 16 進数で表示されます。
3 行目に、検出されている AFD の名称が表示されます。
BIT13-0: 検出されている Bit13～Bit0 が 16 進数で表示されます。

☞　AFD 名称の詳細は、「20-6 AFD 略称表記一覧」を参照しください。

5-14. ANC IN STATUS

```
 ANC IN STATUS          651
CEA608:PRESENT      L:  21
WSS:ABSENT
VI:PRESENT        L:14/277
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

CEA608/WSS/VI のアンシラリデータの検出状態が表示されます。
検出されたライン番号が表示されます。
WSS と VI は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。

5-15. ANC IN STATUS1-2

```
 ANC IN STATUS1        655
DID/SDID:**/**
S334-1CDP(708)
S352M VPID
-----
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

入力が SDI 信号の場合、入力信号に重畳されているアンシラリデータパケットの検出状態が表示されます。
規定されていない DID/SDID の場合は、検出された DID および SDID データを 16 進数で表示します (例：DID/SDID: 05/30) 。
規定されている DID/SDID の場合は、アンシラリ名 (例：S334-1CDP(708)) を表示します。
表示されるアンシラリ名の一覧と DID/SDID 規定等説明については「□ FA-9500 アンシラリ表示名一覧」を参照してください。
最大 8 個分のアンシラリデータの検出内容が表示されます。

5-16. CONV1 ANC OUT

```
 CONV1 ANC OUT         671
CEA608:PRESENT     L: 21
WSS:ABSENT
VI:PRESENT       L:14/277
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

WSS, VI は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。
CONV1 出力信号に CEA608/WSS/VI が重畳されている／いないが表示されます。
重畳されたライン番号が表示されます。信号が重畳されている場合は“PRESENT”され、重畳されていない場合は“ABSENT”と表示されます。また、「5-10-9 CONV1 ANC SET」の ANC MODE が H/V ANC の場合は、VANC の設定（PASS または BLANK）が表示されます。この場合、ライン番号は表示されません。

5-16-1. CONV1 S2016 OUT

CONV1 S2016 OUT は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。CONV1 出力信号に S2016-3 が重畳されている／いないが表示されます。

◆ **S2016-3 が CONV1 出力に重畳されていない場合**

```
 CONV1 S2016 OUT       672
S2016-3:ABSENT
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

「5-10-9 CONV1 ANC SET」の ANC MODE が H/V ANC の場合は、VANC の設定（PASS または BLANK）が表示されます。

◆ **S2016-3 が CONV1 出力に重畳されている場合**

```
 CONV1 S2016 OUT       672
S2016-3:PRESENT
AFD:02  AR:0
4:3  L  16:9T
D:10000000  00000000
```

AFD: Active Format Description が 16 進で表示されます。
AR: Aspect Ratio が 0, 1 で表示されます。（0 4:3, 1 16:9）
3 行目に、検出されている AFD の名称が表示されます。
D:検出されている Data1～8 が、16 進で表示されます。

☞ AFD 名称の詳細は、「20-6 AFD 略称表記一覧」を参照しください。

5-16-2. CONV1 VI OUT

CONV1 VI OUT は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。CONV1 出力信号に RP186 VI が重畳されている／いないが表示されます。

◆ **RP186 VI が CONV1 出力に重畳されていない場合**

```
CONV1 VI OUT          673
RP186 VI:ABSENT
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

「5-10-9 CONV1 ANC SET」の ANC MODE が H/V ANC の場合は、VANC の設定（PASS または BLANK）が表示されます。

◆ **RP186 VI が CONV1 出力に重畳されている場合**

```
CONV1 VI OUT          673
RP186 VI:PRESENT
AFD:02   SS:02
BOX 16:9 TOP
D1:12 D2:02 D3:02
```

AFD: Active Format Description が 16 進で表示されます。
SS: Scanning System の値が 16 進で表示されます。
3 行目に、検出されている AFD の名称が表示されます。
D1～D3: 重畳されているデータが 16 進で表示されます。

☞ AFD 名称の詳細は、「20-6 AFD 略称表記一覧」を参照しください。

5-16-3. CONV1 WSS OUT

◆ **BT1119-2 WSS が CONV1 出力に重畳されていない場合**

```
CONV1 WSS OUT         674
BT1119 WSS:ABSENT
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

また、「5-10-9 CONV1 ANC SET」の ANC MODE が H/V ANC の場合は、VANC の設定（PASS または BLANK）が表示されます。

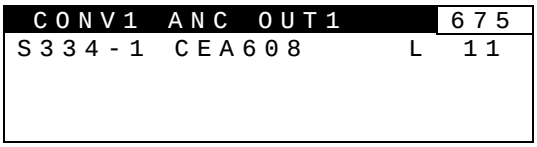
◆ **BT1119-2 WSS が CONV1 出力に重畳されている場合**

```
CONV1 WSS OUT         674
BT1119 WSS:PRESENT
AFD:04
BOX 16:9 TOP
BIT13-0:0004
```

BT1119-2 WSS の検出状態が表示されます。
AFD: Active Format Description が 16 進で表示されます。
3 行目に、検出されている AFD の名称が表示されます。
BIT13-0: 検出されている Bit13～Bit0 が 16 進で表示されます。

☞ AFD 名称の詳細は、「20-6 AFD 略称表記一覧」を参照しください。

5-17. CONV1 ANC OUT1

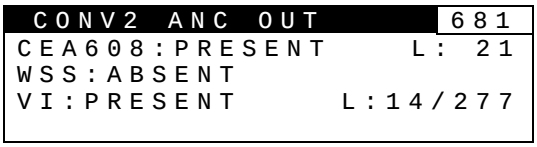


メニューボタン

STATUS
OTHER

L は重畳しているアンシラリデータのライン番号です。
CONV1 にアンシラリデータを重畳している場合は、アンシラリデータパケット名と重畳しているライン番号が表示されます。4 個分の ANC が表示されます。
表示されるアンシラリ名一覧は「□ FA-9500 アンシラリ表示名一覧」を参照してください。

5-18. CONV2 ANC OUT



メニューボタン

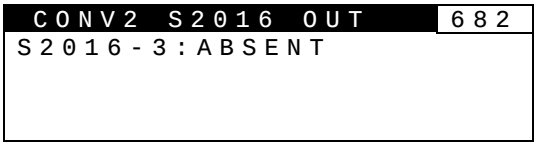
STATUS
OTHER

WSS, VI は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。
CONV2 出力信号に CEA608/WSS/VI が重畳されている／いないが表示されます。
重畳されているライン番号が表示されます。信号が重畳されている場合は PRESENT と表示され、重畳されていない場合は ABSENT と表示されます。また、「5-10-10 CONV2 ANC SET」の ANC MODE が H/V ANC の場合は、VANC の設定（PASS または BLANK）が表示されます。この場合、ライン番号は表示されません。

5-18-1. CONV2 S2016 OUT

CONV2 S2016 OUT は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。CONV2 出力信号に S2016-3 が重畳されている／いないが表示されます。

◆ S2016-3 が CONV2 出力に重畳されていない場合

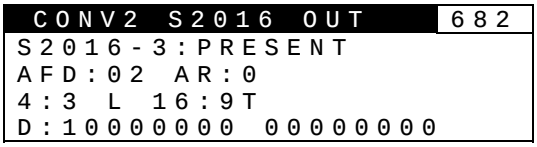


メニューボタン

STATUS
OTHER

「5-10-10 CONV2 ANC SET」の ANC MODE が H/V ANC の場合は、VANC の設定（PASS または BLANK）が表示されます。

◆ S2016-3 が CONV2 出力に重畳されている場合



AFD: Active Format Description が 16 進で表示されます。
AR: Aspect Ratio が 0, 1 で表示されます。（0 4:3, 1 16:9）
3 行目に、検出されている AFD の名称が表示されます。
D:検出されている Data1～8 が、16 進で表示されます。

☞ AFD 名称の詳細は、「20-6 AFD 略称表記一覧」を参照しください。

5-18-2. CONV2 VI OUT

CONV2 VI OUT は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。CONV1 出力信号に RP186 VI が重畳されている／いないが表示されます。

◆ RP186 VI が CONV2 出力に重畳されていない場合

```
CONV2 VI OUT          683
RP186 VI:ABSENT
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

◆ RP186 VI が CONV2 出力に重畳されている場合

```
CONV2 VI OUT          683
RP186 VI:PRESENT
AFD:02   SS:02
BOX 16:9 TOP
D1:12 D2:02 D3:02
```

RP186 VI (Video Index) Class1 の検出状態が表示されます。
AFD: Active Format Description の値が 16 進で表示されます。
SS: Scanning System が 16 進で表示されます。
3 行目に、検出されている AFD の名称が表示されます。
D1～D3: 重畳されているデータが 16 進で表示されます。

☞ AFD 名称の詳細は、「20-6 AFD 略称表記一覧」を参照しください。

5-18-3. CONV2 WSS OUT

CONV2 WSS OUT は、オプションの FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。CONV1 出力信号に BT1119 WSS が重畳されている／いないが表示されます。

◆ BT1119-2 WSS が CONV2 出力に重畳されていない場合

```
CONV2 WSS OUT         684
BT1119 WSS:ABSENT
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

「5-10-10 CONV2 ANC SET」の ANC MODE が H/V ANC の場合は、VANC の設定（PASS または BLANK）が表示されます。

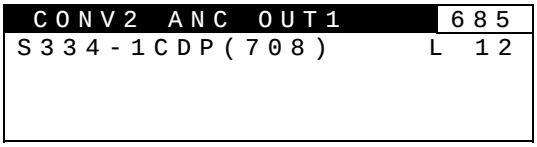
◆ BT1119-2 WSS が CONV2 出力に重畳されている場合

```
CONV2 WSS OUT         684
BT1119 WSS:PRESENT
AFD:04
BOX 16:9 TOP
BIT13-0:0004
```

BT1119 WSS の検出状態が表示されます。
AFD: Active Format Description が 16 進で表示されます。
3 行目に、検出されている AFD の名称が表示されます。
BIT13-0: 検出されている Bit13～Bit0 が 16 進で表示されます。

☞ AFD 名称の詳細は、「20-6 AFD 略称表記一覧」を参照しください。

5-19. CONV2 ANC OUT1



メニューボタン

STATUS
OTHER

L は重畳している Line 番号です。
CONV2 にアンシラリデータを重畳している場合は、アンシラリデータパケット名と重畳しているライン番号が表示されます。4 個分のアンシラリデータの情報が表示されます。
表示されるアンシラリ名の一覧は「19 FA-9500 アンシラリデータパケット表示名一覧」を参照してください。

6. AUDIO 関連設定

VIDEO AUDIO ボタンを押しオレンジ色点灯状態にします。
（緑点灯のときに押すとオレンジ点灯になります。）
各メニューボタン下側の AUDIO 関連項目の選択になります。

メニューボタン

VIDEO AUDIO

6-1. SDI AUDIO の設定（SDI AUDIO）

SDI IN1/2, SDI OUT1/2, SDI OUT3/4 のエンベデット・オーディオの設定を行います。

6-1-1. SDI AUDIO GAIN

```
 SDI AUDIO GAIN      121
CH SEL   :CH1
GAIN SET:  0.0dB
MASTER   :  0.0dB
```

メニューボタン

PROCESS SDI AUDIO

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH SEL	CH1	CH1 - CH16	ゲイン調整する CH を選択します。
GAIN SET	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB) *1	CH SEL で選択された SDI エンベデッドオーディオ CH のインプット側のゲインを設定します。
MASTER	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	SDI エンベデッドオーディオ CH1-16 全てのインプット側のゲインにオフセットを設定します。

*1 MASTER 設定値を上げ各チャネルの設定範囲の上限を超えた場合、警告マークの *20.0dB と表示されます。同様に MASTER 設定値を下げ各チャネルの設定範囲の下限を超えた場合、*-20.0dB と表示されます。

6-1-2. SDI REMAPPING

```
 SDI REMAPPING        122
CH SEL:CH1
ASSIGN:SOURCE1
SOURCE:SDI1
```

メニューボタン

PROCESS
SDI AUDIO

項目	初期値	設定範囲		説明
CH SEL	CH1	CH1 - CH16		SDI 出力のエンベデッドオーディオ CH を **CH1-16** から選択します。
ASSIGN	各 SOURCE	SOURCE1 – 16 *1 500Hz 1KHz SILENCE DOWNMIX-L *2 DOWNMIX-R *2 Dolby DEC 1 – 8 *3, *6 Dolby DM-L *4, *6 Dolby DM-R *4, *6 Dolby ENC 1 – 2 *5, *7		CH SEL で選択された SDI エンベデッドオーディオ出力に任意の信号を割り当てます。 **SOURCE1-16**：内部処理された SOURCE チャネルの信号 **500Hz/1KHz**：テスト信号 **SILENCE**：無音信号 **DOWNMIX-L/R**：SOURCE チャネルの信号から生成されたダウンミックス信号 **Dolby DEC1-8**：Dolby デコードされた PCM 信号 **Dolby DM-L/R**：Dolby デコードされた PCM 信号から生成されたダウンミックス信号 **Dolby ENC1-2**：選択された SOURCE チャネルの信号をエンコードした Dolby E 信号 **LOUD1/2, L, R, C, LFE, Ls, Rs：**選択された SOURCE チャネルの信号をラウドネス処理した信号
		LOUD1- *8 LOUD2- *8	L R C LFE Ls Rs	
SOURCE	-	SDI1 - 16 AES1 - 8 ANA1 - 4		ASSIGN で設定した SOURCE チャネルの入力信号が表示されます。 ASSIGN で SOURCE1-16 以外を選択した場合には表示されません。

*1　SOURCE の設定は、「6-5 AUDIO MAPPING（MAPPING)」を参照してください。
*2　DOWN MIX の設定は、「6-7 DOWN MIX SET」を参照してください。
*3　Dolby DEC の設定は、「6-9-1-2 Dolby DECODER INPUT」を参照してください。
*4　Dolby DM の設定は、「6-9-1-4 Dolby DOWNMIX」を参照してください。
*5　Dolby ENC の設定は、「6-9-2 Dolby Encoder Option (FA-95DE-E)
Dolby ENCODER INPUT」、「6-9-2-2 Dolby ENCODER SETTING」を参照してください。
*6　FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。
*7　FA-95DE-E オプションが装着されていない場合は表示されません。
*8　FA-95ALA オプションが装着されていない場合は表示されません。
LOUD 1/2 の設定は、「6-9-3-4. LOUDNESS CHANNEL ASSIGNMENT」を参照してください。

◆ NON-PCM 音声入力時の音声処理

FA-9500 は、NON-PCM の音声信号が入力された場合、L/R のチャネルペア単位で音声の入力状態を自動的に判別し、L チャネル側を優先して音声処理を行います。
L/R のチャネルペアは、SOURCE1/2, SOURCE3/4….. SOURCE15/16 のペアで判別されます。
自動判別処理された音声チャネルには、“CH1:＊SOURCE2”のように“＊”が追加表示されます。

NON-PCM 入力時の自動判別の例：

SOURCE 1, 2 に NON-PCM、SOURCE3～16 に PCM が入力された場合の各設定時の自動判別音声処理は、表のように処理されます。

設定	メニュー表示	自動判別音声処理結果
CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE2	CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE2	CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE2 L/R 共に NON-PCM のチャネルペア設定のため、設定と同じ音声処理します。
CH1: SOURCE3 CH2: SOURCE5	CH1: SOURCE3 CH2: SOURCE5	CH1: SOURCE3 CH2: SOURCE5 L/R 共に PCM のため、設定と同じ音声処理されます。
CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE1	CH1: SOURCE1 CH2: ＊SOURCE2	CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE2 NON-PCM 同一チャネルペア設定のため、L 側のチャネルペアの NON-PCM1（CH1:SOURCE1）を優先し音声処理します。
CH1: SOURCE2 CH2: SOURCE2	CH1: ＊SOURCE1 CH2: SOURCE2	CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE2 NON-PCM 同一チャネルペア設定のため、L 側のチャネル NON-PCM（CH1:SOURCE2）を優先し音声処理します。
CH1: SOURCE4 CH2: SOURCE2	CH1: ＊SOURCE3 CH2: ＊SOURCE4	CH1: SOURCE3 CH2: SOURCE4 L チャネル PCM と R チャネル NON-PCM（CH1:SOURCE2）のペア設定のため、L 側のチャネル PCM（CH1:SOURCE4）を優先し音声処理します。
CH1: SILENCE CH2: SOURCE2	CH1: SILENCE CH2: ＊SILENCE	CH1: SILENCE CH2: SILENCE L チャネル SILENCE と R チャネル NON-PCM（CH1:SOURCE2）のペア設定のため、L 側のチャネル SILENCE（CH1:SILENCE）を優先し音声処理されます。
CH1: 500Hz CH2: SOURCE2	CH1: 500Hz CH2: ＊500Hz	CH1: 500Hz CH2: 500Hz L チャネル 500Hz と R チャネル NON-PCM（CH1:SOURCE2）のペア設定のため、L 側のチャネル 500Hz（CH1: 500Hz）を優先し音声処理されます。(1KHz の場合も同様)
CH1: DOWNMIX－L CH2: SOURCE3	CH1: DOWNMIX－L CH2: SOURCE3	CH1: DOWNMIX－L CH2: SOURCE3 L チャネル DOWNMIX－L と R チャネル PCM SOURCE3 のペア設定のため、設定と同じ音声処理されます。
CH1: DOWNMIX－L CH2: SOURCE2	CH1: DOWNMIX－L CH2: ＊ DOWNMIX－R	CH1: DOWNMIX－L CH2: DOWNMIX－R L チャネル DOWNMIX－L と R チャネル NON-PCM SOURCE2 のペア設定のため、L 側のチャネル DOWNMIX－L（CH1: DOWNMIX－L）を優先し音声処理されます。
CH1:Dolby ENC 1 CH2:1KHz	CH1:Dolby ENC 1 CH2: ＊ Dolby ENC 2	CH1: Dolby ENC 1 CH2: Dolby ENC 2 L チャネル Dolby ENC 1(NON-PCM)と R チャネル 1KHz のペア設定のため、L 側のチャネル Dolby ENC 1 を優先し音声処理されます。

6-1-3. SDI MONO SUM

```
 SDI MONO SUM          123
CH SEL   :1/2
MONO SUM:DISABLE
```

メニューボタン

PROCESS
SDI AUDIO

項目	初期値	設定範囲	説明
CH SEL	CH1/2	CH1/2-15/16	SDI 出力のエンベデッドオーディオ CH を CH ペアで設定します。
MONO SUM	DISABLE	DISABLE ENABLE	CH SEL で選択された信号を MONO SUM で出力する場合 **ENABLE** に設定します。 (CH ペア信号を足して 2 で割った信号が、両 CH に出力されます。)

6-1-4. SDI AUDIO CLOCK

```
 SDI AUDIO CLOCK       124
GROUP1:REFERENCE
GROUP2:REFERENCE
GROUP3:REFERENCE
GROUP4:REFERENCE
```

メニューボタン

PROCESS
SDI AUDIO

項目	初期値	設定範囲	説明
GROUP 1	REFERENCE	AUTO REFERENCE CH 1/2 CH 3/4	SDI エンベデッドオーディオ出力時の各グループのオーディオクロックを選択します。 **AUTO:** 入力された NON-PCM 信号が SDI エンベデッドオーディオ出力の Group 内に選択されている場合、自動的に NON-PCM のチャネルの入力クロックが選択されます。Group 内の信号全てが NON-PCM の場合、若いチャネルペアのクロックが自動で選択されます。Group 内の信号全てが PCM 信号の場合には、出力ビデオに同期したクロックが自動で選択されます。*2 **REFERENCE:** 出力ビデオに同期したクロックを使用します。（SRC 使用時の同期出力） **CH 1/2～15/16:** SOURCE CH 1/2～15/16 の入力クロックを使用します。 *1 非同期出力する場合には、該当するチャネルを選択してください。 *2 SD-SDI の場合、設定にかかわらず常に REFERENCE 動作となります。
GROUP 2	REFERENCE	AUTO REFERENCE CH 5/6 CH 7/8	
GROUP 3	REFERENCE	AUTO REFERENCE CH 9/10 CH 11/12	
GROUP 4	REFERENCE	AUTO REFERENCE CH 13/14 CH 15/16	

*1　SOURCE の設定は、「6-5 AUDIO MAPPING（MAPPING)」を参照してください。

*2　エンベデッドオーディオは Group 1 (CH 1～4)、Group 2 (CH 5～8)、Group 3 (CH 9～12)、Group 4 (CH 13～16)のように 4ch 単位でグループ化され、各グループ内の信号は同一オーディオクロック (48KHz) にて伝送されます。PCM オーディオの場合は内部の SRC (サンプリングコンバータ) でゲンロック信号に同期したクロックへ変換されビデオに同期した信号になりますが、NON-PCM オーディオ (AC-3 等の圧縮オーディオ) の場合は SRC を通過しないため、ビデオと非同期のオーディオ信号の場合は非同期のまま出力されます。非同期の状態で SDI エンベッド出力する場合は、Group1～4 の各グループ内の 4 チャネルにアサインする信号には全て同期した信号を選択し、グループ内を同期させてください。その上で、それぞれのグループに対して入力のクロックを選択します。(「6-1-2. SDI REMAPPING」参照）これにより非同期エンベデッドオーディオとして正常に出力されます。

6-1-5. SDI IN AUDIO

```
 SDI IN AUDIO          125
ALIGNMENT:DISABLE
HD-SDI ACLK:AUTO
```

メニューボタン

PROCESS
SDI AUDIO

項目	初期値	設定範囲	説明
ALIGNMENT *1	DISABLE	ENABLE DISABLE	入力エンベデッドオーディオのグループ間自動位相調整の有効／無効を切り替えます。 **ENABLE:** 位相調整を行います。（通常設定） **DISABLE:** 位相調整を行いません。
HD-SDI ACLK	AUTO	AUTO SYNC SDI AUD CLK	HD-SDI 入力時、エンベデッドオーディオの受信クロックを設定します。 **AUTO**:HD-SDI のエンベデッドオーディオに含まれる音声クロック位相情報を使用して SDI から音声を分離します。4 グループ個別で同期および非同期エンベデッド音声の分離が可能です。*2 音声クロック位相情報に異常がある場合や、ジッタ量が大きい場合は、自動的に同期音声として処理します。 **Sync SDI**: 音声クロック位相情報を使用せず、全グループ常に同期音声として処理します。*3 **AUD CLK**: 常に HD-SDI のエンベデッドオーディオに含まれる音声クロック位相情報を使用して SDI から音声を分離します。*4

*1 エンベデッドオーディオは、入力時にオーディオグループ間で自動的に位相調整が行われます。使用していないオーディオグループにイレギュラーな音声信号が入ってきたときに、この自動位相調整の影響で音声が正常に通過できないことがあります。このようなときにこの有効／無効切り替え機能を使用することで正常に音声が通過できる場合があります。

*2 SD-SDI 入力時は設定にかかわらず、同期音声として処理されます。

*3 AUTO 設定で音声が正常に通過できない場合や、非同期エンベデッドオーディオが入力されることがない場合にのみ設定してください。

*4 AUTO 設定や Sync SDI 設定で正常に音声が通過できない場合、A CLOCK に設定することで正常に音声を通過させることができる場合があります。

注意

ALIGNMENT 有効／無効切り替え機能は、音声にノイズが発生する場合や、ミュートになってしまう場合のみ使用してください。音声が正常に出力されている場合は、設定を変更しないでください。

設定を DISABLE から ENABLE へ変更した場合は、全てのグループの位相を合わせるため、音声が一旦 MUTE されますのでご注意ください。

6-2. AES AUDIO 設定（AES AUDIO）

DIGITAL AUDIO IN/OUT の関連の設定を行います。

6-2-1. AES IN GAIN

```
 AES IN GAIN          131
CH SEL   :CH1
GAIN SET:0.0dB
MASTER   :0.0dB
```

メニューボタン

C C
AES AUDIO

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH SEL	CH1	CH1 - CH8	入力されている AES信号の AUDIO CH を **CH1 - 8** で設定します。
GAIN SET	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB) *1	CH SEL で選択された AES オーディオ CH のインプット側のゲインを設定します。
MASTER	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	AES 入力のゲイン CH1-8 の 全オフセットを設定します。

*1 MASTER 設定値を上げ各チャネルの設定範囲の上限を超えた場合、警告マークの *20.0dB と表示されます。同様に MASTER 設定値を下げ各チャネルの設定範囲の下限を超えた場合、*-20.0dB と表示されます。

6-2-2. AES HYSTERESIS

```
 AES HYSTERESIS       132
CH SEL  :CH1/2
HYS SET:OFF
```

メニューボタン

C C
AES AUDIO

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH SEL	CH 1/2	CH 1/2 CH 3/4 CH 5/6 CH 7/8	入力した AES信号をグループ A またはグループ B 毎に同位相に引き込みます。 サラウンドなどのマルチチャネルオーディオを複数の AES を使用して入力するときに有効です。
HYS SET	OFF	OFF GROUP A GROUP B	

同じグループ内で番号の一番若いチャネルペアがリファレンスになり、それ以外のチャネルペアのワードタイミングをリファレンスにロックさせます。入力信号が無い場合は、次に若い番号のチャネルペアがリファレンスになります。リファレンスとなる信号に対して±0.25 サンプルまで有効です。

設定例

- **CH 1/2～7/8 全て GROUP A に設定した場合**
  CH 1/2 がリファレンスになります。CH 1/2 のワードクロックに他のチャネルペアをロックさせます。
- **CH1/2～3/4 を GROUP A、CH5/6～7/8 を GROUP B に設定した場合**
  GROUP A のリファレンスは CH 1/2、GROUP B のリファレンスは CH 5/6 になります。

注意	同じグループ内のチャネルペアは、同一のサンプリング周波数で互いに同期している必要があります。リファレンスになっているチャネルペアの信号を切り替えると、同じグループの他のチャネルペアにノイズが入ることがあります。 また、この設定を切り替えた直後は、他のチャネルペアと位相がずれる場合があります。この場合は、MASTER MUTE（「6-4 MASTER OUT GAIN 設定 (MASTER)」参照）を一旦 ON、OFF させる、または、本体の電源を再投入して位相のずれを直してください。

6-2-3. AES REMAPPING

```
AES REMAPPING          133
CH SEL:CH1
ASSIGN:SOURCE1
SOURCE:SDI1
```

メニューボタン

C C
AES AUDIO

項目	初期値	設定範囲		説明
CH SEL	CH1	CH1 - CH8		AES 出力オーディオ CH を CH1- 8 から選択します。
ASSIGN	各 SOURCE	SOURCE1 – 16*1 500Hz 1KHz SILENCE DOWNMIX-L *2 DOWNMIX-R*2 Dolby DEC 1 – 8 *3, *6 Dolby DM-L *4, *6 Dolby DM-R *4, *6 Dolby ENC 1 – 2 *5, *7		CH SEL で選択された AES オーディオ出力に信号を割り当てます。 **SOURCE1-16** : 内部処理された SOURCE チャネルの信号 **500Hz/1KHz**：テスト信号 **SILENCE**：無音信号 **DOWNMIX-L/R** : SOURCE チャネルの信号から生成されたダウンミックス信号 **Dolby DEC1-8** : Dolby デコードされた PCM 信号 **Dolby DM-L/R** : Dolby デコードされた PCM 信号から生成されたダウンミックス信号 **Dolby ENC1-2**：選択された SOURCE チャネルの信号をエンコードした Dolby E 信号 **LOUD1/2, L, R, C, LFE, Ls, Rs :** 選択された SOURCE チャネルの信号をラウドネス処理した信号
		LOUD1- *8 LOUD2- *8	L R C LFE Ls Rs	
SOURCE	-	SDI1 - 16 AES1 - 8 ANA1 - 4		ASSIGN で設定した SOURCE チャネルの入力信号が表示されます。 ASSIGN で SOURCE1-16 以外を選択した場合には表示されません。

CH SEL で、“＊CH1”のように、＊マークが表示される場合があります。
このマークは AES 端子が入力に設定されているのに、出力として使用する場合に表示されます。「6-2-5 AES I/O SETUP」を参照し適宜設定してください。

*1 SOURCE の設定は、「6-5 AUDIO MAPPING（MAPPING）」を参照してください。

*2 DOWN MIX の設定は、「6-7 DOWN MIX SET」を参照してください。

*3 Dolby DEC の設定は、「6-9-1-2 Dolby DECODER INPUT」を参照してください。

*4 Dolby DM の設定は、「6-9-1-4 Dolby DOWNMIX」を参照してください。

*5 Dolby ENC の設定は、「6-9-2 Dolby Encoder Option (FA-95DE-E)
Dolby ENCODER INPUT」、「6-9-2-2 Dolby ENCODER SETTING」を参照してください。

*6 FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。

*7 FA-95DE-E オプションが装着されていない場合は表示されません。

*8 FA-95ALA オプションが装着されていない場合は表示されません。
LOUD 1/2 の設定は、「6-9-3-4. LOUDNESS CHANNEL ASSIGNMENT」を参照してください。

◆ **NON-PCM 音声入力時の音声処理**

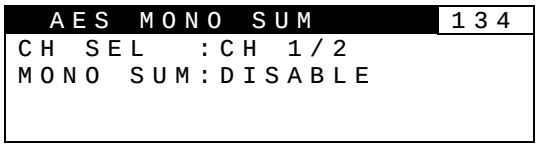
FA-9500 は、NON-PCM の音声信号が入力された場合、L/R のチャネルペア単位で音声の入力状態を自動的に判別し、L チャネル側を優先して音声処理を行います。
L/R のチャネルペアは、SOURCE1/2, SOURCE3/4….. SOURCE15/16 のペアで判別されます。
自動判別処理された音声チャネルには、“CH1:＊SOURCE2”のように“＊”が追加表示されます。

NON-PCM 入力時の自動判別の例：

SOURCE 1, 2 に NON-PCM、SOURCE3～16 に PCM が入力された場合の各設定時の自動判別音声処理は、次の表のように処理されます。

設定	メニュー表示	自動判別音声処理結果
CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE2	CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE2	CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE2 L/R 共に NON-PCM のチャネルペア設定のため、設定と同じ音声処理します。
CH1: SOURCE3 CH2: SOURCE5	CH1: SOURCE3 CH2: SOURCE5	CH1: SOURCE3 CH2: SOURCE5 L/R 共に PCM のため、設定と同じ音声処理されます。
CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE1	CH1: SOURCE1 CH2: ＊SOURCE2	CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE2 NON-PCM 同一チャネルが設定されたため、L 側チャネルペアの NON-PCM1 （CH1: SOURCE1）を優先し音声処理します。
CH1: SOURCE2 CH2: SOURCE2	CH1: ＊SOURCE1 CH2: SOURCE2	CH1: SOURCE1 CH2: SOURCE2 NON-PCM 同一チャネルが設定されたため、L 側のチャネル NON-PCM（CH1:SOURCE2）を優先し音声処理します。
CH1: SOURCE4 CH2: SOURCE2	CH1: ＊SOURCE3 CH2: ＊SOURCE4	CH1: SOURCE3 CH2: SOURCE4 L チャネル PCM と R チャネル NON-PCM（CH1:SOURCE2）のペア設定のため、L 側のチャネル PCM（CH1:SOURCE4）を優先し音声処理します。
CH1: SILENCE CH2: SOURCE2	CH1: SILENCE CH2: ＊SILENCE	CH1: SILENCE CH2: SILENCE L チャネル SILENCE と R チャネル NON-PCM（CH1:SOURCE2）のペア設定のため、L 側のチャネル SILENCE（CH1:SILENCE）を優先し音声処理されます。
CH1: 500Hz CH2: SOURCE2	CH1: 500Hz CH2: ＊500Hz	CH1: 500Hz CH2: 500Hz L チャネル 500Hz と R チャネル NON-PCM（CH1:SOURCE2）のペア設定のため、L 側のチャネル 500Hz（CH1: 500Hz）を優先し音声処理されます。(1KHz の場合も同様)
CH1: DOWNMIX－L CH2: SOURCE3	CH1: DOWNMIX－L CH2: SOURCE3	CH1: DOWNMIX－L CH2: SOURCE3 L チャネル DOWNMIX－L と R チャネル PCM SOURCE3 のペア設定のため、設定と同じ音声処理されます。
CH1: DOWNMIX－L CH2: SOURCE2	CH1: DOWNMIX－L CH2: ＊ DOWNMIX－R	CH1: DOWNMIX－L CH2: DOWNMIX－R L チャネル DOWNMIX－L と R チャネル NON-PCM SOURCE2 のペア設定のため、L 側のチャネル DOWNMIX－L（CH1: DOWNMIX－L）を優先し音声処理されます。
CH1: Dolby ENC 1 CH2: 1KHz	CH1: Dolby ENC 1 CH2: ＊ Dolby ENC 2	CH1: Dolby ENC 1 CH2: Dolby ENC 2 L チャネル Dolby ENC 1(NON-PCM)と R チャネル 1KHz のペア設定のため、L 側のチャネル Dolby ENC 1 を優先し音声処理されます。

6-2-4. AES MONO SUM



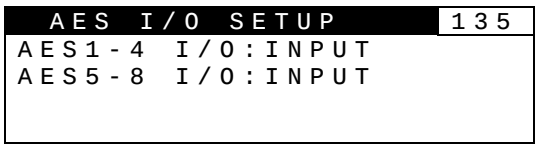
メニューボタン

C C
AES AUDIO

項目	初期値	設定範囲	説明
CH SEL	CH1/2	CH1/2 - 7/8	AES 出力オーディオ CH を CH ペアで選択します。
MONO SUM	DISABLE	DISABLE ENABLE	CH SEL で選択された信号を MONO SUM で出力する場合 **ENABLE** に設定します。 (CH ペア信号を足して 2 で割った信号が、両 CH に出力されます。)

CH SEL で、“＊CH1”のように、＊マークが表示される場合があります。
このマークは AES 端子が入力に設定されているのに、出力として使用する場合に表示されます。「6-2-5 AES I/O SETUP」を参照し適宜設定してください。

6-2-5. AES I/O SETUP



メニューボタン

C C
AES AUDIO

項目	初期値	設定範囲	説明
AES1 - 4	INPUT	INPUT OUTPUT	**INPUT** に設定すると AES1/2, 3/4 端子は入力モードとして動作します。**OUTPUT** に設定すると出力モードとして動作します。
AES5 - 8	INPUT	INPUT OUTPUT	**INPUT** に設定すると AES5/6, 7/8 端子は入力モードとして動作します。**OUTPUT** に設定すると出力モードとして動作します。

FA-95DACBL オプション実装時は、全て強制的に INPUT 設定となり、このメニューは表示されません。

6-3. ANALOG AUDIO の設定(ANALOG)

6-3-1. ANALOG IN LEVEL

```
ANALOG IN LEVEL   141
CH SEL     :CH1
LEVEL SET:  +4dBm
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲	説明
CH SEL	CH1	CH1 - CH4	ANALOG AUDIO 入力チャネルを **CH1 - CH4** で設定します。
LEVEL SET	+4dBm	-10dBm 0dBm +4dBm +8dBm	CH SEL で選択した ANALOG AUDIO 入力信号のレベルを設定します。

6-3-2. ANALOG IN GAIN

```
ANALOG IN GAIN    142
CH SEL    :CH1
GAIN SET:0.0dB
MASTER    :0.0dB
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH SEL	CH1	CH1 - CH4	ANALOG AUDIO 入力チャネルを **CH1 - CH4** で設定します。
GAIN SET	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB) *1	CH SEL で選択された ANALOG AUDIO チャネルの入力ゲインを設定します。
MASTER	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	ANALOG AUDIO 入力ゲインの全チャネルオフセットを設定します。

*1 MASTER 設定値を上げ各チャネルの設定範囲の上限を超えた場合、警告マークの *20.0dB と表示されます。同様に MASTER 設定値を下げ各チャネルの設定範囲の下限を超えた場合、*-20.0dB と表示されます。

6-3-3. ANALOG OUT LEVEL

```
ANALOG OUT LEVEL  143
CH SEL     :CH1
LEVEL SET:  +4dBm
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲	説明
CH SEL	CH1	CH1 - CH4	ANALOG AUDIO 出力チャネルを **CH1 - CH4** で設定します。
LEVEL SET	+4dBm	-10dBm 0dBm +4dBm +8dBm	CH SEL で選択した ANALOG AUDIO 出力信号のレベルを設定します。

6-3-4. ANALOG OUT GAIN

```
 ANALOG OUT GAIN   144
CH SEL    :CH 1
GAIN SET  :0.0dB
MASTER    :0.0dB
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH SEL	CH1	CH1 - CH4	ANALOG AUDIO 出力チャネルを **CH1 - CH4** で設定します。
GAIN SET	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB) *1	CH SEL で選択された ANALOG AUDIO チャネルの出力ゲインを設定します。
MASTER	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	ANALOG AUDIO 出力ゲインの全チャネルオフセットを設定します。

*1 MASTER 設定値を上げ各チャネルの設定範囲の上限を超えた場合、警告マークの *20.0dB と表示されます。同様に MASTER 設定値を下げ各チャネルの設定範囲の下限を超えた場合、*-20.0dB と表示されます。

6-3-5. ANALOG REMAPPING

```
 ANALOG REMAPPING  145
CH SEL:ANALOG1
ASSIGN:SOURCE1
SOURCE:SDI1
```

メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲		説明
CH SEL	ANALOG1	ANALOG1 - 4		アナログオーディオ出力 CH を **ANALOG1 - 4** で設定します。
ASSIGN	各 SOURCE	SOURCE1 – 16 *1 500Hz 1KHz SILENCE DOWNMIX-L *2 DOWNMIX-R*2 Dolby DEC 1 – 8 *3, *5 Dolby DM-L *4, *5 Dolby DM-R *4, *5		CH SEL で選択されたアナログオーディオ出力 CH 毎に任意の信号を割り当てます。 **SOURCE1-16** : 内部処理された SOURCE チャネルの信号 **500Hz/1KHz** : テスト信号 **SILENCE** : 無音信号 **DOWNMIX-L/R** : SOURCE チャネルの信号から生成されたダウンミックス信号 **Dolby DEC1-8** : Dolby デコードされた PCM 信号 **Dolby DM-L/R** : Dolby デコードされた PCM 信号から生成されたダウンミックス信号 **LOUD1/2, L, R, C, LFE, Ls, Rs :** 選択された SOURCE チャネルの信号をラウドネス処理した信号
		LOUD1- *6 LOUD2- *6	L R C LFE Ls Rs	
SOURCE	-	SDI1 - 16 AES1 - 8 ANA1 - 4		ASSIGN で設定した SOURCE チャネルの入力信号が表示されます。 ASSIGN で SOURCE1-16 以外を選択した場合には表示されません。

*1 SOURCE の設定は、「6-5 AUDIO MAPPING（MAPPING）」を参照してください。

*2 DOWN MIX の設定は、「6-7 DOWN MIX SET」を参照してください。

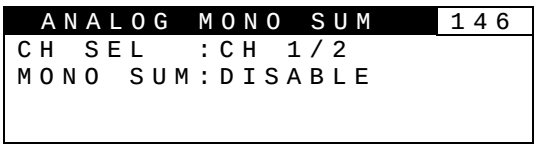
*3 Dolby DEC の設定は、「6-9-1-2 Dolby DECODER INPUT」を参照してください。

*4 Dolby DM の設定は、「6-9-1-4 Dolby DOWNMIX」を参照してください。

*5 FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。

*6 FA-95ALA オプションが装着されていない場合は表示されません。
LOUD 1/2 の設定は、「6-9-3-4. LOUDNESS CHANNEL ASSIGNMENT」を参照してください。

6-3-6. ANALOG MONO SUM

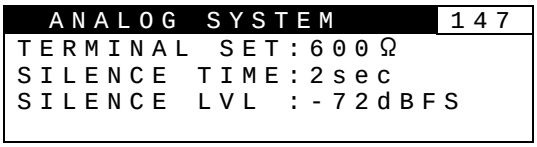


メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲	説明
CH SEL	CH1/2	CH1/2-3/4	アナログオーディオ出力の CH を CH ペアで設定します。
MONO SUM	DISABLE	DISABLE ENABLE	CH SEL で選択された信号を MONO SUM で出力する場合 **ENABLE** に設定します。 (CH ペア信号を足して 2 で割った信号が、両 CH に出力されます。)

6-3-7. ANALOG SYSTEM



メニューボタン

CONV1
ANALOG

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
TERMINAL SET	600Ω	600Ω Hi-Z	アナログ入力の 1/2～3/4 の終端設定をします。 **600Ω:** 600Ω終端 **Hi-Z:** ハイインピーダンス
SILENCE TIME	2sec	1 - 10sec	ANALOG AUDIO 入力を無音と判断する時間を設定します。
SILENCE LVL	-72dBFS	-72 - -48dBFS (6dBFS Step)	ANALOG AUDIO 入力を無音と判断するレベルを設定します。

6-4. MASTER OUT GAIN 設定(MASTER)

```
 MASTER OUT GAIN   151
CH SEL   :CH 1
GAIN SET:0.0dB
MASTER   :0.0dB
MASTER MUTE:OFF
```

メニューボタン

CONV2
MASTER

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH SEL	CH1	CH1 - CH16 DEC CH1 – 8 *1 DolbyDM-L *1 DolbyDM-R *1	ゲイン設定するチャネルを選択します。 CH1-CH16：内部処理された SOURCE チャネル DEC CH1-8：Dolby デコードされた PCM 信号 DolbyDM-L/R：Dolby デコードされた PCM 信号から生成されたダウンミックス信号
GAIN SET	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB) *2	CH SEL で選択された信号に対してゲインを設定します。
MASTER	―	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	チャネル全てに対して、ゲインオフセットを設定します。
MASTER MUTE *3	OFF	OFF ON	チャネルを全て MUTE にする場合 **ON** に設定します。

*1 FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。

*2 MASTER 設定値を上げ各チャネルの設定範囲の上限を超えた場合、警告マークの *20.0dB と表示されます。同様に MASTER 設定値を下げ各チャネルの設定範囲の下限を超えた場合、*-20.0dB と表示されます。

*3 MASTER MUTE は、電源起動時必ず OFF で起動します。また、イベントメモリには保存されません。
また、NON-PCM 入力信号が出力にアサインされている場合、MASTER MUTE が ON に設定されていても無音にはなりません。そのまま NON-PCM として通過します。

6-5. AUDIO MAPPING（MAPPING）

オーディオ 16 チャネルの信号割り付けを設定します。
SOURCE は、SDI エンベデッド/AES/ANALOG 音声入力信号の中から、音声処理する 16 チャネル分の信号を選択します。

6-5-1. SOURCE/SRC SEL

```
SOURCE/SRC SEL      155
SOURCE SEL:CH 1/2
SOURCE SET:SDI 1/2
SRC MODE   :SRC IN
```

メニューボタン

AVO MAPPING

項目	初期値	設定範囲	説明
SOURCE SEL	CH1/2	CH1/2 - CH15/16	内部処理される 16 チャネルオーディオ信号をチャネルペアで選択します。
SOURCE SET	各 CH の SDI	SDI1/2 - 15/16 *1 AES1/2 - 7/8 *2 ANA1/2 - 3/4	SOURCE SEL で選択されたチャネルペア SOURCE に入力するオーディオ信号を設定します。
SRC MODE	SRC IN	AUTO BY-PASS SRC IN	SRC 回路の通過／バイパスをチャネルペア毎に設定します。 **AUTO:** SRC 回路を通過させます。ただし、NON-PCM オーディオの場合には自動的に SRC 回路をバイパスします。 **BY-PASS:** SRC 回路をバイパスします。非同期オーディオとして使用する場合には BY-PASS に設定してください。また、この場合 SDI エンベデッドオーディオ出力に対して「6-1-4 SDI AUDIO CLOCK」で各グループの基準となる同期クロックを選択してください。 **SRC IN:** 入力信号が PCM、NON-PCM にかかわらず SRC 回路を通過させます。PCM 信号であるにもかかわらず、オーディオ信号のチャネルステータスが NON-PCM であるようなイレギュラーな信号対して有効です。ただし、NON-PCM 信号を SRC 回路に通過させた場合は、正常に出力することはできません。

*1 SDI1/2 - 15/16 は、「5-7-1 VIDEO INPUT SET」IN SEL が SDI 1, 2 に設定されている場合は、SDI 1 または SDI 2 のエンベデッドオーディオ信号が割り当てられます。IN SEL の設定が、SDI 1, 2 以外（COMPOSITE 等）に設定された場合、SDI1/2 - 15/16 には、SDI1 に入力された信号ビデオのエンベデッド オーディオ信号が割り当てられます。

*2 SOURCE SET の AES1/2～7/8 で“*AES1/2”のように、*マークが表示される場合があります。このマークは AES 端子が出力に設定されているのに、SOURCE 入力として使用する場合に表示されます。「6-2-5 AES I/O SETUP」を参照し適宜設定してください。

SOURCE で設定された音声信号 16Ch は、各音声出力および、SDI にエンベッドすることが可能です。SDI にエンベッドする場合は、「6-1-2 SDI REMAPPING」を参照してください。

☞ SDI エンベデッドは、音声グループ毎にマスクすることができます。「5-10-11 CONV1 AUDIO GROUP」「5-10-12 CONV2 AUDIO GROUP」の設定も合わせて確認してください。AES に出力する場合は、「6-2-3 AES REMAPPING」を参照してください。アナログ音声に出力する場合は、「6-3-5 ANALOG REMAPPING」を参照してください。

注意 SOURCE SET 設定を切り替えた直後は、他のチャネルペアと位相がずれる場合があります。この場合は、MASTER MUTE（「6-4 MASTER OUT GAIN 設定 (MASTER)」参照）を一旦 ON、OFF させる、または、本体の電源を再投入して位相のずれを直してください。

6-6. AUDIO DELAY の設定

6-6-1. AUDIO DELAY

メニューボタン

CLIP DELAY

```
  AUDIO DELAY          161
CH SEL:CH1
OFFSET:    0ms
MASTER:    4ms
TOTAL :    4ms
```

項目	初期値	設定範囲	説明
CH SEL	CH 1	CH1 ～ CH16	ディレイ量を調整する SOURCE 音声チャネルを選択します。
OFFSET	0msec	-996ms ～ 996ms	CH SEL で選択された SOURCE 音声チャネルのディレイ量を設定します。 *1
MASTER	4msec	4ms ～ 1000ms	SOURCE 音声 CH1～16 全チャネルに対して一括でディレイ量を設定します。*2
TOTAL	-	-	CH SEL で選択された SOURCE 音声チャネルのディレイ量を表示します。 *3 (OFFSET 設定値 + MASTER 設定値)

*1　OFFSET の設定範囲は、MASTER 値により変化します。

*2　CONV1 または、CONV2 のいずれかのコンバータ処理を使用時に CONV DLY ADJ を ON に設定すると、入力ビデオの 1 フレーム分（プログレッシブの場合は 2 フレーム分）の遅延時間がプラス表示されます。
（「5-3 CONV1 (UP/DOWN/CROSS CONVERTER)」、「5-4 CONV2 (UP / DOWN / CROSS CONVERTER)」、「5-10-4 VIDEO SUB」参照）

*3　遅延量の設定範囲は 2msec～1000msec です。MASTER 設定の値と各チャネルの OFFSET 設定値の合計が設定範囲の上限または、下限を超えた場合、それぞれ＊1000msec、＊2msec と表示されます。（「5-10-4 VIDEO SUB」の CONV DLY ADJ OFF の場合）

「5-10-4 VIDEO SUB」の CONV DLY ADJ を ON に設定した場合、CONV1/CONV2 の Delay 量が下記の様に表示されます。また、TOTAL Delay 量の表記も CONV1/CONV2 の Delay 量が加算された値になります。遅延量設定範囲の上限は 1000msec+入力ビデオの 1 フレーム（プログレッシブの場合は 2 フレーム分）となります。

NON-PCM がアサインされたチャネルのディレイ量を調整した場合、チャネルペアの若い番号の設定がチャネルペアの両方に適用されます。

```
  AUDIO DELAY          161
CH SEL:CH1
OFFSET:    0ms
MASTER:   16ms+20ms
TOTAL :   36ms
```

6-7. DOWN MIX SET

```
  DOWN MIX SET          165
MODE:STEREO
SURROUND MIX:  -3dB
CENTER MIX   :  -3dB
MASTER LVL   :  -3dB
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
MODE *1	STEREO	STEREO SURROUND MONAURAL	ダウンミックスの動作モードを選択します。
SURROUND MIX	-3dB	-3dB -6dB -9dB 0	Ls/Rs (サラウンドチャネル) のレベルを指定します。 0 (-∞dB) に設定すると、ミックスの対象から外されます。
CENTER MIX	-3dB	-3dB -4.5 dB -6dB	C (センターチャネル) のレベルを指定します。 センターチャネルの出力レベルをダウンミックス前と同じにする場合は-3dB を選択してください。 センターチャネルが左右各チャネルにミックスされたとき、音量的に大きく聞こえる場合があります。そのような場合は、-4.5dB または-6dB を選択してください。
MASTER LVL	-3dB	-3dB AUTO	ダウンミックス信号全体のレベルを指定します。 AUTO に設定すると、Down MIX Master Level は、Down Mix Mode と Surround Mix Level によって変化します。*2

*1　ダウンミックスモードについては、次ページの「ダウンミックスブロック図」を参照してください。

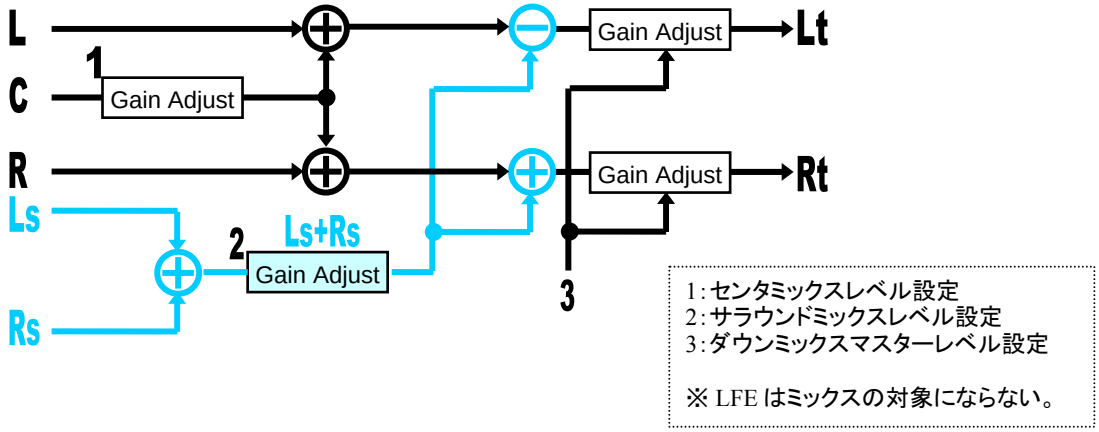
*2　AUTO 設定時、Master Level は下表のようになります。

Down Mix Mode \ Surround Mix Level	-3dB	-6dB	-9dB	0 (-∞dB)
Stereo	約-7.7dB	約-6.9dB	約-6.3dB	約-4.6dB
Surround	約-9.9dB	約-8.7dB	約-7.7dB	約-4.6dB
Monaural	約-12.9dB	約-12.0dB	約-11.4dB	約-9.5dB

◆ ダウンミックスブロック図

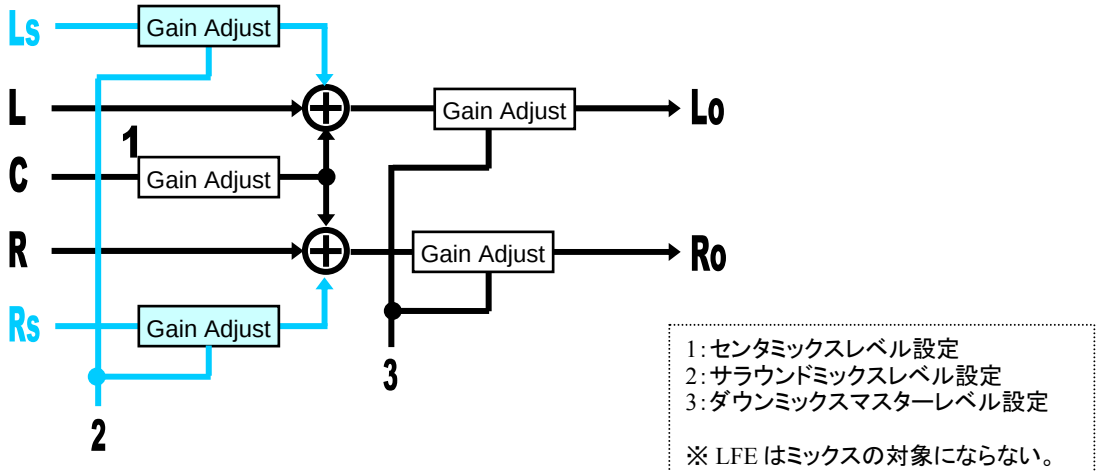
＜サラウンドミックス (Lt/Rt)＞

Ls/Rs のサラウンド信号をモノラル化し、左右チャネルに 180 度位相をずらしてミックスする方式 (LFE はミックスの対象にならない。)



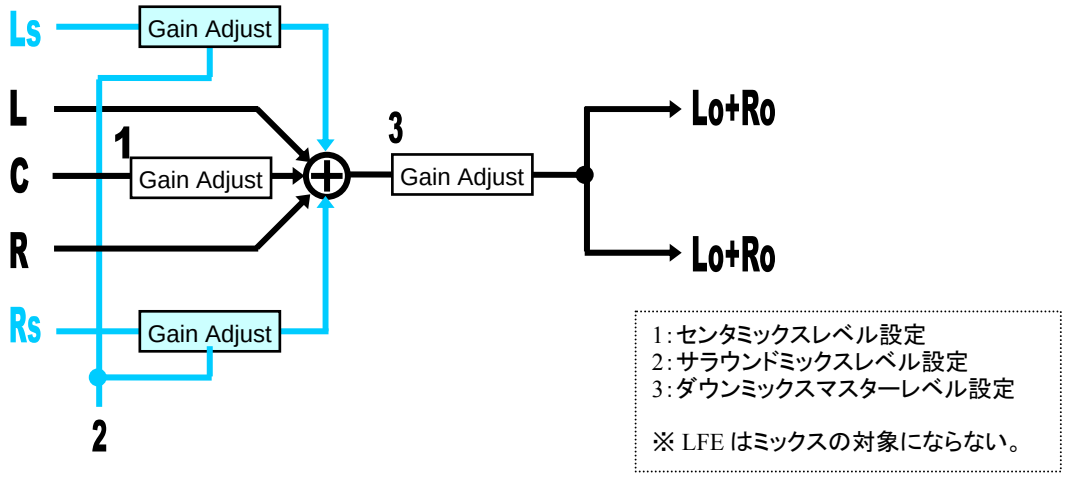
＜ステレオミックス (Lo/Ro)＞

ステレオモニタ用



＜モノラルミックス (Lo+Ro/Lo+Ro)＞

モノラルモニタ用



6-7-1. DOWN MIX ASSIGN

```
DOWN MIX ASSIGN  166
CH SEL:LEFT
SOURCE:SOURCE1
```

メニューボタン

IN SEL
DOWNMIX

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH SEL	LEFT	LEFT(L) RIGHT(R) CENTER(C) LEFT SRRND(LS) RIGHT SRRND(RS)	ダウンミックスチャネル を選択します。
SOURCE	L:SOURCE1 R:SOURCE2 C:SOURCE3 LS:SOURCE5 RS:SOURCE6	SOURCE1-16 *1	「6-5 AUDIO MAPPING（MAPPING）」で設定された CH SEL の選択 CH に **SOURCE CH1-16** を割り付けます。

*1 同じ SOURCE を各 CH SEL で設定した場合や、NON-PCM を SOURCE として設定した場合は、“*SOURCE1”のように*マークが表示されます。このとき **DOWNMIX-L** と **DOWNMIX-R** はミュートになります。

☞ ダウンミックスされた音声信号をエンベデッドする場合は、「6-1-2 SDI REMAPPING」を参照してください。AES に出力する場合は、「6-2-2 AES REMAPPING」を参照してください。アナログ音声端子に出力する場合は、「6-3-5 ANALOG REMAPPING」を参照してください。

6-8. AUDIO MODE SET（MODE）

```
AUDIO MODE SET   175
SOURCE SEL   :CH1
POLARITY SET:NORMAL
```

メニューボタン

OUT SEL
MODE

項目	初期値	設定範囲	説明
SOURCE SEL	CH1	CH1 - 16 DEC CH1 – 8 *1 DolbyDM-L *1 DolbyDM-R *1	POLARITY を設定するチャネルを選択します。 **CH1-CH16**：内部処理された SOURCE チャネル **DEC CH1-8**：Dolby デコードされた PCM 信号 **DolbyDM-L/R**：Dolby デコードされた PCM 信号から生成されたダウンミックス信号
POLARITY SET	NORMAL	NORMAL INVERT	POLARITY SEL で選択された CH の極性を設定します。 **INVERT** に設定すると極性が反転します。

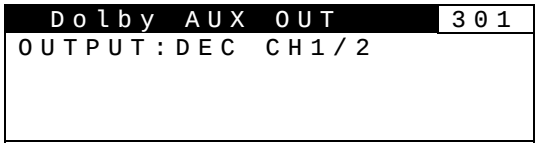
*1　FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。

6-9. AUDIO OPTION (AUDIO OP)

6-9-1. Dolby Decoder Option (FA-95D-D)

6-9-1-1. Dolby AUX OUTPUT

※ FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。



メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

項目	初期値	設定範囲	説明
OUTPUT	DEC CH1/2	DEC CH1/2 – CH7/8 DolbyDM L/R ENC CH1/2 *1 500Hz TONE 1kHz TONE SILENCE NONE	Dolby オプションの出力端子(Dolby OUT)から出力する信号を選択します。 **DEC CH1/2 – CH7/8**:Dolby デコードされた PCM 信号 **DolbyDM L/R**: Dolby デコードされた PCM から生成されたダウンミックス信号 **ENC CH1/2**: 選択された SOURCE チャネルの信号をエンコードした Dolby E 信号 **500Hz/1KHz TONE**:500Hz/1KHz のテスト信号(TONE) **SILENCE**:無音信号 **NONE**:信号を出力しません。

*1　FA-95DE-E オプションが装着されていない場合は表示されません。

6-9-1-2. Dolby DECODER INPUT

※ FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。

```
 Dolby DEC INPUT      302
INPUT  :AUX IN
STREAM:LOSS
PROGRAM:LOSS
```

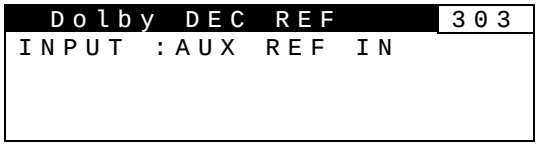
メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

項目	初期値	設定範囲	説明
INPUT	AUX IN	AUX IN SOURCE 1/2 -15/16	Dolby デコーダに入力する信号を選択します。 **AUX IN**: Dolby オプション入力端子(Dolby IN)に入力された信号 **SOURCE 1/2 – 15/16**:「6-5 AUDIO MAPPING（MAPPING）」で選択された SOURCE チャネルの信号
STREAM	-	D 32bit D 16bit 1CH D 16bit 2CH D 16bit 1/2CH E 24bit E 20bit E 16bit PCM LOSS ERROR	INPUT で選択された信号の種類、ビット幅を表示します。 D ***：Dolby Digital 信号 E ***：Dolby E 信号 PCM：通常音声信号 LOSS：無入力 ERROR：判別不可
PROGRAM	-	Dolby E 5.1+2 5.1+2x1 4+4 4+2x2 4+2+2x1 4+4x1 4x2 3x2+2x1 2x2+4x1 2+6x1 8x1 5.1 4+2 4+2x1 3x2 2x2+2x1 2+4x1 6x1 4 2+2 2+2x1 4x1 7.1 7.1 Screen NON-Dolby E	INPUT で選択された信号のプログラムコンフィグレーション（コーディングモード）を表示します。 プログラムコンフィグレーション（コーディングモード）と出力信号チャネルの関係は「13 Dolby E エンコード／デコード信号アサイン表」の Dolby E/Digital Decoder Output Channel Assignment の表を参照してください。
		Dolby Digital 1+1 1/0 2/0 3/0 2/1 3/1 2/2 3/2 3/0L 2/1L 3/1L 2/2L 3/2L	
		LOSS INVALID	

6-9-1-3. Dolby DECODER REFERENCE

※ FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。



メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

項目	初期値	設定範囲	説明
INPUT	AUX REF IN	OUTPUT VIDEO AUX REF IN INPUT VIDEO	Dolby デコーダに入力するリファレンス信号を選択します。Dolby デコーダからの PCM 出力は、選択されたリファレンス信号を基準に出力されます。 **OUTPUT VIDEO**:出力 VIDEO 信号をリファレンスとして使用します。 **AUX REF IN**:Dolby オプション端子(REF IN)の入力信号を使用します。 REF IN が無入力の場合は、フリーラン動作となります。 **INPUT VIDEO**:入力 VIDEO 信号をリファレンスとして使用します。

6-9-1-4. Dolby DOWNMIX

※ FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。

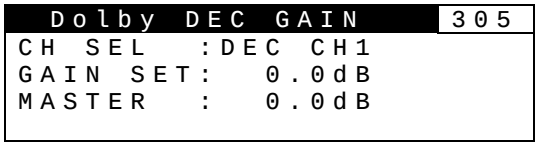
メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

項目	初期値	設定範囲	説明
MODE	SURROUND	SURROUND STEREO MONAURAL	Dolby デコーダのダウンミックスモードを選択します。

6-9-1-5. Dolby DECODER GAIN

※ FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。



メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

項目	初期値	設定範囲	説明
CH SEL	DEC CH1	DEC CH1 – CH8 DolbyDM-L DolbyDM-R	ゲイン調整する信号を選択します。 DEC CH1-CH8：Dolby デコードされた PCM 信号 DolbyDM-L/R：Dolby デコードされた PCM 信号から生成されたダウンミックス信号
GAIN SET	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB) *1	CH SEL で選択した信号に対してゲインを設定します。
MASTER	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	Dolby デコードされた全ての信号に対してゲインにオフセットを設定します。

*1 MASTER 設定値を上げ各チャネルの設定範囲の上限を超えた場合、警告マークの *20.0dB が表示されます。同様に MASTER 設定値を下げ各チャネルの設定範囲の下限を超えた場合、*-20.0dB と表示されます。

6-9-2. Dolby Encoder Option (FA-95DE-E)

6-9-2-1. Dolby ENCODER INPUT

※ FA-95DE-E オプションが装着されていない場合は表示されません。

```
 Dolby ENC INPUT   306
INPUT :DIRECT IN SEL
CH SEL:CH1
ASSIGN:SOURCE 1
```

メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

項目	初期値	設定範囲		説明
INPUT	DIRECT IN SEL	DIRECT IN SEL Dolby DEC OUT		Dolby エンコーダに入力する音声信号を選択します。*1 **DIRECT IN SEL**:FA-9520 本体の SOURCE チャネルの信号 **Dolby DEC OUT**:Dolby デコーダの出力信号
CH SEL	CH 1	CH 1-8		Dolby エンコーダに入力する 8 チャネルから、下の ASSIGN で信号を設定するチャネルを選択します。
ASSIGN	SOURCE 1 *2	DIRECT IN SEL 選択時 SOURCE 1-16 PCM DOWNMIX-L PCM DOWNMIX-R 500Hz TONE 1KHz TONE SILENCE		DIRECT IN SEL 選択時 **SOURCE 1-16**: 「6-5 AUDIO MAPPING（MAPPING）」で選択された SOURCE チャネルの信号 **PCM DOWNMIX-L/R**: SOURCE チャネルの信号から生成されたダウンミックス信号 **500Hz/1KHz TONE**: 500Hz/1KHz TONE のテスト信号 **SILENCE**:無音信号 **LOUD1/2,L,R,C,LFE,Ls,Rs :** 選択された SOURCE チャネルの信号をラウドネス処理した信号 Dolby DEC OUT 選択時 **Dolby DEC1-8**:Dolby デコーダからの PCM 信号 **DolbyDM-L/R**: Dolby デコードされた PCM から生成されたダウンミックス信号 **500Hz/1KHz TONE**: 500Hz/1KHz TONE のテスト信号 **SILENCE**:無音信号
		LOUD1- *3 LOUD2- *3	L R C LFE Ls Rs	
		Dolby DEC OUT 選択時 Dolby DEC 1-8 DolbyDM-L DolbyDM-R 500Hz TONE 1KHz TONE SILENCE		

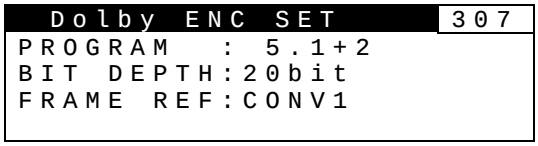
*1 DIRECT IN SEL と Dolby DEC OUT の CH SEL、ASSIGN の設定はそれぞれ変更するまで保持され、DIRECT IN SEL と Dolby DEC OUT を切り替えると、CH1-8 の設定は、設定した側の設定に変更されます。DIRECT IN SEL からの信号と Dolby DEC OUT からの信号を混在させて Dolby エンコーダに入力することはできません。また、Dolby DEC OUT の入力信号が Dolby Digital 信号の場合には、Dolby E 信号に再エンコードすることはできません。

*2 CH1-8 に対応した SOURCE チャネルがそれぞれ初期値として設定されます。
（CH1: SOURCE 1 - CH8: SOURCE 8）
INPUT の設定が Dolby DEC OUT の場合は、CH1: Dolby DEC 1 - CH8: Dolby DEC 8 となります。

*3 FA-95ALA オプションが装着されていない場合は表示されません。
LOUD 1/2 の設定は、「6-9-3-4. LOUDNESS CHANNEL ASSIGNMENT」を参照してください。

6-9-2-2. Dolby ENCODER SETTING

※ FA-95DE-E オプションが装着されていない場合は表示されません。



メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

項目	初期値	設定範囲	説明
PROGRAM	5.1+2	5.1+2 *1 5.1+2x1 *1 4+4 *1 4+2x2 *1 4+2+2x1 *1 4+4x1 *1 4x2 *1 3x2+2x1 *1 2x2+4x1 *1 2+6x1 *1 8x1 *1 5.1 4+2 4+2x1 3x2 2x2+2x1 2+4x1 6x1 4 2+2 2+2x1 4x1 7.1 *1 7.1 Screen *1	Dolby E エンコードのプログラムコンフィグレーションを設定します。 プログラムコンフィグレーションと入力信号チャネルの関係は「13 Dolby E エンコード／デコード信号アサイン表」の Dolby E Encoder Input Channel Assignment の表を参照してください。
BIT DEPTH	20bit	20bit 16bit	Dolby E エンコード出力のビット幅を設定します。
FRAME REF	CONV1	CONV1 CONV2	Dolby E エンコード出力を同期させるビデオ出力（コンバータ 1 または 2）を選択します。*2

*1 BIT DEPTH の設定を 16bit にしている場合、「＊」が表示され、内部設定が 5.1 になります。これらのプログラムコンフィグレーションを使用する場合は BIT DEPTH の設定を 20bit にしてください。

*2 CONV1、CONV2 の設定は、「5-8 VIDEO OUT SELECT (OUT SEL)」を参照してください。

6-9-2-3. METADATA INPUT

※ FA-95DE-E オプションが装着されていない場合は表示されません。

メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

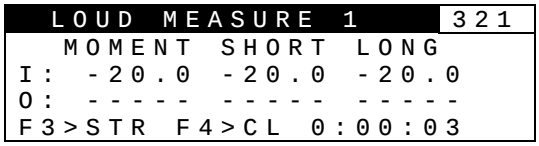
項目	初期値	設定範囲	説明
SELECT	INTERNAL	INTERNAL Dolby DEC OUT	Dolby E エンコードのメタデータを選択します。 **INTERNAL :** [6-9-7 : Dolby ENCODER SETTING] で設定したプログラムコンフィグ、ビット幅を有効にします。その他のメタデータは初期値となります。 **Dolby DEC OUT :** Dolby デコーダに入力された Dolby E 信号のメタデータを使用します。[6-9-2-2 : Dolby ENCODER SETTING]で設定したプログラムコンフィグ、ビット幅は無効となります。

6-9-3. Automatic Loudness Adjustment (FA-95ALA)

Automatic Loudness Adjustment は、入力されたオーディオ信号のラウドネス値を測定し、設定したターゲット値にラウドネスレベルを自動で調整する機能です。ラウドネス値の測定・調整は、2 系統（モノラル、ステレオ、5.1ch から選択）までの同時動作が可能です。ここではラウドネス値を測定・調整するための設定を行います。レベル調整した信号を SDI オーディオや AES、アナログオーディオ出力するための設定は「6-1-2. SDI REMAPPING」「6-2-3. AES REMAPPING」「6-3-5. ANALOG REMAPPING」を参照してください。
※ FA-95ALA オプションが装着されていない場合は表示されません。

6-9-3-1. LOUDNESS MEASUREMENT

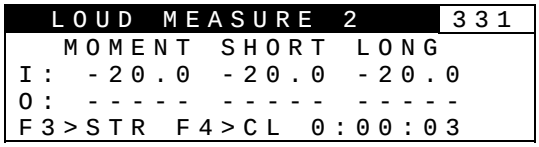
・1 系統目の表示



メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

・2 系統目の表示



項目	初期値	設定範囲	説明
I (INPUT)	-	-	FA-95ALA に入力したオーディオ信号のラウドネスレベル測定値を LKFS 単位で表示します。入力の設定は「6-9-3-4. LOUDNESS CHANNEL ASSIGNMENT」を参照してください。*1 **MOMENT**: Momentary **SHORT**: Short Term **LONG**: Long Term
O (OUTPUT)	-	-	FA-95ALA でレベル調整されたオーディオ信号のラウドネス測定値を LKFS 単位で表示します。調整機能を無効にしている場合は、「-----」表示されます。*1 **MOMENT**: Momentary **SHORT**: Short Term **LONG**: Long Term
F3>	STR	STR (START) STP (STOP)	F3 ボタンを押すと、ラウドネスレベル測定・調整がスタートし、もう一度押すとストップします。F3 ボタンを押すごとに STR/STP 表示が切り替わります。*2 **STR**: 測定・調整をスタートします。 **STP**: 測定・調整をストップします。
F4>	CL	-	測定・調整をスタートすると経過時間が表示されます。F4 ボタンを 1 度押すとすべての測定値と経過時間はクリアされます。

*1 入力が無い場合は「NA」が表示されます。また、0.0LKFS 以上の測定値は「0.0」が表示されます。

注意	測定・調整が可能な最大時間は 6:59:59 です。最大時間を越えると測定値、測定時間がクリアされ、0:00:00 から彩度測定が始まります。

6-9-3-2. LOUDNESS CONTROL ENABLE

・1 系統目の表示

```
 LOUD CTRL ENA1        322
CONTROL    :OFF

RESPONSE S:NORMAL
RESPONSE F:NORMAL
```

メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

・2 系統目の表示

```
 LOUD CTRL ENA2        332
CONTROL    :OFF

RESPONSE S:NORMAL
RESPONSE F:NORMAL
```

項目	初期値	設定範囲	説明
CONTROL	OFF	OFF ON	ラウドネスレベル調整機能の ON/OFF を行います。入力信号のラウドネス値測定のみ行いたい場合は OFF で使用してください。 ON/OFF の切り替えは測定がストップ状態のときのみ有効です。測定中は「OFF(LOCK)」または「ON(LOCK)」表示され、設定を切り替えることはできません。
RESPONSE S	NORMAL	NA -4, -3, -2, -1 NORMAL +1, +2, +3, +4	ラウドネスレベル調整機能 (SLOW) の応答速度を設定します。時間の経過と共に、ラウドネス値 (Long Term) を設定しているターゲットレベル値に微調整（レベル増減）することができます。 設定値を大きくすると応答速度が増し、より強いレベル調整処理が行われます。 **NA**: 調整機能 (SLOW) を無効にします。
RESPONSE F	NORMAL	NA -4, -3, -2, -1 NORMAL +1, +2, +3, +4	ラウドネスレベル調整機能 (FAST) の応答速度を設定します。レベルの瞬時値を算出し、最短時間で調整（レベルダウンのみ）を行うことができます。 設定値を大きくすると応答速度が増し、より強いレベル調整処理が行われます。 **NA**: 調整機能 (FAST) を無効にします。

注意 RESPONSE 設定は、入力した音声素材によって調整してください。音量のばらつきが大きい素材に対しては各設定値を大きく、レベル処理を最小限に抑えたい音楽素材などに対しては設定値を小さくすることを推奨します。

6-9-3-3. LOUDNESS CONTROL SETTINGS

・1 系統目の表示

```
 LOUD CTRL SET1      323
TARGET   :-24.0+0.0LU
MIN GAIN:-20.0dB
MAX GAIN:   0.0dB
```

メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

・2 系統目の表示

```
 LOUD CTRL SET2      333
TARGET   :-24.0+0.0LU
MIN GAIN:-20.0dB
MAX GAIN:   0.0dB
```

項目	初期値	設定範囲	説明
TARGET	+0.0 LU	-2.0~+2.0 LU (0.1 LU)	ラウドネスレベル調整時の目標値（オフセット）を設定します。左側は「6-10-2-5. LOUDNESS STANDARD」で設定した規格のターゲットレベルが表示されます。
MIN GAIN	-20.0 dB	-20.0~-0.0 dB (1.0 dB)	ラウドネスレベル調整時の最小ゲイン量（限界値）を設定します。レベル調整による減衰量を制限することができます。
MAX GAIN	0.0 dB	0.0~5.0 dB (1.0 dB)	ラウドネスレベル調整時の最大ゲイン量（限界値）を設定します。レベル調整による増幅量を制限することができます。

6-9-3-4. LOUDNESS CHANNEL ASSIGNMENT

・1 系統目の表示

```
  LOUD CH ASGN1          324
MODE:STEREO
L    :SOURCE1
R    :SOURCE2
C    :INVALID
  LOUD CH ASGN1          325
LFE  :INVALID
Ls   :INVALID
Rs   :INVALID
```

メニューボタン

VIDEO OP
AUDIO OP

・2 系統目の表示

```
  LOUD CH ASGN2          334
MODE:STEREO
L    :SOURCE9
R    :SOURCE10
C    :INVALID
  LOUD CH ASGN2          335
LFE  :INVALID
Ls   :INVALID
Rs   :INVALID
```

項目	初期値	設定範囲	説明
MODE	STEREO	MONAURAL *3 STEREO 5.1 CH	ラウドネスレベル測定・調整する音声モードを設定します。 **MONAURAL**: L チャネルのみを対象とします。その他のチャネルは無効です。 **STEREO**: L、R チャネルのみを対象とします。その他のチャネルは無効です。 **5.1 CH**: 全てのチャネルを対象とします。
L (CH)	SOURCE1 *1	SOURCE 1~16 *4 DOWNMIX-L~R Dolby DEC-1~8 *5 Dolby DM-L~R *5	ラウドネスレベル測定・調整する入力信号を選択します。 **SOURCE**: SOURCE チャネルの信号 （「6-5-1. SOURCE/SRC SEL」参照） **DOWNMIX**: 内部生成されたダウンミックス （「6-7. DOWN MIX SET」参照） **Dolby DEC**: Dolby デコーダからの出力 （「6-9-1. Dolby Decoder Option (FA-95D-D)」参照） **Dolby DM**: Dolby デコーダからのダウンミックス出力 （「6-9-1. Dolby Decoder Option (FA-95D-D)」参照） (**INVALID**: MODE の設定により、無効になるチャネルは「INVALID」と表示されます。)
R (CH)	SOURCE2 *1		
C (CH)	INVALID (SOURCE3) *1		
LFE (CH) *2	INVALID (SOURCE4) *1		
Ls (CH)	INVALID (SOURCE5) *1		
Rs (CH)	INVALID (SOURCE6) *1		

*1　1 系統目の初期値は L(CH)=SOURCE1、R(CH)=SOURCE2 となり、2 系統目の初期値は L(CH)=SOURCE9、R(CH)=SOURCE10、C(CH)=SOURCE11、LFE(CH)=SOURCE12、Ls(CH)=SOURCE13、Rs(CH)=SOURCE14 となります。

*2　LFE チャネルは測定には含まれませんが、調整時の対象になります。

*3 MONAURAL 設定時は、出力音声選択（各 REMAPPING メニュー）で LOUD 1/2-R を選択した場合、LOUD1/2-L と同一の信号が出力されます。

*4　SRC を通過させた信号のみコントロール可能になります。SRC の設定については「6-5. AUDIO MAPPING（MAPPING）」を参照してください。

*5　FA-95D-D または FA-95DE-E が装着されていない場合は表示されません。

6-9-3-5. LOUDNESS STANDARD

1、2 系統共通メニューです。

```
 LOUD STANDARD          340
STANDARD   :ARIB
TARGET LVL:-24.0LKFS
MOMENTARY :   400msec
SHORT TERM:  3000msec
```

項目	初期値	設定範囲	説明
STANDARD	ARIB	ARIB ATSC A85 EBU R128 ITU R1770	ラウドネスレベル測定・調整する規格を選択します。 **ARIB**: ARIB TR-B32 規格 **ATSC A85**: ATSC A/85 規格 **EBU R128**: EBU-R128 規格 **ITU R1770**: ITU-R BS.1770 規格
TARGET LVL	-	-	設定されたラウドネス規格のターゲットレベルが表示されます。
MOMENTARY	-	-	設定されたラウドネス規格 (Momentary) の計測時間が表示されます。
SHORT TERM	-	-	設定されたラウドネス規格 (Short Term) の計測時間が表示されます。

FA-95ALA で設定されている各規格のパラメータ

パラメータ	ARIB TR-B32	ATSC A/85	EBU-R128	ITU-R BS.1770
Target Level	-24.0 LKFS	-24.0 LKFS	-23.0 LUFS	-24.0 LKFS
Momentary Average Time	400 msec	125 msec	400 msec	400 msec
Short Term Average Time	3000 msec	10000 msec	3000 msec	3000 msec
Absolute Gating	-70.0 LKFS	NONE	-70.0 LUFS	-70.0 LKFS
Relative Gating	-10 LU	NONE	-10 LU	-10 LU
Overlap Size	75%	0%	75%	75%

6-10. AUDIO SYSTEM の設定（AUDIO SYS）

オーディオ全般に関連する基本の設定を行います。

6-10-1. FADE IN / OUT

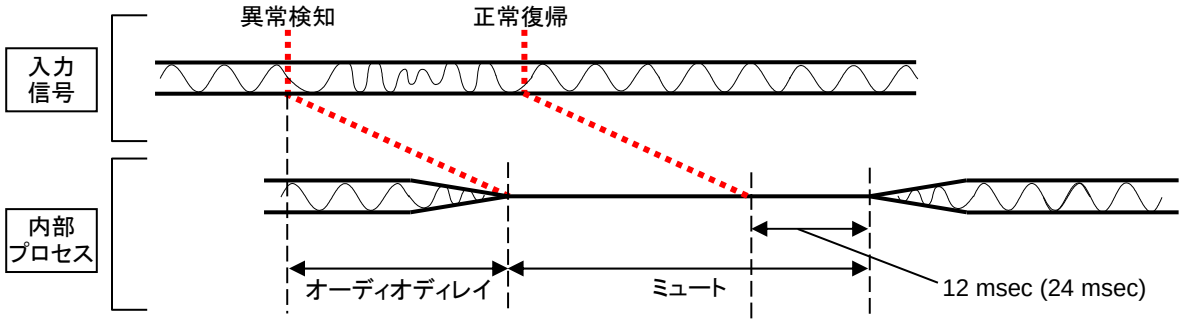
```
FADE IN/OUT          181
FADE MODE:DISABLE
FADE TIME:12msec
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
FADE MODE	DISABLE	DISABLE ENABLE	**DISABLE:** フェード、ミュート処理を行わず、常に音声をそのまま通過させます。 **ENABLE:** 入力オーディオ信号のエラーを検出すると、フェードアウトしてオーディオ信号を MUTE します。正常復帰後、フェードインします。 *1
FADE TIME	12msec	12msec 24msec	FADE IN/OUT 間の MUTE 時間を選定します。

*1　オーディオ遅延時間設定が、FADE TIME の設定値にエラー検出処理に必要な時間（2msec）を合計した値より短い場合、この機能は動作しません。
（例）FADE TIME = 12 msec の場合、Audio Delay を 14 (2+12) msec 以上に設定するとこの機能が有効になります。



注意　AES 信号入力動作時、サンプリング周波数の異なる AES 信号同士、または非同期の AES 信号同士を切り替えた場合には、正常に FADE IN / OUT が動作しない場合があります。

6-10-2. DIGITAL AUDIO

```
  DIGITAL AUDIO        182
REF LEVEL  :-20dBFS
GRADE:PROFESSIONAL
RESOLUTION:24bit
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
REF LEVEL	-20dBFS	-18dBFS -20dBFS -24dBFS	デジタルオーディオの基準レベルを設定します。 詳細は、「11 ANALOG/DIGITAL 入出力音声レベル」を参照してください。
GRADE	PROFESSIONAL	PROFESSIONAL CONSUMER	AES/SDI AUDIO 出力のチャネルステータスの形式を選択します。 **PROFESSIONAL:** 放送用 **CONSUMER:** 民生用
RESOLUTION	24bit	24bit, 20bit, 16bit	AES/SDI AUDIO 出力信号のワード長を選択します。

6-10-3. AUDIO ERR SENSE

```
  AUDIO ERR SENSE      183
CH SEL    :SDI 1/2
CH STATUS:SRC BYPASS
VALIDITY  :SRC BYPASS
CORRECTION:NORMAL
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
CH SEL	SDI 1/2	SDI 1/2 - SDI 15/16 AES 1/2 - AES 7/8	Audio Error SENSE を設定するチャネルを選択します。
CH STATUS	SRC BYPASS	SRC BYPASS PCM MUTE	入力 SDI や AES オーディオ信号のチャネルステータス内の NON-PCM フラグが「1」の場合の動作をチャネルペア毎に設定します。 *1 **SRC BYPASS**:音声を NON-PCM として処理します。SRC はバイパスされ *2、SDI AUDIO CLOCK には NON-PCM のチャネルの入力クロックが選択されます。 *3 **PCM**: 音声を PCM（通常音声）として処理します。SRC は通過 *1、SDI AUDIO CLOCK には REFERENCE が選択されます。 *3 **MUTE**: 音声を無音として処理します。
VALIDITY	SRC BYPASS	SRC BYPASS PCM MUTE	入力 SDI や AES オーディオ信号の Validity Bit フラグが「1」の場合の動作をチャネルペア毎に設定します。 *1 **SRC BYPASS**: 音声を NON-PCM として処理します。SRC はバイパスされ *2、SDI AUDIO CLOCK には NON-PCM のチャネルの入力クロックが選択されます。 *3 **PCM**: 音声を PCM（通常音声）として処理します。SRC は通過 *1、SDI AUDIO CLOCK には REFERENCE が選択されます。 *3 **MUTE**: 音声を無音として処理します。

項目	初期値	設定範囲	説明
CORRECTION	NORMAL	DISABLE NORMAL SENSITIVE	FA-9500 は、入力信号切り替えなどによるオーディオステータス変化を検出し、自動でフェード ***4** しながらミュートを行うことが可能です。信号異常を検出するかどうか、またその感度を設定します。 **DISABLE**:オーディオステータス検出によるミュート動作を全て禁止します。通常は使用しません。 **NORMAL** : SDI 信号の切り替え、ADP (Audio Data Packet) 変化、DBN (Data Block Number) の切り替えを検出するとミュートを行います。通常はこの設定を使用します。 **SENSITIVE**：上記に加え、チャネルステータス、EDP (Extended Data Packet) 有無（SD-SDI のみ）の切り替えを検出するとミュートを行います。

*1 入力オーディオのチャネルステータスやValidity Bitは波形モニタ等で確認することができます。
*2 「6-5-1 SOURCE/SRC SEL」の SRC MODE が AUTO に設定されている場合
*3 「6-1-4 SDI AUDIO CLOCK」が AUTO に設定されている場合
*4 フェード機能は、「6-10-1 FADE IN / OUT」の FADE MODE の設定に従います。

◆ CH STATUS について

FA-9500 は音声信号内の Audio Channel Status（ACS）の NON-PCM フラグをもとにそのオーディオデータがオーディオデータ(PCM)なのか、非オーディオデータ(NON-PCM)なのかを判定して動作します。そのため音声信号内の ACS に異常があるイレギュラーな信号を受信した場合に誤動作をする可能性があります。そのようなときに、この機能を使用することで正常に音声が通過できる場合があります。

◆ VALIDITY について

FA-9500 は音声信号内の Validity Bit(V Bit)をもとに、そのオーディオデータがオーディオデータ(PCM)なのか、非オーディオデータ(NON-PCM)なのかを判定して動作します。そのため音声信号内の Validity Bit(V Bit) に異常があるイレギュラーな信号を受信した場合に誤動作をする可能性があります。そのようなときに、この機能を使用することで正常に音声が通過できる場合があります。

注意	この機能は、音声にノイズがのる場合や、ミュートになってしまう場合のみお使いください。音声が正常に出力されている場合は、通常設定で使用してください。

◆ CORRECTION について

CORRECTION は通常は **NORMAL** で使用してください。音声にノイズ・MUTE が発生する場合、番組・時間を限定して **DISABLE** で使用してください。
FA-9500 は、SDI 信号の抜き差しやルータでの切り替え等による音声ステータス変化を検出すると、その要因に応じてフェード処理や音声遅延回路に対する初期化処理を行います。入力信号によっては、音声データが正常であるにもかかわらず、付加データ等に異常や不正があり、ステータス変化を引き起こすことがあります。
FA-9500 は異常信号が入力されても適切に処理できるよう自動化処理を行っていますが、信号によっては自動化処理が最適に機能せず、出力音声に無用なノイズや MUTE を発生させてしまうことがあります。**DISABLE** では、自動化処理を禁止し可能な限り音声を通過させるため、以下の制約が発生します。

- ルータ切り替えや SDI 信号抜き差し後は、音声遅延量が設定に対して最大±1.3msec の範囲でずれる。複数グループ間の音声位相が合わない。

CORRECTION の設定を **DISABLE** へ変更する直前および、**DISABLE** から **NORMAL** へ戻した後は、下記どちらかの操作を行ってください。
(a)「6-1-5. SDI IN AUDIO」ALIGNMENT の設定を **DISABLE** から **ENABLE** にする。
(b) 入力の SDI 信号を抜き差しする。
これにより音声受信回路が初期化され、音声遅延量のずれ・グループ間位相を最小にすることができます。なお上記操作の際は出力音声が一旦 MUTE されます。

6-10-4. DIGITAL SILENCE

```
DIGITAL SILENCE   184
SILENCE TIME:2sec
SILENCE LVL  :-72dBFS
```

メニューボタン

VIDEO SYS
AUDIO SYS

項目	初期値	設定範囲	説明
SILENCE TIME	2sec	1 - 10sec	SDI エンベデットオーディオおよび AES 入力が Silence と判断するまでの時間を設定します。無音状態になってから設定した時間が経過すると Silence と判断されます。*1
SILENCE LVL	-72dBFS	-72dBFS -66dBFS -60dBFS -54dBFS -48dBFS	SDI エンベデットオーディオおよび AES 入力を Silence と判断するオーディオレベルを設定します。*1

*1　この設定に従って「5-13-7 SDI 1 IN AUDIO」、「5-13-8 SDI 2 IN AUDIO」、「5-13-9 AES IN AUDIO」に表示されます。

7. OTHER Settings & Information (OTHER)

ビデオにもオーディオにも属さない項目の設定を行います。
また、FA-9500 の各種バージョン確認／オプションのインストール内容が確認できます。

7-1. CONTROL SETTING

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	初期値	設定範囲	説明
CONTROL	LOCAL	LOCAL REMOTE	**LOCAL**：FA-95RU / FA-10DCCRU からの制御を禁止します。 （前面の REMOTE LED が消灯します。） **REMOTE**：FA-95RU / FA-10DCCRU からの制御を許可します。 （前面の REMOTE LED が点灯します。）

※このメニューは FA-95RU では開けません。

7-2. FRONT OPERATION

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	初期値	設定範囲	説明
MODE	NORMAL	NORMAL LIVE SAFE	FA-9500 の前面操作モードを設定します。 **NORMAL** 操作モード: モードを NORMAL に設定すると、F1～F4 のロータリエンコーダの設定変更を直ぐに反映します。 **LIVE SAFE** 操作モード: モードを LIVE SAFE に設定すると、F1～F4 のロータリエンコーダで設定を変更した場合上下シングル矢印ボタンと設定を変更したロータリエンコーダの周辺が点滅表示され、設定変更確認状態表示になります。 下シングル矢印ボタンを押すと設定が反映され点灯状態に戻ります。上シングル矢印ボタンを押すと設定変更がキャンセルされ元の状態に戻ります。 詳細は、「4 前面パネルの操作」を参照してください。

※このメニューは FA-95RU にもあり、FA-95RU では、FA-95RU の前面操作モードを設定します。

7-3. FRONT PANEL SET

```
FRONT PANEL SET      197
VFD BRIGHT   :50
VFD AUTO OFF:5min
LED BRIGHT   :LEVEL4
BUZZER       :ENABLE
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	初期値	設定範囲	説明
VFD BRIGHT	50	10 - 50	前面表示パネルの明るさを設定します。 **10 - 50:** 暗い - 明るい
VFD AUTO OFF	DISABLE	DISABLE 5min 10min 30 min	無操作状態から、VFD が消灯するまでの時間を設定します。 **DISABLE** に設定すると、消灯しません。
LED BRIGHT	LEVEL4	LEVEL1 - 8	前面パネルの LED の明るさを設定します。 **LEVEL1 - 8：**暗い - 明るい
BUZZER	ENABLE	DISABLE ENABLE	**DISABLE：**ブザー音を停止 **ENABLE：**ブザー音が鳴ります。

※このメニューは FA-95RU では開けません。

7-4. GPI SETTING

```
 GPI SETTING              198
GPI1-7 SEL:GPI1
IN/OUT SEL:INPUT
ASSIGN:NONE
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	初期値	設定範囲	説明
GPI1-7 SEL	GPI1	GPI1-7	REMOTE ポートの GPI 端子を選択します。
IN/OUT SEL *1	INPUT	INPUT OUTPUT	GPI1-7 SEL で選択したポートを 入力で使用する場合は、**INPUT** を選択し、TALLY 出力で使用する場合は、**OUTPUT** を選択します。
ASSIGN	NONE	IN/OUT SEL が INPUT の場合 *2 NONE BY-PASS FREEZE FULL CB 75% CB SMPTE CB RAMP SDI1, 2 COMPOSITE YPbPr SMPTE *4 YPbPr BETACAM *4 RGB *4 Y/C *4 DEFAULT EVENT1～100 CHGOV ENABLE *5 CHGOV DISABLE *5 CONV1, 2 KEYER *6 CONV1, 2 LOAD 1~7 *6*7 LOUD1, 2 START *8 LOUD1, 2 CLEAR *8 IN/OUT SEL が OUTPUT の場合 NONE *3 FREEZE *3 VIDEO IN *3 AUDIO IN *3 REF IN *3 FAN ALARM *3 DC POWER1, 2 *3 SDI1, 2 COMPOSITE YPbPr SMPTE *4 YPbPr BETACAM *4 RGB *4 Y/C *4 CHANGEOVER *5 CHGOV ENABLE *5 CONV1, 2 KEYER *6 LOUD1, 2 CTRL *8	GPI1-7 SEL で設定されたポートに IN/OUT SEL で設定されたモードに従い、機能を設定します。
LOGO ID	1～7	1～256	CONV1 LOAD 1～7, CONV2 LOAD 1～7 を選択した場合、割り当てるロゴ ID を設定します。

*1 IN/OUT の設定を変更すると、ASSIGN は、一旦 NONE に設定されます。再度、ASSIGN の機能設定を行ってください。

*2 入力機能の動作方法には、レベル制御とパルス制御がありますので、どちらで機能するかは、次ページの“◆INPUT FUNCTION”の項目を参照してください。

*3 機能の詳細は、次ページの“◆OUTPUT FUNCTION”の項目を参照してください。
DC Power1/2 は、FA-95PS が装着されていない場合は選択できません。

*4 FA-95AIO が装着されていない場合は表示されません。

*5 FA-95CO がインストールされていない場合は表示されません。

*6 FA-95LG がインストールされていない場合は表示されません。
*7 CONV1 LOGO1～7, CONV2 LOGO1～7 を選択した場合、“LOGO ID : 1” のように表示されます。LOGO ID は、1～256 で割付することができます。下記条件の場合 GPI で機能割付けした場合ロゴのロードはされますが、各コンバータ出力映像にロゴはインサートされません。
・Logo ID にロゴが登録されてない
・登録されているロゴフォーマットとコンバータの出力フォーマットが違う
・各コンバータのキーヤが Off に設定されている。
*8 FA-95ALA が装着されていない場合は表示されません。

◆ **INPUT FUNCTION**

機能	制御方式	内容
NONE		設定なし
BY-PASS	レベル	OPERATE/BY-PASS の設定 GND とショート: BY-PASS 動作 GND と OPEN: OPERATE 動作
FREEZE *1	レベル	FREEZE の ON/OFF 設定 GND とショート: FREEZE ON 動作 GND と OPEN: FREEZE OFF 動作
FULL CB	レベル	テスト信号の FULL CB 設定 GND とショート: FULL CB ON 動作 GND と OPEN: FULL CB OFF 動作
75% CB	レベル	テスト信号の FULL CB 設定 GND とショート: 75% CB ON 動作 GND と OPEN: 75% CB OFF 動作
SMPTE CB	レベル	テスト信号の SMPTE CB 設定 GND とショート: SMPTE CB ON 動作 GND と OPEN: SMPTE CB OFF 動作
RAMP	レベル	テスト信号の RAMP 設定 GND とショート: RAMP ON 動作 GND と OPEN: RAMP OFF 動作
SDI1 *2 SDI2 *2 COMPOSITE YPbPr SMPTE *3 YPbPr BETACAM *3 RGB *3 Y/C *3	パルス	入力ビデオの選択です。GND とショートすると設定した入力信号に切り替えます。
CHGOV ENABLE CHGOV DISABLE	パルス	CHANGEOVER 設定を Enable/Disable に設定します。 CHGOV ENABLE は、GND とショートすると CHANGEOVER が ENABLE に設定されます。 CHGOV DISABLE は、GND とショートすると CHANGEOVER が DISABLE に設定されます。 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の設定状態によっては、CHANGEOVER を ENABLE に設定できない場合があります。
DEFAULT EVENT1～EVENT100	パルス	DEFAULT，イベント 1～100 を読み込みます。GND とショートする毎にイベント（DEFAULT,イベント 01～100）を読み込みます。
CONV1 KEYER *4 CONV2 KEYER *4	レベル	コンバータ 1 のキーヤの ON/OFF 設定 GND とショート: ON 動作 GND と OPEN: OFF 動作
CONV1 LOAD 1～7 *4 CONV2 LOAD 1～7 *4	パルス	LOGO ID で割付られたロゴが各コンバータ毎にロードされます。 CONV1/2 LOAD 1～LOAD 7 は、LOGO ID で割付します。
LOUD1 START *5 LOUD2 START *5	レベル	ラウドネス測定の ON/OFF 設定 GND とショート: ON 動作 GND と OPEN: OFF 動作
LOUD1 CLEAR *5 LOUD2 CLEAR *5	パルス	ラウドネス測定値と測定時間をクリア

*1 「5-10-1 FS MODE SET」の SYNCHRO が、LINE, AVDL, INPUT に設定されている場合、FREEZE ON 動作状態でもフリーズせず、“＊FREEZE” と表示されます。INPUT FUNCTION で FREEZE を使用する場合は、必ず SYNCHRO を、FRAME に設定してください。
*2 FA-95CO がインストールされていてチェンジオーバ設定がイネーブルになっている場合
“*SDI1” ”*SDI2”と表示される場合があります。これは、チェンジオーバ設定中で、入力切換えができないことを表示しています。詳細は、「5-7-1 VIDEO INPUT SET」を参照してください。

*3 FA-95AIO が装着されていない場合は表示されません。
*4 FA-95LG がインストールされていない場合は表示されません。
*5 FA-95ALA が装着されていない場合は表示されません。

☞ レベル制御/パルス制御のタイミングについては、「14 REMOTE」を参照してください。

◆ **OUTPUT FUNCTION**

機能	内容
NONE	設定なし
FREEZE	FREEZE ON: Low FREEZE OFF: High (Open Collector)
VIDEO IN	入力信号あり: Low 入力信号なし: High (Open Collector)
AUDIO IN	入力信号あり: Low 入力信号なし: High (Open Collector)
REF IN	入力信号あり: Low 入力信号なし: High (Open Collector)
FAN ALARM *1	FAN 異常あり: Low FAN 正常 : High (Open Collector)
DC POWER1 *2	電源 1 に異常あり: Low 電源 1 正常 : High (Open Collector)
DC POWER2 *2	電源 2 に異常あり: Low 電源 2 正常 : High (Open Collector)
SDI1	SDI1 の入力信号を選択中: Low SDI1 の入力信号が選択されていない: High (Open Collector)
SDI2	SDI2 の入力信号を選択中: Low SDI2 の入力信号が選択されていない: High (Open Collector)
COMPOSITE	COMPOSITE の入力信号を選択中: Low COMPOSITE の入力信号が選択されていない: High (Open Collector)
YPbPr SMPTE *3	YPbPr SMPTE の入力信号を選択中: Low YPbPr SMPTE の入力信号が選択されていない: High (Open Collector)
YPbPr BETACAM *3	YPbPr BETACAM の入力信号を選択中: Low YPbPr BETACAM の入力信号が選択されていない: High (Open Collector)
RGB *3	RGB の入力信号を選択中: Low RGB の入力信号が選択されていない: High (Open Collector)
Y/C *3	Y/C の入力信号を選択中: Low Y/C の入力信号が選択されていない: High (Open Collector)
CHANGEOVER *4	CHANGEOVER で切り替えが発生していないとき: Low CHANGEOVER で切り替えが発生たとき: High (Open Collector)
CHGOV ENABLE *4	CHNGEOVER ENABLE に設定中: Low CHNGEOVER DISABLE に設定中: High (Open Collector)
CONV1 KEYER *5	CONVERTER1 の KEYER が ENABLE に設定中: Low CONVERTER1 の KEYER が DISABLE に設定中: High (Open Collector)
CONV2 KEYER *5	CONVERTER2 の KEYER が ENABLE に設定中: Low CONVERTER2 の KEYER が DISABLE に設定中: High (Open Collector)
LOUD1 CTRL *6	LOUDNESS CONTROL1 の CONTROL が ON に設定中: Low LOUDNESS CONTROL1 の CONTROL が OFF に設定中: High (Open Collector)
LOUD2 CTRL *6	LOUDNESS CONTROL2 の CONTROL が ON に設定中: Low LOUDNESS CONTROL2 の CONTROL が OFF に設定中: High (Open Collector)

*1 2 個の冷却ファンのうち 1 個でも異常が発生した場合、Low になります。
*2 FA-95PS が装着されていない場合は表示されません。
*3 FA-95AIO が装着されていない場合は表示されません。
*4 FA-95CO がインストールされていない場合は表示されません。
*5 FA-95LG がインストールされていない場合は表示されません。
*6 FA-95ALA が装着されていない場合は表示されません。

7-5. NETWORK INFO

メニューボタン

STATUS
OTHER

```
 NETWORK INFO          199
NAME:FA-9500
IP  :192.168.  0.  10
SUB:255.255.255.  0
GW  :  0.  0.  0.  0
```

項目	初期値	説明
NAME	FA-9500	機器名が表示されます。 機器名を変更するには、 「9-6-1 Event Control」Unit Name を参照してください。
IP	192.168.0.10	LAN PORT1 に設定されている IP アドレスを表示します。
SUB	255.255.255.0	LAN PORT1 に設定されているサブネットマスクを表示します。
GW	0.0.0.0	LAN PORT1 に設定されているゲートウエイを表示します。

NETWORK INFO の設定は、パソコンと接続し、WEB 画面上から設定します。
詳しくは、「9-8-2 NETWORK SETTING」を参照してください。

7-6. UNIT Ver.

メニューボタン

STATUS
OTHER

```
 UNIT Ver.             200
FPGA1:01.00
FPGA2:01.00
FPGA3:01.00
SOFT :01.00
```

項目	説明
FPGA1	FPGA1 のバージョンが表示されます。
FPGA2	FPGA2 のバージョンが表示されます。
FPGA3	FPGA3 のバージョンが表示されます。
SOFT	SOFT のバージョンが表示されます。

7-7. OPTION A Ver.

```
OPTION A Ver.      201
NAME:NONE
FPGA1:--.--
FPGA2:--.--
SOFT :--.--
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
NAME	-	-	OPTION SLOT A に実装されている機種名が表示されます。 装着されていない場合は、 “NONE”と表示されます。
FPGA1	-	-	OPTION SLOT A FPGA1 のバージョンが表示されます。サポートしていない場合は --.—と表示されます。
FPGA2	-	-	OPTION SLOT A FPGA2 のバージョンが表示されます。サポートしていない場合は --.—と表示されます。
SOFT	-	-	OPTION SLOT A SOFT のバージョンが表示されます。サポートしていない場合は --.—と表示されます。

◆ **FA-95DACBL が実装された場合の表示**

```
OPTION A Ver.      201
NAME:FA-95DACBL
FPGA1:--.--
FPGA2:--.--
SOFT :--.--
```

7-8. OPTION B Ver.

```
OPTION B Ver.      202
NAME:NONE
FPGA1:--.--
FPGA2:--.--
SOFT :--.--
```

メニューボタン

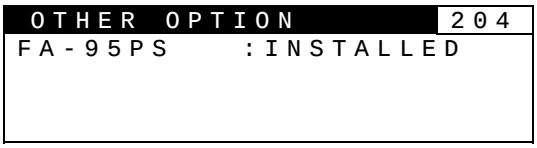
STATUS
OTHER

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
NAME	-	-	OPTION SLOT B に実装されている機種名が表示されます。 装着されていない場合は、“NONE”と表示されます。
FPGA1	-	-	OPTION SLOT B FPGA1 のバージョンが表示されます。サポートしていない場合は --.—と表示されます。
FPGA2	-	-	OPTION SLOT B FPGA2 のバージョンが表示されます。サポートしていない場合は --.—と表示されます。
SOFT	-	-	OPTION SLOT B SOFT のバージョンが表示されます。サポートしていない場合は --.—と表示されます。

◆ **FA-95DACBL が実装された場合の表示**

```
OPTION B Ver.      202
NAME:FA-95DACBL
FPGA1:--.--
FPGA2:--.--
SOFT :--.--
```

7-9. OTHER OPTION

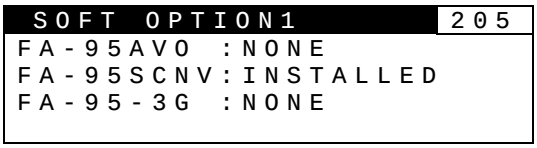


メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
FA-95PS	-	-	オプションの FA-95PS が、装着されている場合は、**INSTALLED** と表示され、装着されていない場合は、“**NONE**”と表示されます。

7-10. SOFT OPTION1

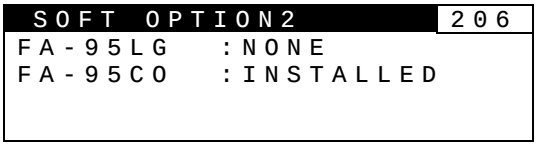


メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
FA-95AVO	-	-	オプションの FA-95AVO が、装着されている場合は、**INSTALLED** と表示され、装着されていない場合は、“**NONE**”と表示されます。
FA-95SCNV	-	-	オプションの FA-95SCNV が、装着されている場合は、**INSTALLED** と表示され、装着されていない場合は、“**NONE**”と表示されます。
FA-95-3G	-	-	オプションの FA-95-3G が、装着されている場合は、**INSTALLED** と表示され、装着されていない場合は、“**NONE**”と表示されます。

7-11. SOFT OPTION2



メニューボタン

STATUS
OTHER

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
FA-95LG	-	-	オプションの FA-95LG が、装着されている場合は、**INSTALLED** と表示され、装着されていない場合は、“**NONE**”と表示されます。
FA-95CO	-	-	オプションの FA-95CO が、装着されている場合は、**INSTALLED** と表示され、装着されていない場合は、“**NONE**”と表示されます。

8. イベントメモリ

FA-9500 は、100 個のイベントメモリとビデオフォーマット毎のメモリ保存が可能です。
EVENT ボタンを押す毎に、EVENT LOAD（緑点灯），EVENT SAVE(赤点灯)，EVENT SETUP（オレンジ点灯）イベント設定に入る前のページを繰り返します。EVENT ボタンを押し操作したい項目まで押します。または、EVENT ボタンを押し上下シングル矢印ボタンでも選択可能です。

8-1. EVENT LOAD

```
EVENT LOAD          191
NO.: VIDEO FORMAT
LOAD START F2 UNITY
FORMAT:1080/59i
```

メニューボタン

EVENT

項目	初期値	設定範囲	説明
NO.	VIDEO FORMAT	VIDEO FORMAT *2 DEFAULT *1 EVENT1～ EVENT100	呼び出したいイベント NO を指定します。
LOAD START F2 UNITY	-	-	F2 の UNITY スイッチを押すと、NO.で指定された内容の EVENT を呼び出します。
-	-	-	NO.が、VIDEO FORMAT の場合 LOAD される信号名が表示されます。

*1　DEFAULT は、初期値が呼び出しされます。
*2　VIDEO FORMAT は、FA-9500 が動作している VIDEO FORMAT 毎に保存されている内容の指定になります。3 行目に信号名が表示されます。

「8-3 EVENT SETUP」の、AUTO LOAD を ENABLE に設定すると、下記の表示になり EVENT LOAD の操作は禁止されます。
EVENT LOAD を操作する場合は、AUTO LOAD を DISABLE に変更してください。

```
EVENT LOAD          191
NO.:----
AUTO LOAD ENABLE!
```

8-2. EVENT SAVE

```
EVENT SAVE          192
NO.:VIDEO FORMAT
SAVE START F2 UNITY
FORMAT:1080/59i
```

メニューボタン

EVENT

項目	初期値	設定範囲	説明
NO.	VIDEO FORMAT	VIDEO FORMAT *1 EVENT1～EVENT100	保存したいイベント NO.を指定します。
SAVE START F2 UNITY	-	-	F2 の UNITY スイッチを押すと、NO.で指定された EVENT に保存します。
-	-	-	NO.で VIDEO FORMAT を選択した場合 SAVE される信号名が表示されます。

*1 VIDEO FORMAT を選択すると、FA-9500 が動作している VIDEO FORMAT 毎に保存されたメモリを指定します。3 行目に信号名が表示されます。

「8-3 EVENT SETUP」の、AUTO LOAD を ENABLE に設定すると、下記の表示になり EVENT SAVE の操作は禁止されます。EVENT SAVE を操作する場合は、AUTO LOAD を DISABLE に変更してください。

```
EVENT SAVE          192
NO.:----
AUTO LOAD ENABLE!
```

8-3. EVENT SETUP

```
EVENT SETUP         193
START:LAST SETTING
AUTO LOAD:DISABLE
```

メニューボタン

EVENT

項目	初期値	設定範囲	説明
START	LAST SETTING	LAST SETTING VIDEO FORMAT DEFAULT EVENT1～EVENT100	電源起動に呼出したいイベントを指定します。 **LAST SETTING**: 電源を入れる前の状態で起動します。 **VIDEO FORMAT**: 電源を入れる前に最後に検知したビデオ信号に登録されているイベントメモリで起動します。 **DEFAULT:** 設定値を全て初期値で起動します。 **EVENT1～100**: イベントメモリ 1～100 に登録されている内容で起動します。
AUTO LOAD	DISABLE	DISABLE ENABLE	ENABLE に設定すると、入力ビデオ信号が変わった場合に、変わったビデオ信号に登録されているイベントをロードします。

EVENT1～100 に名称を設定し、選択することができます。

☞ EVENT1～100 の名称設定は、「9-6-1 Event Control」の Set Event Name を参照してください。

8-4. イベントメモリに登録されない項目

以下の内容は、イベントメモリに保存されません。
「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の CHANGEOVER DISABLE/ENABLE
「5-10-2 FREEZE SET」の FREEZE の ON/OFF
「6-4 MASTER OUT GAIN 設定(MASTER)」の MASTER MUTE ON/OFF
「8-3 EVENT SETUP」の内容全て
「7. OTHER Settings & Information (OTHER)」の内容全て
「5-13. 各種信号 STATUS 表示（STATUS）」 の内容全て
「9-6-1 Event Control」の Unit Name
「9-8 Network 設定」の内容全て
「6-9-3-1 LOUDNESS MEASUREMENT」の内容全て
「6-9-3-2 LOUDNESS CONTROL ENABLE」の CONTROL の ON/OFF

8-5. イベントメモリ操作上の注意事項

イベントメモリの SAVE 動作中に、電源を切らないでください。
正常にデータ保存されない場合があります。また、FA-9500 は定期的に最終設定データの保存処理を自動で行っています。設定変更後は、5 秒以上経過してから電源を落としてください。大切な設定データは、万一に備えファイル保存するようお勧めします。
設定データをファイルに保存する方法は、「9-6-2 Backup Parameter」「9-6-4 Backup Event Data」を参照してください。

9. WEB ブラウザ制御

パソコンの WEB ブラウザ上から FA-9500 を制御する方法について説明します。
パソコンとの接続は、「3-7 パソコンとの接続」を参照してください。
ポップアップ設定ウィンドウは一度に複数開かないでください。同時に複数のウィンドウを開いた場合、操作できなくなることがあります。

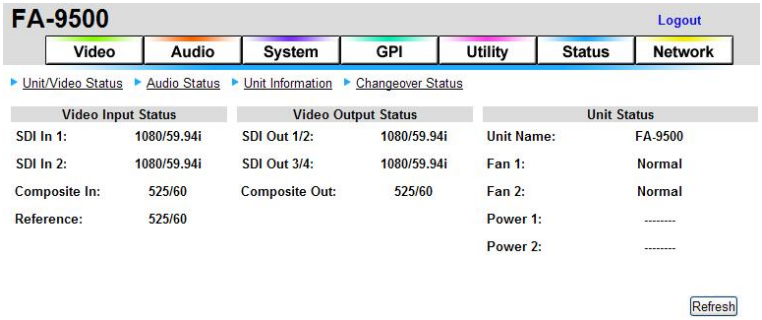
9-1. WEB ブラウザからの接続

パソコンの WEB ブラウザを開き、接続先に http://192.168.0.10/（工場出荷時設定）と入力します。キーボードの Enter を押して FA-9500 と接続します。
Login 画面が表示されます。

Login をクリックします。認証ダイアログが表示されます。

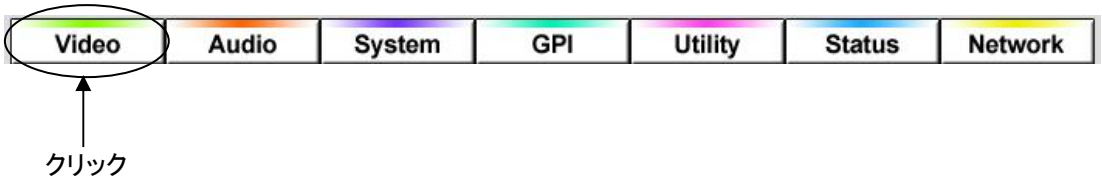
ユーザー名とパスワードを入力します。（出荷時設定）
ユーザー名：fa9500
パスワード：foranetwork
OK をクリックすると、Status 画面が表示されます。

「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Login 画面, 認証ダイアログが表示されずに次の Status 画面が表示されます。



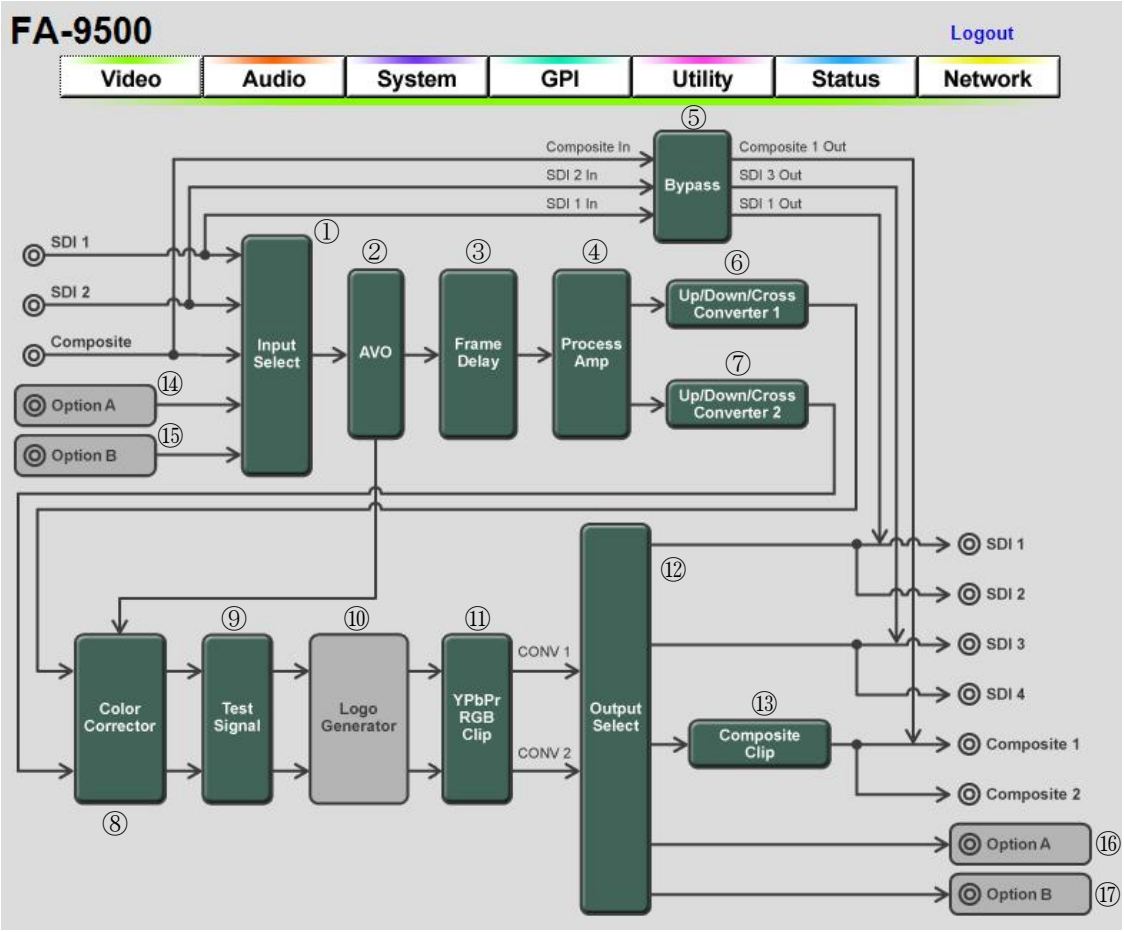
Logout をクリックすると Login 画面に戻ります。
「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

9-2. VIDEO 関連項目の制御



画面上部の Video のタブをクリックすると、Video 関連のブロック設定画面が表示されます。ブロック図上の四角で囲まれている部分をクリックすると、Window が開き各項目の設定変更ができます。

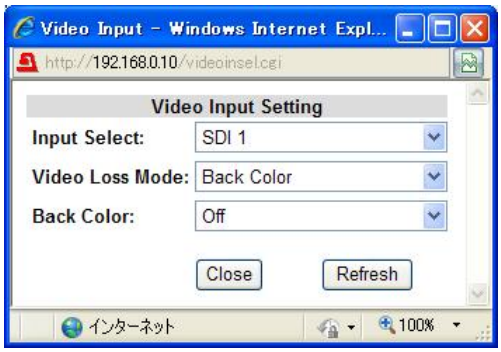
Video ブロック図



※ ②は、オプションの FA-95AVO が実装されていないと機能しません。
※ ⑦は、オプションの FA-95SCNV が実装されていないと機能しません。
※⑩ ⑭～⑰は、機能設定はありません。
※⑭～⑰は、FA-95AIO が実装されている場合、“FA-95AIO”と表示されます。
「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

9-2-1. Input Select

Video ブロック図の①をクリックすると、Video Input Setting Window が開きます。



プルダウンで設定を選択します。
設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **Video Input Setting**

項目	初期値	設定範囲	説明
Input Select	SDI1	SDI1 SDI2 Composite YPbPr SMPTE *2 YPbPr BETACAM *2 RGB *2 Y/C *2	入力信号を選択します。
Video Loss Mode	Back Color	Back Color Auto Freeze *1 Color Bar Output Disable	IN SEL で選択した、入力信号が無入力状態になった場合の処理を指定します。
Back Color	Black	Off Black Blue Red Magenta Green Cyan Yellow	BACK カラーの色を指定します。

*1 「9-4-1 Video System」, FS Mode の Synchro Mode が Line, AVDL, Input Lock に設定されていて Auto Freeze を選択した場合、Back Color として機能します。この場合、“Auto Freeze”がグレーアウト表示に変わります。

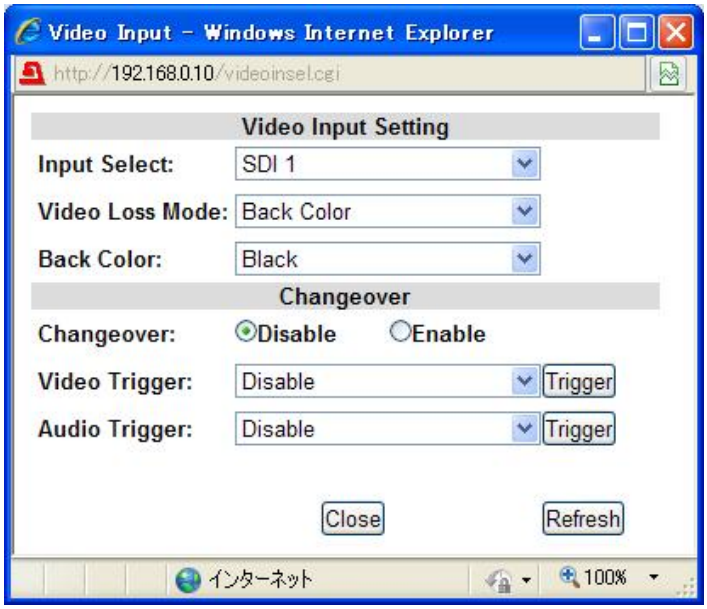
*2 FA-95AIO オプション実装時に選択可能になります。

◆ **LOSS 動作について**

Input Select で設定した信号が入力状態から無入力状態になった時、指定した Video Loss Mode で動作します。

- Video Loss Mode に Back Color を設定した場合
  Back Color で指定した色で出力されます。
- Video Loss Mode に Auto Freeze を設定した場合
  無入力状態になった最後の映像をフリーズ状態にします。フリーズのモードは、フィールドフリーズ動作します。
  720p などのプログレッシブ信号の場合はフレームフリーズとして動作します。
- Video Loss Mode に Color Bar を設定した場合
  SMPTE カラーバーを出力します。
- Video Loss Mode に Output Disable を設定した場合
  SDI OUT1/2, 3/4、COMPOSITE OUT1/2 を無出力状態にします。

オプションの FA-95CO がインストールされている場合、Video ブロック図の①をクリックすると下記の Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

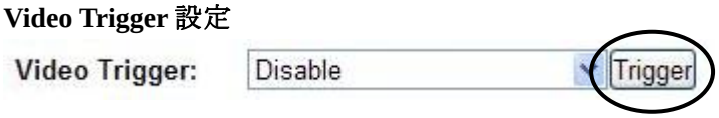
◆ **Video Input Setting**

Changeover を Disable に設定している場合は、前述の内容と同じです。
Changeover が Enable に設定されている場合は、Input Select の変更ができません。
Input Select を変更する場合は、Changeover を Disable に設定してください。

◆ **Changeover 設定**

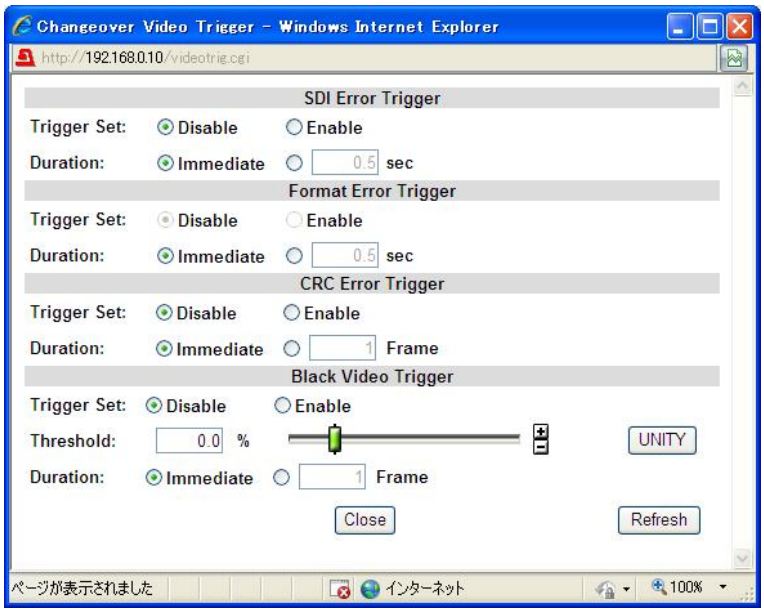
項目	初期値	設定範囲	説明
Changeover	Disable	Disable Enable	Disable：チェンジオーバは停止状態です。 Enable: チェンジオーバは動作中です。 ※Input Select が SDI1 に設定されていないと Enable には設定できません。
Video Trigger	Disable	Disable Enable	SDI Error Trigger Format Error Trigger CRC Error Trigger Black Video Trigger の 4 つのビデオトリガによるチェンジオーバの動作モードを設定します。 **Disable**：ビデオトリガは停止状態です。 **Enable**：4 つのビデオトリガの 1 つでもトリガ条件を満たした場合、チェンジオーバ動作します。
Audio Trigger	Disable	Disable Enable	Audio Loss Trigger Audio Error Trigger Silence Error Trigger の 3 つのオーディオトリガによるチェンジオーバの動作モードを設定します。 **Disable**：ビデオトリガは停止状態です。 **Enable**：3 つのオーディオトリガの 1 つでもトリガ条件を満たした場合チェンジオーバ動作します。

◆ **Video Trigger 設定**



ここをクリック

すると、Video Trigger の詳細な条件設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **SDI Error Trigger**

項目	初期値	設定範囲	説明
Trigger Set	Disable	Disable Enable	SDI の入力ロス、サポート外のビデオフォーマット検出、TRS エラー検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。
Duration	Immediate	Immediate 0.5～5.0 sec	SDI の入力ロス、サポート外のビデオフォーマット検出、アクティブ区間の TRS エラーを検出してから、チェンジオーバ　トリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。

◆ **Format Error Trigger**

項目	初期値	設定範囲	説明
Trigger Set	Disable	Disable Enable	SDI の入力フォーマットとシステムフォーマットの不一致について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。*1
Duration	Immediate	Immediate 0.5～5.0 sec	SDI の入力フォーマットとシステムフォーマットの不一致を検出してから、チェンジオーバ　トリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。

※　「9-4-1 FS Mode」の System Format が Auto Detect に設定されている場合 Trigger　Set を Enable に設定することはできません。Trigger を Enable に設定する場合、「9-4-1 FS Mode」の System Format を Auto Detect 以外の固定ビデオフォーマットに設定してください。

※　Changeover が Disable に設定されている場合または、Video Trigger が Disable に設定されている場合 Format Error Trigger を Enable に設定してもチェンジオーバは動作しません。

※　SDI1 入力がビデオロス状態の場合も、Format Error Trigger として動作しますので、SDI Error Trigger が、Disable に設定されていても、Format Error Trigger で設定されたエラー継続時間後にチェンジオーバ動作します。

◆ **CRC Error Trigger**

項目	初期値	設定範囲	説明
Trigger Set	Disable	Disable Enable	SDI のビデオ CRC エラー検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。
Duration	Immediate	Immediate 1～100Frame	SDI のビデオ CRC エラーを検出してから、チェンジオーバ トリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。 ※ルータによる入力切替もエラーと判断します。入力切替でチェンジオーバさせないためには、2 Frames 以上に設定してください。

※ Changeover が Disable に設定されている場合または、Video Trigger が Disable に設定されている場合 CRC Error Trigger を Enable に設定してもチェンジオーバは動作しません。

※ SDI1 入力がビデオロス状態の場合も、CRC Error Trigger として動作しますので、SDI Error Trigger が、Disable に設定されていても、CRC Error Trigger で設定されたエラー継続時間後にチェンジオーバ動作します。

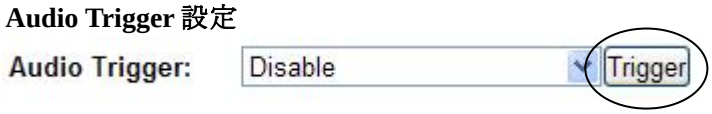
※ CRC Error Trigger はブランキング区間の TRS エラーもトリガとして検出します。そのため SDI Error Trigger と CRC Error Trigger の Trigger set が Enable に設定されている場合、ブランキング区間の TRS エラーに対しては CRC Error Trigger のみトリガとして動作します。

◆ **Black Video Trigger**

項目	初期値	設定範囲	説明
Trigger Set	Disable	Disable Enable	SDI のブラックビデオ検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。
Threshold	0.0%	-7.5～30.0%	ブラックビデオとして判定する 1 フィールド（入力がインターレース、セグメントフレームの場合）、または 1 フレーム（入力がプログレッシブの場合）あたりにおける平均輝度の閾値を設定します。
Duration	Immediate	Immediate 1～100Frame	SDI のブラックビデオを検出してから、チェンジオーバ トリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。

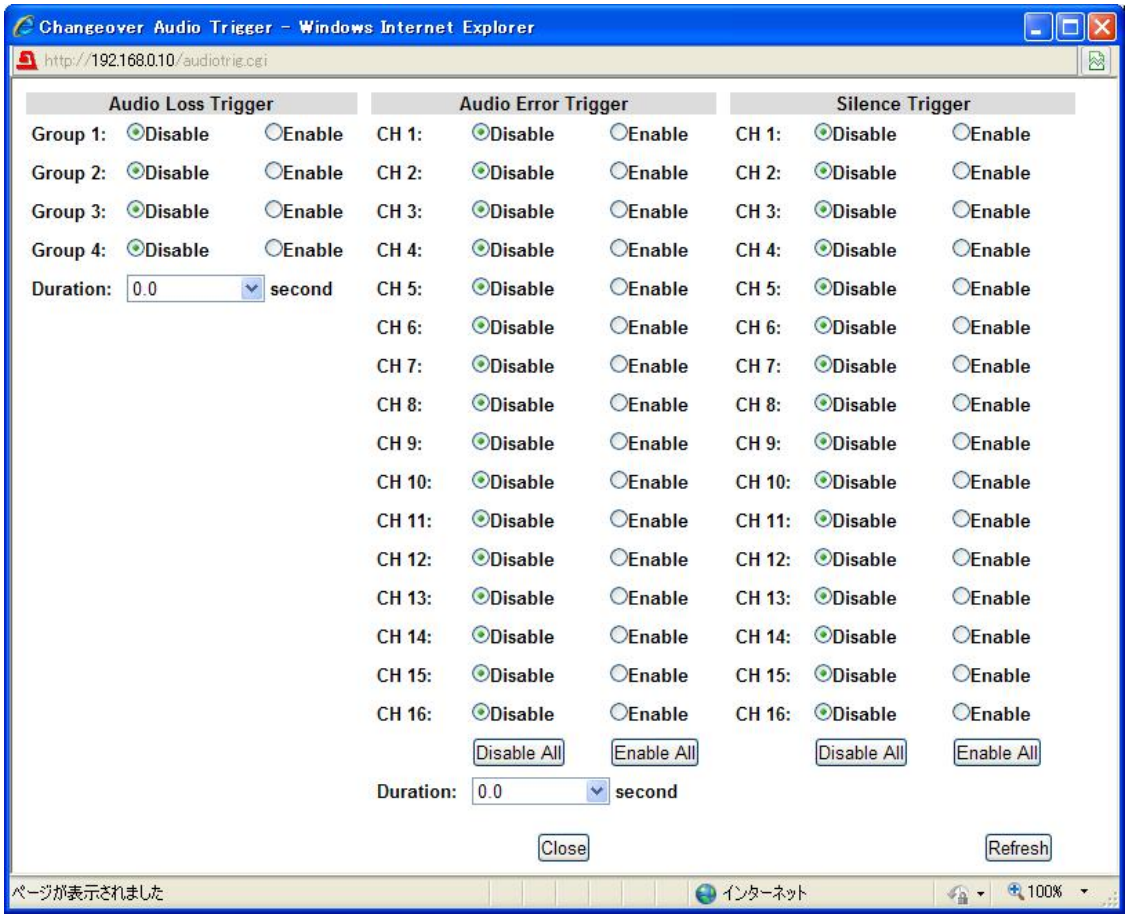
※ Changeover が Disable に設定されている場合または、Video Trigger が Disable に設定されている場合 Black Video Trigger を Enable に設定してもチェンジオーバは動作しません。

◆ **Audio Trigger 設定**



ここをクリック

すると、Audio Trigger の詳細な条件設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **Audio Loss Trigger**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Group1～4	Disable	Disable Enable	SDI のエンベデッドオーディオのロス検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。
Duration	0.0sec	0.0～1.0sec (0.1sec)	SDI のエンベデッドオーディオロスを検出してから、チェンジオーバ トリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。 本設定はグループ 1～4 共通です。

※ Changeover が Disable に設定されている場合または、Audio Trigger が Disable に設定されている場合 Audio Loss Trigger を Enable に設定してもチェンジオーバは動作しません。

◆ **Audio Error Trigger**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH1～CH16	Disable	Disable Enable	SDI のエンベデッドオーディオの下記エラー検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。 ・DBN (Data Block Number)不連続 ・チャネルステータス不連続 ・HD 音声 CLK 情報の異常・切り替え
Duration	0.0sec	0.0～1.0sec (0.1sec)	SDI のエンベデッドオーディオのエラーを検出してから、チェンジオーバ　トリガとして判定するのに必要なエラーの継続時間を設定します。 本設定はチャネル 1～16 共通です。 ※ルータによる入力切替もエラーと判断します。入力切替でチェンジオーバさせないためには、0.2 sec 以上に設定してください。

※ Changeover が Disable に設定されている場合または、Audio Trigger が Disable に設定されている場合 Audio Error Trigger を Enable に設定してもチェンジオーバは動作しません。

※ Disable All をクリックすると CH1～16 が全て Disable に設定されます。同様に Enable All をクリックすると CH1～16 が全て Enable に設定されます。

※ SDI1 入力がビデオロス状態の場合も、Audio Error Trigger として動作しますので、Audio Loss Trigger が、Disable に設定されていても、Audio Error Trigger で設定されたエラー継続時間後にチェンジオーバ動作します。

◆ **Silence Trigger**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH1～CH16	Disable	Disable Enable	SDI のエンベデッドオーディオのサイレンス検出について、チェンジオーバのトリガとして有効／無効を設定します。

※ Changeover が Disable に設定されている場合または、Audio Trigger が Disable に設定されている場合 Silence Trigger を Enable 設定してもチェンジオーバは動作しません。

※ サイレンスと判断するまでの時間、およびオーディオレベルは、「9-4-2 Audio System」Digital Audio Silence Setting の設定に従います。

※ Disable All をクリックすると CH1～16 が全て Disable に設定されます。同様に Enable All をクリックすると CH1～16 が全て Enable に設定されます。

9-2-1-1. チェンジオーバ動作について(WEB)

SDI1 入力信号を本線信号とし、SDI1 入力信号に障害が発生した場合、SDI2 入力信号（予備）に自動で切り替えます。SDI2 にも SDI1 と同一の障害がある場合は、SDI2 への切り替えは行われません。SDI1 入力信号における障害発生の判断条件は、前述の「Video Trigger 設定」から「Silence Trigger」で設定された内容に従います。チェンジオーバ動作中は (Changeover を Enable に設定した場合)、Input Select での入力信号切り替えはできません。また、Input Select を SDI1 に設定しないと、Changeover を Enable に設定できません。チェンジオーバの動作状況は、「9-7-6.Changeover Status」に表示されます。チェンジオーバが動作した場合、Changeover Status を確認することで何の障害でチェンジオーバ動作したかを確認することができます。Changeover Status は、Changeover を Disable に設定するとクリアされます。

9-2-1-2. チェンジオーバ動作と LOSS 動作について(WEB)

チェンジオーバ動作は、Video Loss Mode 動作より優先して動作します。ただし、SDI1, 2 両方の入力信号が LOSS 状態になった場合、「9-2-1 Input Select」の LOSS で設定されたロス動作に従い出力されます。SDI1, 2 両方の入力信号が無入力状態以外の障害で、SDI2 入力信号にも SDI1 入力信号と同一の障害がある場合は、SDI1 入力信号が出力されます。

9-2-1-3. ルータを使用した入力切替時のチェンジオーバ動作について(WEB)

ルータで SDI1 入力信号を切り替えた場合、「9-2-1 Input Select」の CRC Error Trigger と Audio Error Trigger は切替の瞬間をエラーと判断します。そのため、これら 2 つの Trigger の中 1 つでも Enable に設定されていて、且つ Duration の設定が短い場合、チェンジオーバが発生します。ルータによる入力切替時にチェンジオーバを発生させたくない場合は、CRC Error Trigger の Duration を 2 Frames 以上、Audio Error Trigger の Duration を 0.2 sec 以上に設定してください。

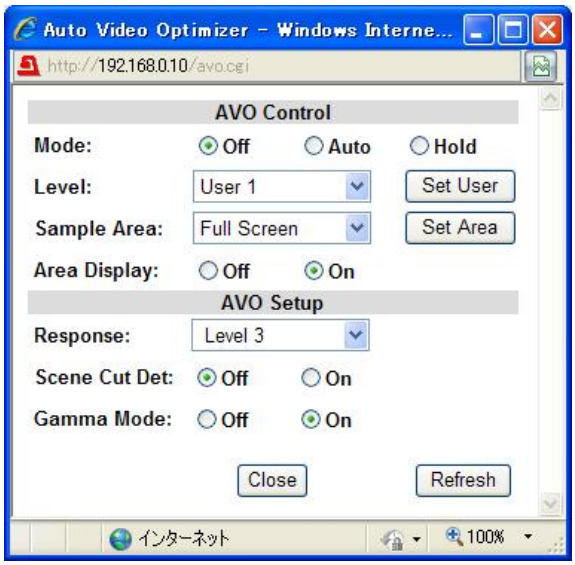
9-2-1-4. SDI1 入力信号（本線）に復帰させる場合(WEB)

チェンジオーバが動作し、SDI2 入力信号が出力されてから、SDI1 本線信号に復帰させる方法について説明します。

1) 「9-7-6.Changeover Status」を確認し障害内容を確認します。
2) SDI1 入力信号の障害を解消します。
3) SDI1 入力信号障害が無いことを波形モニター等で確認します。
4) 一旦、Changeover を Disable に設定します。（ステータスはクリアされます。）
5) Input Select(入力信号設定) を SDI1 に設定します。
6) 再度 Changeover を Enable に設定します。

9-2-2. Auto Video Optimizer(AVO)

オプションの FA-95AVO がインストールされていないと動作しません。
Video ブロック図の②をクリックすると、AVO Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **AVO Control**

項目	初期値	設定範囲	説明
Mode	Off	Off Auto *1 Hold *2	**Auto**: 自動レベル補正を有効にします。 **Hold**: 自動レベル補正を停止します。Auto から Hold に変更すると、信号レベルは停止した状態のまま保持されます。 **Off**: 自動レベル補正を無効にします。Auto から Off に変更すると、映像信号は自動レベル補正前の状態に戻ります。Off にすると手動でレベル補正ができます。手動でレベル補正するには、「9-2-9 Color Corrector」を参照してください。
Level (補正レベル)	Standard	Darker Dark Standard Bright Brighter User1 User2 User3 User4 User5	映像入出力時の補正レベルを設定します。10 種類から選択できます（固定レベル 5 種類とカスタムレベル 5 種類） **Darker < Dark < Standard < Bright < Brighter** **User1 ～User5 :** 調整可能です。 **Set User** をクリックすると、**User1～5** 設定 Window が表示されます。詳細は「9-2-2-2 User 1～5 LEVEL SET」を参照してください。
Sample Area (サンプル エリア)	Full Screen	Full Screen, ～ Bottom Right User Area1 User Area2	補正量を計算するためのサンプルデータの取得エリアを指定します。10 種類から選択できます。（固定エリア 8 種類とカスタムエリア 2 種類） ● 固定エリア Full Screen, Letter Box, Pillar Box, Center, Top-Left, Top-Right, Bottom-Left, Bottom-Right ● カスタムエリア **Set Area** をクリックすると **User Area1, 2** 設定 Window が表示されます。詳細は、「9-2-2-3 User Area 1, 2」を参照してください。

項目	初期値	設定範囲	説明
Area Display (マーカ表示)	Off	Off On	映像へのサンプルエリア表示の On/Off です。**On** にすると、サンプルエリアは、全ての出力に半透明の白い四角形で表示されます。起動時はオフになります。また、Mode を **Off** に変更すると、Area Display も自動的にオフになります。

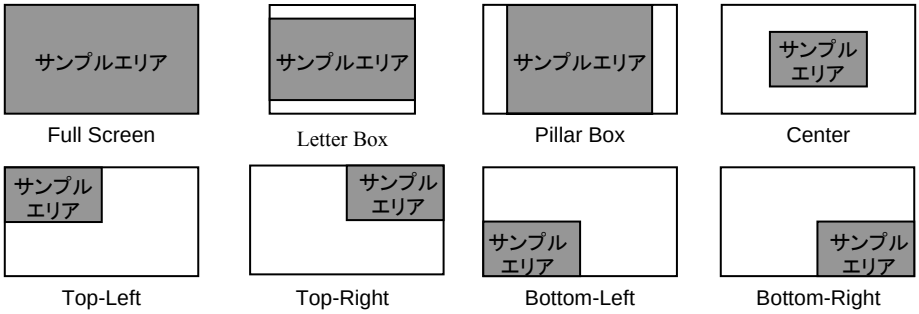
*1 Auto に設定すると、「9-2-9 Color Corrector」カラーコレクタの設定はできなくなります。

*2 Hold に設定すると、「9-2-9 Color Corrector」の Correction Mode と Gamma Curve の設定はできなくなります。

注意 自動レベル補正は、映像によって補正が非常に有効な場合とそうでない場合があります。サンプルエリアが指定するのは、補正データを取得する領域です。レベル補正は映像全体に行われます。

◆ **サンプルエリア(固定エリア)**

設定可能な 8 つのサンプルエリア（固定）は下図のとおりです。データはこのエリアから連続的にサンプリングします。（USER1,2 AREA ついては「9-2-2-3 User Area 1, 2」を参照してください。）



◆ **AVO Setup**

項目	初期値	設定範囲	説明
Response (移動平均フィルタの強さ)	Level 3	Level 1～ Level 5	サンプルエリアから生成されたヒストグラムに適用する移動平均フィルタの強さを指定します。 値を 大きくすると安定性は増しますが、追従性が落ちます。小さくすると追従性は増しますが、安定性が落ちます。
Scene Cut Det *1 (カット検出)	Off	Off, On	**On** にすると シーンカットが検出され、輝度変化が大きい映像の切り換わりでも適切な補正が行われます。
Gamma Mode ガンマ補正)	On	Off, On	**On** にすると GAMMA LEVEL の値を使用して補正を行います。

*1 シーンカットの検出には、入力ビデオ信号形式によりそれぞれ下記の検出時間が必要です。

インタレースフォーマット： 2Field（1Frame) + 数ライン

プログレッシブおよび PsF フォーマット：2Frame + 数ライン

入出力映像の遅延量が検出時間を上回る場合は、シーンカットを検出し映像を適切に補正してから出力することができますが、遅延量が検出時間を下回る場合には、シーンカットを検出しても補正（出力）のタイミングに間に合いません。

AVO のカット検出・補正機能を有効に動作させるためには、Frame Delay 機能を使用し、予め FA-9500 内部での映像遅延量が検出時間を上回るように設定してください。入出力映像の遅延量は、Syncro Mode、入力ビデオ信号形式、Frame Delay 設定および、入出力ビデオ信号の H/V 位相差により変化します。Frame Delay の設定値については次ページを参照ください。

9-2-2-1. シーンカット検出時の FRAME DELAY 設定について

シーンカット検出を動作させる場合、各種設定状況により検出が有効に動作できる「9-2-3 Frame Delay」の Frame Delay の設定範囲がありますので、下表の設定範囲を参考に設定してください。

FRAME DELAY 適正設定範囲一覧

*1 SYNCHRO	*2 入力ビデオ信号形式別設定範囲	
	525/60i 625/50i 1080/59i 1080/50i	720/59p/50p 1080/59p,50p 1080/23PsF, 24PsF
FRAME	1～8FRAME	2～8FRAME
LINE/AVDL	設定不可	設定不可
INPUT	2～8FRAME	3～8FRAME

*1 「9-4-1 Video System」の Synchro Mode 設定
*2 入力映像信号「9-2-1 Video Input Setting」の Input Select 設定から、,入力映像信号形式「9-7-1 Unit/Video Status」の Video Input Status で信号を確認してください。

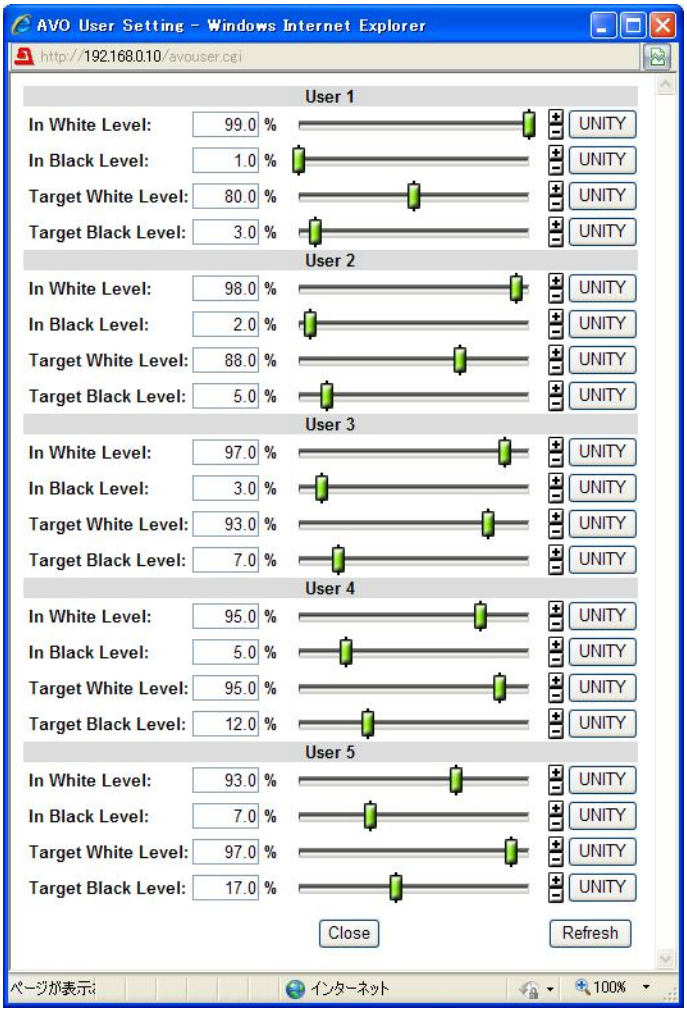
注意

音声を使用していて、「9-2-3 Frame Delay」の Frame Delay 設定を変更した場合、映像に対する音声の遅延が発生します。

「9-2-3 Frame Delay」の Frame Delay 設定を変更した場合は、「9-3-5 Audio Output Delay」を再調整してください。

9-2-2-2. User 1～5 LEVEL SET

AVO Control の Set User をクリックすると、User1～5 設定 Window が表示されます。


AVO User Setting - Windows Internet Explorer
http://192.168.0.10/avouser.cgi
User 1
In White Level: 99.0 % UNITY
In Black Level: 1.0 % UNITY
Target White Level: 80.0 % UNITY
Target Black Level: 3.0 % UNITY
User 2
In White Level: 98.0 % UNITY
In Black Level: 2.0 % UNITY
Target White Level: 88.0 % UNITY
Target Black Level: 5.0 % UNITY
User 3
In White Level: 97.0 % UNITY
In Black Level: 3.0 % UNITY
Target White Level: 93.0 % UNITY
Target Black Level: 7.0 % UNITY
User 4
In White Level: 95.0 % UNITY
In Black Level: 5.0 % UNITY
Target White Level: 95.0 % UNITY
Target Black Level: 12.0 % UNITY
User 5
In White Level: 93.0 % UNITY
In Black Level: 7.0 % UNITY
Target White Level: 97.0 % UNITY
Target Black Level: 17.0 % UNITY
Close
Refresh
ページが表示
インターネット
100%

設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
＋をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
－をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。
AVO CONTROL の LEVEL 設定項目で、User1～5 の 5 種類のカスタムレベルが使用できます。User 1～5 には、それぞれ 4 つのレベル設定（In White Level、In Black Level、Target White Level、Target Black Level）が含まれています。USER1～5 の初期設定は、固定レベルの Darker, Dark, Standard, Bright, Brighter と同じですので、近いレベルを選んで微調整を行うと便利です。

◆ **USER1～5 の初期値**

項目	SELECT LEVEL (補正レベル)				
(カスタムレベル)	User1 初期値	User 2 初期値	User 3 初期値	User 4 初期値	User 5 初期値
(固定レベル)	Darker	Dark	Standard	Bright	Brighter
In White Level	99.0%	98.0%	97.0%	95.0%	93.0%
In Black Level	1.0%	2.0%	3.0%	5.0%	7.0%
Target White Level	80.0%	88.0%	93.0%	95.0%	97.0%
Target Black Level	3.0%	5.0%	7.0%	12.0%	17.0%

◆ **In White Level と In Black Level**

この 2 つのパラメータは入力映像に含まれる輝度値の中から補正に使用する輝度の最大値と最小値を決定します。

項目	設定範囲 (単位)	説明
In White Level	80.0%～99.0% (0.5%)	サンプルデータの輝度最大値は、輝度ヒストグラムで 100%として定義されます。これを基準に補正に使用する輝度の最大値を決定します。 値が大きすぎるとノイズを拾ってしまい補正が安定しなくなります。小さくするとコントラストが高くなりますが、小さすぎると白とびの原因となります。
In Black Level	1.0%～20.0% (0.5%)	サンプルデータの輝度最小値は、輝度ヒストグラムで 0%として定義されます。これを基準に補正に使用する輝度の最大値を決定します。 値が小さすぎるとノイズを拾ってしまい補正が安定しなくなります。大きくするとコントラストが高くなりますが、大きくしすぎると黒つぶれの原因となります。

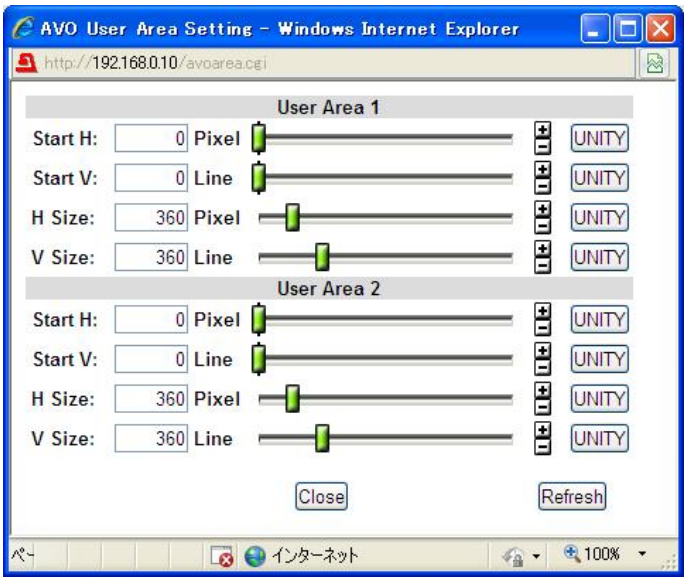
◆ **Target White Level と Target Black Level**

補正目標とする（出力映像の）輝度の最大値と最小値を決定します。

項目	設定範囲 (単位)	説明
Target White Level	60.0～100.0% (0.5%)	補正目標とする輝度の最大値を指定します。 補正後映像の輝度の最大値が、この値に近くなるように補正が行われます。 大きく設定するとより明るい補正結果が得られますが、明部の白とびの原因となります。小さく設定すると明部の階調は保たれますが映像全体が暗くなります。
Target Black Level	0～40.0% (0.5%)	補正目標とする輝度の最小値を指定します。 補正後映像の輝度の最小値が、この値に近くなるように補正が行われます。 大きく設定すると映像の暗部がより明るく補正されますが、コントラストが失われノイズが目立つようになります。小さく設定するとコントラストの強い補正結果が得られますが、黒つぶれの原因となります。

9-2-2-3. User Area 1, 2

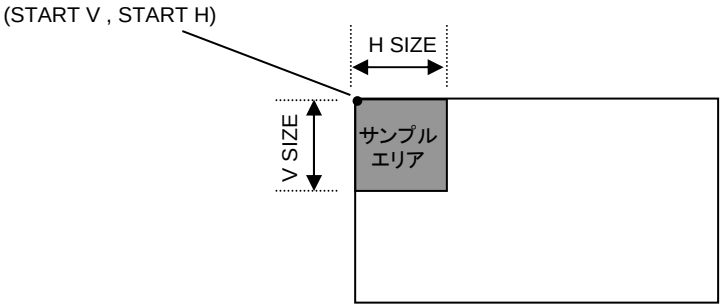
AVO CONTROL Sample Area 設定項目で、Set Area を選択すると User Area 1, 2 の設定メニューが表示されます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
+ をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

エリアを指定する場合は、開始位置とサイズを設定します。

項目	初期値	設定範囲	説明
Start H	0 Pixel	可変 (2Pixel)	開始位置（水平方向）を指定します。
Start V	0 Line	可変 (2Line)	開始位置（垂直方向）を指定します。
H Size	360	可変 (2Pixel)	開始位置からのサイズ（水平方向の移動量）を指定します。
V Size	360	可変 (2Line)	開始位置からのサイズ（垂直方向の移動量）を指定します。



サンプルエリアの初期値
(1080/59.94i の場合)

注意

サンプルエリアは入力フォーマットの有効ピクセルの範囲で設定することができます。有効ピクセルの範囲外を指定した場合は、自動的に初期値に戻りますので注意してください。次のような場合は有効ピクセル範囲外となる場合があります。

- サンプルエリア設定後入力フォーマットが SDTV に切り換わった場合
- イベントの読み出しによってサンプルエリアの設定が読み込まれた場合

9-2-3. Frame Delay

Video ブロック図の③をクリックすると、 Frame Delay 設定 Window が開きます。

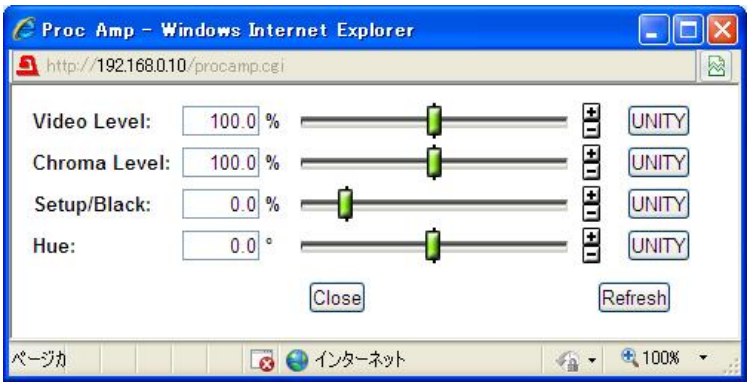
設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
+ をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

項目	初期値	設定範囲	説明
Frame Delay	0	0 – 8Frame	Frame Delay 量を設定します。

「9-2-1 Input Select」を Composite に設定し、「9-4-1 Video System」FS Mode の Forced Field に Odd/Even、Synchro Mode に Frame Sync を選択したとき、Frame Delay が Off の場合は 1 Frame に変更されます。
FRAME DELAY は、1 ～8FRAME の範囲で設定してください。
「9-4-1 Video System」FS Mode の Synchro Mode 設定を Line Sync, AVDL に設定した場合、Frame Delay を設定することはできません。

9-2-4. Proc Amp

Video ブロック図の④をクリックすると、Proc Amp 設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
+ をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Video Level	100.0%	0.0 - 200.0% (0.1%)	ビデオレベルを設定します。
Chroma Level	100.0%	0.0 - 200.0% (0.1%)	クロマレベルを設定します。
Setup/Black	0.0%	-20.0 - 100.0% (0.1%)	ブラックレベルを設定します。
Hue	0.0°	-179.8° - 180.0° (0.2°)	クロマフェーズを設定します。

注意	「9-2-9 Color Corrector」の Correction Mode が Sepia の場合、Chroma Level と Hue の設定はできません。

9-2-5. BY-PASS / Operate

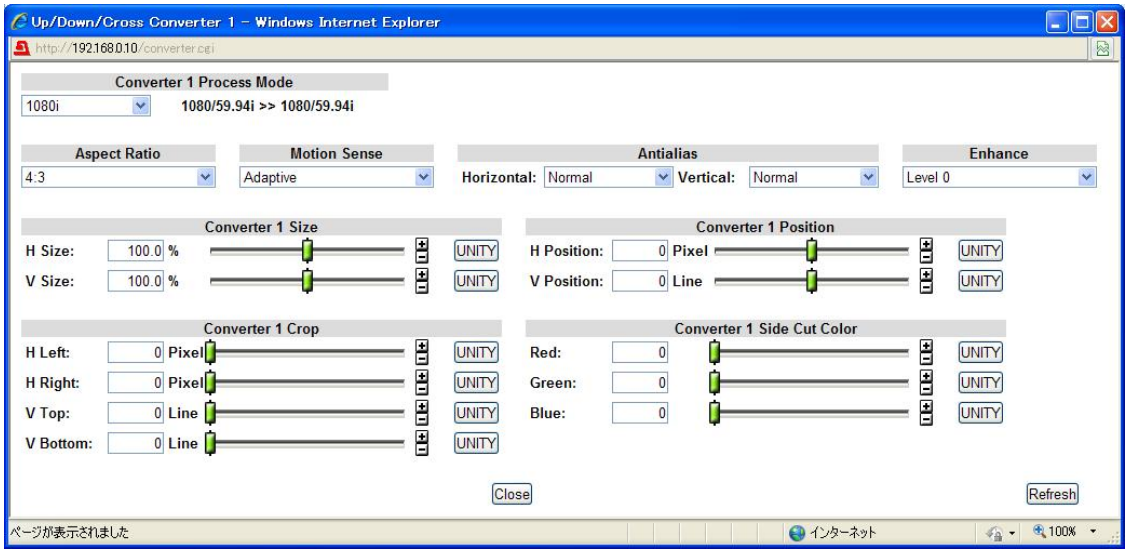
Video ブロック図の⑤をクリックすると、BY-PASS / Operate 設定 Window が開きます。

設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

項目	初期値	設定範囲	説明
BY-PASS/ Operate	Operate	BY-PASS Operate	ビデオ入力信号をバイパスして出力端子と接続します。**BY-PASS** を選択した場合、ビデオ入力信号は直接出力端子に送られます。詳細は、2-2 背面パネル の項目 2,4,6 を参照してください。

9-2-6. Converter1（FA-95SCNV なし）

Video ブロック図の⑥をクリックすると、 Converter1 設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ Converter1 Process Mode

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Mode	BY-PASS	BY-PASS Aspect SD 1080i 720p 1080PsF 1080p(3G) *1	UP/DOWN コンバータ 1 の動作モードを設定します。 **BY-PASS**：CONV1 に入力された信号をコンバータ処理せずに出力します。 **ASPECT**: CONV1 に入力された信号を ASPECT 変換します。 **SD**：CONV1 に入力された信号を SD に変換します。 **1080i**：CONV1 に入力された信号を 1080i 系列に変換します。 **720p**：CONV1 に入力された信号を 720p 系列に変換します。 **1080PsF**：CONV1 に入力された信号を 1080PsF 系列に変換します。 **1080P(3G)**：CONV1 に入力された信号を 3G の 1080p 系列に変換します。 「9-2-12 Output Select」の Video Output Mode が、Auto の場合 Auto Mode と表示されます。この場合、CONV1 のモードは変更できません。変更したい場合は、Video Output Mode を FIX に設定してください。
-	-	-	CONV1 に入力されている信号フォーマットと変換される信号フォーマットを表示します。

*1　オプションの FA-95-3G インストール時に選択可能です。
信号変換については、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」を参照してください。

◆ Aspect Ratio

項目	初期値	設定範囲	説明
Aspect Ratio	4:3	4:3 13:9 14:9 16:9 Squeeze	Converter1 の出力アスペクトを指定します。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Aspect の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の (UP)、(DOWN) の変換時に設定可能ですが、(BY-PASS)、(ASPECT)、(CROSS)、(HD UP)、(HD DOWN) 変換時は、設定できません。

◆ **Motion Sense**

項目	初期値	設定範囲	説明
Motion Sense *1	Adaptive	Field Adaptive Frame(Odd 1st) Frame(Even 1st)	**Field:** インターレースの片方の FIELD 画像のみを使用しプログレッシブ画像を生成します。動き適応処理がないため映像の破綻はありませんが V 方向の解像度は良くありません。 **Adaptive:** 入力映像の静止・動きを検知し、最適なプログレッシブ画像を生成します。 **Frame(Odd 1st):** 入力インターレース映像の（ODD/EVEN)を 1 セットとしてプログレッシブ画像を生成します。プログレッシブ撮影された映像がセグメントフレーム形式で FA-9500 に入力されている場合に設定してください。 **Frame(Even 1st):** 入力インターレース映像の（EVEN/ODD)を 1 セットとしてプログレッシブ画像を生成します。

注意 * セグメントフレーム以外の入力信号時に、Motion Sense 設定を Frame(Odd 1st) または Frame(Even 1st)に設定した場合、動きのある部分で映像の破綻が発生します。この場合 Field または Adaptive に設定を変更してください。

◆ **Antialias**

項目	初期値	設定範囲	説明
Horizontal *2	Normal	Weak 8-1 Normal Strong 1-8	出力映像の H 方向のアンチエイリアス処理をします。 **Weak 8 – Strong 8**（弱～強）で設定します。 「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の (BYPASS) の変換時は設定できません。
Vertical *2	Normal	Weak 8-1 Normal Strong 1-8	出力映像の V 方向のアンチエイリアス処理をします。 **Weak 8 – Strong 8**（弱～強）で設定します。 「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の (BYPASS) の変換時は設定できません。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Antialias の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS) の変換時は設定できません。

◆ **Enhance**

項目	初期値	設定範囲	説明
Enhance	Level 0	Level 0-8	出力映像の輪郭をシャープにします。 **Level 0～8**（弱～強）で設定します。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Enhance の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6　CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

◆ **Converter1 Size**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H Size (H 方向映像サイズ設定)	100.0%	50.0～150.0% (0.1%)	H 方向の出力映像のサイズを設定します。
V Size (V 方向映像サイズ設定)	100.0%	50.0～150.0% (0.1%)	V 方向の出力映像のサイズを設定します。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter1 Size の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

◆ **Converter1 Position**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H Position (H ポジション)	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	H ポジションを設定します。
V Position (V ポジション)	0 Line	可変 *1 (1 Line)	V ポジションを設定します。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter1 Position の設定はできません。また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

*1 Converter1 Position の設定は、「9-4-1Video System」FS Mode の Sync Format の 項目、Converter1 Process Mode の項目と相互に関連して動作するため、設定範囲が自動的に変わります。

◆ **Converter1 Crop**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H Left	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	映像の左側をクロップします。
H Right	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	映像の右側をクロップします。
V Top	0 Line	可変 *1 (1 Line)	映像の上側をクロップします。
V Bottom	0 Line	可変 *1 (1 Line)	映像の下側をクロップします。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter1 Crop の設定はできません。また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

*1 Converter1 Crop の設定は、「9-4-1 VIDEO SYSTEM」FS Mode の Sync Format の 項目と相互に関連して動作するため、設定範囲が自動的に変わります。

注意	入力のビデオ信号が変更されると、クロッピングの設定範囲が変更されます。この場合、変更前に設定した値が、変更後に反映されない範囲となった場合、値は自動的に初期値になります。H 方向で範囲外になった場合は、H Left と H Right が初期値になります。V 方向で範囲外になった場合は、V Top と V Bottom が初期値になります。

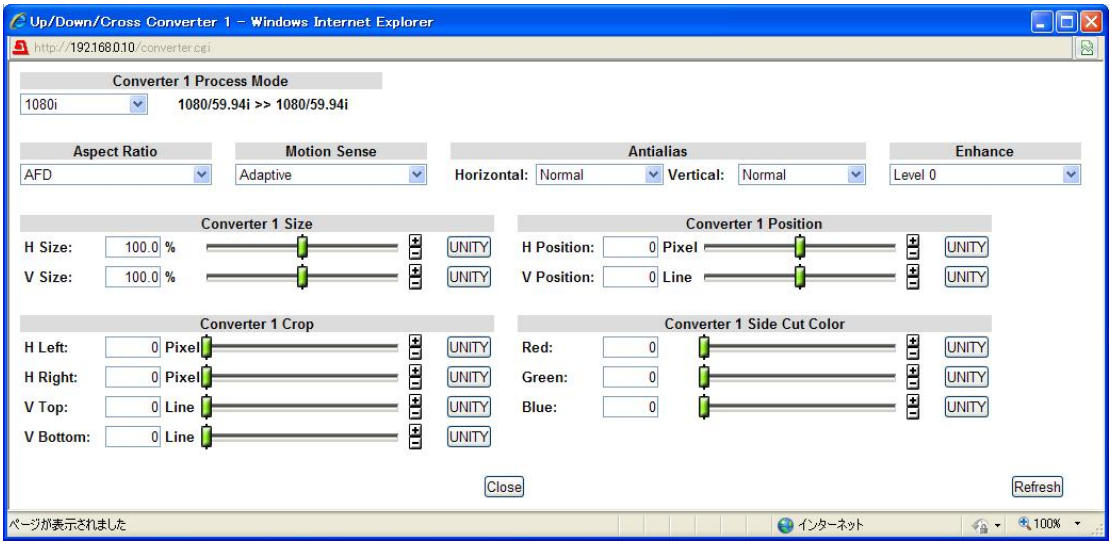
◆ **Converter1 Side Cut Color**

項目	初期値	設定範囲	説明
Red、Green、Blue	0	0～255	Converter1 Size にて、元の映像のサイズよりも小さく設定した場合のバックの色を設定します。 赤、緑、青成分をそれぞれ設定可能です。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter1 Side Cut Color の設定はできません。また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

9-2-7. Converter1（FA-95SCNV あり）

Video ブロック図の⑥をクリックすると、 Converter1 設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close**をクリックして Window を閉じます。
Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ Converter1 Process Mode（FA-95SCNV あり）

項目	初期値	設定範囲	説明
Mode	BY-PASS	BY-PASS SD 1080i 720p 1080PsF 1080p(3G) *1	UP/DOWN コンバータ 1 の動作モードを設定します。 **BY-PASS**：CONV1 に入力された信号をコンバータ処理せずに出力します。 **SD**：CONV1 に入力された信号を SD に変換します。 **1080i**：CONV1 に入力された信号を 1080i 系列に変換します。 **720p**：CONV1 に入力された信号を 720p 系列に変換します。 **1080PsF**：CONV1 に入力された信号を 1080PsF 系列に変換します。 **1080P(3G)**：CONV1 に入力された信号を 3G の 1080p 系列に変換します。 「9-2-12 Output Select」の Video Output Mode が、Auto の場合 Auto Mode と表示されます。この場合、CONV1 のモードは変更できません。変更したい場合は、Video Output Mode を FIX に設定してください。
-	-	-	CONV1 に入力されている信号フォーマットと変換される信号フォーマットを表示します。

*1　オプションの FA-95-3G インストール時に選択可能です。
信号変換については、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」を参照してください。

◆ **Aspect Ratio（FA-95SCNV あり）**

項目	初期値	設定範囲	説明
Aspect Ratio	AFD(4:3)	AFD(4:3) AFD-ALT(4:3) AFD(16:9) AFD-ALT(16:9) 4:3 L 16:9 T 4:3 L 14:9 T 4:3 L>16:9 4:3 F 4:3 4:3 L 16:9PRTD 4:3 L 14:9 4:3 F ALT14:9 4:3 L ALT14:9 *1 4:3 L ALT 4:3 *1 16:9 L>16:9 16:9 F 16:9 *1 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD *1 16:9 P 14:9 *1 16:9 P ALT 14:9 *1 16:9 F ALT14:9*1 16:9 F ALT4:3 *1	Converter1 が SD に設定されている場合の選択範囲です。 AFD(4:3), AFD-ALT(4:3), AFD(16:9), AFD-ALT(16:9)は、入力の AFD に連動してアスペクトを自動変換します。入力に AFD が検出されない場合は、「5-10-18 ANC LOSS SET」の設定に従い動作します。変換後のアスペクトを 4 : 3 で出力する場合は、（4 : 3）を選択してください。同様に 16 : 9 で変換する場合は、（16 : 9）を選択します。その他は、指定された固定のアスペクト比で出力されます。変換の詳細は、「20 AFD について」を参照してください。 AFD(4:3), AFD-ALT(4:3), AFD(16:9), AFD-ALT(16:9)以外（4:3 L 16:9 T～16:9 F ALT4:3）に設定していて入力信号が SD の場合は、入力のアスペクトを指定する必要があります。「5-7-2 SD INPUT ASPECT」を参照し入力のアスペクトを設定してください。
	AFD	AFD AFD-ALT 16:9 L>16:9 16:9 F 16:9 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD 16:9 P 14:9 16:9 P ALT14:9 16:9 F ALT14:9 16:9 F ALT4:3	Converter 1, 2 が 1080i, 720p, 1080PsF, 1080P(3G) に設定されている場合の選択範囲です。 AFD, AFD-ALT は、入力の AFD に連動してアスペクトを自動変換します。入力に AFD が検出されない場合は、「5-10-18 ANC LOSS SET」の設定に従い動作します。 その他は、指定された固定のアスペクト比で出力されます。変換の詳細は、「20 AFD について」を参照してください。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Aspect の設定はできません。

*1　設定時は、「9-4-4. ANC Settings（FA-95SCNV あり）」の WSS AFD Error の設定に従い BT1119 WSS は重畳されます。

◆ **Motion Sense**

項目	初期値	設定範囲	説明
Motion Sense *1	Adaptive	Field Adaptive Frame(Odd 1st) Frame(Even 1st)	**Field:** インターレースの片方の FIELD 画像のみを使用しプログレッシブ画像を生成します。動き適応処理がないため映像の破綻はありませんが V 方向の解像度は良くありません。 **Adaptive:** 入力映像の静止・動きを検知し、最適なプログレッシブ画像を生成します。 **Frame(Odd 1st):** 入力インターレース映像の（ODD/EVEN)を 1 セットとしてプログレッシブ画像を生成します。 プログレッシブ撮影された映像がセグメントフレーム形式で FA-9500 に入力されている場合に設定してください。 **Frame(Even 1st):** 入力インターレース映像の（EVEN/ODD)を 1 セットとしてプログレッシブ画像を生成します。

注意	*1 Motion Sense の設定は、Converter1, 2 側共用です。また、セグメントフレーム以外の入力信号時に、Motion Sense 設定を Frame(Odd 1st) または Frame(Even 1st)に設定した場合、動きのある部分で映像の破綻が発生します。この場合 Field または Adaptive に設定を変更してください。

◆ **Antialias**

項目	初期値	設定範囲	説明
Horizontal	Normal	Weak 8-1 Normal Strong 1-8	出力映像の H 方向のアンチエイリアス処理をします。 **Weak 8 – Strong 8**（弱～強）で設定します。 「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の (BYPASS) の変換時は設定できません。
Vertical	Normal	Weak 8-1 Normal Strong 1-8	出力映像の V 方向のアンチエイリアス処理をします。 **Weak 8 – Strong 8**（弱～強）で設定します。 「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の (BYPASS) の変換時は設定できません。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Antialias の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS) の変換時は設定できません。

◆ **Enhance**

項目	初期値	設定範囲	説明
Enhance	Level 0	Level 0-8	出力映像の輪郭をシャープにします。 **Level 0～8**（弱～強）で設定します。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Enhance の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6　CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

◆ **Converter1 Size**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H Size (H 方向映像サイズ設定)	100.0%	50.0～150.0% (0.1%)	H 方向の出力映像のサイズを設定します。
V Size (V 方向映像サイズ設定)	100.0%	50.0～150.0% (0.1%)	V 方向の出力映像のサイズを設定します。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter1 Size の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

◆ **Converter1 Position**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H Position (H ポジション)	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	H ポジションを設定します。
V Position (V ポジション)	0 Line	可変 *1 (1 Line)	V ポジションを設定します。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter1 Position の設定はできません。
また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

*1　Converter1 Position の設定は、「9-4-1Video System」FS Mode の Sync Format の 項目、Converter1 Process Mode の項目と相互に関連して動作するため、設定範囲が自動的に変わります。

◆ **Converter1 Crop**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H Left	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	映像の左側をクロップします。
H Right	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	映像の右側をクロップします。
V Top	0 Line	可変 *1 (1 Line)	映像の上側をクロップします。
V Bottom	0 Line	可変 *1 (1 Line)	映像の下側をクロップします。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter1 Crop の設定はできません。また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

*1　Converter1 Crop の設定は、「9-4-1 VIDEO SYSTEM」FS Mode の Sync Format の 項目と相互に関連して動作するため、設定範囲が自動的に変わります。

注意	入力のビデオ信号が変更されると、クロッピングの設定範囲が変更されます。この場合、変更前に設定した値が、変更後に反映されない範囲となった場合、値は自動的に初期値になります。H 方向で範囲外になった場合は、H Left と H Right が初期値になります。V 方向で範囲外になった場合は、V Top と V Bottom が初期値になります。

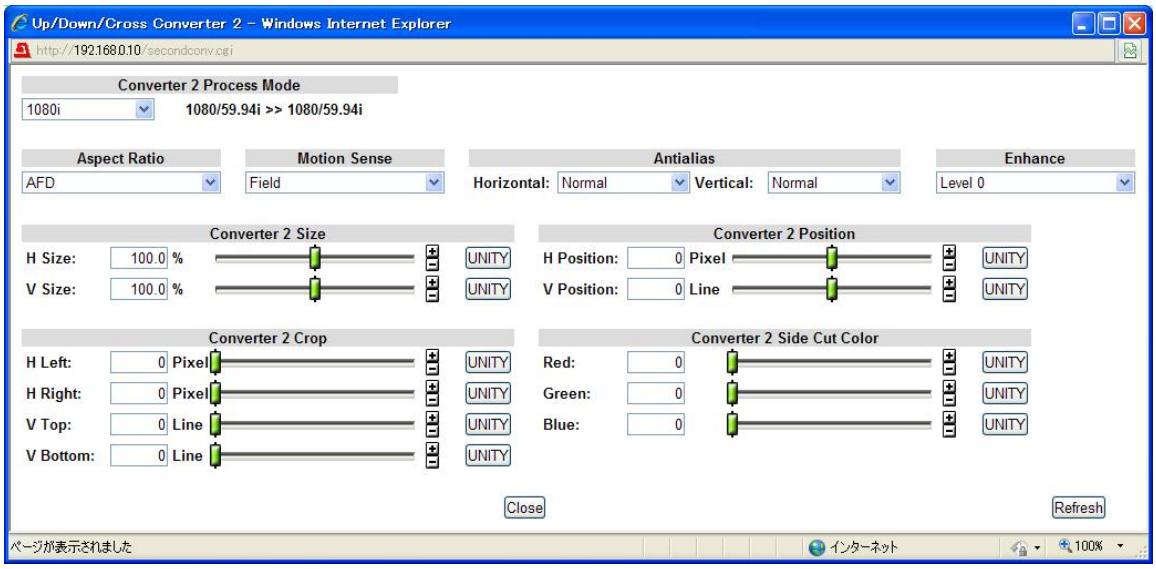
◆ **Converter1 Side Cut Color**

項目	初期値	設定範囲	説明
Red、Green、Blue	0	0～255	Converter1 Size にて、元の映像のサイズよりも小さく設定した場合のバックの色を設定します。 赤、緑、青成分をそれぞれ設定可能です。

Converter1 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter1 Side Cut Color の設定はできません。また、「5-3-3 または 5-3-6 CONV1 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

9-2-8. Converter2（Up/Down/Cross）

Video ブロック図の⑦をクリックすると、 Converter2 設定 Window が開きます。
Converter2 は、オプションの FA-95SCNV が実装されていないと機能しません。



設定が終了したら、**Close**をクリックして Window を閉じます。
Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
+をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

◆ Converter 2 Process Mode

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Mode	BY-PASS	BY-PASS SD 1080i 720p 1080PsF 1080p(3G) *1	CONV2 に入力された信号に対する、DOWN コンバータ 2 の動作モードを設定します。 **BY-PASS**：コンバータ処理せずに出力します。 **SD**：入力された HD 信号を SD に変換します。 **1080i**：プログレッシブ信号の場合、1080i 系列のインターレースに変換します。SD 信号の場合は、変換されずに出力されます。 **720p**：インターレース信号の場合、720p 系列のプログレッシブ信号に変換します。SD 信号の場合は、変換されずに出力されます。 **1080PsF**：インターレース信号の場合、1080PsF 系列のプログレッシブ信号に変換します。SD 信号の場合は、変換されずに出力されます。 **1080p(3G)**：インターレース信号の場合、1080p(3G) 系列のプログレッシブ信号に変換します。SD 信号の場合は、変換されずに出力されます。
-	-	-	Converter2 に入力されている信号フォーマットと変換される信号フォーマットを表示します。

*1　オプションの FA-95-3G Install 時に選択可能です。
Converter2 の変換は、「5-4-2 CONV2 変換一覧」を参照してください。

◆ **Aspect Ratio**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Aspect Ratio	AFD(4:3)	AFD(4:3) AFD-ALT(4:3) AFD(16:9) AFD-ALT(16:9) 4:3 L 16:9 T 4:3 L 14:9 T 4:3 L>16:9 4:3 F 4:3 4:3 L 16:9PRTD 4:3 L 14:9 4:3 F ALT14:9 4:3 L ALT14:9 *1 4:3 L ALT 4:3 *1 16:9 L>16:9 16:9 F 16:9 *1 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD *1 16:9 P 14:9 *1 16:9 P ALT 14:9 *1 16:9 F ALT14:9 *1 16:9 F ALT4:3 *1	Converter2 が SD に設定されている場合の選択範囲です。 AFD(4:3), AFD-ALT(4:3), AFD(16:9), AFD-ALT(16:9)は、入力の AFD に連動してアスペクトを自動変換します。入力に AFD が検出されない場合は、「5-10-18 ANC LOSS SET」の設定に従い動作します。変換後のアスペクトを 4 : 3 で出力する場合は、（4 : 3）を選択してください。同様に 16 : 9 で変換する場合は、（16 : 9）を選択します。その他は、指定された固定のアスペクト比で出力されます。変換の詳細は、「20 AFD について」を参照してください。 AFD(4:3), AFD-ALT(4:3), AFD(16:9), AFD-ALT(16:9)以外（4:3 L 16:9 T～16:9 F ALT4:3）に設定していて入力信号が SD の場合は、入力のアスペクトを指定する必要があります。「5-7-2 SD INPUT ASPECT」を参照し入力のアスペクトを設定してください。
	AFD	AFD AFD-ALT 16:9 L>16:9 16:9 F 16:9 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD 16:9 P 14:9 16:9 P ALT14:9 16:9 F ALT14:9 16:9 F ALT4:3	Converter 2 が 1080i, 720p, 1080PsF, 1080P(3G)に設定されている場合の選択範囲です。 AFD, AFD-ALT は、入力の AFD に連動してアスペクトを自動変換します。入力に AFD が検出されない場合は、「5-10-18 ANC LOSS SET」の設定に従い動作します。 その他は、指定された固定のアスペクト比で出力されます。変換の詳細は、「20 AFD について」を参照してください。

Converter2 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Aspect Ratio の設定はできません。

*1 設定時は、「9-4-4. ANC Settings（FA-95SCNV あり）」の WSS AFD Error の設定に従い BT1119 WSS は重畳されます。

◆ **Motion Sense**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Motion Sense *1	Adaptive	Field Adaptive Frame(Odd 1st) Frame(Even 1st)	**Field:** インターレースの片方の FIELD 画像のみを使用しプログレッシブ画像を生成します。動き適応処理がないため映像の破綻はありませんが V 方向の解像度は良くありません。 **Adaptive:** 入力映像の静止・動きを検知し、最適なプログレッシブ画像を生成します。 **Frame(Odd 1st):** 入力インターレース映像の（ODD/EVEN)を 1 セットとしてプログレッシブ画像を生成します。プログレッシブ撮影された映像がセグメントフレーム形式で FA-9500 に入力されている場合に設定してください。 **Frame(Even 1st):** 入力インターレース映像の（EVEN/ODD)を 1 セットとしてプログレッシブ画像を生成します。

注意	*1 Motion Sense の設定は、Converter1, 2 側共用です。また、セグメントフレーム以外の入力信号時に、Motion Sense 設定を Frame(Odd 1st) または Frame(Even 1st)に設定した場合、動きのある部分で映像の破綻が発生します。この場合 Field または Adaptive に設定を変更してください。

◆ **Antialias**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Horizontal	Normal	Weak 8-1 Normal Strong 1-8	出力映像の H 方向のアンチエイリアス処理をします。 **Weak 8 – Strong 8**（弱～強）で設定します。 「5-4-2 CONV2 変換一覧」の (BYPASS) の変換時は設定できません。
Vertical	Normal	Weak 8-1 Normal Strong 1-8	出力映像の V 方向のアンチエイリアス処理をします。 **Weak 8 – Strong 8**（弱～強）で設定します。 「5-4-2 CONV2 変換一覧」の (BYPASS) の変換時は設定できません。

Converter2 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Antialias の設定はできません。
また、「5-4-2 CONV2 変換一覧」の(BY-PASS) の変換時は設定できません。

◆ **Enhance**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Enhance	Level 0	Level 0-8	出力映像の輪郭をシャープにします。 **Level 0～8**（弱～強）で設定します。

Converter2 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Enhance の設定はできません。
また、「5-4-2 CONV2 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

◆ **Converter2 Size**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H Size (H 方向映像サイズ設定)	100.0%	50.0～150.0% (0.1%)	H 方向の出力映像のサイズを設定します。
V Size (V 方向映像サイズ設定)	100.0%	50.0～150.0% (0.1%)	V 方向の出力映像のサイズを設定します。

Converter2 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter2 Size の設定はできません。
また、「5-4-2 CONV2 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

◆ **Converter2 Position**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H Position (H ポジション)	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	H ポジションを設定します。
V Position (V ポジション)	0 Line	可変 *1 (1 Line)	V ポジションを設定します。

Converter2 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter2 Position の設定はできません。
また、「5-4-2 CONV2 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

*1 Converter2 Position の設定は、「9-4-1 Video System」FS Mode の Sync Format の 項目、Converter 2 Process Mode の項目と相互に関連して動作するため、設定範囲が自動的に変わります。

◆ **Converter2 Crop**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
H Left	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	映像の左側をクロップします。
H Right	0 Pixel	可変 *1 (2 Pixel)	映像の右側をクロップします。
V Top	0 Line	可変 *1 (1 Line)	映像の上側をクロップします。
V Bottom	0 Line	可変 *1 (1 Line)	映像の下側をクロップします。

Converter2 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter2 Crop の設定はできません。また、「5-4-2 CONV2 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

*1 Converter2 Crop の設定は、Converter2 Size 項目、Converter2 Position 項目、「9-4-1 Video System」FS Mode の Sync Format の 項目と相互に関連して動作するため、設定範囲が自動的に変わります。

注意	入力のビデオ信号が変更されると、クロッピングの設定範囲が変更されます。この場合、変更前に設定した値が、変更後に反映されない範囲となった場合、値は自動的に初期値になります。H 方向で範囲外になった場合は、H Left と H Right が初期値になります。V 方向で範囲外になった場合は、V Top と V Bottom が初期値になります。

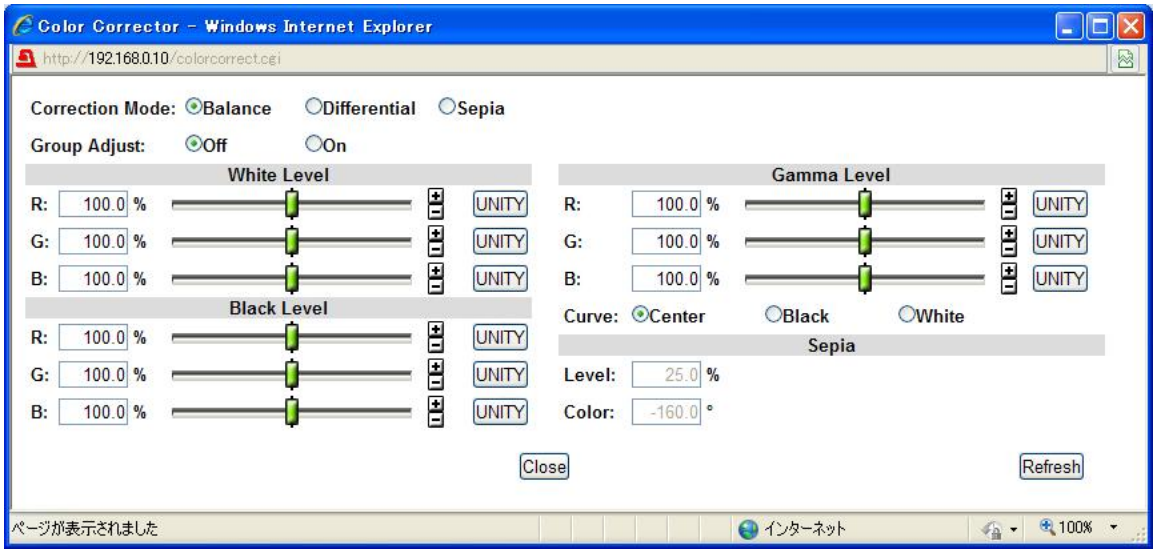
◆ **Converter2 Side Cut Color**

項目	初期値	設定範囲	説明
Red、Green、Blue	0	0～255	Converter2 Size にて、元の映像のサイズよりも小さく設定した場合のバックの色を設定します。 赤、緑、青成分をそれぞれ設定可能です。

Converter2 Process Mode を BY-PASS に設定した場合、Converter2 Side Cut Color の設定はできません。また、「5-4-2 CONV2 変換一覧」の(BY-PASS)でと表記されている変換時も設定はできません。

9-2-9. Color Corrector

Video ブロック図の⑧をクリックすると、 Color Corrector 設定 Window が開きます。
詳細は、「5-2-4 COLOR CORRECTOR (C.C.)」を参照してくさい。
オプションの FA-95AVO は、カラーコレクタの回路を使用して動作するため、AVO の Mode（「9-2-2 Auto Video Optimizer(AVO)」参照）が AUTO の場合、カラーコレクタの設定ができません。設定の制約は、「5-2-5 AVO 動作時のカラーコレクタの制約」を参照してください。



設定が終了したら、**Close**をクリックして Window を閉じます。
Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
+をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

◆ **Correction Mode**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Correction Mode (補正モード)	Balance	Balance Differential Sepia *1	コレクションモードを **Balance** (RGB)、**Differential** (色差)、**Sepia** から選択します。 **Balance:**RGB 信号補正モード 映像のホワイトバランスを補正する際に使用します。R・G・B の各レベルを操作することにより、映像のグレースケールを変化させることができます。 **Differential:**色差信号補正モード ホワイトバランスを一定に保ったまま「色の濃淡の違い」を補正する際に使用します。R・G・B の各レベルを操作しても映像のグレースケールには影響を与えません。映像の各色別の飽和度が異なっているときに使用すると有効です。 **Sepia:** セピアモード モノトーンでの画像作りの際に使用します。

*1 Correction Mode を Sepia に設定した場合、White Level/Black Level/Gamma Level R,B の調整はできません。また、「9-2-2 Auto Video Optimizer(AVO)」の AVO CONTOL が、Auto または Hold に設定されている場合 Correction Mode の設定はできません。

◆ **White Level**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
R、G、B (WHITE レベル補正 RGB)	100.0%	0.0 - 200.0% (0.5%)	WHITE レベルを RGB 個別に設定できます。
Group Adjust (グループ調整)	Off	On Off	R、G、B の個別設定後、Group Adjust を **On** で RGB のいずれか 1 つを調整すると RGB の比率を保ったままで、WHITE LEVEL 全体を調整できます。

「9-2-2 Auto Video Optimizer(AVO)」の AVO CONTOL が、Auto に設定されている場合 White Level の変更はできません。

◆ **Black Level**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
R、G、B (BLACK レベル補正 RGB)	100.0%	0.0 - 200.0% (0.5%)	BLACK レベルを RGB 個別に設定できます。
Group Adjust (グループ調整)	Off	On Off	R、G、B の個別設定後、Group Adjust を **On** で RGB のいずれか 1 つを調整すると RGB の比率を保ったままで、Black Level 全体を調整できます。

「9-2-2 Auto Video Optimizer(AVO)」の AVO CONTOL が、Auto に設定されている場合 Black Level の変更はできません。

◆ **Gamma Level**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
R、G、B (GAMMA レベル補正 RGB)	100.0%	0 - 200% (0.5%)	GAMMA レベルを RGB 個別に設定できます。
Group Adjust (グループ調整)	Off	On Off	R、G、B の個別設定後、Group Adjust を **On** で RGB のいずれか 1 つを調整すると RGB の比率を保ったままで、Gamma Level 全体を調整できます。
Curve (ガンマカーブ)	Center	Center Black White	ガンマカーブを 3 種類から選択します。

「9-2-2 Auto Video Optimizer(AVO)」の AVO CONTOL が、Auto に設定されている場合 Gamma Level/Curve の変更はできません。また、Hold に設定されている場合は、Curve の設定はできません。

◆ **Sepia**

Correction Mode を Sepia に設定した場合に、Sepia Level/Color の設定が可能です。

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Level	25.0%	0 - 100% (0.1%)	SEPIA モード時の色のレベルを調整します。
Color	-160.0°	-179.8° - 180.0° (0.2°)	SEPIA モード時の色を調整します。

「9-2-2 Auto Video Optimizer(AVO)」の AVO Control が、Auto または Hold に設定されている場合 Sepia の設定はできません。

注意

Correction Mode を Differential または Sepia に設定していても、AVO を有効にすると強制的に Balance の動作モードになります。

AVO を使用中の場合、Correction Mode が Balance、Gamma Level の Curve が Black の設定で、カラーコレクタが動作します。

AVO Control を Hold にして調整する場合も、上記の設定で動作します。

9-2-10. Video Test Signal

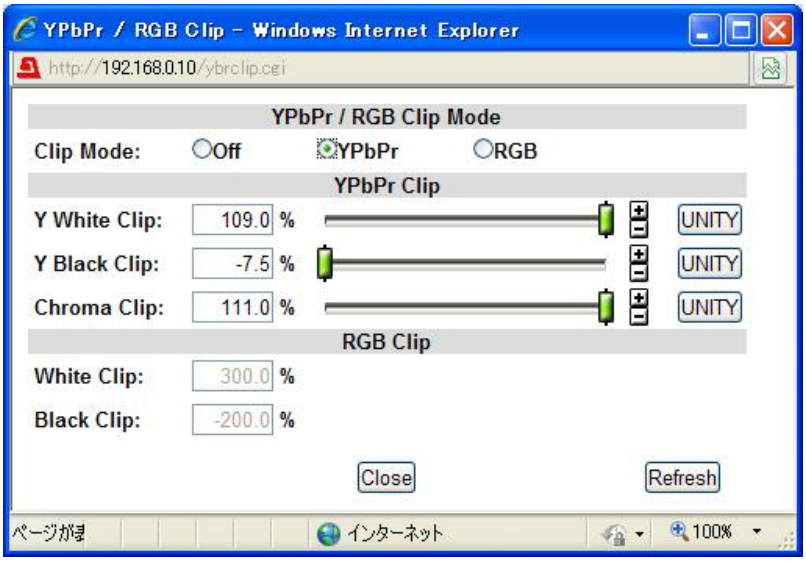
Videoブロック図の⑨をクリックすると、 Video Test Signal 設定 Window が開きます。

設定が終了したら、**Close**をクリックして Window を閉じます。
Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。

項目	初期値	設定範囲	説明
Video Test Signal	Off	Off Full Color Bar 75% Color Bar SMPTE Color Bar Ramp	内蔵のビデオテスト信号を発生します。

9-2-11. YPbPr/RGB Clip

Video ブロック図の⑪をクリックすると、YPbPr/RGB 設定 Window が開きます。
詳細は、「5-6-3 VIDEO CLIP 設定範囲について」を参照してください。



◆ **YPbPr / RGB Clip Mode**

項目	初期値	設定範囲	説明
Clip Mode (クリップモード)	Off	Off YPbPr RGB	カラースペースのクリップモードを選択します。**YPbPr** は YPbPr 空間で、**RGB** は RGB 空間でクリップ動作します。

◆ **YPbPr Clip**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Y White Clip (Y ホワイトクリップ)	109.0%	50.0～109.0% (0.5%)	Y 信号の上限のクリップを設定します。
Y Black Clip (Y ブラッククリップ)	-7.5%	-7.5～50.0% (0.5%)	Y 信号の下限のクリップを設定します。
Chroma Clip (PbPr クロマクリップ)	111.0%	50.0～111.0% (0.5%)	PbPr 信号を上下でクリップします。

Clip Mode が、YPbPr のとき設定可能です。

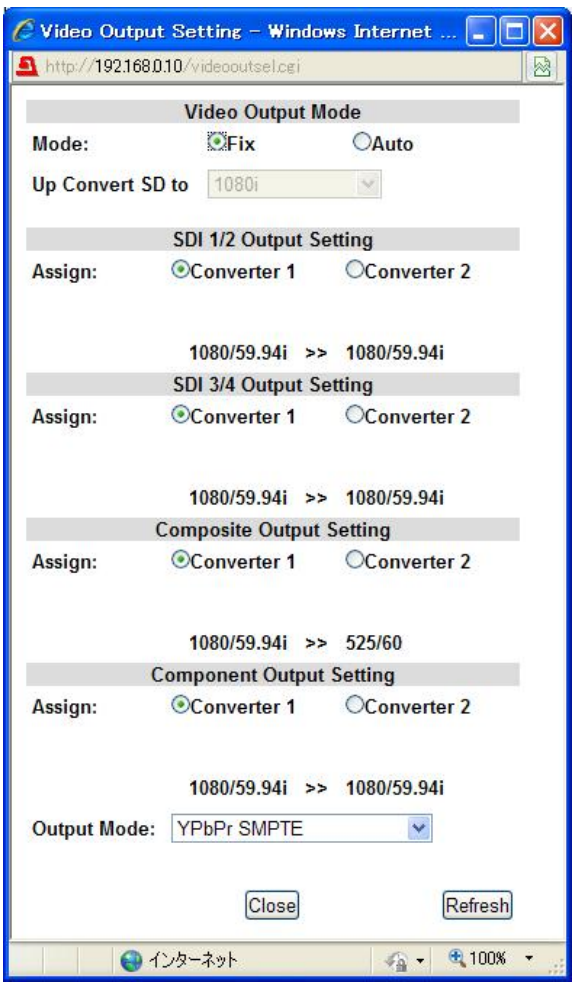
◆ **RGB Clip**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
White Clip (RGB ホワイトクリップ)	300.0%	50～300% (0.5%)	RGB 空間の上限のクリップを設定します。
Black Clip (RGB ブラッククリップ)	-200.0%	-200～50% (0.5%)	RGB 空間の下限のクリップを設定します。

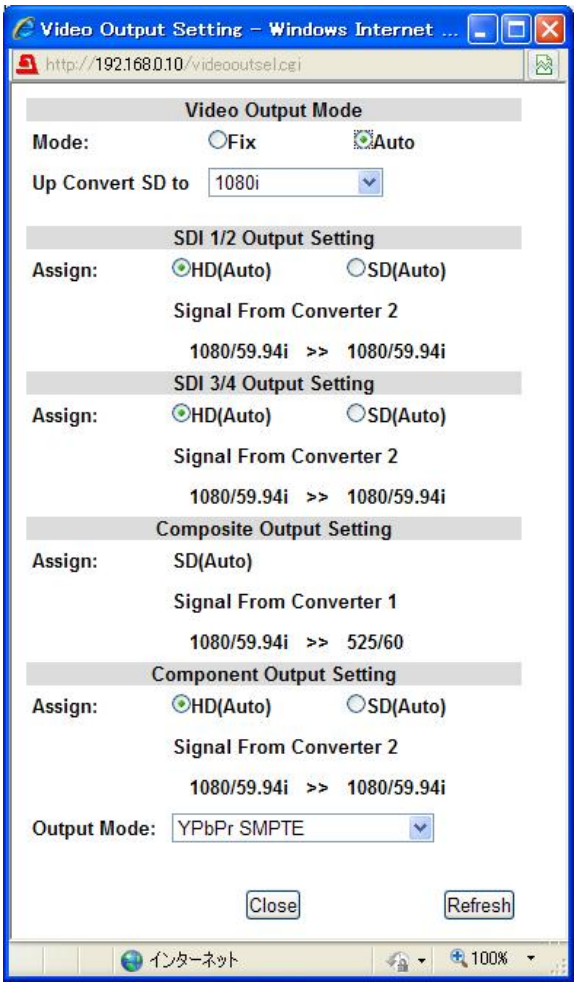
Clip Mode が、RGB のとき設定可能です。

9-2-12. Output Select（FA-95SCNV なし）

Video ブロック図の⑫をクリックすると、Output Select 設定 Window が開きます。
表示内容は、Video Output Mode の設定で異なります。



Fix Mode 時表示



Auto Mode 時表示

◆ **Video Output Mode**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Mode	Fix	Fix Auto *1	**Fix :** 各映像出力端子に、Converter1, 2 を指定して固定の Converter 出力設定を行います。 **Auto :** 各映像端子に HD または SD の設定を行います。 自動で Converter1, 2 が選択され各映像端子に出力されます。どちらの Converter を使用して動作してるかが表示されます。
Up Convert SD to	1080i	1080i 720P 1080PsF 1080p(3G) *2	Mode が Auto に設定されている場合の、SD 信号から UP する HD 信号を、HD の信号系列で設定します。 （MODE が Fix の場合設定できません。）

*1　Auto モード時の動作は「5-8-1. VIDEO OUT MODE」の“AUTO MODE 設定時の動作“を参照してください。

*2　オプションの FA-95-3G インストール時に選択可能です。

◆ **SDI1/2 Output Setting**

映像出力端子、SDI1/2 に出力する映像信号を割り付けます。

Fix Mode の場合

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Assign	Converter1	Converter1 Converter2	SDI1/2 端子に出力するコンバータ **Converter1,2** の設定を行います。

625/50>> 1080/50i の様に、選択された Converter の入力信号と変換後の信号フォーマットを表示します。

Auto Mode の場合

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Assign	HD(Auto)	HD(Auto) SD(Auto)	SDI1/2 に出力 **HD (Auto), SD(Auto)**の設定を行います。

“Signal From Converter1”の様に、どちらのコンバータを使用して自動出力しているかが、表示されます。

◆ **SDI3/4 Output Setting**

映像出力端子、SDI3/4 に出力する映像信号を割り付けます。

Fix Mode の場合

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Assign	Converter1	Converter1 Converter2	SDI3/4 に出力するコンバータ **Converter1, 2** の設定を行います。

625/50>> 1080/50i の様に、選択された Converter の入力信号と変換後の信号フォーマットを表示します。

Auto Mode の場合

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Assign	HD(Auto)	HD(Auto) SD(Auto)	SDI3/4 に出力 **HD (Auto)**, **SD(Auto)**の設定を行います。

“Signal From Converter1”の様に、どちらのコンバータを使用して自動出力しているかが、表示されます。

◆ **Composite Output Setting**

映像出力端子、COMPOSITE に出力する映像信号を割り付けます。

Fix Mode の場合

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Assign	Converter1	Converter1 Converter2	COMPOSITE 出力端子に出力するコンバータ **Converter1, 2** の設定を行います。

625/50>> 1080/50i の様に、選択された Converter の入力信号と変換後の信号フォーマットを表示します。

Auto Mode の場合

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Assign	SD(Auto)	SD(Auto)	COMPOSITE 出力端子は **SD(Auto)**に固定設定されます。

“Signal From Converter1”の様に、どちらのコンバータを使用して自動出力しているかが、表示されます。

◆ **Component Output Setting**

オプションの FA-95AIO が実装されている場合に表示されます。

映像出力端子、ANALOG COMPONENT OUT(FA-95AIO)に出力する映像信号を割り付けます。

Fix Mode の場合

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Assign	Converter1	Converter1 Converter2	ANALOG COMPONENT 出力端子に出力するコンバータ **Converter1, 2** の設定を行います。

625/50>> 1080/50i の様に、選択された Converter の入力信号と変換後の信号フォーマットを表示します。

Auto Mode の場合

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Assign	HD(Auto)	HD(Auto) SD(Auto)	ANALOG COMPONENT 出力端子の出力に **HD (Auto)**, **SD(Auto)**の選択を行います。

“Signal From Converter1”の様に、どちらのコンバータを使用して自動出力しているかが、表示されます。

Output Mode

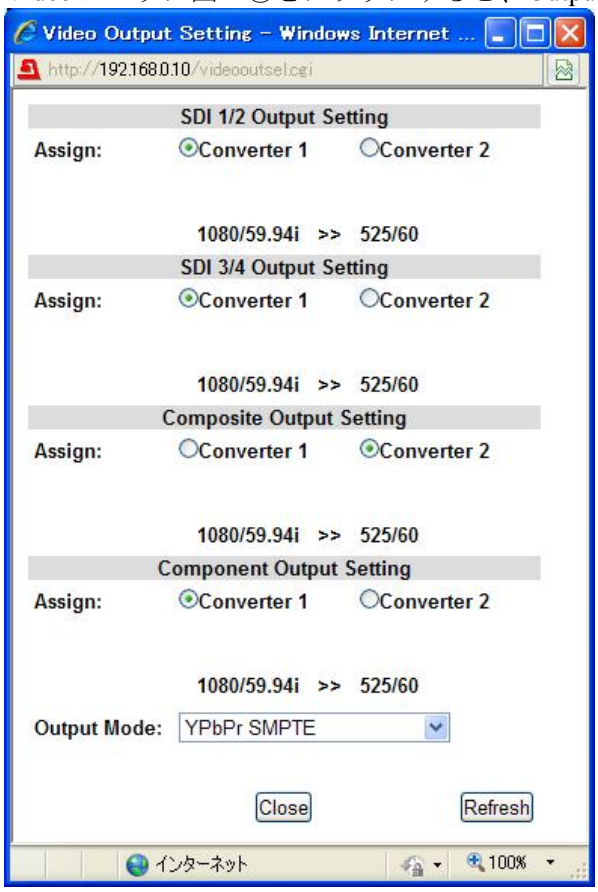
項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Output Mode	YPbPr SMPTE	YPbPr SMPTE YPbPr BETACAM RGB Y/C	ANALOG COMPONENT(FA-95AIO)の出力モードを設定します。 SMPTE および BETACAM は、SD 出力時のフォーマットです。

※ 割り付けした CONV1, CONV2 の信号が 1080p で、且つ FA-95AIO の出力が YPbPr または、RGB に設定されている場合は、黒が出力されます。詳細は「5-8-8 COMPONENT SET」、YPbPr/RGB 出力フォーマット表を参照してください。

※ 割り付けした CONV1, CONV2 の信号が HD で、且つ FA-95AIO の出力が Y/C に設定されている場合は、黒が出力されます。詳細は「5-8-8 COMPONENT SET」Y/C 出力フォーマット表を参照してください。

9-2-13. Output Select（FA-95SCNV あり）

Video ブロック図の⑫をクリックすると、Output Select 設定 Window が開きます。



◆ **SDI1/2 Output Setting**

映像出力端子、SDI1/2 に出力する映像信号を割り付けます。

項目	初期値	設定範囲	説明
Assign	Converter1	Converter1 Converter2	SDI1/2 端子に出力するコンバータ **Converter1,2** の設定を行います。

625/50>> 1080/50i の様に、選択された Converter の入力信号と変換後の信号フォーマットを表示します。

◆ **SDI3/4 Output Setting**

映像出力端子、SDI3/4 に出力する映像信号を割り付けます。

項目	初期値	設定範囲	説明
Assign	Converter1	Converter1 Converter2	SDI3/4 端子に出力するコンバータ **Converter1, 2** の設定を行います。

625/50>> 1080/50i の様に、選択された Converter の入力信号と変換後の信号フォーマットを表示します。

◆ **Composite Output Setting**

映像出力端子、COMPOSITE に出力する映像信号を割り付けます。

項目	初期値	設定範囲	説明
Assign	Converter1	Converter1 Converter2	COMPOSITE 出力端子に出力するコンバータ **Converter1, 2** の設定を行います。

625/50>> 1080/50i の様に、選択された Converter の入力信号と変換後の信号フォーマットを表示します。

◆ **Component Output Setting**

オプションの FA-95AIO が実装されている場合に表示されます。

映像出力端子、ANALOG COMPONENT OUT(FA-95AIO)に出力する映像信号を割り付けます。

項目	初期値	設定範囲	説明
Assign	Converter1	Converter1 Converter2	ANALOG COMPONENT 出力端子に出力するコンバータ **Converter1, 2** の設定を行います。

625/50>> 1080/50i の様に、選択された Converter の入力信号と変換後の信号フォーマットを表示します。

Output Mode

項目	初期値	設定範囲	説明
Output Mode	YPbPr SMPTE	YPbPr SMPTE YPbPr BETACAM RGB Y/C	ANALOG COMPONENT(FA-95AIO)の出力モードを設定します。 SMPTE および BETACAM は、SD 出力時のフォーマットです。

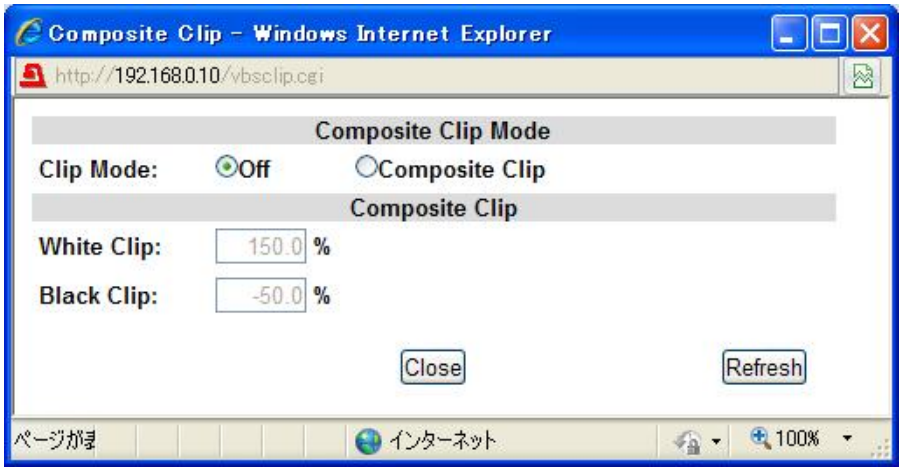
※ 割り付けした CONV1, CONV2 の信号が 1080p で、且つ FA-95AIO の出力が YPbPr または、RGB に設定されている場合は、黒が出力されます。詳細は「5-8-9 COMPONENT SET」、YPbPr/RGB 出力フォーマット表を参照してください。

※ 割り付けした CONV1, CONV2 の信号が HD で、且つ FA-95AIO の出力が Y/C に設定されている場合は、黒が出力されます。詳細は「5-8-9 COMPONENT SET」Y/C 出力フォーマット表を参照してください。

9-2-14. Composite Clip

Video ブロック図の⑬をクリックすると、Composite Clip 設定 Window が開きます。

詳細は、「5-6-3 VIDEO CLIP 設定範囲について」を参照してくさい。



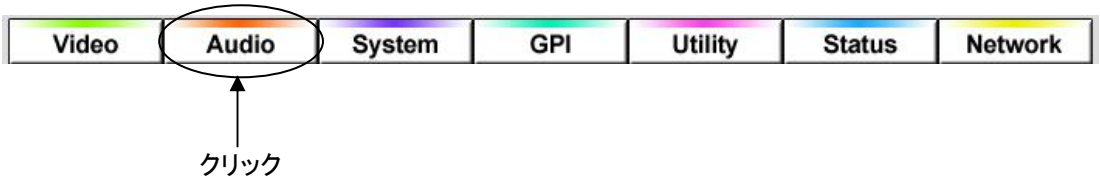
項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Clip Mode	Off	Off, Composite Clip	**Composite Clip** に設定するとコンポジット出力信号のクリップが可能になります。
White Clip	150.0%	50～150% (0.5%)	コンポジット出力信号の上限のクリップを設定します。
Black Clip	-50.0%	-50～50% (0.5%)	コンポジット出力信号の下限のクリップを設定します。

Composite Clip の設定は、COMPOSITE 出力に適用されます。

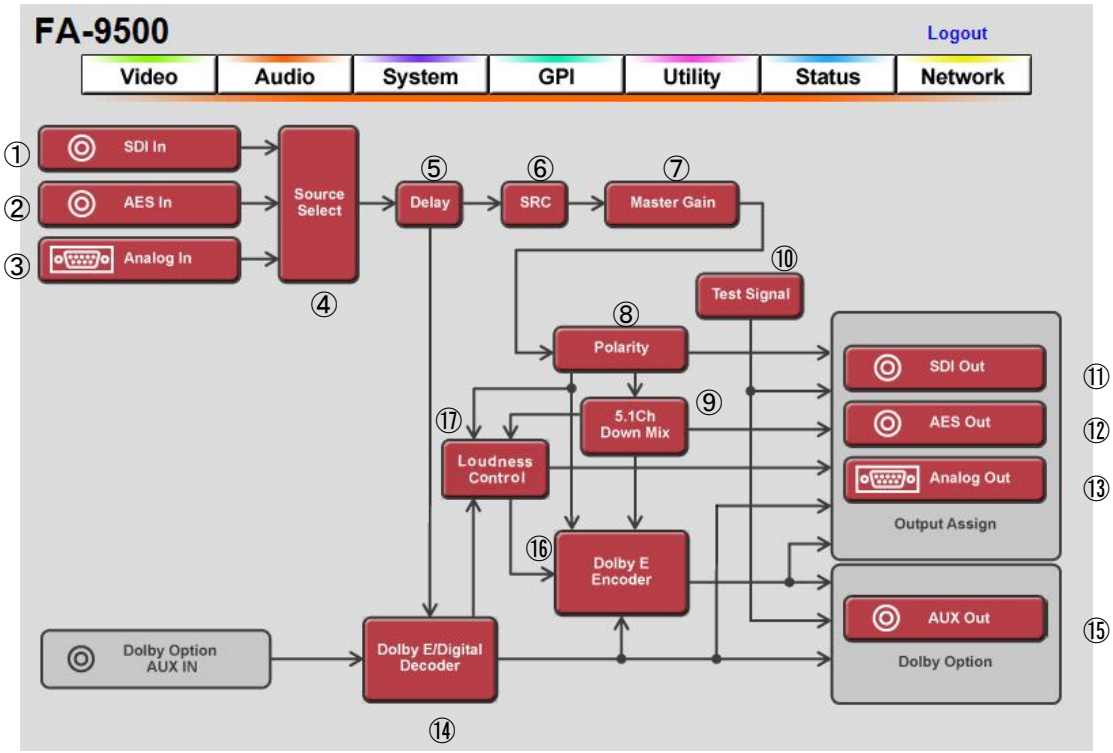
SDI1/2, SDI3/4 出力には適用されません。

Composite Clip を使用する場合は、「9-2-11 YPbPr/RGB Clip」の Clip Mode を Off で使用してください。

9-3. AUDIO 関連項目の制御



画面上部の Audio のタブをクリックすると、Audio 関連のブロック設定画面が表示されます。ブロック図上の四角で囲まれている部分をクリックすると、Window が開き各項目の設定変更ができます。



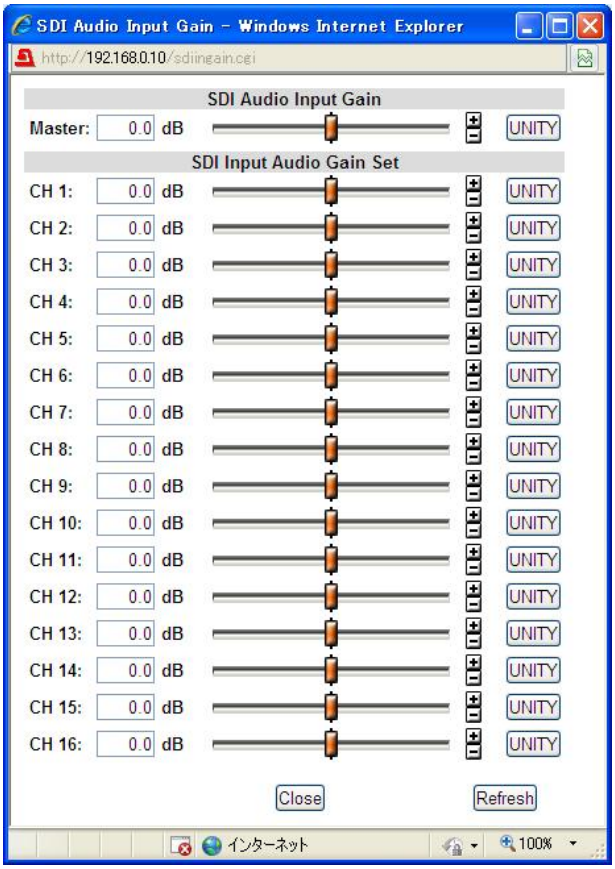
Audio ブロック図

※　⑭,⑮は、オプションの FA-95D-D または、FA-95DE-E が実装されている場合に機能します。
※　⑯は、FA-95DE-E が実装されている場合に機能します。
※　⑰は、FA-95ALA が実装されている場合に機能します。

「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

9-3-1. SDI Input Gain

Audio ブロック図の①をクリックすると、SDI Audio Input Gain 設定 Window が開きます。


SDI Audio Input Gain - Windows Internet Explorer
http://192.168.0.10/sdiingain.cgi
SDI Audio Input Gain
Master: 0.0 dB UNITY
SDI Input Audio Gain Set
CH 1: 0.0 dB UNITY
CH 2: 0.0 dB UNITY
CH 3: 0.0 dB UNITY
CH 4: 0.0 dB UNITY
CH 5: 0.0 dB UNITY
CH 6: 0.0 dB UNITY
CH 7: 0.0 dB UNITY
CH 8: 0.0 dB UNITY
CH 9: 0.0 dB UNITY
CH 10: 0.0 dB UNITY
CH 11: 0.0 dB UNITY
CH 12: 0.0 dB UNITY
CH 13: 0.0 dB UNITY
CH 14: 0.0 dB UNITY
CH 15: 0.0 dB UNITY
CH 16: 0.0 dB UNITY
Close
Refresh
インターネット
100%

設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
+ をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

◆ **SDI Audio Input Gain**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Master	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	CH1 - CH16 全体のゲイン設定を変更する場合に設定します。

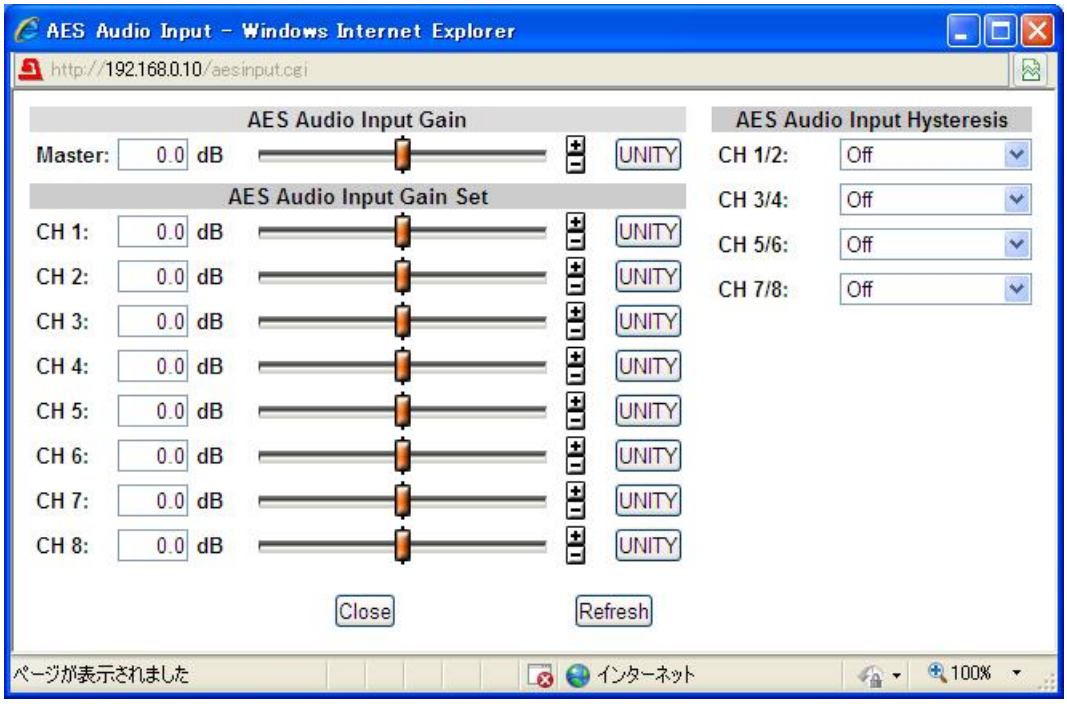
◆ **SDI Input Audio Gain Set**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH1-CH16	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB *1 (0.1 dB)	SDI 入力ゲインをチャネル毎に設定します。

*1 Master と個別 CH の設定の結果、上限下限を超える場合は上限下限でクリップが掛かります

9-3-2. AES Audio Input Settings

Audio ブロック図の②をクリックすると、AES Audio Input 設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
+ をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

◆ **AES Audio Input Gain**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Master	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	CH1 - CH8 全体のゲイン設定を変更する場合に設定します。

◆ **AES Audio Input Gain Set**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH1 - CH8	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB *1 (0.1 dB)	AES 入力ゲインをチャネル毎に設定します。

*1 Master と個別 CH の設定の結果、上限下限を超える場合は上限下限でクリップが掛かります

◆ **AES Audio Input Hysteresis**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH1/2 – CH7/8	Off	Off Group A Group B	入力した AES 信号をグループ A またはグループ B 毎に同位相に引き込みます。 サラウンドなどのマルチチャネルオーディオを複数の AES を使用して入力するときに有効です。

同じグループ内で番号の一番若いチャネルペアがリファレンスになり、それ以外のチャネルペアのワードタイミングをリファレンスにロックさせます。入力信号が無い場合は、次に若い番号のチャネルペアがリファレンスになります。リファレンスとなる信号に対して±0.25サンプルまで有効です。

設定例

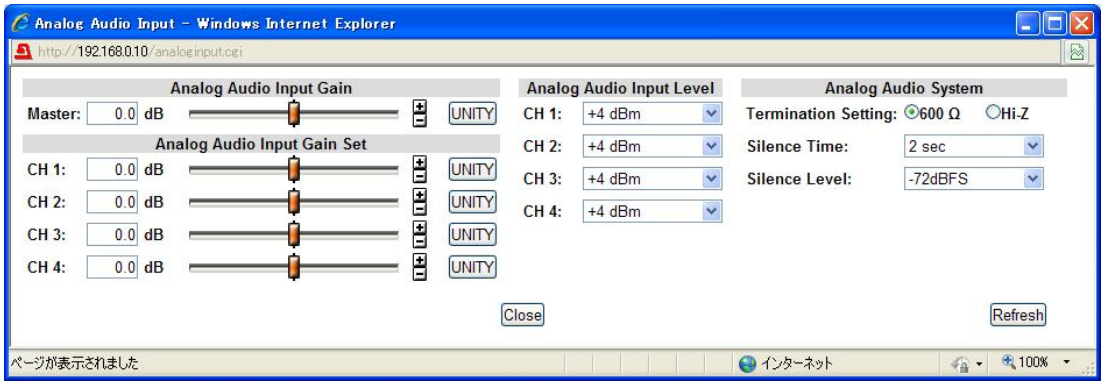
◆ CH 1/2～7/8 全て Group A に設定した場合
CH 1/2 がリファレンスになります。CH 1/2 のワードタイミングに他のチャネルペアをロックさせます。

◆ CH1/2～3/4 を Group A、CH5/6～7/8 を Group B に設定した場合
Group A のリファレンスは CH 1/2、Group B のリファレンスは CH 5/6 になります。

注意	同じグループ内のチャネルペアは、同一のサンプル周波数で互いに同期している必要があります。リファレンスになっているチャネルペアの信号を切り替えると、同じグループの他のチャネルペアにノイズが入ることがあります。 また、この設定を切り替えた直後は、他のチャネルペアと位相がずれる場合があります。この場合は、Master Mute（「9-3-7 Audio Master Setting」参照）を一旦 On、Off させる、または、本体の電源を再投入して位相のずれを直してください。

9-3-3. Analog Input Gain/Level

Audio ブロック図の③をクリックすると、Analog Input Gain/Level 設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
+ をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

◆ **Analog Audio Input Gain**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Master	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	CH1 – CH4 全体のゲイン設定を変更する場合に設定します。

◆ **Analog Audio Input Gain Set**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH1 – CH4	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB *1 (0.1 dB)	Analog Audio 入力ゲインをチャネル毎に設定します。

*1 Master と個別 CH の設定の結果、上限下限を超える場合は上限下限でクリップが掛かります

◆ **Analog Audio Input Level**

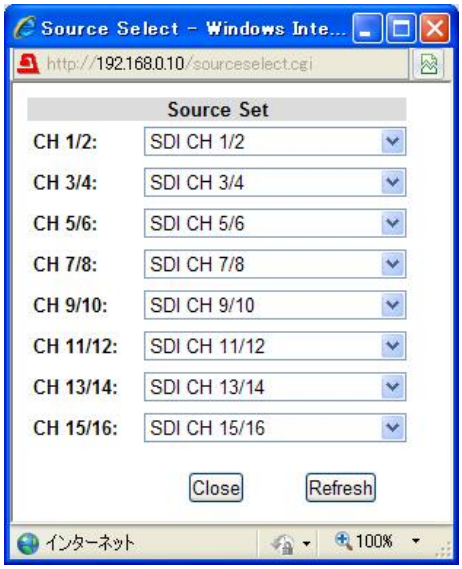
項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH1-4	+4dBm	-10dBm 0dBm +4dBm +8dBm	Analog Audio 入力信号レベルをチャネル毎に設定します。

◆ **Analog Audio System**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Termination Setting	600Ω	600Ω Hi-Z	アナログ入力の 1/2～3/4 の終端設定をします。 **600Ω**: 600Ω終端 **Hi-Z**: ハイインピーダンス
Silence Time	2sec	1 - 10sec (1sec)	ANALOG AUDIO 入力を無音と判断する時間を設定します。
Silence Level	-72dBFS	-72 - -48dBFS (6dBFS)	ANALOG AUDIO 入力を無音と判断するレベルを設定します。

9-3-4. Source Select

Audio ブロック図の④をクリックすると、Source Set 設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **Source Set**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH1/2-15/16	各 CH の SDI	SDI CH 1/2 - 15/16 *1 AES CH 1/2 - 7/8 *2 Analog CH 1/2 - 3/4	チャネルペアで、内部 16CH オーディオ SOURCE を設定します。

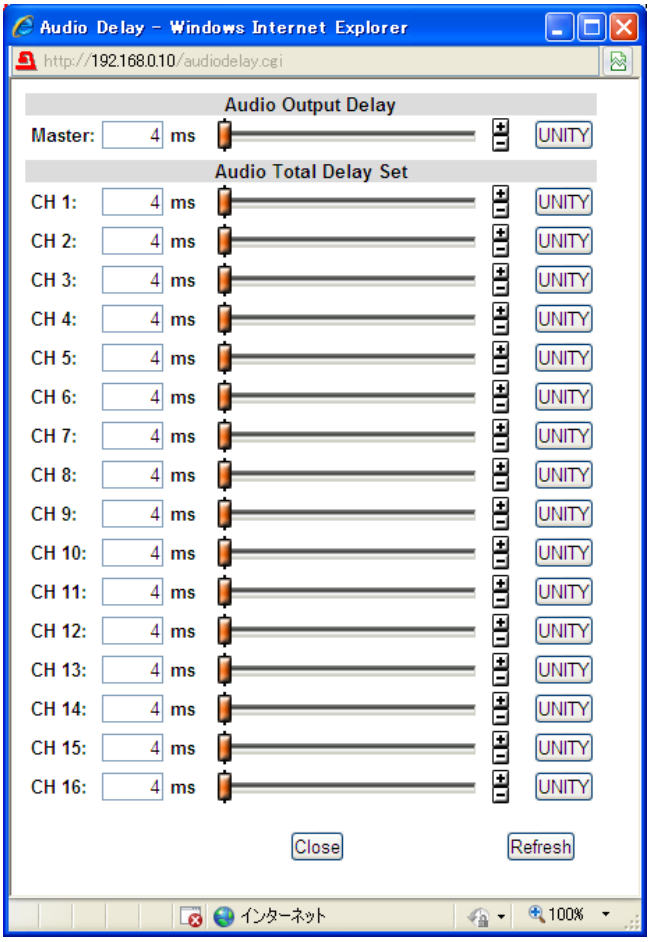
*1 SDI1/2 - 15/16 は、「9-2-1 Input Select」の Input Select が SDI 1, 2 に設定されている場合は、設定された入力ビデオのエンベデッド オーディオ信号が割り当てられます。Input Select の設定が、SDI 1, 2 以外（Composite 等）に設定された場合、SDI1/2 - 15/16 には、SDI1 入力ビデオのエンベデッド オーディオ信号が割り当てられます。

*2 AES1/2-7/8 は、入出力設定の切り替えがあります。Source として使用する場合は、AES 端子を入力に設定する必要があります。詳細は、「9-4-2 Audio System」の項目 AES 1/2-3/4 IO Setting, AES5/6-7/8 IO Setting を参照してください。

☞ Source Select で設定された音声信号 16Ch は、各音声出力および、SDI にエンベッドすることが可能です。SDI にエンベッドする場合は、「9-3-11 SDI Audio Output Setting」を参照してください。

9-3-5. Audio Output Delay

Audio ブロック図の⑤をクリックすると、Audio Output Delay 設定 Window が開きます。


Audio Delay - Windows Internet Explorer
http://192.168.0.10/audiodelay.cgi
Audio Output Delay
Master: 4 ms UNITY
Audio Total Delay Set
CH 1: 4 ms UNITY
CH 2: 4 ms UNITY
CH 3: 4 ms UNITY
CH 4: 4 ms UNITY
CH 5: 4 ms UNITY
CH 6: 4 ms UNITY
CH 7: 4 ms UNITY
CH 8: 4 ms UNITY
CH 9: 4 ms UNITY
CH 10: 4 ms UNITY
CH 11: 4 ms UNITY
CH 12: 4 ms UNITY
CH 13: 4 ms UNITY
CH 14: 4 ms UNITY
CH 15: 4 ms UNITY
CH 16: 4 ms UNITY
Close
Refresh
インターネット
100%

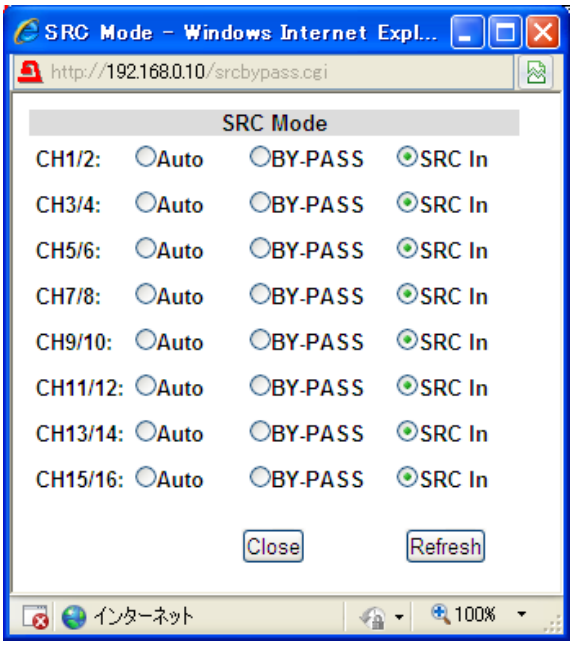
設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
+ をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

項目	初期値	設定範囲		説明
Audio Output Delay	4msec	Master	4～1000msec	Source 音声チャネルのディレイ量を設定します。
		CH1-16	4～1000msec*1	

*1 Master と個別 CH の設定の結果、上限下限を超える場合は上限下限でクリップが掛かります。
CONV1 または CONV2 のいずれかのコンバータ処理時に、「9-4-1 Video System」の Video Sub の Delay Adjust を On に設定すると、入力ビデオの 1 フレーム分（プログレッシブの場合は 2 フレーム分）の遅延時間がプラスされます。この場合の遅延設定上限は｛1000msec + 入力ビデオの 1 フレーム（2 フレーム）｝になります。

9-3-6. SRC Mode

Audio ブロック図の⑥をクリックすると、SRC Mode 設定 Window が開きます。



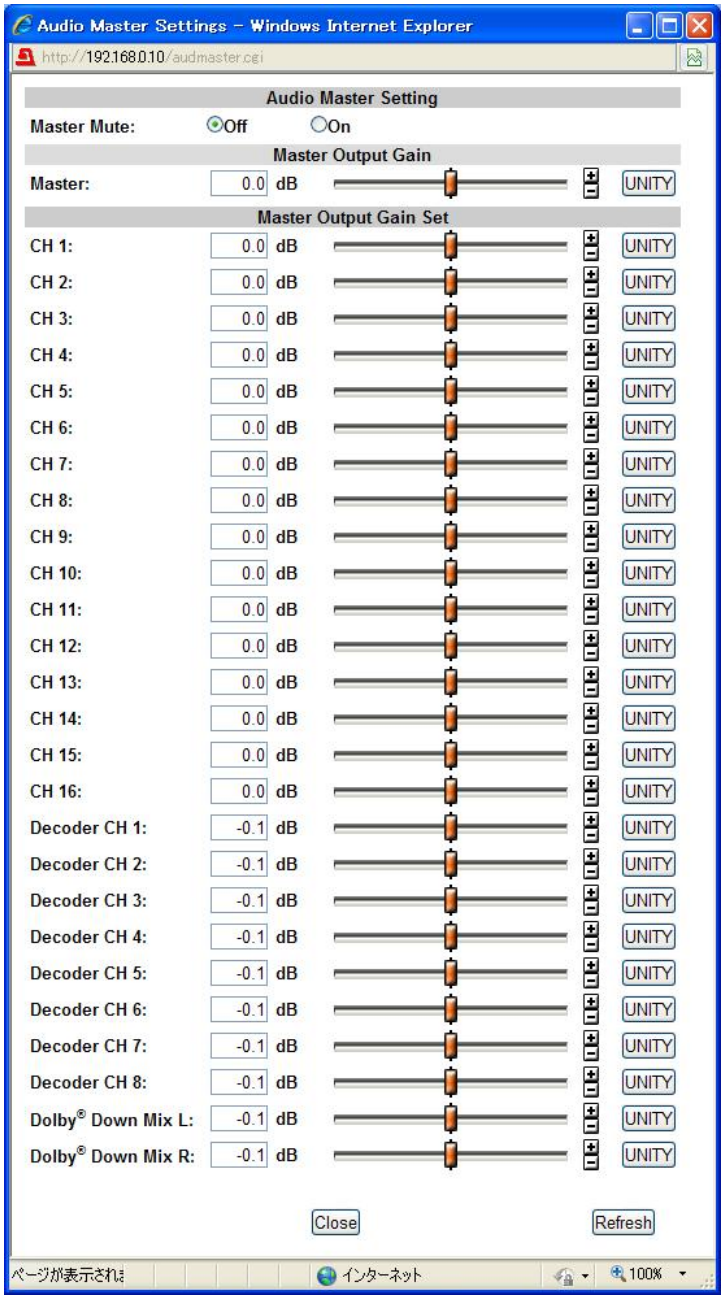
設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **SRC Mode**

項目	初期値	設定範囲	説明
SRC Mode	SRC In	Auto BY-PASS SRC In	SRC 回路の通過／バイパスをチャネルペア毎に設定します。 **Auto:** SRC 回路を通過させます。ただし、NON-PCM オーディオの場合には自動的に SRC 回路をバイパスします。 **BY-PASS:** SRC 回路をバイパスします。非同期オーディオとして使用する場合には BY-PASS に設定してください。また、この場合 SDI エンベデッドオーディオ出力に対して「9-3-11 SDI Audio Output Setting」SDI Output Clock Select で各グループの基準となる同期クロックを選択してください。 **SRC In:** 入力信号が PCM、NON-PCM にかかわらず SRC 回路を通過させます。PCM 信号であるにもかかわらず、オーディオ信号のチャネルステータスが NON-PCM であるようなイレギュラーな信号に対して有効です。ただし、NON-PCM 信号を SRC 回路に通過させた場合は、正常に出力することはできません。

9-3-7. Audio Master Setting

Audio ブロック図の⑦クリックすると、Audio Master Setting 設定 Window が開きます。


Audio Master Settings – Windows Internet Explorer
http://192.168.0.10/audmaster.cgi
Audio Master Setting
Master Mute: Off On
Master Output Gain
Master: 0.0 dB UNITY
Master Output Gain Set
CH 1: 0.0 dB UNITY
CH 2: 0.0 dB UNITY
CH 3: 0.0 dB UNITY
CH 4: 0.0 dB UNITY
CH 5: 0.0 dB UNITY
CH 6: 0.0 dB UNITY
CH 7: 0.0 dB UNITY
CH 8: 0.0 dB UNITY
CH 9: 0.0 dB UNITY
CH 10: 0.0 dB UNITY
CH 11: 0.0 dB UNITY
CH 12: 0.0 dB UNITY
CH 13: 0.0 dB UNITY
CH 14: 0.0 dB UNITY
CH 15: 0.0 dB UNITY
CH 16: 0.0 dB UNITY
Decoder CH 1: -0.1 dB UNITY
Decoder CH 2: -0.1 dB UNITY
Decoder CH 3: -0.1 dB UNITY
Decoder CH 4: -0.1 dB UNITY
Decoder CH 5: -0.1 dB UNITY
Decoder CH 6: -0.1 dB UNITY
Decoder CH 7: -0.1 dB UNITY
Decoder CH 8: -0.1 dB UNITY
Dolby® Down Mix L: -0.1 dB UNITY
Dolby® Down Mix R: -0.1 dB UNITY
Close
Refresh
インターネット
100%

設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます
+ をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

◆ **Audio Master Setting**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Master Mute	Off	Off On	内部処理されるオーディオチャネルを全て Mute にする場合 ON に設定します。

※ NON-PCM 入力信号が出力にアサインされている場合、MASTER MUTE が ON に設定されていても無音にはなりません。そのまま NON-PCM として通過します。

◆ **Master Output Gain**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Master	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	オーディオ CH1 - CH16 全体のゲイン設定を変更する場合に設定します。

◆ **Audio Output Gain Set**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH1-CH16 Decoder CH1-CH8 *2 Dolby Down Mix L/R*2	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB *1 (0.1 dB)	Source で選択された AUDIO CH1 - CH16 のゲインと Dolby Decoder のゲインを設定します。

*1 Master と個別 CH の設定の結果、上限下限を超える場合は上限下限でクリップが掛かります。

*2 FA-95D-D オプションが実装されると表示され、設定できるようになります。

9-3-8. Audio Test Signal

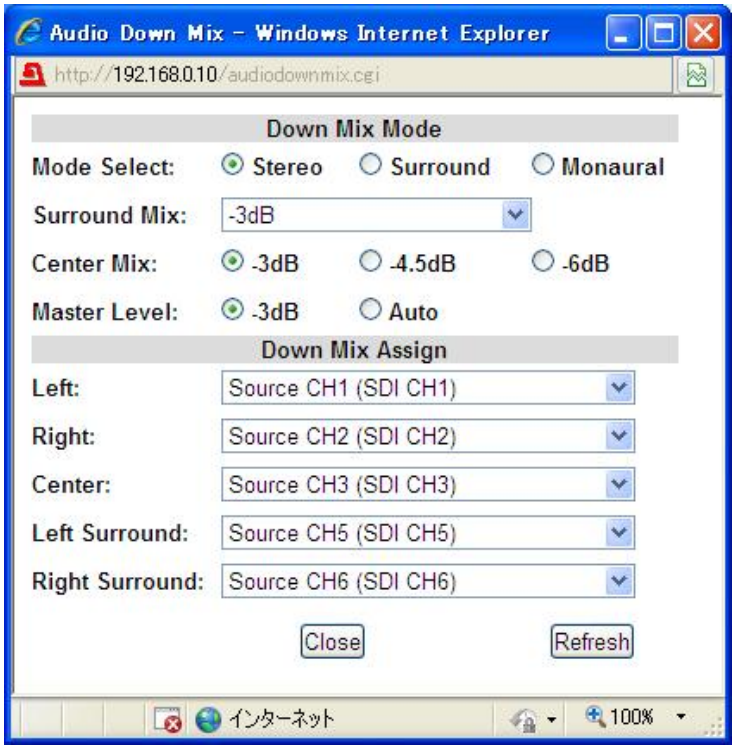
Audio ブロック図の⑩をクリックすると、Audio Test Signal 設定 Window が開きます。

設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

項目	初期値	設定範囲	説明
Audio Test Signal	Off	Off 1kHz Tone	内蔵のオーディオテスト信号を発生します。

9-3-9. 5.1Ch Down Mix

Audio ブロック図の⑨をクリックすると、Audio Down Mix 設定 Window が開きます。



詳細は、「6-7 DOWN MIX SET」を参照してください。

◆ **Down Mix Mode**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Mode Select	Stereo	Stereo Surround Monaural	ダウンミックスの動作モードを選択します。
Surround Mix	-3dB	-3dB -6dB -9dB 0	Ls/Rs (サラウンドチャネル) のレベルを指定します。 **0** (-∞dB) に設定すると、ミックスの対象から外されます。
Center Mix	-3dB	-3dB -4.5 dB -6dB	C (センターチャネル) のレベルを指定します。 センターチャネルの出力レベルをダウンミックス前と同じにする場合は-3dB を選択してください。 センターチャネルが左右各チャネルにミックスされた時、音量的に大きく聞こえる場合があります。そのような場合は、-4.5dB または -6dB を選択してください。
Master Level	-3dB	-3dB Auto	ダウンミックス信号全体のレベルを指定します。 Auto に設定すると、Down MIX Master Level は、Down Mix Mode と Surround Mix Level によって変化します。*1

*1 Auto 設定時、Master Level は次表のようになります。

Down Mix Mode \ Surround Mix Level	-3dB	-6dB	-9dB	0 (-∞dB)
Stereo	約-7.7dB	約-6.9dB	約-6.3dB	約-4.6dB
Surround	約-9.9dB	約-8.7dB	約-7.7dB	約-4.6dB
Monaural	約-12.9dB	約-12.0dB	約-11.4dB	約-9.5dB

◆ **Down Mix Assign**

項目	初期値	設定範囲	説明
Left Right Center Left Surround Right Surround	Left: Source CH1 Right: Source CH2 Center: Source CH3 Left Surround: Source CH5 Right Surround: Source CH6	Source CH 1-16	「9-3-4 Source Select」で設定した**Source CH 1～16** でダウンミックスする音声信号を割り付けます。（SDI CH1）の様に括弧内に入力音声信号が表示されます。

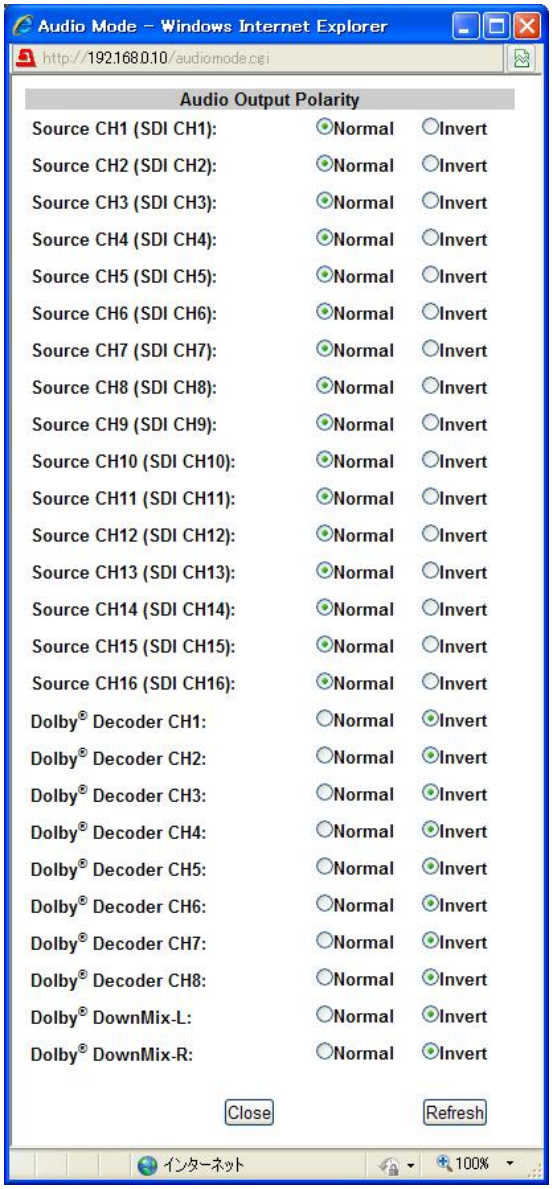
※ 同じ Source を各項目に設定した場合や、NON-PCM を Source として設定した場合は、Down MIX-L と Down MIX-R はミュートになります。

※ ダウンミックされた音声信号は、Down MIX－L，R で出力されます。

☞ ダウンミックスされた音声信号 Down MIX－L，R をエンベデッドする場合は、「9-3-11 SDI Audio Output Setting」を参照してください。AES に出力する場合は、「9-3-12 AES Audio Output Setting」を参照してください。アナログ音声端子に出力する場合は、「9-3-13 Analog Audio Output Setting」を参照してください。Source の信号割り付けを変更するには、「9-3-4 Source Select」を参照してください。

9-3-10. Audio Output Polarity

Audio ブロック図の⑧をクリックすると、Audio Output Polarity 設定 Window が開きます。


Audio Mode – Windows Internet Explorer
http://192.168.0.10/audiomode.cgi
Audio Output Polarity
Source CH1 (SDI CH1): Normal Invert
Source CH2 (SDI CH2): Normal Invert
Source CH3 (SDI CH3): Normal Invert
Source CH4 (SDI CH4): Normal Invert
Source CH5 (SDI CH5): Normal Invert
Source CH6 (SDI CH6): Normal Invert
Source CH7 (SDI CH7): Normal Invert
Source CH8 (SDI CH8): Normal Invert
Source CH9 (SDI CH9): Normal Invert
Source CH10 (SDI CH10): Normal Invert
Source CH11 (SDI CH11): Normal Invert
Source CH12 (SDI CH12): Normal Invert
Source CH13 (SDI CH13): Normal Invert
Source CH14 (SDI CH14): Normal Invert
Source CH15 (SDI CH15): Normal Invert
Source CH16 (SDI CH16): Normal Invert
Dolby® Decoder CH1: Normal Invert
Dolby® Decoder CH2: Normal Invert
Dolby® Decoder CH3: Normal Invert
Dolby® Decoder CH4: Normal Invert
Dolby® Decoder CH5: Normal Invert
Dolby® Decoder CH6: Normal Invert
Dolby® Decoder CH7: Normal Invert
Dolby® Decoder CH8: Normal Invert
Dolby® DownMix-L: Normal Invert
Dolby® DownMix-R: Normal Invert
Close
Refresh
インターネット
100%

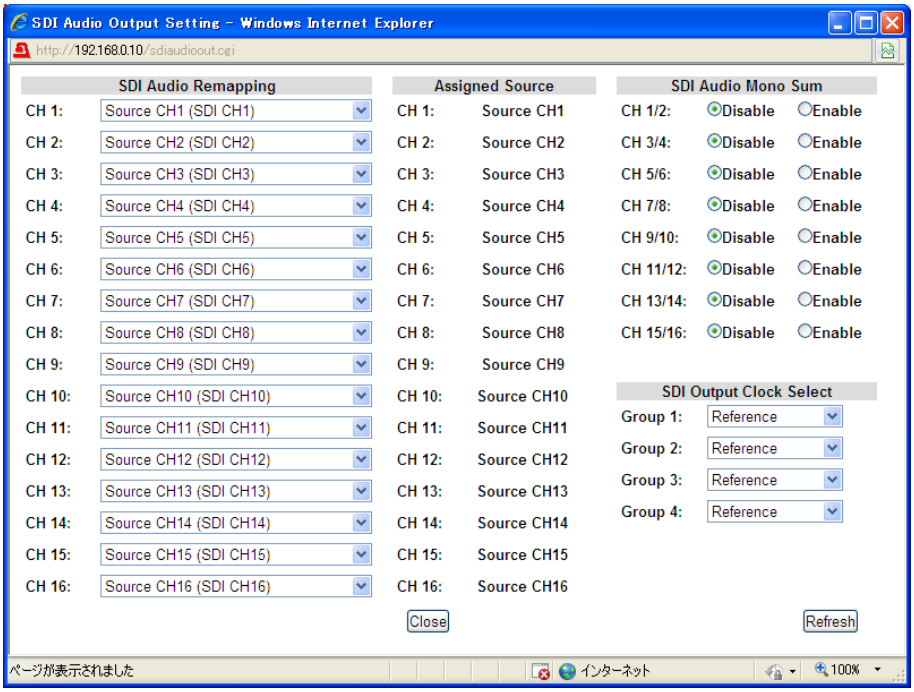
設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

項目	初期値	設定範囲	説明
Source CH1-16 Dolby Decoder CH1-8*1 Dolby Decoder L-R *1	Normal	Normal Invert	Source CH1 – 16 と Dolby Decoder 出力の極性を設定します。**Invert** に設定すると極性が反転します。 （SDI CH1）の様に括弧内に入力音声信号が表示されます。

*1　FA-95D-D オプションが実装されると表示され、設定できるようになります。

9-3-11. SDI Audio Output Setting

Audio ブロック図の⑪をクリックすると、SDI Audio Output 設定 Window が開きます。


SDI Audio Output Setting - Windows Internet Explorer
http://192.168.0.10/sdiaudioout.cgi
SDI Audio Remapping
Assigned Source
SDI Audio Mono Sum
CH 1: Source CH1 (SDI CH1) CH 1: Source CH1 CH 1/2: Disable Enable
CH 2: Source CH2 (SDI CH2) CH 2: Source CH2 CH 3/4: Disable Enable
CH 3: Source CH3 (SDI CH3) CH 3: Source CH3 CH 5/6: Disable Enable
CH 4: Source CH4 (SDI CH4) CH 4: Source CH4 CH 7/8: Disable Enable
CH 5: Source CH5 (SDI CH5) CH 5: Source CH5 CH 9/10: Disable Enable
CH 6: Source CH6 (SDI CH6) CH 6: Source CH6 CH 11/12: Disable Enable
CH 7: Source CH7 (SDI CH7) CH 7: Source CH7 CH 13/14: Disable Enable
CH 8: Source CH8 (SDI CH8) CH 8: Source CH8 CH 15/16: Disable Enable
CH 9: Source CH9 (SDI CH9) CH 9: Source CH9
CH 10: Source CH10 (SDI CH10) CH 10: Source CH10
SDI Output Clock Select
CH 11: Source CH11 (SDI CH11) CH 11: Source CH11 Group 1: Reference
CH 12: Source CH12 (SDI CH12) CH 12: Source CH12 Group 2: Reference
CH 13: Source CH13 (SDI CH13) CH 13: Source CH13 Group 3: Reference
CH 14: Source CH14 (SDI CH14) CH 14: Source CH14 Group 4: Reference
CH 15: Source CH15 (SDI CH15) CH 15: Source CH15
CH 16: Source CH16 (SDI CH16) CH 16: Source CH16
Close
Refresh
ページが表示されました
インターネット
100%

設定が終了したら、**Close**をクリックして Window を閉じます。
Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **SDI Audio Remapping**

<table>
<tr><th>項目</th><th>初期値</th><th colspan="2">設定範囲</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">CH1-16</td><td rowspan="2">各 Source</td><td colspan="2">Source CH 1 - 16 *1
500Hz
1kHz
Silence
Down Mix-L *2
Down Mix-R *2
Dolby Decoder 1 - 8 *3, *6
Dolby Down Mix L *4, *6
Dolby Down Mix R *4, *6
Dolby Encoder 1 - 2 *5, *7</td><td rowspan="2">SDI 出力のエンベデッドオーディオ出力に信号を割り当てます。
Source CH 1-16：内部処理された SOURCE チャネルの信号
500Hz/1KHz：テスト信号
Silence：無音信号
Down Mix-L/R：SOURCE チャネルの信号から生成されたダウンミックス信号
Dolby Decoder1-8：Dolby デコードされた PCM 信号
Dolby Down Mix L/R：Dolby デコードされた PCM 信号から生成されたダウンミックス信号
Dolby Encoder 1-2：選択された SOURCE チャネルの信号をエンコードした Dolby E 信号
Loudness 1/2 Left:
Loudness 1/2 Right
Loudness 1/2 Center:
Loudness 1/2 LFE:
Loudness 1/2 Ls:
Loudness 1/2 Rs:
選択された Source チャネルの信号をラウドネス処理した信号</td></tr>
<tr><td>Loudness 1- *8
Loudness 2- *8</td><td>Left
Right
Center
LFE
Ls
Rs</td></tr>
</table>

*1 Source の設定は、「9-3-4 Source Select」を参照してください。
*2 Down Mix の設定は、「9-3-9 5.1ChDown Mix」を参照してください。
*3 Dolby Decoder の設定は、「9-3-14 Dolby AUX Output Select」を参照してください。
*4 Dolby Down Mix の設定は、「9-3-14 Dolby E/Digital Decoder」を参照してください。
*5 Dolby Encoder の設定は、「9-3-16 Dolby E Encoder」を参照してください。

*6　FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。
*7　FA-95DE-E オプションが装着されていない場合は表示されません。
*8　FA-95ALA オプションが装着されていない場合は表示されません。
Loudness 1/2 の設定は「9-3-17. Automatic Loudness Adjustment (FA-95ALA)」を参照してください。

◆ NON-PCM 音声入力時の音声処理

FA-9500 は、NON-PCM の音声信号が入力された場合、L/R のチャネルペア単位で音声の入力状態を自動的に判別し、L チャネル側を優先して音声処理を行います。
Assigned Source に実際に処理を行っている音声信号が表示されます。
L/R のチャネルペアは、Source1/2, Source 3/4….. Source 15/16 のペアで判別されます。
自動判別処理された音声チャネルには、“CH1:＊Source 2” のように“＊” が追加され Assigned Source に表示されます。

NON-PCM 入力時の自動判別の例：
Source 1, 2 に NON-PCM、Source 3～16 に PCM が入力された場合の各設定時の自動判別音声処理は、次の表のように処理されます。

SDI Audio Remapping 設定	Assigned Source 表示	自動判別音声処理結果
CH1: Source1 CH2: Source2	CH1: Source1 CH2: Source2	CH1: Source1 CH2: Source2 L/R 共に NON-PCM のチャネルペア設定のため、設定と同じ音声処理します。
CH1: Source3 CH2: Source5	CH1: Source3 CH2: Source5	CH1: Source3 CH2: Source5 L/R 共に PCM のため、設定と同じ音声処理されます。
CH1: Source1 CH2: Source1	CH1: Source1 CH2: ＊Source2	CH1: Source1 CH2: Source2 NON-PCM 同一チャネルが設定されたため、L 側チャネルペアの NON-PCM1（CH1: Source1）を優先し音声処理します。
CH1: Source2 CH2: Source2	CH1: ＊Source1 CH2: Source2	CH1: Source1 CH2: Source2 NON-PCM 同一チャネルが設定されたため、L 側のチャネル NON-PCM（CH1: Source2）を優先し音声処理します。
CH1: Source4 CH2: Source2	CH1: ＊Source3 CH2: ＊Source4	CH1: Source3 CH2: Source4 L チャネル PCM と R チャネル NON-PCM（CH1: Source 2）のペア設定のため、L 側のチャネル PCM（CH1: Source4）を優先し音声処理します。
CH1: Silence CH2: Source2	CH1: Silence CH2: ＊Silence	CH1: Silence CH2: Silence L チャネル Silence と R チャネル NON-PCM（CH1: Source2）のペア設定のため、L 側のチャネル Silence（CH1: Silence）を優先し音声処理されます。
CH1: 500Hz CH2: Source2	CH1: 500Hz CH2: ＊500Hz	CH1: 500Hz CH2: 500Hz L チャネル 500Hz と R チャネル NON-PCM（CH1: Source）のペア設定のため、L 側のチャネル 500Hz（CH1: 500Hz）を優先し音声処理されます。(1kHz の場合も同様)
CH1: Down Mix-L CH2: Source3	CH1: Down Mix-L CH2: Source3	CH1: Down Mix-L CH2: Source3 L チャネル Down Mix-L と R チャネル PCM　Source3 のペア設定のため、設定と同じ音声処理されます。

SDI Audio Remapping 設定	Assigned Source 表示	自動判別音声処理結果
CH1: Down Mix-L CH2: Source2	CH1: Down Mix-L CH2: ＊Down Mix-R	CH1: Down Mix-L CH2: Down Mix-R L チャネル Down Mix-L と R チャネル NON-PCM Source 2 のペア設定のため、L 側のチャネル Down Mix-L（CH1: Down Mix-L）を優先し音声処理されます。
CH1:Dolby Encoder 1 CH2:1KHz	CH1:Dolby Encoder 1 CH2:＊Dolby Encoder 2	CH1: Dolby Encoder 1 CH2: Dolby Encoder 2 L チャネル Dolby Encoder 1(NON-PCM)と R チャネル 1KHz のペア設定のため、L 側のチャネル Dolby Encoder 1 を優先し音声処理されます。

◆ **SDI Audio Mono Sum**

項目	初期値	設定範囲	説明
CH1/2-CH15/16	Disable	Disable Enable	チャネルペアで Mono Sum 出力する場合 Enable に設定します。

◆ **SDI Output Clock Select**

項目	初期値	設定範囲	説明
Group 1	Reference	Auto Reference CH 1/2 CH 3/4	SDI エンベデッドオーディオ出力時の各グループのオーディオクロックを選択します。 **Auto:**入力された NON-PCM 信号が SDI エンベデッドオーディオ出力の Group 内に選択されている場合、自動的に NON-PCM のチャネルの入力クロックが選択されます。Group 内の信号全てが NON-PCM の場合、若いチャネルペアのクロックが自動で選択されます。Group 内の信号全てが PCM 信号の場合には、出力ビデオに同期したクロックが自動で選択されます。*1 **Reference**: 出力ビデオに同期したクロックを使用します。（SRC 使用時の同期出力） C**H 1/2～15/16:** Source CH 1/2～15/16 の入力クロックを使用します。 *2 非同期出力する場合には、該当するチャネルを選択してください。 *1 SD-SDI の場合、設定にかかわらず常に Reference 動作となります。
Group 2	Reference	Auto Reference CH 5/6 CH 7/8	
Group 3	Reference	Auto Reference CH 9/10 CH 11/12	
Group 4	Reference	Auto Reference CH 13/14 CH 15/16	

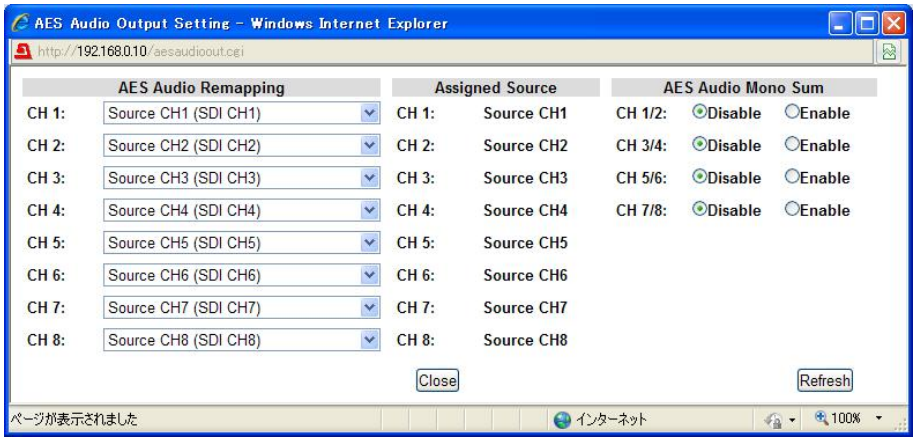
*1 エンベデッドオーディオは Group 1 (CH 1～4)、Group 2 (CH 5～8)、Group 3 (CH 9～12)、Group 4 (CH 13～16)のように 4ch 単位でグループ化され、各グループ内の信号は同一オーディオクロック (48KHz) にて伝送されます。PCM オーディオの場合は内部の SRC (サンプリングコンバータ) でゲンロック信号に同期したクロックへ変換されビデオに同期した信号になりますが、NON-PCM オーディオ (AC-3 等の圧縮オーディオ) の場合は SRC を通過しないため、ビデオと非同期のオーディオ信号の場合は非同期のまま出力されます。非同期の状態で SDI エンベッド出力する場合は、Group1～4 の各グループ内の 4 チャネルには同期した信号をアサインし、グループ内を同期させてください。その上で、それぞれのグループに対して入力のクロックを選択します。(「9-3-11 SDI Audio Output Setting」参照）これにより非同期エンベデッドオーディオとして正常に出力されます。

*2 SOURCE の設定は、「9-3-4 Source Select」を参照してください。

☞ Source の信号割り付けを変更する場合は、「9-3-4 Source Select」を参照してください。ダウンミックスの設定方法は、「9-3-9 5.1Ch Down Mix」を参照してください。

9-3-12. AES Audio Output Setting

Audio ブロック図の⑫をクリックすると、AES Audio Output 設定 Window が開きます。


AES Audio Output Setting - Windows Internet Explorer
http://192.168.0.10/aesaudioout.cgi
AES Audio Remapping
Assigned Source
AES Audio Mono Sum
CH 1: Source CH1 (SDI CH1)
CH 2: Source CH2 (SDI CH2)
CH 3: Source CH3 (SDI CH3)
CH 4: Source CH4 (SDI CH4)
CH 5: Source CH5 (SDI CH5)
CH 6: Source CH6 (SDI CH6)
CH 7: Source CH7 (SDI CH7)
CH 8: Source CH8 (SDI CH8)
CH 1: Source CH1
CH 2: Source CH2
CH 3: Source CH3
CH 4: Source CH4
CH 5: Source CH5
CH 6: Source CH6
CH 7: Source CH7
CH 8: Source CH8
CH 1/2: Disable Enable
CH 3/4: Disable Enable
CH 5/6: Disable Enable
CH 7/8: Disable Enable
Close
Refresh
ページが表示されました
インターネット
100%

設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **AES Audio Remapping**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)		説明
CH1-8	各 Source	Source CH 1 - 16 *1 500Hz 1kHz Silence Down Mix-L *2 Down Mix-R *2 Dolby Decoder 1- 8 *3, *6 Dolby Down Mix L *4, *6 Dolby Down Mix R *4, *6 Dolby Encoder 1 - 2 *5, *7		AES オーディオ出力に信号を割り当てます。 **Source CH 1-16**：内部処理された SOURCE チャネルの信号 **500Hz/1KHz**：テスト信号 **Silence**：無音信号 **Down Mix-L/R**：SOURCE チャネルの信号から生成されたダウンミックス信号 **Dolby Decoder1-8**：Dolby デコードされた PCM 信号 **Dolby Down Mix L/R**：Dolby デコードされた PCM 信号から生成されたダウンミックス信号 **Dolby Encoder1-2**：選択された SOURCE チャネルの信号をエンコードした Dolby E 信号 **Loudness 1/2 Left:** **Loudness 1/2 Right** **Loudness 1/2 Center:** **Loudness 1/2 LFE:** **Loudness 1/2 Ls:** **Loudness 1/2 Rs:** 選択された Source チャネルの信号をラウドネス処理した信号
		Loudness 1- *8 Loudness 2- *8	Left Right Center LFE Ls Rs	

*1 Source の設定は、「9-3-4 Source Select」を参照してください。
*2 Down Mix の設定は、「9-3-9 5.1ChDown Mix」を参照してください。
*3 Dolby Decoder の設定は、「9-3-14 Dolby E/Digital Decoder」を参照してください。
*4 Dolby Down Mix の設定は、「9-3-14 Dolby E/Digital Decoder」を参照してください。
*5 Dolby Encoder の設定は、「9-3-16 Dolby E Encoder」を参照してください。
*6 FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。
*7 FA-95DE-E オプションが装着されていない場合は表示されません。
*8 FA-95ALA オプションが装着されていない場合は表示されません
Loudness 1/2 の設定は「9-3-17. Automatic Loudness Adjustment (FA-95ALA)」を参照してください。。

◆ **NON-PCM 音声入力時の音声処理**

FA-9500 は、NON-PCM の音声信号が入力された場合、L/R のチャネルペア単位で音声の入力状態を自動的に判別し、L チャネル側を優先して音声処理を行います。
Assigned Source に実際に処理を行っている音声信号が表示されます。
L/R のチャネルペアは、Source1/2, Source 3/4….. Source 15/16 のペアで判別されます。
自動判別処理された音声チャネルには、“CH1:＊Source 2”のように“＊”が追加され Assigned Source に表示されます。

NON-PCM 入力時の自動判別の例：

Source 1, 2 に NON-PCM、SOURCE3～16 に PCM が入力された場合の各設定時の自動判別音声処理は、次の表のように処理されます。

SDI Audio Remapping 設定	Assigned Source 表示	自動判別音声処理結果
CH1:Source1 CH2: Source2	CH1: Source1 CH2: Source2	CH1: Source1 CH2: Source2 L/R 共に NON-PCM のチャネルペア設定のため、設定と同じ音声処理します。
CH1: Source3 CH2: Source5	CH1: Source3 CH2: Source5	CH1: Source3 CH2: Source5 L/R 共に PCM のため、設定と同じ音声処理されます。
CH1: Source1 CH2: Source1	CH1: Source1 CH2: ＊Source2	CH1: Source1 CH2: Source2 NON-PCM 同一チャネルが設定されたため、L 側チャネルペアの NON-PCM1（CH1: Source1）を優先し音声処理します。
CH1: Source2 CH2: Source2	CH1: ＊Source1 CH2: Source2	CH1: Source1 CH2: Source2 NON-PCM 同一チャネルが設定されたため、L 側のチャネル NON-PCM（CH1: Source2）を優先し音声処理します。
CH1: Source4 CH2: Source2	CH1: ＊Source3 CH2: ＊Source4	CH1: Source3 CH2: Source4 L チャネル PCM と R チャネル NON-PCM（CH1: Source 2）のペア設定のため、L 側のチャネル PCM（CH1: Source4）を優先し音声処理します。
CH1: Silence CH2: Source2	CH1: Silence CH2: ＊Silence	CH1: Silence CH2: Silence L チャネル Silence と R チャネル NON-PCM（CH1: Source2）のペア設定のため、L 側のチャネル Silence（CH1: Silence）を優先し音声処理されます。
CH1: 500Hz CH2: Source2	CH1: 500Hz CH2: ＊500Hz	CH1: 500Hz CH2: 500Hz L チャネル 500Hz と R チャネル NON-PCM（CH1: Source）のペア設定のため、L 側のチャネル 500Hz（CH1: 500Hz）を優先し音声処理されます。(1kHz の場合も同様)
CH1: Down Mix-L CH2: Source3	CH1: Down Mix-L CH2: Source3	CH1: Down Mix-L CH2: Source3 L チャネル Down Mix-L と R チャネル PCM　Source3 のペア設定のため、設定と同じ音声処理されます。
CH1: Down Mix-L CH2: Source2	CH1: Down Mix-L CH2: ＊Down Mix-R	CH1: Down Mix-L CH2: Down Mix-R L チャネル Down Mix-L と R チャネル NON-PCM Source 2 のペア設定のため、L 側のチャネル Down Mix-－L（CH1: Down Mix-－L）を優先し音声処理されます。

SDI Audio Remapping 設定	Assigned Source 表示	自動判別音声処理結果
CH1:Dolby Encoder 1 CH2:1KHz	CH1:Dolby Encoder 1 CH2: ＊ Dolby Encoder 2	CH1: Dolby Encoder1 CH2: Dolby Encoder2 L チャネル Dolby Encoder 1(NON-PCM)と R チャネル 1KHz のペア設定のため、L 側のチャネル Dolby Encoder 1 を優先し音声処理されます。

◆ **AES Audio Mono Sum**

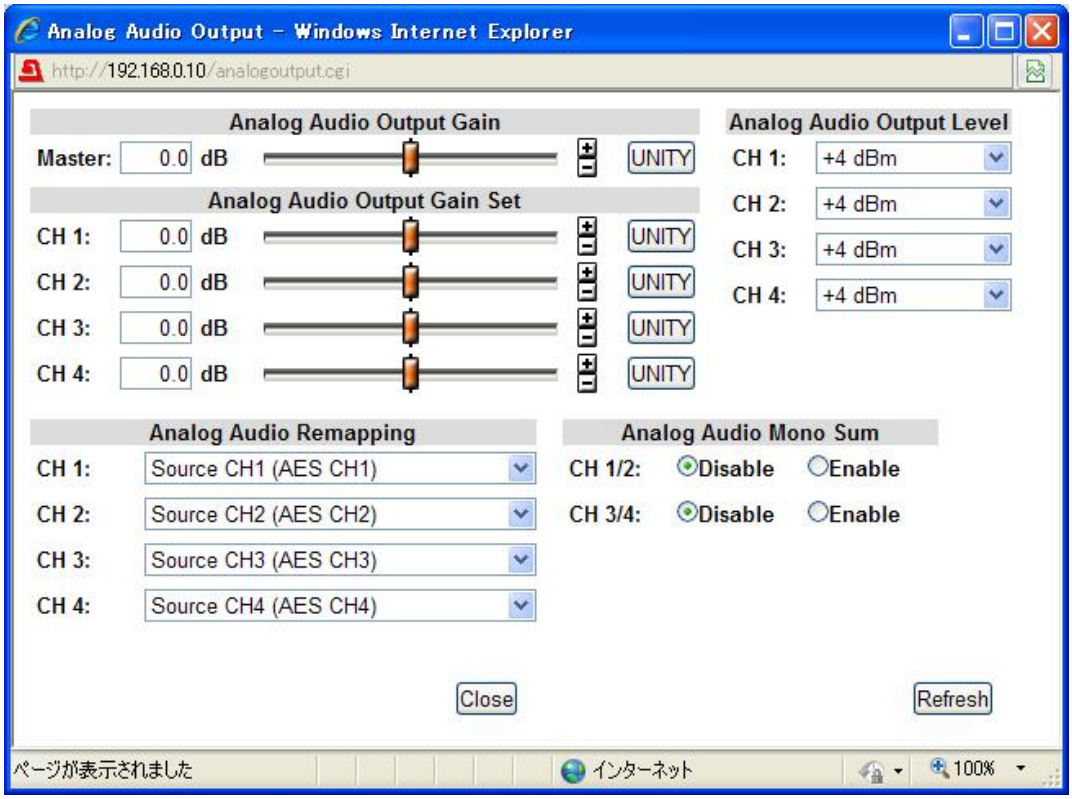
項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH 1/2-CH 7/8	Disable	Disable Enable	チャネルペアで Mono Sum 出力する場合 **Enable** に設定します。

☞ Source の信号割り付けを変更するには、「9-3-4 Source Select」を参照してください。ダウンミックスの設定方法は、「9-3-9 5.1Ch Down Mix」を参照してください。

注意 AES1/2-7/8 は、入出力の設定切り替えがあります。AES 端子を出力に設定しないと音声信号は出力されません。詳細は、「9-4-2 Audio System」の項目 AES 1/2-3/4 IO Setting, AES5/6-7/8 IO Setting を参照してください。

9-3-13. Analog Audio Output Setting

Audio ブロック図の⑬をクリックすると、Analog Audio Output 設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
UNITY をクリックすると初期値に設定されます。
＋をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
－をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

◆ **Analog Audio Output Gain**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Master	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	Analog Audio 出力ゲインを全チャネルに設定します。

◆ **Analog Audio Output Gain Set**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH 1-CH 4	0.0dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	Analog Audio 出力ゲインをチャネル毎に設定します。

◆ **Analog Audio Output Level**

項目	初期値	設定範囲	説明
CH 1-CH 4	+4dBm	-10dBm 0dBm +4dBm +8dBm	ANALOG AUDIO 出力信号のレベルをチャネル毎に設定します。

◆ **Analog Audio Remapping**

<table>
<tr><th>項目</th><th>初期値</th><th colspan="2">設定範囲</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">CH 1-CH 4</td><td rowspan="2">各 Source</td><td colspan="2">Source CH 1-16 *1
500Hz
1kHz
Silence
Down Mix-L *2
Down Mix-R *2
Dolby Decoder 1 – 8 *3, *5
Dolby Down Mix L *4, *5
Dolby Down Mix R *4, *5</td><td rowspan="2">アナログオーディオ出力 CH 毎に任意の信号を割り当てます。
Source CH 1-16：内部処理された SOURCE チャネルの信号
500Hz/1KHz：テスト信号
Silence：無音信号
Down Mix L/R：SOURCE チャネルの信号から生成されたダウンミックス信号
Dolby Decoder1-8：Dolby デコードされた PCM 信号
Dolby Down Mix L/R：Dolby デコードされた PCM 信号から生成されたダウンミックス信号
Loudness 1/2 Left:
Loudness 1/2 Right
Loudness 1/2 Center:
Loudness 1/2 LFE:
Loudness 1/2 Ls:
Loudness 1/2 Rs:
選択された Source チャネルの信号をラウドネス処理した信号</td></tr>
<tr><td>Loudness 1- *6
Loudness 2- *6</td><td>Left
Right
Center
LFE
Ls
Rs</td></tr>
</table>

*1 Source の設定は、「9-3-4 Source Select」を参照してください。

*2 Down Mix の設定は、「9-3-9 5.1ChDown Mix」を参照してください。

*3 Dolby Decoder の設定は、「9-3-14 Dolby E/Digital Decoder」を参照してください。

*4 Dolby Down Mix の設定は、「9-3-14 Dolby E/Digital Decoder」を参照してください。

*5 FA-95D-D オプションが装着されていない場合は表示されません。

*6 FA-95ALA オプションが装着されていない場合は表示されません。
Loudness 1/2 の設定は「9-3-17. Automatic Loudness Adjustment (FA-95ALA)」を参照してください。

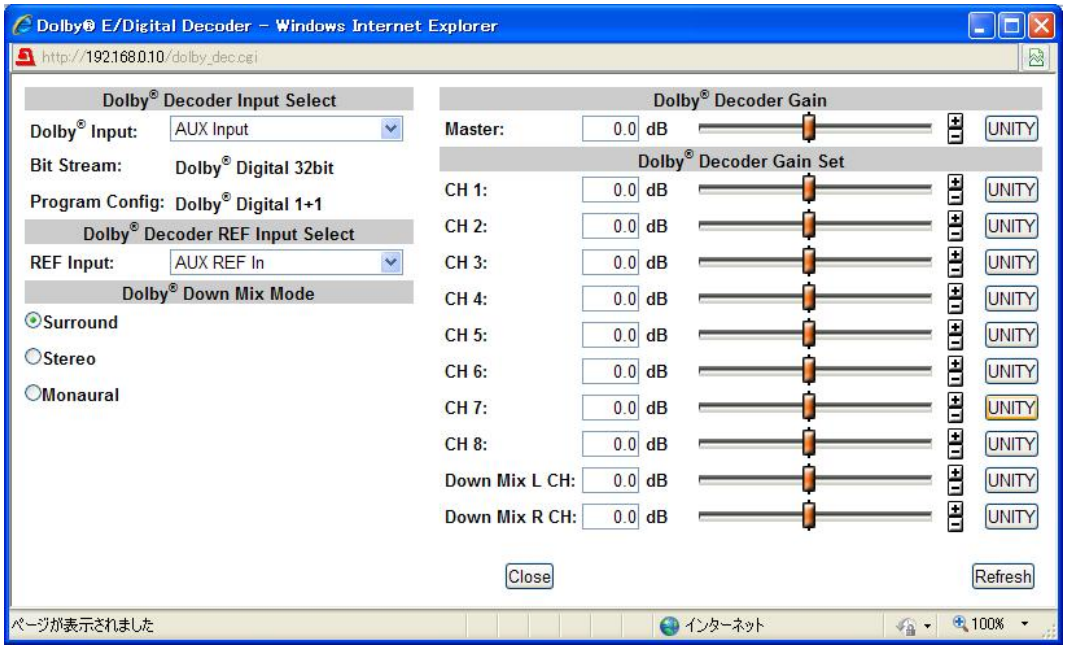
◆ **Analog Audio Mono Sum**

項目	初期値	設定範囲	説明
CH 1/2 CH 3/4	Disable	Disable Enable	チャネルペアで Mono Sum 出力する場合 **Enable** に設定します。

☞ Source の信号割り付けを変更するには、「9-3-4 Source Select」を参照してください。ダウンミックスの設定方法は、「9-3-9 5.1Ch Down Mix」を参照してください。

9-3-14. Dolby E/Digital Decoder

FA-95D-D または FA-95DE-E が実装されている場合、Audio ブロック図の⑭をクリックすると、Dolby Decoder 設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ Dolby Decoder Input Select

項目	初期値	設定範囲	説明
Dolby Input	AUX Input	AUX Input Source 1/2 -15/16	Dolby デコーダに入力する信号を選択します。 **AUX Input**: Dolby オプション入力端子(Dolby IN)に入力された信号 **Source 1/2 – 15/16**:「9-3-4 Source Select」で選択された SOURCE チャネルの信号
Bit Stream	-	Dolby Digital 32bit Dolby Digital 16bit 1CH Dolby Digital 16bit 2CH Dolby Digital 16bit 1/2CH Dolby E 24bit Dolby E 20bit Dolby E 16bit PCM Loss Error	INPUT で選択された信号の種類、ビット幅を表示します。 PCM：通常音声信号 Loss：無入力 Error：判別不可

項目	初期値	設定範囲	説明
Program Config	-	Dolby E 5.1+2 Dolby E 5.1+2x1 Dolby E 4+4 Dolby E 4+2x2 Dolby E 4+2+2x1 Dolby E 4+4x1 Dolby E 4x2 Dolby E 3x2+2x1 Dolby E 2x2+4x1 Dolby E 2+6x1 Dolby E 8x1 Dolby E 5.1 Dolby E 4+2 Dolby E 4+2x1 Dolby E 3x2 Dolby E 2x2+2x1 Dolby E 2+4x1 Dolby E 6x1 Dolby E 4 Dolby E 2+2 Dolby E 2+2x1 Dolby E 4x1 Dolby E 7.1 Dolby E 7.1Screen NON-Dolby E	INPUT で選択された信号のプログラムコンフィグレーション（コーディングモード）を表示します。 プログラムコンフィグレーション（コーディングモード）と出力信号チャネルの関係は「13　Dolby E エンコード／デコード信号アサイン表」の Dolby E/Digital Decoder Output Channel Assignment の表を参照してください。
		Dolby Digital 1+1 Dolby Digital 1/0 Dolby Digital 2/0 Dolby Digital 3/0 Dolby Digital 2/1 Dolby Digital 3/1 Dolby Digital 2/2 Dolby Digital 3/2 Dolby Digital 3/0L Dolby Digital 2/1L Dolby Digital 3/1L Dolby Digital 2/2L Dolby Digital 3/2L	
		Loss Invalid	

◆ **Dolby Decoder REF Input Select**

項目	初期値	設定範囲	説明
REF Input	AUX REF IN	Output Video AUX REF In Input Video	Dolby デコーダに入力するリファレンス信号を選択します。Dolby デコーダからの PCM 出力は、選択されたリファレンス信号を基準に出力されます。 **Output Video**:出力 VIDEO 信号をリファレンスとして使用します。 **AUX REF In**:Dolby オプション端子(REF IN)の入力信号を使用します。 REF IN が無入力の場合は、フリーラン動作となります。 **Input Video**:入力 VIDEO 信号をリファレンスとして使用します。

◆ **Dolby Down Mix Mode**

項目	初期値	設定範囲	説明
Mode	Surround	Surround Stereo Monaural	Dolby デコーダのダウンミックスモードを選択します。

◆ **Dolby Decoder Gain**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
Master	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB (0.1 dB)	Dolby デコードされた全ての信号に対してゲインにオフセットを設定します。

◆ **Dolby Decoder Gain Set**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
CH 1-8 Down Mix L CH Down Mix R CH	0.0 dB	-20.0 - +20.0 dB*1 (0.1 dB)	Dolby デコーダの各チャンネルのゲインを設定します。

*1 Master と個別 CH の設定の結果、上限下限を超える場合は上限下限でクリップが掛かります。

9-3-15. Dolby AUX Output Select

FA-95D-D または FA-95DE-E が実装されている場合、Audio ブロック図の⑮をクリックすると、Dolby AUX Output 設定 Window が開きます。

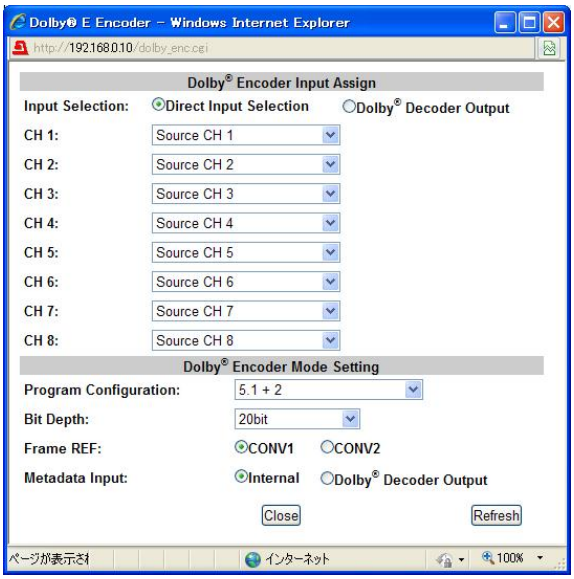
設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

項目	初期値	設定範囲	説明
Output	Dolby Decoder CH 1/2	Dolby Decoder CH 1/2 Dolby Decoder CH 3/4 Dolby Decoder CH 5/6 Dolby Decoder CH 7/8 Dolby Down Mix L/R Dolby Encoder CH 1/2 *1 500Hz Tone 1kHz Tone Silence None	Dolby オプションの出力端子(Dolby OUT)から出力する信号を選択します。 **Decoder Output CH 1/2 – CH 7/8**: Dolby デコードされた PCM 信号 **Dolby Down Mix L/R**: Dolby デコードされた PCM から生成されたダウンミックス信号 **Dolby Encoder CH 1/2**: 選択された SOURCE チャネルの信号をエンコードした Dolby E 信号 **500Hz Tone**:500Hz/1KHz のテスト信号(TONE) **1kHz Tone**:500Hz/1KHz のテスト信号(TONE) **Silence**:無音信号 **None**:信号を出力しません。

*1 FA-95DE-E オプションが装着されていない場合は表示されません。

9-3-16. Dolby E Encoder

FA-95DE-E が実装されている場合、Audio ブロック図の⑯をクリックすると、Dolby E Encoder 設定 Window が開きます。



設定が終了したら、**Close** をクリックして Window を閉じます。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **Dolby Encoder Input Assign**

項目	初期値	設定範囲	説明
Input Selection	Direct Input Selection	Direct Input Selection Dolby Decoder Output	Dolby エンコーダに入力する音声信号セレクションを選択します。*1 **Direct Input Selection**: FA-9520 本体の Source チャネルの信号 **Dolby Decoder Output**: Dolby デコーダの出力信号 *1
CH 1-8	*2	Direct Input Selection 選択時 Source CH1-CH16 PCM Down Mix L PCM Down Mix R 500Hz TONE 1KHz TONE Silence	<Direct Input Selection 選択時> **Source CH1-CH16**:「6-5 AUDIO MAPPING」で選択された SOURCE チャネルの信号 **PCM Down Mix L/R**: SOURCE チャネルの信号から生成されたダウンミックス信号 **500Hz/1KHz TONE**: 500Hz/1KHz TONE のテスト信号 **Silence**: 無音信号
		Loudness 1- *3 Loudness 2- *3 Left Right Center LFE Ls Rs	**Loudness 1/2 Left** **Loudness 1/2 Right** **Loudness 1/2 Center** **Loudness 1/2 LFE** **Loudness 1/2 Ls** **Loudness 1/2 Rs** 選択された Source チャネルの信号をラウドネス処理した信号
		Dolby Decoder Output 選択時 Dolby Decoder CH 1-8 Dolby Down Mix L DolbyDown Mix R 500Hz TONE 1KHz TONE Silence	<Dolby Decoder Output 選択時> **Dolby Decoder CH 1-8**: Dolby デコーダからの PCM 信号 **DolbyDown Mix L/R**: Dolby デコードされた PCM から生成されたダウンミックス信号 **500Hz/1KHz TONE**: 500Hz/1KHz TONE のテスト信号 **Silence**: 無音信号

*1 Direct Input Selection と Dolby Decoder Output の CH1-8 の設定はそれぞれ変更するまで保持され、Direct Input Selection と Dolby Decoder Output を切り替えると、CH1-8 の設定は、設定した側の設定に変更されます。Direct Input Selection からの信号と Dolby Decoder Output からの信号を混在させて Dolby エンコーダに入力することはできません。また、

Dolby Decoder Output の入力信号が Dolby Digital 信号の場合には、Dolby E 信号に再エンコードすることはできません。

*2 CH1-8 に対応した Source チャネルがそれぞれ初期値として設定されます。
Input Selection の設定が Direct Input Selection の場合は、CH1: Source CH1 - CH8: Source CH8 となります。
Input Selection の設定が Dolby Decoder Output の場合は、CH1: Dolby DEC 1 - CH8: Dolby DEC 8 となります。

*3 オプションスロットに、FA-95ALA が実装されていない場合は表示されません。
Loudness 1/2 の設定は「9-3-17. Automatic Loudness Adjustment (FA-95ALA)」を参照してください。

◆ **Dolby Encoder Mode Setting**

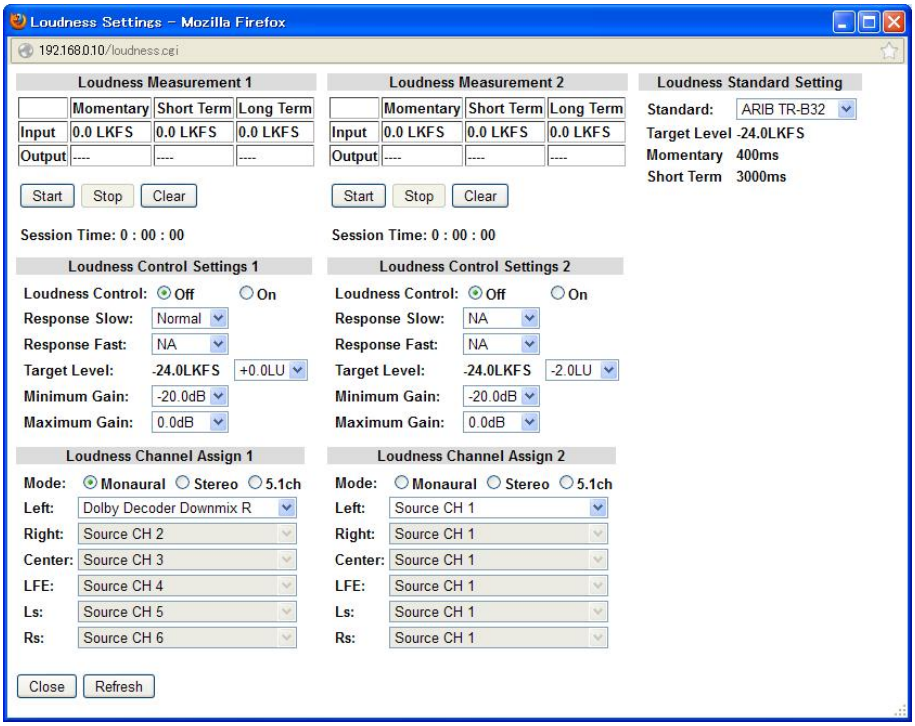
項目	初期値	設定範囲	説明
Program Configuration	5.1+2	5.1+2 *1 5.1+2x1 *1 4+4 *1 4+2x2 *1 4+2+2x1 *1 4+4x1 *1 4x2 *1 3x2+2x1 *1 2x2+4x1 *1 2+6x1 *1 8x1 *1 5.1 4+2 4+2x1 3x2 2x2+2x1 2+4x1 6x1 4 2+2 2+2x1 4x1 7.1 *1 7.1 Screen *1	Dolby E エンコードのプログラムコンフィグレーションを設定します。
Bit Depth	20bit	20bit 16bit	Dolby E エンコード出力のビット幅を設定します。
Frame REF	CONV1	CONV1 CONV2	Dolby E エンコード出力を同期させるビデオ出力（コンバータ 1 または 2）を選択します。*2
Meta Data Input	Internal	Internal Dolby Decoder Output	Dolby E エンコードのメタデータを選択します。 **Internal**： Program Configuration、Bit Depth 設定が有効になります。その他のメタデータは初期値となります。 **Dolby Decoder Output** : Dolby デコーダに入力された Dolby E 信号のメタデータを使用します。 Program Configuration と Bit Depth の設定は反映されません。

*1 Bit Depth の設定を 16bit にしている場合「＊」が表示され、内部設定が 5.1 になります。これらのプログラムコンフィグレーションを使用する場合は Bit Depth の設定を 20bit にしてください。

*2 CONV1、CONV2 の設定は、それぞれ「9-2-6 Converter1(Up/Down/Cross」、「9-2-7 Converter2(Down/Cross)」を参照してください。

9-3-17. Automatic Loudness Adjustment (FA-95ALA)

FA-95ALA が実装されている場合、Audio ブロック図の⑰をクリックすると、オートマチック ラウドネス アジャストメント設定 Window が開きます。



◆ **Loudness Measurement1/2**

Input に、 FA-95ALA に入力されているオーディオ信号のラウドネスレベル測定値を LKFS 単位で表示します。Output は、ラウドネスレベル処理後の値を LKFS 単位で表示します。

項目	初期値	設定範囲	説明
Input	-	-	FA-95ALA に入力したオーディオ信号のラウドネスレベル測定値を LKFS 単位で表示します。
Output	-	-	FA-95ALA から出力されるオーディオ信号のラウドネスレベル測定値を LKFS 単位で表示します。 Loudness Control を On に設定し、Start をクリックしてラウドネス処理を開始すると表示されます。
Start	-	-	Start をクリックすると、Stndard で設定されたラウドネス規格値に音声処理を開始します。
Stop	-	-	Stop をクリックすると、ラウドネス音声処理を停止します。
Clear	-	-	Clear をクリックすると、ラウドネス音声処理がクリアされ、クリアされた時点からラウドネス音声処理が再開されます。 処理時間 Session Time は、一旦 0:00:00 になります。
Session Time			ラウドネス音声処理時間が表示されます。 6:59:59 を超えると、0:00:00 に戻ります。 ラウドネス音声処理が自動でクリアされ、ラウドネス音声処理が再開されます。

◆ **Loudness Control Settings 1/2**

項目	初期値	設定範囲	説明
Loudness Control	Off	Off On	ラウドネスレベル調整機能の On/Off を行います。入力信号のラウドネス値測定のみ行いたい場合は Off で使用してください。On/Off の切り替えはラウドネス測定がストップ状態のとき可能となります。
Response Slow	Normal	NA -4, -3, -2, -1 Normal +1, +2, +3, +4	ラウドネスレベル調整機能 (SLOW) の応答速度を設定します。時間の経過と共に、ラウドネス値 (Long Term) を設定しているターゲットレベル値に微調整（レベル増減）することができます。 設定値を大きくすると応答速度が増し、より強いレベル調整処理が行われます。 **NA**: 調整機能 (Response Slow) を無効にします。
Response Fast	Normal	NA -4, -3, -2, -1 NORMAL +1, +2, +3, +4	ラウドネスレベル調整機能 (Response Fast) の応答速度を設定します。レベルの瞬時値を算出し、最短時間で調整（レベルダウンのみ）を行うことができます。 設定値を大きくすると応答速度が増し、より強いレベル調整処理が行われます。 **NA**: 調整機能 (Response Fast) を無効にします。
Target Level	+0.0 LU	-2.0~+2.0 LU (0.1 LU)	ラウドネスレベル調整時の目標値（オフセット）を設定します。左側は Standard で設定した規格のラウドネスのターゲットレベルが表示されます。
Minimum Gain	0.dB	0.0~5.0 dB (1.0 dB)	ラウドネスレベル調整時の最大ゲイン量（限界値）を設定します。レベル調整による増幅量を制限することができます。

注意 Response 設定は、入力した音声素材によって調整してください。音量のばらつきが大きい素材に対しては各設定値を大きく、レベル処理を最小限に抑えたい音楽素材などに対しては設定値を小さくすることを推奨します。

◆ **Loudness Channel Assing 1/2**

項目	初期値	設定範囲	説明
Mode	Stereo	Monaural *4 Stereo 5.1 CH	ラウドネスレベル測定・調整する音声モードを設定します。 **Monaural**: L チャネルのみを対象とします。その他のチャネルは無効表示になり選択できません。 **Stereo**: L、R チャネルのみを対象とします。その他のチャネルは無効表示になり選択できません。 **5.1 CH**: 全てのチャネルを対象とします。
Left	Source CH1 *3	Source CH1～16 *5 Down Mix Left Down Mix Right Dolby Decoder CH1～8 *6 Dolby Decoder Downmix L *6 Dolby Decoder Downmix R *6	ラウドネスレベル測定・調整する入力信号を選択します。 **Source 1-16**:「9-3-4 Source Select」で選択された SOURCE チャネルの信号 **Down Mix Left/Right:** 内部生成されたダウンミックス出力信号 **Dolby Decoder CH1-8**: Dolby デコーダからの出力信号 **Dolby Decoder Downmix**: Dolby デコーダからのダウンミックス出力
Right *1	Source CH2 *3		
Center *2	Source CH3 *3		
LFE *2	Source CH4 *3		
Ls *2	Source CH5 *3		
Rs *2	Source CH6 *3		

*1 Mode が Stereo か 5.1ch の場合に設定可能です。

*2 Mode が 5.1ch の場合に設定可能です。

*3 Loudness Assign 2 の場合それぞれ、Source CH9～14 になります。
*4 Monaural 設定時は、出力音声選択（各 Audio Output Setting メニュー）で Loudness 1/2-R を選択した場合、Loudness1/2-L と同一の信号が出力されます。
*5 SRC を通過させた信号のみコントロール可能になります。SRC の設定については「9-3-6. SRC Mode」を参照してください。
*6 FA-95D-D または FA-95DE-E が実装されている場合に表示されます。
※ LFE チャネルは測定には含まれませんが、調整時の対象になります

◆ **Loudness Standars Setting**

項目	初期値	設定範囲	説明
Standard	ARIB TR-B32	ARIB TR-B32 ATSC A85 EBU-R128 ITU R BS.1770	ラウドネスレベル測定・調整する規格を選択します。

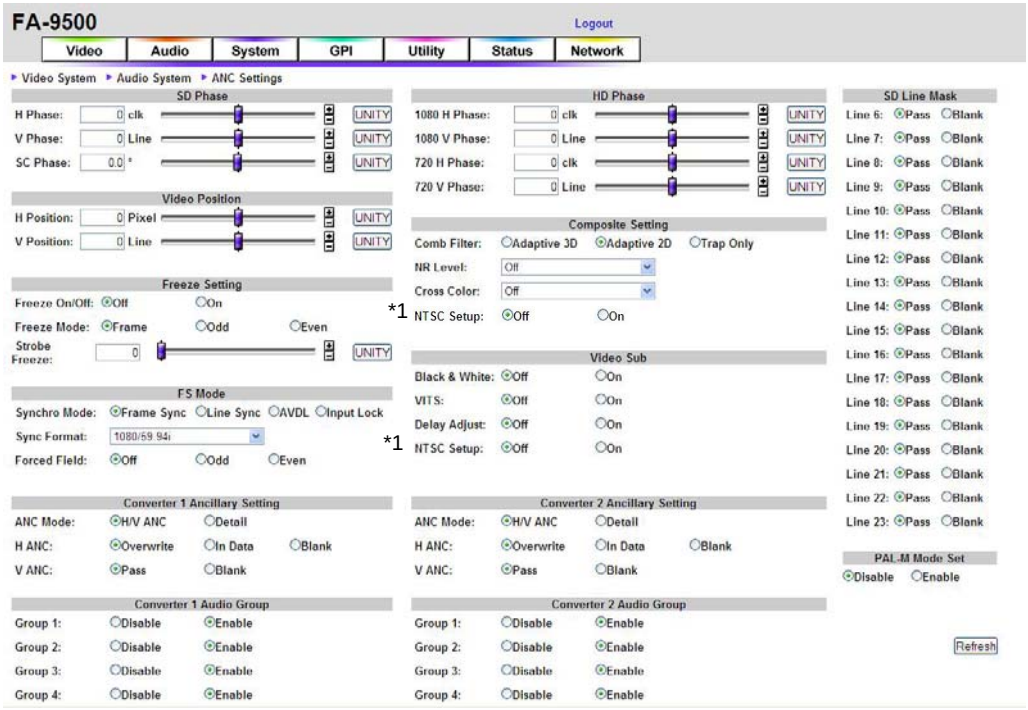
FA-95ALA で設定されている各規格のパラメータ

パラメータ	ARIB TR-B32	ATSC A/85	EBU-R128	ITU-R BS.1770
Target Level	-24.0 LKFS	-24.0 LKFS	-23.0 LUFS	-24.0 LKFS
Momentary Average Time	400 msec	125 msec	400 msec	400 msec
Short Term Average Time	3000 msec	10000 msec	3000 msec	3000 msec
Absolute Gating	-70.0 LKFS	NONE	-70.0 LUFS	-70.0 LKFS
Relative Gating	-10 LU	NONE	-10 LU	-10 LU
Overlap Size	75%	0%	75%	75%

9-4. SYSTEM 関連項目の制御

画面上部の System のタブをクリックすると、System 関連のブロック設定画面が表示されます。Audio System Window に切り替える場合は、左上の ▸Video System ▸Audio System で Audio System をクリックすると Audio System 画面に移動します。Video System をクリックすると Video System に戻ります。

9-4-1. Video System



*1　FA-95AIO が実装されている場合、Video Sub に“NTSC Setup”が表示されます。FA-95AIO が実装されていない場合は、Composite Setting に“NTSC Setup”が表示されます。

Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。
Unity をクリックすると初期値に設定されます。
+ をクリックすると設定値の最小ステップで値が上がります。
- をクリックすると設定値の最小ステップで値が下がります。

「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

◆ **SD Phase *1**

項目	初期値	設定範囲（設定単位）	説明
H Phase	0 clk	-864 - 864 clk　(1 clk)	ゲンロック信号を基準にして、システムの水平／垂直位相を調整します。出力時の SD 映像信号に適用されます。
V Phase	0 Line*2 (Frame, Input) 1 Line*2 (Line, AVDL)	-313 - 313 Lines (1 Lines)	
SC Phase	0°	-179.8° - 180°	BB のゲンロック信号を基準にして、コンポジットおよび Y/C 出力信号の SC 位相を調整します。ゲンロック信号が 3 値シンクの場合設定できません。

*1　ゲンロック信号が入力されていない場合は、設定できません。
*2　Synchro Mode の設定で初期値が下表のように変わります。また、Synchro Mode の設定を変更した場合は、常に該当する初期値に設定されます。

SYNCHRO	IN SEL	初期値
FRAME	―	0
LINE	SDI1, 2	1
	Composite (525/60 入力時)	3
	Composite (625/50 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C以外入力時)	1
AVDL	SDI1, 2	1
	Composite (525/60 入力時)	3
	Composite (625/50 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C以外入力時)	1
INPUT	SDI1, 2	0
	Composite (525/60 入力時)	2
	Composite (625/50 入力時)	3
	Component (Y/C 入力時)	4
	Component (Y/C 以外入力時)	1

◆ **HD Phase *1**

項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	説明
1080 H Phase	0 clk	-1375 - 1375 clk (1 clk)	ゲンロック信号を基準にして、システムの水平／垂直位相を調整します。出力時の 1080 系列の映像信号に適用されます。
1080 V Phase	0 Line*2 (Frame, Input) 1 Line*2 (Line, AVDL)	-563 - 563 Lines (1 Lines)	
720 H Phase	0 clk	-2063 - 2063 clk (1 clk)	ゲンロック信号を基準にして、システムの水平／垂直位相を調整します。出力時の 720 系列の映像信号に適用されます。
720 V Phase	0 Line*2 (Frame, Input) 1 Line*2 (Line, AVDL)	-375 - 375 Lines (1 Lines)	

*1 ゲンロック信号が入力されていない場合は、設定できません。

*2 Synchro Mode の設定で初期値が下表のように変わります。また、Synchro Mode の設定を変更した場合は、常に該当する初期値に設定されます。

SYNCHRO	IN SEL	初期値
FRAME	―	0
LINE	SDI1, 2	1
	Composite (525/60 入力時)	3
	Composite (625/50 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C以外入力時)	1
AVDL	SDI1, 2	1
	Composite (525/60 入力時)	3
	Composite (625/50 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C 入力時)	4
	COMPONENT (Y/C以外入力時)	1
INPUT	SDI1, 2	0
	Composite (525/60 入力時)	2
	Composite (625/50 入力時)	3
	Component (Y/C 入力時)	4
	Component (Y/C 以外入力時)	1

◆ **Video Position**

項目	初期値	設定範囲（設定単位）	説明
H Position	0 Pixel	525/60i ±92 625/50 ±92 1080/59i ±240 1080/50i ±240 1080/23 PsF ±240 1080/24 PsF ±240 720/59p ±160 720/50p ±160 1080/59p ±240 *1 1080/50p ±240 *1 (Pixel)	出力映像の水平/垂直の位置を調整します。
V Position	0 Line	525/60i ±30 625/60i ±36 1080/59i ±68 1080/50i ±68 1080/23 PsF ±68 1080/24 PsF ±68 720/59p ±90 720/50p ±90 1080/59p ±135 *1 1080/50p ±135 *1 (Line)	

*1 FA-95-3G オプション インストール時に設定可能です。

◆ **Freeze Settings**

項目	初期値	設定範囲	説明
Freeze On/Off *1	Off	Off, On	フリーズの **On/Off** を設定します。
Freeze Mode *2	Frame	Frame Odd, Even	フリーズ動作時のモードを選択します。
Strobe Freeze	0	0 – 255	フレームフリーズまたは、フィールドフリーズする際、フリーズ画面をリフレッシュする間隔をフレーム数で設定します。 (0 に設定すると画面のリフレッシュを行いません。)

*1 Freeze On/Off を On の設定状態から、FS Mode, SynchroMode を設定変更した場合、フリーズは自動で Off になります。SynchroMode が、Line Sync, AVDL, Input Lock 設定の場合 Freeze On/Off を On にすることはできません。
また、電源起動時は必ず Off で起動します。イベントメモリには保存されません。

*2 入力信号が、プログレッシブ／セグメントフレーム信号の場合、Freeze Mode は Frame に自動設定され設定変更できません。詳細は、Freeze Mode 設定一覧表を参照してください。

Freeze Mode 設定一覧表

	入力信号									
Sync Format 設定	525/60	625/50	1080/59i	1080/50i	720/59p	720/50p	1080/23PsF	1080/24PsF	1080/59p	1080/50p
AUTO	OE	OE	OE	OE	F	F	F	F	F	F
525/60	OE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE
625/50	NOE	OE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE
1080/59i	NOE	NOE	OE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE
1080/50i	NOE	NOE	NOE	OE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE	NOE
720/59p	NF	NF	NF	NF	F	NF	NF	NF	NF	NF
720/50p	NF	NF	NF	NF	NF	F	NF	NF	NF	NF
1080/23PsF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	F	NF	NF	NF
1080/24PsF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	F	NF	NF
1080/59p	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	F	NF
1080/50p	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	NF	F

OE： Frame/Odd/Even 設定可能
F：Frame 固定
NOE：Frame/Odd/Even 設定可能、映像は正しく表示されません。
NF：Frame 固定、映像は正しく表示されません。

◆ **FS Mode**

項目	初期値	設定範囲	説明
Synchro Mode *1 *3 *4 *5 *6 *7	Frame Sync	Frame Sync Line Sync AVDL *8 Input Lock *1	**Frame Sync：** ゲンロック信号に対して、ビデオ信号の H/V 方向の引き込みを行います。ゲンロック信号とビデオ入力信号が同期/非同期のどちらでも使用できます。 **Line Sync:** ゲンロック信号に対して、±1/2H の引き込みを行い、1H 遅延で出力します。ゲンロック信号とビデオ入力信号が同期の場合にのみ使用できます。 **AVDL:** 入力ビデオ信号をゲンロック信号に対して、1H 遅延で出力します。ゲンロック信号とビデオ信号が同期している場合に使用できます。 **Input Lock:** ビデオ入力信号に同期して出力します。遅延量は System Phase および Frame Delay を使用し設定可能ですが、最小遅延は全フォーマット共通で 520clk となります。（HD：74MHz、SD：27MHz 単位）ゲンロック信号は使用しません。
Sync Format *9	Auto Detect	Auto Detect 525/60 625/50 1080/59.94i 1080/50i 720/59.94p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF 1080/59.94p *2 1080/50p *2	FA-9500 の System Format を設定します。 **Auto Detect** は、入力信号に自動追従します。 その他の設定時は、指定されたビデオフォーマットで動作します。
Forced Field *3, *5	Off	Off Odd Even	指定したフィールドでフレームを構成し出力します。 コンポジット信号入力時に機能します。

*1 Synchro Mode を Input Lock モードに設定し、規格を満たしていないコンポジット信号を入力した場合、正常に動作しないことがあります。この場合、Synchro Mode を Frame Sync に設定して使用してください。また、Synchro Mode を Input Lock モードに設定した場合、Converter 出力と BY-PASS 出力の遅延差を 1 Frame に抑えるためには、入出力遅延（位相）を 1 Line 以上に設定する必要があります。「9-2-6 Converter1」「9-2-7 Converter 2」および「9-4-1 Video System」の SD Phase と HD Phase を参照して設定してください。

*2 オプションの FA-95-3G インストール時に選択可能です。

*3 「9-2-1 Input Select」を Composite に、Synchro Mode を Frame Sync に設定した状態で Forced Field で Odd/Even を選択したとき、「9-2-3 Frame Delay」が 0 の場合は 1 Frame に変更されます。Frame Delay は、1 〜8 Frame の範囲で設定してください。

*4 Synchro Mode 設定が Line Sync, AVDL 設定の場合、「9-2-3 Frame Delay」を設定することができません。

*5 Synchro Mode 設定が Line Sync, AVDL, Input Lock 設定の場合 Forced Field を設定することができません。

*6 Synchro Mode 設定を Line Sync, AVDL, Input Lock に設定した場合、GPI 入力の Freeze は動作しません。詳細は、「9-5. GPI」を参照してください。

*7 Synchro Mode を変更した場合、HD Phase の 1080 V Phase, 720 V Phase の値と SD Phase の V Phase の設定値が、変更した Synchro Mode の初期値に設定されます。

*8 位相の異なった信号を、ルータ等で切り替えて FA-9500 へ入力する場合、各ビデオ信号の位相差 (ゲンロック信号に対するビデオ信号の位相差) が以下の範囲内であれば、切り替え時の映像／音声のショックはありません。以下の範囲を超えるとショックが発生します。

ビデオフォーマット	ゲンロック信号に対するビデオ信号の位相差
SD	-1H (ビデオフォーマットにより数ライン異なる) 〜 +1/2H
HD	-5H (ビデオフォーマットにより数ライン異なる) 〜 +1/2H

入力信号と同期結合可能な REF 信号表

	REF 入力信号							
入力信号	525/60	1080/59i	720/59p	625/50	1080/50i	720/50p	1080/23PsF	1080/24PsF
525/60	○	○	△	×	×	×	△	×
1080/59i	○	○	△	×	×	×	△	×
720/59p	○	○	○	×	×	×	△	×
1080/59p	○	○	○	×	×	×	△	×
625/50	×	×	×	○	○	△	×	△
1080/50i	×	×	×	○	○	△	×	△
720/50p	×	×	×	○	○	○	×	△
1080/50p	×	×	×	○	○	○	×	△
1080/23PsF	△	△	△	×	×	×	○	×
1080/24PsF	×	×	×	△	△	△	×	○

○：SYNCHRO が、FRAME /LINE/AVDL で同期可能
△：SYNCHRO が、FRAME のみ同期可能
×：同期不可

*9　オプションの FA-95CO インストール時、「9-2-1 Input Select」の Format Error Trigger が有効になっていると設定できません。

◆ **Composite Setting**

項目	初期値	設定範囲	説明
Comb Filter	Adaptive 2D	Adaptive 3D Adaptive 2D Trap Only	コンポジット入力信号の Y/C 分離のモードを設定します。
NR Level	Off	Off Level 1 - 4	コンポジット入力信号の NR(ノイズリデューサ)レベルを設定します。
Cross Color	Off	Off Level 1 - 3	クロスカラーの除去レベルを設定します。
NTSC Setup	Off	Off On	コンポジット入出力信号のセットアップ無しで動作させる場合は、OFF に、セットアップ有で動作させる場合は ON に設定します。

*1　FA-95AIO が実装されている場合、Video Sub に“NTSC Setup”が表示されません。

◆ **Video Sub**

項目	初期値	設定範囲	説明
Black & White	Off	Off On	白黒映像信号にする場合 **On** にします。
VITS	Off	Off On	**On** に設定した場合、コンポシット信号の 11～21 ラインを通過させます。
Delay Adjust	Off	Off On	コンバータ処理すると映像遅延が発生しますので、未処理出力と処理出力の位相を合わせる機能です。 **On** に設定すると、両出力の位相を合わせ、自動的に音声遅延量も追加されます。遅延量については「5-10-4 VIDEO SUB」の表を参照してください。
NTSC Setup *1	Off	Off On	コンポジット/コンポーネント入出力信号のセットアップ無しで動作させる場合は、**Off** に、セットアップ有で動作させる場合は **On** に設定します。

*1　FA-95AIO が実装されている場合、Video Sub に“NTSC Setup”が表示されます。

◆ **Converter1 Ancillary Setting**

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC Mode	H/V ANC	H/V ANC Detail	Converter1 出力のアンシラリの動作モードを設定します。H/V ANC に設定すると、H ANC, V ANC, の項目が表示され設定可能になります。「9-4-3. ANC Setting」の ANC Data Embed を使用する場合は、必ず Detail に設定してください。
H ANC *	Overwrite	Overwrite In Data Blank	Converter1 の H アンシラリに AUDIO の重畳を設定します。 **Overwrite:**入力 SDI にエンベッド されたオーディオ信号を削除し、プロセスしたオーディオデータをエンベッドします。エンベデッドオーディオは、Converter1 Audio Group の設定に従います。オーディオ信号以外の入力 SDI データは、オーディオデータの後にエンベッドされます。 **In Data:**入力 SDI H ANCI 信号を全て通過させます。（プロセスしたオーディオデータをエンベッドできません） **Blank :**H ANCI 信号を全て削除しプロセスしたオーディオデータをエンベッドします。
V ANC *	Pass	Pass Blank	V アンシラリのデータの重畳を設定します。 **Pass** : 入力信号の V アンシラリのデータを内部処理せずに重畳します。 **Blank**：V ANCI 信号を全て削除します。

* H ANC, V ANC 設定とも、入出力フォーマットが同じ場合のみ有効になります。入出力フォーマットが異なる場合は共に BLANK 設定になります。

◆ **Converter2 Ancillary Setting**

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC Mode	H/V ANC	H/V ANC Detail	Converter2 出力のアンシラリの動作モードを設定します。H/V ANC に設定すると、H ANC, V ANC, の項目が表示され設定可能になります。「9-4-3. ANC Setting」の ANC Data Embed を使用する場合は、必ず Detail に設定してください。
H ANC *	Overwrite	Overwrite In Data Blank	Converter2 の H アンシラリに AUDIO の重畳を設定します。 **Overwrite:**入力 SDI にエンベッドされたオーディオ信号を削除し、プロセスしたオーディオデータをエンベッドします。エンベデッドオーディオは、Converter2 Audio Group の設定に従います。オーディオ信号以外の入力 SDI データは、オーディオデータの後にエンベッドされます。 **In Data:**入力 SDI H ANCI 信号を全て通過させます。（プロセスしたオーディオデータをエンベッドできません） **Blank:**H ANCI 信号を全て削除しプロセスしたオーディオデータをエンベッドします。
V ANC *	Pass	Pass Blank	V アンシラリのデータの重畳を設定します。 **Pass** : 入力信号の V アンシラリのデータを内部処理せずに重畳します。 **Blank**：V ANCI 信号を全て削除します。

* H ANC, V ANC 設定とも、入出力フォーマットが同じ場合のみ有効になります。入出力フォーマットが異なる場合は共に BLANK 設定になります。

◆ **Converter1 Audio Group**

項目	初期値	設定範囲	説明
Group 1 *1	Enable	Disable Enable *3	**Disable**; : Group1 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **Enable** : GROUP1 のエンベデットオーディオが重畳されます。
Group 2 *1	Enable	Disable Enable *3	**Disable** : Group2 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **Enable** : GROUP2 のエンベデットオーディオが重畳されます。
Group 3 *1	Enable	Disable Enable *3	**Disable** : Group3 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **Enable** : GROUP3 のエンベデットオーディオが重畳されます。
Group 4 *1*2	Enable	Disable Enable *3	**Disable** : Group4 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **Enable** : GROUP4 のエンベデットオーディオが重畳されます。

*1 「Converter 1 Ancillary Setting」で H ANC で設定が Overwrite、Blank の場合に機能します。
*2 SD-SDI を出力している場合、GROUP4 の設定にかかわらず GROUP4 は、出力されません。
*3 入出力フォーマットが同じ場合、H ANC=In Data 設定のときは無効です。

◆ **Converter2 Audio Group**

項目	初期値	設定範囲	説明
Group1 *1	Enable	Disable Enable *3	**Disable** : Group1 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **Enable** : GROUP1 のエンベデットオーディオが重畳されます。
Group 2 *1	Enable	Disable Enable *3	**Disable** : Group2 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **Enable** : GROUP2 のエンベデットオーディオが重畳されます。
Group 3 *1	Enable	Disable Enable *3	**Disable** : Group3 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **Enable** : GROUP3 のエンベデットオーディオが重畳されます。
Group 4 *1*2	Enable	Disable Enable *3	**Disable** : Group4 のエンベデットオーディオが重畳されません。 **Enable** : GROUP4 のエンベデットオーディオが重畳されます。

*1 「Converter 2 Ancillary Setting」で H ANC で設定が Overwrite、Blank の場合に機能します。
*2 SD-SDI を出力している場合、GROUP4 の設定にかかわらず GROUP4 は、出力されません。
*3 入出力フォーマットが同じ場合、H ANC=In Data 設定のときは無効です。

◆ **SD Line Mask**

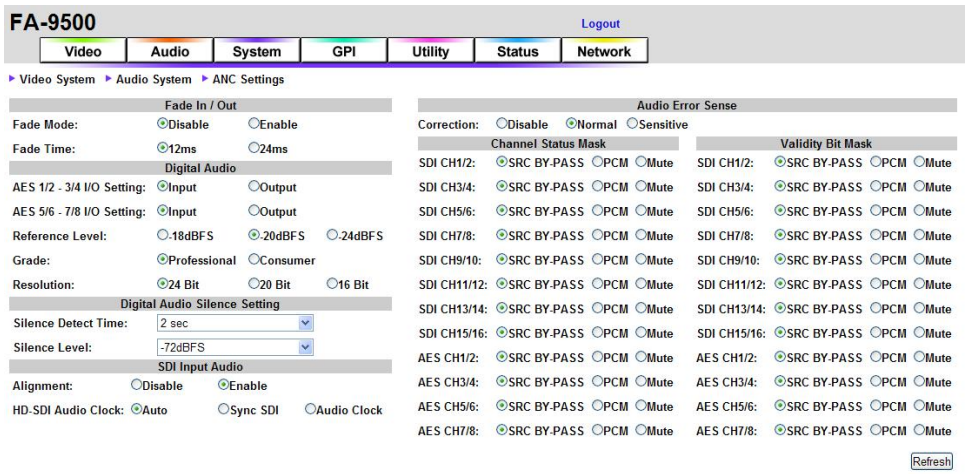
項目	初期値	設定範囲	説明
Line6-23	Pass	Pass Blank	**Pass:** コンポジット, Y/C, SD-SDI 入力信号の Line 番号が処理されずに、コンポジット, Y/C, SD-SDI 信号に出力されます。 **Blank:** コンポジット, Y/C, SD-SDI 出力信号の設定した Line 番号をマスクして出力します。

◆ **PAL-M Mode Set**

項目	初期値	設定範囲	説明
PAL-M Mode Set	Disable	Disable Enable	Disable: NTSC/PAL 信号を出力することができます。 Enable: PAL-M 信号を出力することができます。*1

*1 COMPOSITE, Y/C 出力を PAL-M モードに設定します。入力については NTSC および PAL を入力することができますが、出力から NTSC を出力することはできなくなります。GENLOCK 入力では PAL-M 信号を 525/60 として動作しますので、NTSC の BB 信号では正常に動作しなくなります。（その他の PAL、3 値シンク信号は使用できます。）

9-4-2. Audio System



「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **Fade In/Out**

項目	初期値	設定範囲	説明
Fade Mode	Disable	Disable Enable	**Disable:** フェード、ミュート処理を行わず、常に音声をそのまま通過させます。 **Enable:** 入力オーディオ信号のエラーを検出すると、フェードアウトしてオーディオ信号を MUTE します。正常復帰後、フェードインします。 *1
Fade Time	12ms	12ms 24ms	Fade In/Fade Out 間の Mute 時間(msec)を選定します。

*1　オーディオ遅延設定時間が、エラー検出とフェードイン／フェードアウト時間の合計値が以下の場合、この機能は動作しません。

（例）Fade Time = 12 ms の場合、Audio Delay を 14 (2+12) msec 以上に設定するとこの機能が有効になります。

注意	AES 信号入力動作時、サンプリング周波数の異なる AES 信号同士、または非同期の AES 信号同士を切り替えた場合には、正常に Fade In / Out が動作しない場合があります。

◆ **Digital Audio**

項目	初期値	設定範囲	説明
AES 1/2-3/4 I/O Setting	Input	Input Output	**Input** に設定すると AES1/2, 3/4 端子は入力モードとして動作します。**Output** に設定すると出力モードとして動作します。*1
AES 5/6-7/8 I/O Setting	Input	Input Output	**Input** に設定すると AES5/6, 7/8 端子は入力モードとして動作します。**Output** に設定すると出力モードとして動作します。*1
Reference Level	-20dBFS	-18dBFS -20dBFS -24dBFS	デジタルオーディオの基準レベルを設定します。詳細は、「11 ANALOG /DIGITAL 音声入出力レベル」を参照してください。
Grade	Professional	Professional Consumer	Digital Audio チャネルステータスの形式を選択します。 **Professional:** 放送用 **Consumer:** 民生用
Resolution	24Bit	24Bit 20Bit 16Bit	Digital Audio 出力信号のワード長を選択します。

*1　FA-95DACBL 実装時は強制的に IN 設定となり、このメニューは設定変更できません。

◆ **Digital Audio Silence Setting**

項目	初期値	設定範囲	説明
Silence Detect Time	2sec	1 – 10sec	Silence と判断するまでの時間を設定します。無音状態になってから設定した時間が経過すると Silence と判断されます。*1
Silence Level	-72dBFS	-72dBFS -66dBFS -60dBFS -54dBFS -48dBFS	Silence と判断するオーディオレベルを設定します。*1

◆ **SDI Input Audio**

項目	初期値	設定範囲	説明
Alignment *1	Enable	Disable Enable	入力エンベデッドオーディオのグループ間自動位相調整の有効／無効を切り替えます。 **Enable**: 位相調整を行います。（通常設定） **Disable**: 位相調整を行いません。
HD-SDI Audio Clock	Auto	Auto Sync SDI Audio Clock	HD-SDI 入力時、エンベデッドオーディオの受信クロックを設定します。 **Auto**: HD-SDI のエンベデッドオーディオに含まれる音声クロック位相情報を使用して SDI から音声を分離します。4 グループ個別で同期および非同期エンベデッド音声の分離が可能です。*2 音声クロック位相情報に異常がある場合や、ジッタ量が大きい場合は、自動的に同期音声として処理します。 **Sync SDI**: 音声クロック位相情報を使用せず、全グループ常に同期音声として処理します。*3 **Audio Clock**: 常に HD-SDI のエンベデッドオーディオに含まれる音声クロック位相情報を使用して SDI から音声を分離します。*4

*1 エンベデッドオーディオは、入力時にオーディオグループ間で自動的に位相調整が行われます。使用していないオーディオグループにイレギュラーな音声信号が入ってきたときに、この自動位相調整の影響で音声が正常に通過できないことがあります。このようなときにこの有効／無効切り替え機能を使用することで正常に音声が通過できる場合があります。

*2 SD-SDI 入力時は設定にかかわらず、同期音声として処理されます。

*3 Auto 設定で音声が正常に通過できない場合や、非同期エンベデッドオーディオが入力されることがない場合にのみ設定してください。

*4 Auto 設定や Sync SDI 設定で正常に音声が通過できない場合、Audio Clock に設定することで正常に音声を通過させることができる場合があります。

注意

Alignment 有効／無効切り替え機能は、音声にノイズが発生する場合や、ミュートになってしまう場合のみ使用してください。音声が正常に出力されている場合は、設定を変更しないでください。

設定を Disable から Enable へ変更した場合は、全てのグループの位相を合わせるため、音声が一旦 MUTE されますのでご注意ください。

◆ **Audio Error Sense**

項目	初期値	設定範囲	説明
Correction	Normal	Disable Normal Sensitive	FA-9500は、入力信号切り替えなどによるオーディオステータス変化を検出し、自動でフェード*1しながらミュートを行うことが可能です。信号異常を検出するかどうか、またその感度を設定します。 **Disable**：オーディオステータス検出によるミュート動作を全て禁止します。通常は使用しません。 **Normal**: SDI 信号の切り替え、ADP (Audio Data Packet) 変化、DBN(Data Block Number) の切り替えを検出するとミュートを行います。通常はこの設定を使用します。 **Sensitive**：上記に加え、チャネルステータス、EDP (Extended Data Packet) 有無（SD-SDI のみ）の切り替えを検出するとミュートを行います。

*1　フェード機能は、Fade In/Out の Fade Mode の設定に従います。

● Correction について

Correction は通常は **Normal** で使用してください。音声にノイズ・MUTE が発生する場合、番組・時間を限定して **Disable** で使用してください。

FA-9500 は、SDI 信号の抜き差しやルータでの切り替え等による音声ステータス変化を検出すると、その要因に応じてフェード処理や音声遅延回路に対する初期化処理を行います。入力信号によっては、音声データが正常であるにもかかわらず、付加データ等に異常や不正があり、ステータス変化を引き起こすことがあります。

FA-9500 は異常信号が入力されても適切に処理できるよう自動化処理を行っていますが、信号によっては自動化処理が最適に機能せず、出力音声に無用なノイズや MUTE を発生させてしまうことがあります。**Disable** では、自動化処理を禁止し可能な限り音声を通過させるため、以下の制約が発生します。

・　ルータ切り替えや SDI 信号抜き差し後は、音声遅延量が設定に対して最大±1.3msec の範囲でずれる。複数グループ間の音声位相が合わない。

Correction の設定を **Disable** へ変更する直前および、**Disable** から **Normal** へ戻した後は、下記どちらかの操作を行ってください。

(a)「9-4-2. Audio System」SDI Input Audio の Alignment の設定を **Disable** から **Enable** にする。
(b) 入力の SDI 信号を抜き差しする。

これにより音声受信回路が初期化され、音声遅延量のずれ・グループ間位相を最小にすることができます。なお上記操作の際は出力音声が一旦 MUTE されます。

◆ **Channel Status Mask**

項目	初期値	設定範囲	説明
CH1/2-CH15/16	SRC BY-PASS	SRC BY-PASS PCM Mute	入力 SDI や AES オーディオ信号のチャネルステータス内の NON-PCM フラグが「1」の場合の動作をチャネルペア毎に設定します。 *1 **SRC BY-PASS**:音声を NON-PCM として処理します。SRC はバイパスされ *2、SDI AUDIO CLOCK には NON-PCM のチャネルの入力クロックが選択されます。 *3 **PCM**: 音声を PCM（通常音声）として処理します。SRC は通過 *1、SDI AUDIO CLOCK には REFERENCE が選択されます。 *3 **Mute**: 音声を無音として処理します。

*1 入力オーディオのチャネルステータスやValidity Bitは波形モニタ等で確認することができます。
*2「9-3-6 SRC Mode」が Auto に設定されている場合
*3「9-3-11 SDI Audio Output Setting」が Auto に設定されている場合

- CH STATUS について

FA-9500 は音声信号内の Audio Channel Status（ACS）の NON-PCM フラグをもとにそのオーディオデータがオーディオデータ(PCM)なのか、非オーディオデータ(NON-PCM)なのかを判定して動作します。そのため音声信号内の ACS に異常があるイレギュラーな信号を受信した場合に誤動作をする可能性があります。そのようなときに、この機能を使用することで正常に音声が通過できる場合があります。

注意	この機能は、音声にノイズがのる場合や、ミュートになってしまう場合のみお使いください。音声が正常に出力されている場合は、通常設定で使用してください。

◆ **Validity Bit Mask**

項目	初期値	設定範囲	説明
CH1/2-CH15/16	SRC Bypass	SRC BY-PASS PCM Mute	入力 SDI AES オーディオ信号の Validity Bit フラグが「1」の場合の動作をチャネルペア毎に設定します。 *1 **SRC BY-PASS**: 音声を NON-PCM として処理します。SRC はバイパスされ *2、SDI AUDIO CLOCK には NON-PCM のチャネルの入力クロックが選択されます。 *3 **PCM**: 音声を PCM（通常音声）として処理します。SRC は通過 *2、SDI Output Clock Select には Reference が選択されます。 *3 **Mute**: 音声を無音として処理します。

*1 入力オーディオのチャネルステータスやValidity Bitは波形モニタ等で確認することができます。
*2「9-3-6 SRC Mode」が Auto に設定されている場合
*3「9-3-11 SDI Audio Output Setting」が Auto に設定されている場合

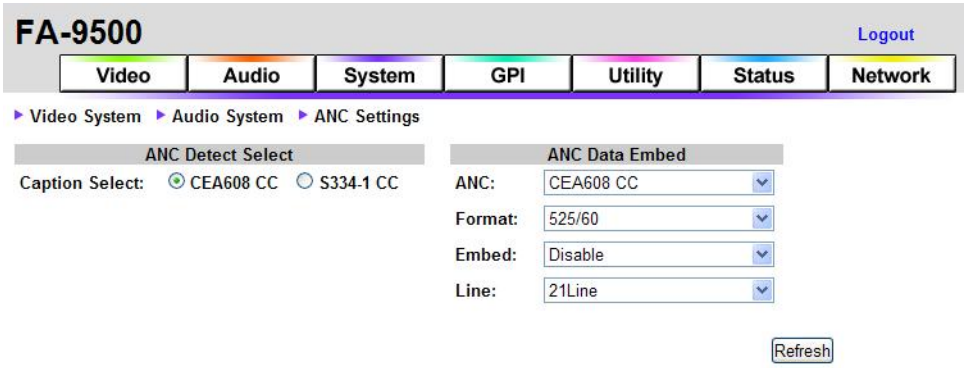
- Validity について

FA-9500 は音声信号内の Validity Bit(V Bit)をもとに、そのオーディオデータがオーディオデータ(PCM)なのか、非オーディオデータ(NON-PCM)なのかを判定して動作します。そのため音声信号内の Validity Bit(V Bit) に異常があるイレギュラーな信号を受信した場合に誤動作をする可能性があります。そのようなときに、この機能を使用することで正常に音声が通過できる場合があります。

注意	この機能は、音声にノイズがのる場合や、ミュートになってしまう場合のみお使いください。音声が正常に出力されている場合は、通常設定で使用してください。

9-4-3. ANC Settings（FA-95SCNV なし）

ANC Setting は、オプション FA-95SCNV のインストール有／無で表示設定方法が変わります。



※　上図は FA-95SCNV がインストールされていない場合の表示です。

「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **ANC Detect Select**

項目	初期値	設定範囲	説明
Caption Select *1	CEA608 CC	CEA608 CC S334-1 CC	525/60 信号のクローズドキャプションを輝度信号 Y から検出する場合は、**CEA608 CC** を選択します。 SDI のアンシラリから検出する場合は、**S334-1 CC** に設定します。

*1　525/60 のコンポジット入力信号のクローズドキャプション処理をする場合は、必ず CEA608 CC 側に設定してください。S334-1 CC 設定ではデータは検出されません。

◆ **ANC Data Embed**

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC	CEA608 CC	CEA608 CC S334-1 CC SD CEA708 CC HD	クローズドキャプション規格を選択します。
Format	*	*	ANC で選択されたをクローズドキャプションを重畳する信号フォーマットを選択します。
Embed	Disable	Disable Converter1 Converter 2 Converter 1/2	**Disable:** ANC で選択されたクローズドキャプションを重畳しません。 **Converter 1:** ANC で選択されたクローズドキャプションを Converter1 出力のみに重畳します。 **Converter 2:** ANC で選択されたクローズドキャプションを Converter2 出力のみに重畳します。 **Converter 1/2:** ANC で選択されたクローズドキャプションを Converter1 と Converter2 両方に重畳します。
Line	*	*	ANC で選択されたをクローズドキャプションを重畳されるライン番号を設定します。

※設定範囲はアンシラリ規格とビデオフォーマットにより異なります。

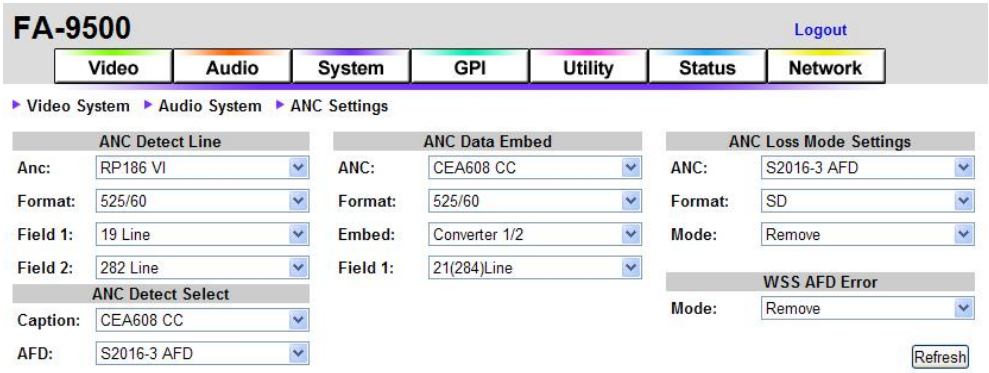
アンシラリー規格	FORMAT	LINE	初期値
ANC: CEA 608 CC	525/60	21 Line 固定	21 Line
ANC: S334-1 CC SD	525/60	12～19 Line	12 Line
ANC: CEA708 CC HD	1080i	9～20 Line	9 Line
	720p	9～25 Line	9 Line

☞ 入力信号で CEA608 か S334-1 CC のクローズドキャプションが検出され、Converter1 または、Converter 2 の出力信号フォーマットが、1080/59i または 720/59p の場合、CEA708 へのクローズドキャプション変換はできません。従って、自動で CEA708 の重畳が停止されます。入力信号が 1080/59i または 720/59p の HD-SDI で CEA708 のクローズドキャプションが検出され、Converter 1 または、Converter 2 の出力信号フォーマットが 525/60 の場合、S334-1 CC および CEA608 CC へのクローズドキャプション変換が自動で行われます。

注意 入力されているクローズドキャプションデータが欠落状態になった場合、出力のクローズドキャプション信号の重畳は無出力状態になります。

9-4-4. ANC Settings（FA-95SCNV あり）

ANC Setting は、オプション FA-95SCNV のインストール有／無で表示設定方法が変わります。



※　上図は FA-95SCNV がインストールされている場合の表示です。

「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ ANC Detect Line

アンシラリが RP186 VI の場合

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC	RP186 VI	RP186 VI BT1119 WSS	ANC の規格を選択します。
Format	525/60	525/60 625/50	入力信号のフォーマットを選択します。
Field 1	14 Line （525/60 時） 11 Line （625/50 時）	12 – 19 Line （525/60 時） 8- 22 Line （625/50 時）	Field 1 の検出ライン番号を設定します。
Field 2	277 Line（525/60 時） 324 Line（625/50 時）	275 – 282 Line（525/60 時） 321- 335 Line（625/50 時）	Field 2 の検出ライン番号を設定します。

アンシラリが BT1119 WSS の場合

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC	RP186 VI	RP186 VI BT1119 WSS	ANC の規格を選択します。
Format	625/50	625/50	入力信号のフォーマットを選択します。
Field 1	23 Line	8- 23 Line	Field 1 の検出ライン番号を設定します。

◆ ANC Detect Select

項目	初期値	設定範囲	説明
Caption *1	CEA608 CC	CEA608 CC S334-1 CC	525/60 信号のクローズドキャプションを輝度信号 Y から検出する場合は、**CEA608 CC** を選択します。 SDI のアンシラリから検出する場合は、**S334-1 CC** に設定します。
AFD *2	S2016-3 AFD	S2016-3 AFD RP186 VI BT1119 WSS	入力信号が SDTV 時の、検出する AFD を設定します。

*1　525/60 のコンポジット入力信号のクローズドキャプション処理をする場合は、必ず CEA608 CC 側に設定してください。S334-1 CC 設定ではデータは検出されません。

*2　FA-95SCNV がインストールされている場合に表示されます。

◆ **ANC Data Embed**

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC	CEA608 CC	CEA608 CC S334-1 CC SD CEA708 CC HD S2016-3 AFD RP186 VI BT1119 WSS	重畳するアンシラリの種類を選択します。
Format	-	※	ANC で設定したアンシラリデータ形式に対応したビデオフォーマットを設定します。重畳できるビデオフォーマットのみが選択可能になります。
Embed	Disable	Disable Converter1 Converter 2 Converter 1/2	**Disable:** ANC で設定したアンシラリを重畳しません。 **Converter1:** ANC で設定したアンシラリを Converter1 の出力のみに重畳します。 **Converter2:** ANC で設定したアンシラリを Converter2 のみに重畳します。 **Converter1/2:** ANC で設定したアンシラリを Converter1 と Converter2 両方に重畳します。 ANC の設定項目別それぞれに設定することが可能です。
Line Field 1	-	※	重畳するアンシラリ領域の Line 番号を指定します。この設定は、ANC の設定項目と信号フォーマット別にそれぞれ設定可能です。 ANC の設定項目 RP186 VI の場合は、Field 1/2 独立して設定可能です。Field 1 側を設定します。
Field 2	-	※	ANC の設定項目 RP186 VI の場合は、Field 1/2 独立して設定可能で Field 2 側を設定します。 RP186 VI を選択したときのみ表示されます。

※設定範囲はアンシラリ規格とビデオフォーマットにより異なります。

アンシラリー規格	FORMAT	LINE		初期値
ANC:CEA 608 CC	525/60	21(284) Line 固定 *1		
ANC:S334-1 CC SD	525/60	12(275)～19(282) Line *1		12 (275) Line *1
ANC:CEA708 CC HD	1080i	9～20 Line		9 Line
	720p	9～25 Line		9 Line
ANC:S2016-3 AFD	525/60	12(275)～19(282) Line *1		12(275) Line *1
	625/50	8(321)～22(335) Line *1		8(321) Line *1
	1080i/PsF	9～20 Line		9 Line
	720p	9～25 Line		9 Line
	1080p/(3G)	9～41 Line		9 Line
ANC:RP186 VI	525/60	Field 1	12～19 Line	14 Line
		Field 2	275～282 Line	277 Line
	625/50	Field 1	8～22 Line	11 Line
		Field 2	321～335 Line	324 Line
ANC:BT1119 WSS	625/50	Field 1	8～23 Line	23 Line

*1　( )内は Field2 のライン番号が表示されます。

☞ 入力信号で CEA608 か S334-1 CC のクローズドキャプションが検出された場合、CONV1 または CONV2 の出力信号フォーマットが 1080/59i または 720/59p のときは、CEA708 へのクローズドキャプション変換はできません。従って、自動で CEA708 の重畳が停止されます。入力信号が 1080/59i または 720/59p の HD-SDI で CEA708 のクローズドキャプションが検出された場合、CONV1 または CONV2 の出力信号フォーマットが 525/60 のときは、S334-1 CC および CEA608 CC へのクローズドキャプション変換が自動で行われます。

注意	入力されているクローズドキャプションデータが欠落状態になった場合、SD-SDI のアンシラリデータへのクローズドキャプション重畳は無出力状態になります。 入力されている AFD が欠落状態になった場合、ANC LOSS SET の設定に従い処理されます。詳細は、「5-10-18 ANC LOSS SET」を参照してください。

◆ **同じラインに同時に重畳できない AFD 規格の組み合わせ**

映像規格	アンシラリ規格	S334-1 CC	S2016-3 AFD	RP186 VI	BT1119 WSS
525/60	S2016-3 CC		同一ライン 設定可能	同一ライン 設定不可	
	S2016-3 AFD	同一ライン 設定可能		同一ライン 設定不可	
	RP186 VI	同一ライン 設定不可	同一ライン 設定不可		
625/50	S2016-3 AFD			同一ライン 設定不可	同一ライン 設定不可
	RP186 VI		同一ライン 設定不可		同一ライン 設定可能
	BT1119 WSS		同一ライン 設定不可	同一ライン 設定可能	

AFD の同一ライン設定不可の設定を行い、**ANC Data Embed** で重畳を許可に設定した場合、エラーメッセージの”Identical ANC line location settings!”が表示されます。このエラーが出た状態で使用した場合、正常にアンシラリーが重畳できませんので、正しく設定してください。通常初期値に設定されているライン番号を使用して頂ければ正常に重畳されます。他の機器と接続を合わせる為に変更する場合は注意して設定してください。

◆ **ANC Loss Mode Settings**

項目	初期値	設定範囲	説明
ANC	S2016-3 AFD	S2016-3 AFD RP186 VI BT1119 WSS	SDI 信号へ重畳するアンシラリの種類を選択します。
Format	SD	SD HD *1	ANC で設定したアンシラリデータ形式に対応したビデオフォーマットを選択します。アンシラリデータ形式の規格上重畳できるビデオフォーマットのみが表示されます。
Mode	Remove	Format が SD の場合 Remove *2 Hold *2 4:3 L 16:9 T *2 4:3 L14:9 T *2 4:3 L>16:9 *2 4:3 F 4:3 *2 4:3 L16:9PRTD *2 4:3 L 14:9 *2 4:3 F ALT14:9 *2 4:3 L ALT14:9 4:3 L ALT 4:3 16:9 L>16:9 16:9 F 16:9 *2 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD 16:9 P 14:9 16:9 P ALT14:9 16:9 F ALT14:9 16:9 F ALT4:3	この設定は、アンシラリと信号フォーマット毎にそれぞれ設定可能です。 **Remove** は、CONV1, 2 の出力にアンシラリを重畳しません。 **Hold** は、入力映像信号から最後に検出したアンシラリを保持して変換出力します。 その他の設定は、設定された AFD を入力として動作します。 ANC が、BT1119 WSS の場合は、*2 の範囲で設定可能です。

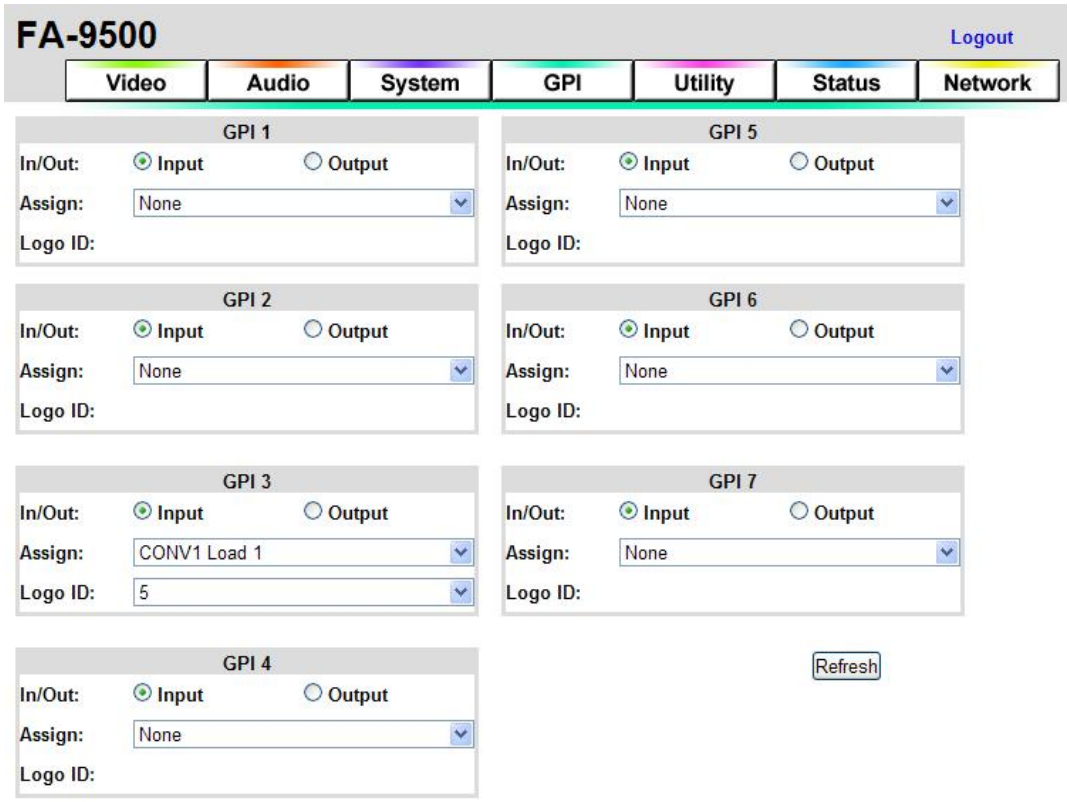
項目	初期値	設定範囲	説明
Mode	Remove	Format が HD の場合 Remove Hold 16:9 L>16:9 16:9 F 16:9 16:9 P 4:3 16:9 F PRTD 16:9 P 14:9 16:9 P ALT14:9 16:9 F ALT14:9 16:9 F ALT4:3	この設定は、アンシラリと信号フォーマット毎にそれぞれ設定可能です。 **Remove** は、CONV1, 2 の出力にアンシラリを重畳しません。 **Hold** は、入力映像信号から最後に検出したアンシラリを保持して変換出力します。 その他の設定は、設定された AFD を入力として動作します。

*1　HD は、ANC が S2016-3 の場合のみ設定可能です。

◆ **WSS AFD Error**

項目	初期値	設定範囲	説明
Mode	Remove	Remove F 4:3	**Remove:** CONV1,2 への BT1119 WSS が重畳されません。 **F 4:3:** CONV1, 2 へ BT1119 WSS F 4:3（コード 8）を重畳します。

9-5. GPI



「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。

項目	初期値	設定範囲	説明
In/Out*1	Input	Input Output	GPI1-7 のポートを入力で使用する場合は、**Input** を選択し、TALLY 出力で使用する場合は、**Output** を選択します。
Assign *2	None	In/Out が Input の場合 None BY-PASS *2 Freeze *2 *6 Full Color Bar *2 75% Color Bar *2 SMPTE Color Bar *2 Ramp *2 Input SDI1 *2 *4 *7 Input SDI2 *2 *4 *7 Input Composite *2 *7 Input YPbPr SMPTE *9 Input YPbPr BETACAM *9 Input RGB *9 Input Y/C *9 Default Event1～100 *2 Changeover Enable *5 Changeover Disable*5 CONV1 Keyer*10 CONV2 Keyer*10 CONV1 Load 1～7*10 CONV2 Load 1～7*10 Loudness1, 2 Start *11 Loudness1, 2 Clear *11	GPI1-7 のポートに In/Out で設定されたモードに従い、機能を設定します。

項目	初期値	設定範囲	説明
Assign *2	None	In/Out が Output の場合 None *3 Freeze *3 Video In *3 Audio In *3 REF In *3 FAN Alarm *3 DC Power1, 2 *3 *8 Selected SDI1, 2 *3 Selected Composite *3 Selected YPbPr SMPTE *9 Selected YPbPr BETACAM *9 Selected RGB *9 Selected Y/C *9 Changeover *5 Changeover Enable*5 CONV1, 2 Keyer*10 Loudness1, 2 Control *11	GPI1-7 のポートに In/Out で設定されたモードに従い、機能を設定します。
Logo ID *12	1-7	1-256	各コンバータ毎にロードするロゴを Logo ID1～256 で設定します。

*1 In/Out の設定を変更すると、Assign は、一旦 None に設定されます。再度、Assign の機能設定を行ってください。

*2 入力機能の動作方法には、レベル制御とパルス制御がありますので、どちらで機能するかは、「7-4 GPI SETTING」“◆INPUT FUNCTION”の項目を参照してください。

*3 機能の詳細は、「7-4 GPI SETTING」“◆OUTPUT FUNCTION”の項目を参照してください。

*4 FA-95CO がインストールされていてチェンジオーバ設定がイネーブルになっている場合は、入力切り替えができません。動作させるには、「9-2-1. Input Select」を参照し、チェンジオーバ設定をディスイネーブルにしてください。

*5 FA-95CO がインストールされている場合に機能します。

*6 「9-4-1 Video System」の FS Mode > Synchro mode が、Line Sync, AVDL, Input Lock に設定されている場合、フリーズ動作状態でもフリーズしません。この場合、“*Freeze”と表示されます。
Input Function で Freeze を使用する場合は、必ず Synchro mode を、Frame Sync に設定してください。

*7 FA-95CO がインストールされていてチェンジオーバ設定がイネーブルになっている場合“*Input SDI1” “* Input SDI2” “* Input Composite”と表示される場合があります。これは、チェンジオーバ設定中で、入力切り替えができないことを表示しています。
詳細は、「9-2-1 Input Select」を参照してください。

*8 DC Power1/2 は、FA-95PS が装着されていない場合は選択できません。

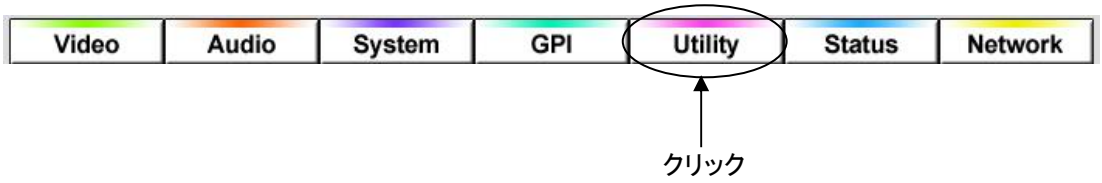
*9 FA-95AIO が装着されていない場合は選択できません。

*10 FA-95LG がインストールされている場合に表示されます。

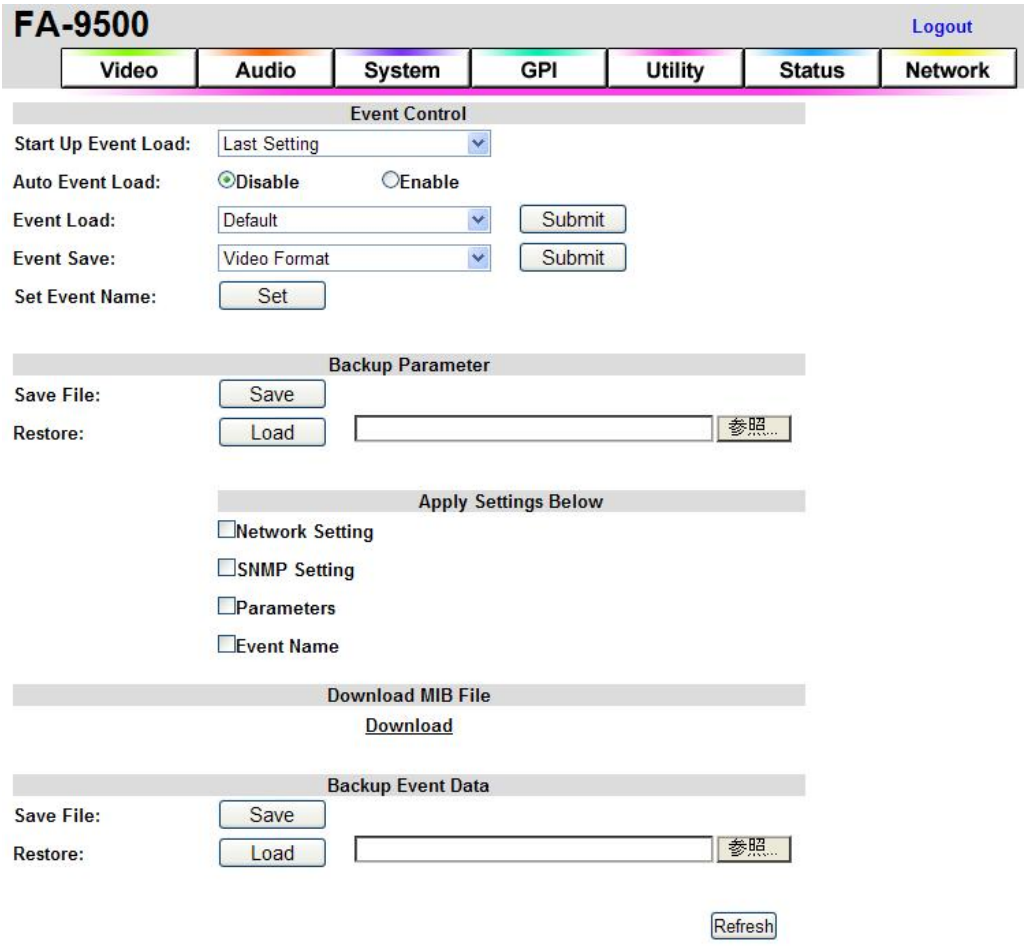
*11 FA-95ALA が装着されていない場合は選択できません。

*12 In/Out が、Input で Assign が CONV1 Load1～7, CONV2 Load 1～7 の場合に表示されます。
下記条件の場合、ロゴのロードはされますが、各コンバータ出力映像にロゴはインサートされません。
・Logo ID にロゴが登録されてない。
・登録されているロゴフォーマットとコンバータの出力フォーマットが違う。
・各コンバータのキーヤが Off に設定されている。

9-6. Utility 関連項目の制御



画面上部の Utility のタブをクリックすると、Utility 関連のブロック設定画面が表示されます。



「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。

9-6-1. Event Control

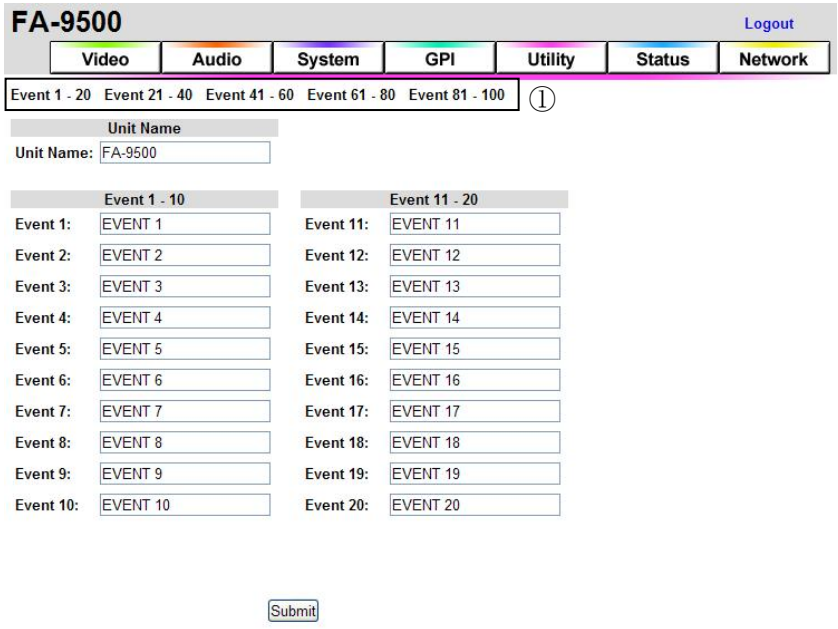
項目	初期値	設定範囲	説明
Start Up Event Load	Last Setting	Last Setting Video Format *1 Default *2 Event1～Event100	電源起動に呼出したいイベントを指定します。
Auto Event Load	Disable	Disable Enable	**Enable** に設定すると、入力ビデオ信号が変わった場合に、変わったビデオ信号に登録されているイベントを呼び出します。
Event Load	Default	Video Format *1 Default *2 Event1～EVENT100	FA-9500 本体に保存されている呼び出したいイベント NO.を指定し、Submit をクリックします。
Event Save	Video Format	Video Format *1 Event1～Event100	保存したいイベント NO.を指定し、Submit をクリックします。 FA-9500 本体に保存されます。

*1　Video Format は、FA-9500 が動作している Video Format 毎に保存されている内容の指定になります。

*2　Default は、初期値が呼び出しされます。

◆ **Set Event Name**

Set Event Name の **SET** をクリックすると、FA-9500 の機器名と EVENT 1 ～ EVENT100 に名称を入力する Window が表示されます。



- Unit Name
  FA-9500 の名称を 15 文字以内で入力します。入力した名称は、前面パネル「7-5 NETWORK INFO」の“NAME”に表示されます。出荷時は、FA-9500 で設定されています。
- Event Name
  名称入力したいイベントを、①部分での 20 個単位イベント選択で切り替えます。
  変更したい EVENT 番号の名称を英数字 15 文字以内で入力します。
  入力完了後、**Submit** をクリックします。出荷時は、EVENT1～100 で設定されます。

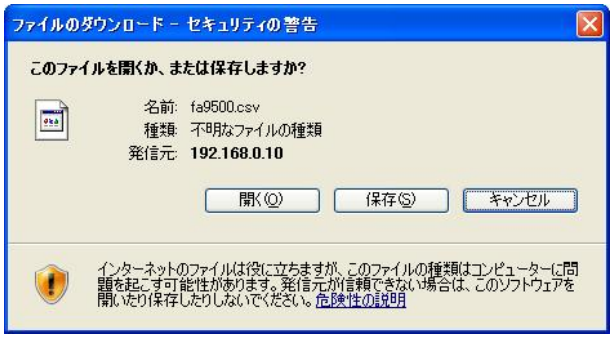
設定された Event 名称は、Event Load/Event Save 操作時に表示されます。
また、前面パネル操作「8 イベントメモリ」のイベント操作時にも、前面パネルに表示されます。

9-6-2. Backup Parameter

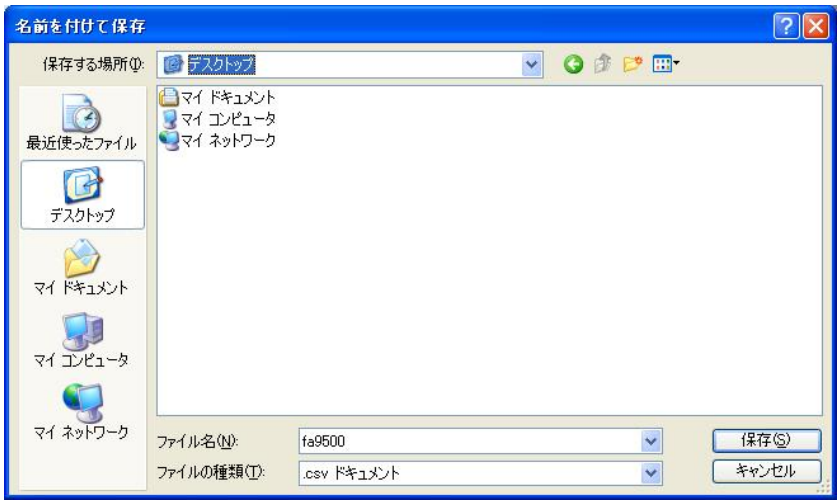
FA-9500 の設定内容を、ファイルに保存したり、保存したファイルを読み込むことができます。

◆　設定をファイルに保存

Save をクリックすると、“ファイルのダウンロード”Window が開きます。



保存をクリックすると、保存先のフォルダ指定 Window が開きますので、保存先を指定します。



データの保存が完了すると、“ダウンロードの完了”Window が表示されます。

閉じるをクリックします。

注意	Internet Explorer の一部のバージョンでは、ファイル名が長いと正常に保存動作しない場合があります。この現象が発生した場合は、ファイル名を短くして保存操作を実施し、その後 Explorer 上でファイル名を変更してください。 初期値のファイル名の場合は正常に動作します。

◆　ファイルに保存してあるデータを読み込む

Apply Setting Below で、ファイルから読み込む内容のチェックボックスにチェックを入れます。どの項目にもチェックボックスが入っていない場合は、何も読み込みません。

“Network Setting”のチェックボックスの詳細は、「9-8-2 NETWORK SETTING」を参照してください。

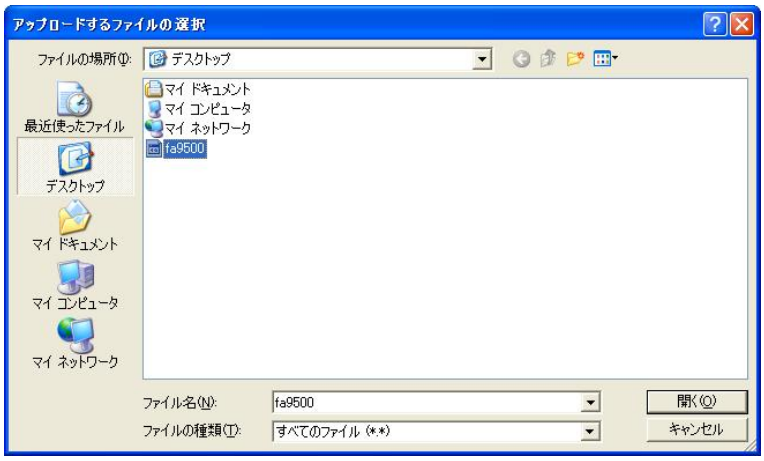
“SNMP Setting”のチェックボックスの詳細は、「9-8-3 SNMP SETTING」を参照してください。

“Parameter”のチェックボックスにチェックを入れると、イベントメモリ以外の全てのパラメータ設定を読み込みます。

“Event Name”のチェックボックスにチェックを入れると、Event Memory の名称を読み込みます。

詳細は、「9-6-1 Event Control 」Set Event Name を参照してください。

読み込む項目を設定後、**参照**をクリックすると、“アップロードするファイルの選択”Window が開きます。



ファイルの保存先を指定し、**開く**をクリックします。

Load をクリックすると、データ読み込みの確認 Window が表示されます。

OK をクリックすると、ファイルの内容を FA-9500 に転送し始めます。

途中で、止める場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意	BY-PASS の On/Off と Freeze On/Off 状態は、保存されません。

注意	FA-9500 は、コンフィグデータの出力に、CSV ファイル形式を使用していますので、市販の表計算ソフトで確認修正することが可能です。その際、Unit ID の名前や Event 名に数字だけを使用した場合、表計算ソフトで加工後に、再度 FA-9500 に読み込むと、登録名が変更されて表示されることがあります。これは、市販の表計算ソフトが数字と判断し、数値変換してファイルに保存する為に発生します。市販の表計算ソフトで修正することがある場合は、Unit ID の名前および Event 名には数字のみでなく必ずアルファベットを入れてください。

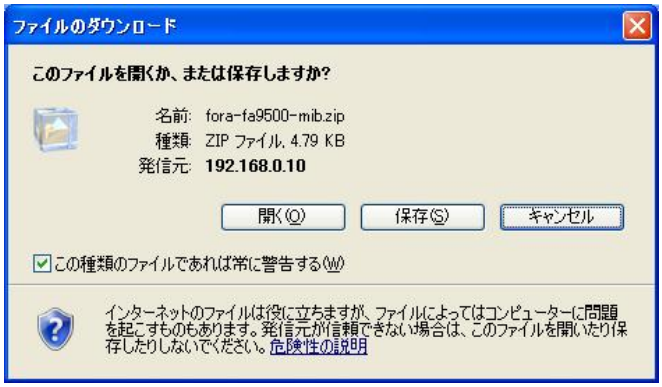
9-6-3. MIB ファイルのダウンロード

外部 SNMP マネージャ等から、FA-9500 を監視／設定する際に使用する MIB ファイルを FA-9500 からダウンロードすることができます。ダウンロードされるファイルは、ZIP 形式です。ダウンロード後、解凍して使用してください。

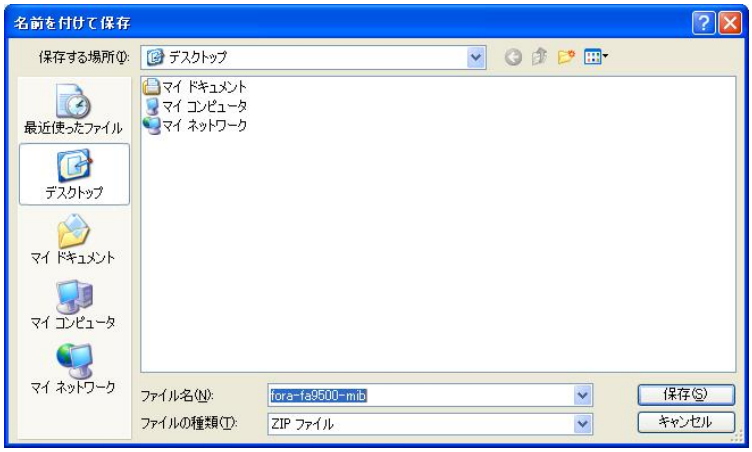
◆ **Download MIB File**

画面上の Download ファイルをクリックします。

“ファイルのダウンロード”Window が表示されます。

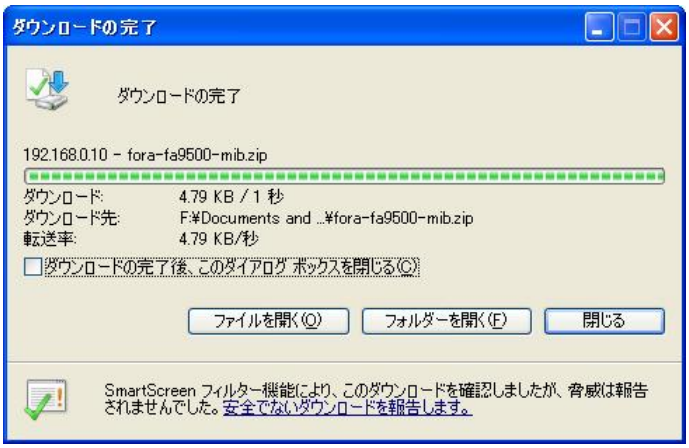


保存をクリックして、ダウンロードファイルの保存先を指定します。



ダウンロードが完了すると、“ダウンロードの完了”Window が表示されます。

保存先に、“fora-fa9500-mib.zip”がダウンロードされます。圧縮解凍ソフト等で、ファイルを解凍すると fora-fa9500-mib.mib ファイルが解凍されます。



注意	Internet Explorer の一部のバージョンでは、MIB をダウンロードする際に、ファイル名が長いと正常にダウンロードできない場合があります。この現象が発生した場合は、ファイル名を短くして保存操作を実施し、その後 Explorer 上でファイル名を変更してください。 初期値のファイル名の場合は正常に動作します。

☞ MIB の内容については、「18 SNMP 機能について」を参照してください。

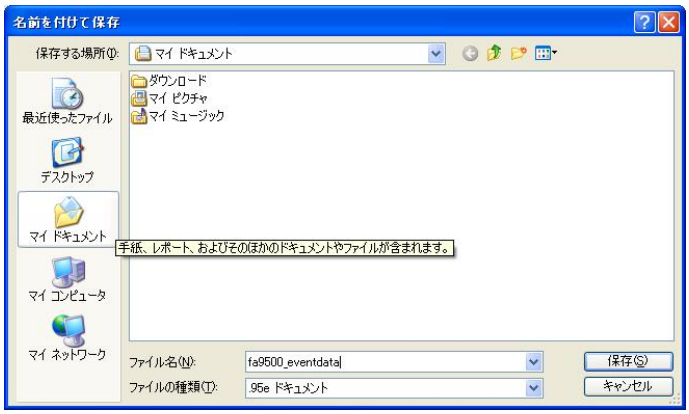
9-6-4. Backup Event Data

イベントメモリ（EVENT1～100 と Video Format 毎のイベントデータ）に保存されているデータをパソコン上のファイルとしてバックアップすることが可能です。バックアップされたデータは、別の FA-9500 に移動させることもできます。

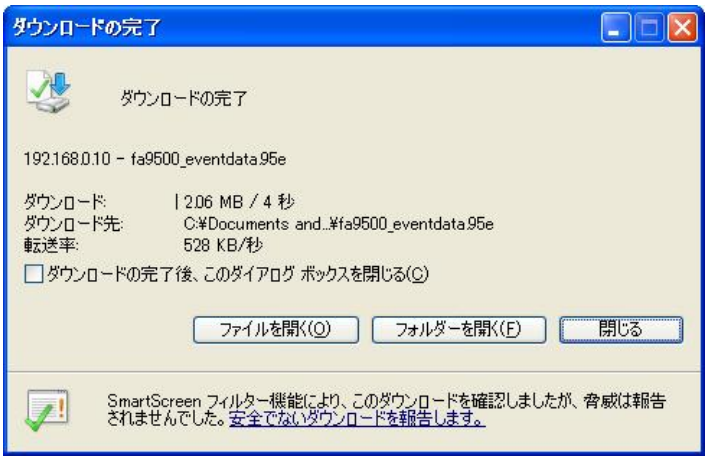
◆ **Save File**

Save をクリックします。

保存クリックすると、下記の保存先とファイ名指定の Window が表示されますので保存先と、ファイル名を指定します。



保存先とファイ名を指定したら、Window 上の**保存**をクリックします。
データ保存が完了すると、ダウンロード完了 Window が表示されます。

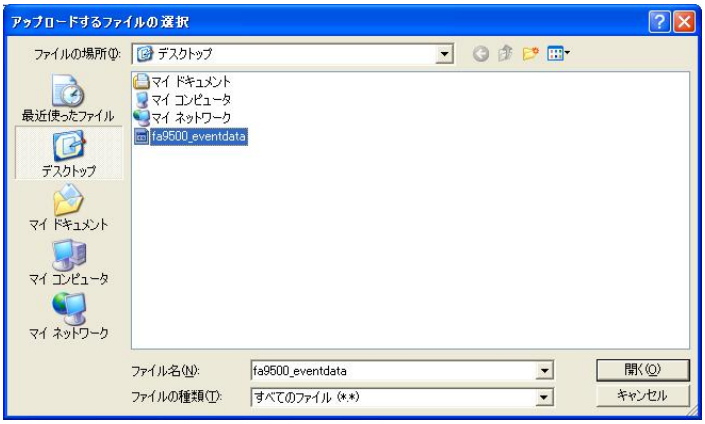


Window 上の、**閉じる**をクリックします。

注意	Internet Explorer の一部のバージョンでは、ファイル名が長いと正常に SAVE 動作しない場合があります。この現象が発生した場合は、ファイル名を短くして SAVE 操作を実施し、その後 Explorer 上でファイル名を変更してください。初期値のファイル名の場合は正常に動作します。

◆ **Restore**

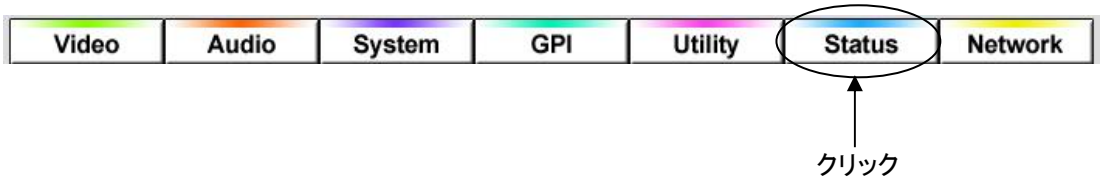
パソコン上のファイルとしてバックアップしてあるデータを読み込むには、**参照**をクリックします。“アップロードするファイルの選択”Window が開きます。



データが保存してあるフォルダとファイル名を指定します。**開く**をクリックします。
画面上に、保存先のパスが表示されます。
Load をクリックすると、データ読み込みの確認 Window が表示されます。

OK をクリックすると、データ読み込みが開始されます。読み込みを中断したい場合は、**キャンセル**をクリックします。

9-7. Status の表示

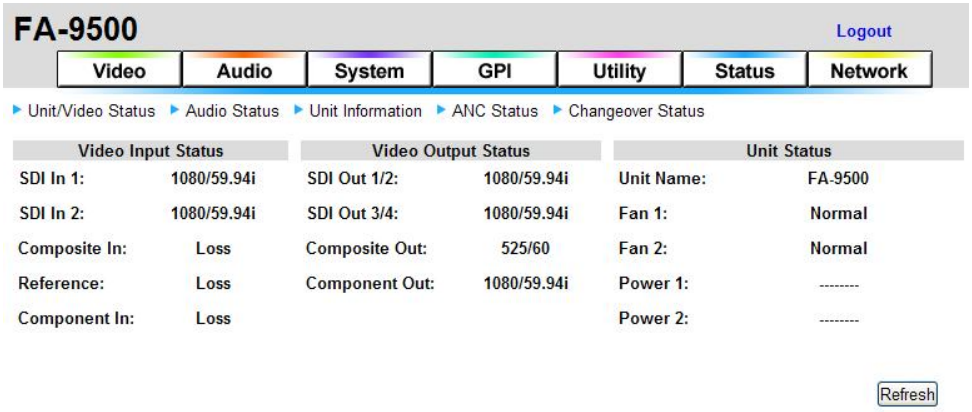


画面上部の Status のタブをクリックすると、“Unit/Video Status”画面が表示されます。

Audio Status Window に切り替える場合は、“Audio Status”をクリックすると Audio Status 画面に移動します。
“Unit/Video Status”をクリックすると Unit/Video Status 画面に移動します。
“Unit Information”をクリックすると Unit Information 画面に移動します。
“Changeover Status”をクリックすると Changeover Status 画面に移動します。Changeover Status 画面は、オプションの FA-95CO がインストールされている場合表示されます。

9-7-1. Unit/Video Status

Video 関連と Unit の状態が表示されます。



「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。
Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **Video Input Status**

項目	表示内容	説明
SDI1 In	Loss 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF 1080/59p *1 1080/50p *1 BY-PASS Unknown	SDI1 入力信号フォーマットが表示されます。信号が無い場合は、**Loss** と表示されます。また、サポートしていない信号の場合は、**Unknown** と表示されます。 BY-PASS 設定時は、BY-PASS と表示されます。

項目	表示内容	説明
SDI2 In	Loss 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF 1080/59p *1 1080/50p *1 BY-PASS Unknown -----	SDI2 入力信号フォーマットが表示されます。信号が無い場合は、**Loss** と表示されます。また、サポートしていない信号の場合は、**Unknown** と表示されます。 BY-PASS 設定時は、BY-PASS と表示されます。 「9-2-1 Input Select」が、YPbPr SMPTE, YPbPr BETACAM, RGB, Y/C に設定されている場合は、SDI2 の入力検出ができない為“-----”と表示されます。
Composite In	Loss 525/60 625/50 BY-PASS Unknown	Composite 入力信号フォーマットが表示されます。信号が無い場合は、**Loss** と表示されます。また、サポートしていない信号の場合は、**Unknown** と表示されます。 BY-PASS 設定時は、BY-PASS と表示されます。
Reference	Loss 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF PAL-M *2 Unknown Not Used *3	Reference 入力信号フォーマットが表示されます。信号が無い場合は、**Loss** と表示されます。また、サポートしていない信号の場合は、**Unknown** と表示されます。
Component In *4	Loss 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF BY-PASS Unknown	Component 入力信号フォーマットが表示されます。信号が無い場合は、**Loss** と表示されます。また、サポートしていない信号の場合は、**Unknown** と表示されます。 BY-PASS 設定時は、BY-PASS と表示されます。

*1　FA-95-3G オプションがインストールされてない場合は表示されません。

*2 「9-4-1 Video System」の PAL-M Mode Set が Enable に設定されている場合、あるいは GENLOCK IN に 525/60 または PAL-M 信号が入力されている場合に表示されます。

*3 「9-4-1 Video System」の Synchro Mode が Input Lock に設定されている場合に表示されます。

*4　FA-95AIO オプションが実装されてない場合は表示されません。

◆ **Video Output Status**

項目	表示内容	説明
SDI Out 1/2	525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF 1080/59p *1 1080/50p *1 BY-PASS Disable	SDI1 に出力されている信号フォーマットが表示されます。 BY-PASS 設定時は、BY-PASS と表示されます。 無出力の場合は、**Disable** と表示されます。
SDI Out 3/4	同上	SDI2 に出力されている信号フォーマットが表示されます。 BY-PASS 設定時は、BY-PASS と表示されます。 無出力の場合は、**Disable** と表示されます。
Composite Out	525/60 625/50 BY-PASS Disable PAL-M	COMPOSITE に出力されている信号フォーマットが表示されます。 **PAL-M** は、「9-4-1 PAL-M Mode Set」が Enable に設定されていて、「9-2-12 Output SelectOutput Select」の Composite Output Setting で変換後の出力フォーマットが 525/60 の場合に表示されます。
Component Out *2	Loss 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF PAL-M BY-PASS Disable	ANALOG COMPONENT OUT に出力されている信号フォーマットが表示されます。 BY-PASS 設定時は、**BY-PASS** と表示されます。 無出力の場合は、**Disable** と表示されます。 コンポーネントの出力モードが Y/C の場合､出力 FORMAT は 525/60, 625/50, PAL-M のいずれかになります。

*1 FA-95-3G オプションがインストールされてない場合は表示されません。
*2 FA-95AIO オプションが実装されてない場合は表示されません。

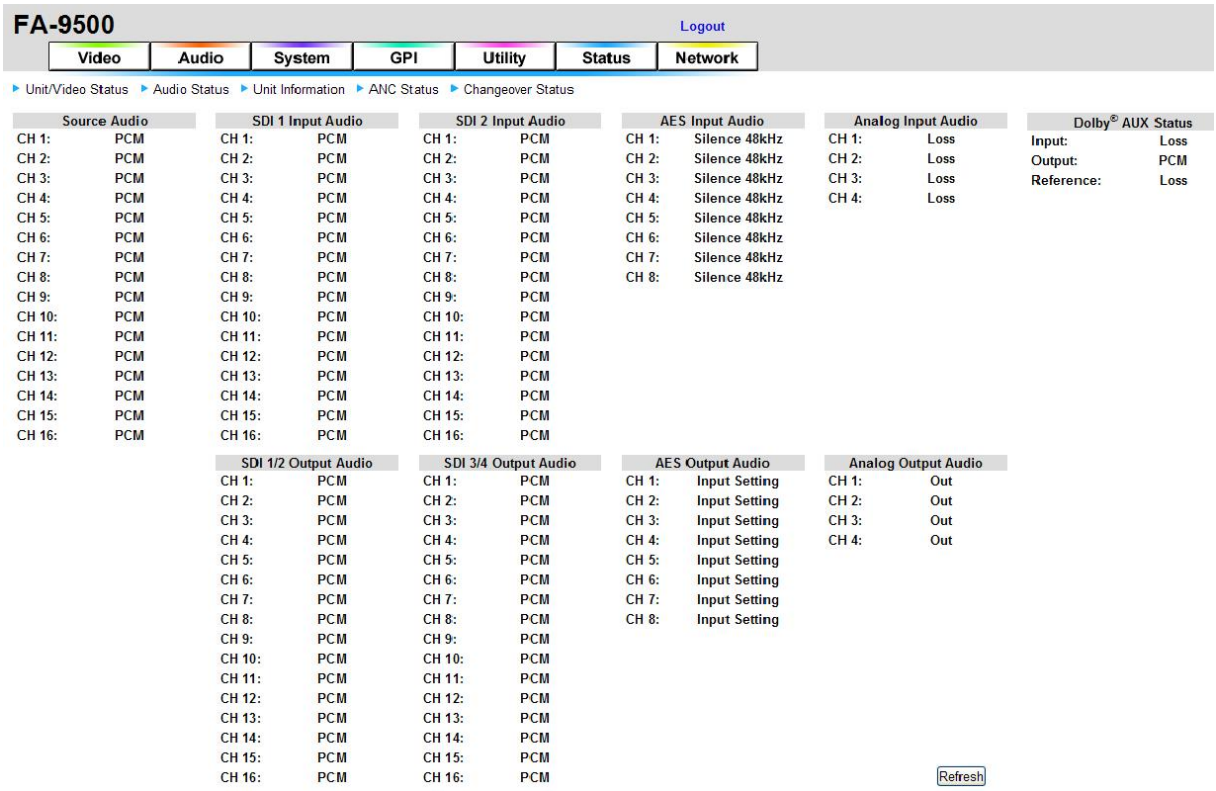
◆ **Unit Status**

項目	表示内容	説明
Unit Name	FA-9500	機器名が表示されます。出荷時は、FA-9500 が登録されています。機器名を変更するには、「9-6-1 Event Control 」Unit Name を参照してください。
FAN1	Normal Stopped	FAN1 の動作状態を表示します。 **Normal**：正常動作 **Stopped :** FAN1 が停止状態です。 電源をオフにし、ファンの交換が必要な場合は販売代理店までご連絡ください。
FAN2	Normal Stopped	FAN2 の動作状態を表示します。 **Normal**：正常動作 **Stopped :** FAN2 が停止状態です。 電源をオフにし、ファンの交換が必要な場合は販売代理店までご連絡ください。
Power1 *1	Normal Abnormal	電源 1 の電源供給状態を表示します。 **Normal**：正常動作 **Abnormal**：電源 1 が異常状態です。 電源に異常があります。動作に問題はありませんが、電源交換をお勧めします。交換する場合は販売代理店にお問い合わせください。
Power2 *1	Normal Abnormal	電源 2 の電源供給状態を表示します。 **Normal**：正常動作 **Abnormal**：電源 2 が異常状態です。 電源に異常があります。動作に問題はありませんが、電源交換をお勧めします。交換する場合は販売代理店にお問い合わせください。

*1 FA-95PS が装着されていない場合、-------と表示されます。

9-7-2. Audio Status

Audio 関連の状態が表示されます。



「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **Source Audio**

項目	表示内容	説明
CH1 - CH16	Loss PCM PCM 48kHz PCM 44.1kHz PCM 32kHz PCM Other Silence Silence 48kHz Silence 44.1kHz Silence 32kHz Silence Other NON-PCM PCM(Async) Silence (Async) NON-PCM(Async) In(Analog) Unknown	Audio Source Select で選択された Audio Source CH1 - CH16 の Audio 信号の状態が表示されます。 **LOSS**：音声信号なし **PCM**：通常音声信号（SDI 入力） **PCM 48kHz**：通常音声信号（AES 入力 約 48kHz） **PCM 44.1kHz**：通常音声信号（AES 入力 約 44.1kHz） **PCM 32kHz**：通常音声信号（AES 入力 約 32kHz） **PCM Other**：通常音声信号（AES 入力 その他） **Silence**：無音信号（SDI 入力） **Silence 48kHz**：無音信号（AES 入力 約 48kHz） **Silence 44.1kHz**：無音信号（AES 入力 約 44.1kHz） **Silence 32kHz**：無音信号（AES 入力 約 32kHz） **Silence Other**：無音信号（AES 入力 その他） **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **PCM(Async)**：通常音声信号（SDI 入力 非同期） **Silence (Async)**：無音信号（SDI 入力 非同期） **NON-PCM(Async)**：AC3 などの圧縮音声信号（SDI 入力 非同期） **In(Analog)**：アナログ音声信号 **Unknown**：判別不可

◆ **SDI1 Input Audio**

項目	表示内容	説明
CH1 - CH16	Loss PCM Silence NON-PCM PCM(Async) Silence (Async) NON-PCM(Async) Unknown	SDI1 に入力された CH1 - CH16 の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **Loss**：音声信号なし **PCM**：通常音声信号 **Silence**：無音信号 **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **PCM (Async)**：通常音声信号（非同期） **Silence (Async)**：無音信号（非同期） **NON-PCM (Async)**：AC3 などの圧縮音声信号（非同期） **Unknown**：判別不可

◆ **SDI2 Input Audio**

項目	表示内容	説明
CH1 - CH16	Loss PCM Silence NON-PCM PCM(Async) Silence (Async) NON-PCM(Async) Unknown	SDI2 に入力された CH1 - CH16 の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **Loss**：音声信号なし **PCM**：通常音声信号 **Silence**：無音信号 **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **PCM (Async)**：通常音声信号（非同期） **Silence (Async)**：無音信号（非同期） **NON-PCM (Async)**：AC3 などの圧縮音声信号（非同期） **Unknown**：判別不可

◆ **SDI1/2 Output Audio**

項目	表示内容	説明
CH1 - CH16	PCM Silence NON-PCM Unknown Blank BY-PASS	SDI1/2 に出力された CH1 - CH16 の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **PCM**：通常音声信号 **Silence**：無音信号 **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **Unknown**：判別不可 **Blank**：重畳なし **BY-PASS**：バイパス設定状態

◆ **SDI3/4 Output Audio**

項目	表示内容	説明
CH1 - CH16	PCM Silence NON-PCM Unknown Blank BY-PASS	SDI3/4 に出力された CH1 - CH16 の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **PCM**：通常音声信号 **Silence**：無音信号 **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **Unknown**：判別不可 **Blank**：重畳なし **BY-PASS**：バイパス設定状態

◆ **AES Input Audio**

項目	表示内容	説明
CH1 - CH8	Loss PCM 48kHz PCM 44.1kHz PCM 32kHz PCM Other Silence 48kHz Silence 44.1kHz Silence 32kHz Silence Other NON-PCM Output Setting	AES 入出力端子の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **Loss**：音声信号なし **PCM 48kHz**：通常音声信号（約 48kHz） **PCM 44.1kHz**：通常音声信号（約 44.1kHz） **PCM 32kHz**：通常音声信号（約 32kHz） **PCM Other**：通常音声信号（その他） **Silence 48kHz**：無音信号（約 48kHz） **Silence 44.1kHz**：無音信号（約 44.1kHz） **Silence 32kHz**：無音信号（約 32kHz） **Silence Other**：無音信号（その他） **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **Output Setting**：AES 端子出力モード

◆ **AES Output Audio**

項目	表示内容	説明
CH1 - CH8	PCM Silence NON-PCM Unknown Input Setting	AES 入出力端子の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **PCM**：通常音声信号 **Silence**：無音信号 **NON-PCM**：AC3 などの圧縮音声信号 **Unknown**：判別不可 **Input Setting**：AES 端子入力モード

◆ **Dolby AUX Status**

項目	表示内容	説明
Input	Loss PCM NON-PCM Unknown	Dolby オプションの入力端子（Dolby IN）に入力されている信号の種類が表示されます。 **Loss**：音声信号なし **PCM**：通常音声信号 **NON-PCM**：Dolby E などの圧縮音声信号 **UNKNOWN**：判別不可
Output	PCM NON-PCM None	Dolby オプションの出力端子（Dolby OUT）に出力されている信号の種類が表示されます。 **PCM**：通常音声信号 **NON-PCM**：Dolby E などの圧縮音声信号 **None**：信号出力なし
Reference	Loss 525/60 625/50 1080/59i 1080/50i 720/59p 720/50p 1080/23PsF 1080/24PsF Unknown	Dolby オプションの REF IN 端子に入力されているリファレンス信号フォーマットが表示されます。 **Loss**：信号入力なし **UNKNOWN**：判別不可

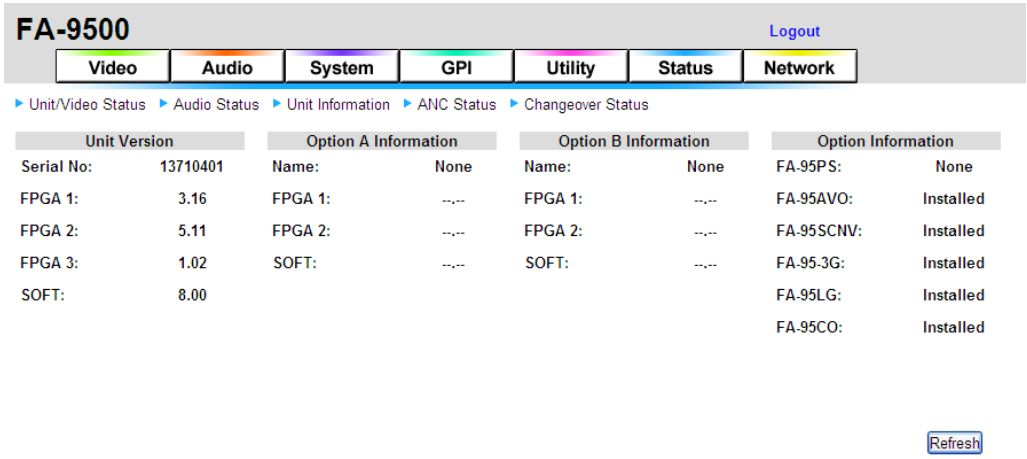
◆ **Analog Input Audio**

項目	表示内容	説明
CH1 - CH4	Loss In	ANALOG AUDIO 入力端子の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **Loss**：音声信号なし **In**：入力あり

◆ **Analog Output Audio**

項目	表示内容	説明
CH1 - CH4	Silence Out	ANALOG AUDIO 出力端子の AUDIO 信号の状態が表示されます。 **Silence**：無音信号 **Out**：出力あり

9-7-3. Unit Information



「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **Unit Version**

項目	説明
Serial No:	FA-9500 のシリアル番号が表示されます。
FPGA1	FPGA1 のバージョンが表示されます。
FPGA2	FPGA2 のバージョンが表示されます。
FPGA3	FPGA3 のバージョンが表示されます。
SOFT	SOFT のバージョンが表示されます。

◆ **Option A Information**

オプションスロット A に実装されている、オプションの内容が表示されます。
なにも装着されていない場合は、None と表示されます。

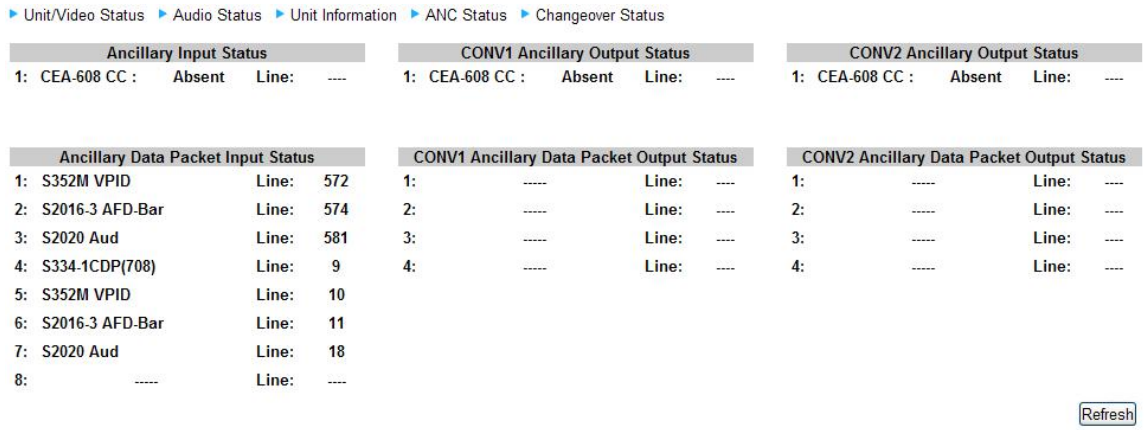
◆ **Option B Information**

オプションスロット B に実装されている、オプションの内容が表示されます。
なにも装着されていない場合は、None と表示されます。

◆ **Option Information**

オプションスロット A／B 以外のオプションおよび、ソフトウエアオプションのインストール状態が表示されます。

9-7-4. ANC Status（FA-95SCNV なし）


Unit/Video Status
Audio Status
Unit Information
ANC Status
Changeover Status
Ancillary Input Status
1: CEA-608 CC : Absent Line: ----
CONV1 Ancillary Output Status
1: CEA-608 CC : Absent Line: ----
CONV2 Ancillary Output Status
1: CEA-608 CC : Absent Line: ----
Ancillary Data Packet Input Status
1: S352M VPID Line: 572
2: S2016-3 AFD-Bar Line: 574
3: S2020 Aud Line: 581
4: S334-1CDP(708) Line: 9
5: S352M VPID Line: 10
6: S2016-3 AFD-Bar Line: 11
7: S2020 Aud Line: 18
8: ----- Line: ----
CONV1 Ancillary Data Packet Output Status
1: ----- Line: ----
2: ----- Line: ----
3: ----- Line: ----
4: ----- Line: ----
CONV2 Ancillary Data Packet Output Status
1: ----- Line: ----
2: ----- Line: ----
3: ----- Line: ----
4: ----- Line: ----
Refresh

Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **Ancillary Input Stats**

入力信号の輝度信号に重畳されている ANC の状態が表示されます。
検出されたライン番号が表示されます。

◆ **Ancillary Data Packet Input Status**

入力が SDI 信号の場合、重畳されているアンシラリデータパケットの検出状態が表示されます。規定されていない DID/SDID の場合は、検出された DID および SDID データを 16 進数で表示します (例 : DID/SDID: 05/30)。規定されている DID/SDID の場合は、アンシラリの種類名称(例 : S334-1CDP(708)) を表示します。表示されるアンシラリの種類名称一覧と DID/SDID 規定等説明については「19 FA-9500 アンシラリデータパケット表示名一覧」を参照してください。最大 8 個分のアンシラリデータパケットの検出内容が表示されます。

◆ **Converter1/2 Ancillary Output Status**

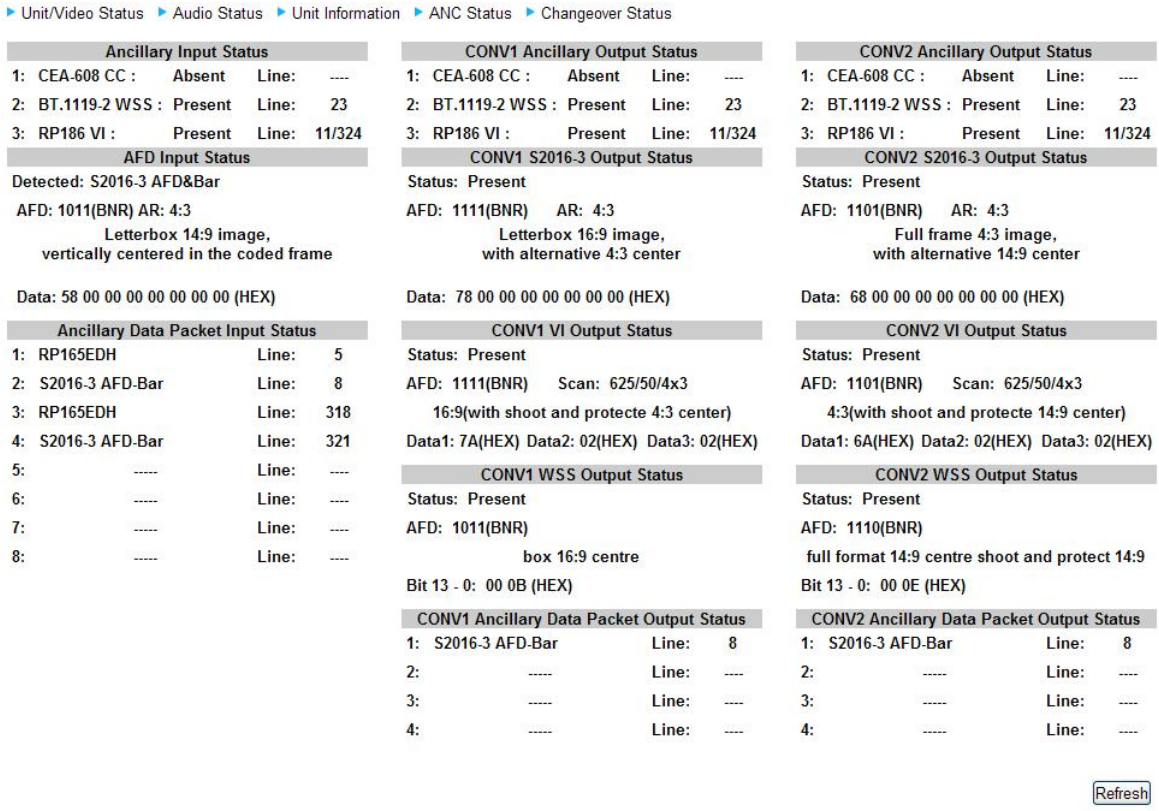
Converter1/2 それぞれの出力信号の輝度信号に重畳されているアンシラリの状態が表示されます。重畳されたライン番号を表示し、信号が重畳されている場合は PRESENT、重畳されていない場合は ABSENT と表示されます。また、「9-4-1 Video System」の Converter1 Ancillary Setting で ANC Mode が H/V ANC の場合は、V ANC の設定（Pass または Blank）が表示され、Line 番号は、”Line:---”と表示されます。

◆ **Converter1/2 Ancillary Data Packet Output Status**

Converter1/2 それぞれの出力信号に重畳されている 4 個分のアンシラリパケットデータの重畳内容が表示されます。アンシラリの種類名称と重畳しているライン番号が表示されます。表示されるアンシラリの種類名称と DID/SDID 規定等説明については「19 FA-9500 アンシラリパケットデータ表示名一覧」を参照してください。重畳しているアンシラリデータがない場合は“----”と表示されます。

9-7-5. ANC Status（FA-95SCNV あり）

ANC Setting は、オプション FA-95SCNV のインストール有／無で表示設定方法が変わります。


Unit/Video Status
Audio Status
Unit Information
ANC Status
Changeover Status
Ancillary Input Status
1: CEA-608 CC : Absent Line: ----
2: BT.1119-2 WSS : Present Line: 23
3: RP186 VI : Present Line: 11/324
AFD Input Status
Detected: S2016-3 AFD&Bar
AFD: 1011(BNR) AR: 4:3
Letterbox 14:9 image,
vertically centered in the coded frame
Data: 58 00 00 00 00 00 00 00 (HEX)
Ancillary Data Packet Input Status
1: RP165EDH Line: 5
2: S2016-3 AFD-Bar Line: 8
3: RP165EDH Line: 318
4: S2016-3 AFD-Bar Line: 321
5: ----- Line: ----
6: ----- Line: ----
7: ----- Line: ----
8: ----- Line: ----
CONV1 Ancillary Output Status
1: CEA-608 CC : Absent Line: ----
2: BT.1119-2 WSS : Present Line: 23
3: RP186 VI : Present Line: 11/324
CONV1 S2016-3 Output Status
Status: Present
AFD: 1111(BNR) AR: 4:3
Letterbox 16:9 image,
with alternative 4:3 center
Data: 78 00 00 00 00 00 00 00 (HEX)
CONV1 VI Output Status
Status: Present
AFD: 1111(BNR) Scan: 625/50/4x3
16:9(with shoot and protecte 4:3 center)
Data1: 7A(HEX) Data2: 02(HEX) Data3: 02(HEX)
CONV1 WSS Output Status
Status: Present
AFD: 1011(BNR)
box 16:9 centre
Bit 13 - 0: 00 0B (HEX)
CONV1 Ancillary Data Packet Output Status
1: S2016-3 AFD-Bar Line: 8
2: ----- Line: ----
3: ----- Line: ----
4: ----- Line: ----
CONV2 Ancillary Output Status
1: CEA-608 CC : Absent Line: ----
2: BT.1119-2 WSS : Present Line: 23
3: RP186 VI : Present Line: 11/324
CONV2 S2016-3 Output Status
Status: Present
AFD: 1101(BNR) AR: 4:3
Full frame 4:3 image,
with alternative 14:9 center
Data: 68 00 00 00 00 00 00 00 (HEX)
CONV2 VI Output Status
Status: Present
AFD: 1101(BNR) Scan: 625/50/4x3
4:3(with shoot and protecte 14:9 center)
Data1: 6A(HEX) Data2: 02(HEX) Data3: 02(HEX)
CONV2 WSS Output Status
Status: Present
AFD: 1110(BNR)
full format 14:9 centre shoot and protect 14:9
Bit 13 - 0: 00 0E (HEX)
CONV2 Ancillary Data Packet Output Status
1: S2016-3 AFD-Bar Line: 8
2: ----- Line: ----
3: ----- Line: ----
4: ----- Line: ----
Refresh

Refresh をクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ **Ancillary Input Status**

CEA608/WSS/VI のアンシラリデータの検出状態が表示されます。
検出されたライン番号が表示されます。

◆ **AFD Input Status**

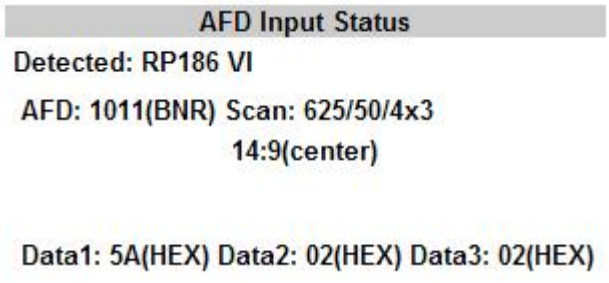
入力信号の AFD 検出状態が表示されます。

＜入力信号の AFD を S2016-3 で検出している場合＞

AFD Input Status
Detected: S2016-3 AFD&Bar
AFD: 1011(BNR) AR: 4:3
Letterbox 14:9 image,
vertically centered in the coded frame
Data: 58 00 00 00 00 00 00 00 (HEX)

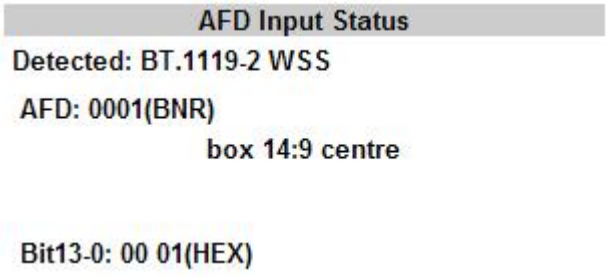
Detected: S2016-3 AFD& BAR が表示されます。
AFD: Active Format Description コードが 2 進数で表示されます。
AR:アスペクトが 4:3, 16:9 で表示されます。
検出されている AFD の名称が表示されます。
Data: 検出されているデータが、16 進数で 8Byte 分表示されます。

＜入力信号の **AFD** を **RP186 VI** で検出している場合＞



Detected: RP186VI が表示されます。
AFD: Active Format Description コードが 2 進数で表示されます。
Scan: Scanning System の内容が表示されます。
検出されている AFD の名称が表示されます。
Data1～3: 検出されているデータが 16 進数で表示されます。

<入力信号の AFD を BT.1119-2 WSS で検出している場合>



Detected: BT.1119-2 WSS が表示されます。
AFD: Active Format Description が 2 進数で表示されます。
検出されている AFD の名称が表示されます。
Bit13～0: 検出されているビット 13～0 が 16 進数で表示されます。

◆ **Ancillary Data Packet Input Status**

入力が SDI 信号の場合、入力信号に重畳されているアンシラリデータの検出状態が表示されます。規定されていない DID/SDID の場合は、検出された DID および SDID データを 16 進数で表示します (例：DID/SDID: 05/30)。規定されている DID/SDID の場合は、アンシラリの種類名称(例：S334-1CDP(708)) を表示します。表示されるアンシラリの種類名称一覧と DID/SDID 規定等説明については「19 FA-9500 アンシラリデータパケット表示名一覧」を参照してください。最大 8 個分のアンシラリデータの検出内容が表示されます。

◆ **CONV1/2 Ancillary Output Status**

Converter1/2 出力信号の輝度信号に重畳されている CEA608 CC/BT.1119-2 WSS/RP186 VI の状態と、重畳されたライン番号が表示されます。

Status: 信号が重畳されている場合は **Present**、重畳されていない場合は **Absent** と表示されます。また、「9-4-1 Video System」の Converter1 Ancillary Setting で ANC Mode が H/V ANC の場合は、V ANC の設定（Pass または Blank）が表示され、Line 番号は、”Line:---”と表示されます。

◆ **CONV 1/2 S2016-3 Output Status**

Converter1/2 それぞれの出力信号に重畳されている S2016-3 の状態が表示されます。

Satus: 信号が重畳されている場合は **Present**、重畳されていない場合は **Absent** と表示されます。また、「9-4-1 Video System」の Converter1 Ancillary Setting で ANC Mode が H/V ANC の場合は、V ANC の設定（Pass または Blank）が表示されます。

AFD: Active Format Description コードが 2 進数で表示されます。

AR:アスペクトが 4:3, 16:9 で表示されます。重畳されている AFD の名称が表示されます。

Data: 重畳しているデータが、16 進数で 8Byte 分表示されます。

◆ **CONV1/2 VI Output Status**

Converter1/2 それぞれの出力信号に重畳されている RP186 VI の状態が表示されます。

Status:信号が重畳されている場合は Present と表示され、重畳されていない場合は Absent と表示されます。また、「9-4-1 Video System」の Converter1 Ancillary Setting で ANC Mode が H/V ANC の場合は、V ANC の設定（Pass または Blank）が表示されます。

AFD: Active Format Description コードが 2 進数で表示されます。

Scan: Scanning System の内容が表示されます。重畳されている AFD の名称が表示されます。

Data 1～3: 重畳されているデータが 16 進で表示されます。

◆ **CONV1/2 WSS Output Status**

Converter1/2 それぞれの出力信号に重畳されている BT1119-2 WSS の状態が表示されます。

Status:信号が重畳されている場合は Present と表示され、重畳されていない場合は Absent と表示されます。また、「9-4-1 Video System」の Converter1 Ancillary Setting で ANC Mode が H/V ANC の場合は、V ANC の設定（Pass または Blank）が表示されます。

AFD: Active Format Description が 16 進で表示されます。重畳されている AFD の名称が表示されます。

Bit 13-0: 重畳されている Bit13～Bit0 が 16 進で表示されます。

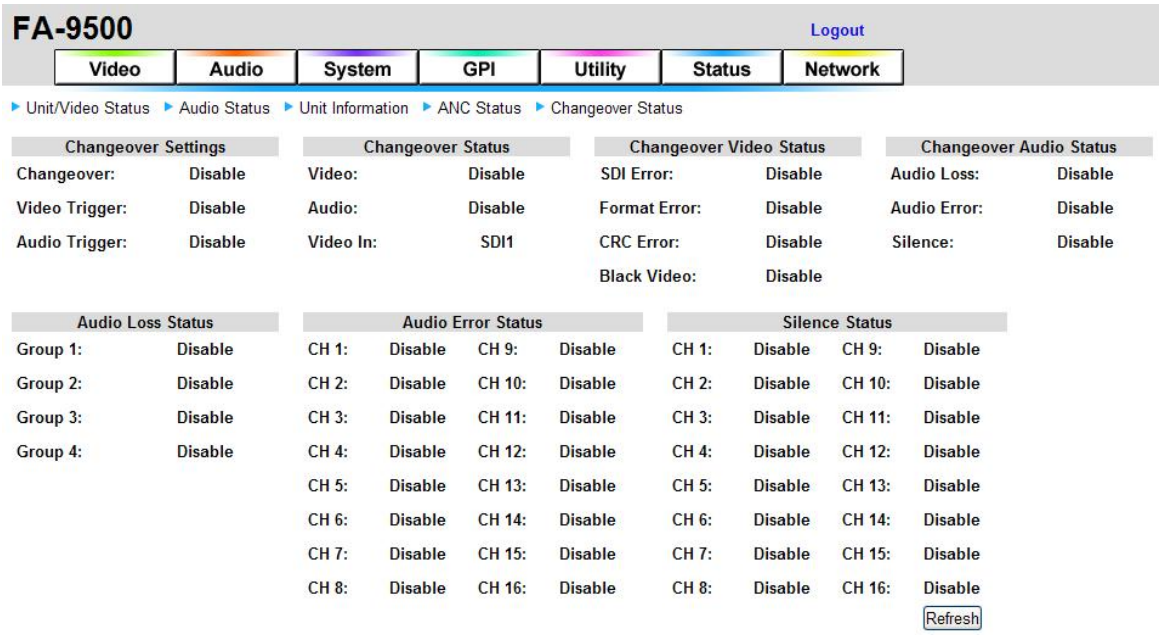
◆ **CONV1/2 Ancillary Data Packet Output Status**

Converter1/2 それぞれの出力信号に重畳されている 4 個分のアンシラリパケットデータの重畳内容が表示されます。アンシラリ名と重畳しているライン番号が表示されます。

表示されるアンシラリ名と DID/SDID 規定等説明については「19 FA-9500 アンシラリパケットデータ表示名一覧」を参照してください。重畳しているアンシラリデータがない場合は“----”と表示されます。

9-7-6. Changeover Status

Changeover Status 画面は、オプションの FA-95CO がインストールされていないと表示されません。



「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。

Refreshをクリックすると最新の状態に更新されます。

◆ Changeover Setting

Changeover の設定状態が表示されます。

項目	表示内容	説明
Changeover	Disable Enable	「9-2-1. Input Select」 の Changeover 設定が表示されます。
Video Trigger	Disable Enable	「9-2-1. Input Select」の Video Trigger の設定が表示されます。
Audio Trigger	Disable Enable	「9-2-1. Input Select」の Audio Trigger の設定が表示されます。

◆ Changeover Status

Changeover の動作状態が表示されます。

項目	説明
Video	**Disable:** ビデオトリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** ビデオ トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** ビデオ トリガが設定されていてチェンジオーバがビデオトリガで発生したことを表示しています。
Audio	**Disable:** オーディオ トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** オーディオトリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** オーディオ トリガが設定されていてチェンジオーバがオーディオ トリガで発生したことを表示しています。

項目	説明
Video In	**SDI1:** SDI1 を入力として動作していることを表示しています。 **SDI1→SDI2:**チェンジオーバが発生し、入力信号を SDI 1 から SDI2 に切り替えたことを表示しています。 **SDI2:** SDI2 を入力として動作していることを表示しています。 **Composite:** コンポジット信号を入力として動作していることを表示しています。 **YPbPr SMPTE（*1）:** コンポーネント信号を入力として動作していることを表示しています。SD 信号の場合は、SMPTE レベルで動作します。 **YPbPr BETACAM（*1）:** コンポーネント信号を入力として動作していることを表示しています。SD 信号の場合は、BETACAM レベルで動作します。 **RGB（*1）:** RGB 信号を入力として動作していることを表示しています。 **Y/C（*1）:**Y/C 信号を入力として動作していることを表示しています。

*1　FA-95AIO が実装されている場合表示されます。

◆ **Changeover Video Status**

Changeover 動作でビデオトリガの状態が表示されます。

項目	説明
SDI Error	**Disable:** SDI Error トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** SDI Error トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** SDI Error トリガが設定されていてチェンジオーバが SDI Error トリガで発生したことを表示しています。
Format Error	**Disable:** Format Error トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** Format Error トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** Format Error トリガが設定されていてチェンジオーバが Format Error トリガで発生したことを表示しています。
CRC Error	**Disable:** CRC Error トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** CRC Error トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** CRC Error トリガが設定されていてチェンジオーバが CRC Error トリガで発生したことを表示しています。
Black Video	**Disable:** Black Video トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** Black Video トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** Black Video トリガが設定されていてチェンジオーバが Black Video トリガで発生したことを表示しています。

◆ **Changeover Audio Status**

Changeover 動作でオーディオトリガの状態が表示されます。

項目	説明
Audio Loss	**Disable:** Audio Loss トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** Audio Loss トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** Audio Loss トリガが設定されていてチェンジオーバが Audio Loss トリガで発生したことを表示しています。
Audio Error	**Disable:** Audio Error トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** Audio Error トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** Audio Error トリガが設定されていてチェンジオーバが Audio Error トリガで発生したことを表示しています。
Silence	**Disable:** Silence トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** Silence トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** Silence トリガが設定されていてチェンジオーバが Silence トリガで発生したことを表示しています。

◆ **Audio Loss Status**

Changeover 動作で Audio Loss トリガの詳細状態が表示されます。

項目	説明
Group 1～4	**Disable:** Group 1～4 の各音声グループで Audio Loss トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** Group 1～4 の各音声グループで Audio Loss トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** Audio Loss トリガが設定されていてチェンジオーバが Audio Loss トリガで発生したことを表示しています。

◆ **Audio Error Status**

Changeover 動作で Audio Error トリガの詳細状態が表示されます。

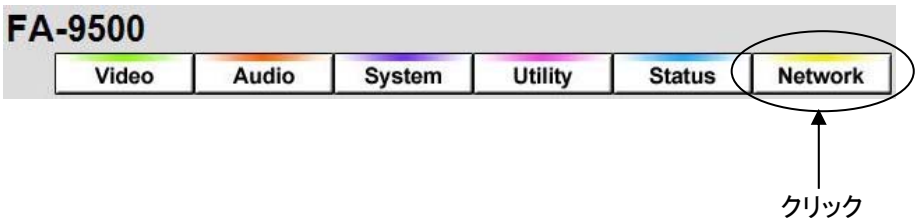
項目	説明
CH1 1～16	**Disable:** 各音声 CH1～16 で Audio Error トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** 各音声 CH1～16 で Audio Error トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** 各音声 CH1～16 で Audio Error トリガが設定されていてチェンジオーバが Audio Error トリガで発生したことを表示しています。

◆ **Silence Status**

Changeover 動作で Silence トリガの詳細状態が表示されます。

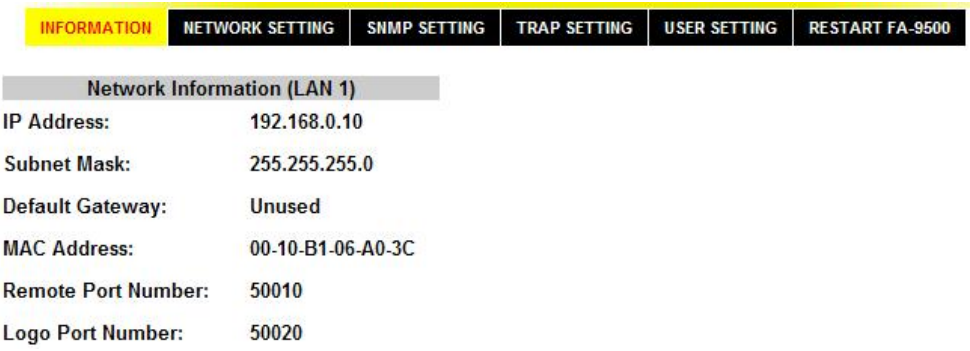
項目	説明
CH1 1～16	**Disable:** 各音声 CH1～16 で Silence トリガが設定されていません。 **Non-Trigger:** 各音声 CH1～16 で Silence トリガが設定されていてチェンジオーバが発生していないことを表示しています。 **Trigger:** 各音声 CH1～16 で Silence トリガが設定されていてチェンジオーバが Silence トリガで発生したことを表示しています。

9-8. Network 設定



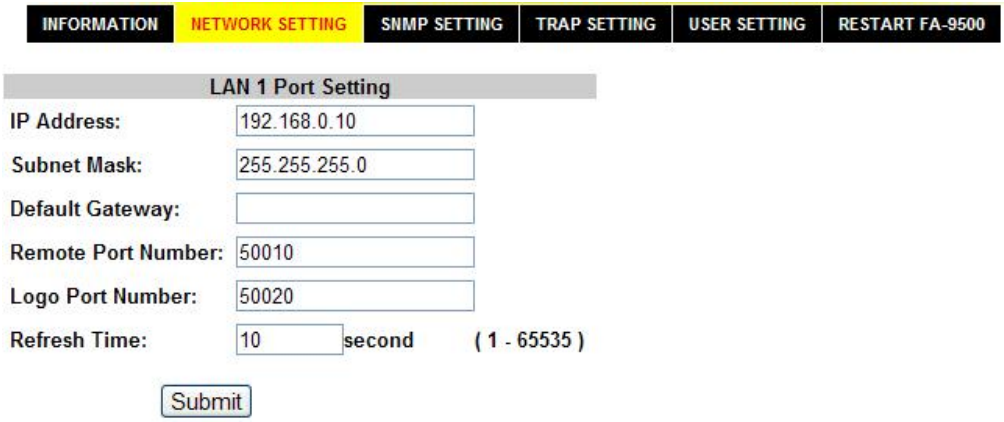
「9-8-5 USER SETTING」でユーザ名とパスワードが設定されていない場合は、Logout は表示されません。
画面上部の Network のタブをクリックすると、Network 関連の設定画面が表示されます。
左上の INFORMATION NETWORK SETTING SNMP SETTING TRAP SETTING USER SETTING NETWORK RESTART で NETWORK SETTING をクリックすると NETWORK SETTING 画面に移動します。
同様に、“SNMP SETTING” “TRAP SETTING”“USER SETTING” “NETWORK RESTART” をクリックするとそれぞれの設定画面に移動します。

9-8-1. Network Information



背面端子 LAN1 のネットワークの設定状態が表示されます。

9-8-2. NETWORK SETTING



注意	PC のスペックが低い場合、Web ページを正常に読み込めない場合があります。その場合は「Refresh Time」の値を大きめの値 (30 以上) に設定してください。

LAN1 ポートのネットワーク設定画面が表示されます。

項目	初期値	説明
IP Address	192.168.0.10	LAN1 ポートの IP アドレスを設定します。“.”で区切って入力します。
Subnet Mask	255.255.255.0	LAN1 ポートのサブネットマスク “.”で区切って入力します。
Default Gateway	0.0.0.0	ゲートウエイを設定する場合、アドレスを入力します。“.”で区切って入力します。
Remote Port Number	50010	FA-95RU / FA-10DCCRU との接続に使用する TCP のポート番号を設定します。 *1
Logo Port Number	50020	FA-95LG GUI との接続に使用する PC の TCP のポート番号を設定します。 *2
Refresh Time	10	WEB 画面の Refresh 時間（秒）を設定します。

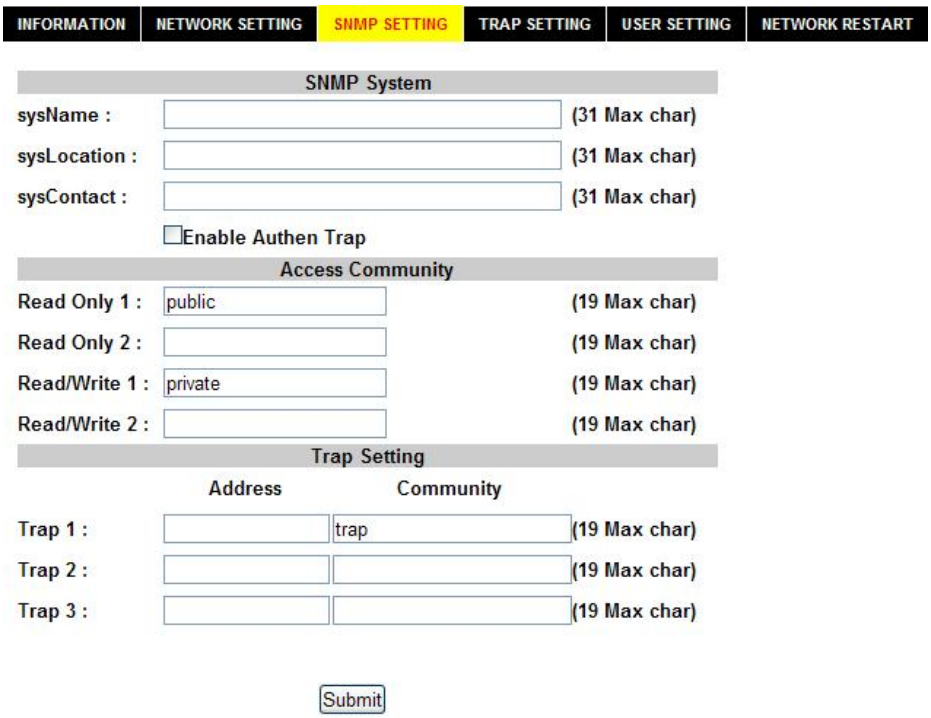
各ネットワーク設定完了後、**Submit** をクリックします。
Submit をクリック後設定を反映するには、“NETWORK RESTART”画面の RESTART を必ず実行してください。RESTART 実行しないと設定は反映されません。

*1 「Remote Port Number」を変更する場合は、FA-95RU 側の設定と同じ値に設定してください。

*2 「Logo Port Number」は、FA-95LG GUI 側の設定と同じ値に設定してください。

9-8-3. SNMP SETTING

SNMP 関連の設定を行います。各項目を設定後、**Submit** をクリックします。
設定を反映するには、“NETWORK RESTART”画面の RESTART を必ず実行してください。
RESTART 実行しないと設定は反映されません。



各項目の内容を入力後、必ず、**Submit** をクリックします。

◆ **SNMP System**

項目	文字制限 （半角英数字と記号）	説明
sysName	31 文字以内	機器の名称
sysLocation	31 文字以内	機器の設置場所などのコメント
sysContact	31 文字以内	機器を管理している担当者などのコメント

Enable Authen Trap をチェックすると、認証に失敗した場合、トラップが発生します。

◆ **Access Community**

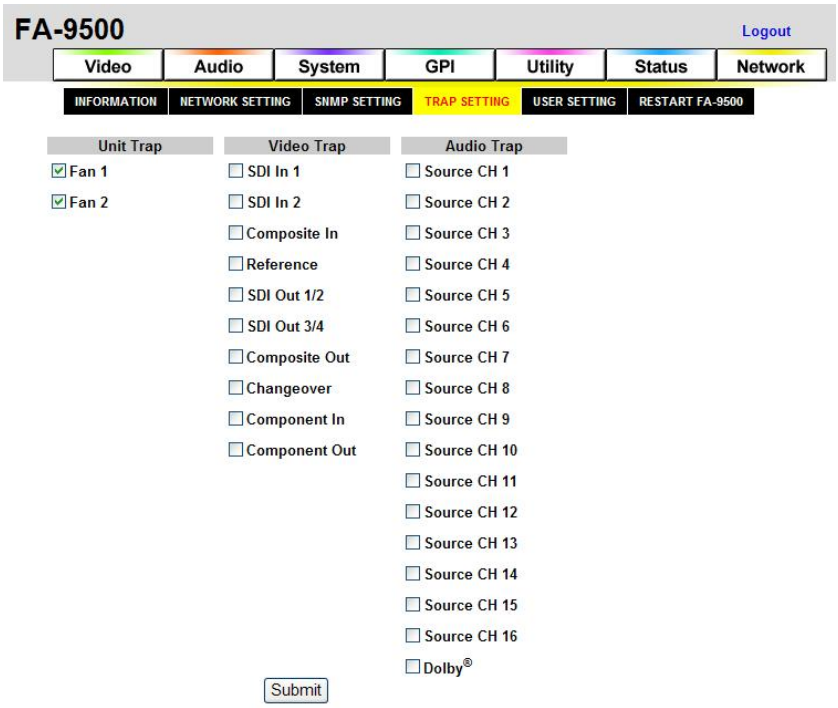
項目	文字制限 （半角英数字と記号）	説明
Read Only1	19 文字以内	SNMP の読み取り用コミュニティ名
Read Only2	19 文字以内	SNMP の読み取り用コミュニティ名
Read/Write1	19 文字以内	SNMP の読み書き用コミュニティ名
Read/Write2	19 文字以内	SNMP の読み書き用コミュニティ名

◆ **Trap Setting**

項目	文字制限 （半角英数字と記号）	説明
Trap1 Address	---	トラップを送信する SNMP マネージャの IP アドレス
Trap2 Address	---	トラップを送信する SNMP マネージャの IP アドレス
Trap3 Address	---	トラップを送信する SNMP マネージャの IP アドレス
Trap1 Community	19 文字以内	Trap1 Address にトラップを送信するコミュニティ名
Trap2 Community	19 文字以内	Trap2 Address にトラップを送信するコミュニティ名
Trap3 Community	19 文字以内	Trap3 Address にトラップを送信するコミュニティ名

9-8-4. TRAP SETTING

SNMP のトラップ送信の制御をします、該当する機能のトラップを送信する場合、各項目のチェックボックスにチェックを入れて Submit クリックします。チェックを外すとトラップ送信を停止します。トラップの詳細については、「18 SNMP 機能について」の TRAP 一覧を参照してください。



◆ Unit Trap

ファンと電源アラーム発生時のトラップ送信を制御します。
初期値は全て送信状態で設定されています。

項目	説明
Fan1	チェックを入れると、Fan1 のトラップを送信します。
Fan2	チェックを入れると、Fan2 のトラップを送信します。
Power1 *1	チェックを入れると、Power1 のトラップを送信します。
Power2 *1	チェックを入れると、Power2 のトラップを送信します。

*1 FA-95PS が装着されていない場合、表示されません。

◆ Video Trap

入力/出力ビデオ信号の変化時のトラップ送信を制御します。
初期値は全て送信停止状態で設定されています。

項目	説明
SDI In 1	チェックを入れると、SDI In 1 のトラップを送信します。
SDI In 2	チェックを入れると、SDI In 2 のトラップを送信します。
Composite In	チェックを入れると、Composite In のトラップを送信します。
Reference	チェックを入れると、Reference のトラップを送信します。
SDI Out 1/2	チェックを入れると、SDI Out 1/2 のトラップを送信します。
SDI Out 3/4	チェックを入れると、SDI Out 3/4 のトラップを送信します。
Composite Out	チェックを入れると、Composite Out のトラップを送信します。
Changeover *1	チェックを入れると、Changeover のトラップを送信します。
Component In *2	チェックを入れると、Component In のトラップを送信します。
Component Out *2	チェックを入れると、Component Out のトラップを送信します。

*1 FA-95CO オプションがインストールされていない場合表示されません。
*2 FA-95AIO オプションが実装されていない場合表示されません。

◆ **Audio Trap**

Source1-16 および、Dolby E IN のオーディオ信号の変化時にトラップ送信を制御します。
初期値は全て送信停止状態で設定されています。

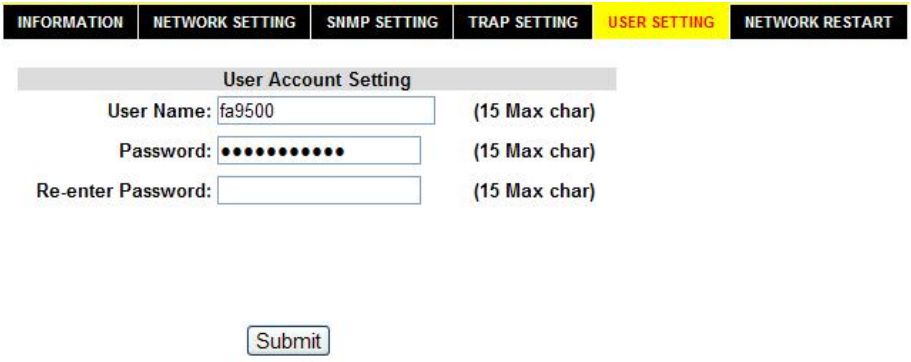
項目	説明
Source CH1-16 *1	チェックを入れると、Source CH1-16 のトラップを送信します。
Dolby*2	チェックを入れると、Dolby E IN (AUX IN)入力信号のトラップを送信します。

*1　Source CH1-16 の詳細は、「9-3-4 Source Select」を参照してください。
*2　FA-95D-D オプションがインストールされていない場合は表示されません。

9-8-5. USER SETTING

FA-9500 にアクセスする際の User Name と Password を設定します。
出荷時は、

User Name：fa9500
Password：foranetwork
に設定されています。

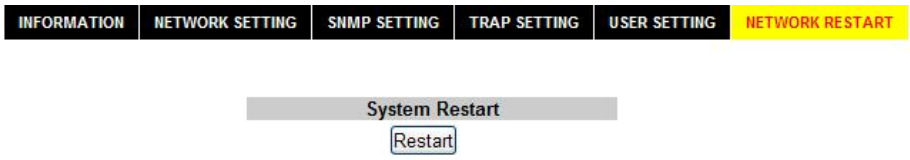


項目	文字制限 (半角英数字と記号)	説明
User Name	15 文字以内	ユーザー名を設定します。
Password	15 文字以内	パスワードを設定します。
Re-enter Password	15 文字以内	確認のパスワードを設定します。

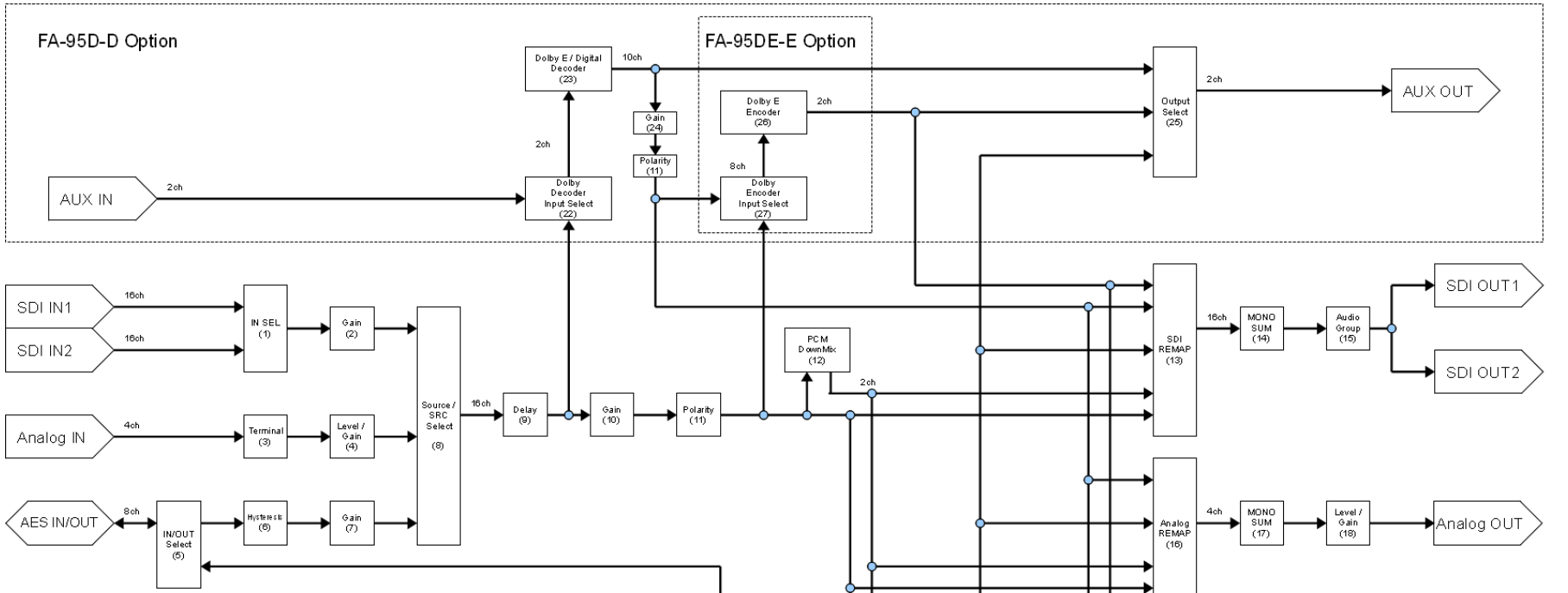
User Name または Password を空欄で設定した場合、次回から Login 画面からの認証確認は行われません。また、各タブの Logout は表示されなくなります。
設定は再起動または「9-8-6. リスタート」実施後に反映されます。

9-8-6. リスタート

Restart をクリックすると FA-9500 が再起動します。
再起動を実行すると、FA-9500 は電源投入時と同様の動作を行います。
再起動中は、映像/音声共に乱れが発生しますので、実行の際は十分注意して実行してください。



10. システムブロック図（AUDIO）



Block No,	Menu No,	Block No,	Menu No,	Block No,	Menu No,
(1)	47, 125, 184	(2)	121	(3)	147
(4)	141, 142	(5)	135, 184	(6)	132
(7)	131	(8)	155, 181, 182, 183	(9)	161
(10)	151	(11)	175	(12)	165, 166
(13)	122, 124	(14)	123	(15)	101, 102
(16)	145	(17)	146	(18)	143, 144
(19)	133	(20)	134	(21)	95
(22)	302, 303	(23)	304	(24)	305
(25)	301	(26)	307, 308	(27)	306

11. ANALOG/DIGITAL 入出力音声レベル

11-1. デジタル入力音声レベルに対するアナログ出力レベル

◆ **デジタル規準レベル設定：-18dBFS の場合**

	ANALOG OUT LEVEL 設定			
入力デジタルオーディオレベル	-10dBm	0dBm	4dBm	8dBm
-24dBFS	-16dBm	-6dBm	-2dBm	+2dBm
-20dBFS	-12dBm	-2dBm	+2dBm	+6dBm
-18dBFS	-10dBm	0dBm	+4dBm	+8dBm
0dBFS	+8dBm	+18dBm	+22dBm	CLIP

◆ **デジタル規準レベル設定：-20dBFS の場合**

	ANALOG OUT LEVEL 設定			
入力デジタルオーディオレベル	-10dBm	0dBm	4dBm	8dBm
-24dBFS	-14dBm	-4dBm	0dBm	+4dBm
-20dBFS	-10dBm	0dBm	+4dBm	+8dBm
-18dBFS	-8dBm	+2dBm	+6dBm	+10dBm
0dBFS	+10dBm	+20dBm	+24dBm	CLIP

◆ **デジタル規準レベル設定：-24dBFS の場合**

	ANALOG OUT LEVEL 設定			
入力デジタルオーディオレベル	-10dBm	0dBm	4dBm	8dBm
-24dBFS	-10dBm	+0dBm	+4dBm	+8dBm
-20dBFS	-6dBm	+4dBm	+8dBm	+12dBm
-18dBFS	-4dBm	+6dBm	+10dBm	+14dBm
0dBFS	+14dBm	+24dBm	CLIP	CLIP

☞ デジタル規準レベル設定は、「6-10-2 DITAL AUDIO」の REF LEVEL を参照してください。

ANALOG OUT　LEVEL 設定は、「6-3-3 ANALOG OUT LEVEL」を参照してください。

11-2. アナログ入力音声レベルに対するデジタル出力レベル

◆ **デジタル規準レベル設定：-18dBFS の場合**

入力アナログオーディオレベル	ANALOG IN LEVEL 設定			
	-10dBm	0dBm	4dBm	8dBm
-20dBm	-28dBFS	-38dBFS	-42dBFS	-46dBFS
-10dBm	-18dBFS	-28dBFS	-32dBFS	-36dBFS
-4dBm	-12dBFS	-22dBFS	-26dBFS	-30dBFS
0dBm	-8dBFS	-18dBFS	-22dBFS	-26dBFS
4dBm	-4dBFS	-14dBFS	-18dBFS	-22dBFS
8dBm	0dBFS	-10dBFS	-14dBFS	-18dBFS
10dBm	CLIP	-8dBFS	-12dBFS	-16dBFS

◆ **デジタル規準レベル設定：-20dBFS の場合**

入力アナログオーディオレベル	ANALOG IN LEVEL 設定			
	-10dBm	0dBm	4dBm	8dBm
-20dBm	-30dBFS	-40dBFS	-44dBFS	-48dBFS
-10dBm	-20dBFS	-30dBFS	-34dBFS	-38dBFS
-4dBm	-14dBFS	-24dBFS	-28dBFS	-32dBFS
0dBm	-10dBFS	-20dBFS	-24dBFS	-28dBFS
4dBm	-6dBFS	-16dBFS	-20dBFS	-24dBFS
8dBm	-2dBFS	-12dBFS	-16dBFS	-20dBFS
10dBm	0dBFS	-10dBFS	-14dBFS	-18dBFS

◆ **デジタル規準レベル設定：-24dBFS の場合**

入力アナログオーディオレベル	ANALOG IN LEVEL 設定			
	-10dBm	0dBm	4dBm	8dBm
-20dBm	-34dBFS	-44dBFS	-48dBFS	-52dBFS
-10dBm	-24dBFS	-34dBFS	-38dBFS	-42dBFS
-4dBm	-18dBFS	-28dBFS	-32dBFS	-36dBFS
0dBm	-14dBFS	-24dBFS	-28dBFS	-32dBFS
4dBm	-10dBFS	-20dBFS	-24dBFS	-28dBFS
8dBm	-6dBFS	-16dBFS	-20dBFS	-24dBFS
10dBm	-4dBFS	-14dBFS	-18dBFS	-22dBFS

☞ デジタル規準レベル設定は、「6-10-2 DITAL AUDIO」の REF LEVEL を参照してください。

ANALOG IN LEVEL 設定は、「6-3-1 ANALOG IN LEVEL」を参照してください。

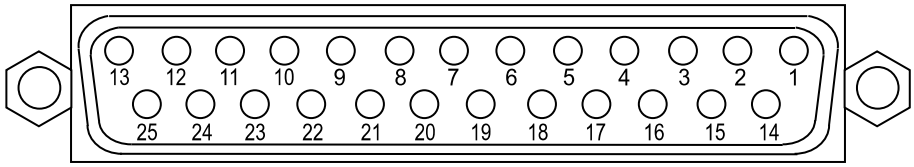
12. アナログオーディオの接続

バランス入力時およびバランス出力時は、アナログオーディオ信号のホット、コールド、を各コネクタの＋ピン、－ピンにそれぞれ接続してください。

アンバランス入力時は、アナログオーディオの信号線をコネクタの＋のピンに接続し、GND 線をコネクタの－ピンと COM ピンに分配し接続してください。

アンバランス出力時は、アナログオーディオの信号線をコネクタの＋ピンに接続し、GND 線をコネクタの COM ピンに接続してください。

◆ **アナログオーディオ　コネクタ（D-sub 25 ピン　メス　インチネジ）**



◆ **端子配列表　（D-sub 25 ピン　メス）**

ピン番号	設 定
1	CH4 OUT+
2	CH4 OUT COM
3	CH3 OUT-
4	CH2 OUT+
5	CH2 OUT COM
6	CH1 OUT-
7	CH4 IN+
8	CH4 IN COM
9	CH3 IN-
10	CH2 IN+
11	CH2 IN COM
12	CH1 IN-
13	NC
14	CH4 OUT-
15	CH3 OUT+
16	CH3 OUT COM
17	CH2 OUT-
18	CH1 OUT+
19	CH1 OUT COM
20	CH4 IN-
21	CH3 IN+
22	CH3 IN COM
23	CH2 IN-
24	CH1 IN+
25	CH1 IN COM

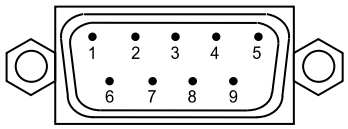
13. Dolby E エンコード／デコード信号アサイン表

Dolby E Decoder Output / Encloder Input Channel Assignment									
Program Configuration		Out/In Ch1	Out/In Ch2	Out/In Ch3	Out/In Ch4	Out/In Ch5	Out/In Ch6	Out/In Ch7	Out/In Ch8
Dolby E	5.1+2	1L	1R	1C	1LFE	1Ls	1Rs	2L	2R
	5.1+2×1	1L	1R	1C	1LFE	1Ls	1Rs	2C	3C
	4+4	1L	1R	1C	1S	2C	2S	2L	2R
	4+2×2	1L	1R	1C	1S	3L	3R	2L	2R
	4+2+2×1	1L	1R	1C	1S	3C	4C	2L	2R
	4+4×1	1L	1R	1C	1S	4C	5C	2C	3C
	4×2	1L	1R	3L	3R	4L	4R	2L	2R
	3×2+2×1	1L	1R	3L	3R	4C	5C	2L	2R
	2×2+4×1	1L	1R	3C	4C	5C	6C	2L	2R
	2+6×1	1L	1R	4C	5C	6C	7C	2C	3C
	8×1	1C	2C	3C	4C	5C	6C	7C	8C
	5.1	1L	1R	1C	1LEF	1Ls	1Rs	None	None
	4+2	1L	1R	1C	1S	None	None	2L	2R
	4+2×1	1L	1R	1C	1S	None	None	2S	3C
	3×2	1L	1R	3L	3R	None	None	2L	2R
	2×2+2×1	1L	1R	3C	4C	None	None	2L	2R
	2+4×1	1L	1R	4C	5C	None	None	2C	3C
	6×1	1C	2C	3C	4C	5C	6C	None	None
	4	1L	1R	1C	1S	None	None	None	None
	2+2	1L	1R	None	None	None	None	2L	2R
	2+2×1	1L	1R	None	None	None	None	2C	3C
	4×1	1C	2C	3C	4C	None	None	None	None
	7.1	1L	1R	1C	1LFE	1Ls	1Rs	1Bsl	1Bsr
	7.1screen	1L	1R	1C	1LFE	1Ls	1Rs	1Le	1Re

Deolby Digital Decoder Output Channel Assignment									
Coding Mode		Out Ch1	Out Ch2	Out Ch3	Out Ch4	Out Ch5	Out Ch6	Out Ch7	Out Ch8
Dolby Digital	3/2L	1L	1R	1C	1LFE	1Ls	1Rs	None	None
	3/2	1L	1R	1C	None	1Ls	1Rs	None	None
	2/2L	1L	1R	None	1LFE	1Ls	1Rs	None	None
	2/2	1L	1R	None	None	1Ls	1Rs	None	None
	3/1L	1L	1R	1C	1LFE	1S	1S	None	None
	3/1	1L	1R	1C	None	1S	1S	None	None
	2/1L	1L	1R	None	1LFE	1S	1S	None	None
	2/1	1L	1R	None	None	1S	1S	None	None
	3/0L	1L	1R	1C	1LFE	None	None	None	None
	3/0	1L	1R	1C	None	None	None	None	None
	2/0	1L	1R	None	None	None	None	None	None
	1/0	None	None	1C	None	None	None	None	None
	1+1	1C	2C	None	None	None	None	None	None
PCM		1L	1R	None	None	None	None	None	None

14. REMOTE

14-1. 端子配列



GPI コネクタの各ピンの電源および入出力は、下表のように配置されています。配置を変更することはできません。ポートは全部で 7 ポートあり、各ポートに入出力の切り替え設定を行います。切り替え設定後、各ポートの機能を設定します。

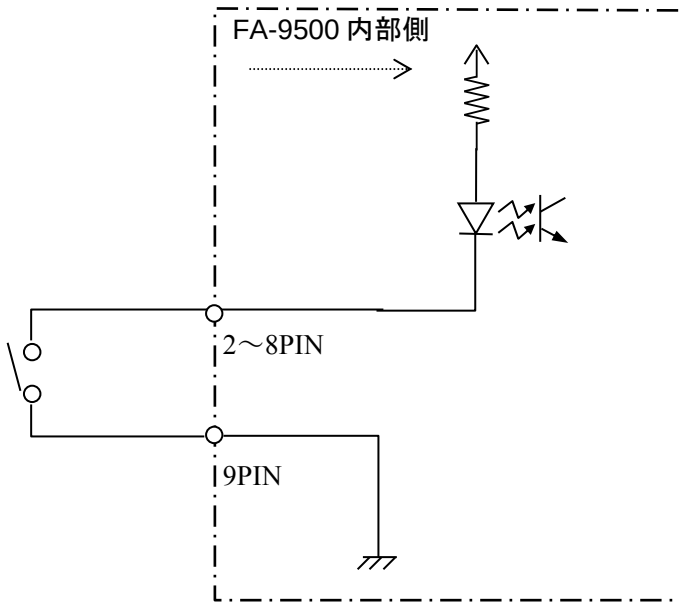
◆ **REMOTE（GPI）コネクタ端子配列表（D-sub 9 ピン　オス　インチネジ）**

ピン番号	設 定
1	DC OUT （内部電源出力+5.4V 200mA 以下で使用してください。）
2	GPI 1 （入力・出力）
3	GPI 2 （入力・出力）
4	GPI 3 （入力・出力）
5	GPI 4 （入力・出力）
6	GPI 5 （入力・出力）
7	GPI 6 （入力・出力）
8	GPI 7 （入力・出力）
9	GND（グランド）

☞　GPI1～ 7 の機能割付は、「7-4 GPI SETTING 」を参照してください。

GPI 入力（INPUT）で使用時は GND とショートすると機能が ON、OPEN で機能が OFF となります。

14-2. GPI 入力回路



14-3. GPI 入力の制御について

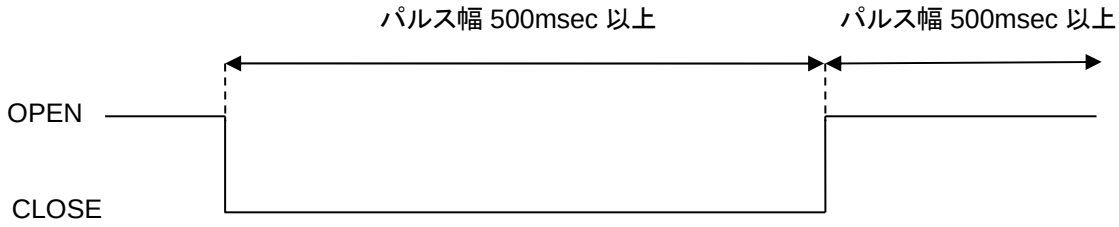
◆ **レベル制御**

設定ピンのレベル状態で制御を行います。

設定ピンの状態

OPEN　：設定した機能を OFF

CLOSE　：設定した機能を ON

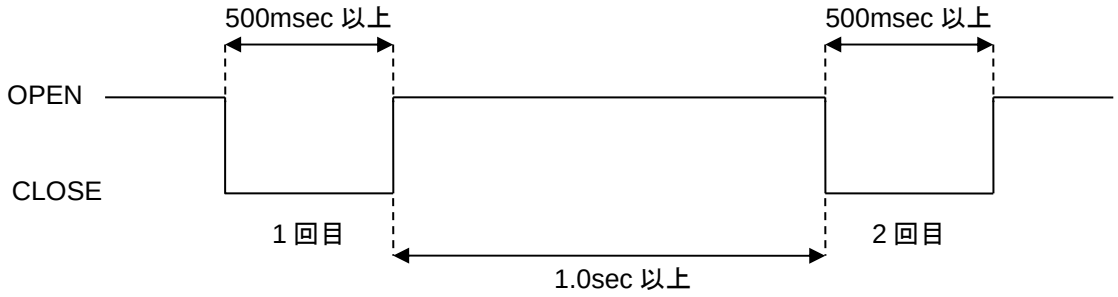


◆ **パルス制御**

設定ピンのレベル状態の変化（OPEN から CLOSE）をトリガとして制御を行います。

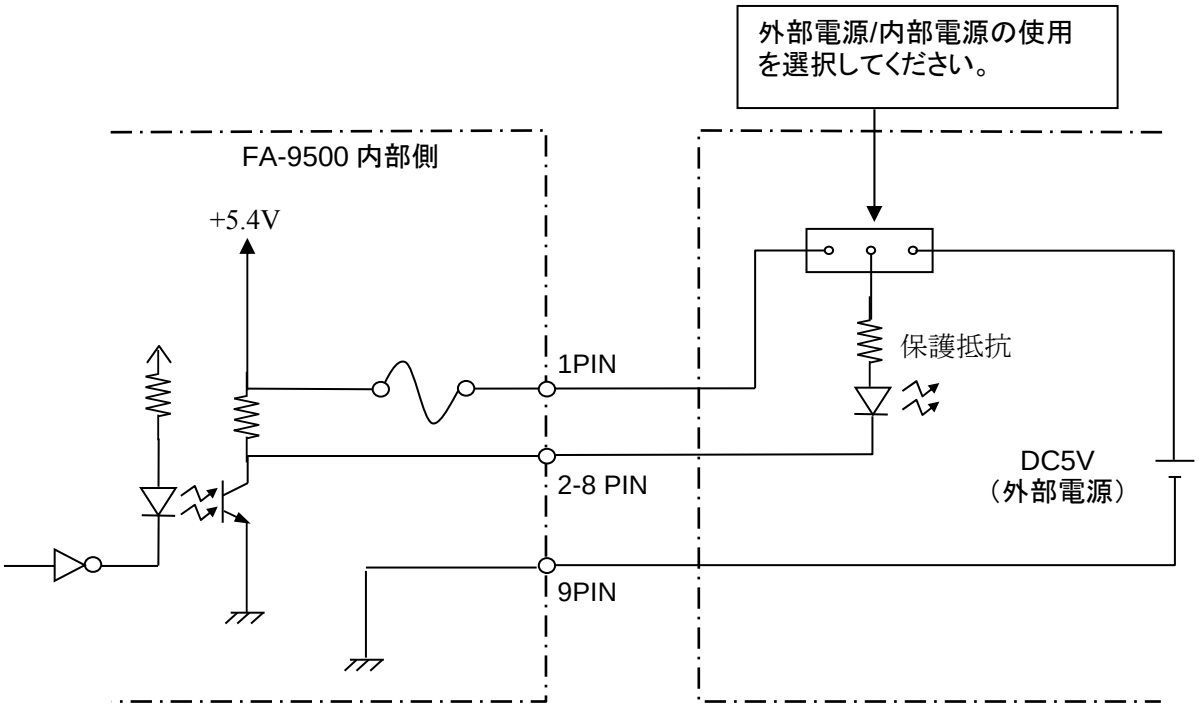
OPEN から CLOSE　：設定した機能を ON

◆ **通常のパルス制御**



注意	指定されたパルス幅と間隔以外で動作させた場合、正常に動作しない場合があります。また、同時に 2 つ以上パルスを CLOSE にしないでください、正常に動作しない場合があります。

14-4. GPI 出力回路



注意	GPI 出力回路は、10mA まで引き込むことが可能です。また、外部電源は DC 5V を使用してください。

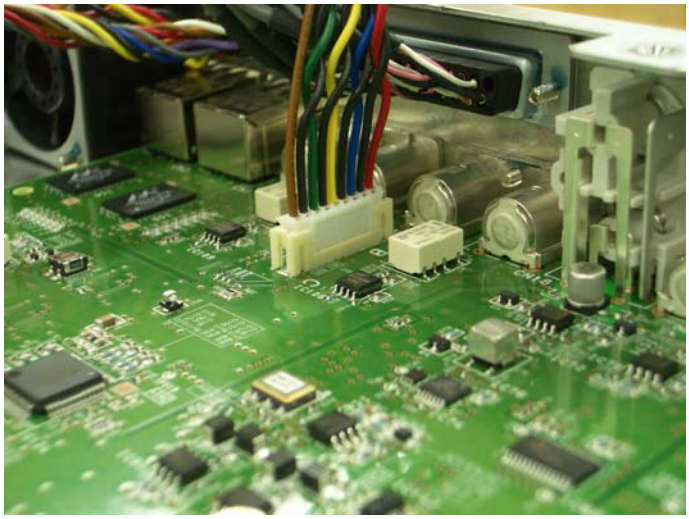
15. FA-95DACBL 装着方法

オプションのデジタルオーディオ拡張ケーブル FA-95DACBL を後から購入し実装する方法について説明します。（FA-9500 と同時購入の場合、この作業は必要ありません。）

15-1. 装着手順

1. 電源を切り AC ケーブルを FA-9500 から抜きます。
2. 天板 3 箇所、左側面 4 箇所、右側面 4 箇所のネジを外し、天板を取り外します。（下図参照）

3. 機能拡張用 OPTION SLOT B のブランクパネルのネジ 2 箇を取り外します。
   外したネジで、FA-95DACBL を取り付けますので失くさないでください。
   （拡張スロット SLOT A に実装する場合は、SLOT A 側を外します。）
4. FA-95DACBL の白いコネクタを CN34 に装着します。（下図参照）



5. FA-95DACBL の BNC コネクタパネルを FA-9500 内側から装着し、ブランクパネルから外したネジを使用して取り付けます。（下図参照）

6. FA-95DACBL を SLOT A に装着した場合、デップスイッチ S2 の 5 番を OFF に設定します。SLOT B に装着した場合、デップスイッチ S2 の 5 番を ON に設定します。

7. 天板を取り付け、天板 3 箇所、左側面 4 箇所、右側面 4 箇所をネジでとめます。

15-2. 実装確認

FA-95DACBL の実装状態を、前面パネルで確認します。「7-7 OPTION A Ver.」「7-8 OPTION B Ver.」を参照してください。

SLOT A に実装された場合

```
 OPTION A Ver.        199
NAME:FA-95DACBL
FPGA1:--.--
FPGA2:--.--
SOFT  :  --.--
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

SLOT B に実装された場合

```
 OPTION B Ver.        200
NAME:  FA-95DACBL
FPGA1:--.--
FPGA2:--.--
SOFT  :  --.--
```

メニューボタン

STATUS
OTHER

と表示されます。

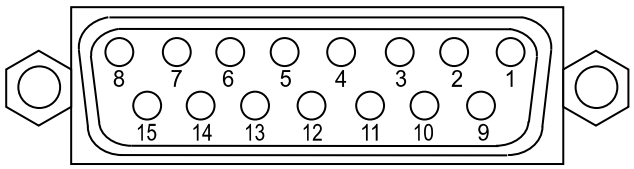
注意	FA-95DACBL を実装した場合、FA-95DACBL のコネクタは、AES 信号(8Ch)の出力専用端子として使用できます。FA-9500 標準の DIGITAL AUDIO IO 端子は入力に固定されます。また、6-2-5 AES I/O SETUP メニューは表示されなくなります。

16. FA-95AIO オプション

16-1. FA-95AIO 端子配列

FA-95AIO 端子の接続には、必ず付属の専用ケーブルを使用してください。

◆ **FA-95AIO コネクタ（D-sub 15 ピン　メス　インチネジ）**

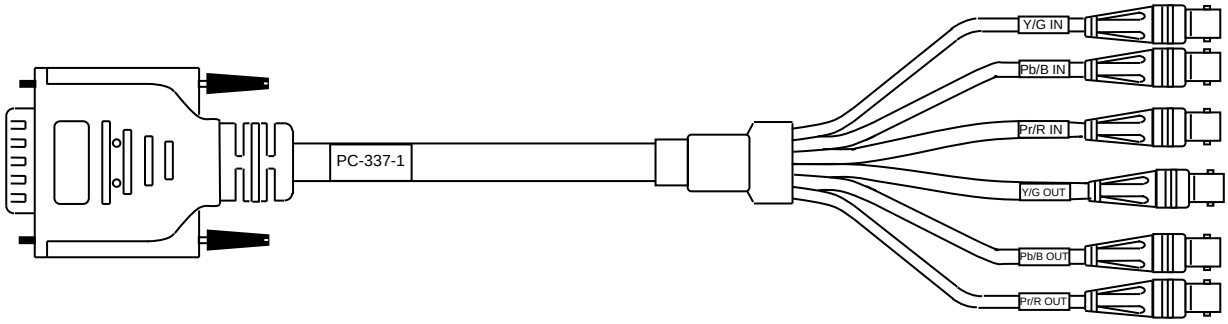


◆ **端子配列表　（D-sub 15 ピン　メス）**

ピン番号	端子名	信号形式
1	Y/G IN	Y/G IN
2	Pb/B IN	Pb/B/C IN
3	Pr/R IN	Pr/R IN
4		GND
5		GND
6	Y/G OUT	Y/G OUT
7	Pb/B OUT	Pb/B/C OUT
8	Pr/R OUT	Pr/R OUT
9		GND
10		GND
11		GND
12		GND
13		GND
14		GND
15		GND

BY-PASS が設定されると、Y/G IN と Y/G OUT, Pb/B IN と Pb/B OUT, Pr/R IN と Pr/R OUT が接続されます。

FA-95AIO 専用ケーブル PC-3307-1



16-2. FA-95AIO 内部設定

注意	内部の設定は変更しないでください。誤って変更してしまった場合は、この章の工場出荷時設定を参照して、正しい設定に戻してください。 なお、本体ケースを開けて設定や調整を行う場合は、必ず専門の知識を持った方が行うか、または代理店にご連絡ください。

 注意	本体内部基板などに触れるときは、感電防止のため、必ず本体の電源スイッチを OFF にしてください。静電気による部品の損傷を防ぐため、基板上の部品にはふれないようにしてください。

◆ **ディップスイッチ S1 設定**

ピン番号	初期設定	設定
1	OFF	設定変更不可
2	OFF	設定変更不可
3	OFF	設定変更不可
4	OFF	設定変更不可
5	OFF	設定変更不可
6	OFF	設定変更不可
7	OFF	設定変更不可
8	OFF	設定変更不可

17. PC 動作環境

FA-9500 は、次の PC 環境にて PC との接続動作が可能です。

OS	Windows® XP operating system SP2 以降 Professional（32bit）	Windows Vista® operating system Business（32bit）	Windows® 7 operating system Professional (32bit/64bit)
対応ブラウザ	Firefox®21.0	Firefox®21.0	Windows® Internet Explorer 10, Firefox®21.0
CPU	Pentium® 4 processor 2.8GHz 以上	Intel® Core™2 Duo processor 2GHz 以上	Intel® Core™2 Duo processor 2GHz 以上
メモリ	512MB 以上	2GB 以上	2GB 以上
ディスプレイ	解像度 1280×1024pixels 以上 フルカラー（24 ビット）表示可能であること。		
ネットワークポート	Ethernet　1 ポート以上 100BASE-TX/1000BASE-T		
ネットワークケーブル	エンハンスドカテゴリー5 以上推奨		
プロトコル	SNMPv2c, HTTP		

注意

Internet Explorer 8 を使用する場合、2011/6/13 以降の Windows Update を行っていないと正常に動作しない場合があります。常に最新の Windows Update を行った状態で使用するようにしてください。

上記 PC 動作環境以下の PC を使用した場合、WEB 画面表示が正しく表示されない場合があります。また、ブラウザは Firefox を推奨します。

18. SNMP 機能について

SNMPv2C に対応した、外部 SNMP 監視システムから FA-9500 の動作監視、一部の機能の設定をすることができます。SNMP 監視システムに使用する MIB（Management Information Base）ファイルは、「9-6-3 MIB ファイルのダウンロード」を参照しダウンロードすることが可能です。また、SNMP のネットワークに関する設定は、「9-8-3 SNMP SETTING」を参照してください。

◆ SET/GET 一覧

処理区分	前面操作　TITLE	名称	設定内容	MIB 項目名	OID	Type	読出(Get)	設定(Set)
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.1.（機器情報）								
Unit　情報	―	Product Name	製品名	fa95ProductName	1	OCTET STRING	○	
	―	Product Code	製品コード	fa95ProductCode	2	INTEGER	○	
	―	UnitName	機器名称	fa95UnitName	3	OCTET STRING	○	
	―	Serial No.	シリアル番号	fa95SerialNumber	4	INTEGER	○	
	Unit Ver.	Soft	Soft バージョン	fa95SoftVersion	11	OCTET STRING(5|13)	○	
		FPGA1 Ver	FPGA1 バージョン	fa95FPGA1Version	12	OCTET STRING(5|13)	○	
		FPGA2 Ver	FPGA2 バージョン	fa95FPGA2Version	13	OCTET STRING(5|13)	○	
		FPGA3 Ver	FPGA3 バージョン	fa95FPGA3Version	14	OCTET STRING(5|13)	○	
OID:1.3.6.1.4.1.20175.1.301.1.100.（ソフトウエアオプション）								
Soft Option	SOFT OPTION1/2	FA-95SCNV	0: notInstalled 1: installed	fa95ScnvOption	1	INTEGER	○	
		FA-95AVO	0: notInstalled 1: installed	fa95AvoOption	2	INTEGER	○	
		FA-95-3G	0: notInstalled 1: installed	fa95-3GOption	3	INTEGER	○	
		FA-95CO	0: notInstalled 1: installed	fa95CoOption	4	INTEGER	○	
OID:1.3.6.1.4.1.20175.1.301.1.200.1（オプション SlotA）								
OPTION Slot A	OPTION A Ver	Name	0: notInstalled 1: FA-95AIO 4: FA-95DE-E 5: FA-95D-D 11:FA-95DACBL 99:Unknown	fa95SlotTypeA	1	INTEGER	○	
		FPGA1 Ver	SlotA FPGA1 バージョン	fa95FPGA1VerSlotA	2	OCTET STRING(5|13)	○	
		FPGA2 Ver	SlotA FPGA2 バージョン	fa95FPGA2VerSlotA	3	OCTET STRING(5|13)	○	
		SOFT Ver	SlotA Soft バージョン	fa95CPUVerSlotA	4	OCTET STRING(5|13)	○	
OID:1.3.6.1.4.1.20175.1.301.1.200.2（オプション SlotB）								
OPTION Slot B	OPTION B Ver	Name	0: notInstalled 1: FA-95AIO 4: FA-95DE-E 5: FA-95D-D 11:FA-95DACBL 99:Unknown	fa95SlotTypeB	1	INTEGER	○	
		FPGA1 Ver	SlotA FPGA1 バージョン	fa95FPGA1VerSlotB	2	OCTET STRING(5|13)	○	
		FPGA2 Ver	SlotA FPGA2 バージョン	fa95FPGA2VerSlotB	3	OCTET STRING(5|13)	○	
		SOFT Ver	SlotA Soft バージョン	fa95CPUVerSlotB	4	OCTET STRING(5|13)	○	
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.2.2.（入力信号切換）								
INPUT SEL	VIDEO IN SETTING	Input Select	0: SDI1 1: SDI2 2: Composite 3：YPbPr SMPTE 4：YPbPr BETACAM 5：component RGB 6：component Y/C	fa95VideoInputSelect	1	INTEGER	○	○
		Video Loss Mode	ビデオ無入力時の動作 0: Back Color 1: Auto Freeze 2: Color Bar 3: Output Disable	fa95VideoLossMode	2	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.2.3（出力設定）								
OUT SEL	VIDEO OUT MODE（アクセス不可）	Mode	0: Fix 1: Auto	fa95VideoOutMode	1	INTEGER	-	-
		SD→UP HD Format	0: 1080i 1: 720p 3: 1080PsF 4: 1080p(3G)	fa95UpConvertSDto	2	INTEGER	-	-
	SDI 1/2 OUT SET	Assign(Fix)	0: Converter 1 1: Converter 2	fa95OutSDI1-2FixedSel	11	INTEGER	○	○
		Assign(Auto)（アクセス不可）	0: HD 1: SD	fa95OutSDI1-2AutoSel	12	INTEGER	-	-
	SDI 3/4 OUT SET	Assign(Fix)	0: Converter 1 1: Converter 2	fa95OutSDI3-4FixedSel	21	INTEGER	○	○
		Assign(Auto)（アクセス不可）	0: HD 1: SD	fa95OutSDI3-4AutoSel	22	INTEGER	-	-
	COMPOSITE SET	Assign(Fix)	0: Converter 1 1: Converter 2	fa95OutVBSFixedSel	31	INTEGER	○	○
	COMPONENT SET	Assign(Fix)	0: Converter 1 1: Converter 2	fa95OutComponentFixedSel	41	INTEGER	○	○
		Assign(Auto)（アクセス不可）	0: HD 1: SD	fa95OutComponentAutoSel	42	INTEGER	-	-
		Mode	0: YPbPr-SMPTE 1: YPbPr-BETACAM 2: RGB 3: Y/C	fa95OutComponentOutMode	43	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.2.4.1（FS MODE)								
VIDEO SYSTEM	FS Mode	SYNCHRO MODE	0: FRAME 1: LINE 2: INPUT 3: AVDL	fa95VideoSyncMode	1	INTEGER	○	○
		System Format	0: Auto 1: 525/60 2:625/50 3: 1080/59.94i 4:1080/50i 5: 720/59.94p 6:720/50p 7:1080/23PsF 8:1080/24PsF 19:1080/59p 20:1080/50p	fa95VideoSystemFormat	2	INTEGER	○	○

処理区分	前面操作　TITLE	名称	設定内容	MIB 項目名	OID	Type	読出(Get)	設定(Set)
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.2.4.2.（FREEZE）								
FREEZE	FREEZE SETTING	FREEZE On/Off	フリーズ On/Off 0: Off 1: On	fa95FreezeEnable	1	INTEGER	○	○
		FREEZE Mode	0: Frame 1: Odd 2: Even	fa95FreezeMode	2	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.2.4.3.（コンポジット設定）								
COMPOSITE	Composite Setting	3D COMB	0: Adaptive 3D 1: Adaptive 2D 2: Trap Only	fa95VbsCombFilter	1	INTEGER	○	○
		NR Level	0-4: Off Level1-4	fa95VbsNRFilter	2	INTEGER	○	○
		Cross Color	0-3: Off Level1-3	fa95VbsCrossColorFilter	3	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.2.6（Converter 1）								
Converter 1	CONV1 U/D MODE	Convert Mode	0: Bypass 1: Aspect (設定不可) 2: SD 3: 1080i 4: 720p 6: 1080PsF 7: 1080p(3G)	fa95Conv1Mode	1	INTEGER	○	○
		Aspect (アクセス不可)	0: 4: 3 1: 13: 9 2: 14: 9 3: 16: 9 4: Squeeze	fa95Conv1Aspect	2	INTEGER		
		AspectSD	0: AFD(4:3) 1: AFD-ALT(4:3) 2: AFD(16:9) 3: AFD-ALT(16:9) 4: Letterbox 16:9 top 5: Letterbox 14:9 top 6: Letterbox>16:9(4:3) 7: Fullframe 4:3 8: Letterbox 16:9 9: Letterbox 14:9 10: Fullframe 4:3 Alt 14:9 11: Letterbox 16:9 Alt 14:9 12: Letterbox 16:9 Alt 4:3 13: Letterbox>16:9(16:9) 14: Fullframe 16:9 15: Pillarbox 4:3 16: Fullframe 16:9 Protected 17: Pillarbox 14:9 18: Pillarbox 4:3 Alt 14:9 19: Fullframe 16:9 Alt 14:9 20: Fullframe 16:9 alt 4:3	fa95Conv1AspectSD	3	INTEGER	○	○
		AspectHD	0: AFD 1: AFD-ALT 2: Letterbox>16:9 3: Fullframe 16:9 4: Pillarbox 4:3 5: Fullframe 16:9 Protected 6: Pillarbox 14:9 7: Pillarbox 4:3 Alt 4:9 8: Fullframe 16:9 Alt 14:9 9: Fullframe 16:9 alt 4:3	fa95Conv1AspectHD	4	INTEGER	○	○
	CONV1 IMPROVE	Motion Sense	1: Field 2: Frame(Odd 1st) 3: Frame(Even 1st) 4: Adaptive	fa95Conv1MotionSense	31	INTEGER	○	○
		Enhance	0～8	fa95Conv1Enhance	42	INTEGER	○	○
		Anti-Alias H	-8～0～+8	fa95Conv1AntiAliasH	43	INTEGER	○	○
		Anti-Alias V	-8～0～+8	fa95Conv1AntiAliasV	44	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.2.7（Converter 2）								
Converter 2	CONV2 U/D MODE	Convert Mode	0: Bypass 1: SD 2: 1080i 3: 720p 5: 1080PsF 6: 1080p(3G)	fa95Conv2Mode	1	INTEGER	○	○
		AspectSD	0: AFD(4:3) 1: AFD-ALT(4:3) 2: AFD(16:9) 3: AFD(16:9) 4: Letterbox 16:9 top 5: Letterbox 14:9 top 6: Letterbox>16:9(4:3) 7: Fullframe 4:3 8: Letterbox 16:9 9: Letterbox 14:9 10: Fullframe 4:3 Alt 14:9 11: Letterbox 16:9 Alt 14:9 12: Letterbox 16:9 Alt 4:3 13: Letterbox>16:9(16:9) 14: Fullframe 16:9 15: Pillarbox 4:3 16: Fullframe 16:9 Protected 17: Pillarbox 14:9 18: Pillarbox 4:3 Alt 14:9 19: Fullframe 16:9 Alt 14:9 20: Fullframe 16:9 alt 4:3	fa95Conv2AspectSD	3	INTEGER	○	○
		AspectHD	0: AFD 1: AFD-ALT 2: Letterbox>16:9 3: Fullframe 16:9 4: Pillarbox 4:3 5: Fullframe 16:9 Protected 6: Pillarbox 14:9 7: Pillarbox 4:3 Alt 4:9 8: Fullframe 16:9 Alt 14:9 9: Fullframe 16:9 alt 4:3	fa95Conv2AspectHD	4	INTEGER	○	○
	CONV2 IMPROVE	Enhance	0～8	fa95Conv2Enhance	42	INTEGER	○	○
		Anti-Alias H	-8～0～+8	fa95Conv2AntiAliasH	43	INTEGER	○	○
		Anti-Alias V	-8～0～+8	fa95Conv2AntiAliasV	44	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.2.8（AVO）								
AVO	AVO SETTING	Operation Mode	0: Off 1: Auto 2: Hold	fa95AvoMode	1	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.2.9.(FA-95CO)								
FA-95CO	VIDEO INPUT SET	CHANGEOVER	0: disable 1: enable	fa95CoMode	1	INTEGER	○	○

処理区分	前面操作　TITLE	名称	設定内容	MIB 項目名	OID	Type	読出(Get)	設定(Set)
FA-95CO	CHGOV MODE SET	VIDEO TRG	0: disable 1: enable	fa95CoVideoTriggerMode	11	INTEGER	○	○
		AUDIO TRG	0: disable 1: enable	fa95CoAudioTriggerMode	12	INTEGER	○	○
	CHGOV VID/AUD STATUS	SDI ERROR FORMAT ERROR CRC ERROR BLACK VIDEO AUDIO LOSS AUDIO ERR SILENCE	bit 0: sdiError　※MSB から bit 1: formatError　のｶｳﾝﾄ bit 2: crcError bit 3: blackVideo bit 4: audioLoss bit 5: audioError bit 6: silence	fa95CoTriggerStatus	101	BITS		
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.1.2.9（FA-95LG）								
FA-95LG	VIDEO OPTION	ASSIGNN(Conv1)	ID:1～256	fa95LgConv1Assign	1	INTEGER	○	○
		Keyer(Conv1)	0:OFF 1:ON	fa95LgConv1Keyer	2	INTEGER	○	○
		ASSIGN(Conv2)	ID:1～256	fa95LgConv2Assign	3	INTEGER	○	○
		Keyer(Conv1)	0:OFF 1:ON	fa95LgConv2Keyer	4	INTEGER	○	○
FA-95AIO	VIDEO IN STATUS	COMPONENT IN	省略（SDI IN 1 と同じ）	fa95IncComponent	101	INTEGER	○	○
	VIDEO OUT STATUS	COMPONENT OUT	省略（SDI IN 1/2 と同じ）	fa95outComponent	102	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.3.1.2.（SDI エンベデッド・オーディオ　リマッピング）								
	SDI REMAPPING	Assign Signal　CH1	0-15: Source Ch1-16 16: 500Hz 17: 1kHz 18: Silence 19: Downmix-L 20: Downmix -R 21-28: Dolby Dec 1-8 29: Dolby Dec Donmix-L 30: Dolby Dec Donmix-R 31: Dolby-E Enc 1 32: Dolby-E Enc 2	fa95AudioSdiOutAssignCh1	1	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH2		fa95AudioSdiOutAssignCh2	2	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH3		fa95AudioSdiOutAssignCh3	3	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH4		fa95AudioSdiOutAssignCh4	4	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH5		fa95AudioSdiOutAssignCh5	5	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH6		fa95AudioSdiOutAssignCh6	6	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH7		fa95AudioSdiOutAssignCh7	7	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH8		fa95AudioSdiOutAssignCh8	8	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH9		fa95AudioSdiOutAssignCh9	9	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH10		fa95AudioSdiOutAssignCh10	10	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH11		fa95AudioSdiOutAssignCh11	11	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH12		fa95AudioSdiOutAssignCh12	12	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH13		fa95AudioSdiOutAssignCh13	13	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH14		fa95AudioSdiOutAssignCh14	14	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH15		fa95AudioSdiOutAssignCh15	15	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH16		fa95AudioSdiOutAssignCh16	16	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.3.2.3.（AES オーディオ　リマッピング）								
	AES REMAPPING	Assign Signal　CH1	0-15: Source Ch1-16 16: 500Hz 17: 1kHz 18: Silence 19: Downmix-L 20: Downmix -R 21-28: Dolby Dec 1-8 29: Dolby Dec Donmix-L 30: Dolby Dec Donmix-R 31: Dolby-E Enc 1 32: Dolby-E Enc 2	fa95AudioAesOutAssignCh	1	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH2		fa95AudioAesOutAssignCh2	2	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH3		fa95AudioAesOutAssignCh3	3	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH4		fa95AudioAesOutAssignCh4	4	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH5		fa95AudioAesOutAssignCh5	5	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH6		fa95AudioAesOutAssignCh6	6	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH7		fa95AudioAesOutAssignCh7	7	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH8		fa95AudioAesOutAssignCh8	8	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.3.3.3.（アナログ出力　リマッピング）								
	ANALOG REMAPPING	Assign Signal　CH1	0-15: Source Ch1-16 16: 500Hz 17: 1kHz 18: Silence 19: DOWNMIX-L 20: DOWNMIX-R 21-28: Dolby Dec 1-8 29: Dolby Dec Donmix-L 30: Dolby Dec Donmix-R	fa95AudioAnalogOutAssignCh1	1	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH2		fa95AudioAnalogOutAssignCh2	2	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH3		fa95AudioAnalogOutAssignCh3	3	INTEGER	○	○
		Assign Signal　CH4		fa95AudioAnalogOutAssignCh4	4	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.3.4.（音声ミュート）								
	Master Mute	Master Mute	0: OFF 1: ON	fa95AudioMasterMute	2	INTEGER	○	○
oid: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.3.5.1.（オーディオソース　マッピング）								
AUDIO MAPPING	Source/SRC Set	Audio Source CH1/2	0-7: SDI 1/2-15/16 8-11: AES 1/2-15/16 16-17: Analog 1/2-3/4	fa95AudioMappingSourcePair1-2	1	INTEGER	○	○
		Audio Source CH3/4		fa95AudioMappingSourcePair3-4	2	INTEGER	○	○
		Audio Source CH5/6		fa95AudioMappingSourcePair5-6	3	INTEGER	○	○
		Audio Source CH7/8		fa95AudioMappingSourcePair7-8	4	INTEGER	○	○
		Audio Source CH9/10		fa95AudioMappingSourcePair9-10	5	INTEGER	○	○
		Audio Source CH111/12		fa95AudioMappingSourcePair11-12	6	INTEGER	○	○
		Audio Source CH113/14		fa95AudioMappingSourcePair13-14	7	INTEGER	○	○
		Audio Source CH115/16		fa95AudioMappingSourcePair15-16	8	INTEGER	○	○
oid: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.3.10.（ラウドネス）								
Loudness	Loudness Meas1	Loudness1 Control	0: OFF 1: ON	fa95Loudness1-Control	1	INTEGER	○	○
		Loudness1 Mesure	0:Stop 1:Start	fa95Loudness1-Mesure	2	INTEGER	○	○
		Loudness1 Mesure Clear	1:Clear	fa95Loudness1-MesureClear	3	INTEGER	○	○
	Loudness Meas2	Loudness2 Control	0: OFF 1: ON	fa95Loudness2-Control	11	INTEGER	○	○
		Loudness2 Mesure	0:Stop 1:Start	fa95Loudness2-Mesure	12	INTEGER	○	○
		Loudness2 Mesure Clear	1:Clear	fa95Loudness2-MesureClear	13	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.4.（VIDEO SYSTEM)								
BY-PASS	BY-PASS	BY-PASS/OPERATE	0: disable 1: enable	fa95BypassOut	1	INTEGER	○	○
テスト信号	TEST SIGNAL	VIDEO TEST SIGNAL	0: OFF 1: Full CB 2: 75% CB 3: SMPTE CB 4: RAMP	fa95VideoTestSignal	2	INTEGER	○	○
		AUDIO TEST SIGNAL	0: Off 1: 1KH z　Tone	fa95AudioTestSignal	3	INTEGER	○	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.1.(Unit アラーム）								
UNIT	UNIT ALARM	FAN1	0: Normal 1: Stopped	fa95Fan1Status	1	INTEGER	○	
		FAN2	0: Normal 1: Stopped	fa95Fan2Status	2	INTEGER	○	
		Power1	0: Normal 1: Ab normal	fa95Power1Status	11	INTEGER	○	
		Power2	-1: Not Install 0: Normal 1: Ab normal	fa95Power2Status	12	INTEGER	○	

処理区分	前面操作　TITLE	名称	設定内容	MIB 項目名	OID	Type	読出(Get)	設定(Set)
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.2.(入力/出力　ビデオ信号フォーマット)								
VIDEO 出力系統	VIDEO IN STATUS	SDI 1　IN	00: Loss 01: 525/60i 02: 625/50i 04: 1080/59i 05: 1080/50i 09: 1080/24PsF 10: 1080/23.98PsF 12: 1080/59p 13: 1080/50p 20:720/59p 21:720/50p 29:Unkown 30：BY-PASS 31：Disable	fa95InSDI1	1	INTEGER	○	
		SDI 2　IN	同上	fa95InSDI2	2	INTEGER	○	
		Composite IN	0: LOSS 1: 525/60 3: 625/50 30:BY-PASS	fa95InComposite	3	INTEGER	○	
		Ref Status	00: Loss 01: 525/60i 02: 625/50i 04: 1080/59i 05: 1080/50i 09: 1080/24PsF 10: 1080/23.98PsF 12: 1080/59p 13: 1080/50p 20: 720/59.94p 21: 720/50p 29: Unknown 34: not Used	fa95InReference(11)	11	INTEGER	○	
		Component IN	同上				○	
	VIDEO OUT STATUS	SDI OUT　1/2	00: Loss 01: 525/60i 02: 625/50i 04: 1080/59i 05: 1080/50i 09: 1080/24PsF 10: 1080/23.98PsF 12: 1080/59p 13: 1080/50p 20: 720/59.94p 21: 720/50p	fa95OutSDI1-2	21	INTEGER	○	
		SDI OUT　3/4	同上	fa95OutSDI3-4	22	INTEGER	○	
		Composite OUT	0: Loss 1: 525/60 2: 625/50 30: BY-PASS 31:Disable	fa95OutComposite	23	INTEGER	○	
		Component OUT	00: Loss 01: 525/60i 02: 625/50i 04: 1080/59i 05: 1080/50i 09: 1080/24PsF 10: 1080/23.98PsF 12: 1080/59p 13: 1080/50p 20: 720/59.94p 21: 720/50p	fa95outComponent	24	INTEGER	○	
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.3.1.(SDI1 入力 オーディオ ステータス)								
AUDIO 入力系	SDI 1 IN AUDIO	CH1	0: Loss 1: PCM 2: Silence 3: Non-PCM 4: PCM(Async) 5: Silence(Async) 6: Non-PCM(Async) 7: Unknown	fa95StatusSdiEmbIn1Ch1	1	INTEGER	○	
		CH2		fa95StatusSdiEmbIn1Ch2	2	INTEGER	○	
		CH3		fa95StatusSdiEmbIn1Ch3	3	INTEGER	○	
		CH4		fa95StatusSdiEmbIn1Ch4	4	INTEGER	○	
		CH5		fa95StatusSdiEmbIn1Ch5	5	INTEGER	○	
		CH6		fa95StatusSdiEmbIn1Ch6	6	INTEGER	○	
		CH7		fa95StatusSdiEmbIn1Ch7	7	INTEGER	○	
		CH8		fa95StatusSdiEmbIn1Ch8	8	INTEGER	○	
		CH9		fa95StatusSdiEmbIn1Ch9	9	INTEGER	○	
		CH10		fa95StatusSdiEmbIn1Ch10	10	INTEGER	○	
		CH11		fa95StatusSdiEmbIn1Ch11	11	INTEGER	○	
		CH12		fa95StatusSdiEmbIn1Ch12	12	INTEGER	○	
		CH13		fa95StatusSdiEmbIn1Ch13	13	INTEGER	○	
		CH14		fa95StatusSdiEmbIn1Ch14	14	INTEGER	○	
		CH15		fa95StatusSdiEmbIn1Ch15	15	INTEGER	○	
		CH16		fa95StatusSdiEmbIn1Ch16	16	INTEGER	○	
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.3.2.(SDI2 入力 オーディオ ステータス)								
AUDIO 入力系	SDI 2 IN AUDIO	CH1	0: Loss 1: PCM 2: Silence 3: Non-PCM 4: PCM(Async) 5: Silence(Async) 6: Non-PCM(Async) 7: Unknown	fa95StatusSdiEmbIn2Ch1	1	INTEGER	○	
		CH2		fa95StatusSdiEmbIn2Ch2	2	INTEGER	○	
		CH3		fa95StatusSdiEmbIn2Ch3	3	INTEGER	○	
		CH4		fa95StatusSdiEmbIn2Ch4	4	INTEGER	○	
		CH5		fa95StatusSdiEmbIn2Ch5	5	INTEGER	○	
		CH6		fa95StatusSdiEmbIn2Ch6	6	INTEGER	○	
		CH7		fa95StatusSdiEmbIn2Ch7	7	INTEGER	○	
		CH8		fa95StatusSdiEmbIn2Ch8	8	INTEGER	○	
		CH9		fa95StatusSdiEmbIn2Ch9	9	INTEGER	○	
		CH10		fa95StatusSdiEmbIn2Ch10	10	INTEGER	○	
		CH11		fa95StatusSdiEmbIn2Ch11	11	INTEGER	○	
		CH12		fa95StatusSdiEmbIn2Ch12	12	INTEGER	○	
		CH13		fa95StatusSdiEmbIn2Ch13	13	INTEGER	○	
		CH14		fa95StatusSdiEmbIn2Ch14	14	INTEGER	○	
		CH15		fa95StatusSdiEmbIn2Ch15	15	INTEGER	○	
		CH16		fa95StatusSdiEmbIn2Ch16	16	INTEGER	○	
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.3.3.(AES 入力 オーディオ ステータス)								
AUDIO 入力系	AES IN AUDIO	CH1	0: Loss 1: PCM 48kHz 2: PCM 44.1kHz 3: PCM 32kHz 4: PCM Other 5: Silence 48kHz 6: Silence 44.1kHz 7: Silence 32kHz 8: Silence Other 9: Non-PCM 10: Unknown 11: Output Setting	fa95StatusAesInCh1	1	INTEGER	○	
		CH2		fa95StatusAesInCh2	2	INTEGER	○	
		CH3		fa95StatusAesInCh3	3	INTEGER	○	
		CH4		fa95StatusAesInCh4	4	INTEGER	○	
		CH5		fa95StatusAesInCh5	5	INTEGER	○	
		CH6		fa95StatusAesInCh6	6	INTEGER	○	
		CH7		fa95StatusAesInCh7	7	INTEGER	○	
		CH8		fa95StatusAesInCh8	8	INTEGER	○	

処理区分	前面操作　TITLE	名称	設定内容	MIB 項目名	OID	Type	読出(Get)	設定(Set)
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.3.4.(ANALOG 入力 オーディオ ステータス)								
AUDIO 入力系	ANALOG IN AUDIO	CH1	0: Loss 1: IN	fa95StatusAnalogInCh1	1	INTEGER	○	
		CH2		fa95StatusAnalogInCh2	2	INTEGER	○	
		CH3		fa95StatusAnalogInCh3	3	INTEGER	○	
		CH4		fa95StatusAnalogInCh4	4	INTEGER	○	
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.3.11.(オーディオ ソース ステータス)								
SOURCE AUDIO	SOURCE AUDIO	CH1	0: Loss 1: PCM 2: PCM 48kHz 3: PCM 44.1kHz 4: PCM 32kHz 5: PCM Other 6: Silence 7: Silence 48kHz 8: Silence 44.1kHz 9: Silence 32kHz 10: Silence Other 11: Non-PCM 12: PCM(Async) 13: Silence(Async) 14: Non-PCM(Async) 15: IN（Analog） 16: Unkn	fa95StatusAudioSourceCh1	1	INTEGER	○	
		CH2		fa95StatusAudioSourceCh2	2	INTEGER	○	
		CH3		fa95StatusAudioSourceCh3	3	INTEGER	○	
		CH4		fa95StatusAudioSourceCh4	4	INTEGER	○	
		CH5		fa95StatusAudioSourceCh5	5	INTEGER	○	
		CH6		fa95StatusAudioSourceCh6	6	INTEGER	○	
		CH7		fa95StatusAudioSourceCh7	7	INTEGER	○	
		CH8		fa95StatusAudioSourceCh8	8	INTEGER	○	
		CH9		fa95StatusAudioSourceCh9	9	INTEGER	○	
		CH10		fa95StatusAudioSourceCh10	10	INTEGER	○	
		CH11		fa95StatusAudioSourceCh11	11	INTEGER	○	
		CH12		fa95StatusAudioSourceCh12	12	INTEGER	○	
		CH13		fa95StatusAudioSourceCh13	13	INTEGER	○	
		CH14		fa95StatusAudioSourceCh14	14	INTEGER	○	
		CH15		fa95StatusAudioSourceCh15	15	INTEGER	○	
		CH16		fa95StatusAudioSourceCh16	16	INTEGER	○	
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.3.21.(SDI1/2 出力 オーディオ ステータス)								
AUDIO 出力系	SDI1/2 OUT AUDIO	CH1	0: Loss 1: PCM 2: Silence 3: Non-PCM 4: PCM(Async) 5: Silence(Async) 6: Non-PCM(Async) 7: Unknown 8:BY-PASS 9:Blank	fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch1	1	INTEGER	○	
		CH2		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch2	2	INTEGER	○	
		CH3		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch3	3	INTEGER	○	
		CH4		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch4	4	INTEGER	○	
		CH5		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch5	5	INTEGER	○	
		CH6		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch6	6	INTEGER	○	
		CH7		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch7	7	INTEGER	○	
		CH8		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch8	8	INTEGER	○	
		CH9		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch9	9	INTEGER	○	
		CH10		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch10	10	INTEGER	○	
		CH11		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch11	11	INTEGER	○	
		CH12		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch12	12	INTEGER	○	
		CH13		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch13	13	INTEGER	○	
		CH14		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch14	14	INTEGER	○	
		CH15		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch15	15	INTEGER	○	
		CH16		fa95StatusSdiEmbOut1-2Ch16	16	INTEGER	○	
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.3.22.(SDI3/4 出力 オーディオ ステータス)								
AUDIO 出力系	SDI3/4 OUT AUDIO	CH1	0: Loss 1: PCM 2: Silence 3: Non-PCM 4: PCM(Async) 5: Silence(Async) 6: Non-PCM(Async) 7: Unknown 8: BY-PASS 9: Blank	fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch1	1	INTEGER	○	
		CH2		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch2	2	INTEGER	○	
		CH3		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch3	3	INTEGER	○	
		CH4		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch4	4	INTEGER	○	
		CH5		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch5	5	INTEGER	○	
		CH6		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch6	6	INTEGER	○	
		CH7		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch7	7	INTEGER	○	
		CH8		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch8	8	INTEGER	○	
		CH9		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch9	9	INTEGER	○	
		CH10		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch10	10	INTEGER	○	
		CH11		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch11	11	INTEGER	○	
		CH12		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch12	12	INTEGER	○	
		CH13		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch13	13	INTEGER	○	
		CH14		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch14	14	INTEGER	○	
		CH15		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch15	15	INTEGER	○	
		CH16		fa95StatusSdiEmbOut3-4Ch16	16	INTEGER	○	
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.3.23.(AES 出力 オーディオ ステータス)								
AUDIO 出力系	AES OUT AUDIO	CH1	0: Loss 1: PCM 2: silence 3: Non-PCM 4: PCM(Async) 5: Silence(Async) 6: Non-PCM(Async) 7: Unknown /8: Input Setting	fa95StatusAesOutCh1	1	INTEGER	○	
		CH2		fa95StatusAesOutCh2	2	INTEGER	○	
		CH3		fa95StatusAesOutCh3	3	INTEGER	○	
		CH4		fa95StatusAesOutCh4	4	INTEGER	○	
		CH5		fa95StatusAesOutCh5	5	INTEGER	○	
		CH6		fa95StatusAesOutCh6	6	INTEGER	○	
		CH7		fa95StatusAesOutCh7	7	INTEGER	○	
		CH8		fa95StatusAesOutCh8	8	INTEGER	○	
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.3.24.(Analog 出力 オーディオ ステータス)								
AUDIO 出力系	ANALOG Out AUDIO	CH1	0: Silence 1: Out	fa95StatusAnalogOutCh1	1	INTEGER	○	
		CH2		fa95StatusAnalogOutCh2	2	INTEGER	○	
		CH3		fa95StatusAnalogOutCh3	3	INTEGER	○	
		CH4		fa95StatusAnalogOutCh4	4	INTEGER	○	
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301..5.3.50(Option A ラウドネスステータス)								
ラウドネス オプション A	LOUD MEASURE 1A	Momentary IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness1InMomentary	1	INTEGER	-	○
		Short Term IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness1InShort	2	INTEGER	-	○
		Long Term IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness1InLong	3	INTEGER	-	○
		Momentary OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness1OutMomentary	4	INTEGER	-	○
		Short Term OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness1OutShort	5	INTEGER	-	○
		Long Term OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness1OutLong	6	INTEGER	-	○
		Session Time	測定時間	fa952StatusLoudness1SessionTime	7	INTEGER	-	○
	LOUD MEASURE 2A	Momentary IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness2InMomentary	11	INTEGER	-	○
		Short Term IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness2InShort	12	INTEGER	-	○
		Long Term IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness2InLong	13	INTEGER	-	○
ラウドネス オプション A	LOUD MEASURE 2A	Momentary OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness2OutMomentary	14	INTEGER	-	○
		Short Term OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness2OutShort	15	INTEGER	-	○
		Long Term OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness2OutLong	16	INTEGER	-	○
		Session Time	測定時間	fa952StatusLoudness2SessionTime	17	INTEGER	-	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.307..5.3.51(Option B ラウドネスステータス)								
ラウドネス オプション B	LOUD MEASURE 1A	Momentary IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness1InMomentary	1	INTEGER	-	○
		Short Term IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness1InShort	2	INTEGER	-	○
		Long Term IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness1InLong	3	INTEGER	-	○
		Momentary OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness1OutMomentary	4	INTEGER	-	○
		Short Term OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness1OutShort	5	INTEGER	-	○
		Long Term OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness1OutLong	6	INTEGER	-	○
		Session Time	測定時間	fa952StatusLoudness1SessionTime	7	INTEGER	-	○
	LOUD MEASURE 2A	Momentary IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness2InMomentary	11	INTEGER	-	○
		Short Term IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness2InShort	12	INTEGER	-	○
		Long Term IN	-99.9~0	fa952StatusLoudness2InLong	13	INTEGER	-	○
		Momentary OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness2OutMomentary	14	INTEGER	-	○
		Short Term OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness2OutShort	15	INTEGER	-	○
		Long Term OUT	-99.9~0	fa952StatusLoudness2OutLong	16	INTEGER	-	○
		Session Time	測定時間	fa952StatusLoudness2SessionTime	17	INTEGER	-	○
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.5.3.100.(Dolby オプション AUX 端子入出力 ステータス)								
Dolby オプション系	Dolby AUX STATUS	AUX Input	0: Loss 1: PCM 2: Non PCM 3: Unknown	fa95StatusDolbyAuxIn	1	INTEGER	○	
		AUX Output	0: PCM 1: Non PCM 3: None	fa95StatusDolbyAuxOut	2	INTEGER	○	

処理区分	前面操作　TITLE	名称	設定内容	MIB 項目名	OID	Type	読出(Get)	設定(Set)
Dolby オプション系	Dolby AUX STATUS	Reference Input	00: Loss 01: 525/60i 02: 625/50i 04: 1080/59i 05: 1080/50i 09: 1080/24PsF 10: 1080/23.98PsF 12: 1080/59p 13: 1080/50p 20: 720/59.94p 21: 720/50p 29: Unknown	fa95StatusDolbyRefIn	3	INTEGER	○	

◆ TRAP 一覧

トラップを送信したり、止めたりすることができます。詳細は「9-8-4. TRAP SETTING」を参照してください。

名称	設定内容	MIB 項目名	OID	Type	Trap 条件(値)
OID:1.3.6.1.4.1.20175.1.301.6.1.(UNIT TRAP)					
FAN1	0:Normal 1:Stoppend	fa95Fan1ChangedTrap	1	NOTIFICATION TYPE	変化時
FAN2	0: Normal 1: Stoppend	fa95Fan2ChangedTrap	2	NOTIFICATION TYPE	変化時
Power1	0: Normal 1:Abnormal	fa95Power1ChangedTrap	11	NOTIFICATION TYPE	変化時
Power2	-1: Not Install 0: Normal 1: Abnormal	fa95Power2ChangedTrap	12	NOTIFICATION TYPE	変化時
OID:1.3.6.1.4.1.20175.1.301.6.2.(VIDEO TRAP)					
SDI 1　IN	00: Loss 01: 525/60i 02: 625/50i 04: 1080/59i 05: 1080/50i 09: 1080/24PsF 10: 1080/23.98PsF 12: 1080/59p 13: 1080/50p 20:720/59p 21:720/50p 29:Unkown 30:BY-PASS	fa95InSDI1ChangeTrap	1	NOTIFICATION TYPE	変化時
SDI 2　IN	同上	fa95InSDI2ChangeTrap	2	NOTIFICATION TYPE	変化時
Composite IN	0 : LOSS 1 : 525/60 2 : 625/50 29: Unknown 30: BY-PASS	fa95InCompositeChangeTrap	3	NOTIFICATION TYPE	変化時
Ref Status	00: Loss 01: 525/60i 02: 625/50i 04: 1080/59i 05: 1080/50i 09: 1080/24PsF 10: 1080/23.98PsF 12: 1080/59p 13: 1080/50p 20: 720/59.94p 21: 720/50p 29: Unknown 34: not Used	fa95InRefChangeTrap	11	NOTIFICATION TYPE	変化時
SDI OUT　1/2	00: Loss 01: 525/60i 02: 625/50i 04: 1080/59i 05: 1080/50i 09: 1080/24PsF 10: 1080/23.98PsF 12: 1080/59p 13: 1080/50p 20:720/59p 21:720/50p 27:Unkown	fa95OutSDI1-2ChangeTrap	21	NOTIFICATION TYPE	変化時
SDI OUT　3/4	同上	fa95OutSDI3-4ChangeTrap	22	NOTIFICATION TYPE	変化時
Composite OUT	0 : LOSS 1 : 525/60 2 : 625/50 30:BY-PASS	fa95OutCompositeChangeTrap	23	NOTIFICATION TYPE	変化時
OID:1.3.6.1.4.1.20175.1.301.6.3.(AUDIO TRAP)					
SOURCE CH1	0:Loss 1:PCM 2:PCM 48kHz 3:PCM 44.1kHz 4:PCM 32kHz 5:PCM Other 6:Silence 7:Silence 48kHz 8:Silence 44.1kHz 9:Silence 32kHz 10:Silence Other 11:Non-PCM 12:PCM(Async) 13:Silence(Async) 14:Non-PCM(Async) 15:IN 16:Unknown	fa95AudioSourceCh1StatusChangeTrap	1	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH2		fa95AudioSourceCh2StatusChangeTrap	2	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH3		fa95AudioSourceCh3StatusChangeTrap	3	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH4		fa95AudioSourceCh4StatusChangeTrap	4	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH5		fa95AudioSourceCh5StatusChangeTrap	5	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH6		fa95AudioSourceCh6StatusChangeTrap	6	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH7		fa95AudioSourceCh7StatusChangeTrap	7	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH8		fa95AudioSourceCh8StatusChangeTrap	8	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH9		fa95AudioSourceCh9StatusChangeTrap	9	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH10		fa95AudioSourceCh10StatusChangeTrap	10	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH11	0:Loss 1:PCM 2:PCM 48kHz 3:PCM 44.1kHz 4:PCM 32kHz 5:PCM Other 6:Silence 7:Silence 48kHz 8:Silence 44.1kHz 9:Silence 32kHz 10:Silence Other 11:Non-PCM 12:PCM(Async) 13:Silence(Async) 14:Non-PCM(Async) 15:IN 16:Unknown	fa95AudioSourceCh11StatusChangeTrap	11	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH12		fa95AudioSourceCh12StatusChangeTrap	12	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH13		fa95AudioSourceCh13StatusChangeTrap	13	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH14		fa95AudioSourceCh14StatusChangeTrap	14	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH15		fa95AudioSourceCh15StatusChangeTrap	15	NOTIFICATION TYPE	変化時
SOURCE CH16		fa95AudioSourceCh16StatusChangeTrap	16	NOTIFICATION TYPE	変化時

名称	設定内容	MIB 項目名	OID	Type	Trap 条件(値)
OID: 1.3.6.1.4.1.20175.1.301.6.4 (FA-95CO Traps)					
Change Over	0: SDI 1 1: SDI 2 2: Composite	fa95ChangeoverOccurredTrap	1	NOTIFICATION TYPE	Change over 発生時
	bit 0: sdiError bit 1: formatError bit 2: crcError bit 3: blackVideo bit 4: audioLoss bit 5: audioError bit 6: silence			BITS	
OID:1.3.6.1.4.1.20175.1.301.6.5.(FA-95D-D/DE-E TRAP)					
AUX IN	0: Loss 1: PCM 2: Non PCM 3: Unknon	fa95DolbyAuxInputChangedTrap	1	NOTIFICATION TYPE	変化時
REF IN	00: Loss 01: 525/60i 02: 625/50i 04: 1080/59i 05: 1080/50i 09: 1080/24PsF 10: 1080/23.98PsF 12: 1080/59p 13: 1080/50p 20: 720/59.94p 21: 720/50p 29: Unknown	fa95DolbyRefInputChangedTrap	2	NOTIFICATION TYPE	変化時
OID:1.3.6.1.4.1.20175.1.301.6.6.(FA-95AIO TRAP)					
FA-95AIO　IN	省略（SDI1 IN と同じ）	fa95AioInputFormatChangedTrap	1	NOTIFICATION TYPE	変化時
FA-95AIO　OUT	省略（SDI OUT1/2 と同じ）	fa95AioOutputFormatChangedTrap	2	NOTIFICATION TYPE	変化時

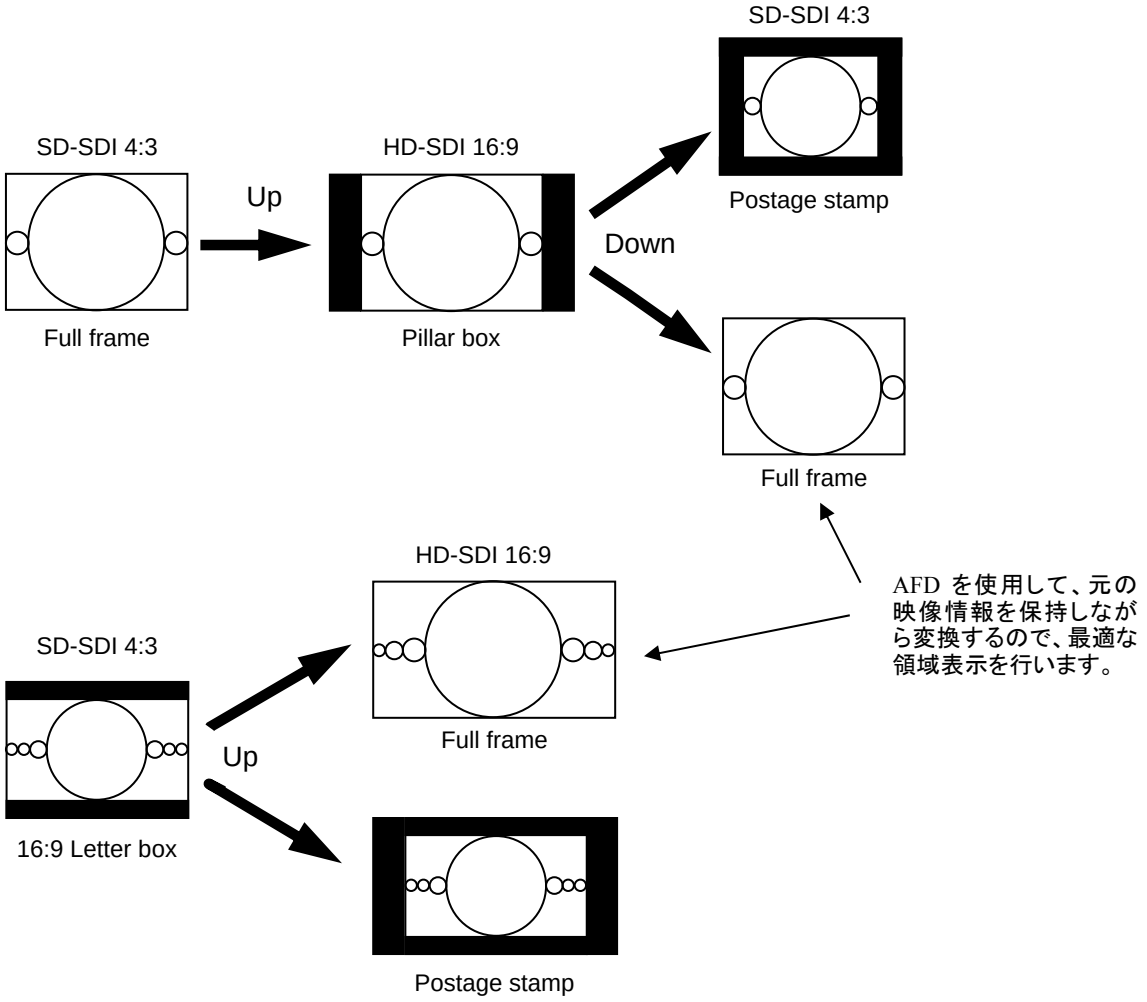
19. FA-9500 アンシラリデータパケット表示名一覧

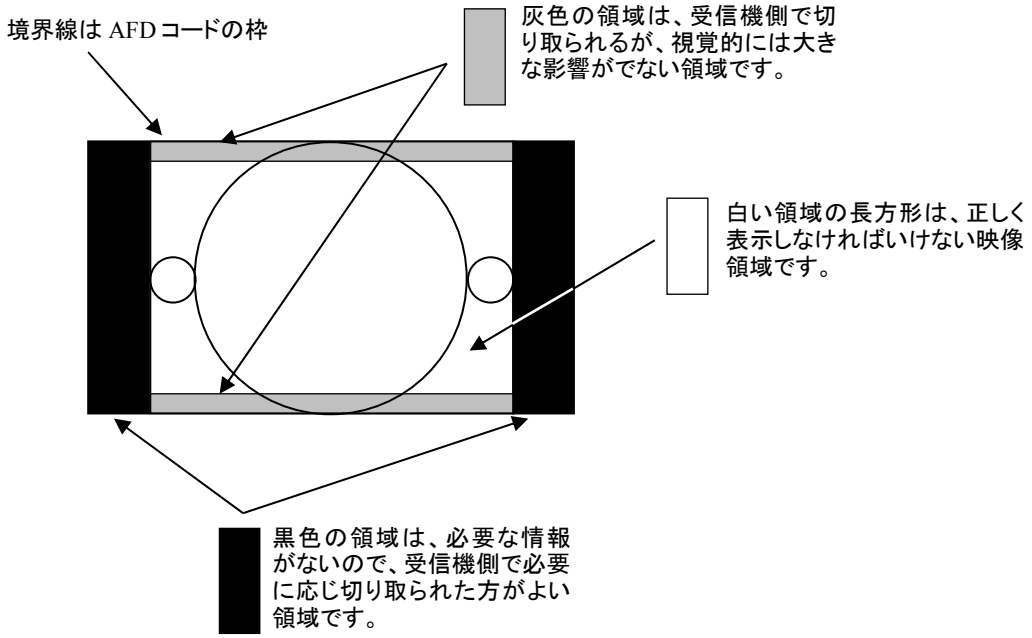
FA-9500 表示	DID/SDID (16 進)	内容
S353MMPEG(V)	08/08	MPEG recoding data, VANC space (Picture rate information)
S353M MPEG(H)	08/0C	MPEG recoding data, HANC space (Other part of recording data set)
S305M SD-SDTI	40/01	ARIB STD-B17　放送用ビット直列インターフェースにおけるパケットデータ伝送方式
S305M HD-SDTI	40/02	ITU-R BT.1557,　SMPTE 348M　HD-SDTI 用
S427 Lk Enc 1	40/04	SMPTE 427　Link Encryption Message 1
S427 Lk Enc 2	40/05	SMPTE 427　Link Encryption Message 2
S427 Lk Meta	40/06	SMPTE 427　Link Encryption Metadata
S352M VPID	41/01	BTA S-004C　ペイロード ID
S2016-3 AFD-Bar	41/05	SMPTE 2016-3　AFD and Bar Data
S2016-4 PanScan	41/06	SMPTE 2016-3　Pan-Scan Data
RP2010 SCTE 104	41/07	SMPTE 2010　　ANSI/SCTE 104 messages
S2031 SCTE VBI	41/08	SMPTE 2010　　DVB/SCTE VBI data
ITU-R BT.1685	43/01	ITU-R BT.1685　局間制御データパケット
RDD8 OP47(SDP)	43/02	SMPTE RDD 8　Subtitling Distribution packet(SDP)
RDD8 OP47(Mult)	43/03	SMPTE RDD 8　Transport of ANC packet in an ANC Multipacket
S346M	43/13	Time Division Multiplexing Video Signals and Generic Data over HD-SDI
RP214 KLV(V)	44/04	SMPTE RP 214　KLV Metadata transport in VANC space
RP214 KLV(H)	44/14	SMPTE RP 214　KLV Metadata transport in HANC space
RP223 UMID	44/44	SMPTE RP 223　Packing UMID and Program Identification Label Data into SMPTE 291M Ancillary Data Packets
S2020 Aud	45/01	SMPTE 2020-1　Compressed Audio Metadata
S2020AudPr1/2	45/02	SMPTE 2020-1　Compressed Audio Metadata
S2020AudPr3/4	45/03	SMPTE 2020-1　Compressed Audio Metadata
S2020AudPr5/6	45/04	SMPTE 2020-1　Compressed Audio Metadata
S2020AudPr7/8	45/05	SMPTE 2020-1　Compressed Audio Metadata
S2020AudPr9/10	45/06	SMPTE 2020-1　Compressed Audio Metadata
S2020AudPr11/12	45/07	SMPTE 2020-1　Compressed Audio Metadata
S2020AudPr13/14	45/08	SMPTE 2020-1　Compressed Audio Metadata
S2020 AudP15/16	45/09	SMPTE 2020-1　Compressed Audio Metadata
RP215 Film Xfer	51/01	RP215 Film Codes in VANC space
ARIB TRB.18	5F/CF	ARIB TR-B18「525/60 及び 1125/60 テレビジョン方法のコンポーネントインターフェースにおけるカラーフレーム情報の多重方法のガイドライン」に規定されたカラーフレーム情報パケット
ARIB B.37	1D0 ・ ・ 2DB	ARIB STD-B37「補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用」に規定された字幕補助データパケットの字幕（拡張用）
ARIB B.37 Mob	5F/DC	ARIB STD-B37「補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用」に規定された字幕補助データパケットの携帯字幕
ARIB B.37 Ana	5F/DD	ARIB STD-B37「補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用」に規定された字幕補助データパケットのアナログ字幕
ARIB B.37 SD	5F/DE	ARIB STD-B37「補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用」に規定された字幕補助データパケットの SD 字幕
ARIB B.37 HD	5F/DF	ARIB STD-B37「補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用」に規定された字幕補助データパケットの HD 字幕
ARIB TR-B.22	5F/E0	ARIB TR-B22「デジタルハイビジョン素材伝送補助データ運用規定」に規定されたデジタルハイビジョン素材伝送補助データパケット
ARIB TRB23(1)	5F/FA	ARIB TR-B23「放送局間の情報伝送に使用する補助データ運用規定」に規定されたダミーパケット
ARIB TRB23(2)	5F/FB	ARIB TR-B23「放送局間の情報伝送に使用する補助データ運用規定」に規定されたユーザデータパケットのユーザデータ 2

FA-9500 表示	DID/SDID (16 進)	内容
ARIB TRB23(1)	5F/FC	ARIB TR-B23「放送局間の情報伝送に使用する補助データ運用規定」に規定されたユーザデータパケットのユーザデータ 1
ARIBB.35ProgEx	5F/FD	ARIB STD-B35「デジタル放送におけるデータ放送番組交換方式」に規定されたデータ放送トリガ信号パケット用
ARIB B.39	5F/FE	ARIB STD-B39「補助データパケット形式で伝送される放送局間制御信号の構造」に規定された放送局間制御信号パケット用
ARIB B.15	5F/FF	ARIB STD-B15「525/60 及び 1125/60 テレビジョン方法のビット直列インターフェースにおける補助データ領域への発局 ID の多重方法」に規定された発局 ID パケット用
SMPTE 12-2	60/60	ARIB STD-B41　タイムコード用
S334-1CDP(708)	61/01	ITU-R BT.1619,　SMPTE 334-1　クローズドキャプション(EIA-708-B)
S334-1 CEA608	61/02	ITU-R BT.1619,　SMPTE 334-1　EIA-608 data
S334-1 Teletxt	61/03	World System Teletext Description Packet
S334 SDE	61/04	Subtitling Data Essence (SDE)
334/207	62/01	ITU-R BT.1619,　SMPTE RP207　DTV　番組記述
S334-1 Future	62/02	ITU-R BT.1619,　SMPTE 334-1　DTV　データブロードキャスト
S334/RP208	62/03	ITU-R BT.1619,　SMPTE RP208　VBI　データ
RP196/LTC	64/64	タイムコード
RP196/VITC	64/7F	タイムコード
RP165EDH	1F4	誤り検知チェックワードおよび状態表示フラグ

20. AFD (Active Format Description) について

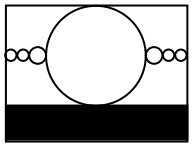
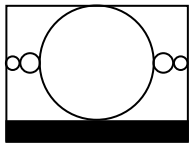
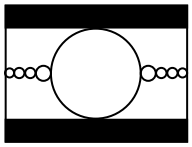
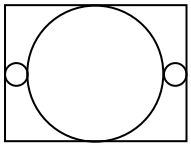
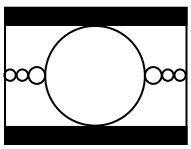
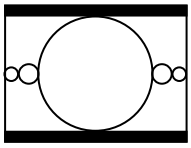
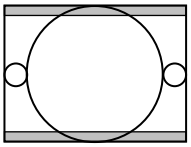
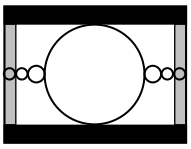
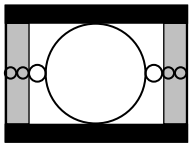
FA-95SCNV がインストールされていると、FA-9500 は、入力のアンシラリ S2016-3, RP186 VI (Video Index), BT.1119-2 WSS (Wide Screen Signalling) の AFD 情報に連動したアスペクト変換をすることができます。
下図は、AFD 情報を基にアスペクト変換を行った場合の例です。



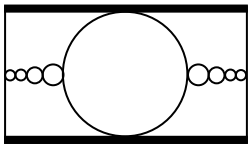
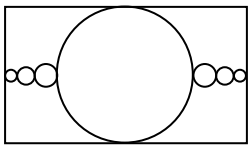
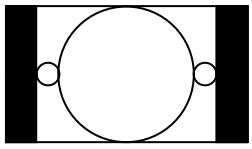
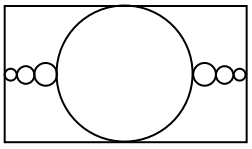
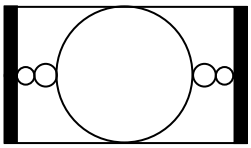
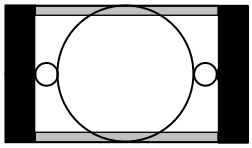
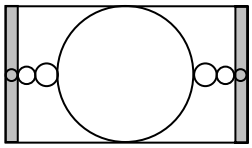
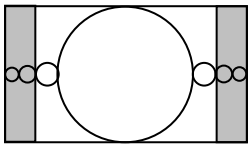


20-1. AFD コード一覧

◆ **AFD　4 : 3 コードの説明**

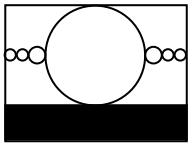
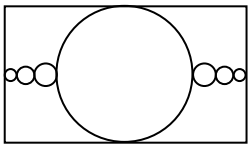
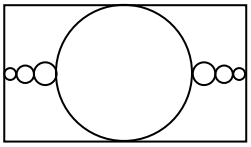
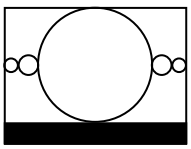
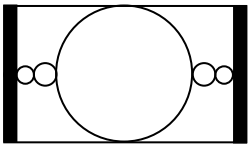
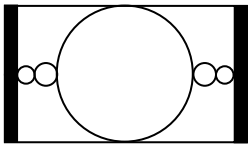
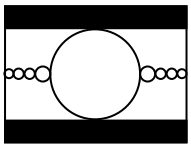
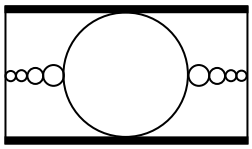
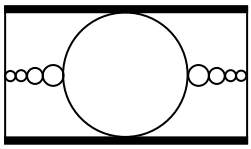
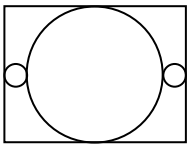
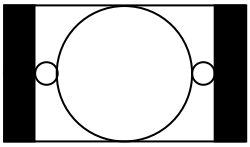
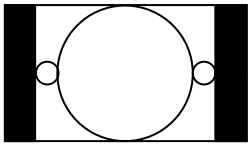
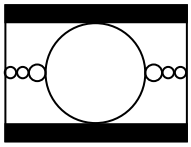
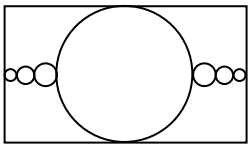
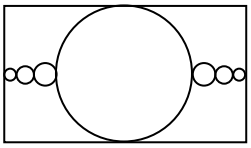
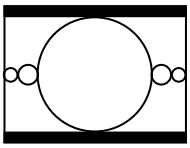
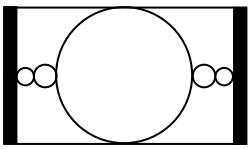
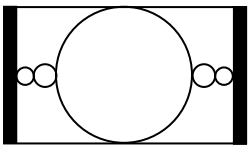
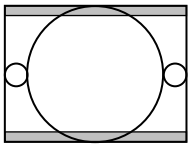
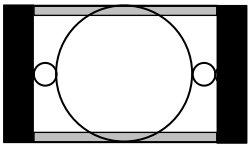
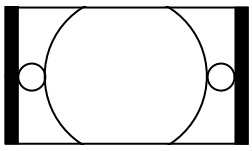
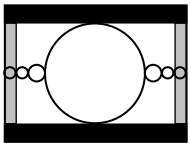
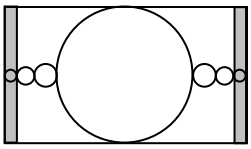
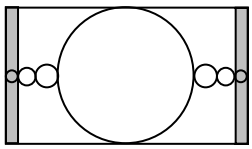
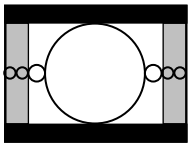
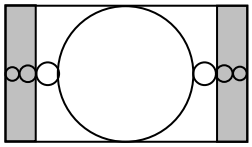
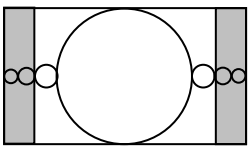
WSS 名	FA-9500 固定設定 （VI, S2016）	4 : 3 画面表示	説明
BOX 16:9 TOP	4:3 L 16:9 T		アスペクト比 16 : 9 の映像の 4 : 3 画面への上付きレターボックス表示
BOX 14:9 TOP	4:3 L 14:9 T		アスペクト比 14 : 9 の映像の 4 : 3 画面への上付きレターボックス表示
BOX 16:9 CTR	4:3 L> 16:9		アスペクト比 16 : 9 以上の映像の 4 : 3 画面への上下中央レターボックス表示
F 4:3	4:3 F 4:3		4 : 3 画面と同じアスペクト比の映像の全画面表示
BOX 16:9 CTR	4:3L16:9PRTD		アスペクト比 16 : 9 の映像の 4 : 3 画面への上下中央レターボックス表示
BOX 14:9 CTR	4:3 L 14:9		アスペクト比 14 : 9 の映像の 4 : 3 画面への上下中央レターボックス表示
F 14:9 CTR PRTD	4:3 F ALT14:9		アスペクト比 4 : 3 の映像とその 14 : 9 上下中央レターボックス表示の 4 : 3 画面表示
なし	4:3 L ALT 14:9		アスペクト比 16 : 9 の映像とその 14 : 9 上下中央レターボックス表示の 4 : 3 画面表示
なし	4:3 L ALT 4:3		アスペクト比 16 : 9 の映像とその 4 : 3 上下中央レターボックス表示の 4 : 3 画面表示

◆ **AFD　16：9 コードの説明**

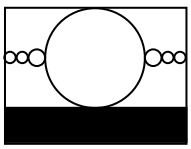
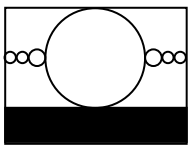
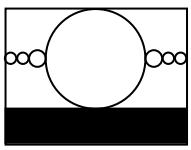
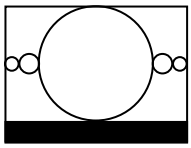
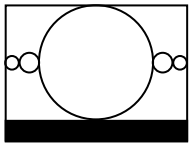
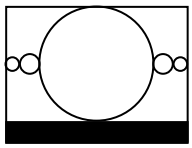
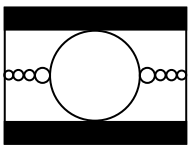
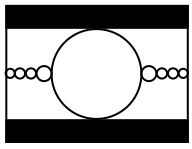
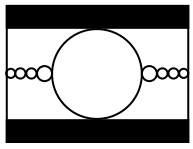
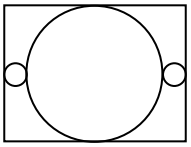
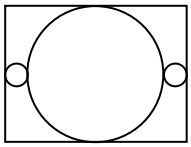
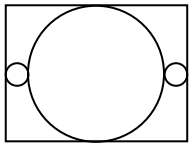
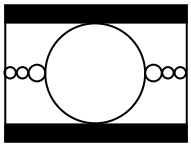
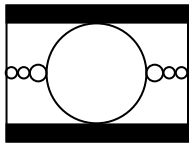
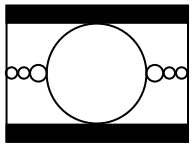
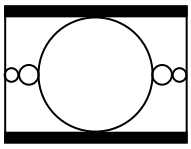
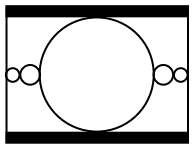
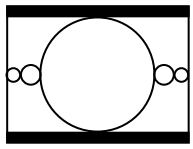
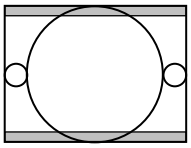
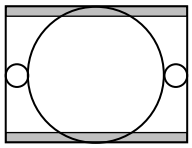
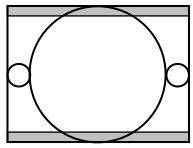
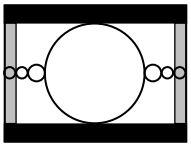
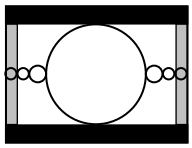
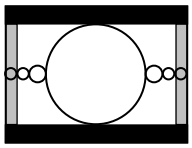
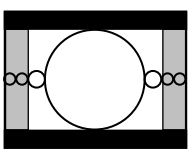
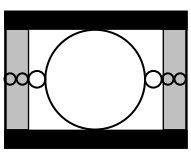
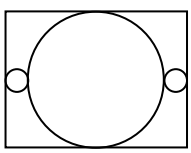
WSS 名	FA-9500 固定設定 （VI, S2016）	16：9 画面表示	説明
なし	16:9 L>16:9		アスペクト比 16 : 9 以上の映像の 16 : 9 画面への上下中央レターボックス表示
F 16:9 AMRPH	16:9 F 16:9		16：9 画面と同じアスペクト比の映像の全画面表示
なし	16:9 P 4:3		アスペクト比 4：3 の映像の 16：9 画面への左右中央ピラーボックス表示
なし	16:9 F PRTD		アスペクト比 16 : 9 の映像の全映像領域保護による全画面表示
なし	16:9 P 14:9		アスペクト比 14：9 の映像の 16：9 画面への左右中央ピラーボックス表示
なし	16:9PALT14:9		アスペクト比 4：3 の映像とその 14 : 9 左右中央ピラーボックス表示の 16：9 画面表示
なし	16:9FALT14:9		アスペクト比 16 : 9 の映像とその 14 : 9 左右中央ピラーボックス表示の 16：9 画面表示
なし	16:9 F ALT4:3		アスペクト比 16 : 9 の映像とその 4：3 左右中央ピラーボックス表示の 16：9 画面表示

20-2. AFD によるアスペクト変換一覧

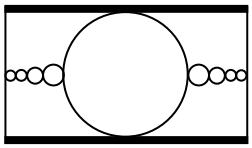
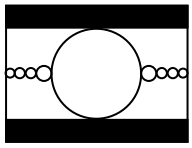
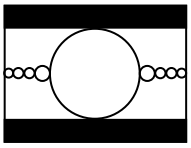
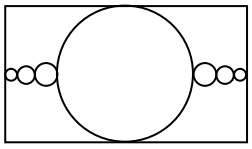
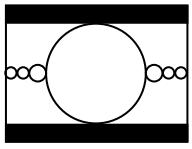
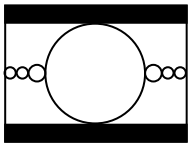
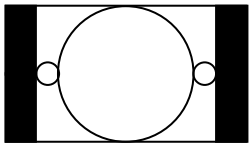
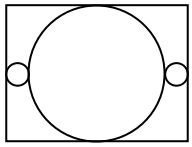
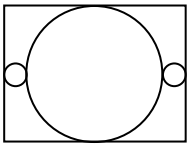
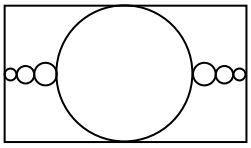
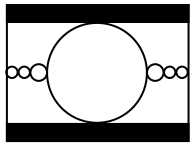
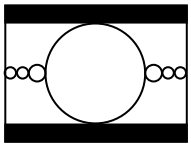
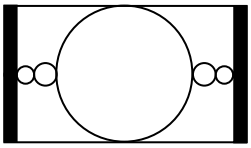
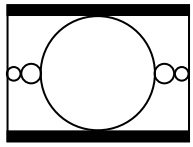
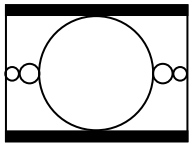
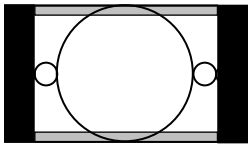
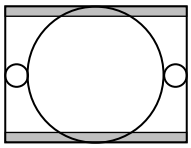
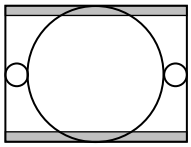
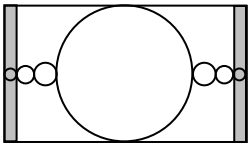
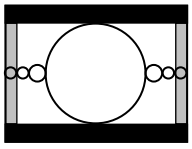
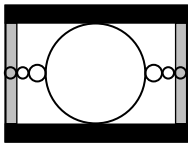
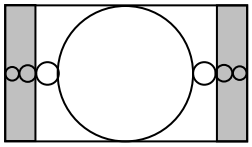
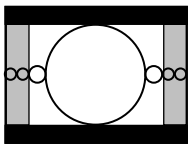
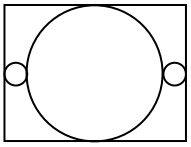
◆ **4：3 から 16：9 への変換**

AFD 入力（WSS）	AFD 入力（VI, S2016）	4：3 画面表示	SD: AFD(16:9)変換 HD: AFD 変換	SD:AFD-ALT(16:9)変換 HD: AFD-ALT 変換
BOX 16:9 TOP	4:3 L 16:9 T			
BOX 14:9 TOP	4:3 L 14:9 T			
BOX 16:9 CTR	4:3 L> 16:9			
F 4:3	4:3 F 4:3			
BOX 16:9 CTR	4:3L16:9PRTD			
BOX 14:9 CTR	4:3 L 14:9			
F 14:9 CTR PRTD	4:3 F ALT14:9			
なし	4:3 L ALT 14:9			
なし	4:3 L ALT 4:3			

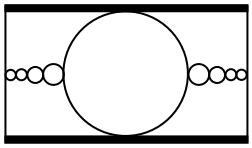
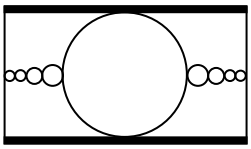
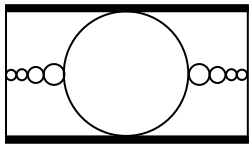
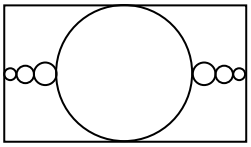
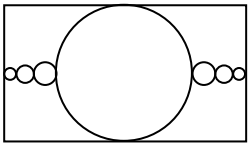
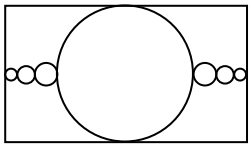
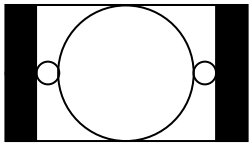
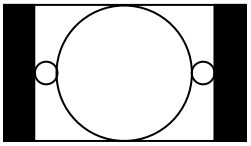
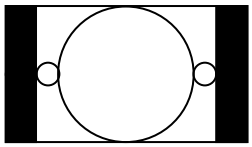
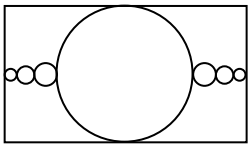
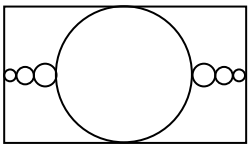
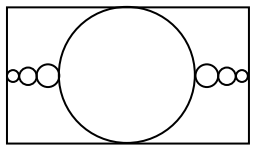
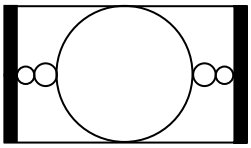
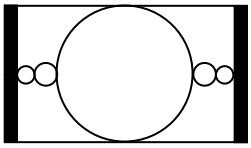
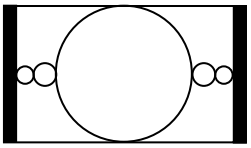
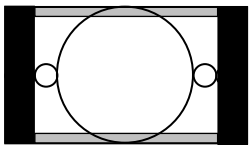
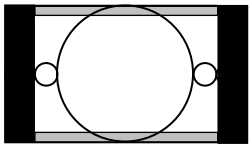
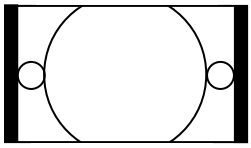
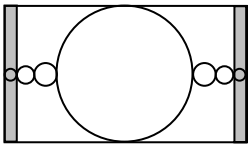
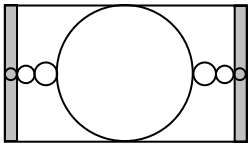
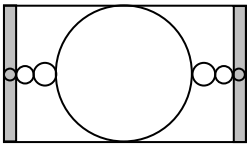
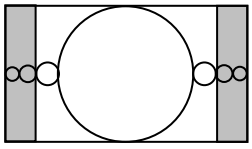
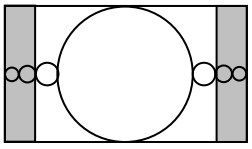
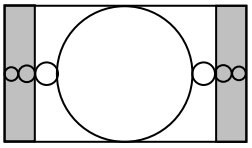
◆ **4：3から4：3への変換**

AFD 入力（WSS）	AFD 入力（VI, S2016）	4：3 画面表示	AFD(4:3)変換	AFD-ALT(4:3)変換
BOX 16:9 TOP	4:3 L 16:9 T			
BOX 14:9 TOP	4:3 L 14:9 T			
BOX 16:9 CTR	4:3 L> 16:9			
F 4:3	4:3 F 4:3			
BOX 16:9 CTR	4:3L16:9PRTD			
BOX 14:9 CTR	4:3 L 14:9			
F 14:9 CTR PRTD	4:3 F ALT14:9			
なし	4:3 L ALT 14:9			
なし	4:3 L ALT 4:3			

◆ **16：9 から 4：3 への変換**

AFD 入力 （WSS）	AFD 入力 （VI, S2016）	16：9 画面表示	AFD(4:3)変換	AFD-ALT(4:3)変換
なし	16:9 L>16:9			
F 16:9 AMRPH	16:9 F 16:9			
なし	16:9 P 4:3			
なし	16:9 F PRTD			
なし	16:9 P 14:9			
なし	16:9PALT14:9			
なし	16:9FALT14:9			
なし	16:9 F ALT4:3			

◆ **16：9 から 16：9 への変換**

AFD 入力 （WSS）	AFD 入力 （VI, S2016）	16：9 画面表示	SD: AFD(16:9)変換 HD: AFD 変換	SD:AFD-ALT(16:9)変換 HD: AFD-ALT 変換
なし	16:9 L>16:9			
F 16:9 AMRPH	16:9 F 16:9			
なし	16:9 P 4:3			
なし	16:9 F PRTD			
なし	16:9 P 14:9			
なし	16:9PALT14:9			
なし	16:9FALT14:9			
なし	16:9 F ALT4:3			

20-3. AFD 対応信号規格一覧

FA-9500 は 、 SMPTE S2016-3, SMPTE RP186-2008VI (Video Index), ITU-R BT1119.2 WSS(Wide-Screen Signalling)に準拠したアスペクト変換が可能です。
対応信号フォーマットは、各 AFD 規格に対する対応信号フォーマット一覧を参照してください。

各 AFD 規格に対する対応信号フォーマット一覧

入力信号フォーマット	S2016-3	RP186-2008 VI	BT1119.2 WSS
525/60	✓	✓	
625/50	✓	✓	✓
1080/59.94i	✓		
1080/50i	✓		
1080/23.98PsF	✓		
1080/24PsF	✓		
720/59.94p	✓		
720/50p	✓		
1080/59.94p	✓		
1080/50p	✓		

20-4. AFD による自動アスペクト変換の設定

◆ **AFD のシステム設定**

入力信号の AFD を基にアスペクト変換をする場合、下記のように VIDEO SYTEM で基本動作となる設定をしてください。

- 「5-10-9 CONV1 ANC SET」ANC MODE を DETAIL に設定します。
- 同様に、「5-10-10 CONV2 ANC SET」ANC MODE を DETAIL に設定します。
- 「5-10-14 ANC DETECT LINE」で RP186VI, BT1119 WSS を検出するライン番号を設定します。入力映像信号の RP186VI, BT1119 WSS が重畳されているライン番号を設定してください。ライン番号が正しく設定されないと、RP186VI と BT1119 WSS は検出されません。S2016-3 は自動で入力信号から取得されます。また、入力信号が HD の場合は、自動で S2016-3 の AFD データを取得します。
- 「5-10-15 ANC DETECT SEL」の AFD で、SD 信号入力時に検出する AFD を選択します。
- 「5-10-16 ANC DATA EMBED」で重畳させる AFD データと出力先を選択します。この設定をしないと CONV1, 2 の出力映像に重畳されません。
- 「5-10-17 ANC EMBED LINE」で重畳させるアンシラリデータの種類と CONV1, 2 の出力映像のフォーマットを選択し、重畳するライン番号を設定します。FA-9500 の後段の機器の入力設定と合わせる場合に設定します。標準的な仕様のライン番号が初期値に設定されています。
- 「5-10-18ANC LOSS SET」で、入力信号の AFD が欠落した場合の動作設定を行います。

◆ **AFD 信号確認**

入力信号の AFD に連動した自動アスペクト変換を行う場合、入力信号に AFD が重畳されている必要があります。入力信号から、AFD が検出されているかは、「5-13-16 AFD IN STATUS」「5-14 ANC IN STATUS」,「5-15 ANC IN STATUS1-2」で確認できます。この表示で RP186VI または、BT1119 WSS が“ABSENT”と表示されている場合は、AFD が検出されていないので、正常に自動変換されません。また、S2016-3 の場合は、ANC IN STATUS1-2 に検出されない場合は正常に自動変換されません。AFD のシステム設定を再度行ってください。また、波形モニタ等で入力信号に AFD が重畳されているか確認してください。

◆ **CONV1,CONV2 の動作モードの設定**

- 「5-3-5 CONV1 U/D MODE」で、CONV1 出力に対する AFD を基に自動変換するモードを設定します。
- 「5-4-1 CONV2 U/D MODE」で CONV2 出力に対する AFD を基に自動変換するモードを設定します。

◆ **AFD の出力確認**

CONV1, CONV2 の出力信号に対する AFD の状態を確認することができます。

- VI と WSS は、「5-16 CONV1 ANC OUT」で CONV1 に重畳しているライン番号と状態が確認できます。
- VI と WSS の出力内容の詳細は、それぞれ「5-16-2 CONV1 VI OUT」「5-16-3 CONV1 WSS OUT」で確認できます。
- S2016-3 の出力内容の詳細は、「5-16-1 CONV1 S2016 OUT」で確認できます。
- S2016-3 の重畳ライン番号等は、「5-17 CONV1 ANC OUT1」で確認できます。

同様に CONV2 に対する出力状態も「5-18 CONV2 ANC OUT」, 「5-19 CONV2 ANC OUT1」で確認できます。

20-5. AFD 付き映像信号出力設定について

FA-9500 に入力された AFD 無し映像信号に AFD を重畳することができます。

◆ **AFD のシステム設定**

AFD を出力に重畳する場合、VIDEO SYTEM で基本動作となる設定をしてください。

- 「5-10-9 CONV1 ANC SET」ANC MODE を DETAIL に設定します。
- 同様に、「5-10-10 CONV2 ANC SET」ANC MODE を DETAIL に設定します。
- 「5-10-16 ANC DATA EMBED」で重畳させる AFD データと出力先を選択します。この設定をしないと CONV1, 2 の出力映像に重畳されません。
- 「5-10-17 ANC EMBED LINE」で重畳させるアンシラリデータの種類と CONV1, 2 の出力映像のフォーマットを選択し、重畳するライン番号を設定します。FA-9500 に接続される後段の機器の入力設定と合わせる場合に設定します。標準的な仕様のライン番号が初期値に設定されています。

◆ **CONV1, CONV2 の動作モードの設定**

- 「5-3-5 CONV1 U/D MODE」の CONV1 でコンバータの動作を設定します。
- 「5-3-5 CONV1 U/D MODE」の ASPECT で固定アスペクトを設定します。CONV1 の出力が SD の場合、4:3 L 16:9 T～16:9F ALT4:3 の範囲で設定します。CONV1 の出力が HD の場合、16:9 L>16:9～16:9F ALT4:3 の範囲で設定します。
  CONV2 も同様に、「5-4-1 CONV2 U/D MODE」を設定します。

◆ **AFD の出力確認**

CONV1, CONV2 の出力信号に対する AFD の状態を確認することができます。

- VI と WSS は、「5-16 CONV1 ANC OUT」で CONV1 に重畳しているライン番号と状態が確認できます。
- VI と WSS の出力内容の詳細は、それぞれ「5-16-2 CONV1 VI OUT」「5-16-3 CONV1 WSS OUT」で確認できます。
- S2016-3 の出力内容の詳細は、「5-16-1 CONV1 S2016 OUT」で確認できます。
- S2016-3 の重畳ライン番号等は、「5-17 CONV1 ANC OUT1」で確認できます。
  同様に CONV2 に対する出力状態は「5-18 CONV2 ANC OUT」,「5-19 CONV2 ANC OUT1」で確認できます。

20-6. AFD 略称表記一覧

◆ **SMPTE S2016-3 AFD 略称表記一覧**

In a 4:3 coded frame		In a 16:9 coded frame		AFD Code
UNDEFINED	Undefined	UNDEFINED	Undefined	0000
RESERVED	Reserved	RESERVED	Reserved	0001
4:3 L 16:9 T	Letterbox 16:9 image, at top of the coded frame	16:9 F 16:9	Full frame 16:9 image, the same as the coded frame	0010
4:3 L14:9 T	Letterbox 14:9 image, at top of the coded frame	16:9 P 14:9	Pillarbox 14:9 image, horizontally centered in the coded frame	0011
4:3 L>16:9	Letterbox image with an aspect ratio greater than 16:9, vertically centered in the coded frame	16:9 L>16:9	Letterbox image with an aspect ratio greater than 16:9, vertically centered in the coded frame	0100
RESERVED	Reserved	RESERVED	Reserved	0101
RESERVED	Reserved	RESERVED	Reserved	0110
RESERVED	Reserved	RESERVED	Reserved	0111
4:3 F 4:3	Full frame 4:3 image, the same as the coded frame	16:9 F 16:9	Full frame 16:9 image, the same as the coded frame	1000
4:3 F 4:3	Full frame 4:3 image, the same as the coded frame	16:9 P 4:3	Pillarbox 4:3 image, horizontally centered in the coded frame	1001
4:3 L16:9PRTD	Letterbox 16:9 image, vertically centered in the coded frame with all image areas protected	16:9 F PRTD	Full frame 16:9 image, with all image areas protected	1010
4:3 L 14:9	Letterbox 14:9 image, vertically centered in the coded frame	16:9 P 14:9	Pillarbox 14:9 image, horizontally centered in the coded frame	1011
RESERVED	Reserved	RESERVED	Reserved	1100
4:3 F ALT14:9	Full frame 4:3 image, with alternative 14:9 center	16:9P ALT14:9	Pillarbox 4:3 image, with alternative 14:9 center	1101
4:3 L ALT14:9	Letterbox 16:9 image, with alternative 14:9 center	16:9F ALT14:9	Full frame 16:9 image, with alternative 14:9 center	1110
4:3 L ALT 4:3	Letterbox 16:9 image, with alternative 4:3 center	16:9 F ALT4:3	Full frame 16:9 image, with alternative 4:3 center	1111

◆ **SMPTE RP186-2008 VI AFD 略称表記一覧**

Description		AFD Code
RESERVED	Reserved	0000
RESERVED	Reserved	0001
BOX 16:9 TOP	Box 16:9 (top)	0010
BOX 14:9 TOP	Box 14:9 (top)	0011
BOX>16:9 CTR	Box > 16:9 (center)	0100
RESERVED	Reserved	0101
RESERVED	Reserved	0110
RESERVED	Reserved	0111
AS THE CD FRM	Active format is the same as coded frame	1000
4:3 CTR	4:3 (center)	1001
16:9 CTR	16:9 (center)	1010
14:9 CTR	14:9 (center)	1011
RESERVED	Reserved	1100
4:3 WITH 14:9 PRTD	4:3 (with shoot and protect 14:9 center)	1101
16:9 WITH 14:9 PRTD	16:9 (with shoot and protect 14:9 center)	1110
16:9 WITH 4:3 PRTD	16:9 (with shoot and protect 4:3 center)	1111

◆ **ITU-R BT.1119-2 WSS 略称表記一覧**

Description		AFD Code
F 4:3	full format 4:3	1000
BOX 14:9 CTR	box 14:9 centre	0001
BOX 14:9 TOP	box 14:9 top	0010
BOX 16:9 CTR	box 16:9 centre	1011
BOX 16:9 TOP	box 16:9 top	0100
BOX>16:9 CTR	box > 16:9 centre	1101
F 14:9 CTR PRTD	full format 14:9 centre shoot and protect 14:9	1110
F 16:9 AMRPH	full format 16:9 anamorphic	0111

20-7. 変換方法の互換表

オプションの FA-95SCNV をインストールした場合、Ver6.00 以降 S2016-3 AFD に準拠した変換方法に変更にされています。設定方法は下記の表を参照して設定してください。

従来の変換設定 *1		新設定方法	
		SD INPUT ASPECT *2	ASPECT 設定 *3
アップコンバート	4:3	4:3	16:9 P 14:9
	14:9	4:3	16:9 P 14:9
	16:9	4:3	16:9 F 16:9 16:9 F PRTD
	SQUEEZE	16:9	16:9 F 16:9 16:9 F PRTD
ダウンコンバート	4:3		4:3 F 4:3
	14:9		4:3 L 14:9
	16:9		4:3 L16:9PRTD
	SQUEEZE		16:9 F 16:9 16:9 F PRTD

*1　詳細は、「5-3-2 CONV1 U/D MODE（FA-95SCNV なし）」を参照してください。

*2　詳細は、「 5-7-2 SD INPUT ASPECT」を参照してください。

*3　詳細は、「5-3-5 CONV1 U/D MODE（FA-95SCNV あり）」を参照してください。

21. クローズドキャプションについて

FA-9500 は、3 つのクローズドキャプション規格（CEA608 CC, S334-1 CC SD, CEA708 CC HD）に対応しています。

◆ **規格の概要**

CEA608 CC

525/60 Line21 の輝度レベル信号に重畳されるクローズドキャプション規格です。コンポジット信号がベースとなっている規格で、FA-9500 はコンポジット信号および SD-SDI の入力信号から検出することができます。アナログの Y/C, YPbPr 信号からの検出はできません。
同様に、コンポジット信号および SD-SDI の信号に重畳でき、アナログの Y/C, YPbPr 信号には重畳でません。

S334-1 CC SD

SD-SDI でアンシラリデータの DID/SDID で規定されるデータパケットクローズドキャプション規格です。FA-9500 では、525/60 信号の検出・重畳が可能です。

CEA708 CC HD

HD-SDI でアンシラリデータの DID/SDID で規定されるデータパケットクローズドキャプション規格です。FA-9500 では、1080/59i, 720/59p 信号の検出・重畳が可能です。
詳細は、SMPTE の規格書を参照してください。

21-1. クローズドキャプションの設定手順

- 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」IN SEL で入力信号を選択します。
- IN SEL で選択した映像信号が、525/60 SD 信号の場合、「5-10-15 ANC DETECT SEL」で検出するクローズドキャプションデータ規格を設定します。入力信号が、1080/59i, 720/59p の場合は、自動で CEA708 CC HD データから検出します。
- クローズドキャプションの入力検出状態は、CEA608 CC の場合「5-14 ANC IN STATUS」で確認できます。S334-1 CC SD, CEA708 CC HD の場合は、「5-15 ANC IN STATUS1-2」で確認できます。
- 出力信号へクローズドキャプション重畳する場合は、下記項目を設定します。設定は、コンバータ出力 1 と 2 で独立して設定することができます。
  「5-10-9 CONV1 ANC SET」,「5-10-10 CONV2 ANC SET」で ANC MODE を DETAIL に設定します。
  「5-10-16 ANC DATA EMBED」の EMBED で重畳したいコンバータ出力を選択します。
- クローズドキャプションが重畳されているかどうかは、CEA608 CC の場合「5-16 CONV1 ANC OUT」,「5-18 CONV2 ANC OUT」で確認できます。S334-1 CC SD, CEA708 CC HD の場合は、「5-17 CONV1 ANC OUT1」,「5-19 CONV2 ANC OUT1」で確認できます。
- クローズドキャプションの自動変換について
  SD 入力信号で CEA608 か S334-1 CC のクローズドキャプションが検出された場合、コンバータ出力 1 またはコンバータ出力 2 の出力信号フォーマットが 1080/59i または 720/59p のときは、CEA708 CC HD へのクローズドキャプション変換はできません。従って、自動で CEA708 の重畳が停止されます。入力信号が 1080/59i または 720/59p の HD-SDI で CEA708 CC HD のクローズドキャプションが検出された場合、コンバータ出力 1 またはコンバータ出力 2 の出力信号フォーマットが 525/60 のときは、S334-1 CC SD および CEA608 CC へのクローズドキャプション変換が自動で行われます。「5-10-16 ANC DATA EMBED」で各クローズドキャプションデータ規格の EMBED 設定が CONV1, CONV2, CONV1/2 に設定されている場合、設定された出力にクローズドキャプションが重畳されます。

22. 旧バージョンからのデータ読込について

Softバージョン6.00以前と以降ではイベントデータの保存ファイル形式が異なるためお互いのファイルを読み込むことはできません。また、Softバージョン6.00以降のBackup Parameterで保存されたファイルを、Softバージョン6.00以前のFA-9500へ読み込むこともできません。
本体内に保存されているイベントデータはバージョンアップ後も読み込むことはできますが、保存されていた設定映像にならない場合があります。旧バージョンのイベントデータを読み込む場合は、下記“再設定項目”を必ず再設定してください。
また、Backup Parameterで保存された旧バージョンのファイルを読み込む場合も、同様に再設定を実施してください。
Softバージョン6.00以降を新規に購入された場合は、この再設定は必要はありません。
Backup Parameterの操作方法は、「9-6-2 Backup Parameter」を参照してください。

再設定項目

- 「5-3-5 CONV1 U/D MODE（FA-95SCNVあり）」の全項目
- 「5-4-1 CONV2 U/D MODE」の全項目
- 「5-3-9 CONV1 IMPROVE」のANTIALIAS H/V項目
- 「5-4-5 CONV2 IMPROVE」のANTIALIAS H/V項目
- 「5-10-9 CONV1 ANC SET」の全項目
- 「5-10-10 CONV2 ANC SET」の全項目
- 「5-10-14 ANC DETECT LINE」の全項目
- 「5-10-15 ANC DETECT SEL」の全項目
- 「5-10-16 ANC DATA EMBED」の全項目
- 「5-10-17 ANC EMBED LINE」の全項目
- 「5-10-18 ANC LOSS SET」の全項目
- 「5-10-19 WSS AFD ERROR」の全項目

登録されている旧イベントごとに再設定が必要になります。
また、FA-95RUに登録されている旧バージョンのイベントも同様に再設定が必要になります。

23. 拡張スロットオプション取り外しについて

実装されていた FA-95D-D，FA-95DE-E， FA-95AIO, FA-95ALA オプションを外した後に電源を投入した際、「23-1 警告表示」が表示される場合があります。F1 UNITY ボタンを押すと、通常の起動画面が表示されます。
この警告表示は、拡張スロットオプション A/B に FA-95D-D，FA-95DE-E，FA-95AIO, FA-95ALA オプションを実装した状態で設定していた設定値が、FA-95D-D，FA-95DE-E， FA-95AIO, FA-95ALA オプションが外されたり変更されたりした為、設定できない状態になったことを警告しています。このとき、FA-95D-D，FA-95DE-E を取り外した場合は、「23-2 Dolby Option 変更後の設定確認項目」に記載されている、設定可能な設定値に設定していた場合、その設定値は強制的に初期値に設定されます。
FA-95AIO を取り外した場合は、「23-3 FA-95AIO 変更後の設定確認項目」に記載されている、設定可能な設定値に設定していた場合、その設定値は強制的に初期値に設定されます。
A-95ALA を取り外した場合は、「23-4 FA-95ALA 変更後の設定確認項目」に記載されている、設定可能な設定値に設定していた場合、その設定値は強制的に初期値に設定されます。
該当する拡張スロットオプションの各設定項目を必ず再設定してください。
「23-1 警告表示」は、実装されていた FA-95D-D，FA-95DE-E， FA-95AIO, FA-95ALA オプションを外したり変更した後に、電源を投入後 1 回だけ表示されます。その後は表示されなくなります。

23-1. 警告表示

```
 SLOT OPT CHANGED 904
----- WARNING! -----
OPTION CARD MISSING!
CHECK SETTINGS
PUSH F1 TO CONTINUE
```

23-2. Dolby Option 変更後の設定確認項目

実装されていた FA-95D-D を取り外した為に警告メッセージが表示された場合、

- 「6-1-2 SDI REMAPPING」の CH1-CH16 の ASSIGN 設定
- 「6-2-3 AES REMAPPING」の CH1-CH8 の ASSIGN 設定
- 「6-3-5 ANALOG REMAPPING」の CH1-CH4 の ASSIGN 設定

を再設定してください。

実装されていた FA-95DE-E を取り外した為に警告メッセージが表示された場合、

- 「6-1-2 SDI REMAPPING」の CH1-CH16 の ASSIGN 設定
- 「6-2-3 AES REMAPPING」の CH1-CH8 の ASSIGN 設定
- 「6-9-1-1 Dolby AUX OUTPUT」の OUTPUT 設定

を再設定してください。

23-3. FA-95AIO 変更後の設定確認項目

実装されていた FA-95AIO を取り外した為に警告メッセージが表示された場合、

- 「5-7-1 VIDEO INPUT SET」の IN SEL 設定
- 「7-4 GPI SETTING」の INPUT 設定

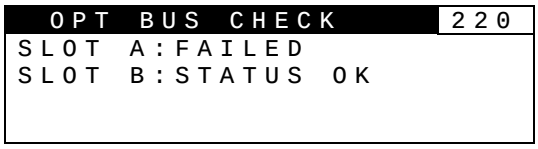
を再設定してください。

23-4. FA-95ALA 変更後の設定確認項目

実装されていた FA-95ALA を取り外した場合、下記設定を再設定してください。

- 「6-1-2 SDI REMAPPING」の CH1-CH16 の ASSIGN 設定
- 「6-2-3 AES REMAPPING」の CH1-CH8 の ASSIGN 設定
- 「6-3-5 ANALOG REMAPPING」の CH1-CH4 の ASSIGN 設定
- 「6-9-2 Dolby Encoder Option (FA-95DE-E)
- Dolby ENCODER INPUT」の CH1-CH8 の ASSIGN 設定

24. 拡張スロットオプション A/B 障害発生警告表示



電源投入後、上記のメッセージが表示された場合、拡張スロットオプション A/B に実装されているオプションに異常が発生しています。このメッセージは、電源投入時のみ表示されます。”FAILED”と表示されている拡張スロットオプションに異常が発生しています。
すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。

25. 仕様および外観図

25-1. 仕様

入力ビデオフォーマット	1080/59.94i, 1080/50i, 1080/24PsF, 1080/23.98PsF, 720/59.94p, 720/50p 525/60 (NTSC), 625/50 (PAL)
出力ビデオフォーマット	1080/59.94i, 1080/50i, 1080/24PsF, 1080/23.98PsF, 720/59.94p, 720/50p 525/60 (NTSC), 625/50 (PAL), PAL-M
ビデオフォーマット (オプション)	1080/59.94p, 1080/50p (Level-A)
ビデオ入力	HD-SDI: 1.5 Gbps または SD-SDI：270 Mbps 75Ω BNC x 2 アナログコンポジット：1.0 V(p-p) 75Ω BNC x 1
ビデオ入力 (FA-95-3Gオプション)	3G-SDI: 3 Gbps （端子は HD/SD-SDI と共通）
ビデオ入力 (FA-95AIO オプション)	SDTV Y: 1.0V(p-p) PbPr: 0.525V(p-p) (SMPTE レベル) 0.757V(p-p) (BETACAM レベル) 75Ω、BNC、各 1 入力 SMPTE /BETACAM はメニューにより切換可能 アナログ RGB: 1.0V(p-p) Y/C 1.0V(p-p) 75Ω BNC x 1 HDTV Y: 1.0V(p-p)、 PbPr: 0.525V(p-p) 75Ω、BNC、各 1 入力 アナログ RGB 1.0V(p-p) 75Ω BNC 各 1 入力
ビデオ出力	HD-SDI: 1.5 Gbps または SD-SDI: 270 Mbps 75Ω BNC x 4 (2 系統) アナログコンポジット: 1.0 V(p-p) 75Ω BNC 2 出力 (1 系統)
ビデオ出力 (FA-95-3Gオプション)	3G-SDI: 3 Gbps （端子は HD/SD-SDI と共通）
ビデオ出力 (FA-95AIO オプション)	SDTV Y: 1.0V(p-p) PbPr: 0.525V(p-p) (SMPTE レベル) 0.757V(p-p) (BETACAM レベル) 75Ω、BNC、各 1 出力 SMPTE /BETACAM はメニューにより切換可能 アナログ RGB: 1.0V(p-p) Y/C 1.0V(p-p) 75Ω BNC 各 1 出力 HDTV Y: 1.0V(p-p)、 PbPr: 0.525V(p-p) 75Ω、BNC、各 1 出力 アナログ RGB 1.0V(p-p) 75Ω BNC 各 1 出力
ビデオ入出力処理	3 入力 (標準) または 4 入力 (オプション実装時) ＞1 系統処理(手動または自動切替え)＜2 系統 x 2 出力
信号処理方式	4:2:2 デジタルコンポーネント
量子化	3G/HD/SD-SDI: 10-bit アナログコンポジット: 12-bit
周波数特性 (コンポジット入出力時)	
NTSC	100 kHz ～ 4.2 MHz： ±0.5 dB 以内、4.2 MHz ～ 5.0 MHz： ±1.0 dB 以内、5.0 MHz 以降：下降特性
PAL	100 kHz ～ 4.2 MHz： ±0.5 dB 以内、 4.2 MHz ～ 5.5 MHz： ±1.0 dB 以内、5.5 MHz 以降：下降特性
DG・DP	1%・1° (コンポジット入出力時)
S/N 比	60 dB 以上 （量子化ノイズなし、コンポジット入出力時）

ゲンロック入力	BB：NTSC： 0.429 V(p-p) / PAL： 0.45 V(p-p) または 3 値シンク： 0.6 V(p-p) 75Ω または ループスルー BNC x 1 (終端時は 75Ω終端プラグが必要)
同期	Frame モード、Line モード、AVDL モード、Input モード
システム位相調整	
Frame モード	水平： -1/2 H ～ +1/2 H 垂直： -1/2 Frame ～ +1/2 Frame 遅延： 最大: 1 Frame +1 H / 最小: 1 H
Line モード	水平： -1/2 H ～ +1/2 H 垂直： -1/2 Frame ～ +1/2 Frame 遅延： 最大： 1 H +1/2 H / 最小：1/2 H
AVDL モード	水平： -1/2 H ～ +1/2 H 垂直： -1/2 Frame ～ +1/2 Frame 遅延： HD 最大： 5 H +1/2 H / 最小： 1/2 H SD 最大： 1 H +1/2 H / 最小： 1/2 H
Input モード	水平： -1/2 H ～ +1/2 H 垂直： -1/2 frame ～ +1/2 frame 遅延： 最大: 1 frame、最小: +520 clk
ビデオ遅延調整	最大 8 Frames（Frame/Input モード時）
ビデオ機能	アップコンバータ、ダウンコンバータ、クロスコンバータ、 アスペクトコンバータ、プロセスアンプ、カラーコレクタ
プロセスアンプ	ビデオレベル： 0.0% ～ 200.0% クロマ レベル： 0.0% ～ 200.0% ブラック レベル： -20.0% ～ 100.0% ヒュー： -179.8°～ +180°
ビデオクリップ	YPbPr モード GBR モード Composite モード
カラーコレクション	バランスモード ディファレンシャルモード セピアモード
オーディオ入力	
エンベデッド	3G/HD 時： 16 チャネル (Group 1～4) 48 kHz 16-bit～24-bit 同期／非同期 SD 時： 16 チャネル (Group 1～4) 48 kHz 16-bit ～ 24-bit 同期のみ
AES/EBU	1.0 V(p-p) 不平衡 75Ω BNC x 4 (AES/EBU 出力と兼用) 最大ステレオ 4 系統 32/44.1/48 kHz 16-bit ～ 24-bit
アナログ	4 チャネル (ステレオ 2 系統) 平衡または不平衡 D-sub 25 ピン (メス) x 1 (アナログオーディオ入出力用) 600Ω/ハイインピーダンス 48 kHz 24-bit
オーディオ出力	
エンベデッド	3G/HD 時： 16 チャネル (Group 1～4) 48 kHz 16/20/24-bit 同期／非同期 SD 時： 12 チャネル (Group 1～3) 48 kHz 16/20/24-bit 同期のみ
AES/EBU	1.0 V(p-p) 不平衡 75Ω BNC x 4 (AES/EBU 入力と兼用) 最大ステレオ 4 系統 48 kHz 16/20/24-bit
アナログ	4 チャネル (ステレオ 2 系統) 平衡または不平衡 D-sub 25 ピン (メス) x 1 (アナログオーディオ入出力用) 100Ω以下 48 kHz 24-bit
オーディオ遅延調整	2 ms～1,000 ms (1 ms 単位で設定可能)
オーディオ処理	SRC (サンプルレートコンバータ)、ゲインコントロール、ダウンミックス、 リマップ、ミュート (チャネル毎に調整可能)
インターフェース	
Ethernet	10 Base-T / 100 Base-TX / 1000 Base-T RJ-45 2 ポート
REMOTE (GPI)	D-sub 9 ピン (オス) 1 ポート 7 系統 IN: TTL 負論理レベルまたはメイク接点 OUT: 定格 10mA（1 ポート当り）絶対最大定格 40mA

FA-95D-D/FA-95DE-E オプション

オーディオ入力

AES/EBU	1.0 V(p-p)　不平衡　75Ω　BNC x 1　48 kHz　16-bit ～ 24-bit

オーディオ出力

AES/EBU	1.0 V(p-p)　不平衡　75Ω　BNC x 1　48 kHz　16/20/24-bit
リファレンス入力	BB：NTSC： 0.429 V(p-p) / PAL： 0.45 V(p-p) または 3 値シンク： 0.6 V(p-p) 75Ω BNC　1 入力 (75Ω内部終端)

FA-95AIO（アナログコンポーネント I/O オプション）

入力ビデオフォーマット	1080/59.94i, 1080/50i, 1080/24PsF, 1080/23.98PsF, 720/59.94p, 720/50p 525/60 (NTSC), 625/50 (PAL)
出力ビデオフォーマット	1080/59.94i, 1080/50i, 1080/24PsF, 1080/23.98PsF, 720/59.94p, 720/50p 525/60 (NTSC), 625/50 (PAL), PAL-M

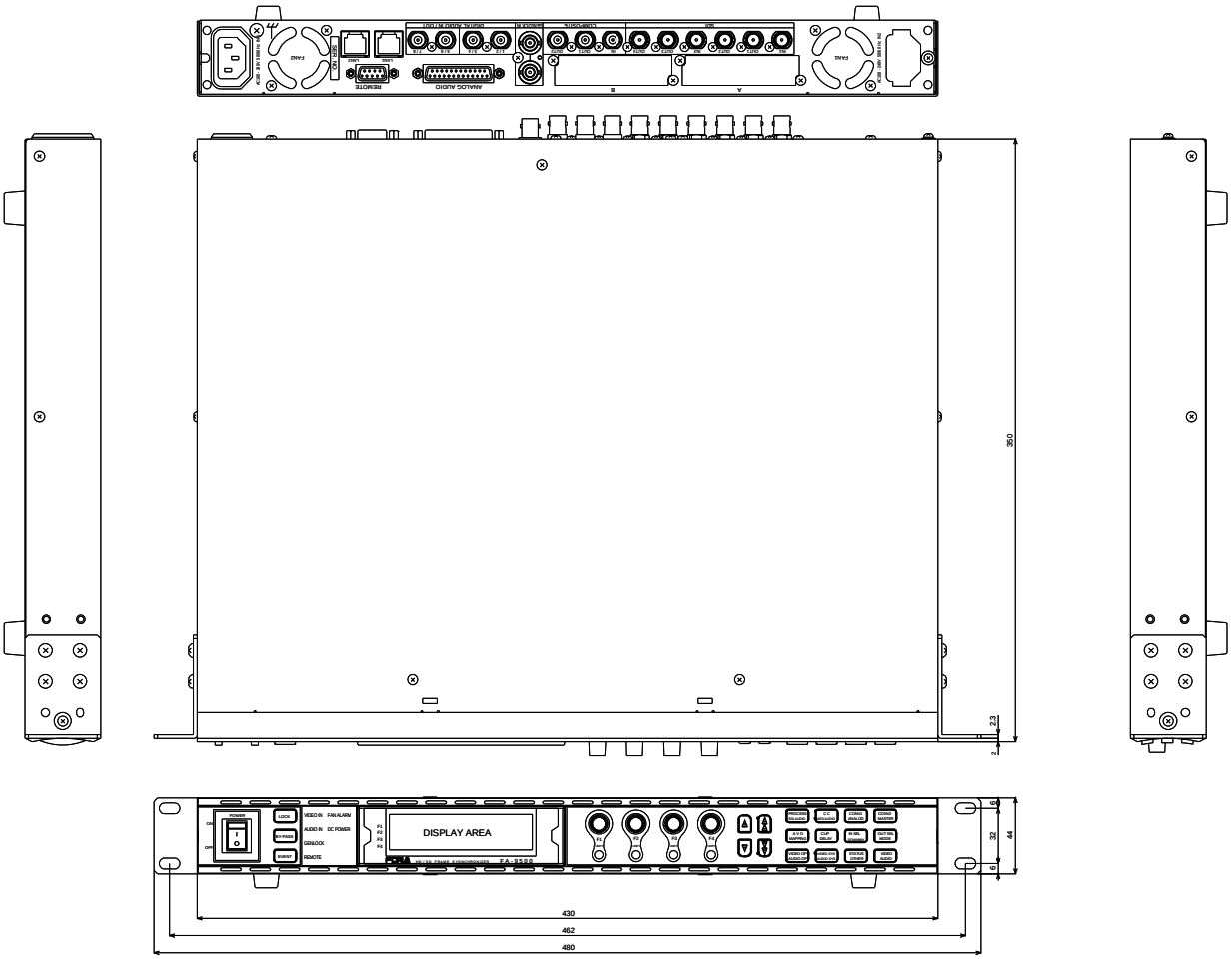
FA-95ALA（オートマチック ラウドネス　アジャストメント）

対応規格	ARIB TR-B32, ATSC A/85, EBU-R128, ITU-R BS.1770

使用温度	0℃～40℃
使用湿度	30% ～ 90% (結露のないこと)
電源電圧	AC 100 V ～ 240 V ±10%　50/60 Hz
消費電力	FA-9500：50 VA(47 W) (AC 100 V～120 V 供給時) 64VA(52 W)(AC 220 V～240 V 供給時) FA-95PS 実装時： 60VA(55 W) (AC 100 V～120 V 供給時) 73VA(56 W)(AC 220 V～240 V 供給時) オプションスロット A/B にオプションを実装した場合は、各オプションの消費電力を加算してください。 FA-95D-D: 4VA(4W) (AC 100 V～120 V 供給時) 5VA(5W)(AC 220 V～240 V 供給時) FA-95D-D /DE-E:6VA(6W) (AC 100 V～120 V 供給時) 7VA(7W)(AC 220 V～240 V 供給時) FA-95AIO: 8VA(9W) (AC 100 V～120 V 供給時) 9VA(9W)(AC 220 V～240 V 供給時) FA-95ALA: 8VA(9W) (AC 100 V～120 V 供給時) 9VA(9W)(AC 220 V～240 V 供給時)
外形寸法	430 (W) x 350 (D) x 44 (H) mm
質量	FA-9500 3.0 kg （オプション未実装時） FA-95D-D/DE-E　約 0.3 kg FA-95AIO　約 0.3 kg (専用接続ケーブル PC-3307-1 含む) FA-95ALA 約 0.2 kg
消耗部品	電源ユニット: 交換時期　約 5 年 冷却ファン: P-1437（FAN1, 2 共通）交換時期　約 6 年
標準付属品	取扱説明書、電源ケーブル、ラック取付金具
オプション	◇FA-95-3G： 3G-SDI （Level-A） 入出力拡張 ◇FA-95AVO： オートビデオオプティマイザ (自動ビデオ最適化機能) ◇FA-95SCNV： セカンドコンバータ機能 (アップ/ダウン/アスペクト/クロスコンバータ) ◇FA-95PS： リダンダント電源ユニット ◇FA-95DACBL：デジタルオーディオ拡張ケーブル ◇FA-95CO：チェンジオーバ機能 ◇FA-95RU：リモートコントロールユニット ◇FA-95D-D：Dolby E / Dolby Digital デコーダ機能 ◇FA-95DE-E：Dolby E エンコーダ機能 ◇FA-95AIO：アナログコンポーネント I/O ◇FA-95LG（ロゴジェネレータ） ◇FA-95ALA：オートマチックラウドネスアジャストメント（自動ラウドネス最適化機能） ◇FA-10DCCRU：カラーコレクタ専用のリモートコントロールユニット

25-2. 外観図

（寸法単位 mm）



索引

5

5.1Ch Down Mix (WEB) 216

A

AC コードクランプ取付方法 7
AES Audio Input Settings (WEB) 208
AES Audio Output Setting (WEB) 222
AES AUDIO 設定（AES AUDIO） 130
AES HYSTERESIS 130
AES I/O SETUP 133
AES IN AUDIO 115
AES IN GAIN 130
AES MONO SUM 133
AES OUT AUDIO 117
AES REMAPPING 131
AES 入力信号を SDI にエンベッドする場合 27
AFD (Active Format Description) について 302
AFD IN STATUS 119
AFD コード一覧 303
AFD によるアスペクト変換一覧 305
AFD による自動アスペクト変換の設定 309
AFD 対応信号規格一覧 309
AFD 付き映像信号出力設定について 310
AFD 略称表記一覧 311
Analog Audio Output Setting (WEB) 224
ANALOG AUDIO の設定(ANALOG) 134
ANALOG AUDIO 入力信号を SDI にエンベッドする場合 28
ANALOG IN AUDIO 115
ANALOG IN GAIN 134
ANALOG IN LEVEL 134
Analog Input Gain/Level (WEB) 210
ANALOG MONO SUM 136
ANALOG OUT AUDIO 117
ANALOG OUT GAIN 135
ANALOG OUT LEVEL 134
ANALOG REMAPPING 135
ANALOG SYSTEM 136
ANALOG/DIGITAL 入出力音声レベル 280
ANC DATA EMBED 102
ANC DETECT LINE 101
ANC DETECT SEL 102
ANC EMBED LINE 103
ANC IN STATUS 119
ANC IN STATUS1-2 120
ANC LOSS SET 105
ANC Settings（FA-95SCNV なし）(WEB) 245
ANC Settings（FA-95SCNV あり）(WEB) 247
ANC Status（FA-95SCNV あり）(WEB) 268
ANC Status（FA-95SCNV なし）(WEB) 267
AUD ERROR STATUS 77
AUD LOSS STATUS 77
AUDIO DELAY 139
AUDIO ERR SENSE 155
AUDIO ERR TRG 74
AUDIO LOSS TRG 74
AUDIO MAPPING（MAPPING） 138
Audio Master Setting (WEB) 214
AUDIO MODE SET（MODE） 142
AUDIO OPTION (AUDIO OP) 143
Audio Output Delay (WEB) 212
Audio Output Polarity (WEB) 218
Audio Status (WEB) 263
AUDIO SYSTEM 154
Audio System (WEB) 241
Audio Test Signal (WEB) 215
AUDIO 関連項目の制御 (WEB) 206
AUDIO 関連設定 125
AUTO MODE 設定時の動作 79
Auto Video Optimizer (AVO) 57
Auto Video Optimizer(AVO) (WEB) 178
Automatic Loudness Adjustment 149
Automatic Loudness Adjustment (WEB) 231
AVO SETTING 57
AVO SETUP 58
AVO 動作時のカラーコレクタの制約 42

B

Backup Event Data (WEB) 258
Backup Parameter (WEB) 255
BLACK LEVEL 40
BLACK VIDEO TRG 73
BY-PASS / Operate (WEB) 185

C

CH STATUS 156
Changeover Status (WEB) 271
CHGOV AUD STATUS 76
CHGOV STATUS 75
CHGOV VID STATUS 76
CHGOV(CHANGEOVER) MODE SET 71

CLIP（VIDEO CLIP） 65
COLOR CORRECT（C.C.） 41
COLOR CORRECTOR (C.C.) 39
Color Corrector (WEB) 197
COMPONENT INPUT 110
COMPONENT OUTPUT 111
COMPONENT SET（FA-95SCNV あり） 86
COMPONENT SET（FA-95SCNV なし） 84
COMPOSITE CLIP 66
Composite Clip (WEB) 205
COMPOSITE SET 93
COMPOSITE SET（FA-95SCNV あり） 83
COMPOSITE SET（FA-95SCNV なし） 82
CONTROL SETTING 158
CONV U/D MODE の FA-95SCNV 搭載時／未搭載時の設定互換表 46
CONV1 (UP/DOWN/CROSS CONVERTER) 43
CONV1 ANC OUT 120
CONV1 ANC OUT1 122
CONV1 ANC SET 98
CONV1 AUDIO GROUP 100
CONV1 CROPPING 48
CONV1 IMPROVE 49
CONV1 KEYER SET 88
CONV1 LOGO SEL 87
CONV1 S2016 OUT 120
CONV1 SIDE RGB 50
CONV1 SIZE/POS 47
CONV1 U/D MODE（FA-95SCNV あり） 45
CONV1 U/D MODE（FA-95SCNV なし） 43
CONV1 VI OUT 121
CONV1 WSS OUT 121
CONV1（FA-95SCNV が無い場合） 43
CONV1（FA-95SCNV が有る場合） 44
CONV1 変換一覧（FA-95SCNV あり） 47
CONV1 変換一覧（FA-95SCNV なし） 44
CONV2 (UP / DOWN / CROSS CONVERTER) 51
CONV2 ANC OUT 122
CONV2 ANC OUT1 124
CONV2 ANC SET 99
CONV2 AUDIO GROUP 100
CONV2 CROPPING 54
CONV2 IMPROVE 55
CONV2 KEYER SET 90
CONV2 LOGO SEL 89
CONV2 S2016 OUT 122
CONV2 SIDE RGB 56
CONV2 SIZE/POS 53
CONV2 U/D MODE 52
CONV2 VI OUT 123
CONV2 WSS OUT 123
CONV2 変換一覧 53
Converter1(FA-95SCNV あり) (WEB) 189
Converter1(FA-95SCNV なし) (WEB) 186
Converter2 (Up/Down/Cross) (WEB) 193
CORRECTION 156, 243
CRC ERROR TRG 73

D

DIGITAL AUDIO 155
DIGITAL SILENCE 157
Dolby AUX OUTPUT 143
Dolby AUX Output Select (WEB) 228
Dolby AUX STATUS 118
Dolby DECODER GAIN 146
Dolby DECODER INPUT 144
Dolby DECODER REFERENCE 145
Dolby DOWNMIX 145
Dolby E Encoder (WEB) 229
Dolby E/Digital Decoder (WEB) 226
Dolby ENCODER INPUT 147
Dolby ENCODER SETTING 148
Dolby E エンコード／デコード信号アサイン表 283
Dolby Option 変更後の設定確認項目 315
DOWN MIX ASSIGN 142
DOWN MIX SET 140

E

Event Control (WEB) 254
EVENT LOAD 166
EVENT SAVE 167
EVENT SETUP 167

F

FA-95AIO オプション 289
FA-95AIO 端子配列 289
FA-95AIO 内部設定 290
FA-95AIO 変更後の設定確認項目 315
FA-95ALA 変更後の設定確認項目 316
FA-95DACBL 装着方法 287
FA-95LG（ロゴジェネレータオプション） 87
FADE IN / OUT 154
FORMAT ERROR TRG 72
Frame Delay (WEB) 184

FREEZE MODE 設定一覧表 93
FREEZE SET 92
FRONT OPERATION 158
FRONT PANEL SET 159
FS MODE SET 91

G

GAMMA LEVEL 40
GPI (WEB) 251
GPI SETTING 160
GPI 出力回路 286
GPI 入力の制御について 285
GPI 入力回路 284

H

HD /SD-SDI Frame Synchronizer として使用する場合 23
HD PHASE SET 95
HD/SD-SDI サイマル出力（FA-95SCNV を使用する場合） 26
HD/SD-SDI サイマル出力（入力信号が HD-SDI の場合） 24
HD/SD-SDI サイマル出力（入力信号が SD-SDI の場合） 25

I

IN WHITE と IN BLACK 60
Input Select(WEB) 171

L

LOSS 動作について 68
LOUDNESS CHANNEL ASSIGNMENT 152
LOUDNESS CONTROL ENABLE 150
LOUDNESS CONTROL SETTINGS 151
LOUDNESS MEASUREMENT 149
LOUDNESS STANDARD 153

M

Master Level 216
MASTER OUT GAIN 設定(MASTER) 137
METADATA INPUT 148
MIB ファイルのダウンロード(WEB) 257

N

NETWORK INFO 163
Network Information (WEB) 274
NETWORK SETTING (WEB) 274
Network 設定(WEB) 274
NON-PCM 音声入力時の音声処理 126
NON-PCM 入力時の自動判別の例 127
NTSC SETUP 107

O

OPTION A Ver. 164
OPTION B Ver. 164
OTHER OPTION 165
OTHER Settings & Information (OTHER) 158
OUTPUT FUNCTION 162
Output Select（FA-95SCNV あり） (WEB) 204
Output Select（FA-95SCNV なし） (WEB) 201

P

PAL-M MODE SET 107
PC 動作環境 291
Proc Amp (WEB) 185

R

REMOTE 284
REMOTE（GPI）コネクタ端子配列表 284
REMOTE（GPI）端子接続 30

S

SD INPUT ASPECT 69
SD LINE MASK 101
SD PHASE SET 96
SDI 1 IN AUDIO 113
SDI 1/2 OUT AUDIO 116
SDI 2 IN AUDIO 114
SDI 3/4 OUT AUDIO 116
SDI AUDIO CLOCK 128
SDI AUDIO GAIN 125
SDI Audio Output Setting (WEB) 219
SDI AUDIO の設定（SDI AUDIO） 125
SDI ERROR TRG 72
SDI IN AUDIO 129
SDI Input Gain (WEB) 207
SDI MONO SUM 128
SDI REMAPPING 126
SDI1/2 OUT SET（FA-95SCNV あり） 80
SDI1/2 OUT SET（FA-95SCNV なし） 80
SDI1 入力信号（本線）に復帰させる場合 70
SDI1 入力信号（本線）に復帰させる場合(WEB) 177
SDI3/4 OUT SET（FA-95SCNV あり） 81
SDI3/4 OUT SET（FA-95SCNV なし） 81

SET/GET 一覧 292
SILENCE STATUS 77
SILENCE TRG 75
SNMP 292
SNMP SETTING (WEB) 275
SOFT OPTION1 165
SOFT OPTION2 165
SOURCE AUDIO 112
Source Select (WEB) 211
SOURCE/SRC SEL 138
SRC Mode (WEB) 213
Status の表示(WEB) 260
SYSTEM 関連項目の制御(WEB) 234

T

TARGET WHITE と TARGET BLACK 61
TEST SIGNAL 94
TRAP SETTING (WEB) 277
TRAP 一覧 298

U

UNIT ALARM 108
Unit Information (WEB) 266
UNIT Ver 163
Unit/Video Status (WEB) 260
User 1～5 LEVEL SET(WEB) 181
User Area 1, 2(WEB) 183
USER SETTING (WEB) 278
USER1, 2 AREA SET 63
USER1～5 LEVEL SET 60
USER1～5 の初期値 60
Utility 関連項目の制御(WEB) 253

V

VALIDITY 156
VIDEO CLIP 設定範囲について 66
VIDEO IN STATUS 109
VIDEO INPUT SELECT (IN SEL) 68
VIDEO INPUT SET 68
VIDEO OPTION (VIDEO OP) 87
VIDEO OUT MODE 78
VIDEO OUT SELECT (OUT SEL) 78
VIDEO OUT STATUS 110
VIDEO POSITION 97
VIDEO PROC AMP (PROCESS) 39
VIDEO SUB 94
VIDEO SYSTEM (VIDEO SYS) 91
Video System (WEB) 234
Video Test Signal (WEB) 199
VIDEO 関連項目の制御(WEB) 170
VIDEO 関連設定 39

W

WEB ブラウザからの接続 169
WEB ブラウザ制御 169
WHITE LEVEL 39
WSS AFD ERROR 106

Y

Y/C 出力フォーマット表 84, 86
YPbPr/RGB CLIP 65
YPbPr/RGB Clip (WEB) 200
YPbPr/RGB 出力フォーマット表 84, 86

あ

アナログオーディオの接続 282
アンシラリ規格の組み合わせ 104
アンシラリデータの種類 102
アンシラリデータパケット表示名一覧 300

い

イベントメモリ 166
イベントメモリ操作上の注意事項 168
イベントメモリに登録されない項目 168

お

オプション A/B 警告表示 316
オプション FA-95DACBL 実装時　背面図 20
オプション取り外しについて 315

か

外観図 320
各種信号 STATUS 表示（STATUS） 108
拡張スロットオプション取り外しについて 315
各部の名称と機能 18
関連ページ移動機能 36

き

基本操作
　前面パネルの操作 31
旧バージョンからのデータ読込について 314

く

クローズドキャプションについて 313
クローズドキャプションの設定手順 313

け

警告表示 315

こ

コンポジット出力フォーマット表 82, 83

さ

サンプルエリア(固定エリア) 58

し

シーンカット検出時の FRAME DELAY 設定について 59
シーンカット検出時の FRAME DELAY 設定について(WEB) 180
システムブロック図 279
自動遅延量 94
自動レベル補正から微調整する場合 64
手動レベル補正 64
仕様 317
初期値に戻す 38

す

スロット A/B 警告表示 316

せ

接続 23
設定値の変更 37
設定値の連続確認 35
前面パネル 18
前面パネルの操作 31

た

ダウンミックスブロック図 141
端子配列 284

ち

チェンジオーバ動作と LOSS 動作について 70
チェンジオーバ動作について 70
チェンジオーバ動作と LOSS 動作について(WEB) 177
チェンジオーバ動作について(WEB) 176

て

ディップスイッチ設定 22
電源を入れる 31

な

内部の設定 22

に

入力信号と同期結合可能な REF 信号表92, 238

は

背面パネル 19
パソコンとの接続 29

ふ

ファイルに保存してあるデータを読み込む(WEB) 256

へ

変換方法の互換表 312

め

メニュー一覧 33
メニュー選択ボタン 32
メニューを選択する
前面パネルの操作 32

や

矢印ボタン操作について 35

り

リスタート(WEB) 278

る

ルータを使用した入力切替時のチェンジオーバ動作について 70
ルータを使用した入力切替時のチェンジオーバ動作について(WEB) 177

ろ

ロゴ ポジション設定範囲 90

2015/05/22 Printed in Japan

サービスに関するお問い合わせは

FOR.A®
INNOVATIONS IN VIDEO and AUDIO TECHNOLOGY

24h
365 days
サービスセンター
03-3446-8575

株式会社朋栄

本　　社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121（代）
関西支店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288（代）
札幌営業所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011（代）
東北営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181（代）
中部・北陸営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691（代）
中国営業所	〒730-0012	広島市中区上八丁掘 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591（代）
九州営業所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591（代）
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178（代）
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230（代）
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018（代）

http://www.for-a.co.jp/